

## 第 3 章 データ設定編



# 1. 概要

- (1) 本章は標準電話機で行う、サービスデータの設定操作について説明します。
- (2) 特徴
  - ① データ設定操作はディスプレイに漢字やカタカナ英数字でガイダンスが出て容易に設定ができます。また、設定時には完了音や NG 音が通知されます。
  - ② データ入力方法には 3 種類あり、それぞれの用途に応じた設定ができます。
    - データ番号入力方法 : 直接データ番号を呼び出して設定ができます。
    - コマンド番号入力方法 : コマンド番号で設定すると初期設定、データコピー、データ変換や各種試験等ができます。
    - 機能番号入力方法 : サービス機能番号を入力すると、関連データ一覧が表示され抜けのない設定ができます。

## 2. データ設定方法

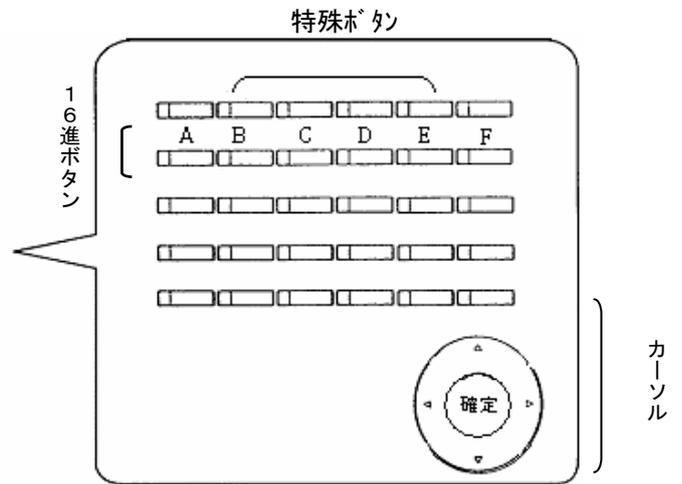
### 2.1 データ設定電話機とボタン操作について

#### (1) データ設定電話機

標準電話機 (TD910/TD920/LD920) などの電話機でも使用できます。



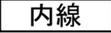
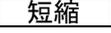
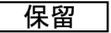
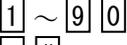
設定に必要なボタン名称



注. データ設定モードに入ると上記特殊ボタン、16進ボタンが自動設定されます。

#### (2) キー名称と操作内容

キー番号	キー名称	キーランプの色	内 容
(26) (27) (28) (29)	特殊ボタン	赤	ディスプレイに表示された機能が表示位置に対応したボタンに割付けされます。(注)
(19) (20) (21) (22) (23) (24)	16進ボタン	赤	16進文字の入力 (0xA~0xF)
	左カーソルボタン		カーソルが左に移動/前項切替表示します。
	右カーソルボタン		カーソルが右に移動/次項切替表示します。

	上カーソルボタン		カーソルが上に移動／値の前候補を表示します。
	下カーソルボタン		カーソルが下に移動／値の次候補を表示します。
	確定ボタン		設定登録、コマンド実行、漢字変換の決定をします。
  	内線ボタン 短縮ボタン 保留ボタン		データ設定画面ではデータを初期値にもどします。 文字編集画面で漢字・カナ英数文字などを1文字削除します。 入力形式切替や特殊コードを挿入します。(注) 前画面に戻ります。
 	ダイヤルボタン		機能番号，データ番号，データ値の入力

(注) 次頁の特殊ボタン表示一覧表、短縮ボタン機能一覧表を参照してください。

### (3) 特殊ボタンの機能とその表示

特殊キーの表示、機能内容と表示例は以下の通りです。

特殊キー表示一覧表

表示名	機能内容
前へ	カーソルを前の設定項目へカーソルを移動します。
次へ	カーソルを次の設定項目へカーソルを移動します。
取消	変更前のデータ内容に戻します。
保存	設定内容の保存(決定)します。
切替	番号入力画面の切換えします。(データ番号→コマンド番号→機能番号)
実行	入力内容でコマンドの実行します。
OK	画面内容の確認をします。
編集	文字入力(漢字変換)時の文字入力画面切替をします。

ディスプレイ画面例1(番号入力)

<	電	話	機	メ	ン	テ	ナ	ン	ス	>										
	機	能	番	号	>	-	-	-	-											

[切替]特殊ボタン⑭：データ番号指定画面へ切換える

ディスプレイ画面例2(データ102)

1	0	2	:	内	線	名	称	設	定												
D	N	番	号	指	定																
1	0	0	0	.	0	>	1														

[編集]特殊ボタン⑮：内線1000の内線名称(漢字)の編集する

[保存]特殊ボタン⑯：内線 1000 の内線名称設定の決定する

[次へ]特殊ボタン⑰：カーソルを前(左)の設定項目(漢字/カナ指定)へ移動する

ディスプレイ画面例3(データ102)

1	0	2	:	内	線	名	称	設	定											
0	:	漢	字	名	称															
1	0	0	0	.	0	>	シ	ス	テ	ム	管	理	者							
	前	へ			編	集		保	存		取	消								

[前へ]特殊ボタン⑭：カーソルを前(左)の設定項目(内線番号指定)へ移動する

[編集]特殊ボタン⑮：内線 1000 の内線名称(漢字)の編集する

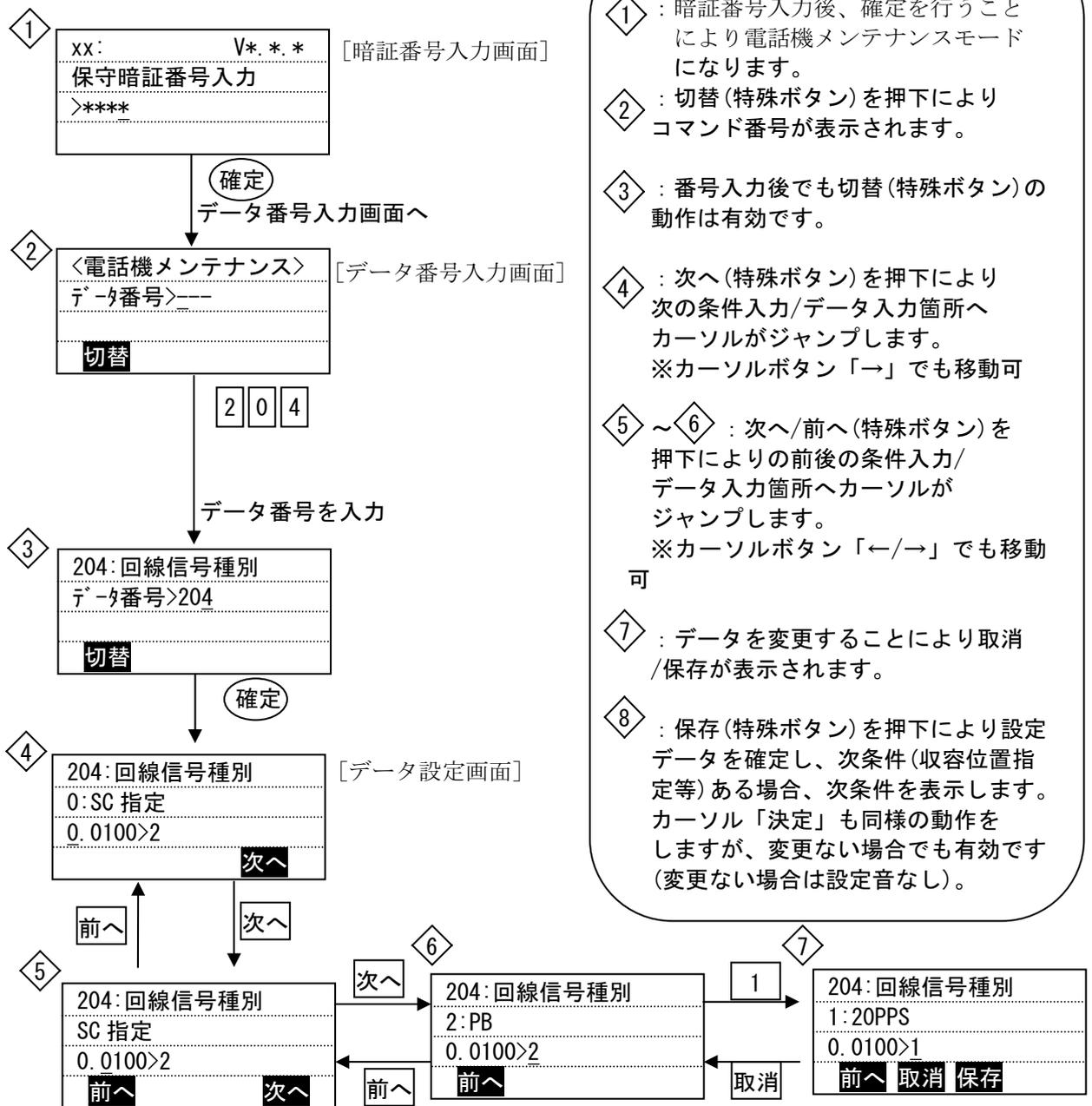
[保存]特殊ボタン⑯：内線 1000 の内線名称設定の決定する

[取消]特殊ボタン⑰：内線 1000 の漢字名称を変更前の名称に戻す



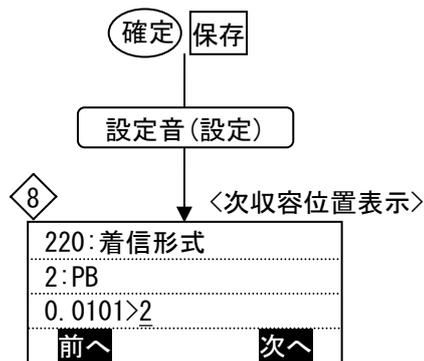
(5) 特殊ボタン操作例

データ 204にて特殊ボタン操作・動作を説明します。



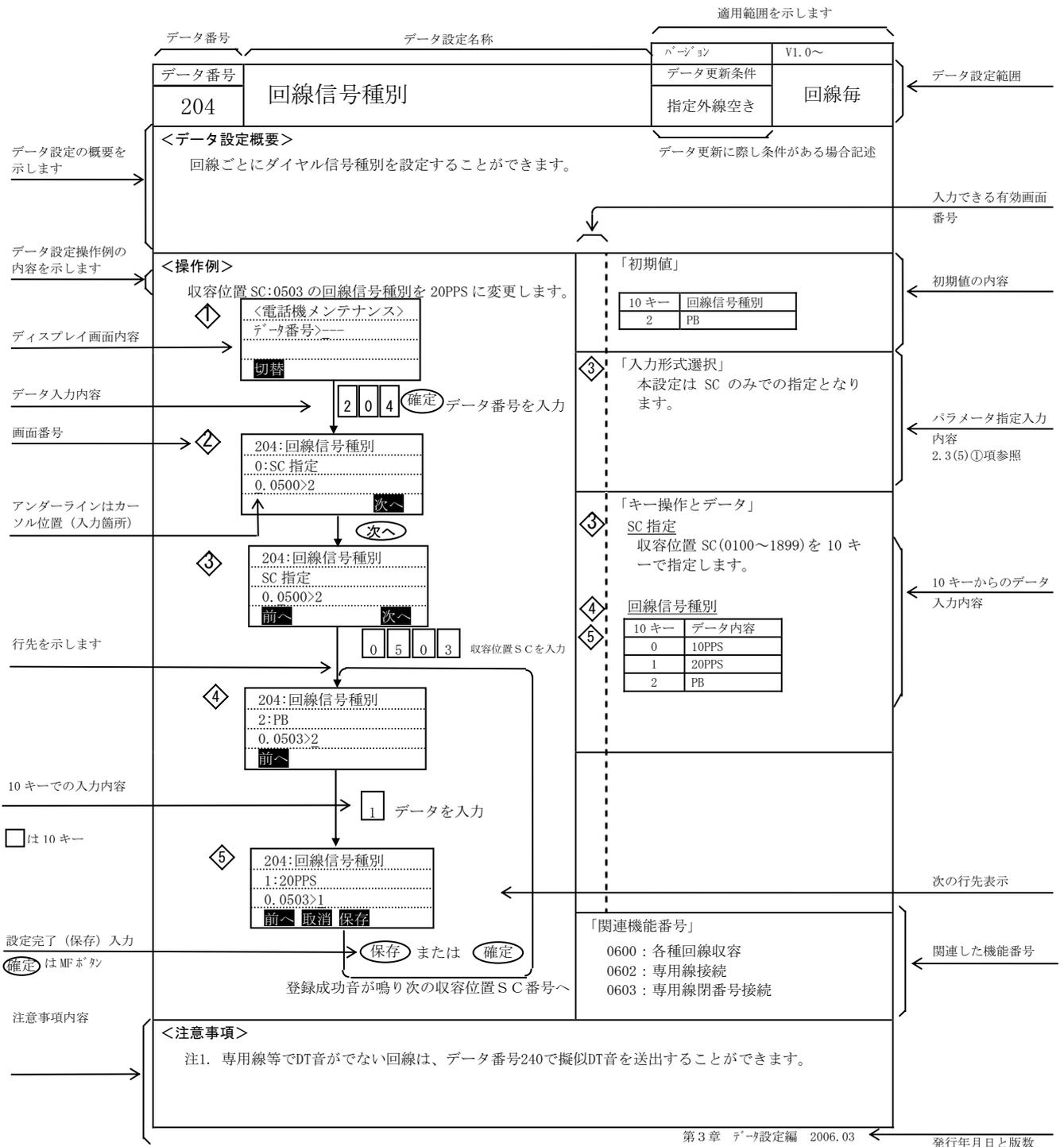
- 1** : 暗証番号入力後、確定を行うことにより電話機メンテナンスモードになります。
- 2** : 切替(特殊ボタン)を押下によりコマンド番号が表示されます。
- 3** : 番号入力後でも切替(特殊ボタン)の動作は有効です。
- 4** : 次へ(特殊ボタン)を押下により次の条件入力/データ入力箇所へカーソルがジャンプします。  
※カーソルボタン「→」でも移動可
- 5** ~ **6** : 次へ/前へ(特殊ボタン)を押下によりの前後の条件入力/データ入力箇所へカーソルがジャンプします。  
※カーソルボタン「←/→」でも移動可
- 7** : データを変更することにより取消/保存が表示されます。
- 8** : 保存(特殊ボタン)を押下により設定データを確定し、次条件(收容位置指定等)ある場合、次条件を表示します。カーソル「決定」も同様の動作をしますが、変更ない場合でも有効です(変更ない場合は設定音なし)。

データ設定画面内での保存/決定



## 2.2 データ設定説明書の見方

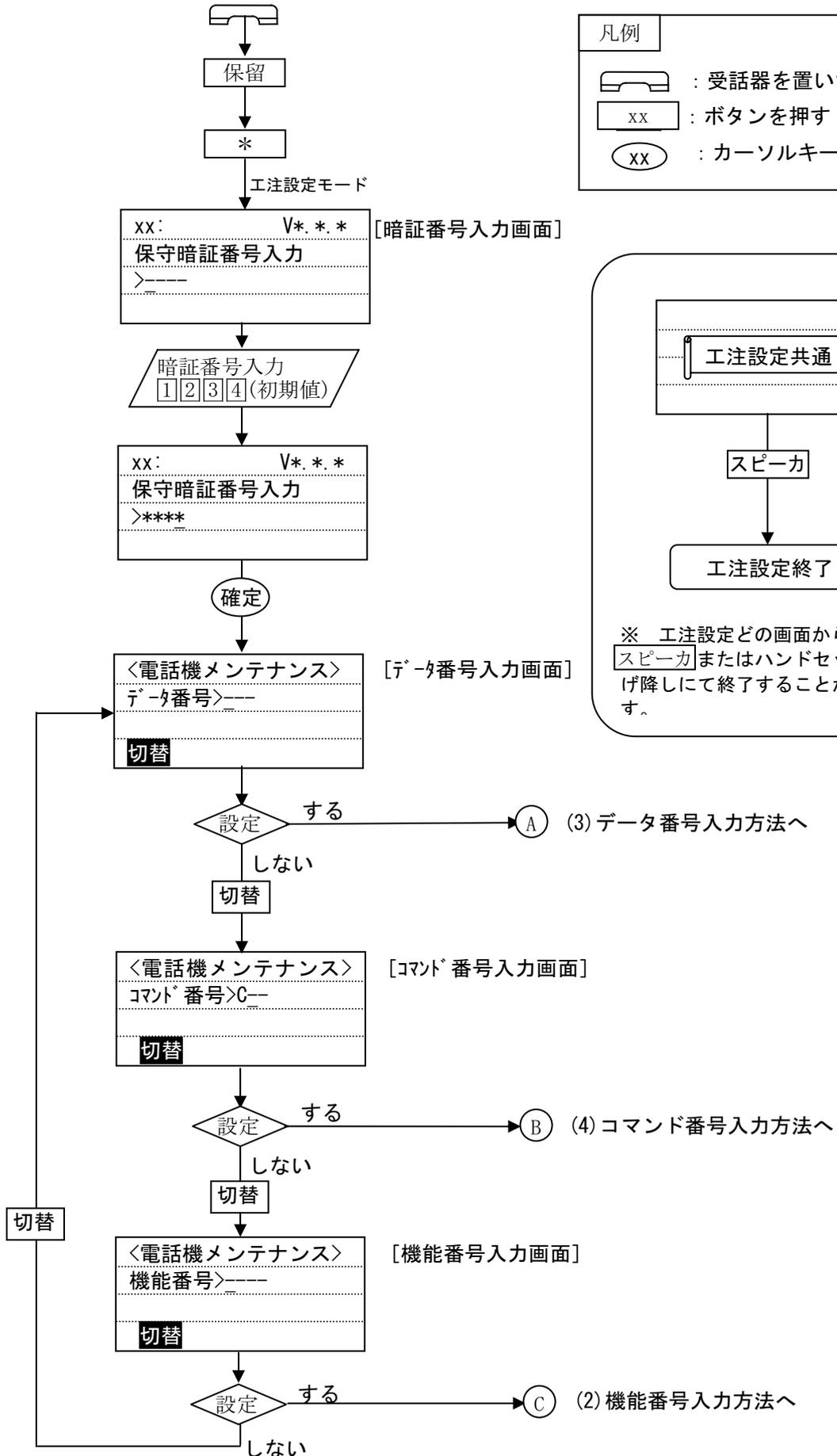
データ番号別設定説明書の見方は次のとおりです。



## 2.3 データ入力方法

### (1) 入力方法別データ設定画面の出し方

標準電話機で次の操作によりデータ設定モードに入れます。



凡例

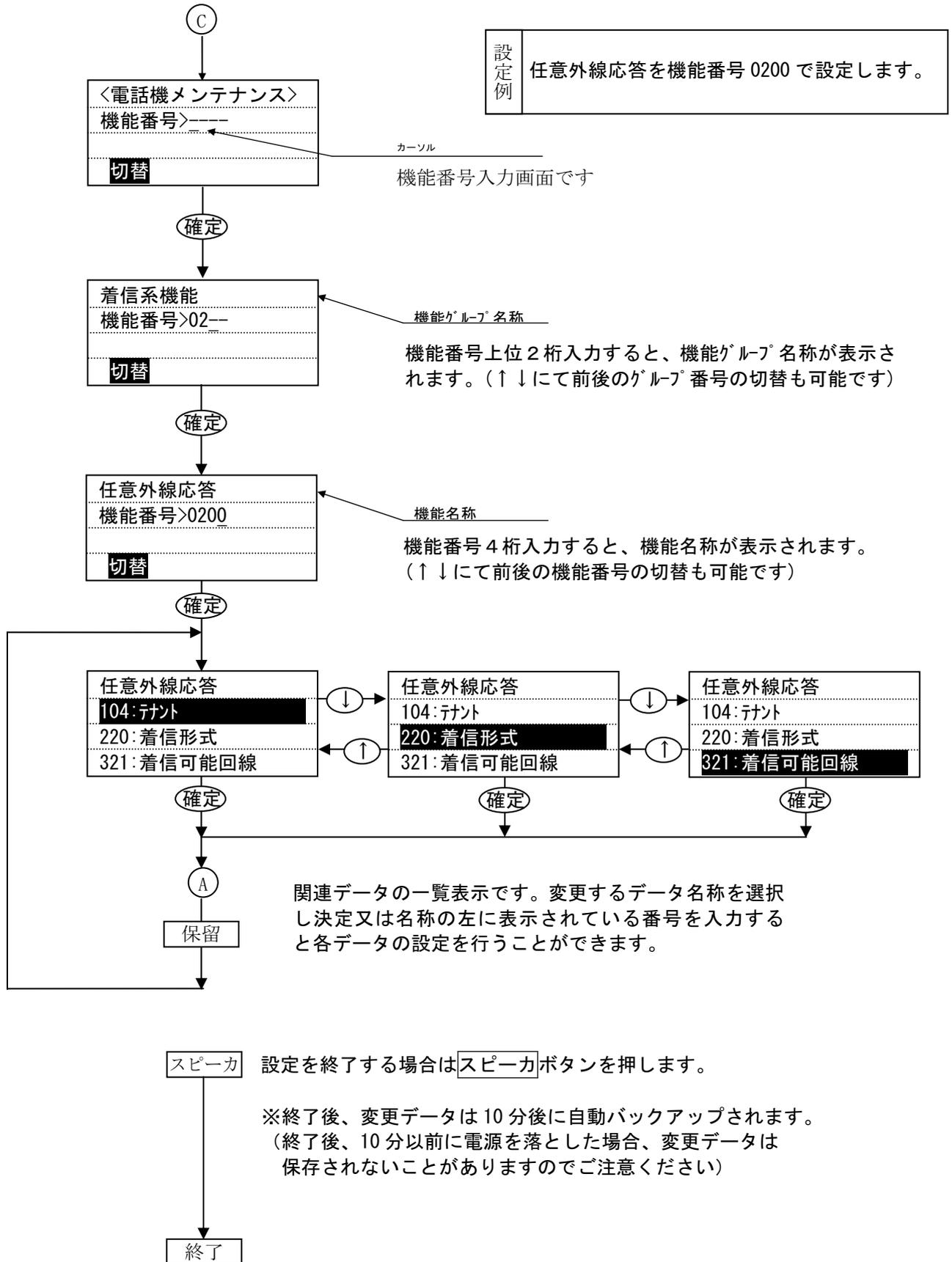
- : 受話器を置いたまま
- : ボタンを押す
- : カーソルキーを押す

※ 工注設定どの画面からでも  
スピーカまたはハンドセットの上  
げ降しにて終了することができます。

(2) 機能番号入力方法

機能番号を入力するとその機能に関連したデータ番号の名称一覧が表示され、データ名を選択することで設定できます。

(機能番号と関連したデータ番号は、5項機能番号別設定一覧表を参照してください。)



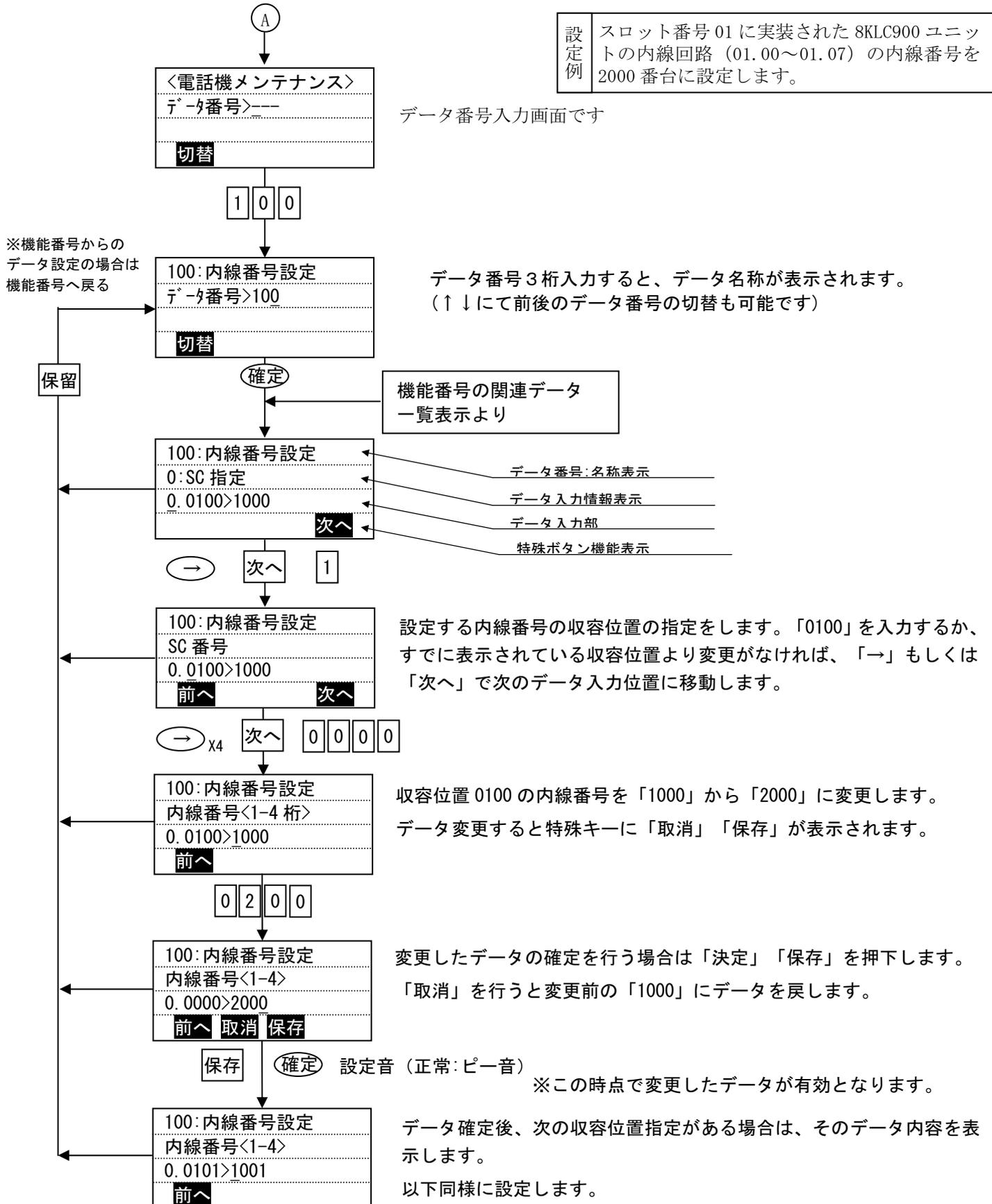
(3) データ番号入力方法

データ番号を指定してデータ設定ができます。

最初のデータは初期値等の設定内容が表示されるので、該当項目のデータを変更します。

データ番号設定の中には、初期値のないものがあるので、4項 データ番号別設定一覧表で確認してください。

設定例	スロット番号 01 に実装された 8KLC900 ユニットの内線回路 (01.00~01.07) の内線番号を 2000 番台に設定します。
-----	--

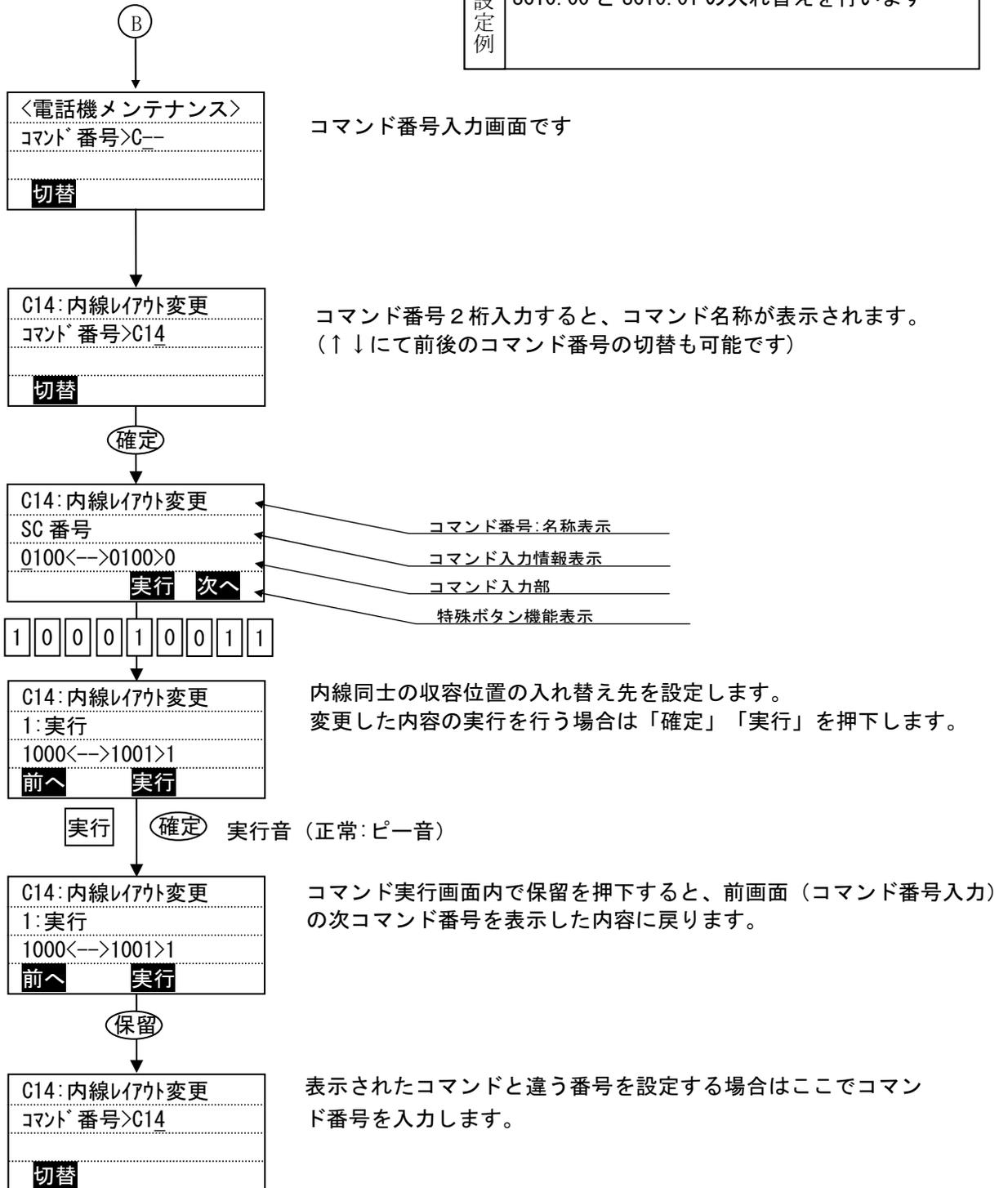


(4) コマンド番号入力方法

コマンド番号を指定すると特殊な設定（初期化や試験等）ができます。

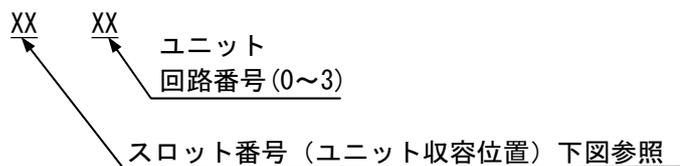
（コマンド番号は、データ番号別設定一覧表を参照してください。）

設定例	SC10.00 と SC10.01 の入れ替えを行います
-----	------------------------------



## 2.4 ユニット收容位置番号

本説明書ではユニット收容位置番号を SG と称し、主装置のロット番号とユニットの回路番号で表わします。（以降は收容位置番号といいます。）



ロット番号

ロット番号		13	14	15	16	17	18	
電源 ユニット	増設電源 ユニット	(A)	(A)	(A)	(B)	(B)	(B)	増設架（3段目）
		3	3	3	1	1	1	
		2	2	2	6	6	6	
		c	c	c	c	c	c	
		h	h	h	h	h	h	
		スロット	スロット	スロット	スロット	スロット	スロット	
ロット番号		07	08	09	10	11	12	
電源 ユニット	増設電源 ユニット	(A)	(A)	(A)	(B)	(B)	(B)	増設架（2段目）
		3	3	3	1	1	1	
		2	2	2	6	6	6	
		c	c	c	c	c	c	
		h	h	h	h	h	h	
		スロット	スロット	スロット	スロット	スロット	スロット	
ロット番号		01	02	03	04	05	06	19
電源 ユニット	増設電源 ユニット	(A)	(A)	(A)	(B)	(B)	(A)	基本架（1段目）
		3	3	3	1	1	3	
		2	2	2	6	6	2	
		c	c	c	c	c	c	
		h	h	h	h	h	h	
		スロット	スロット	スロット	スロット	スロット	スロット (※)	
						C C U 専用 スロット		

上記ロット番号に実装できるユニットは、2.5 ユニット收容表を参照してください。

なお、※スロットはISDN回線網同期用スロットですので、ISDN回線收容時はこのスロットに必ずISDN回線用ユニットを收容してください。

## 2.5 ユニット収容表

○印は実装可能スロット、×印は実装不可スロット、◎印は最優先実装スロット

スロット番号 ユニット名	基本架 [1 段目]						増設架 [2 段目]						増設架 [3 段目]						記 事	
	01 (A)	02 (A)	03 (A)	04 (B)	05 (B)	06 (A)	19 (C)	07 (A)	08 (A)	09 (A)	10 (B)	11 (B)	12 (B)	13 (A)	14 (A)	15 (A)	16 (B)	17 (B)		18 (B)
<b>CGU900</b>	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	主制御ユニット
2BR1900	○	○	○	○	○	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	デジタル2回線局線ユニット (S/T点、U点対応)
4BR1900	○	○	○	○	○	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	デジタル4回線局線ユニット (S/T点、U点対応)
KC090C-PRTL	○	○	○	×	×	◎	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	INS ネット1500 1 インターフェイス 局線ユニット
8C0900	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7プロゲ 8 回線局線ユニット
AZ-2LDT-LA <V1.1>	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ループダイヤル方式2回線 専用線ユニット
KC090A-40DTE <V1.1>	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アクトバンドダイヤル方式4回線 専用線ユニット
1PGW900	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	マルチキャリア対応 28chVoIP ユニット IP 端末収容対応 対応キャリア: NTT-com. FUSION システムで1枚収容
1PAD900	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	1PGW900 ユニットの通話チャネル 増設用ユニット 通話チャネル: 28ch/ユニット 最大9枚収容可
<b>81PGW900</b>	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	マルチキャリア対応 8chVoIP ユニット 対応キャリア: FUSION
8KLC900	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ボーン電話機8台接続ユニット
16KLC900	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ボーン電話機16台接続ユニット (注)
24KLC900	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	ボーン電話機24台接続ユニット (注)
8SL1900	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	単独電話8台接続ユニット
AZ-2LLC-LA	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	単独電話接続距離延長 ユニット(2回路用)
<b>2CDL900</b>	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	システムードレス基地局(CS)2台 接続ユニット
<b>4CDL900</b>	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	システムードレス基地局(CS)4台 接続ユニット
DRPG900	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	トアホン(カテカマトアホン)4台/ 放送装置1台/外部保留 音源1台接続インターフェイスユニット トアホン(カテカマトアホン)接続は 2DR900(+)ユニットが必要
DRPG910	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	トアホン(カテカマトアホン)4台/ 放送装置4台/外部保留 音源2台接続インターフェイスユニット トアホン(カテカマトアホン)接続は 2DR900(+)ユニットが必要

※ スロット番号欄の ( ) 内英字はスロット名です。

A スロット:チャネル数 32ch B スロット:チャネル数 16ch C スロット:CGU900 専用スロット

※ 06 スロットは ISDN 回線網同期用スロットです。ISDN 回線で INS ネット1500 を収容する場合には KC090C-PRTL を、INS ネット64 のみを収容する場合には「2/4」BR1900 ユニットを実装してください。なお、ISDN 回線を収容しない場合には○印の他のユニットを実装できます。

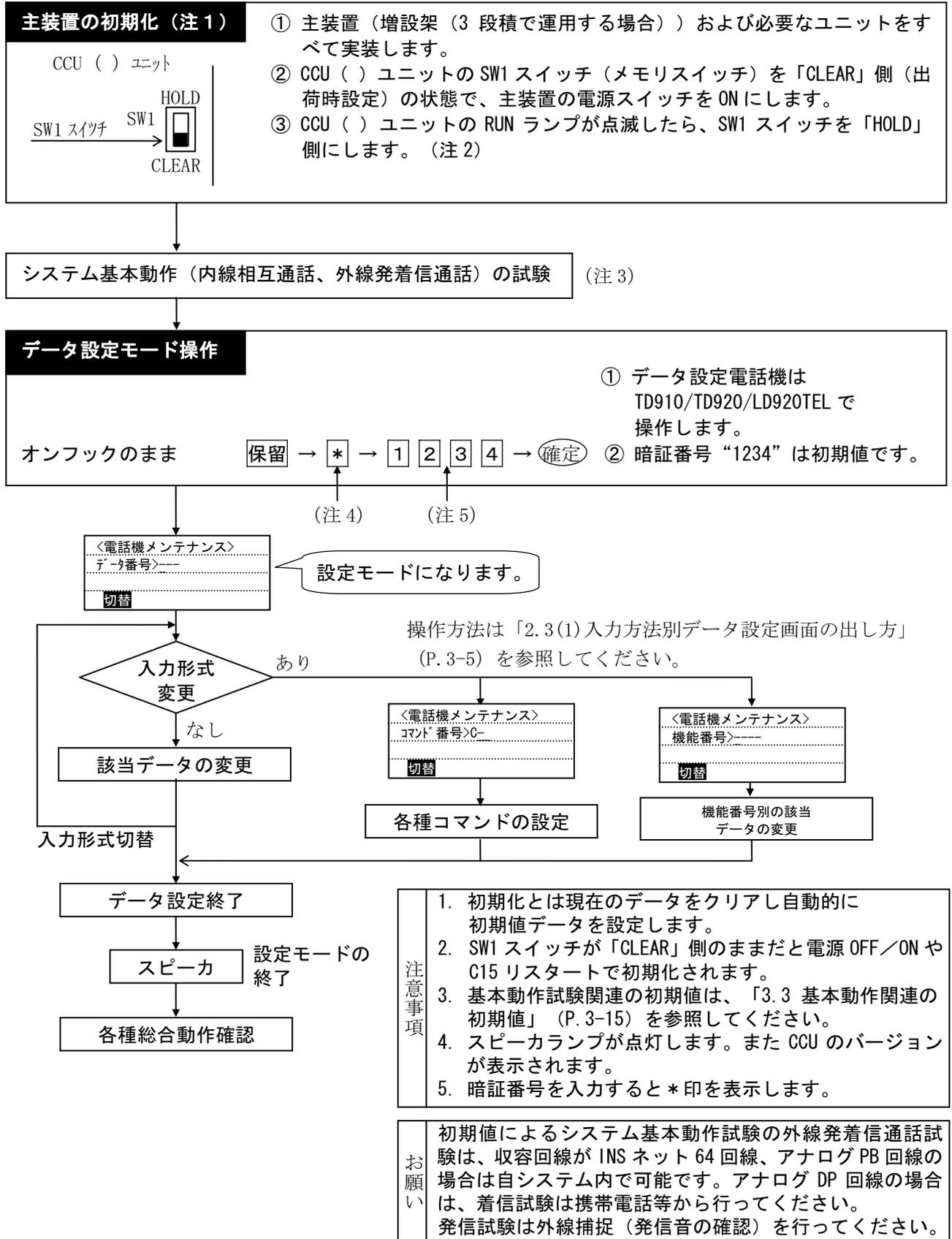
お 願 い	<ol style="list-style-type: none"> <li>白抜きユニットは活性挿抜に対応していません。必ず電源を切ってから挿抜してください。</li> <li>「16/24」KLC900 ユニートを基本架、増設架に収容する場合、ユニットの組み合わせにより主装置増設電源ユニット【MPW900(+)]が必要になる場合があります。判定方法については1-4 MPW900(+)]の実装判定方法を参照してください。</li> </ol>
-------------	--

注. < >内のバージョンは適用する主装置のバージョンを示します。<VX.X>は AGREA では今後対応予定です。

### 3. データ設定手順

主装置の工事が完了したら初期設定を行い初期基本動作を確認して、データ設定電話機でデータ設定を行います。

#### 3.1 設定手順



## 3.2 設定時のお願い事項

- ① 工事立ち上げ時には必ず主装置の初期化（「3.1 設定手順」(P.3-13)）を行ってください。初期化を行わないでデータ設定に入ると、RAM データがクリアされないため運用上支障がでることがあります。
- ② サービスデータシートを作成してからデータ設定を行ってください。
- ③ データ設定はユニット実装状態で行ってください。  
ユニットが実装されていないと該当項目のデータ設定ができません。
- ④ データ設定モードに同時に複数台入ることはできません。  
2 台目以降の電話機は、\* を押した時点でエラー音が鳴ります。
- ⑤ ユニットの増減設は、コマンド番号 C12（ユニット増減設）の設定が必要です。  
データの初期設定はコマンド番号 C19（データ初期設定）でも設定できます。
- ⑥ データ初期設定での設定対象項目は、01:電話帳、02:ワッチ、03:オートダイヤル、07:内線番号、08:特番、09:特番部分、11:MBX、12:発着履歴、14:着信拒否の各項目ごとにデータのクリアをします。  
オートダイヤルは初期設定でデフォルト値になります。
- ⑦ 設定されたデータは即時に実行されるものと、実行されないものがあります。
- ⑧ 以下のデータ設定は設定後主装置の再起動が必要です。

D800:主装置 IP アドレス/サブネットマスク (メンテナンス用)	D813:TELNET ポート番号
D802:主装置 IP アドレス/サブネットマスク (IPGW 接続専用ポート用)	D816:主装置 IP アドレス (マルチキャスト用)
D806:DHCP 設定	D820:IPGW IP アドレス/サブネットマスク
D807:リモート PC 接続ポート番号	D822:IPGW/IPAD デフォルトゲートウェイ
D809:CPWAVE 接続ポート番号	D823:IPAD ネットワーク設定
D810:HTTP ポート番号	D824:IPGW/IPAD LAN 接続タイプ
D811:FTP 制御ポート番号	D826:VLAN 設定
D812:FTP データポート番号	D827:TOS 値(IPAD)

### 3.3 基本動作関連の初期値

#### (1) 内線／外線関連

区分	データ名	データ番号	初期値	記 事
内線 関連	内線番号	100	1000~2999	
	内線サービスクラス	103	0:サービスクラス A	全電話機
	内線呼出トーン/音声	109	0: トーン呼出	全電話機
	DP/PB 指定	110	1:PB 電話機	全電話機
	オフフック自動応答	130	1:鳴動着信のみ可	全電話機
	内線別着信音種	133	1:トーン 1	全電話機
外線 関連	着信形式	220	0: 一般着信	
	昼間鳴動電話機	223	1:鳴動有り	アナログポートは鳴動無し
	回線信号種別 (アナログ回線)	204	2: PB	

注. 初期値での外線発信時、ボタン電話機の通話料金表示は、設置先電話番号（データ番号 700）が初期値未登録のため表示されません。

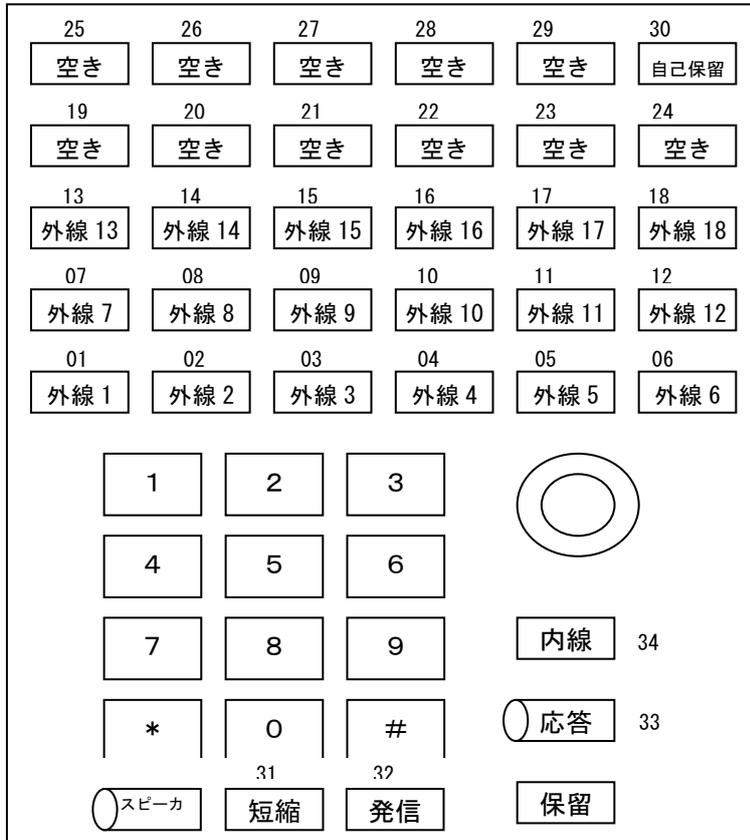
(2) 電話機（オートダイヤルボタン）

・オートダイヤルボタン番号と初期割付機能

オートダイヤルボタンへの初期値割付は、端末接続状態で初期立ち上げを行った場合、およびシステム運用後に端末増設の場合行います。（すでに稼働中の端末の抜き差し、種類変更時にはオートダイヤルボタンへの初期値割付は行いません。）

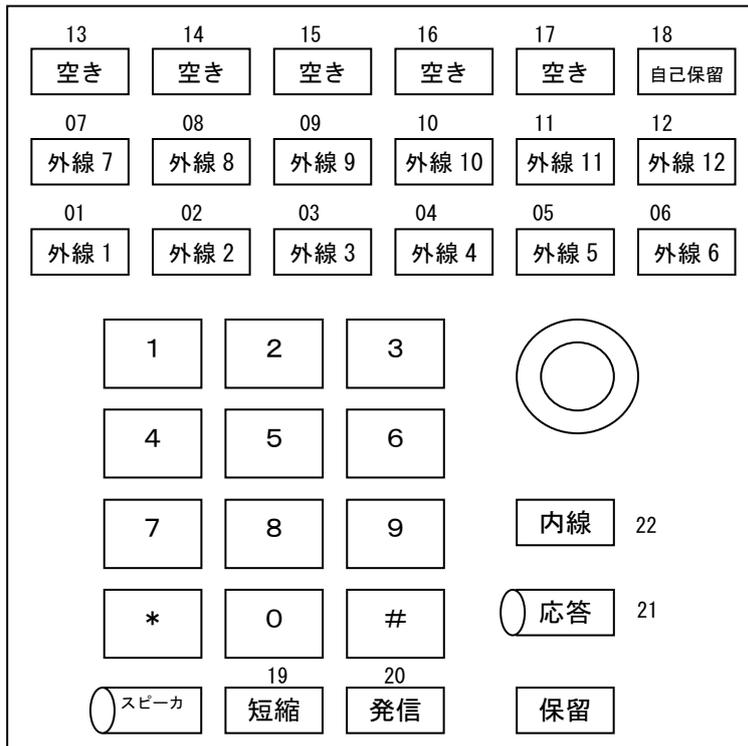
① TD/LD920（30 ボタン電話機/30 ボタンバックライト付電話機）

a. 初期割付機能



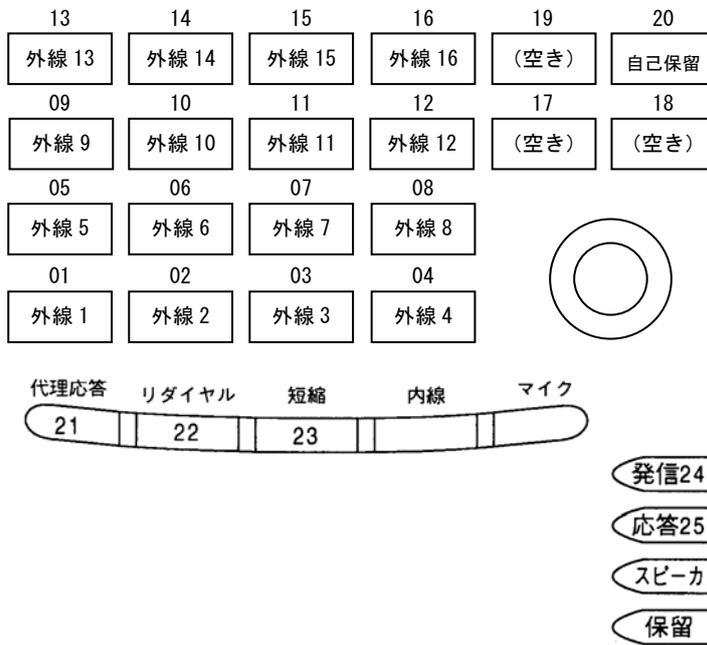
② TD910（18 ボタン電話機）

a. 初期割付機能



③ M-20LKTEL

a. 初期割付機能



④ PS600 (デジタルコードレス電話機)

a. 初期割付機能

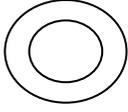


⑤ CL920 (カールコードレス電話機)

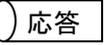
a. 親機初期割付機能

25	26	27	28	29	30
空き	空き	空き	空き	空き	自己保留
19	20	21	22	23	24
空き	空き	空き	空き	空き	空き
13	14	15	16	17	18
外線 13	外線 14	外線 15	外線 16	外線 17	外線 18
07	08	09	10	11	12
外線 7	外線 8	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12
01	02	03	04	05	06
外線 1	外線 2	外線 3	外線 4	外線 5	外線 6

1	2	3	
4	5	6	
7	8	9	
*	0	#	

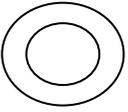
  

31	32	
スピーカ	短縮	

34	33	保留
内線	応答	

b. 子機初期割付機能

39	40	41	42
外線 5	外線 6	外線 7	外線 8
35	36	37	38
外線 1	外線 2	外線 3	外線 4
43			44
発信			短縮

お願い	<p>1. 稼働中の端末の種類変更時 (例えば標準電話機 TD910 から TD920) 初期割付を行う場合は、データ設定コマンド C19 (データ初期化-03:オートダイヤルボタン) でオートダイヤルボタンの初期化を行ってください。</p>
-----	---

このページは白紙になります。

#### 4. データ番号別設定一覧表

設定区分	データ番号	データ番号名称	初期値	C18データコピー対象		
				内線データ	回線データ	
内線	100	内線番号	1000~2999	—	—	
	101	内線ネーム	未登録	—	—	
	102	電話機収容	1:収容	○	—	
	103	内線サービスクラス	0:サービスクラス A	○	—	
	104	テナント	00:テナント 00	○	—	
	105	内線切替クラス	0:サービスクラス A	○	—	
	106	オートダイヤルボタン設定	外線、自己保留など	-	—	
	107	通話割込許容	0:不許容	○	—	
	108	被通話割込許容	1:許容	○	—	
	109	内線呼出トーン/音声	0:トーン	○	—	
	110	DP/PB 指定	1:PB 電話機(7桁ホートはPB 固定)	○	—	
	111	相手応答時 PB 切替	1:切替あり	○	—	
	112	発信時 PB 切替	1:切替あり	○	—	
	113	内線 DT 種別	0:断続	○	—	
	114	内線 BT 種別<v1.5>	0:0.75 秒 ON/0.25 秒 OFF	○	—	
	115	オフフック自動ダイヤル番号	未登録	○	—	
	116	ワンタッチプリセットモード<v1.3>	0:指定無し	○	—	
	117	通話モニタ許容内線<v1.4>	0:不許容	○	—	
	118	被通話モニタ許容内線<v1.4>	0:不許容	○	—	
	119	システム管理電話機	0:一般電話機、最若番は 1:システム管理電話機	○	—	
	121	通話モニターバースト音送出有無<v1.4>	0:送出無し	○	—	
	123	オンフック転送	0:不許容	○	—	
	125	サブメニュー発信動作	全内線 0:呼種別に従う	○	—	
	着信	130	オフフック自動応答	1:鳴動着信のみ可	○	—
		131	非鳴動着信呼種表示	0:表示無し	○	—
		133	内線別着信音種	1:トーン、1:トーン 1	○	—
		134	話中着信音	1:着信音あり	○	—
		135	通話中着信許容	0:不許容	○	—
		137	FAX/データ系鳴動 IR	1:IR 指定あり	○	—
138		未応答着信お知らせ表示<v1.4>	0:表示無し	○	—	
ISDN/IP	139	一斉呼出対象内線<v1.5>	0:不許容	○	—	
	150	着信時発番号/発サブ表示	1:発番号表示	○	—	
	151	個別発番号	未登録	○	—	
	153	発サブアドレス付加	0:付加しない	○	—	
	154	外線発信番号通知	2:網契約に従う	○	—	
地震速報	158	ISDN 最終料金表示<v1.3>	0:表示無し	○	—	
IP	159	地震速報表示	0:表示無し	○	—	
遠隔設定	160	IP 回線個別電話番号	未登録	○	—	
CTI	169	遠隔設定パスワード<v1.3>	全内線>1234	○	—	
	170	CPWAVE ログインパスワード<v1.2>	未登録	-	—	
	171	CPWAVE 接続可否<v1.2>	0:不許容	-	—	
拡張	172	CPWAVE 発信特番<v1.2>	0	-	—	
	180	DSS/BLF 収容	0:未登録	-	—	
システムコードレス	182	拡張内線番号	未登録	-	—	
アナログポート	183	内線毎 PS 圏外通知<v1.1>	1:通知する	○	—	
MSA	186	モデム信号送信有無	0:発番号 送信無し	○	—	
発番号着信	188	方路毎捕捉 MSA<v1.1>	未登録	○	—	
	190	通話中発番号表示	0:表示あり	○	—	
回線	200	回線毎方路種別	00:方路 00、1:外線	-	○	
	204	回線信号種別	2:PB	-	○	
	208	回線別フッキング送出時間	1:672ms	-	○	
	209	フッキング信号送出	0:フッキング不可	-	○	
	テナント	219	SC 主テナント	00:テナント 00	-	○
着信	220	着信形式	SC1999 以下 (昼/夜 1/夜 2 共通) 0:着信先指定、0:一般着信 SC2000~2299 の場合 (昼/夜 1/夜 2 共通) 0:一般着信	-	-	

データ番号別設定一覧表

設定区分		データ番号	データ番号名称	初期値	C18デフォルト対象	
					内線デフォルト	回線デフォルト
回線	着信	223	鳴動電話機	(昼/夜1/夜2共通) 最若番/最若番+1 1:鳴動あり その他 0:鳴動なし	-	○
		224	外線別オフフック自動応答<V1.4>	0:指定無し	-	○
		226	PBダイヤルイン契約桁数	0:契約なし	-	○
		227	外線別着信音種	1:トーン、i:トーン1	-	○
		228	ダイヤルイン群番号	0:0群	-	○
		229	着サブアドレス許容	1:許容	-	○
		230	DID許容特番<V1.5>	1:許容	-	○
		232	回線毎PS圏外通知<V1.1>	0:通知しない	-	○
		236	放送装置増ベル鳴動(回線毎-放送装置毎)	(昼/夜1/夜2共通) 0:鳴動なし	-	-
	発信	240	擬似DT送出	0:送出なし	-	○
		241	リバーズ検出	1:リバーズあり	-	○
	転送	251	留守番モードグループ指定<V1.4>	0:グループA	-	○
		252	外線転送モードグループ指定<V1.4>	0:グループA	-	○
	専用線	260	専用線ウイंक有無<V1.1>	0:ウイंकなし	-	○
	システム	270	回線収容	1:収容	-	○
	発番号	280	発番号受信有無	0:受信無し	-	○
		281	回線毎発番号通知<V1.2>	2:網契約に従う	-	○
		282	発番号DID許容	1:許容	-	○
	IP	290	IP回線通知番号	00:契約番号エリア00	-	○
特番	300	番号計画	7.データ番号別設定詳細参照	-	-	
テナント	310	テナントグループ	00:グループ00	-	-	
	311	テナントネーム	未登録	-	-	
	312	パーク保留許容	0:不許容	-	-	
	313	代理応答許容	応答テナント番号=着信テナント番号の場合 1:許容 その他 0:不許容	-	-	
	314	割込/通話モニタ許容<V1.1>	相手側テナント番号=操作側テナント番号の場合 1:許可 その他 0:不許容	-	-	
	315	共通電話帳指定	共通電話帳番号:00	-	-	
	316	テナント毎MBX設定<V1.2>	0:指定なし	-	-	
	317	留守転送起動タイマ<V1.2>	0:留守番起動時間 9秒 1:外線転送起動時間 9秒	-	-	
	320	発信可能回線	テナント00のみ 1:指定あり	-	-	
	321	着信可能回線	全テナント(昼/夜1/夜2共通) 1:指定あり	-	-	
	322	ISDN/アナログ優先捕捉	0:優先捕捉なし	-	-	
	323	IP回線優先捕捉	0:IP回線優先	-	-	
	324	着信回線種別優先	0:優先捕捉しない	-	-	
	326	着信ウェイトガイダンス<V1.1>	1:ガイダンス固定	-	-	
	327	ACR利用規制(テナント毎)<V1.1>	1:ACR利用規制無し	-	-	
	328	キャリア名称表示有無(テナント毎)<V1.1>	1:表示あり	-	-	
	329	着信履歴蓄積先指定<V1.4>	0:主テナントのみ	-	-	
	331	転送元ガイダンス<V1.1>	0:ガイダンス無し	-	-	
	332	転送先ガイダンス<V1.1>	0:ガイダンス無し	-	-	
	333	内線クラス切替時間帯(テナント毎)	全曜日 0:切替なし 開始時間:未登録 終了時間:未登録 祝祭日切替:0:切替無し 休日切替:0:切替無し	-	-	
	335	テナント毎休日パターン指定	00:休日パターン00	-	-	
	336	夜間自動切替時間帯(テナント毎)	開始/終了時間:未登録 祝祭日切替:0:切替無し 休日切替:0:切替無し	-	-	
	ISDN	403	ISDN回線発信チャンネル指定	全IFG:0(任意)	-	-
404		契約回線電話番号	未登録	-	-	

データ番号別設定一覧表

設定区分		データ番号	データ番号名称	初期値	C18データ番号対象			
					内線データ	外線データ		
システム コードレス	システム	410	PS 無線書込 CS	1	—	—		
		411	システム呼出符号	—	—	—		
		412	チャンネル切替 FER しきい値	24	—	—		
		413	コードレスレイヤ3 システムタイマ	0:10 秒 1:4 秒 2:30 秒 3:4 秒	—	—		
		414	送信出力制限<V1.1>	0:送信出力制限無し	—	—		
	PS	415	PS データ	未登録	—	—		
		416	PS 認証鍵	未登録	—	—		
		417	エコーキャンセル有無	1:あり	—	—		
	システム	420	PS 着呼回数	003:3 回	—	—		
		423	PS 呼出音種	0:SDT	—	—		
PS	424	PS 着信音	IR:PBX/CES 着信音 SIR:内線着信音 TIR:外線着信音	—	—			
	425	PS シグナル送出	1:あり	—	—			
CS	430	CS 付加 ID データ	7. データ番号別設定詳細参照	—	—			
PS	464	録音品質<V1.2>	1:高品質	—	—			
音声メール		470	メール属性<V1.2>	7. データ番号別設定詳細参照	—	—		
		471	メールボックス番号<V1.2>	MBX 番号>未登録、 がイダンス種別>0:固定がイダンス1 着信代行用件録音>0:録音無し	—	—		
システム 回線	発信	発信	500	方路別回線捕捉モード	1:若番捕捉	—	—	
			501	電話帳プリセットダイヤルモード切替	0:指定なし	—	—	
			503	PB 自動切替回線種別	外線/内線 1:切替可、 専用線/PBX 0:切替不可	—	—	
			504	キャリアアクセスポーズ付加<V1.1>	1:付加あり	—	—	
			505	PB 切替有効ダイヤル番号	00:0120, 01:121, その他未登録	—	—	
			506	外線乗り換え許容	1:許容	—	—	
		着信 規制	508	保留時間別着信規制	1:規制あり	—	—	
	発信 規制	発信 規制	510	国内規制ダイヤル番号	未登録	—	—	
			511	国内許容ダイヤル番号	00:110, 01:119, 02:118	—	—	
			512	サービスクラス	7. データ番号別設定詳細参照	—	—	
			513	国際許容ダイヤル番号	未登録	—	—	
			514	国際規制ダイヤル番号	未登録	—	—	
			515	キャリアアクセスポーズ<V1.1>	06:3 秒	—	—	
			516	直通回線選択規制番号<V1.1>	7. データ番号別設定詳細参照	—	—	
			523	国際認識番号	対地 0:010、その他未登録	—	—	
			ACR	524	転送電話 ACR (方路毎)	1:ACR あり	—	—
				525	ビハインド PBX 回線 ACR (方路毎)	0:ACR なし	—	—
				528	付加特番削除ダイヤル	0:184, 1:186, 2:122	—	—
	オート リピート	530	オートリピート回数	15:15 回	—	—		
	ISDN	531	ISDN 理由表示	0:表示なし	—	—		
		535	即時発信	1:即時発信有り	—	—		
	着信	着信	540	リング(鳴動インタ)種別	7. データ番号別設定詳細参照	—	—	
			541	着信呼識別	0:あり	—	—	
			542	システムプレシグナル(呼出信号)	0:送出なし	—	—	
			545	TIR 認識有無	0:認識なし	—	—	
			548	一般着信話中時の処理	1:一般着信(昼/夜1/夜2共通)	—	—	
			549	均等着信失敗時の処理<V1.3>	0:切断	—	—	
DID	DID	550	付加番号 DID 応答ガイダンス<V1.1>	冒頭ガイダンス 1:固定がイダンス 後続ガイダンス 1:がイダンス1	—	—		
		551	付加番号 DID リライトガイダンス<V1.1>	1:ガイダンス1	—	—		
		552	アナウンス送出中の PB 信号受信<V1.1>	1:受信可	—	—		
		553	付加番号 DID リトライ回数<V1.1>	02:2 回	—	—		

データ番号別設定一覧表

設定区分		データ番号	データ番号名称	初期値	C18データコピー対象		
					内線データ	回線データ	
システム	着信	DID	554	ダイヤルイン対応 SC	全エリア:未登録	—	—
		i・ナンバー	556	i・ナンバー対応 SC	全ポート:未登録	—	—
		システム	558	メロディ選択	保留メロディ:内部音源1 メロディ1:内部音源2 メロディ2:内部音源3 メロディ3:内部音源4	—	—
			559	ユーザガイダンスネーム	ユーザガイダンス01~64 >ガイダンス01~64	—	—
			560	LED表示パターン<V1.4>	0:3色表示	—	—
	専用線	570	専用線接続時の自局認識番号<V1.1>	未登録	—	—	
		571	専用線方路別削除桁数<V1.1>	0:0桁(削除なし)	—	—	
		572	方路別自システム番号有無<V1.1>	0:システム番号なし	—	—	
	MSA	577	MSAグループ番号桁数	0:2桁	—	—	
		578	MSA呼数	001呼	—	—	
		579	MSA捕捉方路	未登録	—	—	
		580	MSA着信鳴動/MSAグループ	(昼/夜1/夜2共通) アナログポート以外1:鳴動あり 着信音種:指定なし	—	—	
		581	MSA発信通知番号	未登録	—	—	
	DGL	582	MSAグループ名称	未登録	—	—	
		583	DGL呼数	001呼	—	—	
		586	DGL着信鳴動/DGLグループ	(昼/夜1/夜2共通) アナログポート以外1:鳴動あり 着信音種:指定なし	—	—	
	内線	587	DGLグループ名称	未登録	—	—	
		590	内線グループ	全内線グループ00	—	—	
	PBX	591	PBX外線アクセスコード	対地番号1、コード0	—	—	
		592	PBX専用線アクセスコード<V1.1>	未登録	—	—	
	回線	代理応答	593	一般着信代理応答許容	0:不許容	—	—
		テナント	597	方路別発信可能回線	方路001:指定あり	—	—
		転送電話	598	転送電話折返し外線	1:指定有り	—	—
		BT検出	599	BT検出確定回数	04:4回	—	—
	回線	600	通話レベル	7.データ番号別設定詳細参照	—	—	
	内線	着信履歴	601	着信記録方式	1:蓄積する	—	—
			602	着信履歴蓄積件数	(共通着信履歴) テナント00:200件 その他:0件 (個別着信履歴)全内線:20件	—	—
		発信	605	キャリア番号付加発信<V1.1>	未登録	—	—
			608	キャリア番号付加発信市外局番<V1.1>	未登録	—	—
		代表	612	内線代表スライド種別<V1.1>	0:スライドなし	—	—
	通話区分	614	キャリア契約情報(キャリア毎)<V1.1>	0:契約なし	—	—	
	表示	615	キャリア番号/名称<V1.1>	7.データ番号別設定詳細参照	—	—	
	祝祭日	616	祝祭日(固定日)	7.データ番号別設定詳細参照	—	—	
		617	祝祭日(変動日)	7.データ番号別設定詳細参照	—	—	
		618	休日	全曜日>0:平日	—	—	
	時刻	621	時計表示種別	0:月/日表示 0:12時間制 2:漢字	—	—	
保留/転送	624	保留音種	0:保留メロディ	—	—		
割込	629	割込通話バースト音送出<V1.1>	0:送出なし	—	—		
電話帳	630	電話帳ダイヤルコード	4:4桁	—	—		
	631	自動交換指定	全共通>全グループ>0:指定無し	—	—		
タイマ	635	各種タイマ	7.データ番号別設定詳細参照	—	—		
回線	636	外線番号表示	1:表示有り	—	—		
課金	650	通話時間種別	0:分割	—	—		

データ番号別設定一覧表

設定区分	データ番号	データ番号名称	初期値	C18 対象		
				内線データ	回線データ	
システム	地震速報	640	地震速報夜間動作	夜間モード1/2：あり	—	—
		641	地震速報ガイダンス	パターン2	—	—
		642	地震速報警報震度	震度4	—	—
		643	地震速報対象放送装置	0：不許容、テナント00	—	—
	課金	650	通話時間種別	0：分割	—	—
	放送装置	657	放送装置運用<V1.3>	全装置>0：放送装置	—	—
		658	放送装置/鍵名称	未登録	—	—
	ドアホン	659	ドアホン名称	未登録	—	—
	放送装置	660	放送チャイム音送出	1：チャイム音あり	—	—
	ドアホン	662	ドアホン別着信鳴動有無	(昼/夜1/夜2共通) 全内線：0：鳴動指定無し	—	—
		663	ドアホン主テナント（ドアホン毎）	00：テナント00	—	—
		664	ドアホン着信音種	0：ドアホン音源	—	—
		665	ドアホンチャイム回数<V1.5>	0：2回	—	—
	放送装置	666	放送同時呼出許容	1：同時呼出可	—	—
		668	放送装置増ベル鳴動有無（DGL 毎）	0：鳴動なし（昼/夜1/夜2 共通）	—	—
		669	放送装置増ベル鳴動有無（ドアホン毎）	0：鳴動なし（昼/夜1/夜2 共通）	—	—
		670	放送装置増ベル鳴動有無（MSA 毎）	0：鳴動なし（昼/夜1/夜2 共通）	—	—
	回線	672	着信拒否設定	0：拒否しない（迷惑電話以外） 3：ガイダンスなし（迷惑電話）	—	—
	シーケンス番号	680	外線/専用線シーケンス番号	立ち上げ時自動割当	—	—
		681	外線/専用線シーケンス番号桁数	1：3桁	—	—
一斉呼出	685	一斉呼出モード<V1.5>	0：音声接続モード	—	—	
発番号	690	発番号対応着信形式	着信形式>0：指定なし 着信音入力>0：指定なし	—	—	
	692	発 ID 受信後バースト監視	1：バースト監視あり	—	—	
	695	一般着信発番号表示	1：表示有り	—	—	
	697	転送発信用発番号通知	1：通知有り	—	—	
	698	発番号展開種別	1：外線・PBX・方路	—	—	
	700	設置先電話番号（自地域市外局含む）	未登録	—	—	
課金	課金	704	一律課金局番	00：104，その他：未登録	—	—
		705	情報課金局番	00：0990/012*0.5s, 01：050/343*0.5s，その他：未登録	—	—
		706	非課金局番	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		707	未応答課金局番	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		711	移動体番号	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		722	ISDN 特殊応答局番	0：104、1：117、その他：未登録	—	—
		750	CF 自動バックアップ	1：自動バックアップする	—	—
保守	753	顧客管理サーバー発報	0：発報しない	—	—	
	754	ユーザ名称	未登録	—	—	
	755	郵便番号	未登録	—	—	
	756	ユーザ所在地	未登録	—	—	
	757	ユーザ連絡先番号	未登録	—	—	
	758	ユーザ連絡先番号（FAX）	未登録	—	—	
	759	ユーザ担当者名	未登録	—	—	
	760	保守者名	未登録	—	—	
	761	保守者所在地	未登録	—	—	
	762	保守者連絡先番号	未登録	—	—	
	763	保守担当者名	未登録	—	—	
	764	工事区分	0：新規設置工事	—	—	
	771	保守モード暗証番号	1234	—	—	
	779	リモート PC ログインパスワード	未登録	—	—	
	780	無操作自動切断時間	3分	—	—	
	783	これだねっと（KNET）接続優先捕捉回線	0：インターネット固定	—	—	
	788	自動ファームアップ機能	0：無効	—	—	
	789	自動ファームアップ更新間隔	3日	—	—	
	790	自動ファームアップ更新時刻設定	2：00	—	—	
	791	増設電源設定	全段>0：実装なし	—	—	
	792	自動ファームアップ更新タイミング<V1.2>	1：システム閉塞後再起動	—	—	

データ番号別設定一覧表

設定区分		データ番号	データ番号名称	初期値	C18 対象	
					内線番号	回線番号
保守	自動時刻補正	795	自動時刻補正有無	0:有効	—	—
		796	SNTP サーバ URL	Ntp3.jst.mfeed.ad.jp	—	—
		798	SNTP サーバアクセス時間	00 時	—	—
IP		800	主装置 IP アドレス/サブネットマスク (メンテナンス用)	IP アドレス:192.168.001.001 サブネットマスク:24	—	—
		802	主装置 IP アドレス/サブネットマスク (IPGW 接続専用ポート用)	IP アドレス:192.168.201.001 サブネットマスク:24	—	—
		804	主装置 IP アドレス/サブネットマスク (PPP 用)	IP アドレス:未登録 サブネットマスク:24	—	—
		806	DHCP 設定	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		807	リモート PC 接続ポート番号	61000	—	—
		809	CPWAVE 接続ポート番号<v1.2>	61001	—	—
		814	FTP アカウント設定	FTP アカウント:IP300 FTP パスワード:admin	—	—
		816	主装置 IP アドレス (マルチキャスト用)	IP アドレス:224.224.000.001	—	—
		817	通話情報管理装置接続ポート番号<v1.4>	60030	—	—
		818	通話情報管理装置有無<v1.4>	0:接続無し	—	—
		819	通話情報管理装置パスワード<v1.4>	未登録	—	—
		820	IPGW IP アドレス/サブネットマスク	IP アドレス:192.168.001.101 サブネットマスク:24	—	—
		822	IPGW/IPAD デフォルトゲートウェイ	IP アドレス:192.168.001.254	—	—
		823	IPAD ネットワーク設定	0:DHCP 取得 IP アドレス:未登録 サブネットマスク:24	—	—
		824	IPGW/IPAD LAN 接続タイプ	0:AUTO/0:全二重設定	—	—
		825	IPAD LAN 側 RTP ポート番号	開始ポート:10020 終了ポート:11931	—	—
		826	VLAN 設定	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		827	TOS 値 (IPAD)	160	—	—
		828	NLP しきい値	9	—	—
		829	エコープロファイル/ゲイン	エコープロファイル SSC レジスタ値:04 NS レジスタ値:08 内部ゲイン レジスタ 1 RIN/ROUT: +3dB/-3dB レジスタ 2 SIN/SOUT: -9dB/+9dB	—	—
		830	VoIP 内線種別	0:未実装	—	—
		831	IP 標準電話機システム ID<v1.1>	未登録	—	—
		832	SIP 端末パスワード	未登録	—	—
		833	ローカルプロトコルポート番号<v1.1>	50000	—	—
		834	SIP 端末サーバポート番号	5061	—	—
		835	VoIP 内線呼出音データ	0:SDT	—	—
		836	マルチキャスト着信用ポート番号	60022	—	—
		837	メロディ着信 IP アドレス<v1.1>	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		838	内線グループ呼出 IP アドレス<v1.1>	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		839	ドアホン着信 IP アドレス	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		842	SIP 端末着信ガードタイム<v1.1>	18 (9 秒)	—	—
		843	SIP 端末自動付加ダイヤル<v1.2>	未登録	—	—
		845	IP 回線選択規制番号	7. データ番号別設定詳細参照	—	—
		850	IP 回線数<IPGW>	0 (未登録)	—	—
		851	IP 回線契約番号<IPGW>	未登録	—	—
852	IP 回線迂回指定<IPGW>	0:迂回しない	—	—		
853	IP 回線着番号チェック<IPGW>	1:チェックする	—	—		
854	ポートマッピング時動作ポート<v1.3>	ポート番号 開始 終了 01 11940~12009 02 12010~12079 ... 18 13130~13199	—	—		

データ番号別設定一覧表

設定区分		データ番号	データ番号名称	初期値	C18 対象	
					内線データ	回線データ
IP	地震速報	860	地震速報サーバ接続有無／エリアコード	接続無効、エリアコード未登録	—	—
		861	地震速報サーバ URL	kreda.jp	—	—
		862	地震速報受信ポート番号	60050	—	—
		863	地震速報サーバヘルスチェック間隔	120 秒	—	—
IP		870	IP 回線ゲートウェイ<8IPGW>	未登録	—	—
		871	IP 回線サブネットマスク<8IPGW>	24	—	—
		872	IP 回線デフォルトゲートウェイ<8IPGW>	未登録	—	—
		873	IP 回線契約番号<8IPGW>	未登録	—	—

コマンド番号別設定一覧表

設定区分	データ番号	データ番号名称	初期値
コマンド	C06	障害情報一表示	
	C07	障害情報一CF出力	0:中止 1:実行
	C08	障害情報一クリア	0:中止 1:実行
	C11	パッケージ閉塞	0:中止 1:実行
	C12	パッケージ増減設	
	C13	パッケージINS	0:中止 1:実行
	C14	内線レイアウト変更	
	C15	リスタート<PH2> (バックアップ立上)	0:中止 1:実行
	C16	CF手動バックアップ	0:中止 1:実行
	C17	CF手動リストア	0:中止 1:実行
	C18	データコピー	
	C19	データ初期設定	
	C20	内線番号自動設定	0:中止 1:実行
	C28	PKG状態表示	スロット番号:00~22指定 物理的なスロット番号は01~19 (19はCCU専用)であるが、ここでは00:CCU、 19:SLU 900(+ )となる。
	C29	SC→IFG表示	
	C38	ワールドスタート (初期化)	0:処理中止 1:処理実行
	C39	ファームウェアバージョンアップ	0:ローカル (CF) 1:リモート (外部FTPサーバ) 0:中止 1:実行
	C40	PSデータ登録	2:初期書き込み (初期表示)
	C41	CDLCテスト	0:中止 1:実行
	C42	CSデータダウンロード	0:中止 1:実行
	C43	CS活性状態表示	
	C44	CFアクセス停止	0:主装置側CF 1:DSP側CF 0:停止処理中止 1:停止処理実行
	C45	録音用CF初期化<v1.2>	0:録音用CFフォーマット 1:録音メッセージ消去 2:MBX毎録音消去 0:中止 1:実行
	C46	顧客情報送信	0:送信処理中止 1:送信処理実行
C47	地震速報テスト	0:中止、1:テスト実行、2:デモ実行	

## 5. 機能番号別データ設定一覧表

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0100	任意外線/専用線発信	1	200	回線毎方路種別 (64方路)
		2	241	リバース検出 (回線毎)
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (外線ボタン:66, 専用線ボタン:66)
		4	635	タイマ (01:桁間, 03:通話時間開始, 40:1stダイヤル受信, 02:発信, 47:PBX桁間, 54:早期ダイヤル送出防止タイミグ)
		5	240	疑似DT送出 (回線毎)
		6	707	未応答課金局番
0101	ルート選択発信	1	300	番号計画 (回線捕捉特番 (方路別) :呼種別10, 外線発信特番:呼種別11)
		2	200	回線毎方路種別 (64方路)
		3	500	方路別回線捕捉モード
		4	104	テナント (32G)
		5	320	発信可能回線 (テナント毎)
		6	106	オートダイヤルボタン設定 (発信ボタン:70, 応答ボタン:71, 外線発信ボタン:20)
		7	322	ISDN/アナログ優先捕捉 (テナント毎)
		8	323	IP回線優先捕捉 (テナント毎)
0102	外線/専用線乗り換え	1	506	外線乗り換え許容
0103	オートポーズ	1	635-23	PBX外線発信ポーズタイマ
		2	591	PBX外線アクセスコード (方路毎)
		3	592	PBX専用線アクセスコード (方路毎)
		4	504	キャリアアクセスポーズ付加 (方路毎)
		5	515	キャリアアクセスポーズ (方路毎)
0104	フレキシブルポーズ	1	635-37	フレキシブルポーズタイマ
0105	リダイヤル/発信履歴	1	300	番号計画 (リダイヤル特番:呼種別15)
		2	106	オートダイヤルボタン設定 (リダイヤルボタン:01)
		3	591	PBX外線アクセスコード (方路毎)
		4	322	ISDN/アナログ優先捕捉 (テナント毎)
		5	104	テナント (32G)
		6	320	発信可能回線 (テナント毎)
		7	323	IP回線優先捕捉 (テナント毎)
		8	125	サブメニュー発信動作
0106	着信履歴	1	300	番号計画 (共通着信履歴特番:呼種別54, 個別着信履歴特番:呼種別55)
		2	591	PBX外線アクセスコード (方路毎)
		3	322	ISDN/アナログ優先捕捉 (テナント毎)
		4	104	テナント (32G)
		5	321	着信可能回線 (テナント毎)
		6	690	発番号対応着信形式 (昼/夜1/夜2) (電話帳番号毎)
		7	602	着信履歴蓄積件数 (テナント毎) (内線毎)
		8	601	着信記録方式 (システム)
		9	324	着信回線種別優先 (テナント毎)
		10	323	IP回線優先捕捉 (テナント毎)
		11	329	着信履歴蓄積先指定
		12	125	サブメニュー発信動作
0107	ワンタッチダイヤル	1	591	PBX外線アクセスコード (方路毎)
		2	322	ISDN/アナログ優先捕捉 (テナント毎)
		3	104	テナント (32G)
		4	320	発信可能回線 (テナント毎)
		5	323	IP回線優先捕捉 (テナント毎)
		6	116	ワンタッチプリセットモード

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0108	共通電話帳/個別電話帳	1	300	番号計画（共通電話帳発信特番:呼種別16）
		2	119	システム管理電話機（内線毎）
		3	106	オートダイヤルボタン設定（電話帳ボタン:02）
		4	630	電話帳ダイヤルコード（共通）
		5	501	電話帳プリセットダイヤルモード切替
		6	591	PBX外線アクセスコード（方路毎）
		7	698	発番号展開種別
		8	690	発番号対応着信形式(昼/夜1/夜2)（電話帳番号毎）
		9	192	通話中発番号表示（内線毎）
		10	315	共通電話帳指定（テナント毎）
		11	125	サブメニュー発信動作
0109	オートリピート	1	106	オートダイヤルボタン設定（リダイヤルボタン:01）
		2	530	オートリピート回数
		3	635	タイマ（33:オートリピート間隔, 07:オートリピート呼出）
		4	104	テナント（32G）
		5	320	発信可能回線（テナント毎）
		6	300	番号計画（リダイヤル:呼種別15）
0110	プリセットダイヤル	1	501	電話帳プリセットダイヤルモード切替
		2	635-19	プリセット発信解放タイマ
0111	オフフック外線自動捕捉	1	115	オフフック自動ダイヤル番号（内線毎）
		2	635-18	オフフック自動ダイヤル開始タイマ
0112	指定外線/専用線捕捉	1	300	番号計画（指定外線捕捉特番:呼種別13）
		2	680	外線/専用線シーケンス番号
		3	681	外線シーケンス番号桁数
0113	MSAボタン回線捕捉	1	578	MSA呼数（00~63G）
		2	579	MSA捕捉方路（00~63）
		3	581	MSA発信通知番号（00~63）
		4	106	オートダイヤルボタン設定（MSAボタン:69）
		5	320	発信可能回線（テナント毎）
		6	300	番号計画（MSA捕捉特番:呼種別14）
		7	190	方路毎捕捉MSA（内線毎）
0114	発番号通知/非通知切替	1	154	外線発信番号通知（内戦毎）
		2	106	オートダイヤルボタン設定（通知/非通知ボタン:23）
		3	528	付加特番削除ダイヤル
		4	281	回線毎発番号通知（回線毎）
0115	キャリア選択発信<v1.1>	1	300	番号計画（キャリア選択特番:呼種別21）
		2	106	オートダイヤルボタン設定（キャリア選択ボタン:21）
		3	615	キャリア番号/名称
		4	614	キャリア契約情報（キャリア毎）（※区分毎回線指定, 回線毎契約指定）
		5	323	IP回線優先捕捉（テナント毎）
		6	500	方路別回線捕捉モード
		7	322	ISDN/アナログ優先捕捉（テナント毎）
		8	504	キャリアアクセスポーズ付加（方路毎）

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0116	キャリア番号付加発信 <V1.1>	1	605	キャリア番号付加発信（※利用可番号，利用キャリア番号，利用有無，優先捕捉有無）
		2	608	キャリア番号付加発信市外局番
		3	700	設置先電話番号
		4	515	キャリアアクセスポーズ（方路毎）
		5	504	キャリアアクセスポーズ付加（方路毎）
		6	327	ACR利用規制（テナント毎）
		7	300	番号計画（ACR停止特番：呼種別18，キャリア選択特番：呼種別12）
		8	106	オートダイヤルボタン設定（ACR停止ボタン：22，キャリア選択ボタン：21）
		9	523	国際認識番号
		10	704	一律課金局番
		11	705	情報課金局番
		12	706	非課金局番
		13	711	移動体番号
		14	615	キャリア番号/名称
		15	614	キャリア契約情報（キャリア毎）（※区分毎回線指定，回線毎契約指定）
		16	323	IP回線優先捕捉（テナント毎）
		17	322	ISDN/アナログ優先捕捉モード（テナント毎）
		18	328	キャリア名称表示有無（テナント毎）
		19	525	ビハインドPBX回線ACR（方路毎）
0117	直通回線発信<V1.1>	1	200	回線毎方路種別
		2	516	直通回線選択規制番号
		3	323	IP回線優先捕捉（テナント毎）
		4	322	ISDN/アナログ優先捕捉モード（テナント毎）
0118	即時発信	1	535	即時発信
0121	フッキング信号送出	1	300	番号計画（フッキング特番：呼種別31）
		2	106	オートダイヤルボタン設定（フッキングボタン：19）
		3	209	フッキング信号送出
		4	208	回線別フッキング送出時間
0200	任意外線応答	1	104	テナント（内線毎）
		2	220	着信形式（昼/夜1/夜2）（回線/仮想SC毎）
		3	321	着信可能回線（昼/夜1/夜2）（テナント毎）
		4	106	オートダイヤルボタン設定（外線ボタン：66，応答ボタン：71）
0201	オフフック外線自動応答	1	130	オフフック自動応答（内線毎）
		2	224	外線別オフフック自動応答
		3	131	非鳴動着信呼種表示（内線毎）
		4	223	鳴動電話機（昼/夜1/夜2）（回線/仮想SC毎）
		5	220	着信形式（昼/夜1/夜2）（回線/仮想SC毎）
		6	321	着信可能回線（昼/夜1/夜2）（テナント毎）
		7	106	オートダイヤルボタン設定（通話表示ボタン：13）
0202	ダイレクト・グループ・ライン(DGL)	1	300	番号計画（DGLグループ呼び特番：呼種別45）
		2	583	DGL呼数（DGL毎）
		3	586	DGL着信鳴動/DGLグループ（DGL毎）
		4	558	メロディ選択
		5	668	放送装置増ベル鳴動有無（DGL毎）（放送装置毎）
		6	103	内線サービスクラス
		7	512	サービスクラス
		8	106	オートダイヤルボタン設定（DGLボタン：68，通話表示ボタン：13）
		9	130	オフフック自動応答（内線毎）
		10	587	DGLグループ名称（DGL毎）

機能 No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0203	MSA着信	1	300	番号計画 (MSAグループ呼び特番:呼種別48)
		2	578	MSA呼数 (MSA毎)
		3	580	MSA着信鳴動/MSAグループ (MSA毎)
		4	558	メロディ選択
		5	579	MSA捕捉方路 (MSA毎)
		6	670	放送装置増ベル鳴動有無 (MSA毎) (放送装置毎)
		7	103	内線サービスクラス
		8	512	サービスクラス
		9	106	オートダイヤルボタン設定 (MSAボタン:69, 通話表示ボタン:13)
		10	130	オフフック自動応答 (内線毎)
		11	582	MSAグループ名称 (MSA毎)
		12	577	MSAグループ番号桁数
0204	外線別鳴動先指定	1	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		2	223	鳴動電話機 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		3	131	非鳴動着信呼種表示
		4	236	放送装置増ベル鳴動 (昼/夜1/夜2) (回線-放送装置毎)
0205	外線着信呼識別	1	541	着信呼識別
		2	545	TIR認識有無
		3	635	タイム (43:バーストON監視時間, 44:バーストOFF監視時間, 35:バースト監視時間)
0206	呼出信号識別	1	541	着信呼識別
		2	545	TIR認識有無
		3	540	呼種別リング (鳴動インタ) 種別 0公衆 1IR 2SIR 3TIR 4内線 5 専用線 6DIL/DID
		4	137	FAX/データ系鳴動IR指定 (内線毎)
0207	外線別着信音選択	1	554	ダイヤルイン対応 SC (群毎) (エリア毎)
		2	556	i・ナンバー対応 SC (ポート1~9) (IFG 毎)
		3	227	外線別着信音種 (回線/仮想SC毎)
		4	558	メロディ選択
0208	発番号別着信音選択	1	104	テナント (内線毎)
		2	690	発番号対応着信形式 (発番号別着信音指定 (発番号毎))
		3	227	外線別着信音種 (回線/仮想SC毎)
		4	315	共通電話帳指定 (テナント毎)
		5	558	メロディ選択
0211	通話中外線着信音送出	1	134	話中着信音 (内線毎)
		2	223	鳴動電話機 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		3	586	DGL着信鳴動/DGLグループ (DGL 毎)
		4	580	MSA着信鳴動/MSAグループ (MSA 毎)
		5	662	ドアホン別着信鳴動 (ドアホン 毎)
		6	590	内線グループ
0212	昼/夜モード手動切替	1	104	テナント (内線毎)
		2	219	SC主テナント (回線/仮想SC 毎)
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (夜間切替ボタン:05)
0213	昼/夜モード自動切替	1	219	SC主テナント (回線/仮想SC 毎)
		2	616	祝祭日 (固定日)
		3	617	祝祭日 (変動日)
		4	618	休日
		5	335	休日パターン指定 (テナント 毎)
		6	336	夜間自動切替時間帯 (テナント 毎)
0214	外線別個別着信 (DIL)	1	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC 毎)
		2	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント 毎)

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0215	付加番号DID<v1.1>	1	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		2	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		3	550	付加番号DID応答ガイダンス
		4	551	付加番号DIDリトライガイダンス
		5	552	アナウンス送出中の PB 信号受信
		6	553	付加番号DIDリトライ回数
		7	635	タイマ (09:付加番号DID 1stダイヤル受信タイマ, 10:付加番号DID 一般着信解放タイマ, 11:付加番号DID ダイヤル受信桁間タイマ)
		8	230	DID許容特番
0216	着サブアドレスDID	1	229	着サブアドレス許容
		2	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		3	230	DID許容特番
0217	PBXダイヤルイン	1	554	ダイヤルイン対応 SC (群毎) (エリア毎)
		2	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想 SC 毎)
		3	226	PBダイヤルイン契約桁数 (回線毎)
		4	228	ダイヤルイン群番号 (回線毎)
		5	280	発番号受信有無
		6	227	外線別着信音種 (回線/仮想SC毎)
		7	558	メロディ選択
		8	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
0218	着番号DID	1	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		2	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想 SC 毎)
		3	228	ダイヤルイン群番号 (回線毎)
		4	227	外線別着信音種 (回線/仮想SC毎)
		5	558	メロディ選択
		6	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
0219	i・ナンバー	1	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		2	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想 SC 毎)
		3	227	外線別着信音種 (回線/仮想SC毎)
		4	558	メロディ選択
		5	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		6	282	発番号DID許容 (回線/仮想SC毎)

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0220	発信番号DID	1	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		2	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		3	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		4	280	発信番号受信有無 (回線毎)
		5	690	発信番号対応着信形式 ((昼/夜1/夜2) (電話帳登録番号毎))
		6	282	発信番号DID許容 (回線/仮想SC毎)
		7	315	共通電話帳指定 (テナント毎)
		8	219	SC主テナント (回線/仮想SC毎)
		9	692	発ID受信後バースト監視
		10	698	発信番号展開種別
0221	簡易ACD<v1.3>	1	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		2	590	内線グループ
		3	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		4	549	均等着信失敗時の処理
		5	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		6	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		7	635-08	均等着信スライドタイム
0223	着信拒否 (迷惑電話拒否)	1	104	テナント (内線毎)
		2	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		3	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		4	219	SC主テナント (回線/仮想SC毎)
		5	106	オートダイヤルボタン設定 (着信拒否ボタン:36)
		6	672	着信拒否設定 (非通知/公衆電話/表示圏外/迷惑電話番号) (テナント毎)
		7	601	着信記録方式 (システム)
0224	代理応答	1	300	番号計画 (自テナント代理応答:呼種別21、自テナントGrp代理応答:呼種別22)
		2	104	テナント (内線毎)
		3	310	テナントグループ (テナント毎)
		4	103	内線サービスクラス
		5	512	サービスクラス
		6	106	オートダイヤルボタン設定 (代理応答ボタン:03)
		7	593	一般着信代理応答許容 (テナント毎)
		8	313	代理応答許容 (テナント毎)
0225	テナント指定代理応答	1	300	番号計画 (テナント指定代理応答特番:呼種別23)
		2	103	内線サービスクラス
		3	512	サービスクラス
		4	106	オートダイヤルボタン設定 (指定代理応答ボタン:04)
		5	593	一般着信代理応答許容
		6	313	代理応答許容 (テナント毎)
0300	自己保留	1	106	オートダイヤルボタン設定 (自己保留ボタン:08)
		2	635-27	保留警告音送出開始時間
0301	システム保留	1	635-27	保留警告音送出開始時間
		2	300	番号計画 (指定外線捕捉特番:呼種別13、パーク保留/応答特番:呼種別20)
0302	パーク保留	1	300	番号計画 (パーク保留/応答特番:呼種別20)
		2	312	パーク保留許容 (テナント毎) (パーク番号毎)
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (パークボタン:72)
		4	635-27	保留警告音送出開始時間
0303	保留メロディ	1	624	保留音種
		2	558	メロディ選択
0304	外部保留音	1	624	保留音種
		2	558	メロディ選択
0305	長時間保留警報	1	635-27	保留警告音送出開始時間
0306	ダイヤル転送 (相手応答後転送)	1	123	オンフック転送 (内線毎)
		2	106	オートダイヤルボタン設定 (手動転送ボタン:07)
0307	強制転送...(呼出中転送)... <v1.1>	1	123	オンフック転送 (内線毎)
		2	106	オートダイヤルボタン設定 (手動転送ボタン:07)
		3	635-13	強制転送無応答タイム (テナント毎)

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0308	チェンジオーバー (交互打合せ通話)	1	106	オートダイヤルボタン設定 (自己保留ボタン:08)
		2	123	オンフック転送 (内線毎)
0309	着信ウェイトメッセージ <V1.1>	1	635	タイマ (24:着信ウェイトガイダンス送出タイマ, 27:保留警告音送出開始時間)
		2	106	オートダイヤルボタン設定 (着信ウェイトボタン:09)
		3	326	着信ウェイトガイダンス (テナント毎)
0310	不在転送<V1.0/V1.1>	1	106	オートダイヤルボタン設定 (不在ボタン:12)
		2	598	転送電話折返し外線 (回線毎)
		3	241	リバース検出 (回線毎)
		4	635	タイマ (15:転送先無応答外線解放タイマ, 30:転送電話最大通話時間)
		5	697	転送発信用発番号通知
		6	597	方路別発信可能回線
		7	119	システム管理電話機 (内線毎)
		8	470	メール属性 (05:メッセージ録音最小時間音指定)
		9	109	内線呼出トーン/音声
		10	698	発番号展開種別
		11	590	内線グループ
		12	331	転送元ガイダンス (テナント毎)
		13	332	転送先ガイダンス (テナント毎)
		14	300	番号計画 (PB保守特番:呼種別51)
		15	771	保守モード暗証番号 (システム)
		16	524	転送電話ACR (方路毎)
0311	話中転送	1	241	リバース検出 (回線毎)
		2	597	方路別発信可能回線
		3	119	システム管理電話機 (内線毎)
		4	109	内線呼出トーン/音声
		5	590	内線グループ
		6	300	番号計画 (PB保守特番:呼種別51)
		7	771	保守モード暗証番号 (システム)
0312	無応答転送<V1.0/V1.1>	1	598	転送電話折返し外線 (回線毎)
		2	241	リバース検出 (回線毎)
		3	635	タイマ (15:転送先無応答外線解放タイマ, 30:転送電話最大通話時間, 56:VM応答後回線解放タイマ)
		4	697	転送発信用発番号通知
		5	597	方路別発信可能回線
		6	119	システム管理電話機 (内線毎)
		7	470	メール属性 (05:メッセージ録音最小時間)
		8	109	内線呼出トーン/音声
		9	590	内線グループ
		10	331	転送元ガイダンス (テナント毎)
		11	332	転送先ガイダンス (テナント毎)
		12	300	番号計画 (PB保守特番:呼種別51)
		13	771	保守モード暗証番号 (システム)
		14	524	転送電話ACR (方路毎)
0313	転送ガイダンス送出<V1.1>	1	331	転送元ガイダンス (テナント毎)
		2	332	転送先ガイダンス (テナント毎)

機能 No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0314	一般系着信無応答転送<VI.3>	1	321	着信可能回線 (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		2	104	テナント (内線毎)
		3	680	外線/専用線シーケンス番号 (回線毎)
		4	681	外線/専用線シーケンス番号桁数
		5	583	DGL 呼数 (DGL 毎)
		6	586	DGL 着信鳴動/DGL グループ (DGL 毎)
		7	578	MSA 呼数 (MSA 毎)
		8	580	MSA 着信鳴動/MSA グループ (MSA 毎)
		9	598	転送電話折返し外線 (回線毎)
		10	241	リバース検出 (回線毎)
		11	635	タイム (15:転送先無応答外線解放タイム, 30:転送電話最大通話時間, 56:VM 応答後回線解放タイム)
		12	691	転送発信用発番号通知
		13	597	方路別発信可能回線
		14	470	メール属性 (メッセージ録音最小時間)
		15	331	転送元ガイダンス (テナント毎)
		16	332	転送先ガイダンス (テナント毎)
		17	300	番号計画 (PB 保守特番:呼種別 51)
		18	524	転送電話 ACR (方路毎)
0400	内線通話	1	300	番号計画 (内線番号:呼種別01)
		2	100	内線番号
		3	110	DP/PB指定
		4	106	オートダイヤルボタン設定 (DSSボタン:52)
0401	内線音声呼出	1	109	内線呼出トーン/音声 (内線毎)
0402	オンフックダイヤル			
0403	内線サービスクラス	1	103	内線サービスクラス (内線毎)
		2	512	サービスクラス
		3	511	国内許容ダイヤル番号
		4	510	国内規制ダイヤル番号
		5	513	国際許容ダイヤル番号
		6	514	国際規制ダイヤル番号
		7	523	国際認識番号
		8	591	PBX外線アクセスコード
		9	711	移動体番号
0404	内線クラス切替	1	104	テナント (32G)
		2	105	内線切替クラス (内線毎)
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (クラス切替ボタン:06)
		4	333	クラス切替曜日 (テナント毎), クラス切替時間 (テナント毎), クラス切替祝祭日指定 (テナント毎), クラス切替休日指定 (テナント毎)
		5	616	祝祭日 (固定日)
		6	617	祝祭日 (変動日) (システム)
		7	618	休日 (システム)
		8	335	テナント毎休日パターン指定
0405	内線代表<VI.1>	1	612	内線代表スライド種別 (内線グループ毎)
		2	590	内線グループ
0406	内線ワンタッチコール	1	106	オートダイヤルボタン設定 (自己保留ボタン:08, ワンタッチボタン:51)
0407	DSS/BLF	1	106	オートダイヤルボタン設定 (DSSボタン:52, 自己保留ボタン:09)
0408	プリセット内線発信	1	635-19	プリセット発信解放タイム
0409	内線グループ呼出 (音声/信号)	1	300	番号計画 (グループ音声呼び特番:呼種別40, グループ信号呼び特番:呼種別41, グループ呼出応答特番:呼種別42)
		2	590	内線グループ

機能 No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0410	割り込み通話<V1.1>	1	300	番号計画（内線割り込み通話特番:呼種別33, 指定外線捕捉特番, 呼種別13）
		2	106	オートダイヤルボタン設定（手動転送ボタン:07, 通話表示ボタン:13, 会議ボタン:14）
		3	314	割込許容
		4	629	割込通話バースト音送出種別
		5	107	割込通話許容
		6	108	被通話割込許容
0412	会議通話<V1.1>	1	300	番号計画（会議特番:呼種別32）
		2	106	オートダイヤルボタン設定（会議ボタン:14, 自己保留ボタン:08）
0413	通話モニタ<V1.4>	1	106	オートダイヤルボタン設定（通話モニタボタン:16）
		2	314	割込/通話モニタ許容
		3	121	通話モニタバースト音送出有無
		4	117	通話モニタ許容内線
		5	118	被通話モニタ許容内線
		6	111	相手応答時PB切替
0414	内線キャッチホン<V1.3>	1	106	オートダイヤルボタン設定（自己保留ボタン:08）
		2	135	通話中着信許容（内線毎）
		3	635-34	継続バースト間隔
0415	通話中着信	1	300	番号計画（通話中着信特番:呼種別30）
		2	106	オートダイヤルボタン設定（自己保留ボタン:08）
		3	135	通話中着信許容
		4	635-34	継続バースト間隔<V1.3>
0416	放送呼出	1	300	番号計画（放送特番:呼種別43）
		2	660	放送チャイム音送出（システム）
		3	635-48	放送装置起動プレポーズタイマ
		4	666	放送同時呼出許容
		5	657	放送装置運用<V1.3>
		6	658	放送装置/鍵名称
0417	放送応答	1	300	番号計画（放送応答特番:呼種別44）
		2	666	放送同時呼出許容
		3	657	放送装置運用<V1.3>
0418	オフフック自動ダイヤル	1	115	オフフック自動ダイヤル番号
		2	635-18	オフフック自動ダイヤル開放タイマ
0419	ホットライン	1	115	オフフック自動ダイヤル番号
		2	635-18	オフフック自動ダイヤル開放タイマ
0420	個別アラーム	1	106	オートダイヤルボタン設定（個別アラームボタン:25）
0422	プレシグナル	1	542	システムプレシグナル（呼出信号）
0423	着信音選択	1	133	内線別着信音種（内線）
		2	558	メロディ選択
0424	ユーザガイダンス録音<V1.1>	1	119	システム管理電話機（内線毎）
		2	550	付加番号DID応答ガイダンス
		3	551	付加番号DIDリトライガイダンス
		4	559	ユーザガイダンスネーム
0425	内線電話帳<V1.1>	1	119	システム管理電話機（内線毎）
		2	101	内線ネーム
0426	シリーズコール （リセットコール）			
0427	内線DGL呼出<V1.4>	1	300	番号計画（DGLグループ呼び特番:呼種別45）
		2	583	DGL呼数（DGL毎）
		3	106	オートダイヤルボタン設定（DGLボタン:68）
		4	130	オフフック自動応答（内線毎）
		5	587	DGLグループ名称（DGL毎）
		6	586	DGL着信鳴動/DGLグループ（DGL毎）
0500	スピーカ受話			
0501	受話音量調整			
0502	スピーカ音量調整			

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0503	着信音量調整			
0504	LCDコントラスト調整			
0505	側音量の調整			
0506	マイク音量調整			
0507	ボタン押下音切替え			
0508	内線ハンズフリー応答	1	106	オートダイヤルボタン設定 (マイクボタン:49)
0510	ヘッドセット接続			
0512	高音量ベル接続			
0513	ハウラ音送出<v1.3>	1	635-28	ハウラ音送出タイマ
0600	各種回線収容	1	200	回線每方路種別
		2	204	回線信号種別
		3	241	リバース検出 (回線毎)
		4	240	擬似DT送出 (回線毎)
		5	591	PBX外線アクセスコード (方路毎)
		6	592	PBX専用線アクセスコード (方路毎)
		7	635	タイマ (36:オートドロップアウト監視時間, 35:バースト監視時間, 37:フレキシブルポーズタイマ, 43:バーストON監視時間, 44:バーストOFF監視時間, 46:外線解放ガードタイマ)
		8	270	回線収容
		9	600	通話レベル設定
0602	専用線接続<v1.1>	1	200	回線每方路種別
		2	204	回線信号種別
		3	300	番号計画 (回線捕捉特番:呼種別10)
		4	597	方路別発信可能回線
		5	240	擬似DT送出 (回線毎)
		6	570	専用線接続時の自局認識番号
		7	572	方路別自システム番号有/無
		8	571	専用線方路別削除桁数
0603	専用線閉番号接続<v1.1>	1	200	回線每方路種別
		2	204	回線信号種別
		3	300	番号計画 (専用線閉番号:呼種別02)
		4	597	方路別発信可能回線
		5	570	専用線接続時の自局認識番号
		6	572	方路別自システム番号有/無
		7	571	専用線方路別削除桁数
		8	260	専用線ウィック回線有無 (回線毎)
		9	635	タイマ (39:専用線ウィック送出時間幅, 45:専用線プレポーズタイマ)
0604	公二公接続<v1.1>	1	300	番号計画 (回線捕捉特番(方路別):呼種別10)
		2	597	方路別発信可能回線
		3	635	タイマ (30:転送電話最大通話時間, 15:転送先未応答外線解放タイマ)
		4	106	オートダイヤルボタン設定 (手動転送ボタン:07)
		5	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		6	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		7	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		8	241	リバース検出 (回線毎)
		9	697	転送発信用発番号通知
0605	専二公接続<v1.1>	1	597	方路別発信可能回線
		2	635-30	転送電話最大通話時間
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (手動転送ボタン:07)
		4	697	転送発信用発番号通知
		5	123	オンフック転送

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0606	公二専接続<V1.1>	1	597	方路別発信可能回線
		2	635	タイマ (30:転送電話最大通話時間, 15:転送先未応答外線解放タイマ)
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (手動転送ボタン:07)
		4	554	ダイヤルイン対応SC (群毎)(エリア毎)
		5	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		6	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想 SC 毎)
		7	697	転送発信用発番号通知
		8	123	オンフック転送
0607	公二専一公接続<V1.1>	1	597	方路別発信可能回線
		2	635-30	転送電話最大通話時間
		3	106	オートダイヤルボタン設定 (手動転送ボタン:07)
		4	554	ダイヤルイン対応SC (群毎)(エリア毎)
		5	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		6	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想 SC 毎)
0608	IP/ISDN電話自動交換 (閉番号) <V1.4>	1	300	番号計画 (共通電話帳発信特番:呼種別16, 拡張内線番号特番:呼種別:03)
		2	182	拡張内線番号
0609	IP/ISDN電話自動交換<V1.3>	1	631	自動交換指定<V1.3> (共通電話帳毎) (電話帳グループ毎)
		2	315	共通電話帳指定 (テナント毎)
		3	219	SC主テナント (回線/仮想 SC 毎)
		4	554	ダイヤルイン対応 SC (群毎) (エリア毎)
		5	556	i・ナンバー対応 SC (ポート1~9) (IFG 毎)
		6	698	発番号展開種別
		7	503	PB自動切替回線種別
		8	111	相手応答時 PB 切替
0610	PBエンド・ツー・エンド通信	1	503	PB自動切替回線種別
		2	111	相手応答時PB切替
		3	112	発信時PB切替
		4	635-31	PB通信時自動ポーズ
		5	106	オートダイヤルボタン設定 (PB信号ボタン:17)
		6	505	PB切替有効ダイヤル番号
0611	ドアホン着信	1	300	番号計画 (自テナント代理応答特番:呼種別21)
		2	593	一般系着信代理応答許容
		3	662	ドアホン別着信鳴動有無 (内線グループ毎)
		4	663	ドアホン主テナント (ドアホン毎)
		5	664	ドアホン着信音種 (ドアホン毎)
		6	659	ドアホン名称
		7	106	オートダイヤルボタン設定 (ドアホンボタン:67)
		8	669	放送装置増ベル鳴動有無 (ドアホン毎)
		9	635-58	ドアホン鳴動音送出プレポーズタイマ
		10	590	内線グループ
		11	665	ドアホンチャイム回数 (ドアホン毎) <V1.5>
0612	ドアホン呼出	1	300	番号計画 (ドアホンアクセス特番:呼種別47)
		2	106	オートダイヤルボタン設定 (ドアホンボタン:67)
		3	659	ドアホン名称
0614	テレビドアホン接続			
0615	電気錠接続<V1.3>	1	106	オートダイヤルボタン設定 (解錠ボタン:73)
		2	635-38	電気錠解錠リレーメーク時間
		3	657	放送装置運用
		4	658	放送装置/鍵名称

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0616	遠隔設定操作 (PB保守) <V1.1>	1	300	番号計画 (PB保守特番:呼種別51)
		2	169	遠隔設定パスワード (内線毎) <V1.3>
		3	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		4	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		5	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線/仮想SC毎)
		6	229	着サブアドレス許容
		7	690	発番号対応着信先 (発番号毎)
		8	635-20	リモート切断タイマ
0617	コンパクトフラッシュ (CF) 収容			
0618	BT検出外線切断<V1.1>	1	599	BT検出確定回数
		2	635-61	BT_ON 検出最小値<V1.3>
		3	635-62	BT_ON 検出最大値<V1.3>
		4	635-63	BT_OFF 検出最小値<V1.3>
		5	635-64	BT_OFF 検出最大値<V1.3>
0619	通話レベルの設定	1	600	通話レベル
0620	情報通知系サービス受信 機能	1	280	発番号受信有無 (回線毎)
		2	541	着信呼識別 (システム)
		3	186	モデム信号送信有無
0622	回線使用制限	1	106	オートダイヤルボタン設定 (回線制限ボタン:37)
0624	システムカレンダー	1	616	祝祭日 (固定日) (システム毎)
		2	617	祝祭日 (変動日) (システム毎)
		3	618	休日
		4	335	テナント毎休日パターン指定
0626	一斉呼出<V1.5>	1	106	オートダイヤルボタン設定
		2	300	番号計画
		3	139	一斉呼出対象内線
		4	685	一斉呼出モード
		5	540	リング種別
		6	635	タイマ (16:一斉呼出終了タイマ)
0627	緊急地震速報	1	860	地震速報サーバ接続有無/エリアコード
		2	861	地震速報サーバURL
		3	862	地震速報受信ポート番号
		4	863	地震速報サーバヘルスチェック間隔
		5	159	地震速報表示 (内線毎)
		6	640	地震速報夜間時動作
		7	642	地震速報警報震度
		8	641	地震速報ガイダンス
		9	643	地震速報対象放送装置 (装置毎)
0650	単独電話機収容	1	110	DP/PB指定
		2	635	タイマ (25:フッキング監視タイマ, 26:ヒットタイミング, 01:桁間タイマ, 03:通話時間開始タイマ)
		3	113	内線DT種別 (内線毎)
		4	137	FAX/データ系鳴動IR
0651	漢字表示電話機収容			
0652	バックライト電話機収容			
0655	アナログポート 単独電話機収容	1	635	タイマ (25:フッキング監視タイマ, 26:ヒットタイミング, 01:桁間タイマ, 03:通話時間開始タイマ)
		2	113	内線DT種別
		3	137	FAX/データ系鳴動IR指定
0700	時計表示	1	119	システム管理電話機 (内線毎)
		2	621	時計表示種別 (時刻表示種別, 表示種別)
0701	自内線番号名称表示			
0703	ダイヤルモニタ	1	615	キャリア番号/名称

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0704	呼種表示	1	636	外線番号表示
0705	外線状態3色/2色表示	1	106	オートダイヤルボタン設定 (外線ボタン:66, 専用線ボタン:66)
		2	560	LED表示パターン
0706	通話時間表示	1	650	通話時間種別
0707	最終料金表示<v1.3>	1	158	ISDN最終料金表示 (内線毎)
0708	不在表示			
0709	ISDN相手状態表示	1	531	ISDN理由表示 (システム)
0710	相手内線名称表示			
0711	電話帳ネーム表示	1	501	電話帳プリセットダイヤルモード切替
0712	ナンバーディスプレイ	1	280	発信番号受信指定 (回線毎)
		2	150	着信時発信番号/発信サブ表示 (内線毎)
		3	186	モデム信号送信有無 (内線毎)
		4	192	通話中発信番号表示 (内線毎)
		5	695	一般着発信番号表示 (システム)
		6	698	発信番号展開種別
0713	ネームディスプレイ	1	280	発信番号受信有無 (回線毎)
		2	150	着信時発信番号/発信サブ表示 (内線毎)
		3	192	通話中発信番号表示 (内線毎)
		4	695	一般着発信番号表示 (システム)
		5	186	モデム信号送信有無 (内線毎)
0714	発信サブアドレス表示	1	150	着信時発信番号/発信サブ表示 (内線毎)
0715	会議者/通話モニター番号表示<v1.5>			
0716	発信者情報手動表示<v1.1>	1	106	オートダイヤルボタン設定 (着信表示ボタン:26, 外線ボタン:66, 専用線ボタン:66, DGLボタン:68, MSAボタン:69)
0717	外線使用者内線番号表示	1	106	オートダイヤルボタン設定 (外線ボタン:66, 専用線ボタン:66)
0718	通話録音状態表示<v1.2>	1	106	オートダイヤルボタン設定 (通話録音ボタン:29)
0719	メッセージ状況表示<v1.2>	1	106	オートダイヤルボタン設定 (メールボックスボタン:53)
0720	メッセージ状態表示<v1.2>			
0721	メールサービス操作状況表示<v1.2>			
0722	メールサービス操作方法ガイダンス<v1.2>			
0723	未応答着信(個別)お知らせ<v1.4>	1	138	未応答着信お知らせ表示
0900	音声メール機能<v1.2>	1	300	番号計画 (拡張内線番号:呼種別03)
		2	182	拡張内線番号 (内線番号, メールボックス)
		3	471	メールボックス番号登録 (内線/拡張)
		4	470	メール属性 (05:メッセージ録音最小時間, 04:メッセージ録音最大時間)
		5	106	オートダイヤルボタン設定 (通話録音ボタン:29, 録音終了ボタン:31, メール登録ボタン:30, メールボックスボタン:53, 外線転送ボタン:60)
		6	316	テナント毎MBX設定 (テナント毎)
		7	600	通話レベル
0901	通話録音<v1.2>	1	106	オートダイヤルボタン設定 (通話録音ボタン:29, 録音終了ボタン:31, メールボックスボタン:53)
		2	471	メールボックス番号登録 (内線/拡張)
		3	470	メール属性 (05:メッセージ録音最小時間, 04:メッセージ録音最大時間)
		4	464	録音品質
		5	600	通話レベル
0902	通話録音中保留<v1.2>			
0904	外線着信代行<v1.2>	1	471	メールボックス番号登録 (内線/拡張)
		2	554	ダイヤルイン対応SC (群毎) (エリア毎)
		3	556	i・ナンバー対応SC (ポート1~9) (IFG毎)
		4	220	着信形式 ( (昼/夜1/夜2) (SC毎), 着信代行<v1.2>)
		6	600	通話レベル
		7	464	録音品質
		8	635-56	VM応答後外線解放タイマ

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
0920	メールサービス<V1.2>	1	471	メールボックス番号登録（内線/拡張）
		2	300	番号計画（メールアクセス特番:呼種別46）
		3	106	オートダイヤルボタン設定（メール登録ボタン:30, メールボックスボタン:53）
		4	554	ダイヤルイン対応SC（群毎）（エリア毎）
		5	556	i・ナンバー対応SC（ポート1~9）（IFG毎）
		6	220	着信形式（昼/夜1/夜2）（SC毎）
		7	229	着サブアドレス許容
		8	464	録音品質
0921	ワンタッチログオン<V1.2>			
0922	パスワード管理<V1.2>			
0923	パスワード初期化<V1.2>			
0925	メッセージ再生<V1.2>			
0932	クイックメッセージ録音<V1.2>	1	464	録音品質
0935	ログオフ<V1.2>			
0936	留守番機能<V1.2>	1	106	オートダイヤルボタン設定（留守番ボタン:10、外線転送ボタン:36、メールボックス:53）
		2	471	メールボックス番号
		3	316	テナント毎MBX設定（テナント毎）
		4	317	留守転送起動時間タイマ（テナント毎）
		5	220	着信形式（昼/夜1/夜2）（SC毎）
		6	616	祝祭日指定（固定日）（エリア毎）
		7	617	祝祭日指定（変動日）（エリア毎）
		8	618	休日指定（エリア毎）
		9	219	SC主テナント設定（回線/仮想SC毎）
		10	321	着信可能回線（テナント毎）
		11	598	転送電話折返し外線（外線毎）
		12	241	リバース検出（回線毎）
		13	635-15	転送先無応答外線解放タイマ
		14	635-30	転送電話最大通話時間
		15	635-56	VM応答後回線解放タイマ
		16	697	転送発信用発番号通知
		17	597	方路別発信可能回線
		18	119	システム管理電話機（内線毎）
		19	331	転送元ガイダンス（テナント毎）
		20	332	転送先ガイダンス（テナント毎）
		21	464	録音品質
		22	182	拡張内線番号
		23	470	メール属性（05:メッセージ録音最小時間, 04:メッセージ録音最大時間）
		24	251	留守番モードグループ指定
		25	252	外線転送モードグループ指定
1000	Bチャンネル交渉			
1001	発サブアドレス付加	1	153	発サブアドレス付加（内線毎）
1002	着サブアドレス付加	1	635-02	発信タイマ
1003	発信者番号付加	1	154	外線発信用発番号通知（内線毎）
		2	404	契約回線番号
		3	581	MSA発信通知
1004	個別発番号付加	1	151	個別発番号（内線毎）
		2	226	PBダイヤルイン契約桁数（回線毎）
1005	キーパッドファンリティ送出	1	106	オートダイヤルボタン設定（キーパッドボタン:18）
		2	635-02	発信タイマ
1006	呼設定情報変更	1	403	ISDN回線発信チャンネル指定（IFG毎）
1100	停電時バッテリーバックアップ	1	106	オートダイヤルボタン設定（停電ボタン:34）
1101	外部バッテリー接続			
1102	停電時発着信			

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
1103	バッテリー駆動切替表示	1	106	オートダイヤルボタン設定 (停電ボタン:34)
1104	回線ビジー表示			
1105	通電中パッケージ交換			
1106	内線レイアウト変更			
1107	保守電話機能	1	771	保守モード暗証番号
1108	リモートPC (ローカル保守)	1	779	リモートPCログインパスワード
		2	780	無操作自動切断時間
		3	807	リモートPC接続ポート番号
		4	814	FTPアカウント設定
1109	リモートPC (遠隔保守) <v1.1>	1	779	リモートPCログインパスワード
		2	780	無操作自動切断時間
		3	804	主装置IPアドレス/サブネットマスク (PPP用)
		4	807	リモートPC接続ポート番号
		5	814	FTPアカウント設定
1110	ブラウザ設定 (主装置/IPGW)	1	800	主装置IPアドレス/サブネットマスク (メンテナンス接続用)
		2	814	FTPアカウント設定
		3	771	保守モード暗証番号
		4	119	システム管理電話機 (内線毎)
		5	170	CPWAVE ログインパスワード (内線毎)
1111	ナンバーリングプラン	1	300	番号計画
1112	サービスメニュー	1	119	システム管理電話機 (内線毎)
		2	106	オートダイヤルボタン設定 (決定ボタン:76, ↑ボタン:78, ↓ボタン:79, ←ボタン:75, →ボタン:77)
1113	オートダイヤルボタン登録	1	106	オートダイヤルボタン設定
1114	内線/外線収容位置表示	1	119	システム管理電話機
1116	各種バージョン表示			
1117-1	ユーザ情報管理 <これだねっと管理> <v1.1>	1	119	システム管理電話機
		2	754	ユーザ名称 (お客様情報:お客様名)
		3	755	郵便番号 (お客様情報:郵便番号)
		4	756	ユーザ所在地 (お客様情報:住所)
		5	757	ユーザ連絡先番号 (TEL) (お客様情報:電話番号)
		6	758	ユーザ連絡先番号 (FAX) (お客様情報:FAX番号)
		7	760	保守者名称 (ベンダー情報:販売店名)
		8	761	保守者所在地
		9	762	保守者連絡先番号 (ベンダー情報:連絡先 (TEL))
		10	763	保守担当者名 (ベンダー情報:担当工事者 (社))
		11	764	工事区分 (ベンダー情報:工事区分)
		12	753	顧客管理サーバ発報
		13	783	これだねっと接続優先捕捉回線
		14	804	主装置IPアドレス/サブネットマスク (PPP用)
1119	障害情報表示/ 障害情報蓄積	1	750	CF自動バックアップ
1120	障害メッセージ表示			
1122	主装置データの手动 バックアップ/リストア			
1123	主装置データの自動 バックアップ	1	750	CF自動バックアップ
1124	ファームウェアのバージョンアップ (ローカル)			
1125	ファームウェアのバージョンアップ (リモート) <v1.1>	1	783	これだねっと接続優先捕捉回線
		2	804	主装置IPアドレス/サブネットマスク (PPP用)
1126	ファームウェアの 自動バージョンアップ <v1.1>	1	788	自動ファームアップ機能
		2	789	自動ファームアップ更新間隔
		3	790	自動ファームアップ更新時刻設定
		4	783	これだねっと接続優先捕捉回線
		5	804	主装置IPアドレス/サブネットマスク (PPP用)

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
1127	通話情報管理装置接続<V1.4>	1	817	通話情報管理装置接続ポート番号
		2	818	通話情報管理装置接続有無
		3	819	通話情報管理装置パスワード
1128	自動時刻補正	1	795	自動時刻補正有無
		2	796	SNTPサーバURL
		3	798	SNTPサーバアクセス時間
1300	システムコードレス収容	1	411	システム呼出符号
		2	415	PSデータ (PS毎)
		3	100	内線番号
		4	424	PS着信音 (PS毎)
		5	423	PS呼出音種
		6	183	内線毎PS圏外通知 (内線毎) <V1.1>
		7	232	回線毎PS圏外通知 (回線毎) <V1.1>
		8	600	通話レベル
		9	417	エコーキャンセル有無 (PS毎)
		10	635-51	PS解放タイマ
		11	416	PS認証鍵 (PS毎)
		12	430	CS付加IDデータ (CS毎)
		13	C42	CSデータダウンロード (書き込み) (CS毎)
		14	C43	CS活性状態表示 (CS毎)
1301	PS発信	1	635	タイマ (01:桁間タイマ, 02:発信タイマ, 47:PBX桁間タイマ)
1302	PS個別着信	1	635-49	PS着呼タイマ
		2	420	PS着呼回数
		3	232	回線毎PS圏外通知 <V1.1>
		4	183	内線毎PS圏外通知 <V1.1>
		5	423	PS呼出音種
1303	PS圏外ガイダンス通知 <V1.1>	1	232	回線毎PS圏外通知
		2	183	内線毎PS圏外通知
		3	635	タイマ (49:PS着呼タイマ, 50:PS圏外ガイダンス送出時間)
		4	420	PS着呼回数
1304	認証	1	413	コードレスレイヤ3システムタイマ (認証タイミング)
		2	416	PS認証鍵 (PS毎)
1305	秘話			
1306	ハンドオーバー・ 干渉回避	1	412	チャネル切替FERしきい値
1307	位置登録			
1308	PS呼出信号音識別	1	541	着信呼識別
		2	545	TIR認識有無
		3	540	リング (鳴動インタ) 種別①公衆網 ②PBX-IR ③PBX-SIR ④PBX-TIR ⑤内線 ⑥専用線 <V1.1> ⑦DIL/DID
		4	424	PS着信音 (PS毎)
		5	425	PSシグナル送出 (PS毎)
1311	発信者番号通知	1	150	着信時発番号/発サブ表示 (内線毎)
		2	154	外線発信番号通知 (内線毎)
		3	151	個別発番号 (内線毎)
		4	226	PBダイヤルイン契約桁数 (回線毎)
1313	PSフッキング	1	209	フッキング信号送出 (回線毎)
		2	208	回線別フッキング送出時間 (回線毎)
1315	PS一斉着信	1	321	着信可能回線 (回線毎) (昼/夜1/夜2) (テナント毎)
		2	223	鳴動電話機 (回線毎) (昼/夜1/夜2)
		3	586	DGL着信鳴動/DGLグループ (0~63G) (昼/夜1/夜2)
		4	580	MSA着信鳴動/MSAグループ (0~63G) (昼/夜1/夜2)
		5	662	ドアホン別着信鳴動有無 (ドアホン毎) (昼/夜1/夜2)
		6	590	内線グループ

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
1322	PS登録	1	415	PSデータ (PS毎)
		2	100	内線番号
		3	416	PS認証鍵 (PS毎)
		4	410	PS無線書込CS
1400	VoIP内線型収容	1	802	主装置IPアドレス/サブネットマスク (IPGW接続専用ポート用)
		2	800	主装置 IPアドレス/サブネットマスク (メンテナンス用)
		3	823	IPAD ネットワーク設定
		4	822	IPGW/IPADデフォルトゲートウェイ
		5	806	DHCP設定 (使用有無、IPアドレス使用範囲、クライアントリース期間、除外IPアドレス (20対地))
		6	830	VoIP内線種別 (LEN毎)
		7	300	番号計画 (内線番号:呼種別01)
		8	100	内線番号
		9	831	IP標準電話機システムID
		10	832	SIP端末パスワード (システム)
		11	825	IPAD LAN側RTPポート番号 (開始-終了)
		12	824	IPGW/IPAD LAN接続タイプ (LANレート設定)
		13	826	VLAN設定 (VLANタグ付加, VLAN-ID, 優先制御 (音声用, 呼制御用))
		14	827	TOS値 (IPAD900)
		15	833	ローカルプロトコルポート番号
		16	834	SIP端末サーバポート番号
		17	820	IPGW IPアドレス/サブネットマスク
		18	843	SIP端末自動付加ダイヤル
		19	854	ポートマッピング時動作ポート
		20	635-37	SIP端末解放タイマ
1401	VoIP内線個別着信	1	109	内線呼出トーン/音声 (内線毎)
		2	835	VoIP内線呼出音データ
		3	837	メロディ着信IPアドレス (保留、メロディ1~3, 外部音源1~3)
		4	229	着サブアドレス許容 (IFG毎)
		5	554	ダイヤルイン対応SC
		6	556	i・ナンバー対応SC (IFG毎)
		7	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線毎)
1402	VoIP内線一斉着信	1	223	鳴動電話機 (昼/夜1/夜2) (回線毎)
		2	586	DGL着信鳴動/DGLグループ (0~63G) (昼/夜1/夜2)
		3	580	MSA着信鳴動/MSAグループ (0~63G) (昼/夜1/夜2)
		4	662	ドアホン別着信鳴動有無 (内線グループ毎)
		5	695	一般着信発番号表示 (システム)
		6	590	内線グループ
		7	837	メロディ着信IPアドレス (保留、メロディ1~3, 外部音源1~3)
		8	838	内線グループ呼出IPアドレス (内線グループ毎)
		9	839	ドアホン着信IPアドレス (ドアホン毎)
		10	836	マルチキャスト着信用ポート番号
1403	VoIP発信者番号通知	1	150	着信時発番号/発サブ表示 (内線毎)
		2	154	外線発信番号通知 (内線毎)
		3	151	個別発番号 (0~3群) (内線毎)
		4	228	ダイヤルイン群番号

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
1450	IP回線接続－SIP回線－ (IPGW900収容)	1	800	主装置IPアドレス/サブネットマスク(メンテナンス用)
		2	802	主装置IPアドレス/サブネットマスク (IPGW接続専用ポート用)
		3	816	主装置IPアドレス (マルチキャスト用)
		4	820	IPGW IPアドレス/サブネットマスク
		5	822	IPGW/IPAD デフォルトゲートウェイ
		6	823	IPAD ネットワーク設定(IPアドレス取得方式、IPアドレス/サブネットマスク (スロット毎))
		7	824	IPGW/IPAD LAN接続タイプ (LANレート設定、モード設定)
		8	825	IPAD LAN側RTPポート番号 (開始－終了)
		9	826	VLAN設定 (VLANタグ付加、VLAN-ID、優先制御 (音声用、呼制御用))
		10	827	TOS値<IPAD>
		11	850	IP回線数<IPGW>
		12	851	IP回線契約番号<IPGW>
		13	853	IP回線着番号チェック<IPGW>
		14	854	ポートマッピング時動作ポート
1451	IP回線接続－SIP回線－ (8IPGWU収容)	1	870	IP回線ゲートウェイ<8IPGW> (スロット毎)
		2	871	IP回線サブネットマスク<8IPGW> (スロット毎)
		3	872	IP回線デフォルトゲートウェイ<8IPGW> (スロット毎)
		4	600	通話レベル
		5	873	IP回線契約番号<8IPGW> (スロット毎)
1453	IP回線発信－SIP回線－	1	845	IP回線選択規制番号
		2	852	IP回線迂回指定<IPGW>
1454	IP回線迂回発信 －SIP回線－	1	852	IP回線迂回指定<IPGW>
1455	IP回線着信－SIP回線－	1	851	IP回線契約番号<IPGW>
		2	873	IP回線契約番号 (スロット毎) <8IPGW>
		3	554	ダイヤルイン対応 SC
		4	220	着信形式 (昼/夜1/夜2) (回線毎)
		5	229	着サブアドレス許容 (IFG毎)
		6	228	ダイヤルイン群番号
		7	106	オートダイヤルボタン設定 (応答ボタン 呼種別:71)
		8	853	IP回線着番号チェック<IPGW>
1456	IP回線発信者番号通知 －SIP回線－	1	851	IP回線契約番号<IPGW>
		2	873	IP回線契約番号 (スロット毎) <8IPGW>
		3	290	IP回線通知番号 (回線毎)
		4	160	IP回線個別発番号 (内線毎)
		5	151	個別発番号 (内線毎)
		6	228	ダイヤルイン群番号
		7	581	MSA発信通知番号
1457	IP回線発サブアドレス 通知－SIP回線－	1	153	発サブアドレス付加 (内線毎)
1458	IP回線着サブアドレス 通知－SIP回線－	1	635-02	発信タイマ
1459	IP回線デフォルトゲートウ エイ設定－SIP回線－ (IPGW収容)	1	822	IPGW/IPAD デフォルトゲートウェイ
1460	IP回線デフォルトゲートウ エイ設定－SIP回線－ (8IPGW収容)	1	872	IP回線デフォルトゲートウェイ<8IPGW> (スロット毎)
1462	VOIPデータブラウザ設定 －SIP回線－ (IPGW収容)	1	800	主装置IPアドレス/サブネットマスク(メンテナンス用)

機能No	機能名称	設定データ		
		順位	データ番号	データ番号名称
1463	VOIPデータブラウザ設定 (IP回線) - SIP回線 - (8IPGW収容)	1	870	IP回線ゲートウェイ<8IPGW> (スロット毎)
		2	873	IP回線契約番号<8IPGW>
1466	IPユニット障害情報	1	800	主装置IPアドレス/サブネットマスク(メンテナンス用)
1500	CPWAVE収容<V1.2>	1	800	主装置IPアドレス/サブネットマスク (ネットワーク接続用)
		2	809	CPWAVE接続ポート番号
		3	170	CPWAVEログインパスワード (内線毎)
		4	171	CPWAVE接続可否 (内線毎)
		5	816	主装置IPアドレス/サブネットマスク (マルチキャスト用)
1501	CPWAVE発信<V1.2>	1	300	番号計画
		2	172	CPWAVE 発信特番
1502	CPWAVE着信<V1.2>	1	300	番号計画(自テナント代理応答:呼種別 21、 テナント指定代理応答:呼種別 23)
1503	CPWAVE保留<V1.2>	1	106	オートダイヤルボタン割付 (自己保留ボタン: 09)
		2	300	番号計画(パーク保留特番:呼種別 20)
1504	CPWAVE発信履歴表示 <V1.2>			
1505	CPWAVE電話帳情報通知 <V1.2>			
1506	CPWAVE在席情報通知 <V1.2>			
1507	CPWAVE転送(相手応答後転送) <V1.2>			
1508	CPWAVE転送(強制転送) <V1.2>			

注. 設定データ順位と機能仕様<データ設定条件>の項番は一致しないものがあります。

このページは白紙になります。

## 7. データ番号別設定詳細

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

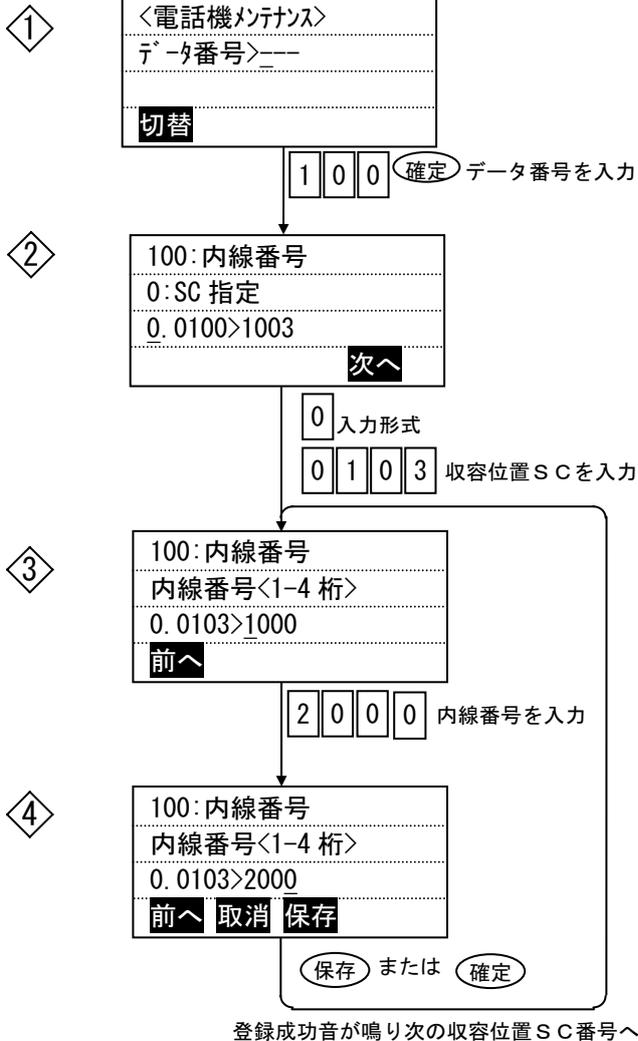
データ番号	内線番号	バージョン	V1.0~
100		データ更新条件	内線毎

### <データ設定概要>

内線番号(1~4桁)の登録/変更をする。

### <操作例>

収容位置 SC:0103 の内線番号 1000 を 2000 に変更します。



### 「初期値」

10 キー	内線番号
—	1000~2999 (立上時に番号登録)

7桁ポートは SC 番号 1900/1901 に登録されます

### 「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定
2	PSN 指定
3	LEN 指定

### 「キー操作とデータ」

- ② **SC 指定**  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。
- ③ **内線番号指定**  
内線番号 (1~4 桁) を 10 キーで指定します。
- ④

### 「関連機能番号」

- 0400 : 内線通話
- 1300 : システムコードレス収容
- 1322 : PS 登録
- 1400 : VOIP 内線型収容

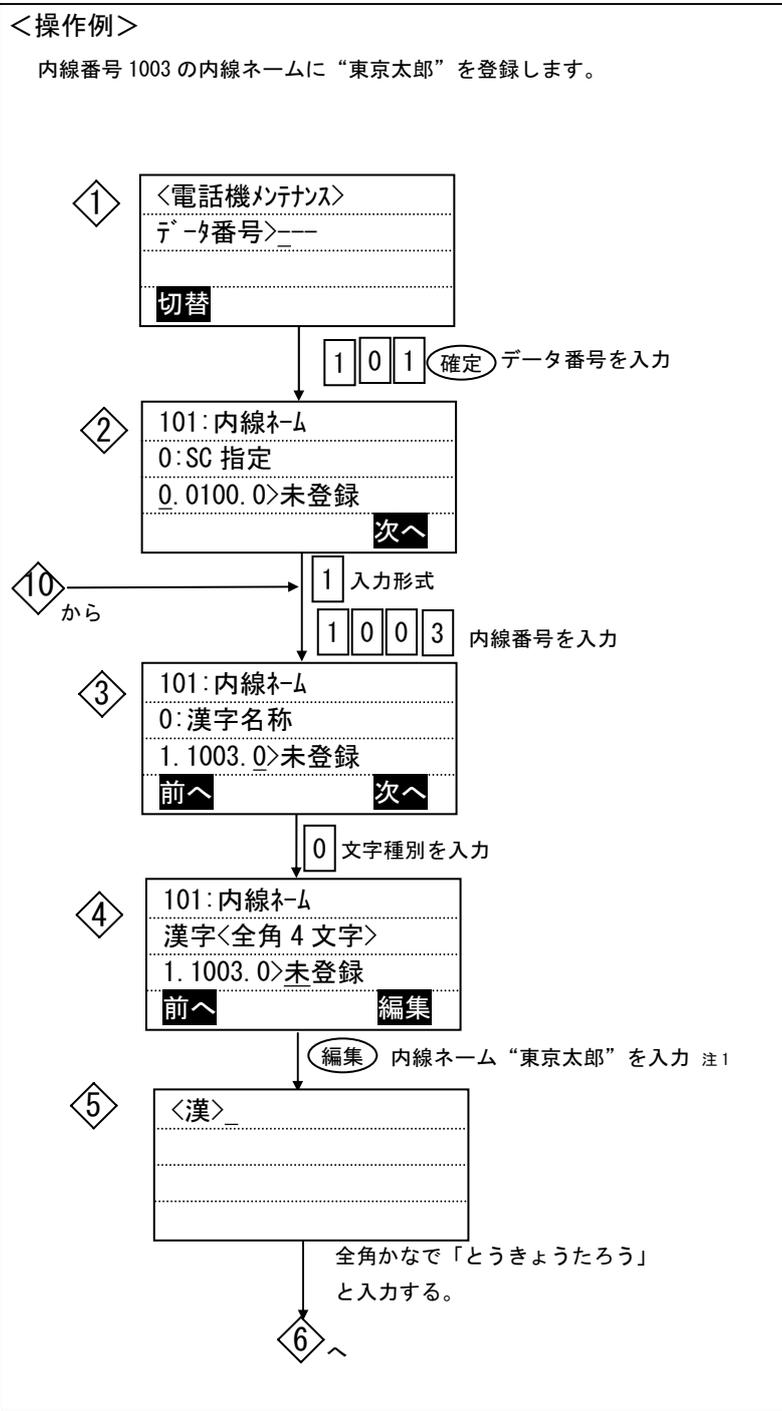
### <注意事項>

- 注1. 内線番号は1~4桁で設定できます。(\*, #は使用できません)
2. 立ち上げ時には、初期値の番号が割り当てられます。(以降同じです)
3. 内線利用番号は番号計画(データ番号300)で設定してください。
4. SIP内線番号の登録を行うには、データ番号830で設定してください。
5. 最大内線収容数は384までです。
6. PS内線番号の新規登録はPSN方式でしか行えません。
7. PS内線番号の登録を行うには、データ番号415 PSデータが必要です。
8. SIP内線番号の新規登録はLEN方式でしか行えません。
9. PSN/LENIは000~383の範囲で設定できます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

データ番号	内線ネーム 1/2
101	

<データ設定概要>  
 名前などの文字列を内線ネームとして登録する。



「初期値」全内線共通

	内線ネーム
漢字名称(全角4文字)	未登録
か名称(半角8文字)	未登録

「入力形式選択」

10キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

10キー	データ内容
0	漢字名称
1	か名称

「キー操作とデータ」

② SC 指定  
 収容位置 SC (0100~1901) を10キーで指定します。

④ 漢字名称  
 内線の漢字名称を全角1~4文字で入力します。

⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨

「関連機能番号」

- 0425 : 内線電話帳<V1.1>
- 0701 : 自内線番号名称表示
- 0710 : 相手内線名称表示

<注意事項>

注1. 操作方法は次頁の操作例を参照してください。  
 2. 漢字は電話機保守、サービスメニュー、リモートPCより登録可能であり、4文字まで登録することができます。  
 3. 半角かは電話機保守、サービスメニュー、リモートPCから登録可能であり、8文字まで登録することができます。>

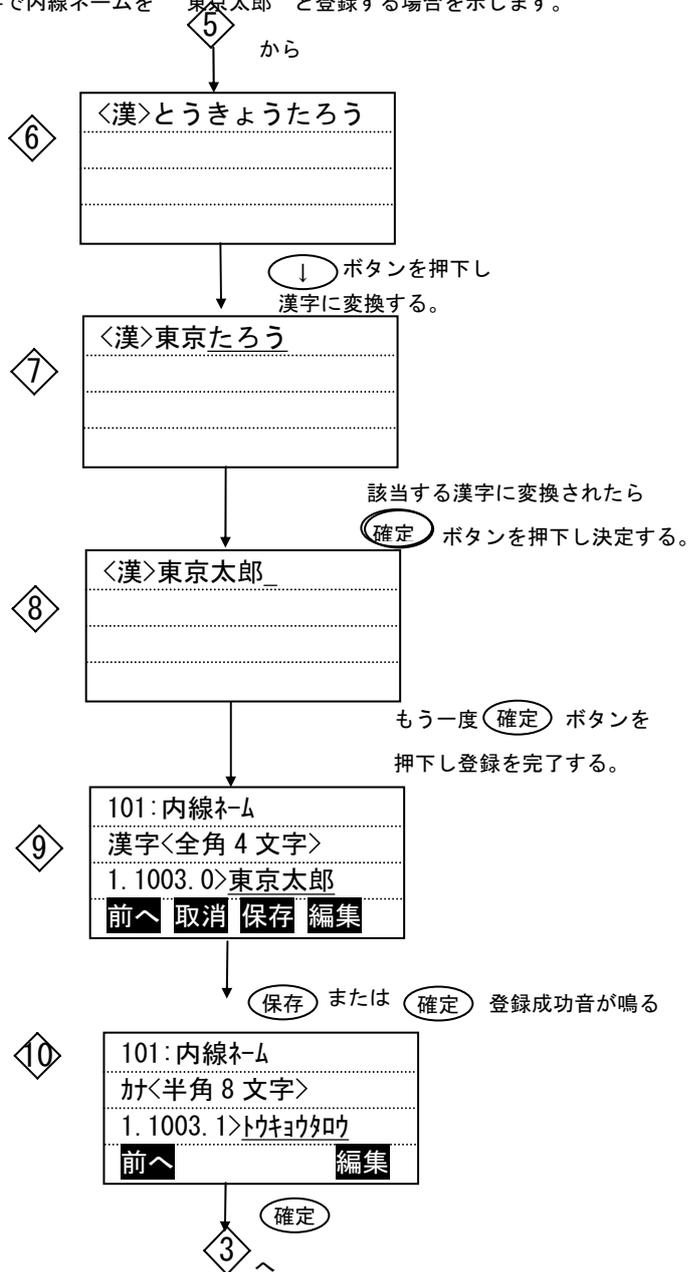
バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

データ番号	内線ネーム 2/2
101	

<データ設定概要>

<操作例>

漢字で内線ネームを“東京太郎”と登録する場合を示します。



10

「キー操作とデータ」

か名称

内線のか名称を半角1~8文字で入力します。

<注意事項>

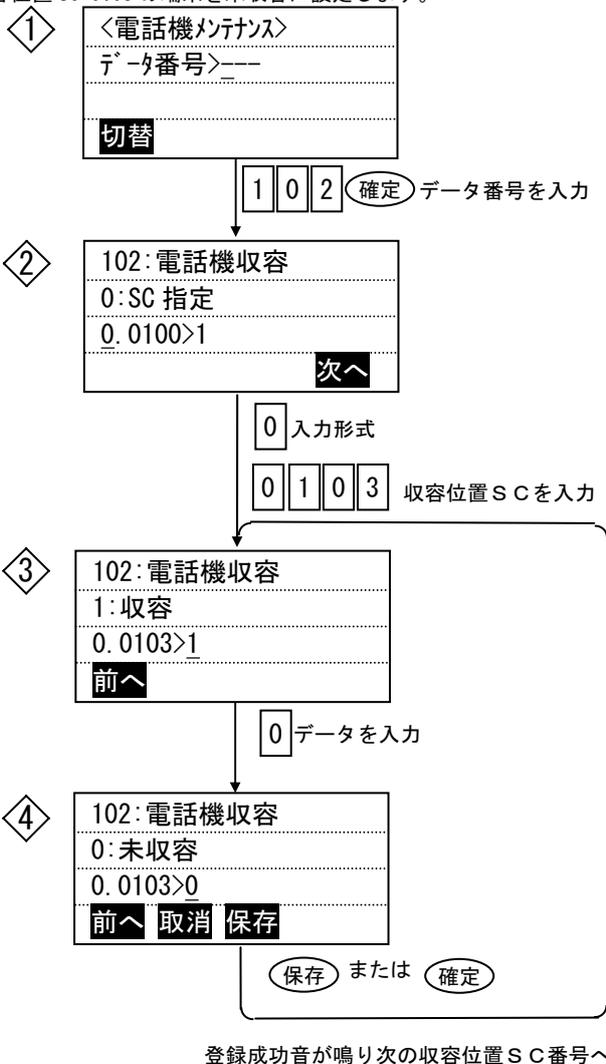
データ番号	電話機収容	バージョン	V1.0~
102		データ更新条件	内線毎
		指定内線空き	

<データ設定概要>

電話機の収容/未収容を指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の端末を未収容に設定します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	電話機収容
1	収容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

電話機収容

10 キー	データ内容
0	(電話機) 未収容
1	(電話機) 収容

「関連機能番号」

なし

<注意事項>

注1. 指定内線が使用中に設定されたデータは、指定内線が空きになったとき有効になります。

注2. データ設定中端末は未収容に設定することはできません。

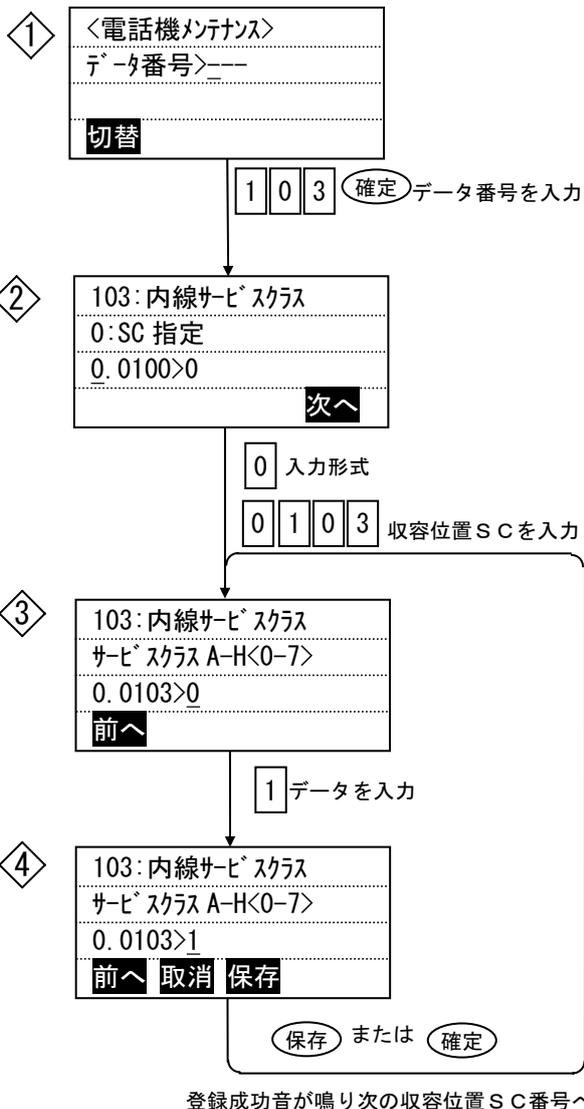
データ番号	内線サービスクラス	バージョン	V1.0~
103		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

電話機ごとに内線サービスクラスを8パターンの中から指定する。  
(サービスクラス、サービスクラス初期値についてはデータ番号 512 参照)

<操作例>

收容位置 SC:0103 の内線サービスクラスをAからBに変更します。



「初期値」全内線共通

10 キー	サービスクラス
0	サービスクラス A

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

收容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

サービスクラス

10 キー	データ内容
0	サービスクラス A
1	サービスクラス B
2	サービスクラス C
3	サービスクラス D
4	サービスクラス E
5	サービスクラス F
6	サービスクラス G
7	サービスクラス H

「関連機能番号」

0403 : 内線サービスクラス

<注意事項>

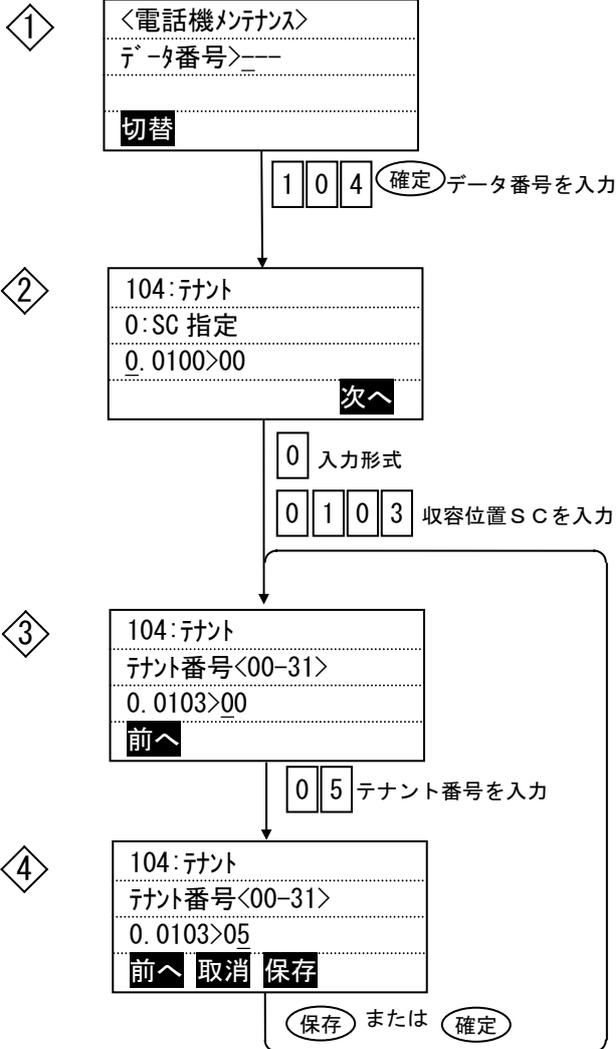
データ番号	テナント	バージョン	V1.0~
104		データ更新条件	内線毎
		システム全空き	

<データ設定概要>

内線が属するテナントを指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 のテナント番号を 05 に変更します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」全内線共通

10 キー	テナント番号
00	テナント 00

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC 指定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。
- ③ テナント番号  
テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。
- ④

「関連機能番号」

- 0101: ルート選択発信
- 0105: リダイヤル/発信履歴
- 0106: 着信履歴
- 0108: 共通電話帳
- 0200: 任意外線応答
- 0212: 昼/夜モード手動切替
- 0213: 昼/夜モード自動切替
- 0223: 着信拒否 (迷惑電話拒否)
- 0224: 代理応答
- 0225: テナント指定代理応答
- 0404: 内線クラス切替
- 0936: 留守番機能<v1.2>

<注意事項>

- 注1. テナントは最大32有ります。
- 2. データの更新に条件が有ります (『第3章データ設定編』3.2 設定時のお願い事項⑦参照)。

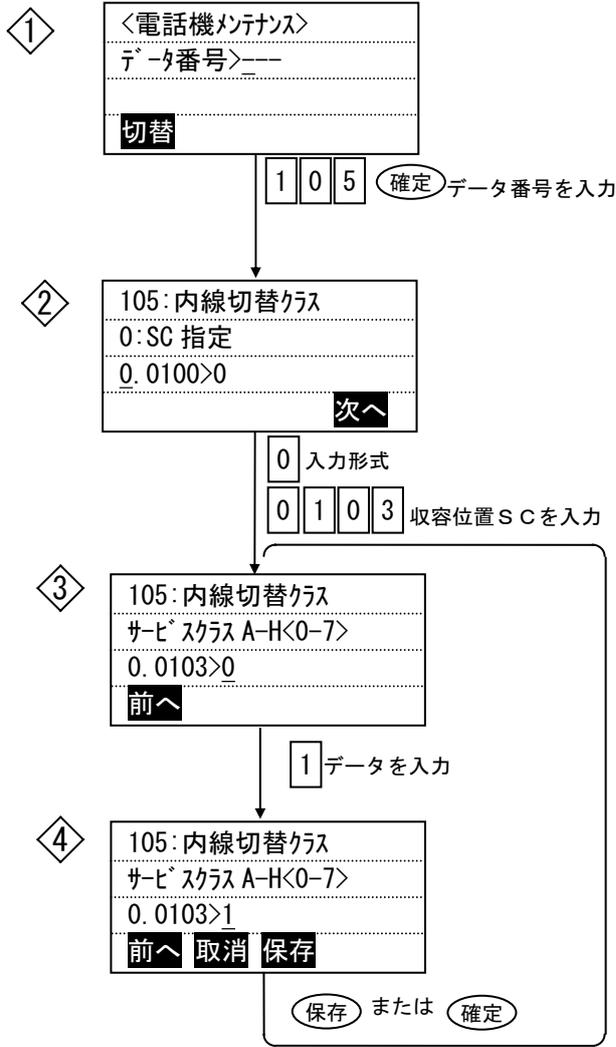
データ番号	内線切替クラス	バージョン	V1.0~
105		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線サービスクラス（規制クラス）を電話機毎に切替えることができる。

<操作例>

收容位置 SC:0103 の内線切替クラスを、サービスクラス A からサービスクラス B に変更します。



登録成功音が鳴り次の收容位置 SC 番号へ

「初期値」全内線共通

10 キー	切り替えサービス
0	サービスクラス A

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

收容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

サービスクラス

10 キー	データ内容
0	サービスクラス A
1	サービスクラス B
2	サービスクラス C
3	サービスクラス D
4	サービスクラス E
5	サービスクラス F
6	サービスクラス G
7	サービスクラス H

「関連機能番号」

0404: 内線クラス切り替え

<注意事項>

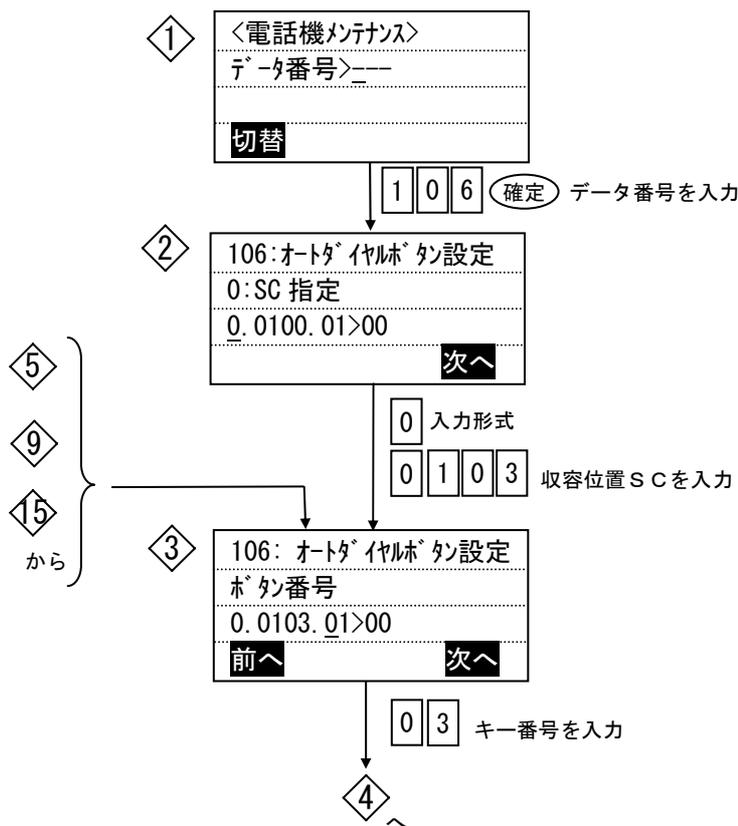
データ番号	オートダイヤルボタン設定 1/5	バージョン	V1.0~
106		データ更新条件	データ番号 106
		システム全空き	

<データ設定概要>

電話機のオートダイヤルボタンに外線、電話帳、代理応答などの機能を設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線のボタン番号 03 を、  
クラス切替ボタン（ファンクション番号 06）に割付します。



「初期値」

10 キー	オートダイヤルデータ
—	3.3 参照

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで入力します。

キー番号

設定するオートダイヤル番号を、10 キーで入力します。

「関連機能番号」

- 0100 : 任意外線／専用線発信
  - 0101 : ルート選択発信
  - 0105 : リダイヤル／発信履歴
  - 0108 : 共通電話帳／個別電話帳<v1.4>
  - 0109 : オートリピート
  - 0113 : MSA キー回線捕捉
  - 0114 : 発番号通知/非通知切替
  - 0115 : キャリア選択発信<v1.1>
  - 0116 : キャリア番号付加発信<v1.1>
  - 0121 : フッキング信号送出
  - 0200 : 任意外線応答
  - 0201 : オフフック外線自動応答
  - 0202 : ダイレクト・グループ・ライン (DGL)
  - 0203 : MSA 着信
  - 0212 : 昼／夜モード手動切替
  - 0223 : 着信拒否 (迷惑電話拒否)
  - 0224 : 代理応答
  - 0225 : テナント指定代理応答
- (以下次頁、次々頁に記載)

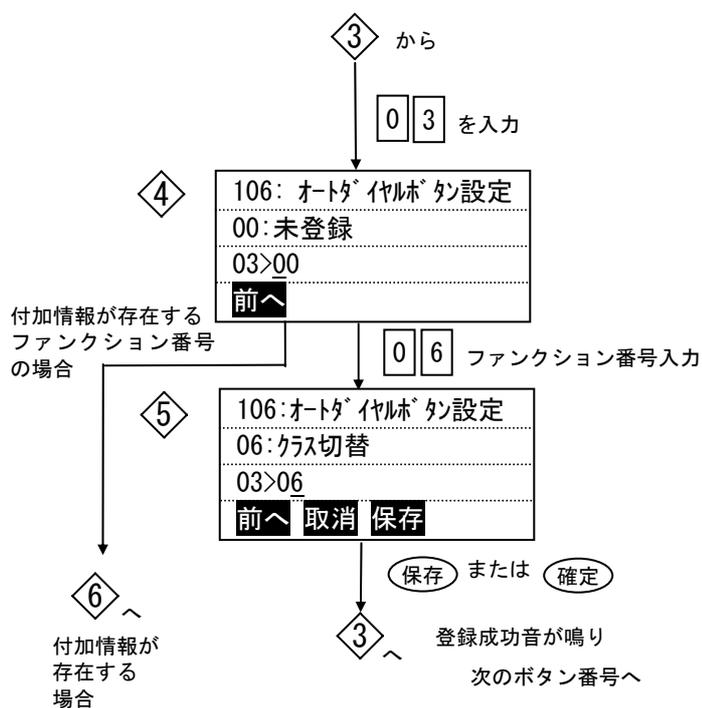
<注意事項>

- 注1. ファンクション番号に 00 を入れると割付の削除、クリアになります。
2. 端末未接続でデフォルト立上げを行い、本コマンドによりボタン割付を行った場合、デフォルトボタンデータは無効となります。
3. デジタルコードレス電話機の割り付け可能なボタンは制限されます。詳細は機能番号1113のオートダイヤルボタン登録を参照して下さい。

データ番号	オートダイヤルボタン設定 2/5	バージョン	V1.0~
106		データ更新条件	内線毎
		システム全空き	

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

4 ファンクション番号

5 ファンクション番号(01~79)を10キーで入力します。  
以下に示すファンクション番号の設定は付加情報をもたうものであるため、次頁以降にその操作方法を示します

ファンクション番号	ボタン名称
02	電話帳
03	代理応答
04	指定代理応答
05	夜間切替
10	留守番
38	外線転送
52	DSS/BLF
53	MBX<v1.2>
66	外/専
67	ドアホン
68	DGL
69	MSA
70	発信
71	応答
72	パーク

(ファンクション番号一覧表は次々頁参照)

「関連機能番号」(前頁の続き)

- 0300: 自己保留
  - 0302: パーク保留
  - 0306: ダイヤル転送(相手応答後転送)
  - 0307: 強制転送(キャンブオンリング) <v1.1>
  - 0308: チェンジオーバー(交互打合せ通話)
  - 0309: 着信ウェイトメッセージ <v1.1>
  - 0310: 不在転送
  - 0400: 内線通話
  - 0404: 内線クラス切替
  - 0406: 内線ワンタッチコール
  - 0407: DSS/BLF ボタン
  - 0410: 割り込み通話 <v1.1>
  - 0412: 会議通話 <v1.1>
  - 0413: 通話モニタ <v1.4>
  - 0415: 通話中着信
  - 0420: 個別アラーム
  - 0508: 内線ハンズフリー応答
- (以下次頁に記載)

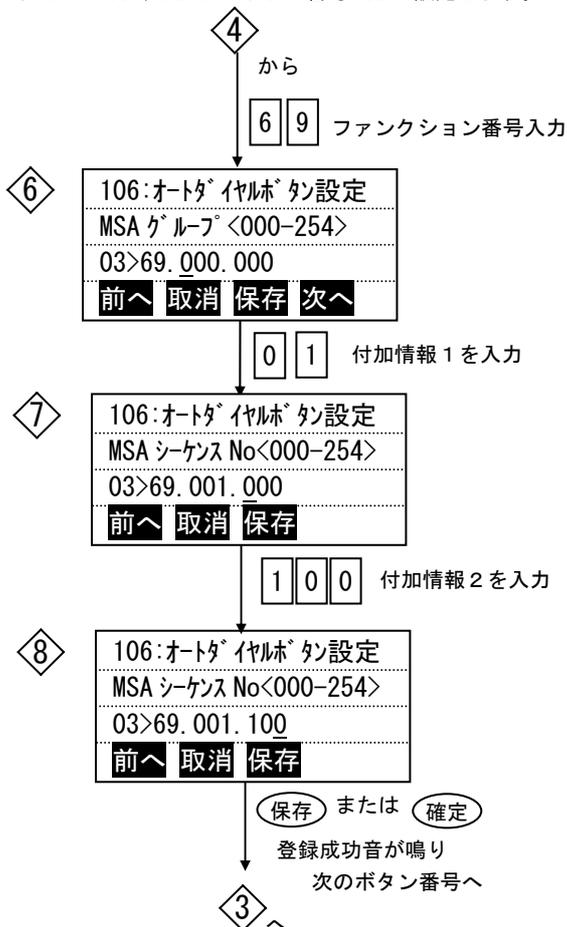
<注意事項>

データ番号	オートダイヤルボタン設定 3/5	バージョン	V1.0~
106		データ更新条件	内線毎
		システム全空き	

<データ設定概要>

<操作例>

収容位置 SC:0103 の内線のボタン番号 03 を、MSA(ファンクション番号 69)、MSA グループ 001、MSA シーケンス番号 100 に設定します。



6

7

「キー操作とデータ」

付加情報

各付加情報を 10 キーで入力します。

「関連機能番号」(前頁の続き)

- 0604 : 公-公接続
- 0605 : 専-公接続<V1.1>
- 0606 : 公-専接続<V1.1>
- 0607 : 公-専-公接続<V1.1>
- 0610 : PB エンド・ツー・エンド通信
- 0611 : ドアホン着信
- 0612 : ドアホン呼出
- 0622 : 回線使用制限
- 0615 : 電気錠接続<V1.3>
- 0654 : メッセージボード収容
- 0705 : 外線状態 3 色表示
- 0716 : 発信者情報手動表示<V1.1>
- 0717 : 外線使用者内線番号表示
- 0718 : 通話録音状態表示<V1.2>
- 0719 : メッセージ状況表示<V1.2>
- 0900 : 音声メール装置収容 <V1.2>
- 0901 : 通話録音<V1.2>
- 0920 : メールサービス<V1.2>
- 0936 : 留守番機能<V1.2>
- 1005 : キーパッドファシリティ送出
- 1100 : 停電時バッテリーバックアップ
- 1103 : バッテリー駆動切替表示
- 1112 : サービスメニュー
- 1113 : オートダイヤルボタン登録
- 1455 : IP 回線着信-SIP 回線-
- 1503 : CPWAVE 保留<V1.2>

<注意事項>

データ番号	オートダイヤルボタン設定 4/5	バージョン	V1.0~
106		データ更新条件	内線毎

「付加情報をとまなうオートダイヤルボタン」

ファンクション番号	ボタン名称	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	付加情報 3	範囲
02	電話帳	共通電話帳/ 個別電話帳<V1.4>	0/1				
03	代理応答	自リフト/自リフトグループ	0/1	全て/内線のみ/ 内線+専用線/ 外線のみ<V1.4>	0/1/2/3	-	-
04	指定代理応答	リフト指定	0	全て/内線のみ/ 内線+専用線/ 外線のみ<V1.4>	0/1/2/3	-	-
05	夜間切替	夜2モード不許容/夜2モード 許容	0/1	リフト番号	00~31	-	-
10	留守番 <V1.2>	リフト番号	00~31	-	-	-	-
38	外線転送 <V1.2>	外線転送先<1-4>	1~4	リフト番号	00~31	-	-
52	DSS/BLF	内線番号<1-4桁>	0000~9999 (桁数可変)				
53	MBX <V1.2>	MBX番号<1-4桁>	0000~9999 (桁数可変)				
66	外/専	SC番号	0100~3191	-	-	-	-
67	トアホン	トアホン番号<1-4>	1~4	-	-	-	-
68	DGL	DGLグループ<00-63>	00~63	-	-	-	-
69	MSA	MSAグループ<000-254>	000~254	MSAシーケンスNo<000-254>	000~254	-	-
70	発信	方路番号<00-63>	00~63	-	-	-	-
71	応答	方路番号<00-63>	00~63	-	-	-	-
72	パーク	パーク番号<000-127>	0~127	-	-	-	-
73	解錠	放送装置/解錠	1~8	-	-	-	-

「付加情報がないオートダイヤルボタン」

ファンクション番号	ボタン名称	ファンクション番号	ボタン名称	ファンクション番号	ボタン名称
01	リダイヤル	29	通話録音 <V1.2>		
06	クラス切替	30	メールアクセス <V1.2>		
07	手動転送	31	録音終了 <V1.2>		
08	自己保留	34	停電		
09	着信カエイト <V1.1>	35	拡張表示		
12	不在	36	着信拒否		
13	通話表示	37	回線制限		
14	秘話解除/会議 <V1.1>	49	マイク		
16	通話モニタ <V1.4>	65	内線		
17	PB信号	75	左		
18	キーハット	50	電話帳ワッチ 注1		
19	フッキング	51	ワッチボタン 注1		
20	外線発信	76	決定		
21	キャリア選択 <V1.1>	77	右		
22	ACR停止 <V1.1>	78	上		
23	発番号通知/非通知	79	下		
25	個別アラーム				
26	着信表示 <V1.1>				

注1. 「電話帳ワッチ」及び「ワッチボタン」は設定することは出来ません。

また、「電話帳ワッチ」及び「ワッチボタン」から本設定にて別のファンクション番号に変更することは出来ません。

		バージョン	V1.0~
データ番号	オートダイヤルボタン設定 5/5	データ更新条件	内線毎
106			

デジタルボタン電話機

1 TD/LD920 電話機

『第3章 データ設定編』  
3.3 基本動作関連の初期値  
(2)①参照

2 TD910 電話機

『第3章 データ設定編』  
3.3 基本動作関連の初期値  
(2)②参照

3 M-20LKTEL 電話機

『第3章 データ設定編』  
3.3 基本動作関連の初期値  
(2)③参照

4 PS600 電話機

『第3章 データ設定編』  
3.3 基本動作関連の初期値  
(2)④参照

5 カールコードレス電話機<sup><v1.3></sup>

『第3章 データ設定編』  
3.3 基本動作関連の初期値  
(2)⑤参照

注. オートダイヤルボタンに初期設定されている機能の詳細は機能番号 1113 (オートダイヤルボタン登録番号) を参照して下さい。

バージョン	V1.1~
データ更新条件	
	内線毎

データ番号	107	通話割込許容

通話割込許容

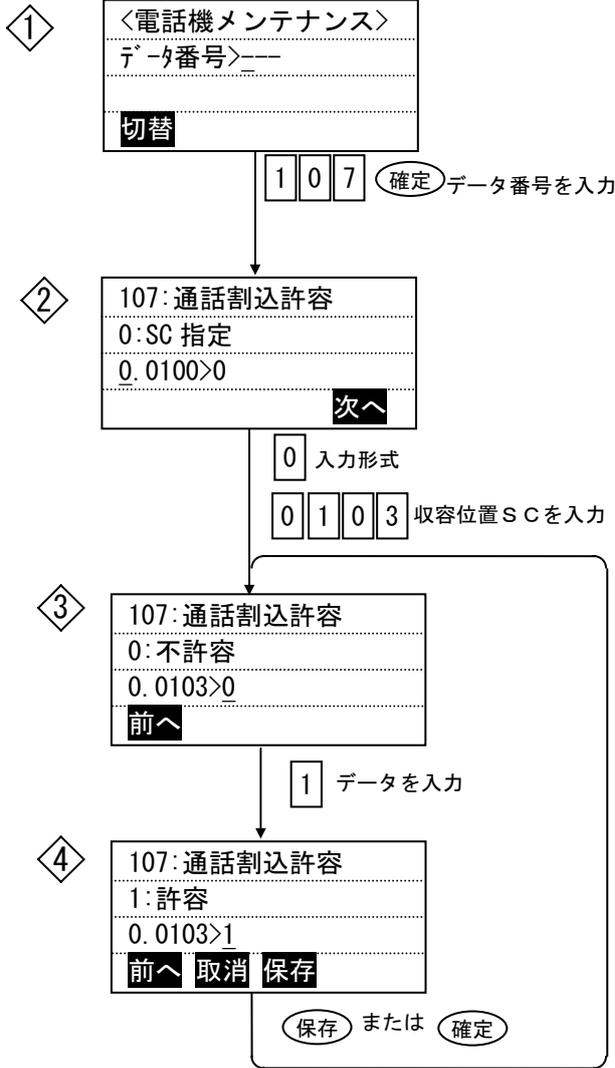
内線毎

<データ設定概要>

通話中の内線に割り込むことができる電話機を指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の通話割込許容を許容に変更する。



「初期値」全内線共通

10 キー	割込許容
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

**SC 指定**  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

**通話割込許容**

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0410 : 割り込み通話<sup>v1.1</sup>

<注意事項>

- 注1. データ番号108で被通話割込許容を設定します。
- 2. データ番号629で被割込者に割込通話バースト音を送出する設定ができます。

バージョン	V1.1~
データ更新条件	内線毎

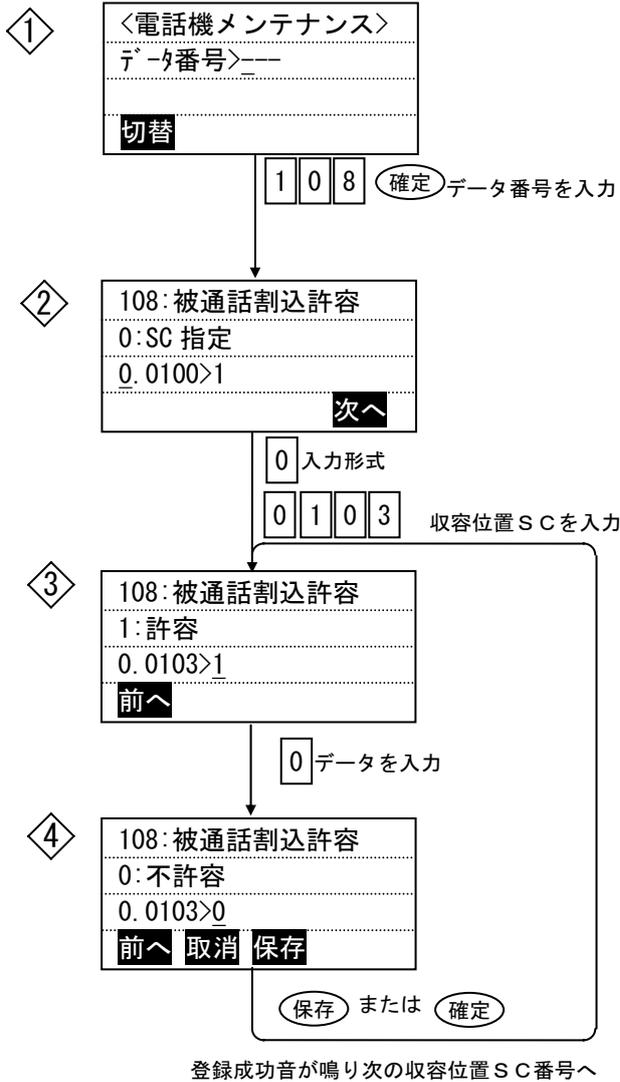
データ番号	被通話割込許容
108	

<データ設定概要>

通話中に他の電話機から割り込まれないよう指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の被通話割込許容を禁止(不許容)に変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	被割込許容
1	許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

② SC 指定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

③ 被通話割込許容

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

④

「関連機能番号」

0410 : 割り込み通話<v1.1>

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

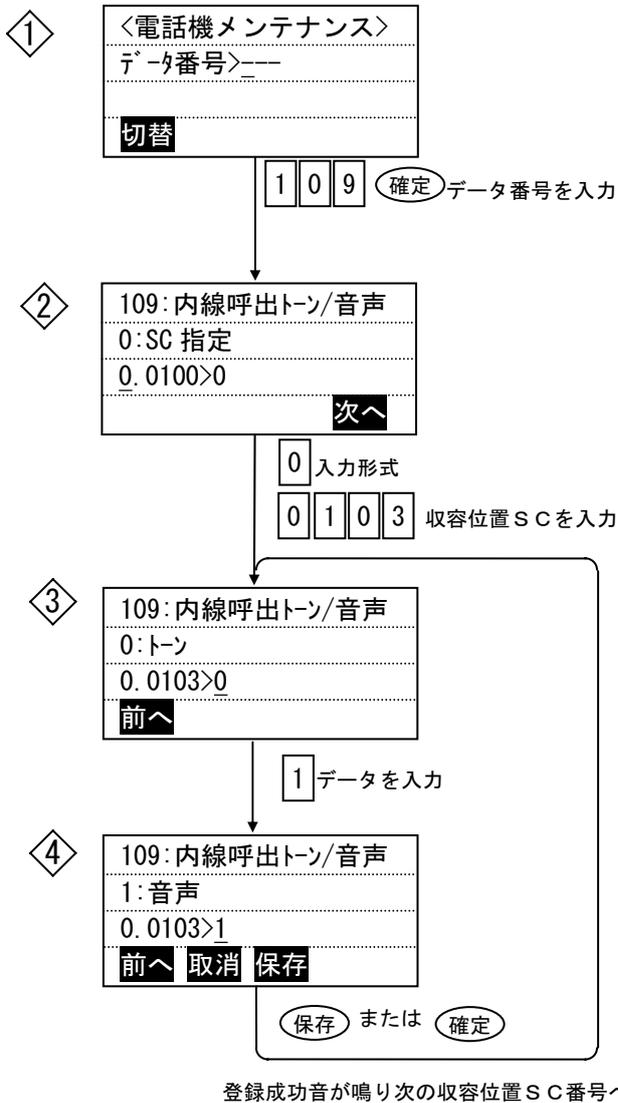
データ番号	内線呼出トーン／音声
109	

<データ設定概要>

内線呼び出しをトーンまたは音声に指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 のデータを音声呼び出しに変更します。



「初期値」全内線共通

10 キー	内線呼出
0	トーン

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

内線呼出

10 キー	データ内容
0	トーン
1	音声

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0401 : 内線音声呼出
- 1401 : VOIP 内線個別着信

<注意事項>

注1. 単独電話機および自標PS/SIP端末に対しての音声呼出はできません。

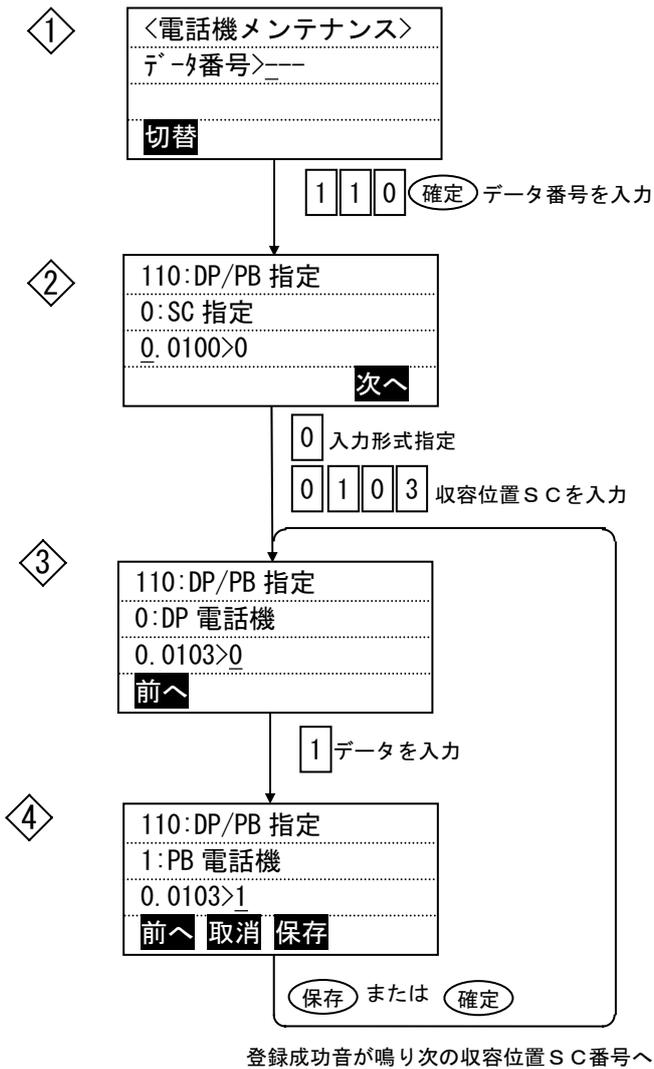
データ番号	DP/PB 指定	バージョン	V1.0~
110		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

単独電話機、FAX などアナログ端末のダイヤル種別を指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を PB 電話機に変更します。



「初期値」全内線共通

10 キー	電話機指定
1	PB 電話機

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

DP/PB 指定

10 キー	データ内容
0	DP 電話機
1	PB 電話機

「関連機能番号」

0400 : 内線通話  
0650 : 単独電話機収容

<注意事項>

注 1. アナログポートは PB 固定です。

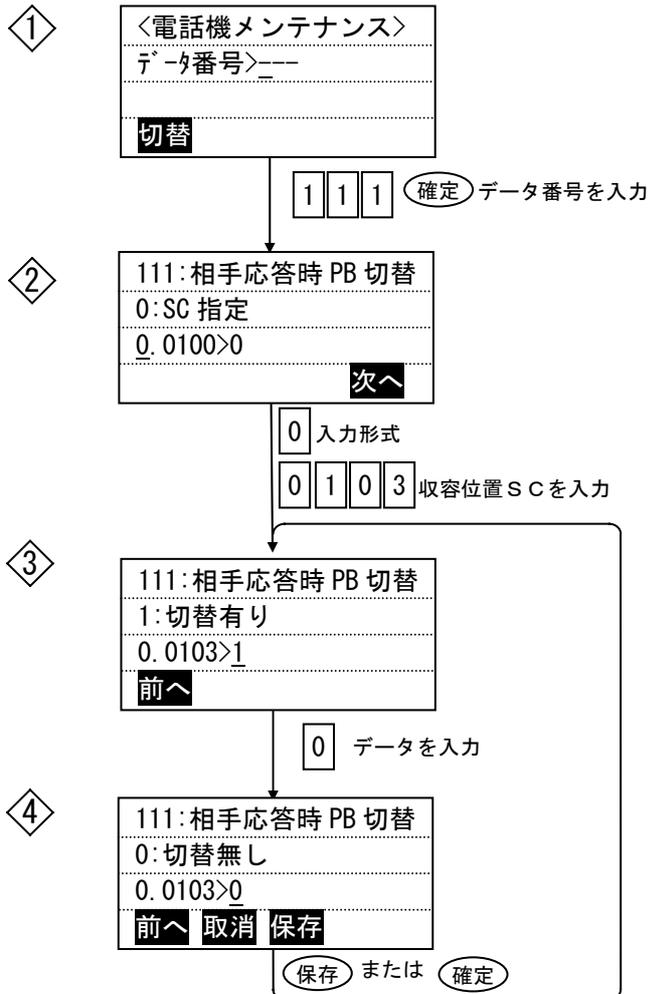
データ番号	相手応答時 PB 切替	バージョン	V1.0~
111		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

DP 回線で相手応答時、自動的に PB 信号の送出ができるように指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 のデータを切替無しに変更します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」 全内線共通

10 キー	相手応答時 PB 切替
1	切替有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで入力します。

相手応答時 PB 切替

10 キー	データ内容
0	切替無し
1	切替有り

「関連機能番号」

0413: 通話モニタ

0610: PB エンド・ツー・エンド通信

<注意事項>

注1. データ番号503 (PB自動切替回線種別) の設定が必要です。

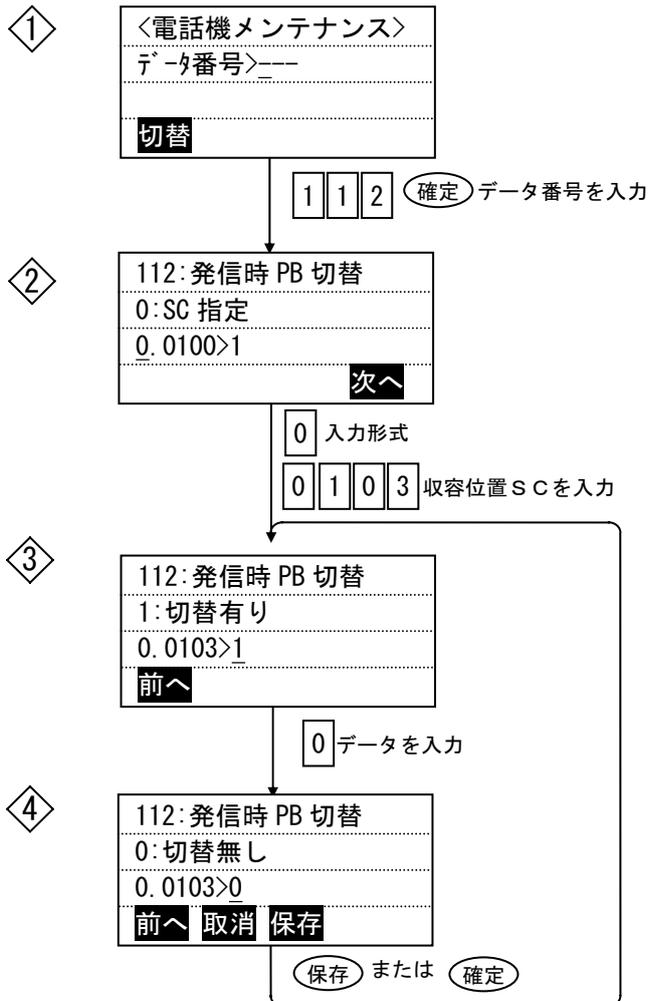
データ番号	発信時 PB 切替	バージョン	V1.0~
112		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

相手応答前でもオートダイヤルボタンに割り付けた PB 信号ボタンを押下することによって、PB 信号の送出ができるように指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 のデータを切替無しに変更します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」全内線共通

10 キー	発信時 PB 切替
1	切替有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで入力します。

発信時 PB 切替

10 キー	データ内容
0	切替無し
1	切替有り

「関連機能番号」

0610 : PB エンド・ツー・エンド通信

<注意事項>

- 注1. データ番号505 (PB切替有効ダイヤル番号) でダイヤル番号を設定できます。
- 注2. PB切替後のワンタッチボタン、電話帳はPB信号で送出されます。

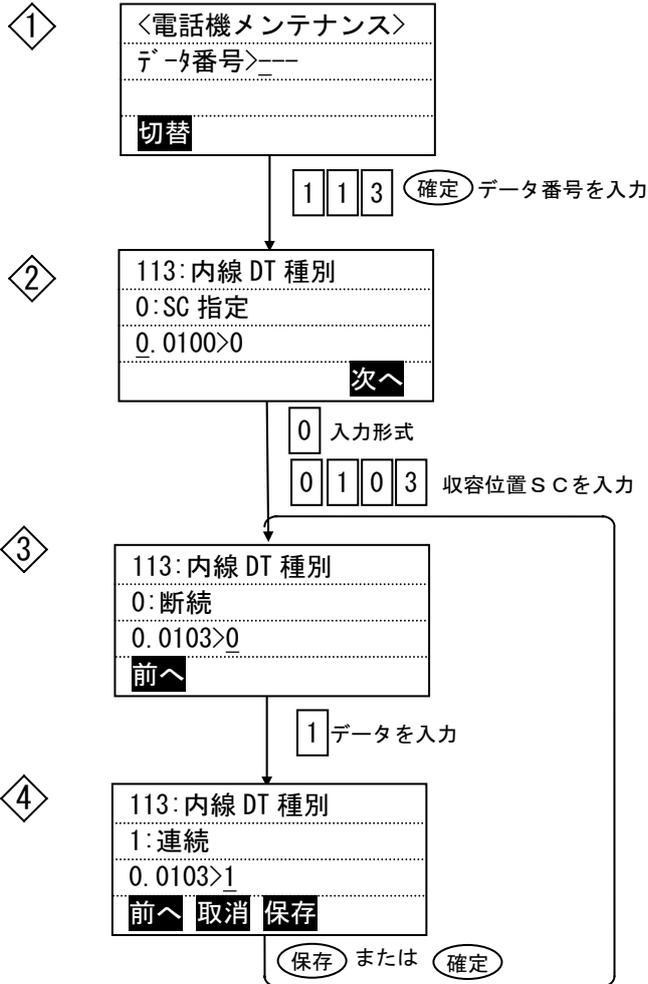
データ番号	内線 DT 種別	バージョン	V1.0~
113		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線ダイヤルトーン種別を指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線 DT 種別を連続に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」全内線共通

10 キー	内線 DT 種別
0	断続

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで入力します。

内線 DT 種別

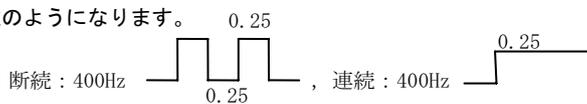
10 キー	データ内容
0	断続
1	連続

「関連機能番号」

- 0650 : 単独電話機収容
- 0655 : アナログポート電話機収容

<注意事項>

注1. DT音は次のようになります。



バージョン	V1.5~
データ更新条件	内線毎

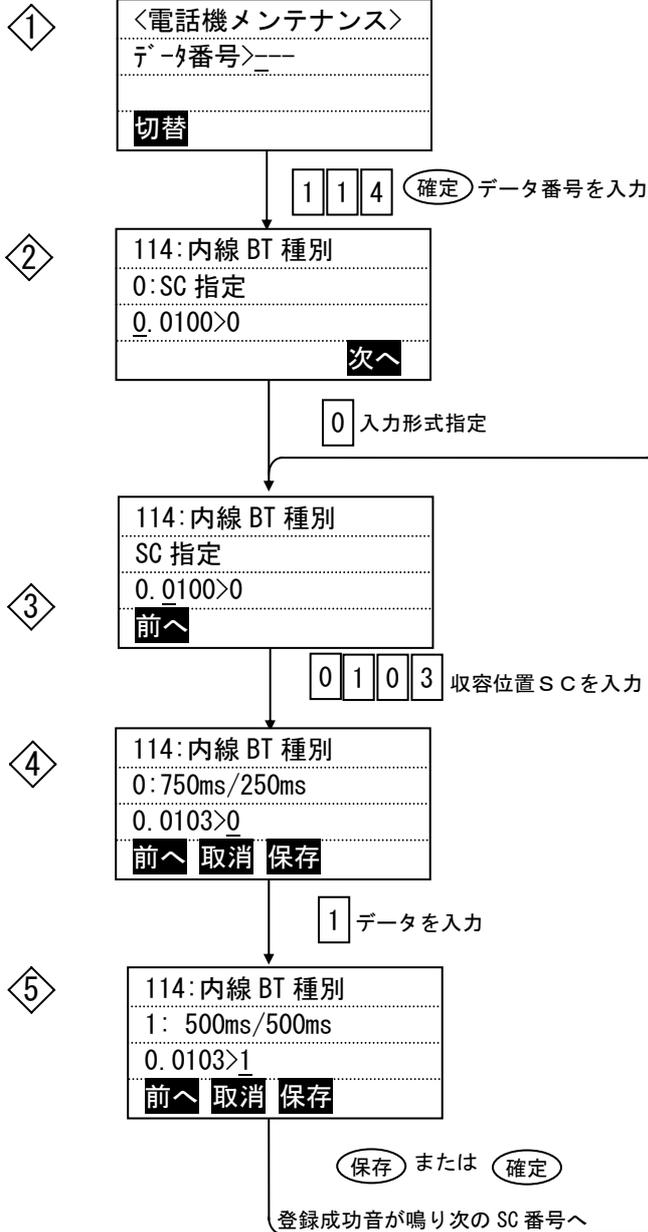
データ番号	内線 BT 種別
114	

<データ設定概要>

内線 BT の鳴動種別を設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線 BT 鳴動を 0.5 秒 ON/0.5 秒 OFF に変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	内線 BT 種別
0	0.75 秒 ON/0.25 秒 OFF

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

内線 BT 種別

10 キー	データ内容
0	750ms/250ms
1	500ms/500ms

「関連機能番号」

<注意事項>

このページは白紙になります。

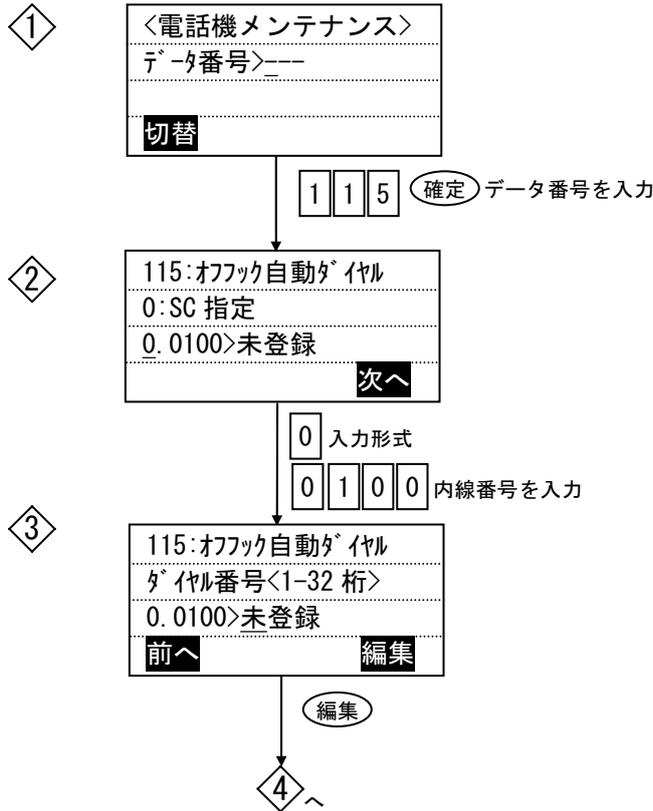
		バージョン	V1.0~
データ番号	オフフック自動ダイヤル番号 1/2	データ更新条件	内線毎
115			

<データ設定概要>

オフフックのみで発信するダイヤル番号を登録する。

<操作例>

端末番号 SC:0100 の端末の自動ダイヤル先に「123P」を設定します。  
(P は PB 信号発信開始)



「初期値」全内線共通

10 キー	オフフック自動ダイヤル
-	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

②

「関連機能番号」

- 0111 : オフフック外線自動捕捉
- 0418 : オフフック自動ダイヤル
- 0419 : ホットライン

<注意事項>

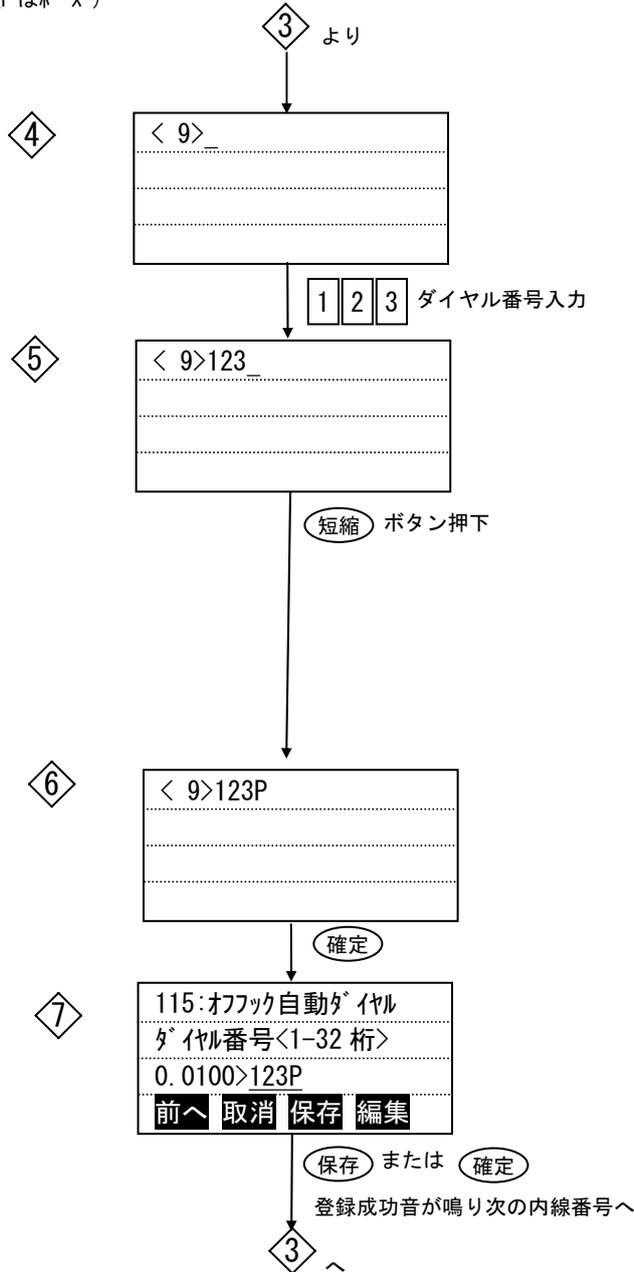
注1. オフフック自動ダイヤル開始タイマ(データ番号635-18)を設定してください。(開始タイマ以内では通常機能動作となります。)

データ番号	オフフック自動ダイヤル番号 2/2	バージョン	V1.0~
115		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

<操作例>

内線番号 0100 の端末の自動ダイヤル先に「123P」を設定します。  
(P はホ-ズ)



- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

「キー操作とデータ」

番号 (1~32 桁) を 10 キーおよび短縮キーで  
入力します。短縮キーを押下すると P (PB 信  
号発信開始) を入力できます。  
また 16 桁以上入力した場合、画面の 2 段目  
に折り返して表示します

<注意事項>

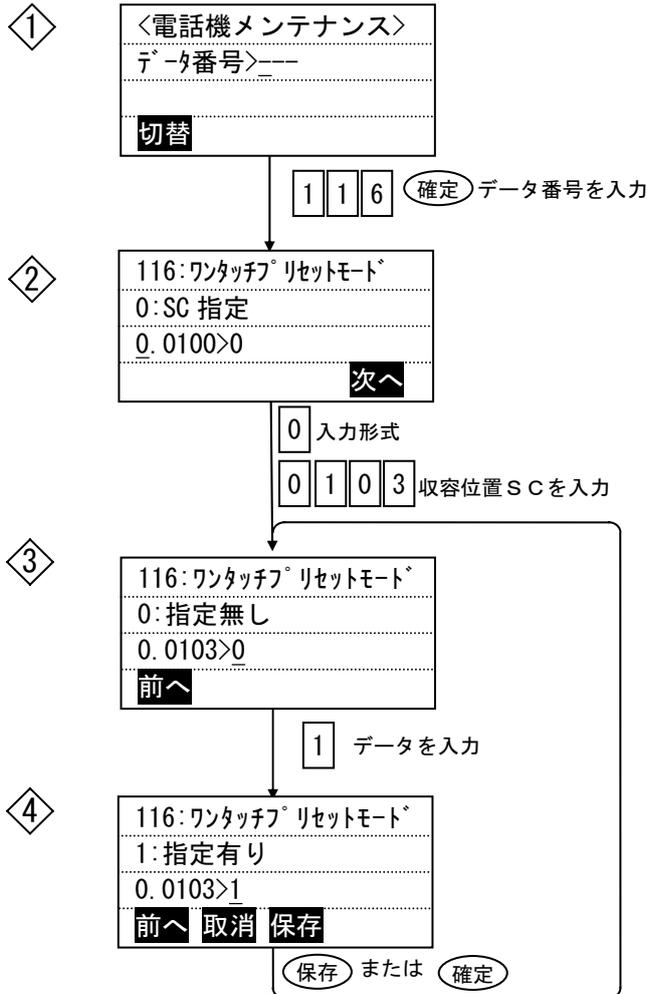
データ番号	ワンタッチプリセットモード	バージョン	V1.3~
116		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

ワンタッチを割り付けたオートダイヤルボタン押下時に、プリセットダイヤル入力と同じ状態にするかどうかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 のデータをプリセットモード指定有りに変更します。



登録成功音が鳴り次の収容位置SC番号へ

「初期値」全内線共通

10 キー	ワンタッチプリセットモード
0	指定無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで入力します。

ワンタッチプリセットモード

10 キー	データ内容
0	切替無し
1	切替有り

「関連機能番号」

0107 : ワンタッチダイヤル

<注意事項>

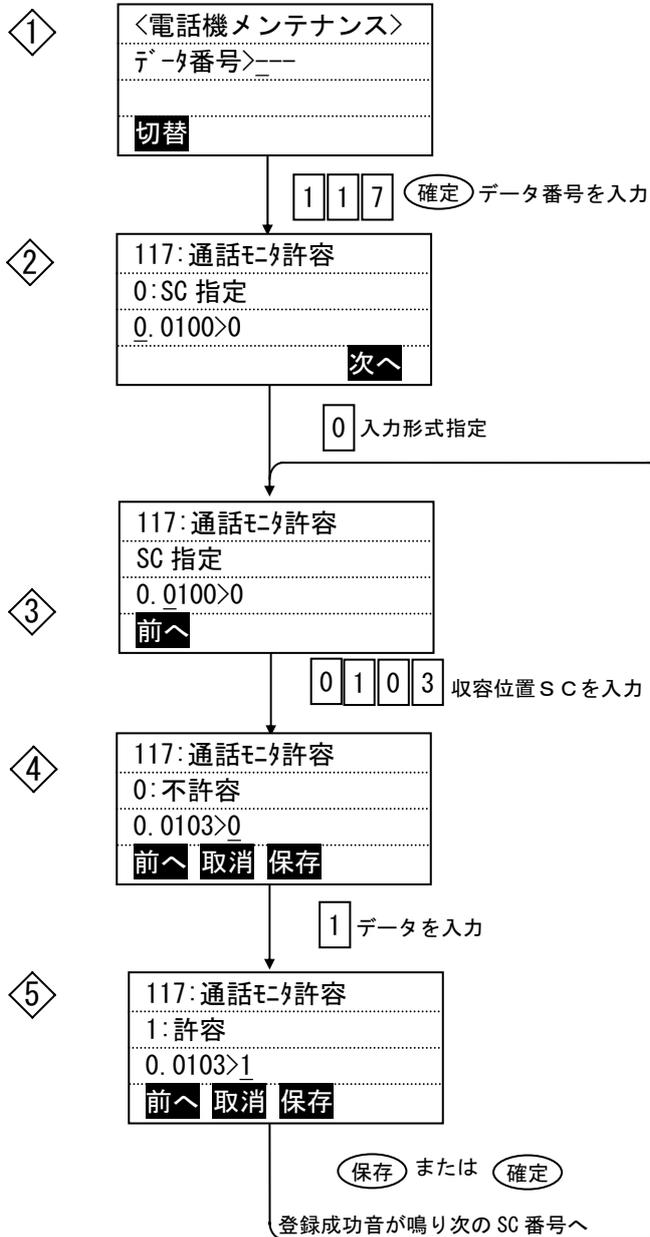
		バージョン	V1.4~
データ番号	通話モニタ許容内線	データ更新条件	内線毎
117			

<データ設定概要>

内線毎に通話モニタを許容するかどうかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を通話モニタ許容に変更します。



「初期値」全内線共通

10 キー	通話モニタ許容
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

通話モニタ許容

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0413 : 通話モニタ

<注意事項>

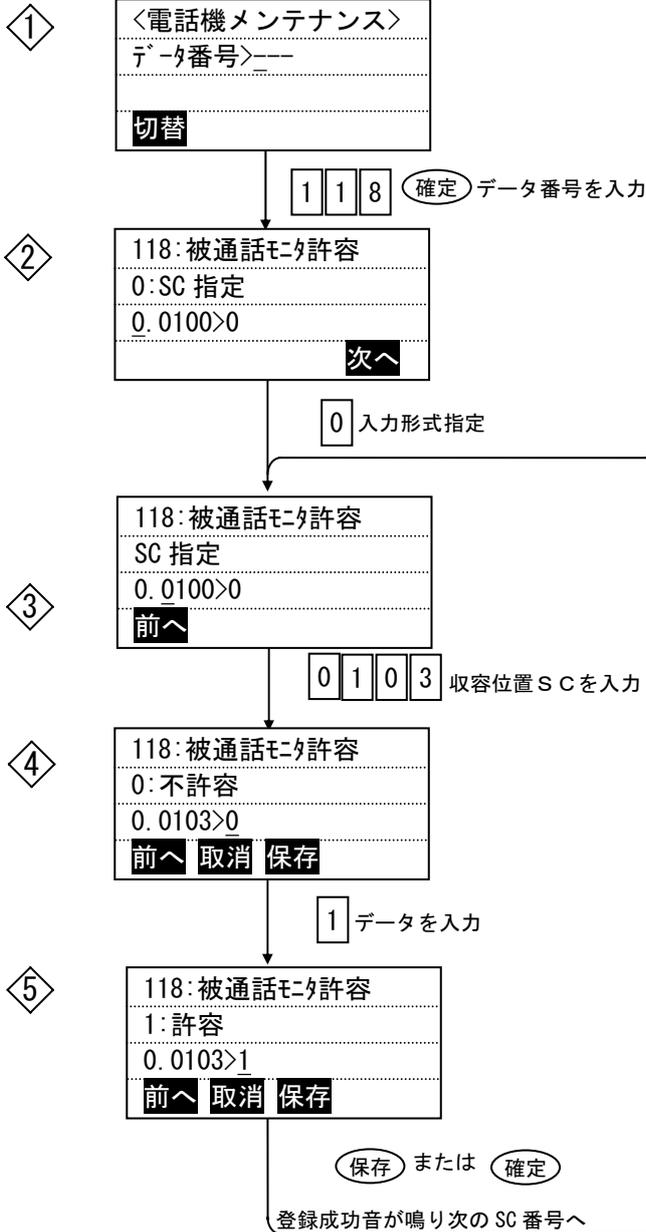
データ番号	被通話モニタ許容内線	バージョン	V1.4~
118		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線毎に他の電話機から通話モニタをさせるかどうかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を被通話モニタ許容に変更します。



「初期値」全内線共通

10 キー	被通話モニタ許容
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

被通話モニタ許容

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0413 : 通話モニタ

<注意事項>

このページは白紙になります。

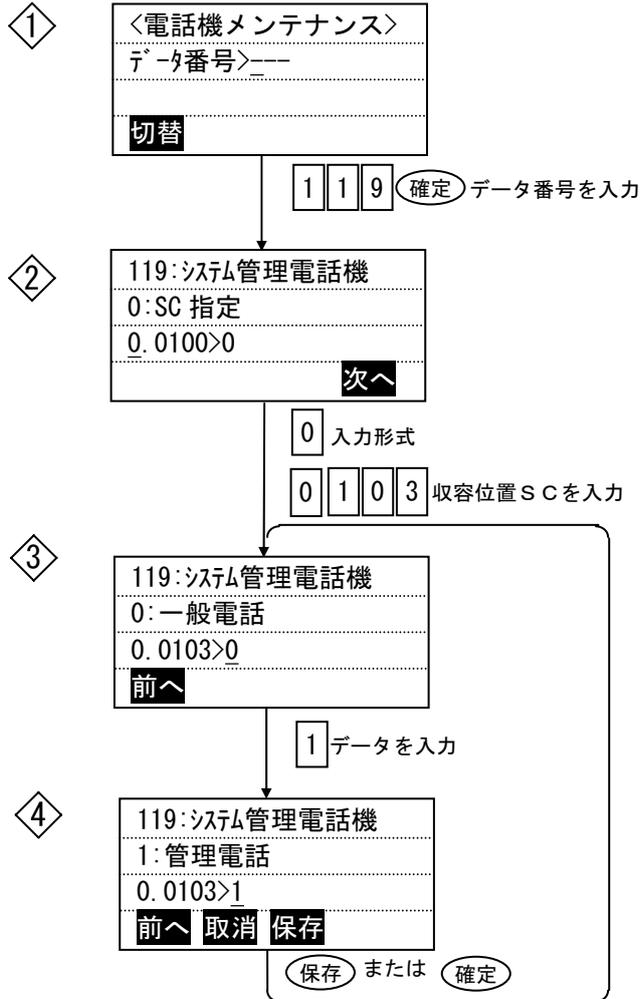
データ番号	システム管理電話機	バージョン	V1.0~
119		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

共通電話帳の登録・削除・ユーザガイダンスの録音<V1.1>、時計表示の設定・変更、転送先の登録、回線データの設定などができる電話機を指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を管理電話機に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」注1

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

システム管理電話機

10 キー	データ内容
0	一般電話
1	管理電話

「関連機能番号」

- 0108 : 共通電話帳
- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0424 : ユーザガイダンス管理<V1.1>
- 0425 : 内線電話帳<V1.1>
- 0700 : 時計表示
- 1112 : サービスメニュー

<注意事項>

- 注1. 初期値では、収容位置が最若番の内線のみシステム管理電話機になります。
- 2. 台数の制限はありません。
- 3. 単独電話機、PS、SIP端末では機能しません。標準電話機に設定して下さい。

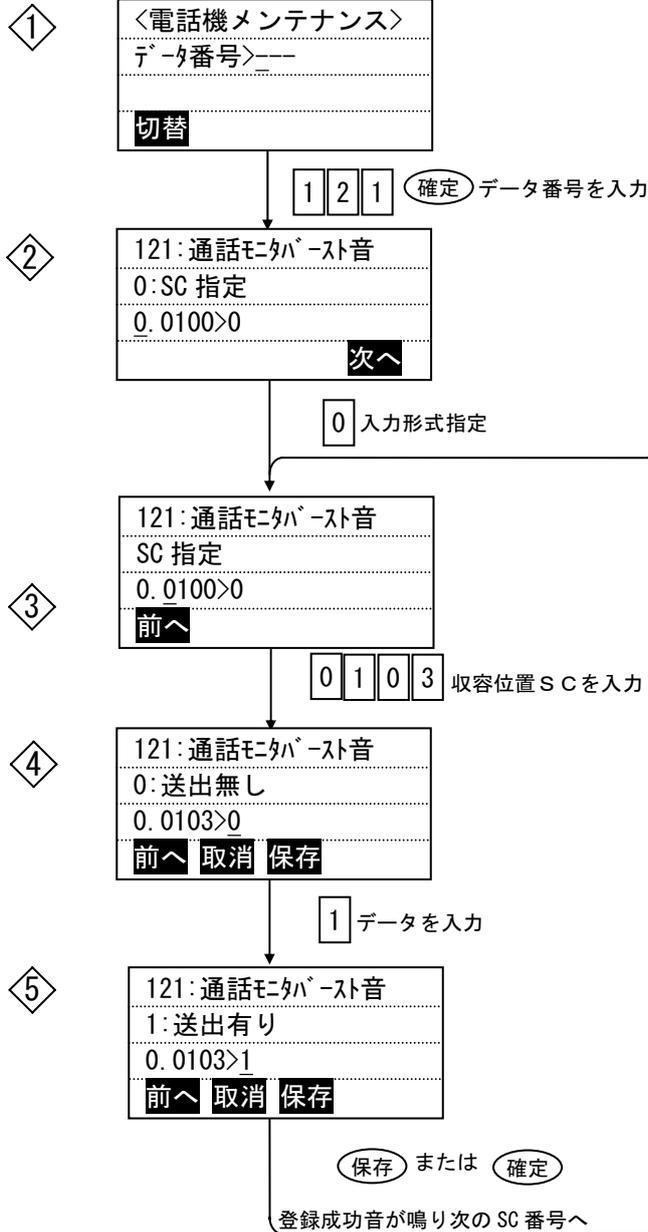
データ番号	通話モニタバースト音送出有無	バージョン	V1.4~
121		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

被通話モニタ時にバースト音を送出するかどうかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を通話モニタバースト音送出有りに変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	通話モニタバースト音
0	送出無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

通話モニタバースト音

10 キー	データ内容
0	送出無し
1	送出有り

「関連機能番号」

0413 : 通話モニタ

<注意事項>

このページは白紙になります。

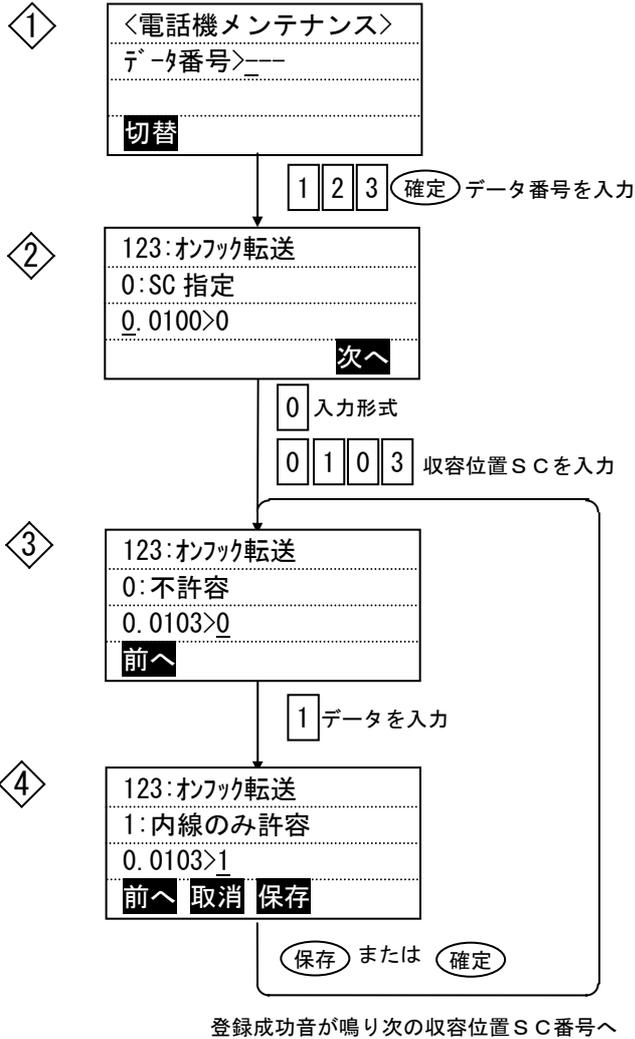
	バージョン	V1.0~
データ番号	データ更新条件	
123		内線毎

<データ設定概要>

保留中の相手を、オンフック操作で通話相手に転送するかしないかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線のオンフック転送を許容に設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	オンフック転送
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

オンフック転送

10 キー	データ内容
0	不許容
1	内線のみ許容
2	内線/専用線許容

「関連機能番号」

- 0306 : ダイヤル転送 (相手応答後転送)
- 0308 : チェンジオーバー (交互打合せ通話)

<注意事項>

(1) 内線/専用線許容と設定することで専一公接続/公一専接続となるオンフック転送も可能になりますが、運用には十分注意が必要です。

例: オンフックにより転送が動作するので、転送したくない場合は相手から先切りしてもらう必要がある、など。

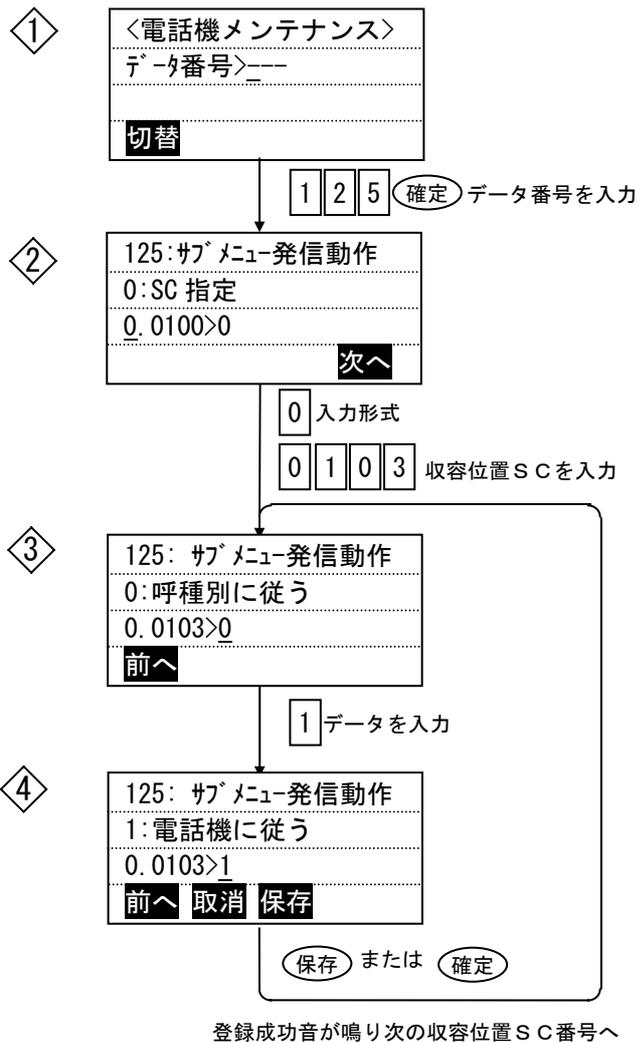
データ番号	サブメニュー発信動作	バージョン	V1.7~
125		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

電話帳表示／発信履歴表示／着信履歴表示からサブメニューで発信した場合、電話機の発信ボタン押下と動作を同じにするかどうかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線のサブメニュー発信動作を電話機に従うに設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	サブメニュー発信動作
0	呼種別に従う

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC指定
1	DN指定

「キー操作とデータ」

SC指定

収容位置SC(0100~1901)を10キーで指定します。

サブメニュー発信動作

10 キー	データ内容
0	呼種別に従う
1	電話機に従う

「関連機能番号」

0105：リダイヤル/発信履歴  
0106：着信履歴  
0108：共通/個別電話帳

<注意事項>

- 以下の場合は「電話機に従う」と設定しても「呼種別に従う」の動作となります。
  - 対象の電話機の発信ボタンの機能割付を、以下の機能以外に変更してある場合
    - ①70：発信 ②20：外線発信 ③21：キャリア選択 ④66：外線/専用線 ⑤69：MSA
  - 単独電話機/DCL/PHS/SIP 端末など、対象の電話機に発信ボタンが存在しない場合
- CL920 の場合は「電話機に従う」と設定すると、親機の発信ボタンに従う動作となります。

このページは白紙になります。

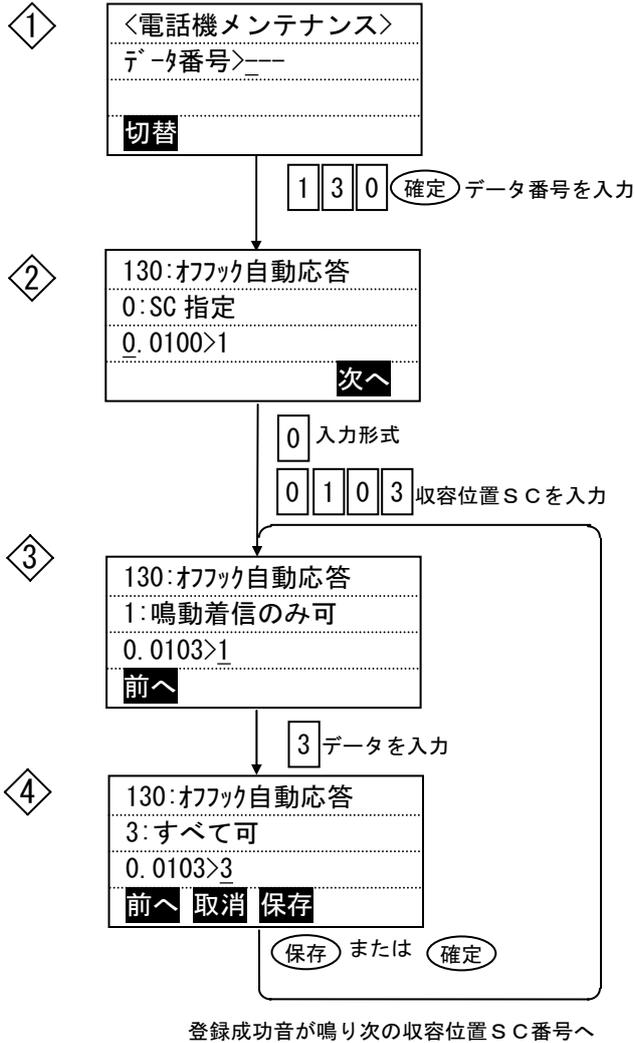
	バージョン	V1.0~
データ番号	データ更新条件	
130		内線毎

<データ設定概要>

外線からの着信をオフフック操作で応答するかしないかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線のオフフック自動応答をすべて可に設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	オンフック転送
1	鳴動着信のみ可

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC(0100~1901)を10 キーで指定します。

オフフック自動応答

10 キー	データ内容
0	不可
1	鳴動着信のみ可
2	呼種表示着信のみ可
3	すべて可

「関連機能番号」

- 0201 : オフフック外線自動応答
- 0202 : ダイレクト・グループ・ライン (DGL)
- 0203 : MSA 着信

<注意事項>

- 注1. 鳴動設定していないの電話機を自動応答にする場合は、非鳴動着信呼種表示 (データ番号131) も設定してください。
- 2. 自動応答できる着信は一般着信、DGL着信、MSA着信、ドアホン着信です。

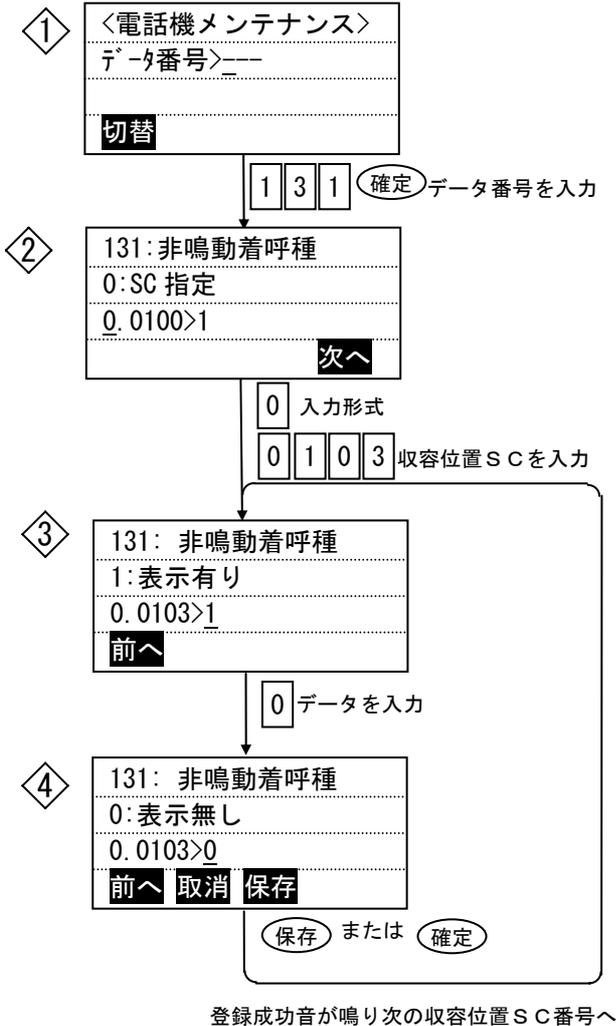
	バージョン	V1.0~
データ番号	データ更新条件	
131		内線毎

<データ設定概要>

外線着信時、鳴動設定していない電話機に呼種表示をするかしないかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の非鳴動着呼種を表示無しに設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	非鳴動着呼種表示
0	表示無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

無鳴動着呼種表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

「関連機能番号」

- 0201 : オフフック外線自動応答
- 0202 : ダイレクトグループライン
- 0203 : MSA 着信
- 0204 : 外線別鳴動先指定

<注意事項>

- 注1 : 多回線DCLは、非鳴動着信呼種表示を「表示有り」に設定してもLCDIに呼種表示はしません。
- 2 : 単独電話機、自営標準PHS、SIP端末は非鳴動着信できません。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

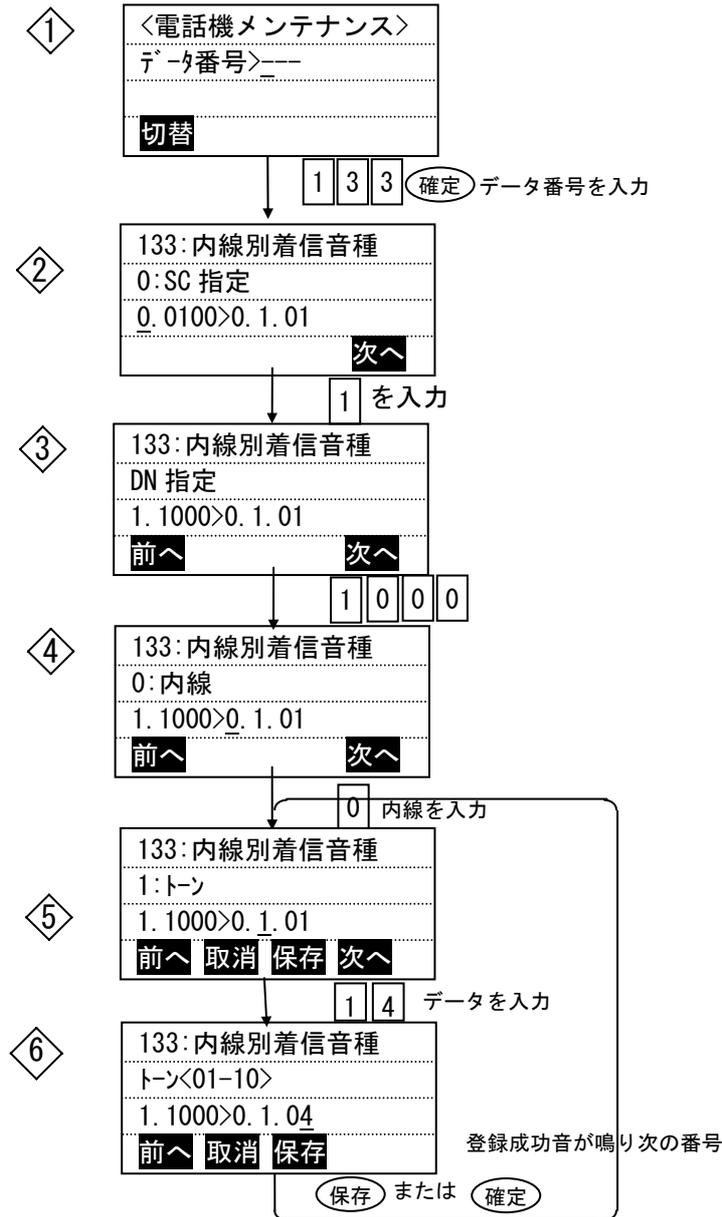
データ番号	内線別着信音種
133	

<データ設定概要>

内線着信時の音色を、トーン/メロディ/外部音源を含めた計 17 種類から指定する。

<操作例>

設定画面を開いた内線の一般着信音をトーン 04 に設定します。



「初期値」

10 キー	着信音種別
1	トーン

10 キー	トーン種別
1	トーン 01

「キー操作とデータ」

(個別着信/一般着信 共通)

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

SC 指定

③ 収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

着信

10 キー	データ内容
0	内線

着信音種

10 キー	データ内容
1	トーン
2	メロディ
3	外部音源

—	データ内容
トーン<01-10>	01~10
メロディ<0-3>	0:保留/1~3:メロディ1~3
外部音源<1-3>	1~3

「関連機能番号」

0423 : 着信音選択

<注意事項>

注1. 標準電話機の場合は、サービスメニューからの変更ができます。  
単独電話機は登録はできますが、サービスは提供されません。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

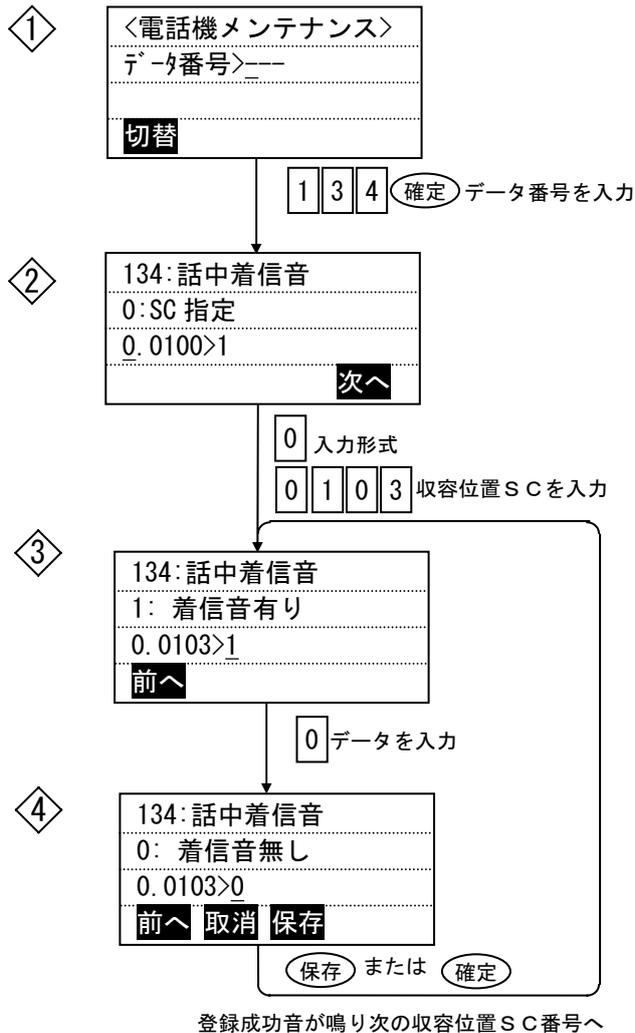
データ番号	話中着信音
134	

<データ設定概要>

鳴動電話機で通話中に外線着信またはドアホン着信があった場合、着信音を出す/出さないの指定をする。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の話中着信音を無しに設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	話中着信音
1	着信音有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

話中着信音

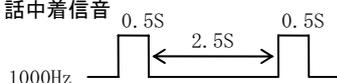
10 キー	データ内容
0	着信音無し
1	着信音有り

「関連機能番号」

0211 : 通話中外線着信音送出

<注意事項>

注1. 話中着信音



2. 単独電話機、自標PS/SIP端末には話中着信音は出ません。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

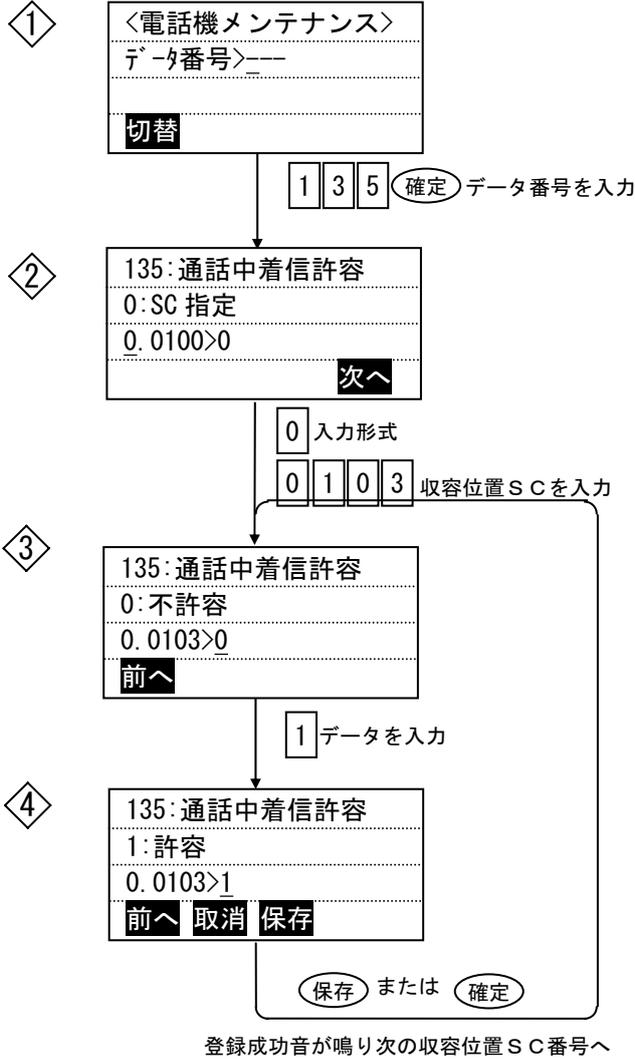
データ番号	通話中着信許容
135	

<データ設定概要>

通話中の着信表示を許可するかを設定します。(発信側)

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の通話中着信を許容に設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	通話中着信許容
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

通話中着信許容

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0415 : 通話中着信

<注意事項>

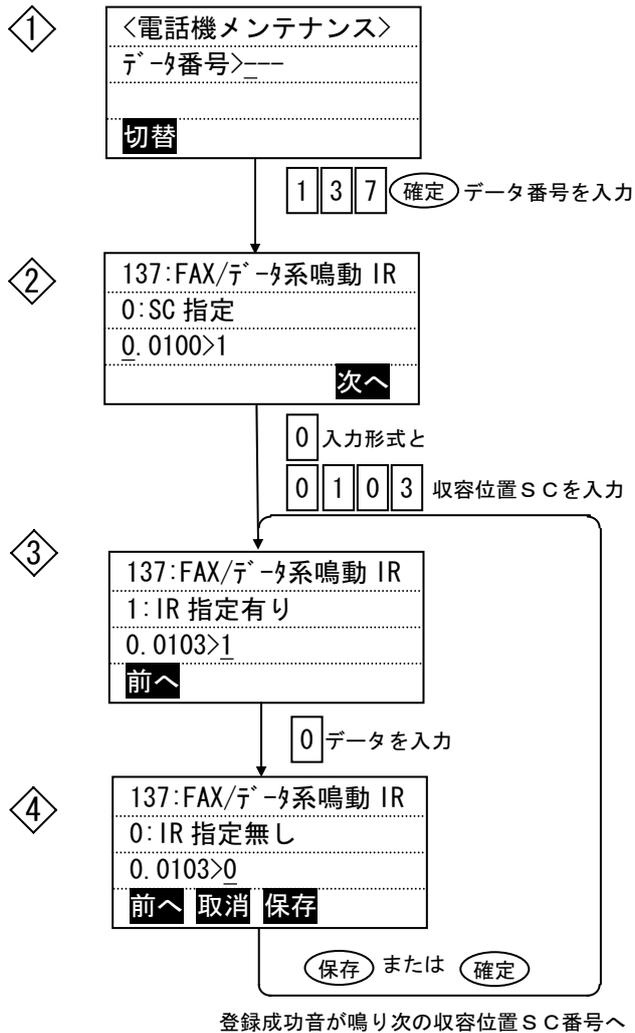
データ番号	FAX/データ系鳴動 IR	バージョン	V1.0~
137		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

FAX/データ端末の着信呼を IR（1秒鳴動2秒休止）に指定する。

<操作例>

收容位置 SC: 0103 の内線の FAX/データ系鳴動 IR 指定を無しに設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	FAX/データ系鳴動 IR
1	IR 指定有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

收容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

FAX/データ系鳴動 IR

10 キー	データ内容
0	IR 指定無し
1	IR 指定有り

「関連機能番号」

- 0206 : 呼出信号識別
- 0650 : 単独電話機收容
- 0655 : アナログポート単独電話機

<注意事項>

バージョン	V1.4~
データ更新条件	内線毎

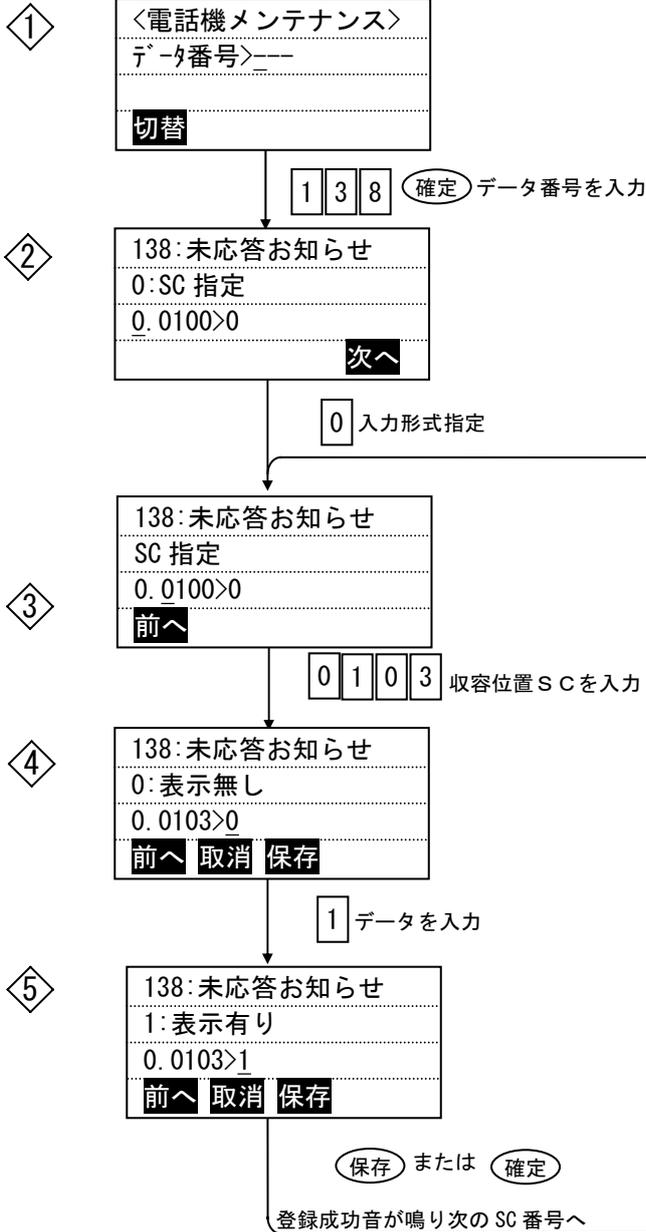
データ番号	未応答着信お知らせ表示
138	

<データ設定概要>

外線個別着信未応答時に着信ランプ/LCD 表示による未応答着信のお知らせ表示を有るかどうかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を未応答着信お知らせ表示有りに変更します。



「初期値」全内線共通

10 キー	未応答着信お知らせ
0	表示無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

未応答着信お知らせ

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

「関連機能番号」

0723 : 未応答着信 (個別) お知らせ

<注意事項>

バージョン	V1.5~
データ更新条件	内線毎

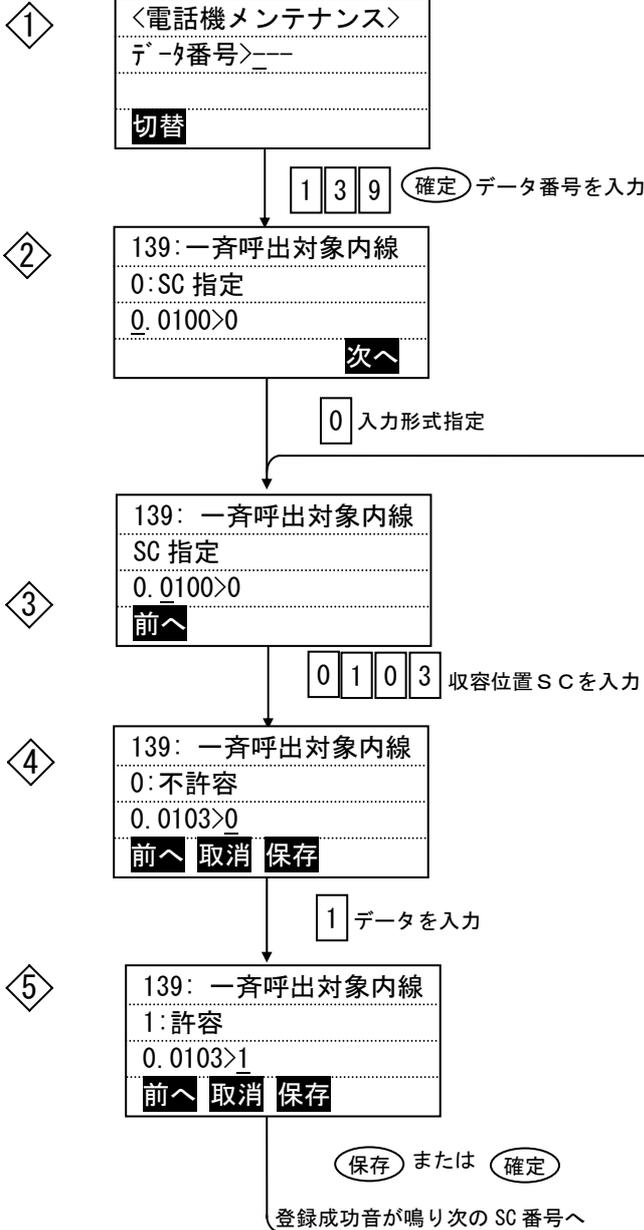
データ番号	一斉呼出対象内線
139	

<データ設定概要>

一斉呼出の着信対象となる内線を設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を一斉呼出対象内線許容に変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	一斉呼出対象内線
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

一斉呼出対象内線

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0623 : 一斉呼出

<注意事項>

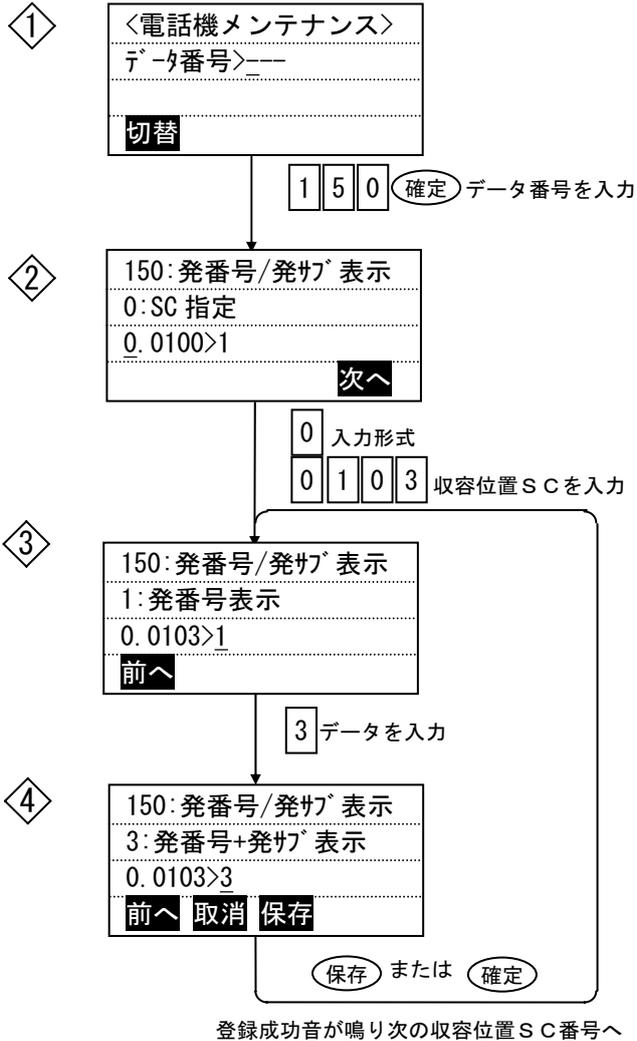
データ番号	着信時発番号/発サブ表示	バージョン	V1.0~
150		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

ISDN回線/IP回線で着信時、発番号または発サブアドレス、もしくは両方の表示をどうかを電話機ごとに設定する。

<操作例>

収容位置 SC: 0103 の設定を発番号表示から発番号+発サブアドレス表示に変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	発番号/発サブアドレス表示
1	発番号表示

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

発番号/発サブ表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	発番号表示
2	発番号+発サブアドレス表示

「関連機能番号」

- 0712: ナンバーディスプレイ
- 0713: ネームディスプレイ
- 0714: 発サブアドレス表示
- 1311: 発信者番号通知
- 1403: VOIP 発信者番号通知

<注意事項>

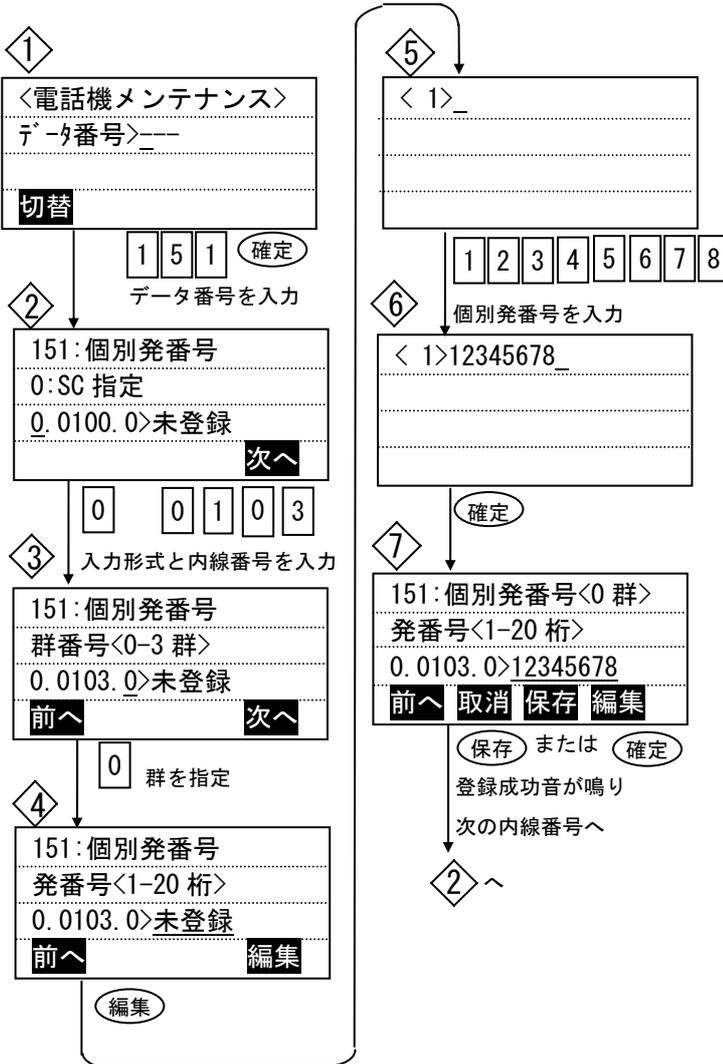
データ番号	個別発番号	バージョン	V1.0~
151		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

着番号 DID 群が 0~3 群が ISDN 回線/IP 回線で発信時、相手端末に通知する発番号を電話機ごとに設定する。

<操作例>

端末番号 SC:0103 の内線の個別発番号(0 群)に「12345678」を設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	個別発番号 (0-3 群)
-	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

**SC 指定**  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

**群番号**  
群番号 (0~3) を 10 キーで指定します。

**発番号**  
個別番号 (1~20 桁) を 10 キーで入力します。



「関連機能番号」

- 1004 : 個別発番号付加
- 1311 : 発信者番号通知
- 1403 : V0IP 発信者番号通知
- 1456 : IP 回線発信者番号通知-SIP 回線-

<注意事項>

注1. 個別発番号は1~20桁で指定できます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

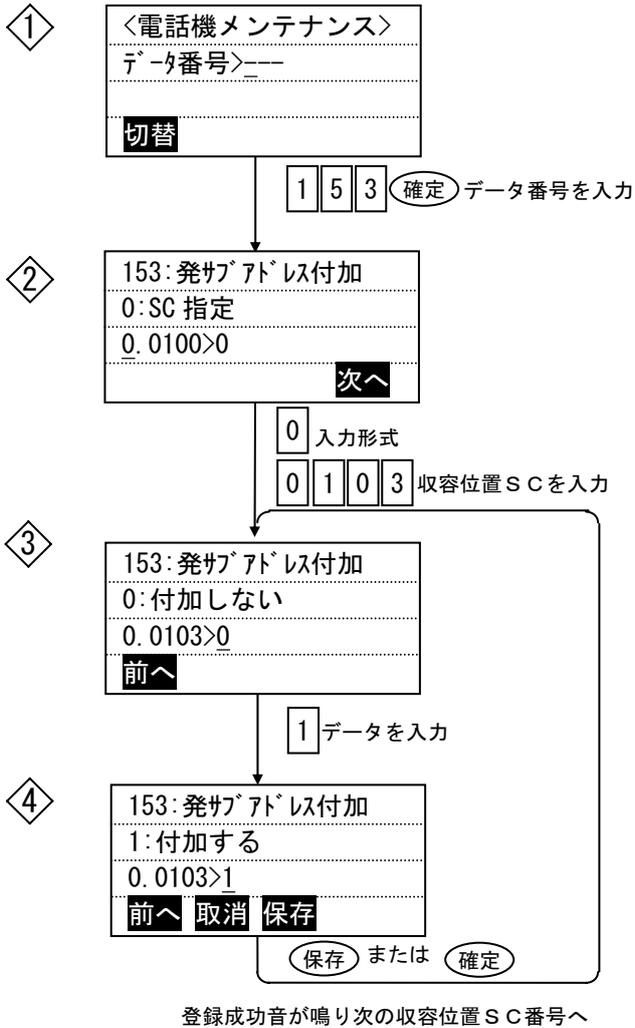
データ番号	153	発サブアドレス付加
153		

<データ設定概要>

ISDN 回線/IP 回線で発信時、発サブアドレス(内線番号)の情報要素を相手端末またはボタン電話機に追加するかどうかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の発サブアドレス付加をするに設定します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	発サブアドレス付加
0	付加しない

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC(0100~1901)を 10 キーで指定します。

発サブアドレス付加

10 キー	データ内容
0	付加しない
1	付加する

「関連機能番号」

- 1001 : 発サブアドレス付加
- 1457 : IP 回線発サブアドレス通知 - SIP 回線 -

<注意事項>

注1. データ番号154で外線発信用発番号通知を通知しないとした場合は、発サブアドレスも付加しないように設定してください。

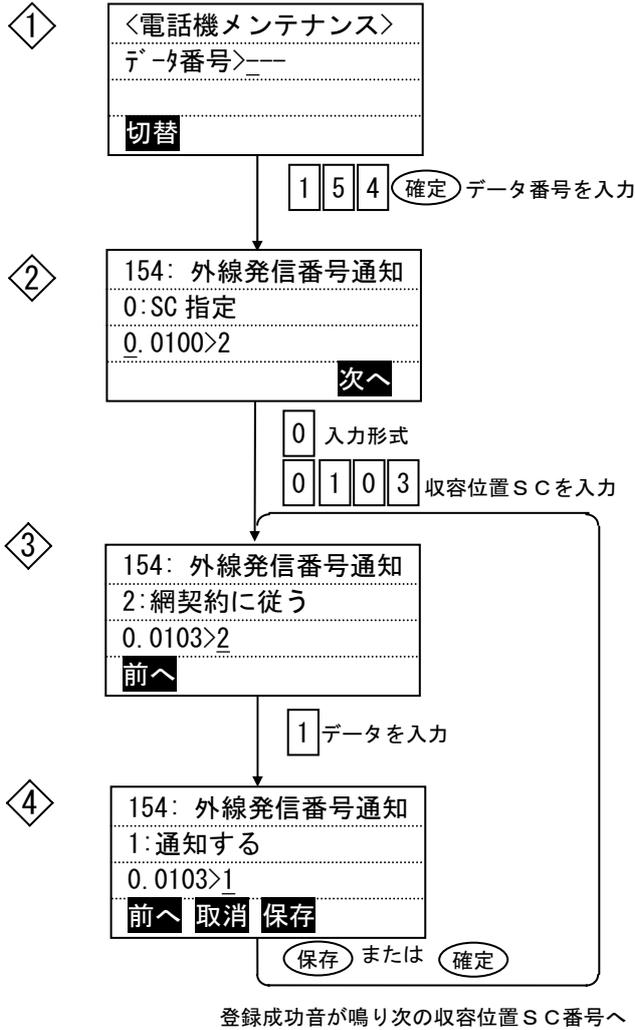
データ番号	外線発信番号通知	バージョン	V1.0~
154		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

ISDN 回線/IP 回線で発信時、発信者番号を自動的に付与して接続相手に通知するかどうかを電話機ごとに指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の外線発信番号通知を「通知する」に設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	外線発信番号通知
2	網契約に従う

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

外線発信番号通知

10 キー	データ内容
0	通知しない
1	通知する
2	網契約に従う

「関連機能番号」

- 0114 : 発番号通知/非通知切替
- 1003 : 発信者番号付加
- 1311 : 発信者番号通知
- 1403 : VOIP 発信者番号通知

<注意事項>

バージョン	V1.3~
データ更新条件	内線毎

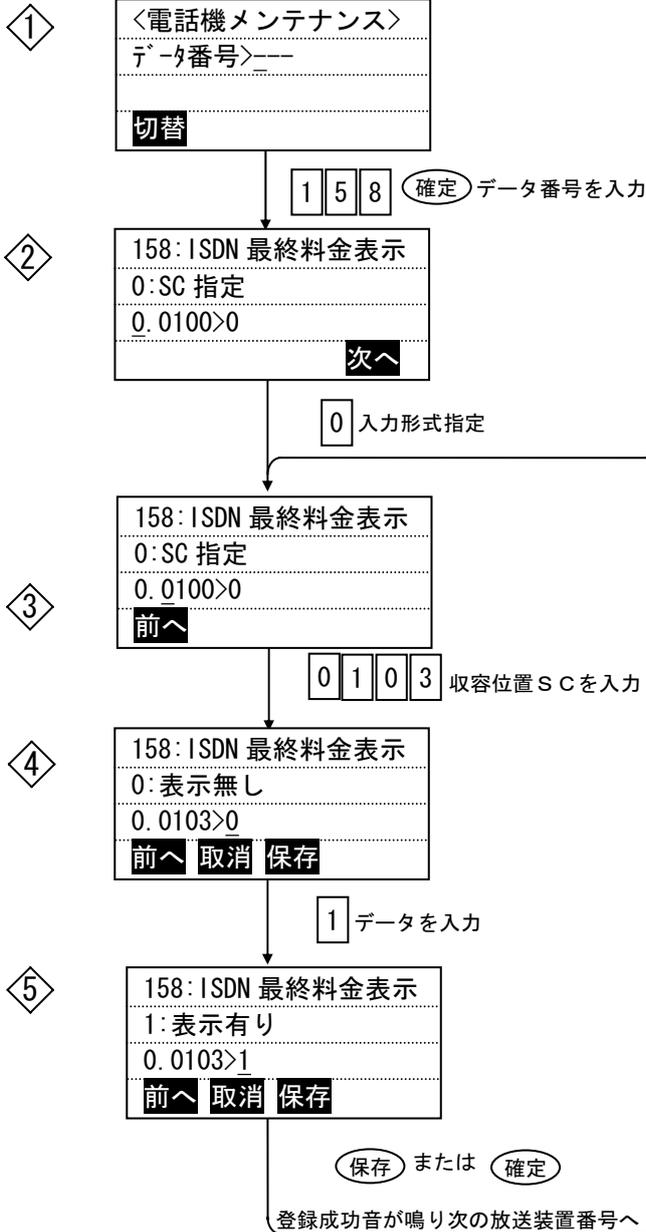
データ番号	ISDN 最終料金表示
158	

<データ設定概要>

外線通話終了時に ISDN 網から通知される最終料金を表示するかどうかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を最終料金表示有りに変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	ISDN 最終料金表示
0	表示無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

ISDN 最終料金表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

「関連機能番号」

0707 : 最終料金表示

<注意事項>

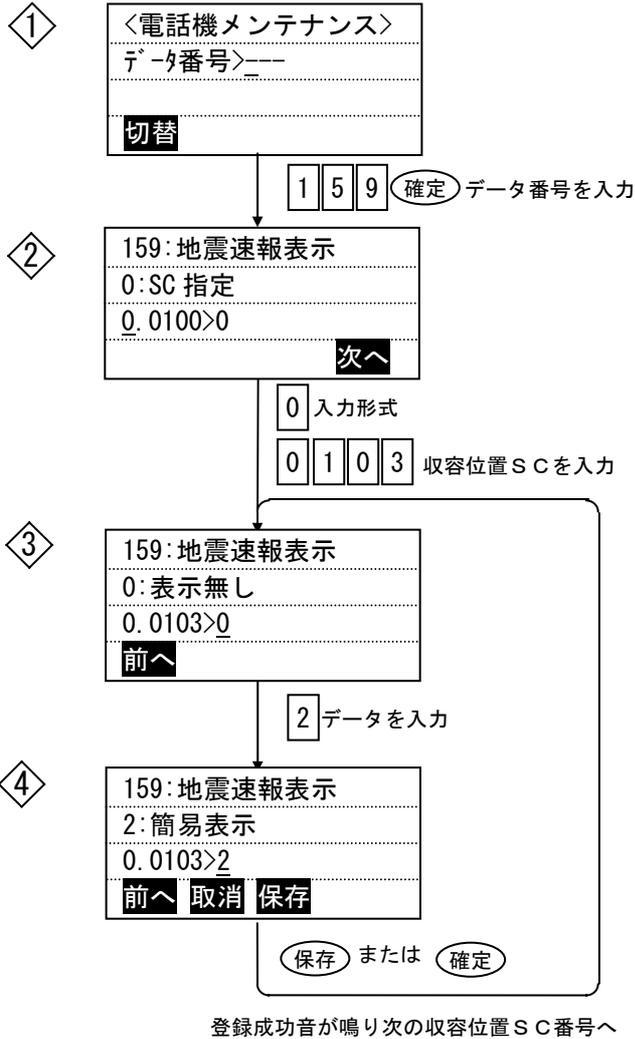
	バージョン	V2.0~
データ番号	データ更新条件	
159		内線毎

<データ設定概要>

地震速報発生時、電話機 LED/LCD にて地震速報表示を行なうかどうかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線簡易表示を設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	地震速報表示
0	表示無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

表示指定

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り
2	簡易表示

「関連機能番号」

0627 : 緊急地震速報

<注意事項>

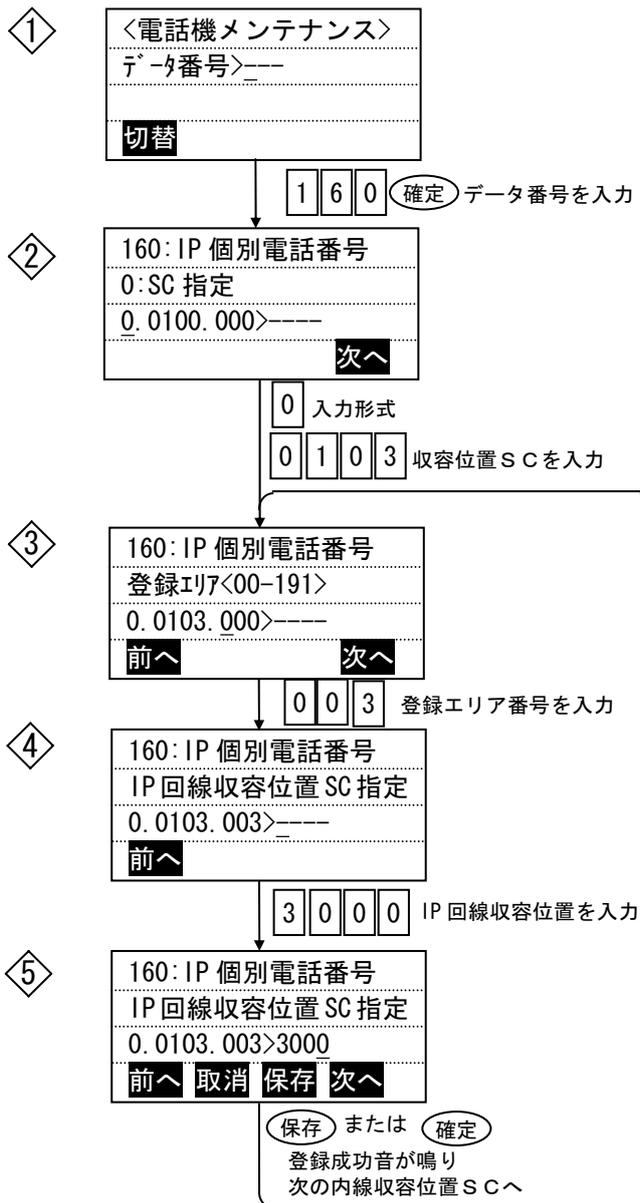
データ番号	IP 回線個別電話番号	バージョン	V1.0~
160		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

IP 回線発信時に通知する契約番号を内線ごとに指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の登録エリア 03 に、IP 回線 SC : 3000 で発信時に通知する IP 契約番号エリア 03 の契約番号を指定します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	登録エリア
-	未登録

10 キー	IP 回線収容位置 SC
-	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC 指定
- ③ 登録エリア
- ④ IP 回線収容位置 SC 指定
- ⑤ 内線収容位置 SC (0100~1901)、登録エリア (00~11) V1.0  
登録エリア (00~191) V1.1  
IP 回線収容位置 SC (0100~1899/3000~3191) のそれぞれを 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

- 1456 : IP 回線発信者番号通知-SIP 回線-
- 1403: VOIP 発信者番号通知
- 1311: 発信者番号通知

<注意事項>

- 注1. 本データでは通知する契約番号ではなく、IP回線契約番号データ（データ番号873）の契約番号エリアを設定します。そのため、IP回線契約番号データにて通知番号を登録する必要があります。また、IP回線契約番号データの使用可能回線と本データの回線収容位置データを合わせる必要があります。
- 2. 本データは内線毎に12回線分のデータが登録可能です。
- 3. 本データとIP回線通知番号（データ番号290）の設定がある場合は本データを優先します。
- 4. 本データを有効にするためには着信形式（データ番号220）にて使用するIP回線の着信形式を「DI」に設定する必要があります。

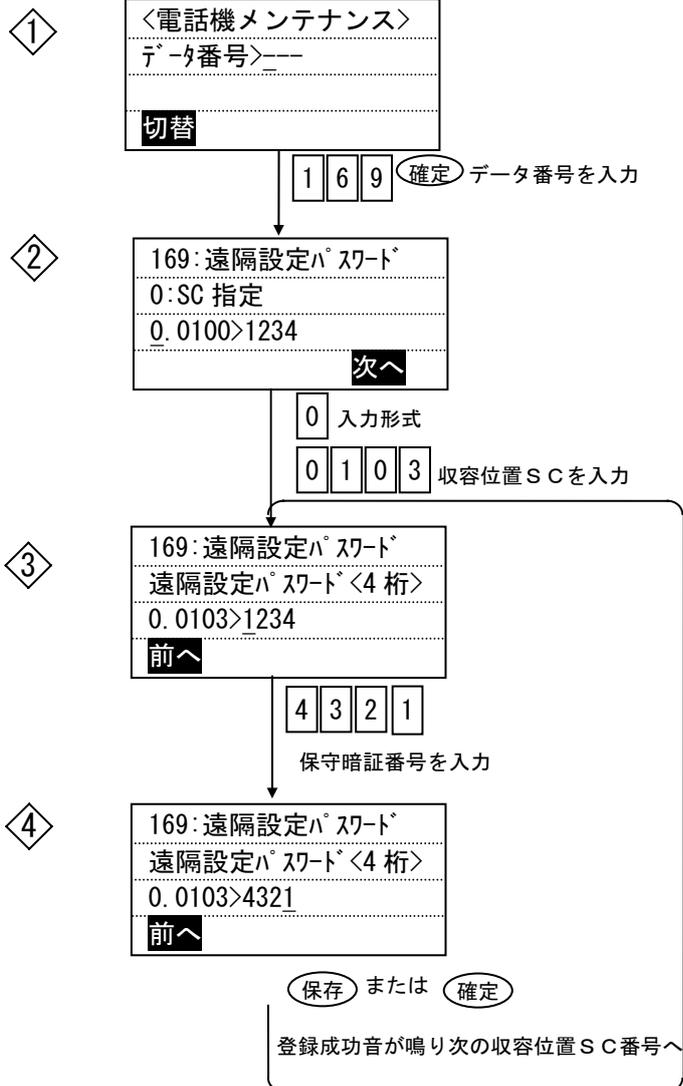
		バージョン	V1.3~
データ番号	遠隔設定パスワード	データ更新条件	内線毎
169			

<データ設定概要>

遠隔設定 (PB 保守) にてログインするとき使用するパスワードを指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の遠隔設定のパスワードを「4321」に設定します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	遠隔設定パスワード
-	1234

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで設定します。

遠隔設定パスワード

遠隔設定パスワード (4桁) を 10 キーで設定します。

②

③

④

「関連機能番号」

0616 : 遠隔設定操作 (PB 保守)

<注意事項>

このページは白紙になります。

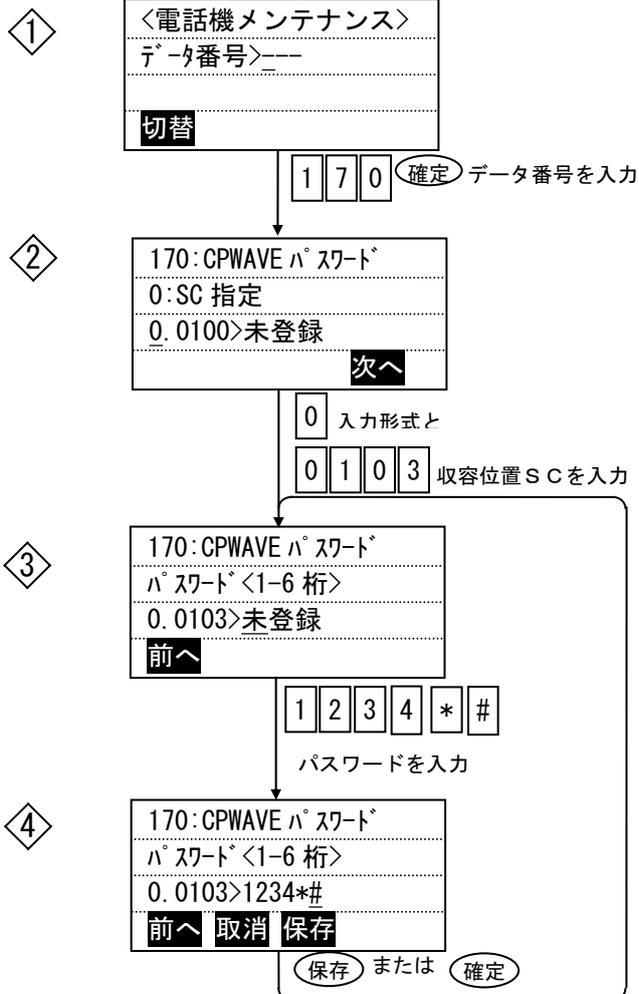
データ番号	CPWAVE パスワード	バージョン	V1.2~
170		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線端末と連携する CPWAVE が、主装置にログインするとき使用するパスワードを指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の CPWAVE パスワードを「1234\*#」に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」 全内線共通

10 キー	パスワード
-	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで設定します。

パスワード

パスワード (1~6 桁) を 10 キーおよび\*キー、# キーで設定します。

②  
③  
④

「関連機能番号」

1500: CPWAVE 収容<V1.2>

<注意事項>

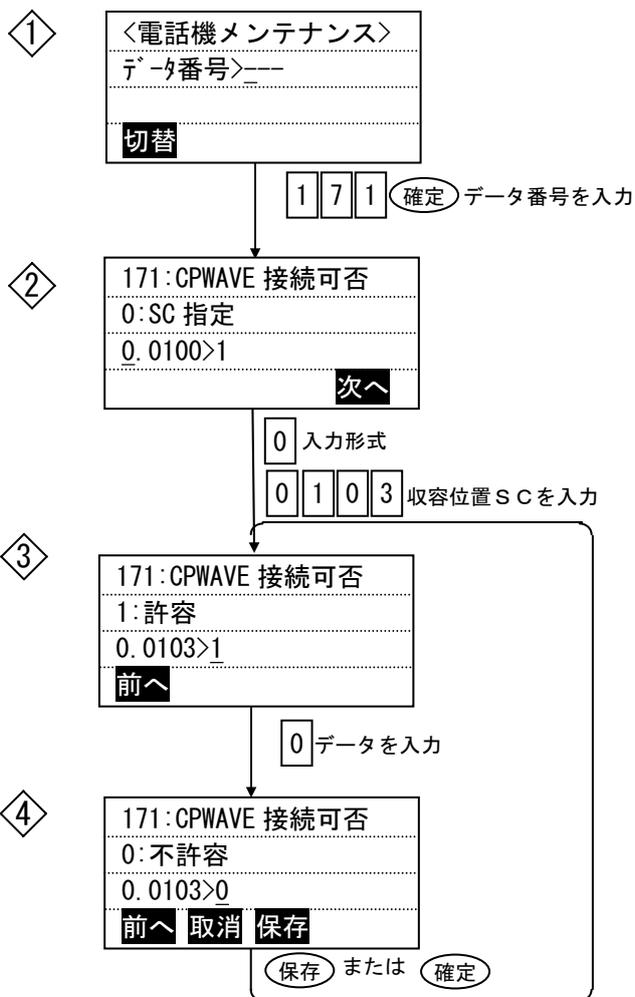
データ番号	CPWAVE 接続可否	バージョン	V1.2~
171		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線端末と連携する CPWAVE を、運用するかないかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の CPWAVE 接続を不許容に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」 全内線共通

10 キー	CPWAVE 接続
0	不許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

CPWAVE 接続可否

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

1500: CPWAVE 収容<v1.2>

<注意事項>

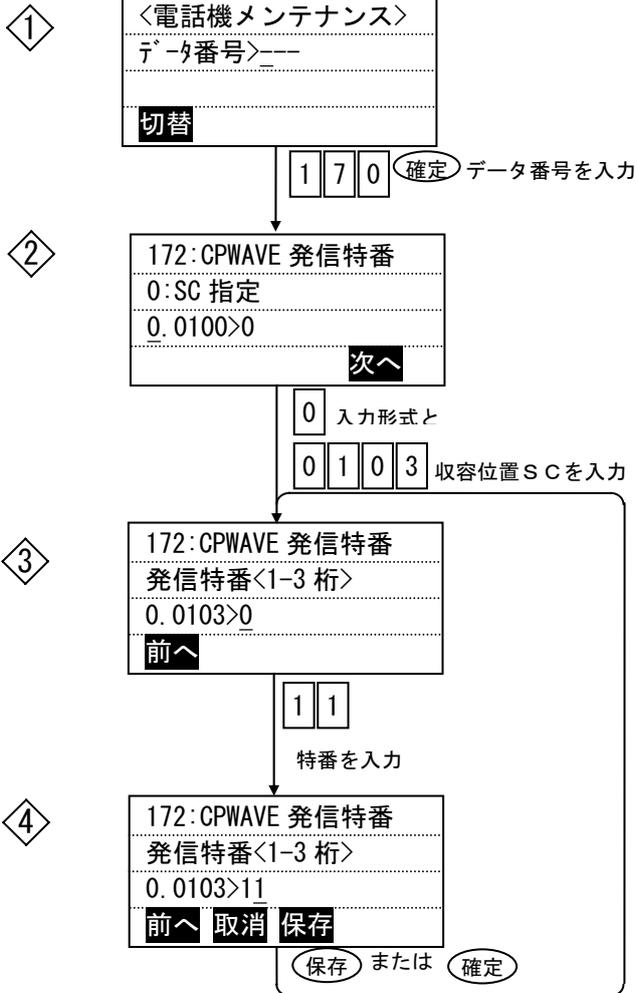
データ番号	CPWAVE 発信特番	バージョン	V1.2~
172		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線端末と連携する CPWAVE が発信する時の発信特番を指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の発信特番を「11」に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置SC番号へ

「初期値」全内線共通

10 キー	発信特番
-	0

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC 指定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで設定します。
- ③ 発信特番  
特番 (1~3 桁) を 10 キーおよび\*キー、#キーで設定します。
- ④

「関連機能番号」

1501: CPWAVE 発信<V1.2>

<注意事項>

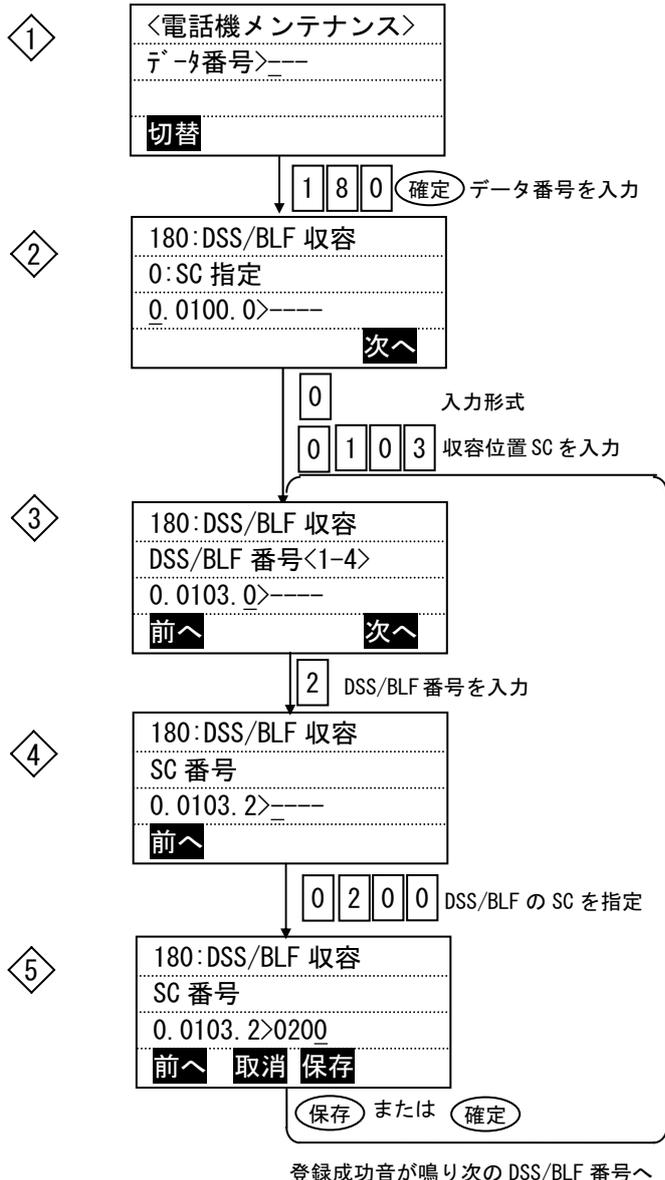
データ番号	DSS/BLF 収容	バージョン	V1.3~
180		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線が収容する DSS/BLF ユニットの指定できます。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の内線に SC:0200 の No.2 DSS/BLF ユニットの収容します。



「初期値」

10 キー	DSS/BLF ユニットの収容
-	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC の設定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。
- ④
- ③ DSS/BLF 番号  
DSS/BLF 番号 (1~4) 及び DSS/BLF の SC 番号を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

0654 : DSS 収容

<注意事項>

- 注1. 1台の内線に対応づけ可能な DSS の台数は4台までです。
- 2. 収容する台数に制限はありません。
- 3. 1台の DSS を複数の内線に対応づけることはできません。
- 4. DSS 以外の SC 番号を割り付けても、無効です。

このページは白紙になります。

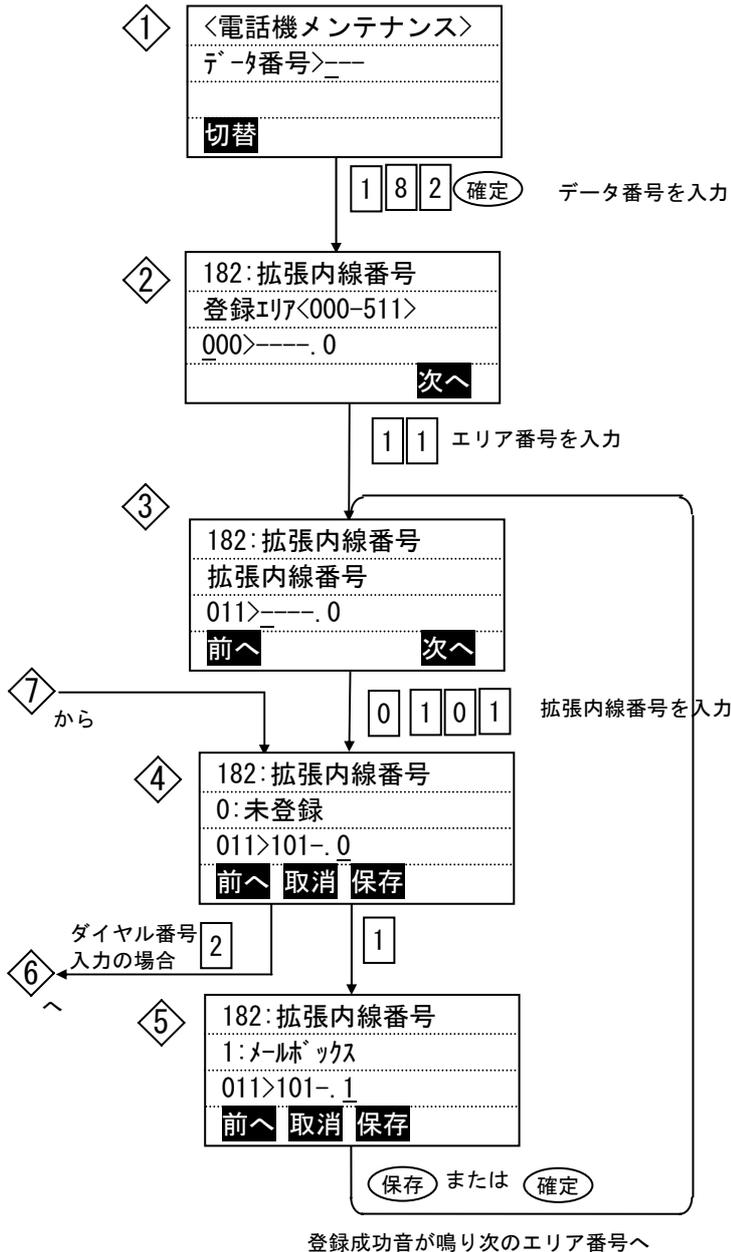
データ番号	拡張内線番号 1/2	バージョン	V1.0~
182		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線グループ呼出などに対して拡張内線番号を付与し、あたかも内線のように呼出しができます。  
また拡張内線番号にメールボックスも設定できます。<V1.2>

<操作例>

エリア11の拡張内線番号101に、メールボックスを設定します。<V1.2>  
(ダイヤル番号の設定は次頁)



「初期値」 全内線共通

10 キー	拡張内線番号
0	未登録

「キー操作とデータ」

② エリア番号  
エリア番号(000~511)を10キーで指定します。

③ 拡張内線指定  
拡張内線番号(1~4桁)を10キーで指定します。

拡張内線種別

10 キー	データ内容
0	未登録
1	メールボックス<V1.2>
2	ダイヤル

②

③

④

⑤

「関連機能番号」

0608 : IP/ISDN 電話自動交換 (閉番号)  
0900 : 音声メール装置収容<V1.2>

<注意事項>

- 注1. 拡張内線番号は番号計画（データ番号300-03）で指定した番号を使用し1~4桁で設定できます。（512対地）
- 注2. 内線グループ呼出特番は番号計画（データ番号300-40）を1~2桁で設定します。
- 注3. 内線グループ番号は、内線グループ（データ番号590）で指定します。
- 注4. メールボックスとして設定した拡張内線番号は、メールボックス番号（データ番号471）で指定します。<V1.2>
- 注5. メールボックスを選んだ場合、先頭に「\*」、「#」、「0」、「9」が入った番号は設定できません。
- 注6. 拡張内線番号に「\*」、「#」を登録することはできません。

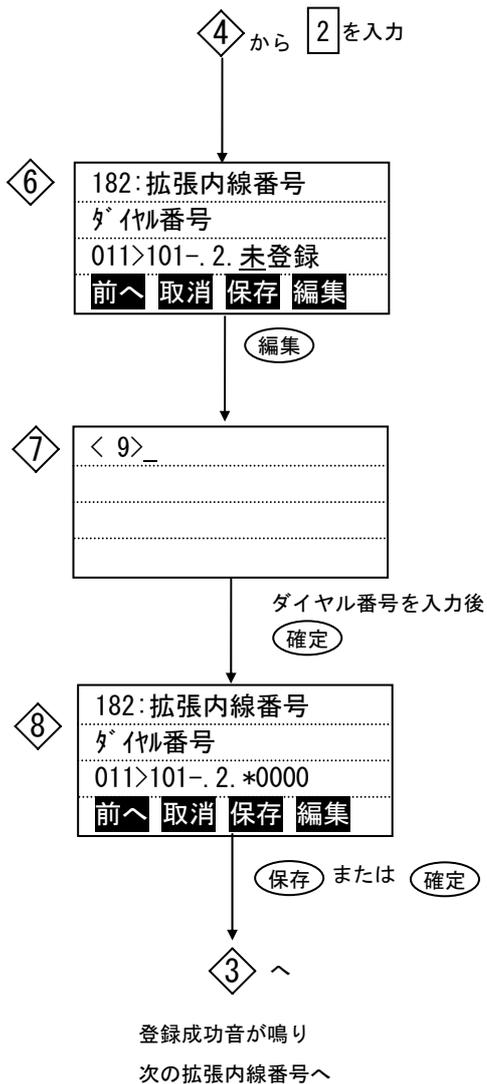
バージョン	V1.0~
データ更新条件	内線毎

データ番号	拡張内線番号 2/2
182	

<データ設定概要>

<操作例>

拡張内線番号 101 に、ダイヤル番号\*0000 (内線グループ 0000 呼出) を設定します。



「キー操作とデータ」

⑥

⑦

⑧

ダイヤル番号

ダイヤル番号 (1~8 桁) を 10 キーで指定します。  
入力可能文字は 0~9, \*, # です。

<注意事項>

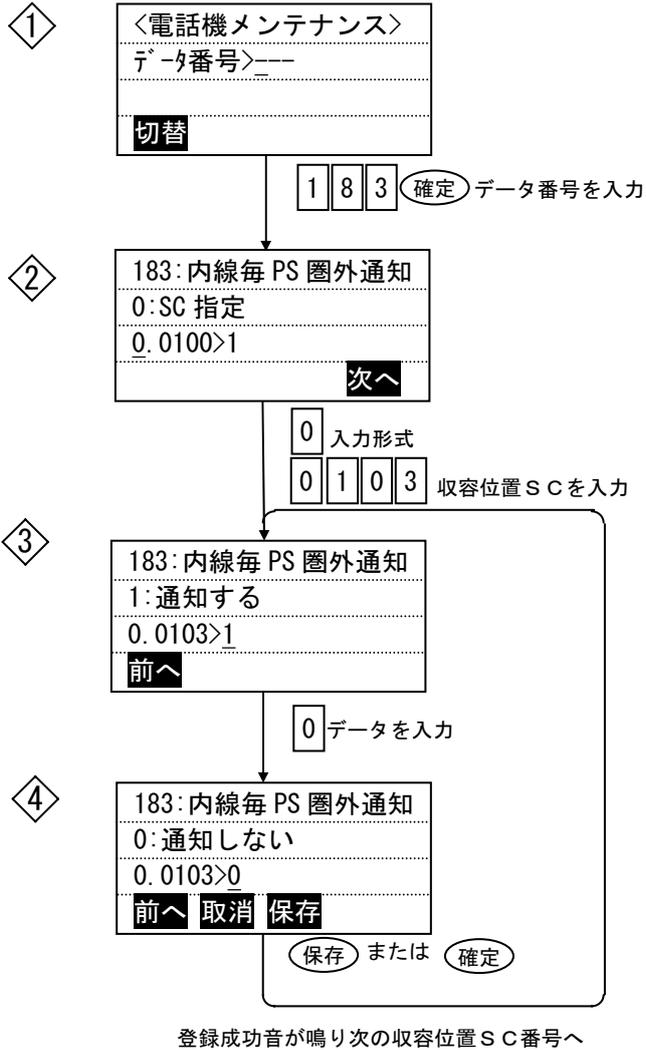
データ番号	内線毎 PS 圏外通知	バージョン	V1.1~
183		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

内線からシステムコードレス電話機(PS)に発信した際、PSが無線圏外、電源 OFF のとき発呼側に対して PS 圏外通知の有無を指定できます。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線を PS 圏外通知無しにします。



「初期値」全内線共通

10 キー	内線毎 PS 圏外通知
1	通知する

「入力形式選択」

0	SC 指定
1	DN 指定

コマンド 100 で PS 内線番号を設定してください。

「キー操作とデータ」

SC 指定  
収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

内線毎 PS 圏外通知

10 キー	データ内容
0	通知しない
1	通知する

「関連機能番号」

- 1300 : システムコードレス収容
- 1302 : PS 個別着信
- 1303 : PS 圏外ガイダンス通知

<注意事項>

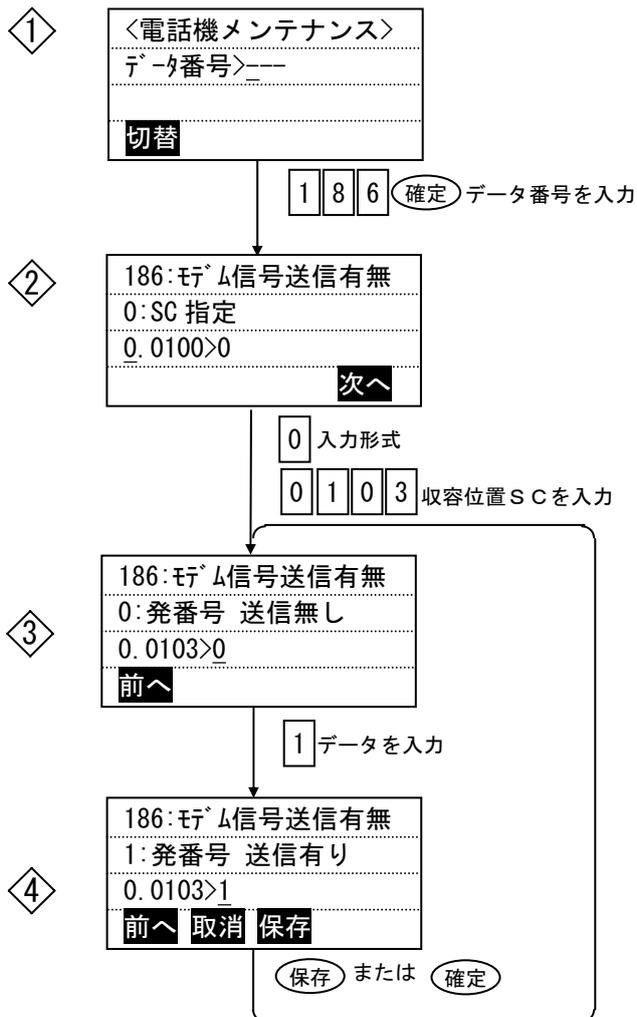
データ番号	モデム信号送信有無	バージョン	V1.0~
186		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

モデム信号（発番号）送信の有無を設定できます。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線のモデム信号送信を有りに設定します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	初期値
0	発番号 送信無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

モデム信号送信

10 キー	データ内容
0	発番号 送信無し
1	発番号 送信有り

「関連機能番号」

- 0620 : 情報通知系サービス受信機能
- 0712 : ナンバーディスプレイ
- 0713 : ネームディスプレイ

<注意事項>

注1. アナログポートへ接続した単独電話機、又はFAXに対して、受信した発番号を表示したい場合は本設定を「有り」として下さい。

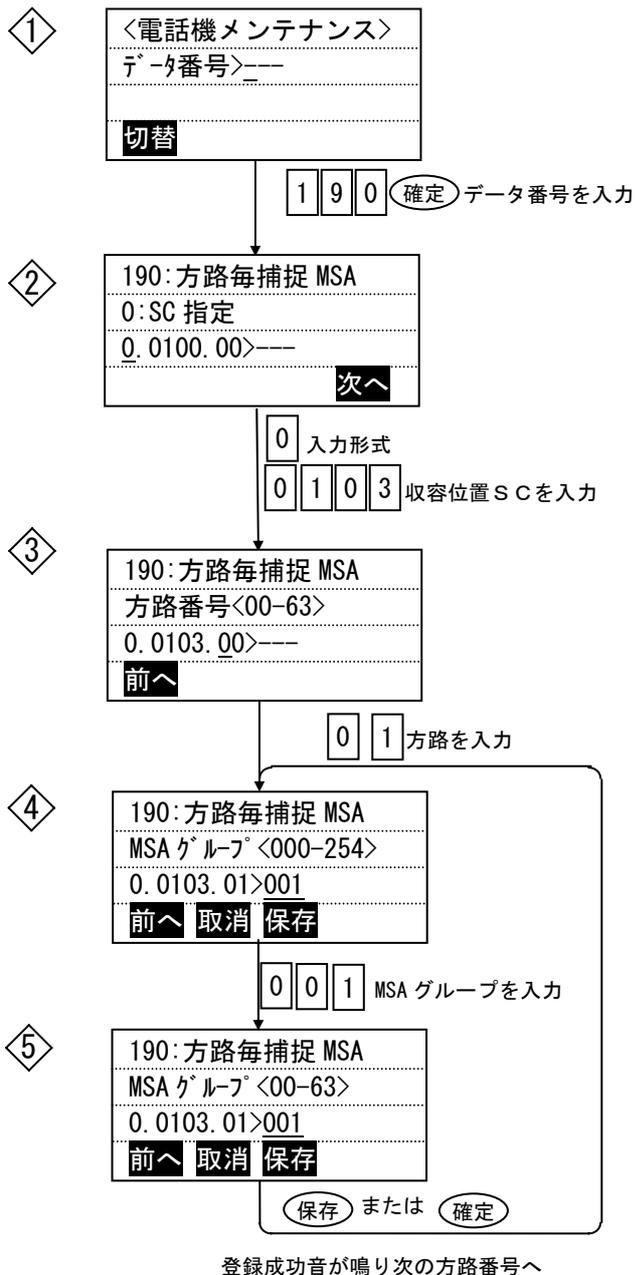
データ番号	方路毎捕捉 MSA	バージョン	V1.1~
190		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

MSA を自動捕捉する場合に、捕捉する MSA グループを指定することができます。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の方路 01 の捕捉 MSA グループを、001 に変更します。



「初期値」 全内線共通

10 キー	方路毎捕捉 MSA
--	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

方路番号

方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。

MSA グループ

MSA グループ (000~254) を 10 キーで指定します。

②

③

④

「関連機能番号」

0113:MSA ボタン回線捕捉

<注意事項>

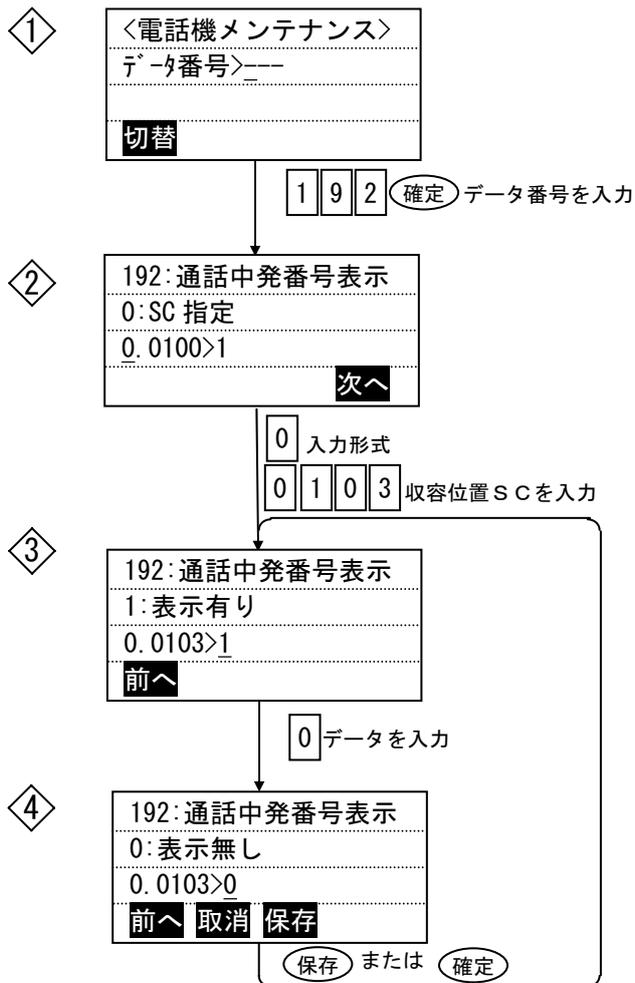
データ番号	通話中発番号表示	バージョン	V1.0~
192		データ更新条件	内線毎

<データ設定概要>

通話中発番号表示の有無を指定できます。

<操作例>

収容位置 SC : 0103 の内線の通話中発番号表示を、表示無しに変更します。



登録成功音が鳴り次の収容位置SC番号へ

「初期値」全内線共通

10キー	通話中発番号表示
1	表示有り

「入力形式選択」

10キー	データ内容
0	SC指定
1	DN指定

「キー操作とデータ」

SC指定

収容位置 SC(0100~1901)を10キーで指定します。

通話中発番号表示

10キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

「関連機能番号」

- 0108: 共通電話帳
- 0712: ナンバーディスプレイ
- 0713: ネームディスプレイ

<注意事項>

注1. 本設定は通話中に表示する発番号/発サブアドレス/発ネームに適用されます。

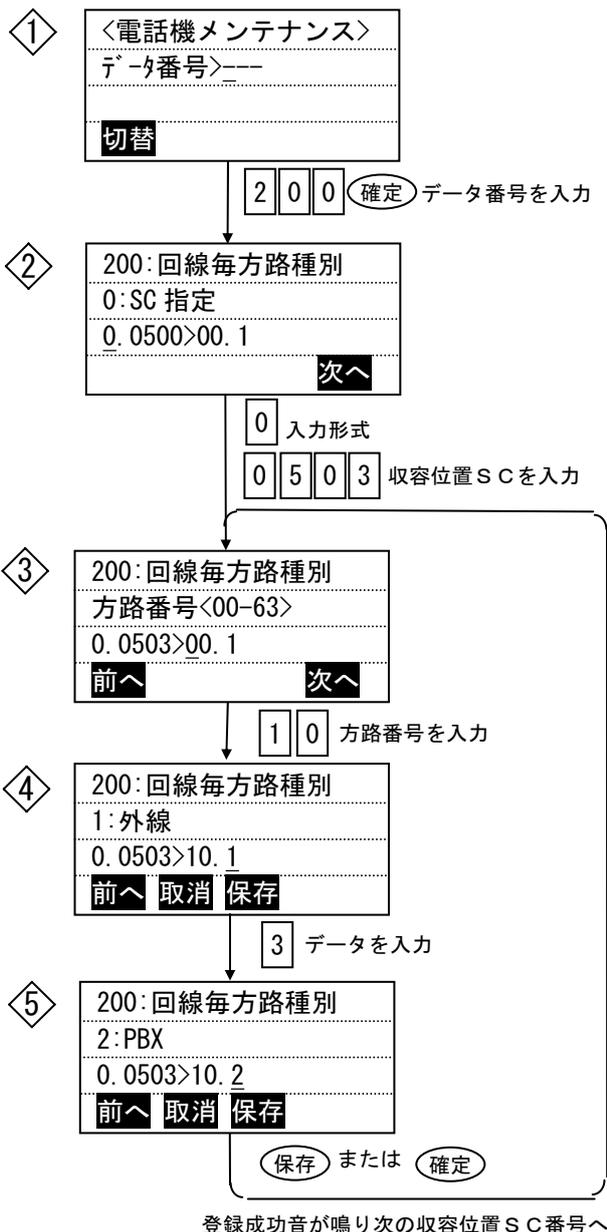
データ番号	回線毎方路種別	バージョン	V1.0~
200		データ更新条件	回線毎
		システム全空き	

<データ設定概要>

回線毎に方路番号 (00~63) と方路種別を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を方路番号 10、2:PBX に設定します。



「初期値」全 SC 共通

外線	方路
全外線	00
専用線	01

方路	方路種別
00	外線
01	専用線<V1.1>
02~63	未収容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

2 SC 指定  
収容位置 SC(0100~1899/3000~3191) を 10 キーで指定します。

3 方路番号  
方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。

4 方路種別

10 キー	データ内容
0	未収容 ※4
1	外線
2	PBX
3	専用線<V1.1>
4	直通回線<V1.1>

「関連機能番号」

- 0100 : 任意外線/専用線発信
- 0101 : ルート選択発信
- 0600 : 各種回線収容
- 0602 : 専用線接続
- 0603 : 専用線閉番号接続

<注意事項>

- 注1. 方路は最大64設定できます。
- 2. ISDN回線のデータ設定
  - (1) インタフェースグループでは、IFG (ins64 : 00, 01, 02, 03) 単位で設定して下さい。
  - (2) 収容位置番号SCでは、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。
- 3. 方路種別 : 未収容は表示のみです。
- 4. 方路種別を「専用線」に変更する場合、方路に割付いている回線に専用線回線以外ある場合、設定不可となります。方路種別を「外線/PBX/直通回線」に変更する場合、方路に割付いている回線に専用線回線がある場合、設定不可となります。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎
指定外線空き	

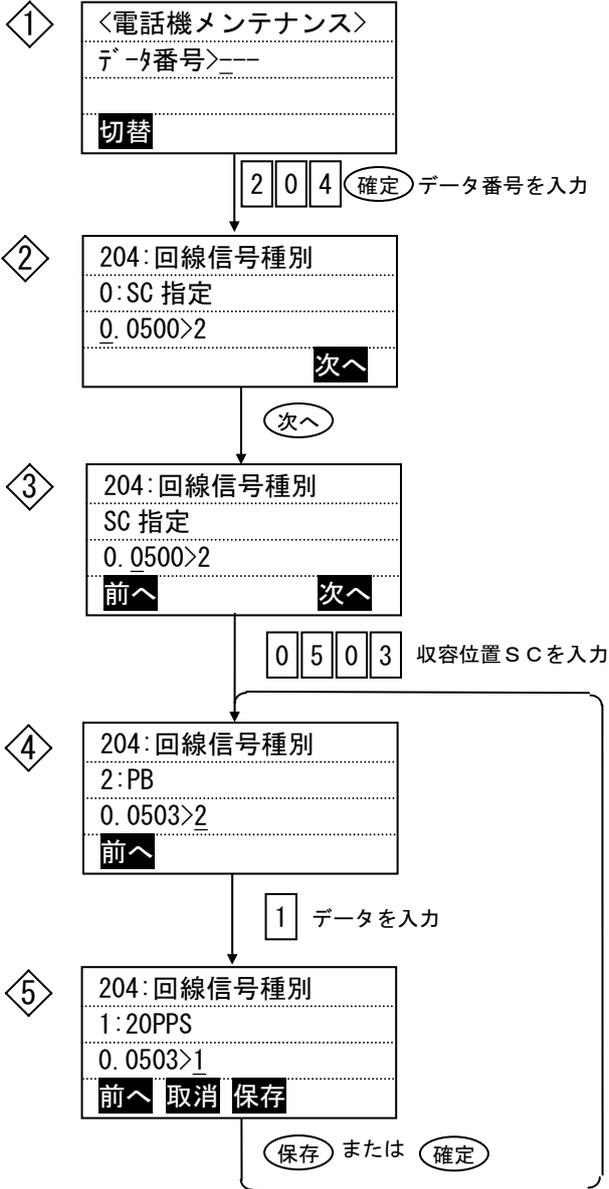
データ番号	回線信号種別
204	

<データ設定概要>

回線毎にダイヤル信号種別を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線信号種別を 20PPS に変更します。



登録成功音が鳴り次の収容位置SC番号へ

「初期値」全SC共通

10キー	回線信号種別
2	PB

③ 「入力形式選択」  
本設定はSCのみでの指定となります。

③ 「キー操作とデータ」  
SC指定  
収容位置SC(0100~1899)を10キーで指定します。

④ ⑤ 回線信号種別

10キー	データ内容
0	10PPS
1	20PPS
2	PB

「関連機能番号」

- 0600：各種回線収容
- 0602：専用線接続
- 0603：専用線閉番号接続

<注意事項>

注1. 専用線等でDT音がでない回線は、データ番号240で擬似DT音を送出することができます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

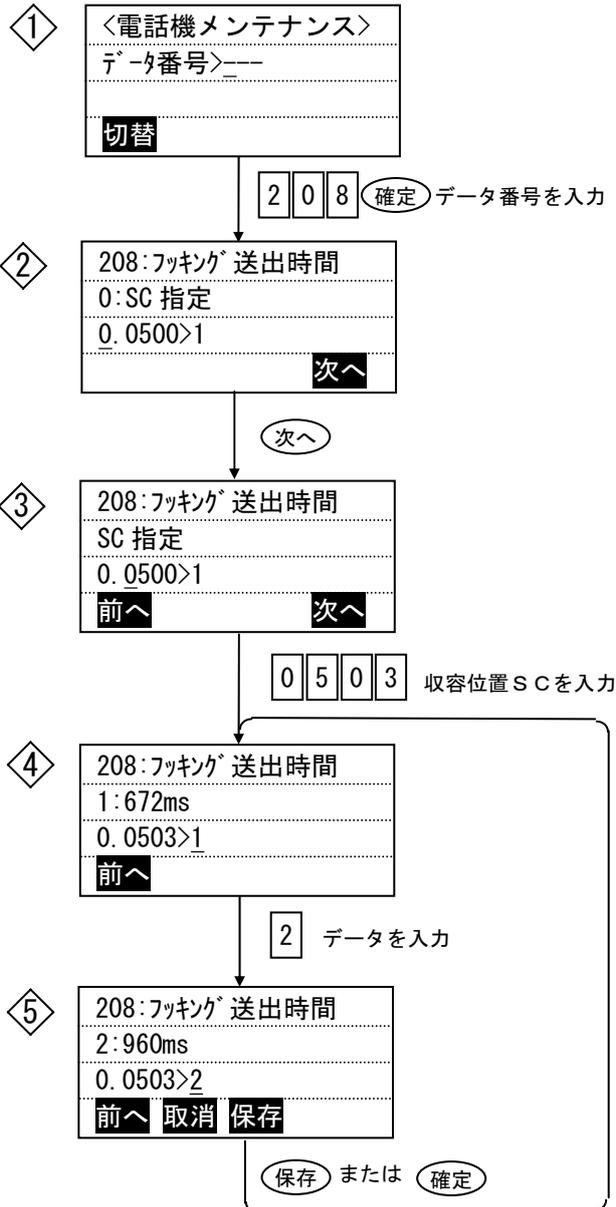
データ番号	回線別フッキング送出時間
208	

<データ設定概要>

外線通話中にフッキングキーを押したときのフッキング送出時間を回線ごとに設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線のフッキング時間を 960ms に変更します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	フッキング送出時間
1	672ms

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定

「キー操作とデータ」

**3 SC 指定**  
収容位置 SC (0100~1899) を 10 キーで指定します。

**4 フッキング送出時間**

10 キー	データ内容
0	384ms
1	672ms
2	960ms
3	96ms

「関連機能番号」

0121 : フッキング信号送出  
1313 : PS フッキング

<注意事項>

登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

- 注1. フッキング信号の有無はデータ番号209で設定します。
- 注2. 内線通話時、専用線通話時のフッキングは無効です。
- 注3. ISDN回線通話時、IP回線通話時のフッキングは無効です。

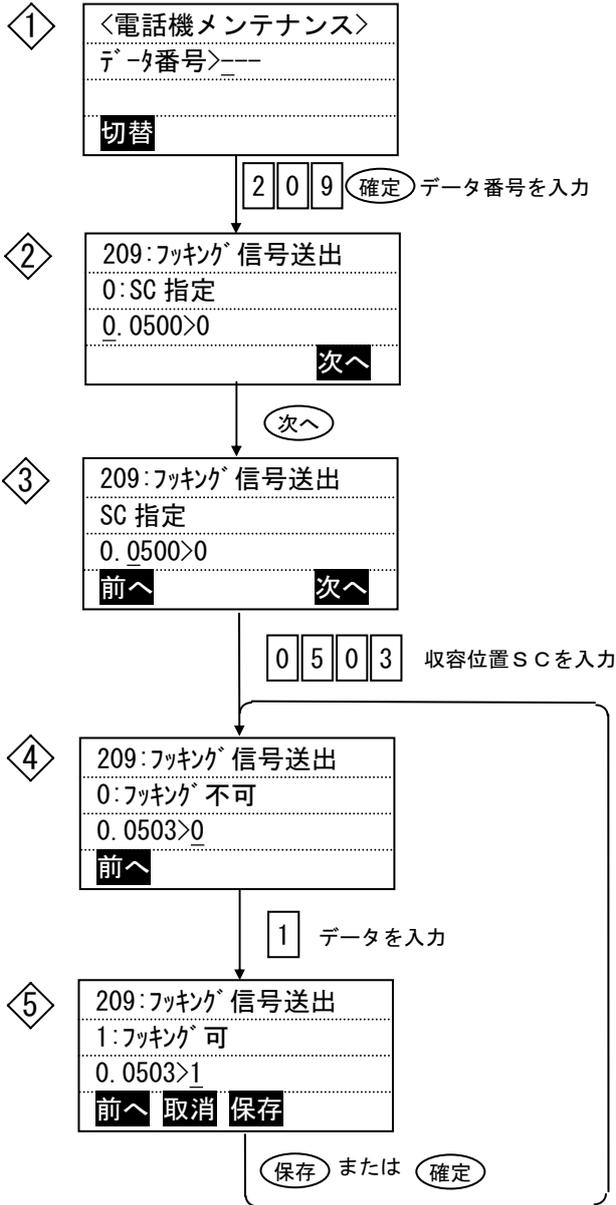
		バージョン	V1.0~
データ番号	フッキング信号送出	データ更新条件	回線毎
209			

<データ設定概要>

回線にフッキング信号送出の設定ができる。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線のフッキングを可にします。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	フッキング信号送出
0	フッキング不可

「入力形式選択」

10 キー	フッキング信号送出
0	SC 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC(0100~1899)を10キーで指定します。

フッキング信号送出

10 キー	データ内容
0	フッキング不可
1	フッキング可
2	キャッチホン

③

④  
⑤

「関連機能番号」

0121 : フッキング信号送出  
1313 : PS フッキング

<注意事項>

- 注1. キャッチホンを指定した場合、フッキング後に課金は終了します。
- 注2. フッキング指定の場合、フッキングすることにより前回までの課金は終了します。

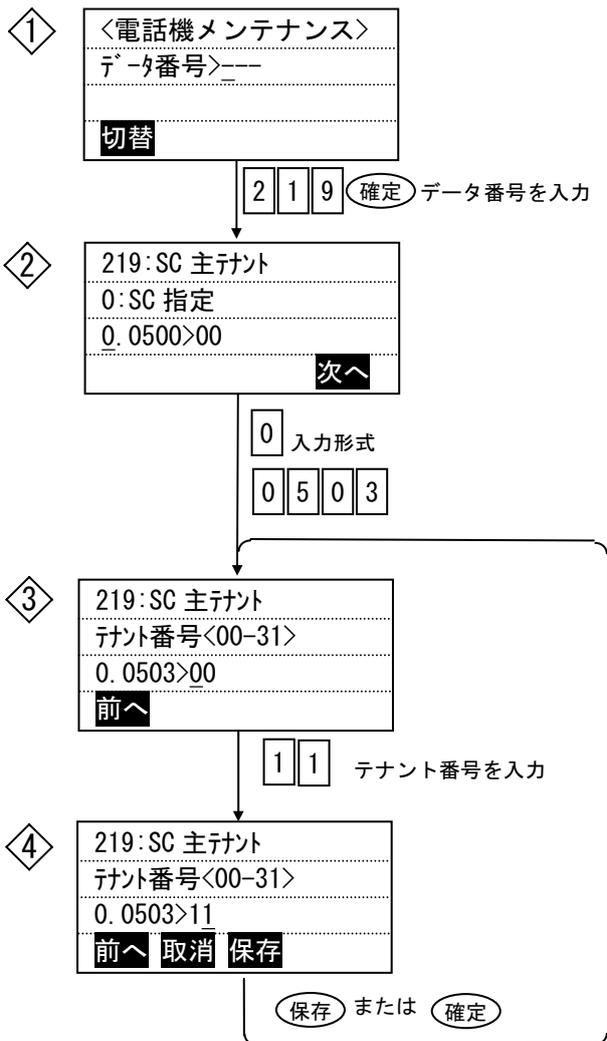
データ番号	SC 主テナント	バージョン	V1.0~
219		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

SC ごとに各種サービスの設定条件や起動状況を、どのテナントのものに従うかを設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線の主テナント番号を 11 に設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	SC 主テナント
00	00

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

**SC 指定**

収容位置 SC (0100~1899/2000~2299/3000~3191) を 10 キーで指定します。

**テナント**

主テナントにするテナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

- 0208 : 発番号別着信音選択
- 0212 : 昼/夜モード手動切替
- 0213 : 昼/夜モード自動切替
- 0220 : 発番号 DID
- 0223 : 着信拒否 (迷惑電話拒否)

<注意事項>

注1. 0100~1899、3000~3191のSCに対して主テナントを設定するときは、着信テナント（その回線を着信可能回線に設定したテナント）の中から設定して下さい。

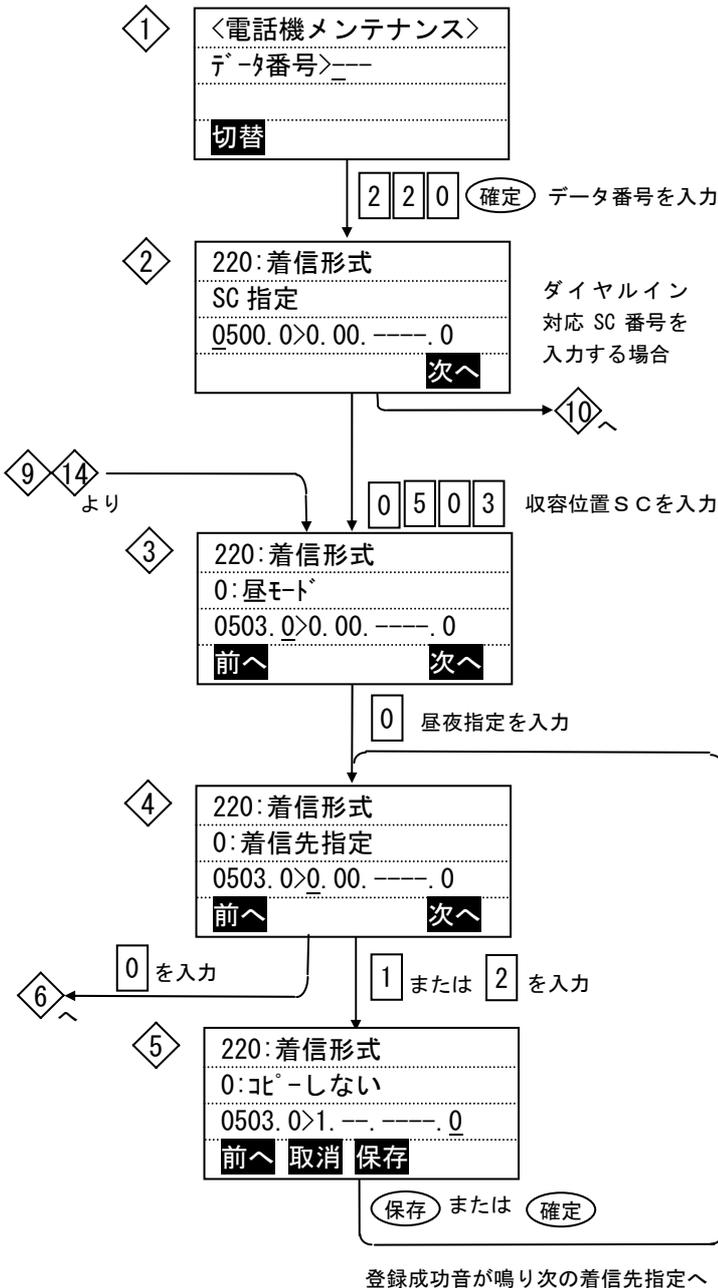
データ番号	着信形式 1/3	バージョン	V1.0~
220		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

回線 SC (01.00~18.99) およびダイヤルイン対応 SC (20.00~22.99)、IP 回線 SC (30.00~31.91) に対応した着信形式を設定する。

<操作例>

收容位置 SC:0503 の着信形式を設定します。



「初期値」

SC 番号が 1899 以下、3000~3191 の場合  
(昼/夜 1/夜 2 モード共通)

10 キー	着信形式
0	着信先指定

10 キー	着信形式
0	一般着信

SC 番号が 2000~2299 の場合  
(昼/夜 1/夜 2 モード共通)

10 キー	着信形式
0	一般着信

「入力形式選択」

本設定は SC のみでの設定となります。

「キー操作とデータ」

SC 指定

收容位置 SC (0100 ~ 1899/2000 ~ 2299/3000 ~ 3191) を 10 キーで指定します。

昼/夜 1/夜 2 選択

10 キー	データ内容
0	昼モード
1	夜モード 1
2	夜モード 2

着信先

10 キー	データ内容
0	着信先指定
1	DI
2	i・ナンバー

「関連機能番号」

- 0200: 任意外線応答
- 0201: オフフック外線自動応答
- 0221: 簡易 ACD
- 0214: 外線別個別着信 (DIL)
- 0215: 付加番号 DID
- 0217: PBX ダイヤルイン
- 0218: 着番号 DID
- 0219: i・ナンバー
- 0220: 発番号 DID
- 0604: 公-公接続
- 0606: 公-専接続
- 0607: 公-専-公接続
- 0616: 遠隔設定操作 (PB 保守)
- 0920: メールサービス
- 0936: 留守番機能
- 1401: VOIP 内線個別着信
- 1455: IP 回線着信-SIP 回線-

<注意事項>

- 注1. 收容位置番号SCでは、收容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。
- 2. 着信形式の拒否はアナログ回線は設定できません。
- 3. 着信先をDIに設定した場合は、昼モード/夜モード1/夜モード2の着信先がDIに設定されます。

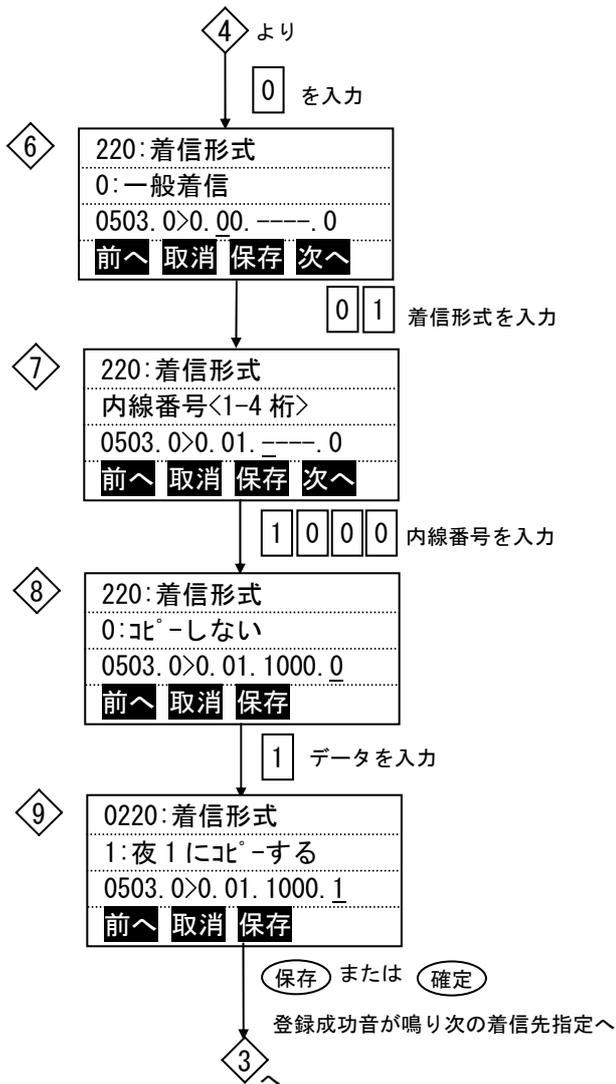
バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

データ番号	着信形式	2/3
220		

<データ設定概要>

<操作例>

収容位置 SC:0503 の着信形式を設定します。



「キー操作とデータ」

着信形式

10 キー	データ内容	設定範囲
00	一般着信	-
01	内線着信	内線番号 1-4 桁
02	DGL	Grp0000~0063
03	MSA	Grp0000~0254
04	専用線閉番号<v1.1>	番号 1-4 桁
05	メールアドレス<v1.2>	-
06	着信代行<v1.2>	MBX 番号 1-4 桁
07	付加番号 DID<v1.1>	-
08	拒否	-
09	内線グループ均等<v1.3>	Grp0000~0127

内線番号

内線番号 1~4 桁を 10 キーで指定します。

設定データコピー

0:昼モード指定の場合

10 キー	データ内容
0	コピーしない
1	夜 1 にコピーする
2	夜 2 にコピーする
3	夜 1、夜 2 にコピーする

1:夜モード 1 指定の場合

10 キー	データ内容
0	コピーしない
1	夜 2 にコピーする
2	昼にコピーする
3	夜 2、昼にコピーする

2:夜モード 2 指定の場合

10 キー	データ内容
0	コピーしない
1	昼にコピーする
2	夜 1 にコピーする
3	昼、夜 1 にコピーする

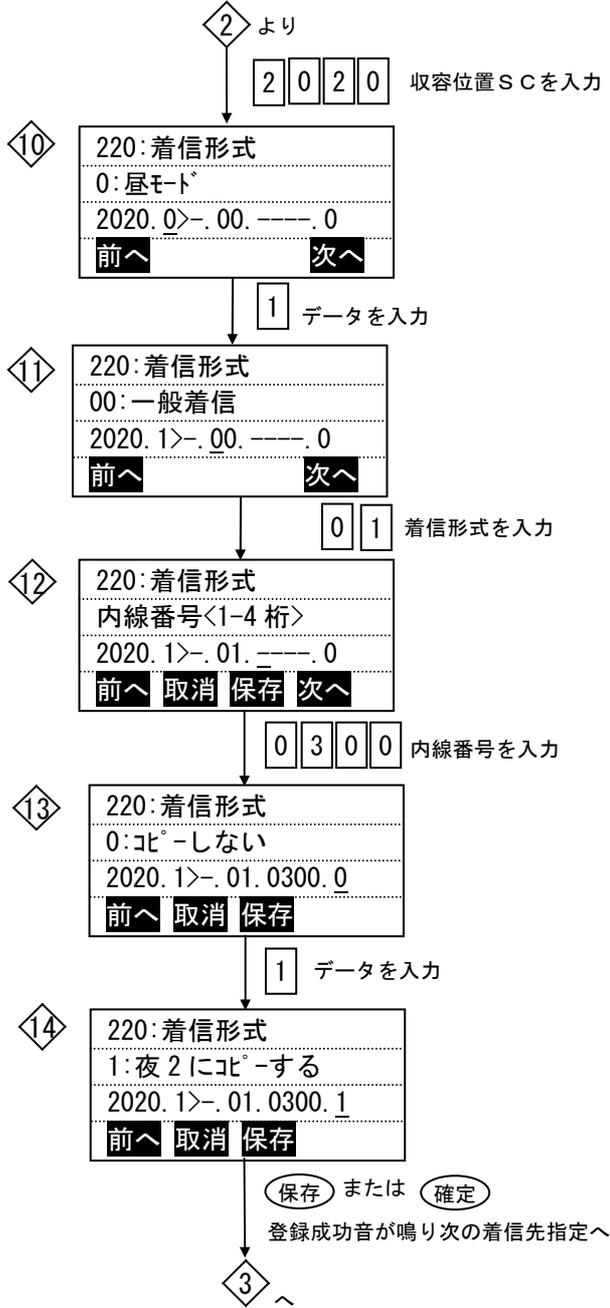
<注意事項>

データ番号	着信形式 3/3	バージョン	V1.0~
220		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

<操作例>

ダイヤル対応 SC:2020 の着信形式を設定します。



「キー操作とデータ」

昼/夜1/夜2選択

10 キー	データ内容
0	昼モード
1	夜モード1
2	夜モード2

着信形式

10 キー	データ内容	設定範囲
00	一般着信	-
01	内線着信	内線番号 1-4 桁
02	DGL	Grp0000~0063
03	MSA	Grp0000~0254
04	専用線閉番号<v1.1>	番号 1-4 桁
05	メールアドレス<v1.2>	-
06	着信代行<v1.2>	MBX 番号 1-4 桁
07	付加番号 DID<v1.1>	-
09	内線グループ均等<v1.3>	Grp0000~0127

内線番号

内線番号 1~4 桁を 10 キーで指定します。

設定データコピー

0:昼モード指定の場合

10 キー	データ内容
0	コピーしない
1	昼コピーする
2	夜1コピーする
3	夜2コピーする

1:夜モード1指定の場合

10 キー	データ内容
0	コピーしない
1	夜2にコピーする
2	昼にコピーする
3	夜2、昼にコピーする

2:夜モード2指定の場合

10 キー	データ内容
0	コピーしない
1	昼にコピーする
2	夜1にコピーする
3	昼、夜1にコピーする

<注意事項>

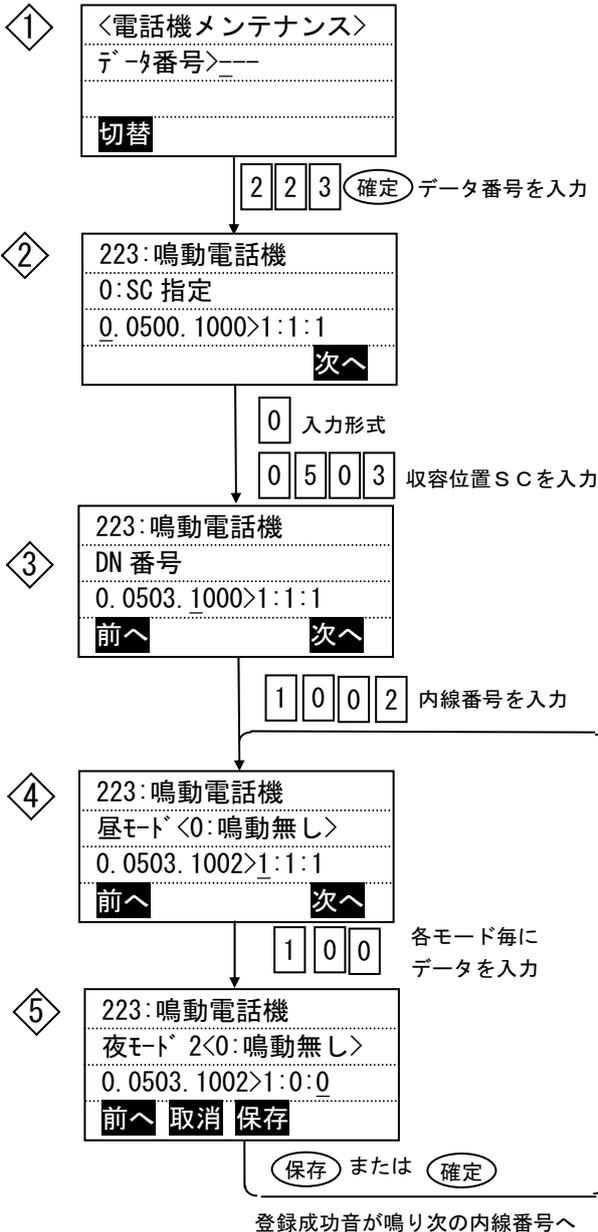
データ番号	鳴動電話機	バージョン	V1.0~
223		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

外線ごとに着信鳴動する電話機を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の外線着信時に、内線 1002 番を昼鳴動有り、夜、夜 2 共に鳴動無しに指定します。



「初期値」

回線共通:内線若番号 0・1 番目

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード*	1	鳴動有り
夜モード 1	1	鳴動有り
夜モード 2	1	鳴動有り

回線共通:その他各内線番号

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード*	0	鳴動無し
夜モード 1	0	鳴動無し
夜モード 2	0	鳴動無し

「入力形式選択」

②

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC 指定  
収容位置 SC(0100~1899/2000~2299/3000~3191)を10キーで指定します。
- ③ 内線番号(DN番号)  
内線番号1~4桁を10キーで入力します。
- ④ 昼:夜1:夜2 (各モード毎の鳴動の有無)
- | 10 キー | データ内容 |
|-------|-------|
| 0     | 鳴動無し  |
| 1     | 鳴動有り  |
- ⑤ ※PS/SIP 端末の初期値は鳴動無しです

「関連機能番号」

- 0201: オフフック外線自動応答
- 0204: 外線別鳴動先指定
- 0211: 通話中着信音送出
- 1315: PS 一斉着信
- 1402: VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

- 注1. 外線着信鳴動電話機指定は、データ番号321の着信テナント内の電話機になります。
2. データ番号512のサービスクラスが「一般外線着信:全規制」の電話機の場合は鳴動しません。また応答もできません。
3. ISDN回線のデータ設定。
- (1) IFG (インタフェースグループ) では、IFG (ins64:00, 01, 02, 03,) 単位で設定して下さい。
- (2) 収容位置番号SCでは、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

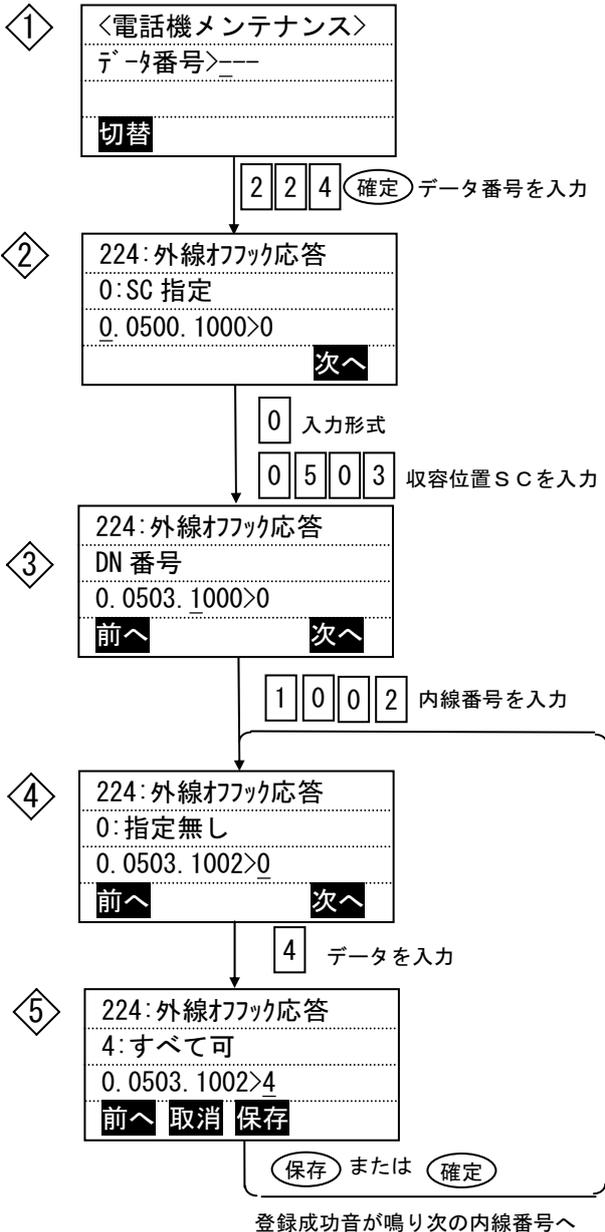
データ番号	外線別オフフック自動応答	バージョン	V1.4~
224		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

外線ごとに外線着信をオフフック操作で応答するかしないかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の外線着信時に、内線 1002 番を自動応答すべて可に指定します。



「初期値」

回線共通：全内線

10 キー	オフフック自動応答
0	指定無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC(0100~1899/2000~2299/3000~3191)を10キーで指定します。

内線番号(DN番号)

内線番号1~4桁を10キーで入力します。

オフフック自動応答

10 キー	データ内容
0	指定無し
1	不可
2	鳴動着信のみ可
3	呼種表示着信のみ可
4	すべて可

「関連機能番号」

0201：オフフック外線自動応答

<注意事項>

注1. オフフック自動応答（データ番号130）もあわせて設定してください。

このページは白紙になります。

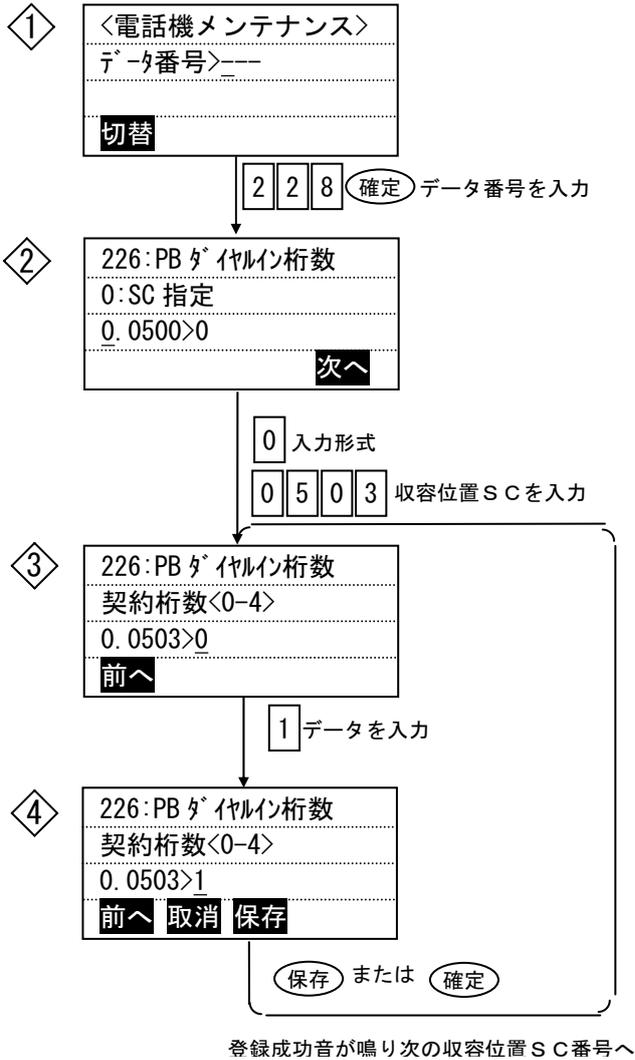
データ番号	PB ダイヤルイン契約桁数	バージョン	V1.0~
226		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

PB ダイヤルインがPB 信号方式の場合の、PB 信号受信桁数を設定する。

<操作例>

收容位置 SC:0503 の回線の PB ダイヤルイン契約桁数を 1 桁に設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	PB ダイヤルイン契約桁数
0	契約無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

**SC 指定**  
收容位置 SC (0100~1899/3000~3191) を 10 キーで指定します。

**契約桁数**  
ダイヤルイン桁数 (0~4) を 10 キーで指定します。0 の場合「契約無し」の設定となります。

「関連機能番号」

- 1004 : 個別発番号付加
- 0217 : PBX ダイヤルイン
- 1311 : 発信者番号通知
- 1403 : VOIP 発信者番号通知
- 1455 : IP 回線着信-SIP 回線-
- 1456 : IP 回線発信者番号通知-SIP 回線-

<注意事項>

- 注1. 網のダイヤルイン契約がPB信号方式でない場合、本データは設定不要です。
2. ダイヤルイン回線は、データ番号220で設定します。
3. ダイヤルイン桁数はデータ番号554で設定します。
4. ダイヤルイン群は4群 (0~3群) あります。
5. ISDN回線のデータ設定。
  - (1) IFG (インタフェースグループ) では、IFG (00, 01, 02, 03, ) 単位で設定して下さい。
  - (2) 收容位置番号SCでは、收容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

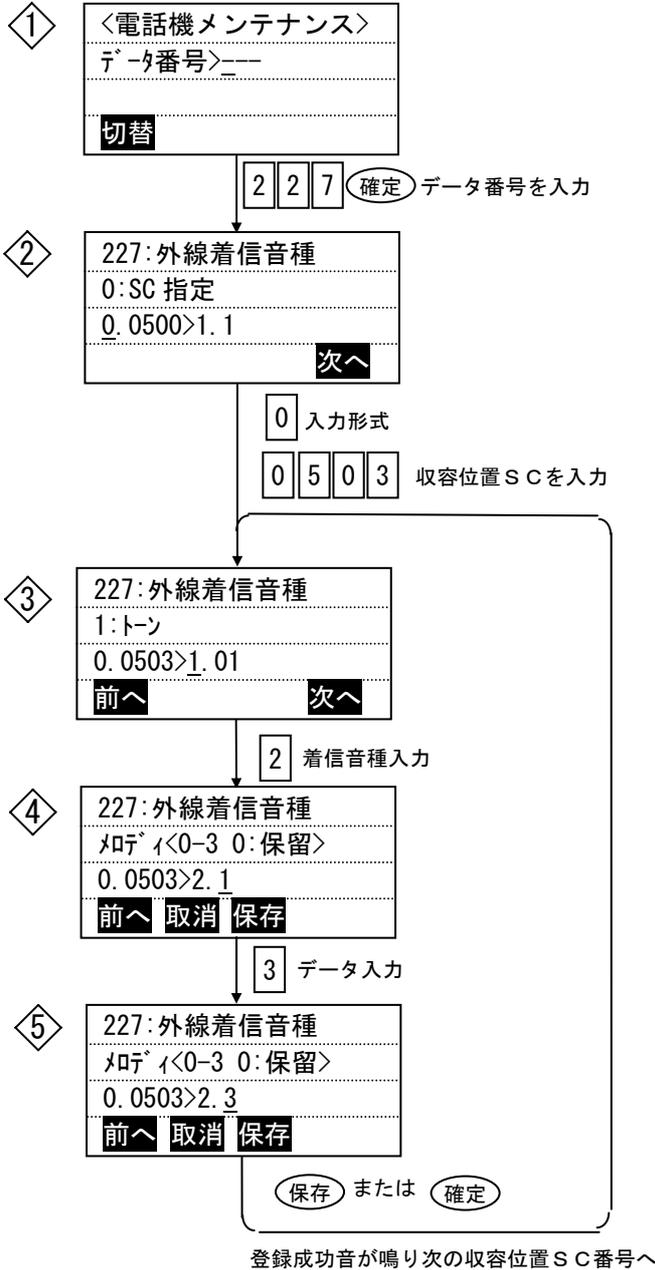
データ番号	外線別着信音種	バージョン	V1.0~
227		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

回線ごとに着信音を設定できる。

<操作例>

収容位置 SC:0503 に回線着信時の着信音を、メロディ 3 に設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	着信音種
1	トーン

10 キー	トーン
1	トーン 01

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC(0100~1899/2000~2299/3000~3191)を 10 キーで指定します。

着信音種

10 キー	データ内容
1	トーン
2	メロディ
3	外部音源

トーン

10 キー	データ内容
1~10	トーン 01~10<v1.4>

メロディ

10 キー	データ内容
0	保留メロディ
1	メロディ 1
2	メロディ 2
3	メロディ 3

外部音源

10 キー	データ内容
1	外部音源 1
2	外部音源 2
3	外部音源 3

「関連機能番号」

- 0207 : 外線別着信音選択
- 0208 : 発番号別着信音選択
- 0217 : PBX ダイヤルイン
- 0218 : 着番号 DID
- 0219 : i・ナンバー

<注意事項>

注1. ISDN回線のデータ設定

- (1) IFG (インタフェースグループ) では、IFG (ins64 : 00, 01, 02, 03) 単位で設定して下さい。
- (2) 収容位置番号SCでは、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

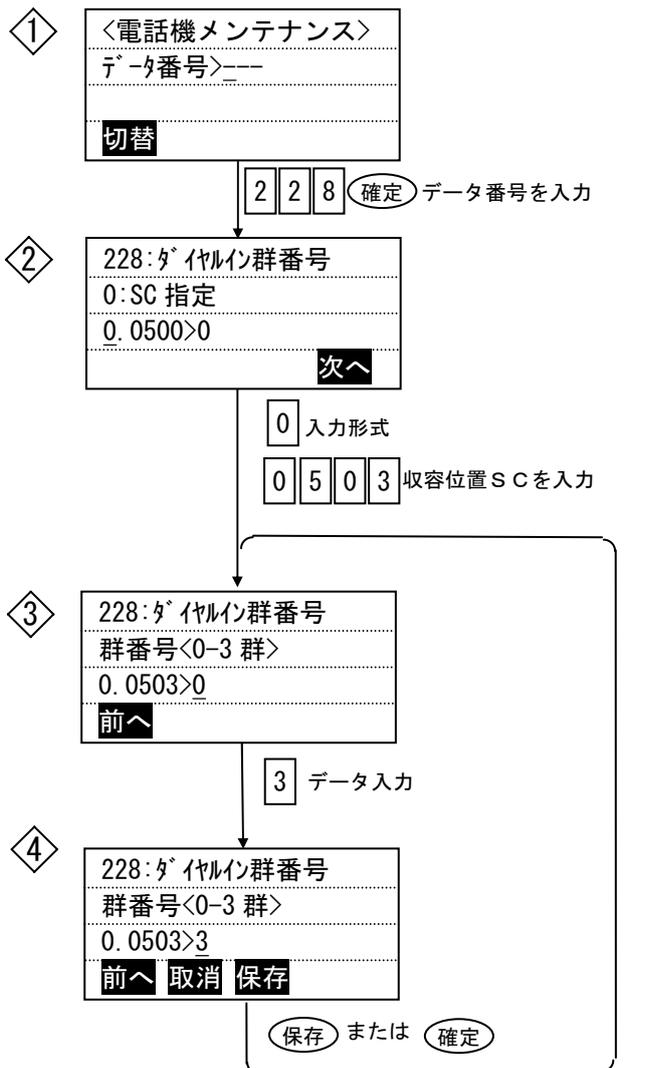
データ番号	ダイヤルイン群番号	バージョン	V1.0~
228		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

ダイヤルインを群に分けることにより、群別に着信させる。群番号は、回線ごとに指定できる。

<操作例>

収容位置 SC:0503 のダイヤルイン群番号を 3 として設定します。



「初期値」 全 SC 共通

10 キー	ダイヤルイン群
0	0 群

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC 指定  
収容位置 SC (0100~1899/3000~3191) を 10 キーで指定します。
- ③ 群番号  
群番号 (0~3) を 10 キーで入力します。
- ④

「関連機能番号」

- 0217 : PBX ダイヤルイン
- 1403 : VoIP 発信者番号通知
- 1455 : IP 回線着信-SIP 回線-
- 1456 : IP 回線発信者番号通知-SIP 回線-

<注意事項>

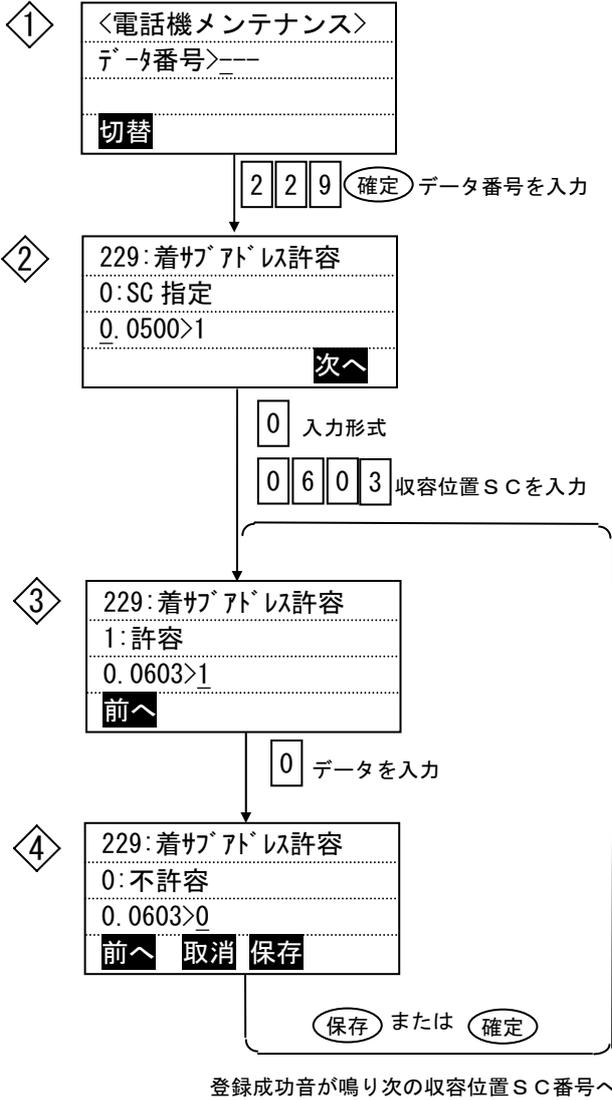
データ番号	着サブアドレス許容	バージョン	V1.0~
229		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

ISDN 回線/IP 回線の着信時、着サブアドレスによるサービスを許容するかしないかを指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0603 の回線への着サブアドレスを、不許容に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置SC番号へ

「初期値」全SC共通

10キー	着サブアドレス許容
1	許容

「入力形式選択」

10キー	データ内容
0	SC指定
4	IFG指定

「キー操作とデータ」

SC指定

収容位置SC(0100~1901/3000~3191)を10キーで指定します。

着サブアドレス許容

10キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

- 0216 : 着サブアドレス DID
- 0616 : 遠隔設定操作 (PB 保守)
- 0920 : メールサービス
- 1401 : VOIP 内線個別着信
- 1455 : IP 回線着信-SIP 回線-

<注意事項>

- 注1. データ設定が有効となるのはISDN回線とIP回線による運用時のみです。
- 注2. ISDN回線の設定はIFG入力で設定してください。

バージョン	V1.5~
データ更新条件	回線毎

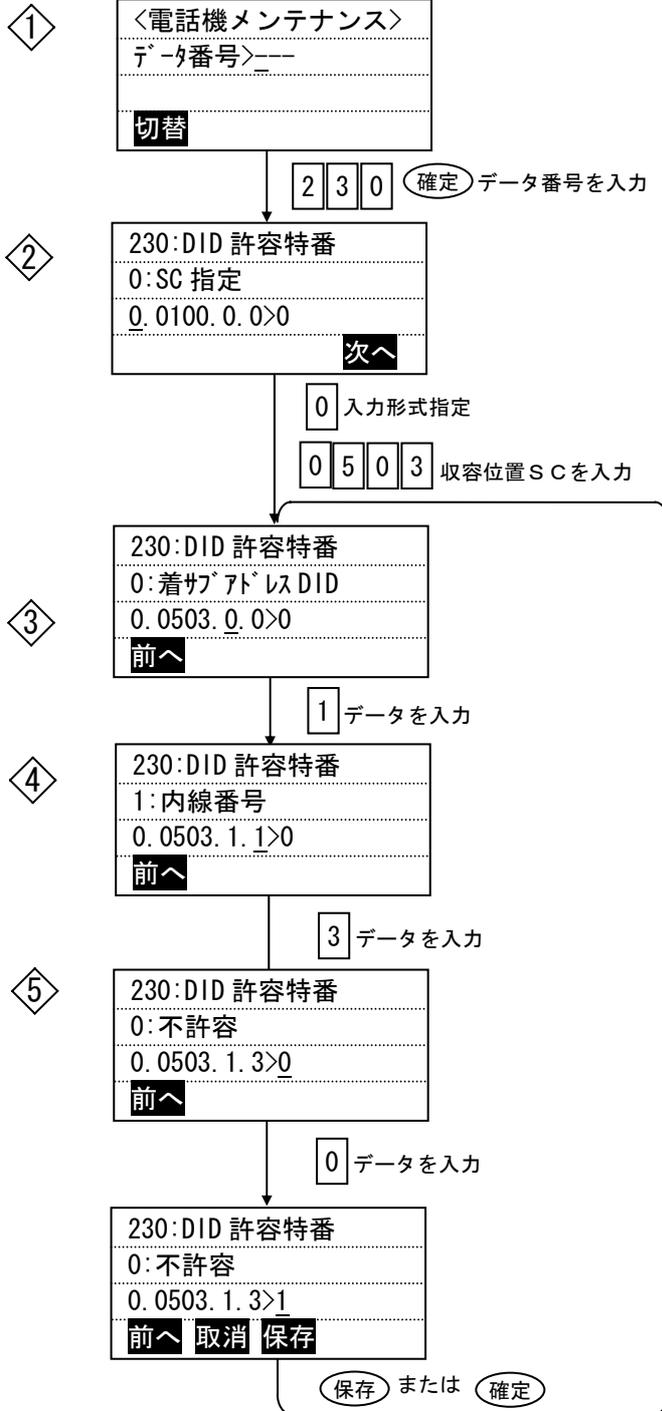
データ番号	DID 許容特番
230	

<データ設定概要>

回線ごとに着サブアドレス DID・付加番号 DID の許容特番を設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 0503 に付加番号 DID の回線捕捉特番を不許容に設定します。



登録成功音が鳴り次の SC 番号へ

「初期値」全 SC・全特番種別共通

10 キー	着サブアドレス DID
1	許容

10 キー	付加番号 DID
1	許容

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1899/2000~2299/3000~3191) を 10 キーで指定します。

設定種別

10 キー	データ内容
0	着サブアドレス DID
1	付加番号 DID

着サブアドレス DID

10 キー	データ内容
1	内線番号
2	専用線
3	回線捕捉
4	DGLグループ呼出
5	メールアクセス
6	MSAグループ呼出
7	PB 保守

付加番号 DID

10 キー	データ内容
1	内線番号
2	専用線
3	回線捕捉
4	DGLグループ呼出
5	メールアクセス
6	MSAグループ呼出
7	PB 保守

許容・不許容

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0218 : 着番号 DID  
0215 : 付加番号 DID

<注意事項>

注 1. 着サブアドレス DID に対して、SC2000~SC2299 を指定して特番を設定した場合は、巧音が鳴り設定不可となります。

このページは白紙になります。

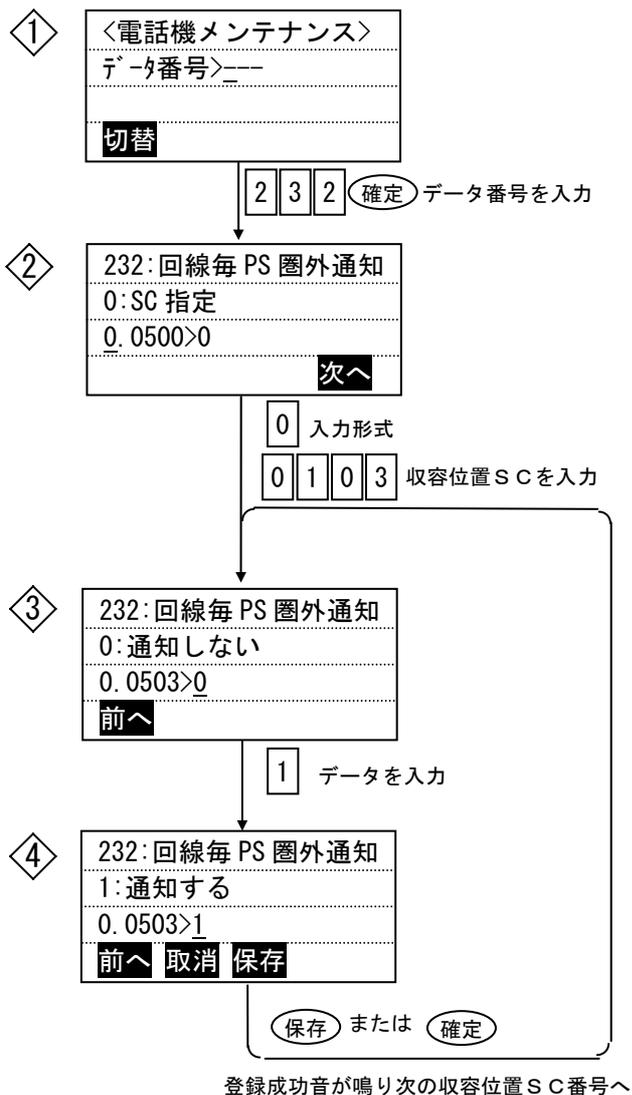
データ番号	回線毎 PS 圏外通知	バージョン	V1.1~
232		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

外線からシステムコードレス電話機 (PS) に着信した際、PS が無線圏外、電源 OFF のとき回線側に対して PS 圏外通知送付の有無を指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を PS 圏外通知有りにします。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	回線毎 PS 圏外通知
0	通知しない

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1899/3000~3191) を 10 キーで指定します。

回線毎 PS 圏外通知

10 キー	データ内容
0	通知しない
1	通知する

「関連機能番号」

- 1300 : デジタルコードレス収容
- 1302 : PS 個別着信
- 1303 : PS 圏外ガイダンス通知

<注意事項>

注1. チャネル塞がりなどによりガイダンス応答できない時は、発呼者にRBTを接続し、空き次第応答します。

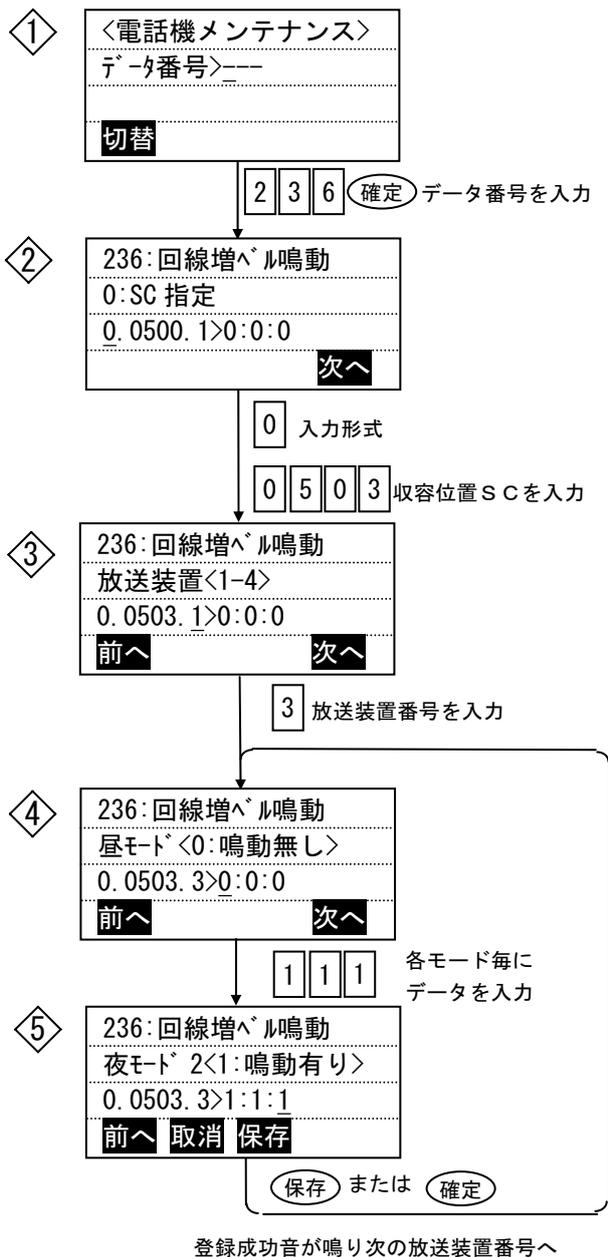
データ番号	放送装置増ベル鳴動 (回線毎-放送装置毎)	バージョン	V1.0~
236		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

外線着信時、放送装置からの鳴動音送出を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 へ着信した時の、放送装置 3 の鳴動指定を、昼、夜モード 1、夜モード 2、すべて鳴動有りに指定します。



「初期値」全 SC、放送装置共通

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード	0	鳴動無し
夜モード 1	0	鳴動無し
夜モード 2	0	鳴動無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	IFG 指定

「キー操作とデータ」

- ② SC 指定  
収容位置 SC(0100~1899/2000~2299/3000~3191)を10キーで指定します。
  - ③ 放送装置番号  
放送装置の番号(1~4)を10キーで入力します。
  - ④ 昼:夜1:夜2 (各モード毎の鳴動の有無)
  - ⑤
- | 10 キー | データ内容 |
|-------|-------|
| 0     | 鳴動無し  |
| 1     | 鳴動有り  |

「関連機能番号」

0204:外線別鳴動先指定

<注意事項>

注1. ISDN回線のデータ設定。

- (1) インタフェースグループでは、IFG (ins64:00, 01, 02, 03、ins1500:00, 01) 単位で設定して下さい。
- (2) 収容位置番号SCでは、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

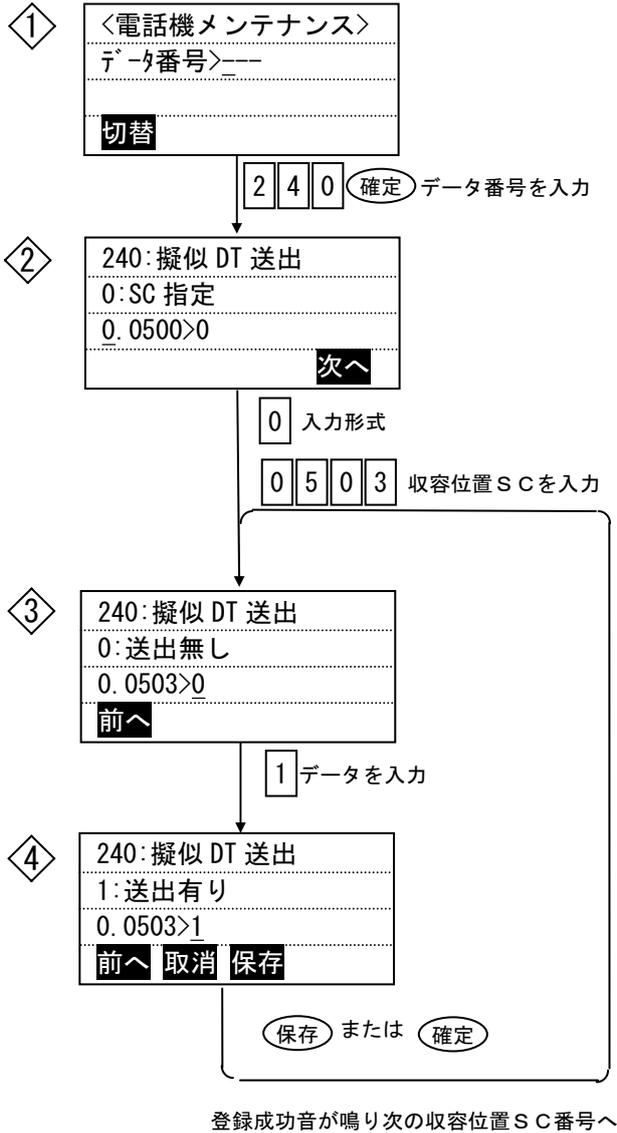
データ番号	擬似 DT 送出	バージョン	V1.0~
240		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

回線捕捉時に、専用線などダイヤルトーン (DT) が出ない回線に対してシステムから擬似 DT の送出をする。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を擬似 DT 送出有りに設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	擬似 DT 送出
0	送出無し

② 「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

② 「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1901) を 10 キーで指定します。

擬似 DT 送出

10 キー	データ内容
0	送出無し
1	送出有り

「関連機能番号」

- 0100 : 任意外線/専用線発信
- 0600 : 各種回線収容
- 0602 : 専用線接続

<注意事項>

注1. ISDN回線/IP回線の場合は、この設定は不要です。  
(この設定をしなくても擬似DT (ダイヤルトーン) は送出されます。)

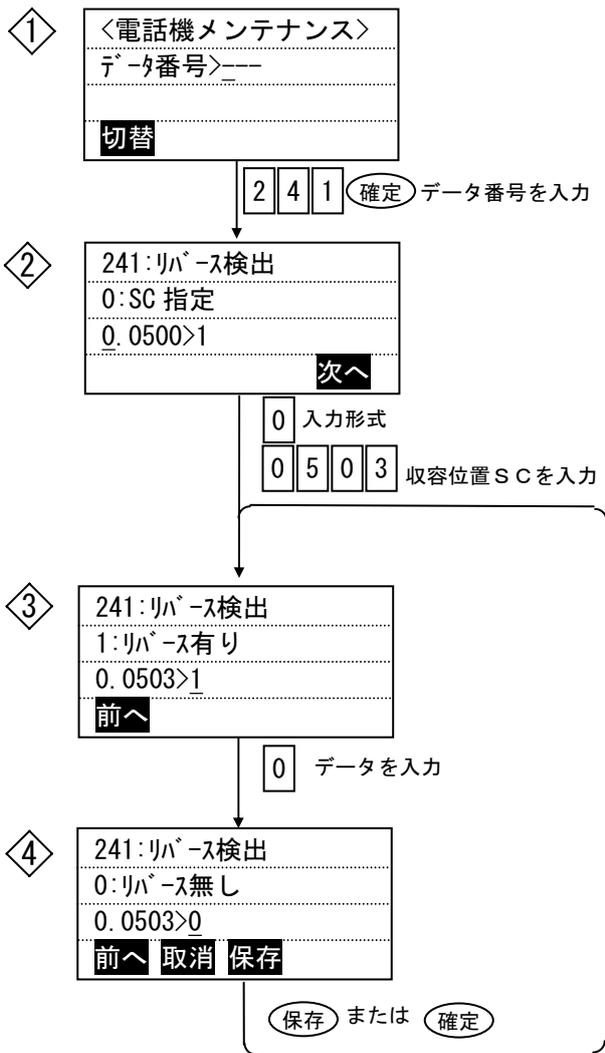
データ番号	リバース検出	バージョン	V1.0~
241		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

回線リバースの有無を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を擬似 DT リバース検出無しに設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	リバース検出
1	リバース有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC(0100~1899)を10キーで指定します。

リバース検出

10 キー	データ内容
0	リバース無し
1	リバース有り

「関連機能番号」

- 0100: 任意外線/専用線発信
- 0310: 不在転送
- 0311: 話中転送
- 0312: 無応答転送
- 0600: 各種回線収容
- 0604: 公一公接続
- 0936: 留守番機能

<注意事項>

- 注1. リバース無しの回線の場合、データ番号635通話時間開始タイマを指定するとタイマタイムアウトで課金を開始します。
- 2. ISDN回線/IP回線の場合は、この設定は不要です。

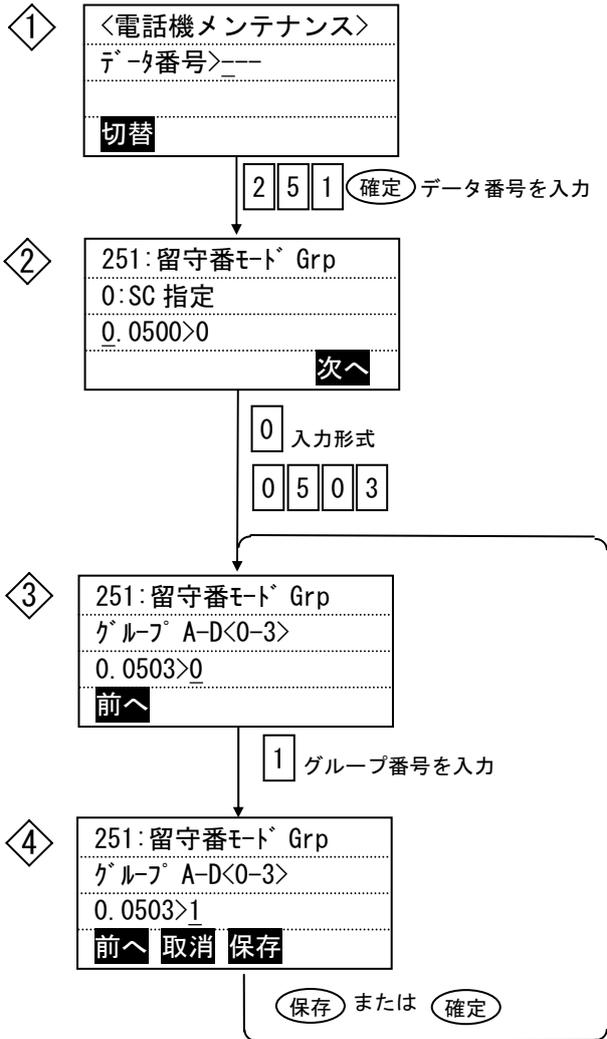
データ番号	留守番モードグループ指定	バージョン	V1.4~
251		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

SC ごとに留守番モードのグループを指定できる。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線の留守番モードグループをグループBに設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置SC番号へ

「初期値」全 SC 共通

10 キー	留守番モードグループ
0	グループ A

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

**SC 指定**

収容位置 SC (0100~1899/2000~2299/3000~3191) を 10 キーで指定します。

**留守番モードグループ**

留守番モードグループ A~D(0~3) を 10 キーで指定します。

2

3

4

「関連機能番号」

0936 : 留守番機能

<注意事項>

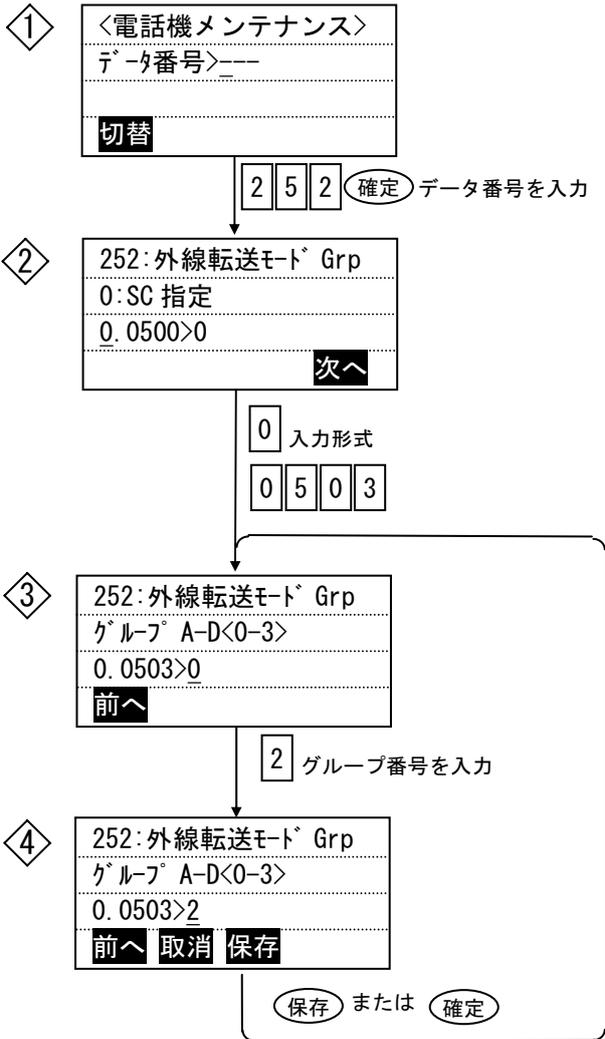
データ番号	外線転送モードグループ指定	バージョン	V1.4~
252		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

SC ごとに外線転送モードのグループを指定できる。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線の外線転送モードグループをグループ C に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

「初期値」全 SC 共通

10 キー	外線転送モードグループ
0	グループ A

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1899/2000~2299/3000~3191) を 10 キーで指定します。

外線転送モードグループ

外線転送モードグループ A~D(0~3) を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

0936 : 留守番機能

<注意事項>

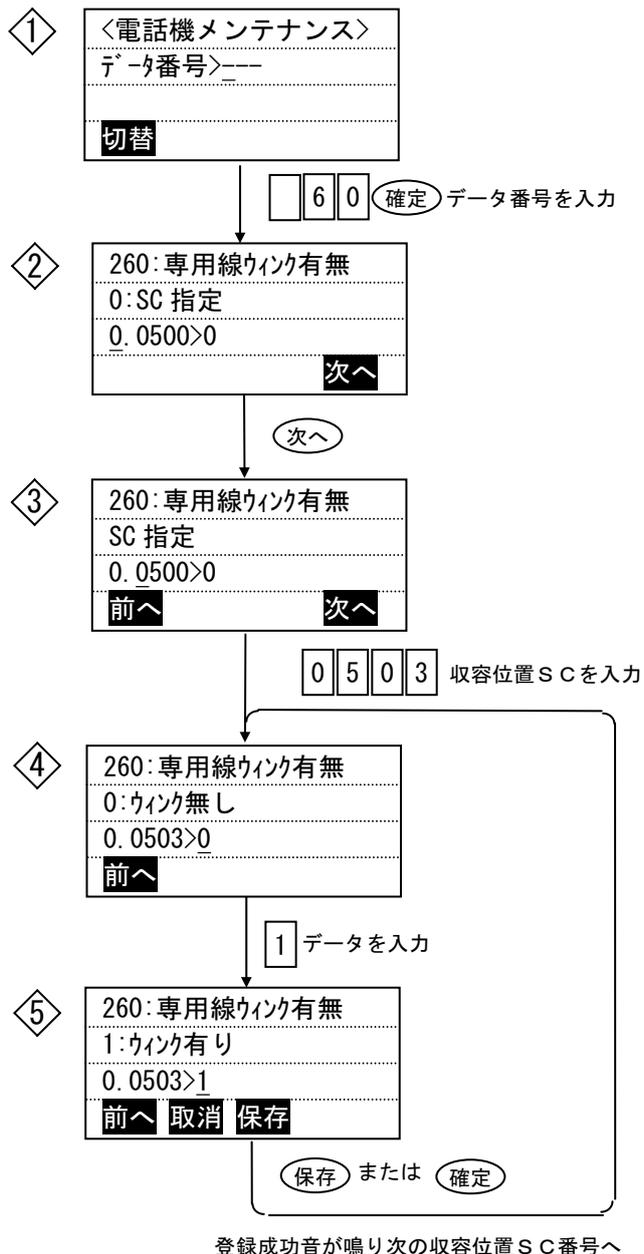
データ番号	専用線ウィンク有無	バージョン	V1.1~
260		データ更新条件	回線毎
		指定外線空き	

<データ設定概要>

専用線がウィンク（起動完了）方式か、プレポーズ方式かを設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を、専用線ウィンク有りに設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	専用線ウィンク回線
0	ウィンク無し

② 「入力形式選択」  
本設定は SC のみでの指定となります。

③ 「キー操作とデータ」  
SC 指定  
収容位置 SC(0100~1899)を 10 キーで指定します。

④ 専用線ウィンク

10 キー	データ内容
0	ウィンク無し
1	ウィンク有り

「関連機能番号」  
0602：専用線接続  
0603：専用線閉番号接続

<注意事項>

- 注1. ウィンク回線の場合、専用線プレポーズ時間内にウィンク検出ができないときは、回線を解放します。
- 注2. ウィンク無し回線の場合は専用線プレポーズ後ダイヤルを送出します。
- 注3. データの更新に条件が有ります（『第3章データ設定編』3.2 注意事項⑦参照）。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム
指定外線空き	

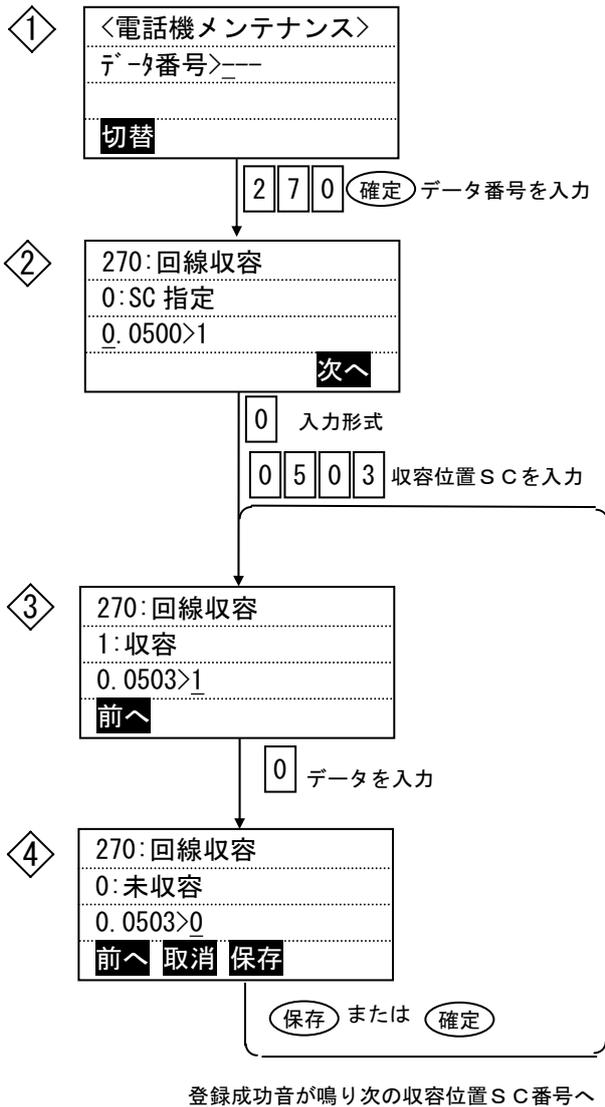
データ番号	回線収容
270	

<データ設定概要>

外線の収容/未収容を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を未収容に設定します。



「初期値」全SC共通

10キー	回線収容
1	収容

② 「入力形式選択」

10キー	データ内容
0	SC指定
4	IFG指定

② 「キー操作とデータ」

SC指定

収容位置SC(0100~1899/3000~3191)を10キーで指定します。

トランク収容

10キー	データ内容
0	未収容
1	収容

④ 「関連機能番号」

0600:各種回線収容

<注意事項>

注1. ISDN回線のデータ設定。

- (1) IFG (インタフェースグループ) では、IFG (ins64: 00, 01, 02, 03,) 単位で設定して下さい。
- (2) 収容位置番号SCでは、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

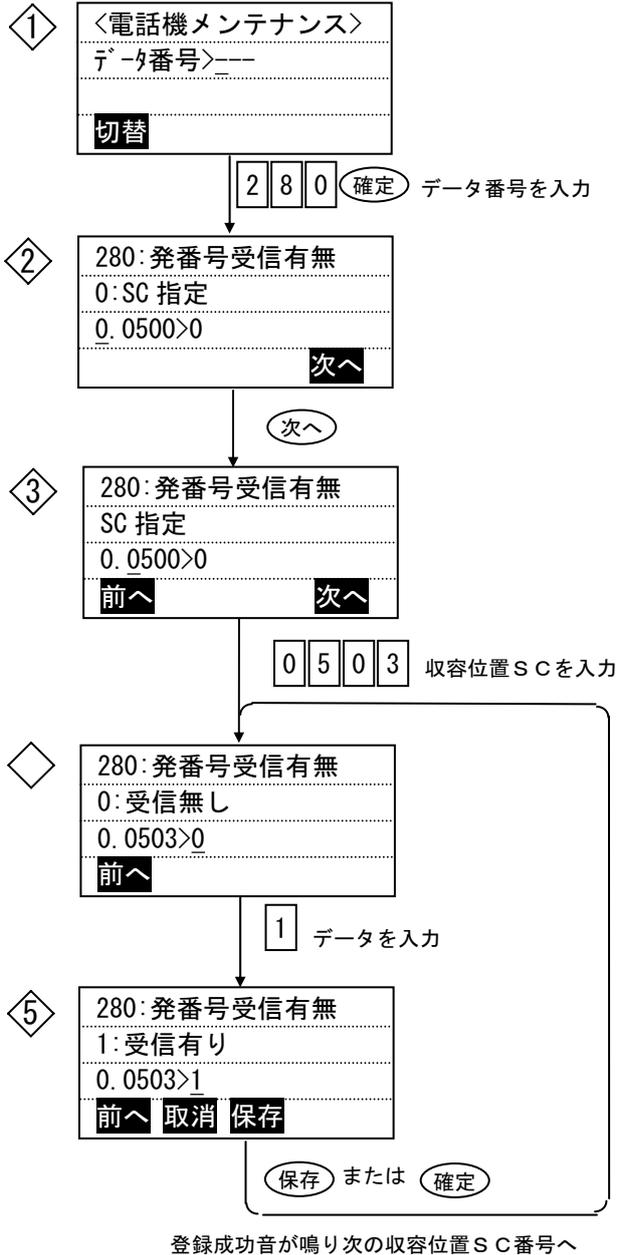
データ番号	発番号受信有無
280	

<データ設定概要>

アナログ回線の発番号受信の有無を指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の発番号受信を有りに設定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	発番号受信有無
0	受信無し

「入力形式選択」

本設定は SC のみの指定となります。

「キー操作とデータ」

- ③ SC 指定  
収容位置 SC (0100~1899) を 10 キーで指定します。

④ 発番号受信

10 キー	データ内容
0	受信無し
1	受信有り

「関連機能番号」

- 0217 : PBX ダイヤルライン
- 0220 : 発番号 DID
- 0620 : 発番号情報受信機能
- 0712 : ナンバーディスプレイ
- 0713 : ネームディスプレイ

<注意事項>

バージョン	V1.2~
データ更新条件	回線毎

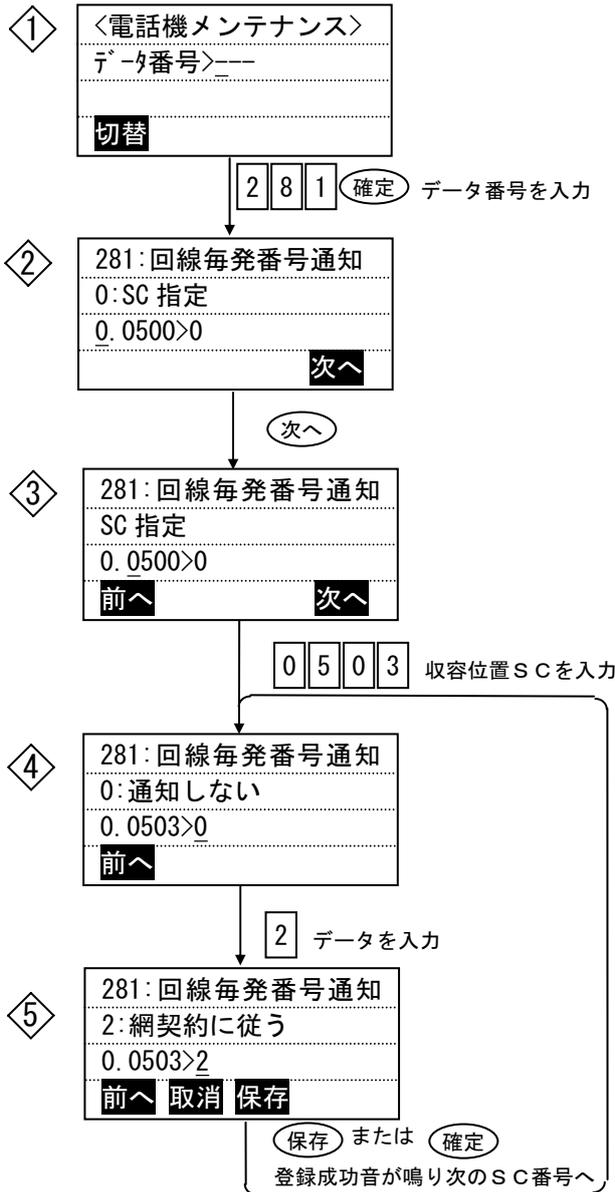
データ番号	回線毎発番号通知
281	

<データ設定概要>

回線毎の発番号の通知方法を指定する。

<操作例>

収容位置 SC:0503 の発番号通知を有りに設定します。



「初期値」全SC共通

10キー	発番号通知
0	2:網契約に従う

「入力形式選択」

10キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

SC 指定

収容位置 SC (0100~1899/3000~3191) を 10 キーで指定します。

発番号通知

10キー	データ内容
0	通知しない
1	通知する
2	網契約に従う

「関連機能番号」

0114 : 発番号通知/非通知切替

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

データ番号	282
282	

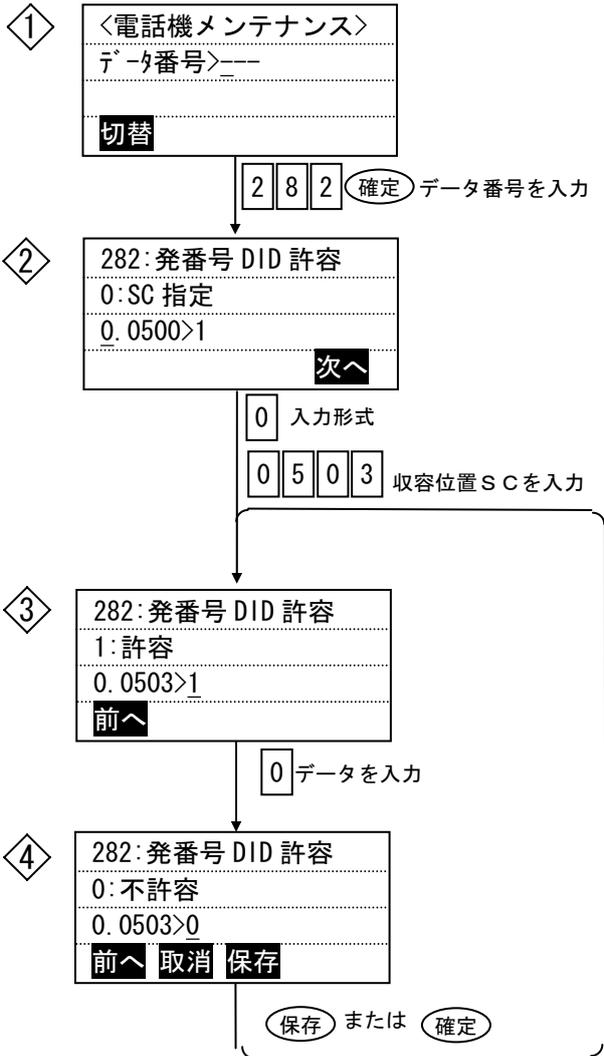
## 発番号 DID 許容

### <データ設定概要>

回線ごとに発番号 DID を許容するかしないかを指定する。

### <操作例>

収容位置 SC:0503 の回線を発番号 DID 不許容に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置 SC 番号へ

### 「初期値」全 SC 共通

10 キー	発番号 DID 許容
1	許容

### 「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

### 「キー操作とデータ」

#### SC 指定

収容位置 SC (0100 ~ 1899/2000 ~ 2299/3000 ~ 3191) を 10 キーで指定します。

#### 発番号対応着信

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

### 「関連機能番号」

0219 : i・ナンバー  
0220 : 発番号 DID

### <注意事項>

注1. ISDN回線のデータ設定。

- (1) IFG (インタフェースグループ) では、IFG (ins64 : 00, 01, 02, 03, ) 単位で設定して下さい。
- (2) 収容位置番号 SC では、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

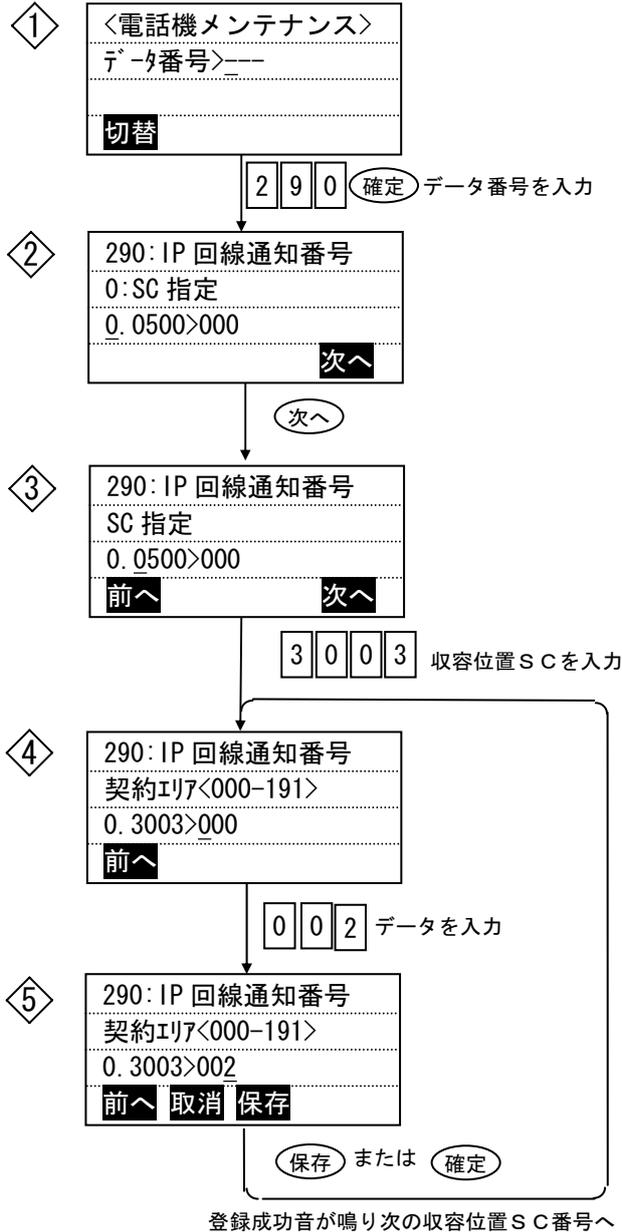
データ番号	IP 回線通知番号
290	

<データ設定概要>

IP 回線で、発信時通知する契約番号を指定する。

<操作例>

収容位置 SC:3003 の IP 回線で発信時に通知する契約番号に、IP 契約番号エリア 002 の契約番号を指定します。



「初期値」全 SC 共通

10 キー	契約番号エリア
00	エリア番号 000

② 「入力形式選択」

本設定は SC のみの指定となります。

③ 「キー操作とデータ」

SC 指定、IP 契約番号エリア

IP 回線収容位置 SC (0100~1899/3000~3191)、  
IP 契約番号エリア (000~09) <V1.0>  
IP 契約番号エリア (000~191) <V1.1>  
のそれぞれを 10 キーで指定します。

- ③
- ④
- ⑤

「関連機能番号」

- 1456: IP 回線発信者番号通知-SIP 回線-
- 1403: VOIP 発信者番号通知
- 1311: 発信者番号通知

<注意事項>

- 注1. 本データでは通知する契約番号ではなく、IP回線契約番号データ（データ番号851/873）の契約番号エリアを設定します。そのため、IP回線契約番号データにて通知番号を登録する必要があります。また、IP回線契約番号データの使用可能回線と本データの回線収容位置データを合わせる必要があります。
- 2. IP契約番号エリアは00~09の範囲で設定可能です。<V1.0>
- 3. IP契約番号エリアはIP回線<IPGW>の場合000~191、IP回線<8IPGW>の場合000~009の範囲で有効です。<V1.1>

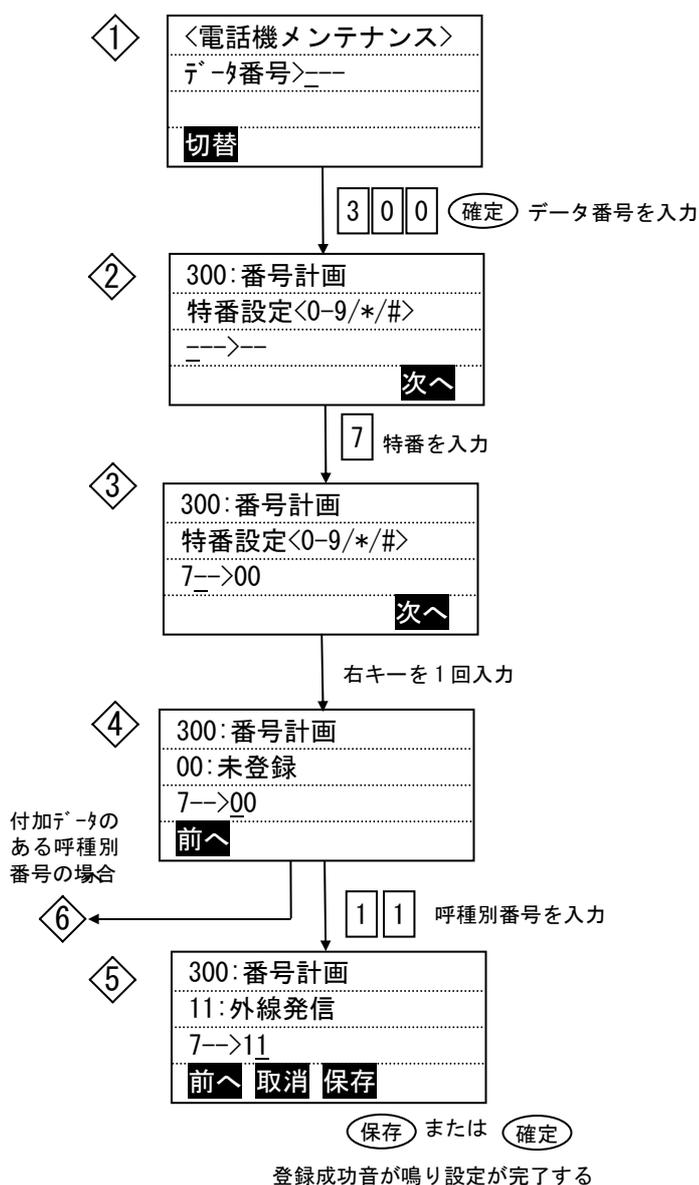
データ番号	番号計画 1/2	バージョン	V1.0~
300		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

特番の登録、削除などを設定できる。

<操作例>

特番 7 に 呼種別番号 11 : 外線発信 を設定します。



「初期値」

呼種別表の初期値データによります。

「キー操作とデータ」

**特番**

特番を 10 キーで入力します。

**呼種別**

呼種別表の呼種別番号を 10 キーで入力します。付加データのある呼種別番号の設定方法については、次頁に記載。

「関連機能番号」

- 0101 : ルート選択発信
- 0105 : リダイヤル/発信履歴
- 0106 : 着信履歴
- 0108 : 共通電話帳/個別電話帳<V1.4>
- 0109 : オートリピート
- 0112 : 指定外線/専用線捕捉
- 0113 : MSA ボタン回線捕捉
- 0115 : キャリア選択発信<V1.1>
- 0116 : キャリア番号付加発信<V1.1>
- 0121 : フッキング信号送出
- 0202 : ダイレクト・グループ・ライン (DGL)
- 0203 : MSA 着信
- 0224 : 代理応答
- 0225 : テナント指定代理応答
- 0301 : システム保留
- 0302 : パーク保留
- 0310 : 不在転送<V1.0/V1.1>
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送<V1.0/V1.1>
- 0400 : 内線通話
- 0409 : 内線グループ呼出(音声/信号)
- 0410 : 割り込み通話<V1.1>
- 0412 : 会議通話<V1.1>
- 0415 : 通話中着信
- 0416 : 放送呼出
- 0417 : 放送応答
- 0602 : 専用線接続<V1.1>
- 0603 : 専用線閉番号接続<V1.1>
- 0604 : 公一公接続
- 0611 : ドアホン着信
- 0612 : ドアホン呼出
- 0616 : 遠隔設定操作 (PB 保守) <V1.1>

<注意事項>

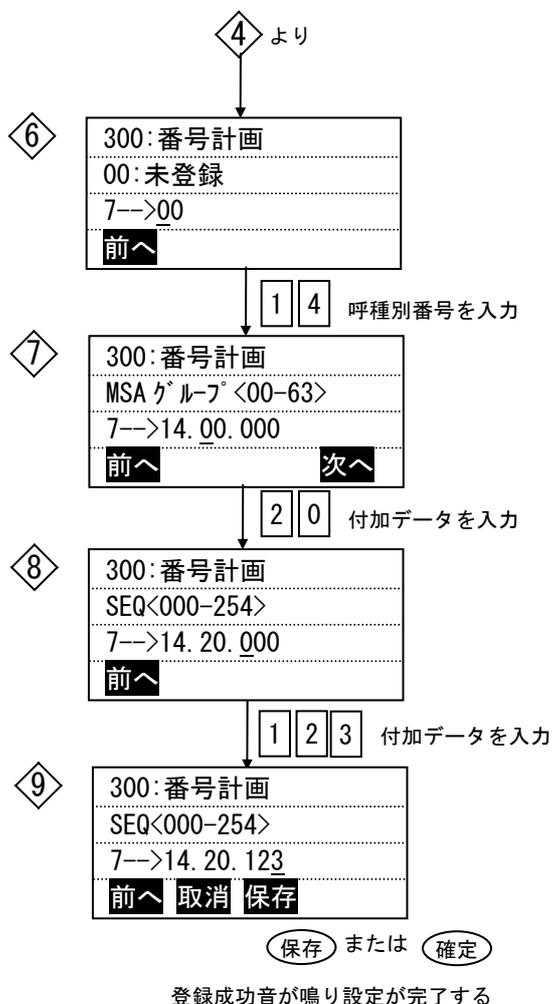
- 注1. 特番の削除は **4** の呼種別番号を入力する所で 00: 未登録を入力します。
2. 特番がすでに設定されている場合は、その特番をクリアしてから設定します。上図の例で説明すると、**6** を入力すると、初期で 6 : 共通電話帳が入っているため、**5** の呼種別設定に入ってしまうので、6 の特番をクリアしてから 66 の特番を設定します。
3. 同じ特番の番号で異なる桁数の特番を登録することはできません。

データ番号	番号計画 2/2	バージョン	V1.0~
300		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

特番7に 呼種別番号 14: 指定 MSA 捕捉/MSAグループ番号 20/SEQ123 を設定します。



「キー操作とデータ」

7  
8  
9

呼種別

呼種別表の呼種別番号と付加データを 10 キーで入力します。  
付加データの詳細については、次頁の呼種別表を参照。

「関連機能番号」

- 0626 : 一斉呼出<V1.5>
- 0900 : 音声メール装置収容<V1.2>
- 0920 : メールサービス<V1.2>
- 0922 : パスワード管理<V1.2>
- 1111 : ナンバーリングプラン
- 1400 : VOIP 内線型収容
- 1501 : CPWAVE 発信<V1.2>
- 1502 : CPWAVE 着信<V1.2>
- 1503 : CPWAVE 保留<V1.2>

<注意事項>

注4. 内線番号桁数を変更した場合、変更を行った内線番号やメールボックス番号の設定を見直してください。

## 呼種別表

呼種別	呼種別 NO.	付加データ	初期値
内線番号	01	内線番号桁数 (1~4)	1000~2999
専用線閉番号<v1.1>	02	方路番号(00~63), 桁数 (1~4)	—
拡張内線番号	03	拡張内線番号桁数(1~4)	—
回線捕捉	10	捕捉方路番号 (00~63)	0 (方路0)
外線発信	11	—	—
キャリア選択<v1.1>	12	—	—
指定外線捕捉	13	—	83
指定MSA捕捉	14	MSAGrp(000~254) + SEQ(000~254)	—
リダイヤル	15	—	80
共通電話帳	16	—	6
個別電話帳<v1.4>	17	—	—
ACR停止<v1.1>	18	—	96
パーク保留/応答	20	パーク NO. (0~127)	—
自テナント代理応答	21	0: 全て/1: 内線のみ/ 2: 内線+専用線/3: 外線のみ<v1.4>	81 (0: 全て)
自テナント Grp 代理応答	22	0: 全て/1: 内線のみ/ 2: 内線+専用線/3: 外線のみ<v1.4>	—
テナント指定代理応答	23	0: 全て/1: 内線のみ/ 2: 内線+専用線/3: 外線のみ<v1.4>	—
最終保留応答<v1.3>	28	—	*2
通話中着信	30	—	—
フッキング送出	31	—	—
会議<v1.1>	32	—	70
内線割り込み通話<v1.1>	33	—	—
一斉呼出	39	—	—
グループ音声呼出	40	—	*0
グループ信号呼出	41	—	*1
グループ呼出応答	42	—	#0
放送アクセス	43	—	*9
放送応答	44	—	#9
DGL グループ呼出	45	—	—
メールアクセス<v1.2>	46	—	71
ドアホンアクセス	47	—	—
MSA グループ呼出	48	—	—
PB 保守<v1.1>	51	—	92
共通着信履歴	54	—	—
個別着信履歴	55	—	—
個別着信履歴	55	—	—

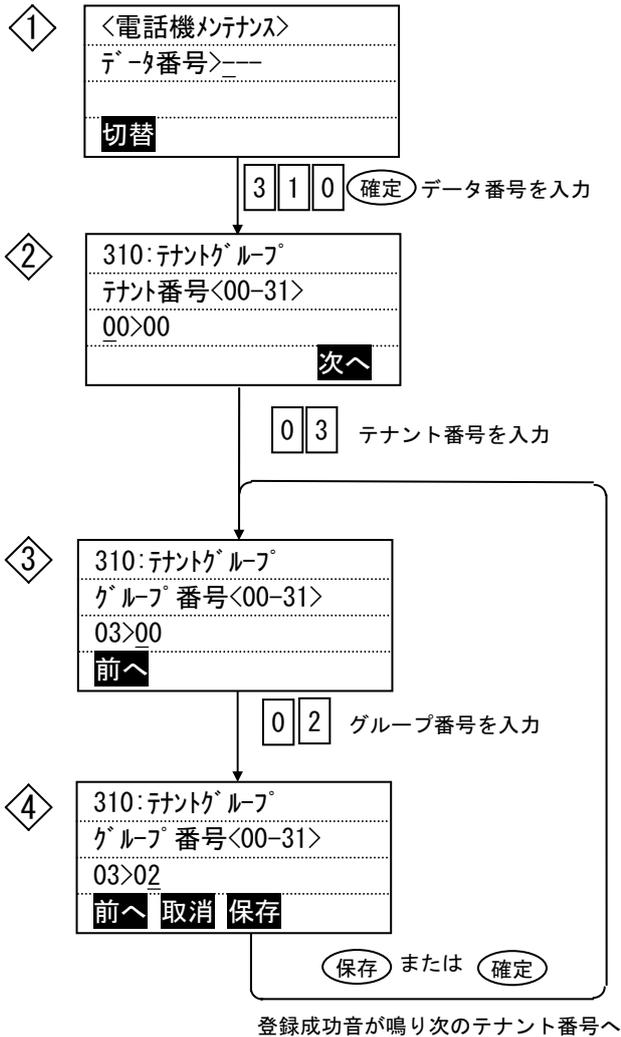
データ番号	テナントグループ	バージョン	V1.0～
310		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

異なるテナント間で代理応答を可能とするための、同一テナントグループを設定できます。

<操作例>

テナント 03 を、グループ番号 02 に指定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	グループ番号
00	00

「キー操作とデータ」

- ② テナント  
テナント番号 (00～31) を 10 キーで指定します。
- ③ テナントグループ  
テナントグループ番号 (00～31) を 10 キーで指定します。
- ④

「関連機能番号」

0224 : 代理応答

<注意事項>

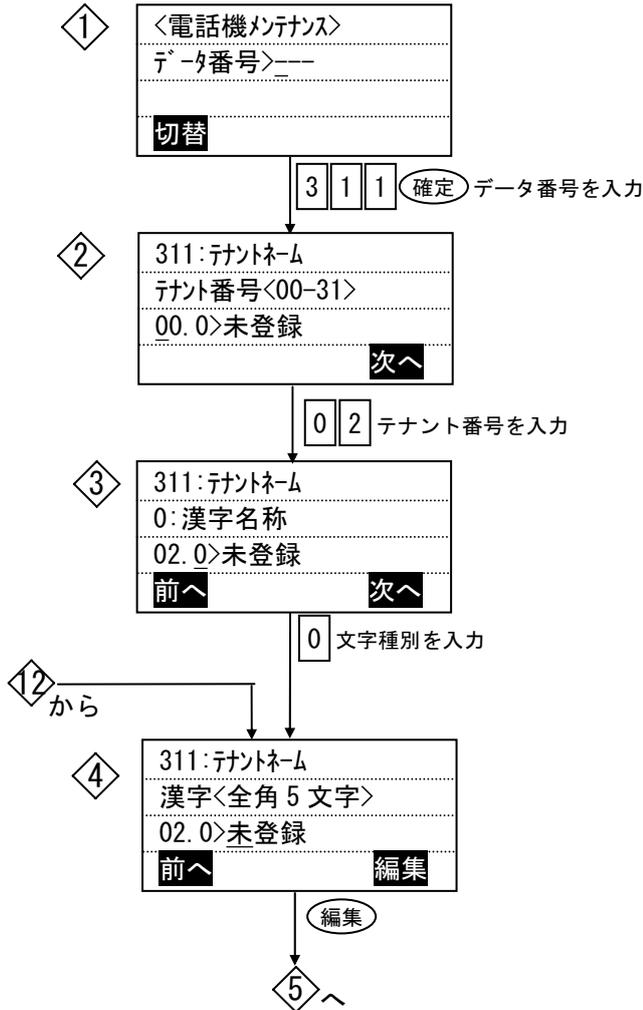
データ番号	テナントネーム 1/3	バージョン	V1.0~
311		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに名称を登録できます。

<操作例>

テナント番号 02 に、テナントネーム「東京太郎」を指定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	テナントネーム
-	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	漢字名称
1	カナ名称

「キー操作とデータ」

**テナント**  
テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

②

③

④

「関連機能番号」

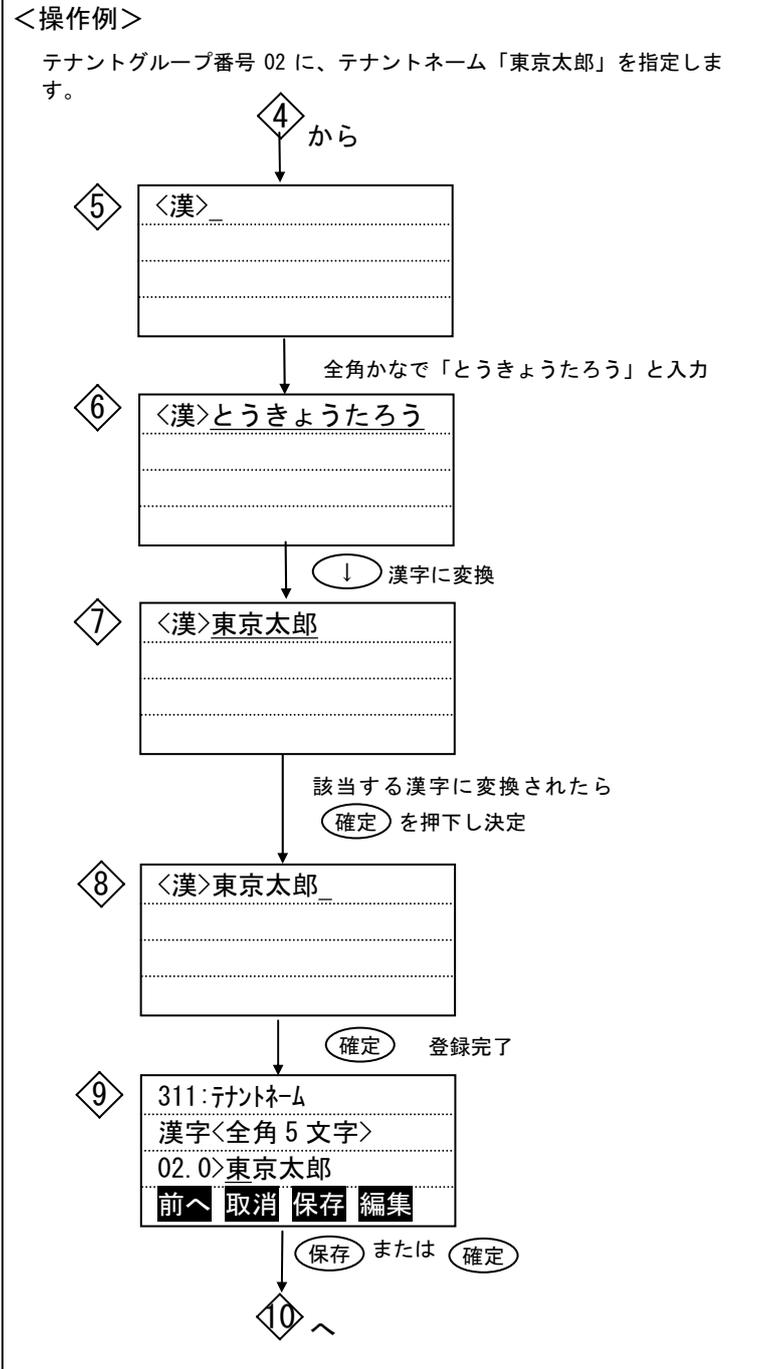
なし

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	テナントネーム 2/3
311	

<データ設定概要>



「キー操作とデータ」

テナントネーム

10 キー	データ内容
漢字	全角5文字

5

6

7

8

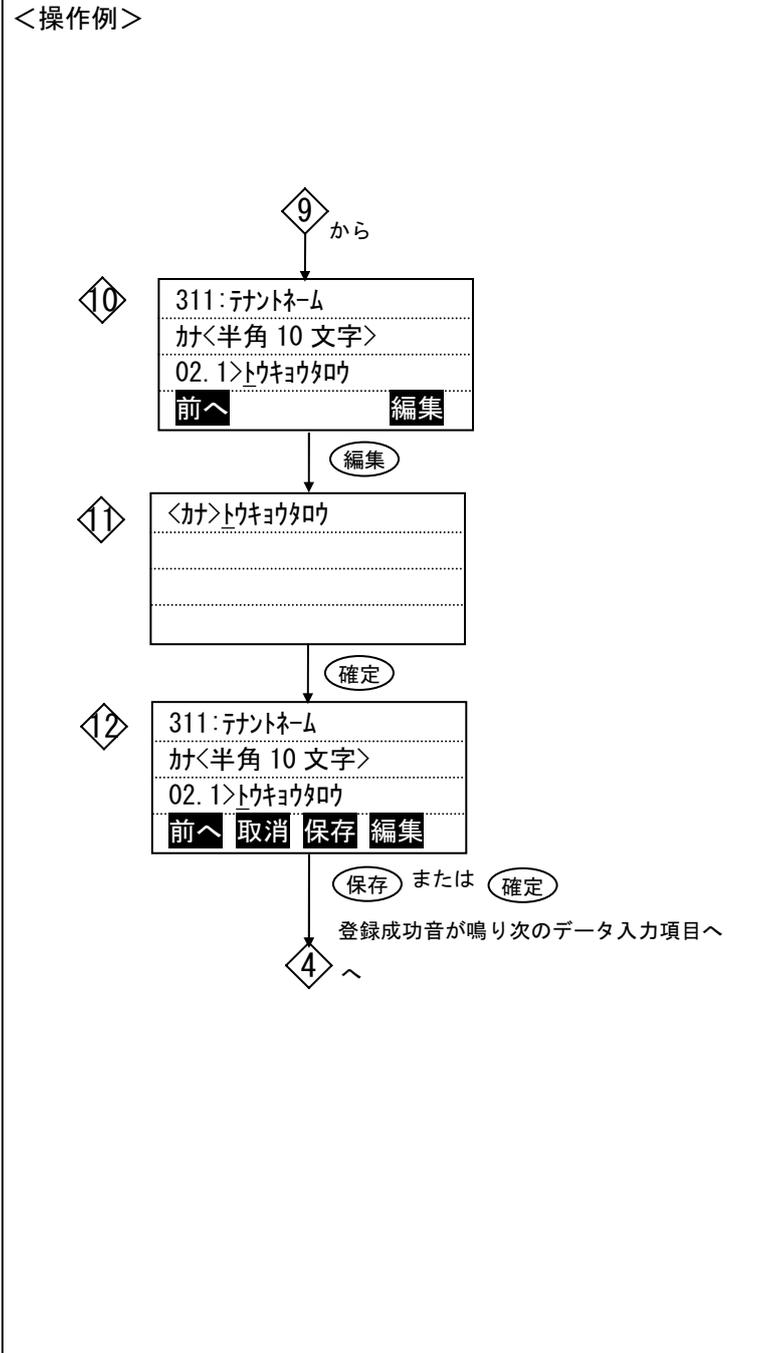
9

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	テナントネーム 3/3
311	

<データ設定概要>



「キー操作とデータ」

テナントネーム

10 キー	データ内容
カナ	半角 10 文字

<注意事項>

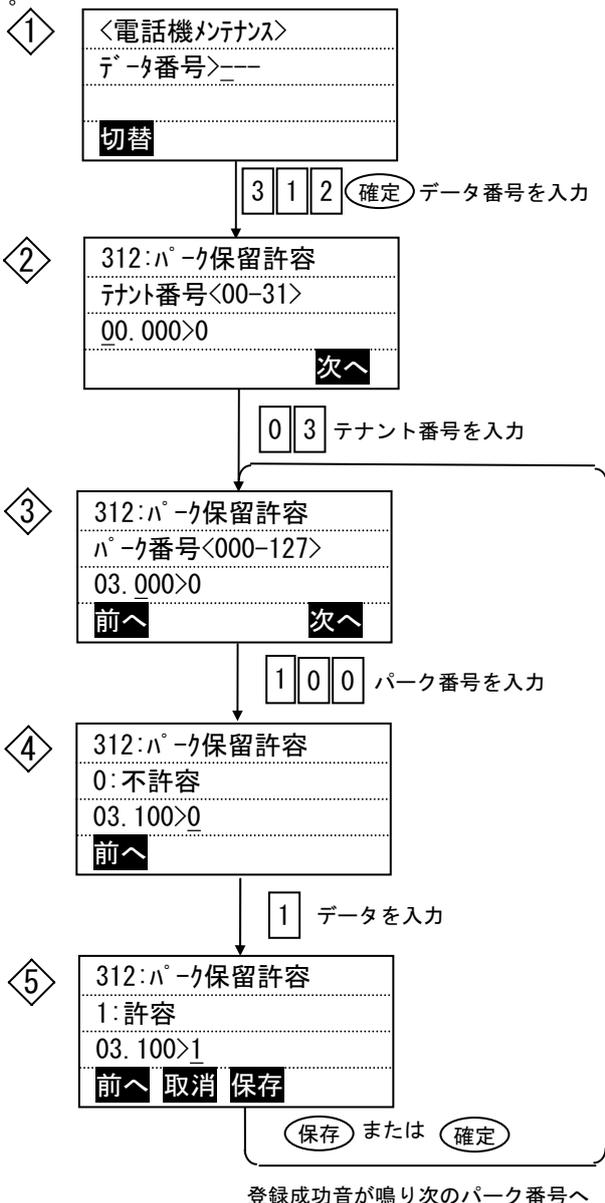
データ番号	パーク保留許容	バージョン	V1.0~
312		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

各テナントで使用できるパーク保留番号を設定します。

<操作例>

テナント番号 03 のパーク番号 100 のパーク保留を許容する様に設定します。



「初期値」全テナント/パーク番号共通

10 キー	パーク保留許容
0	不許容

「キー操作とデータ」

- ② **テナント**  
テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。
- ③ **パーク番号**  
パーク番号 (000~127) を 10 キーで指定します。
- ④ **パーク保留許容**

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」  
0302 : パーク保留

<注意事項>

- 注1. 1つのテナントが複数のパーク番号を許容できます。
- 注2. 1つのパーク番号を複数のテナントが許容できます。

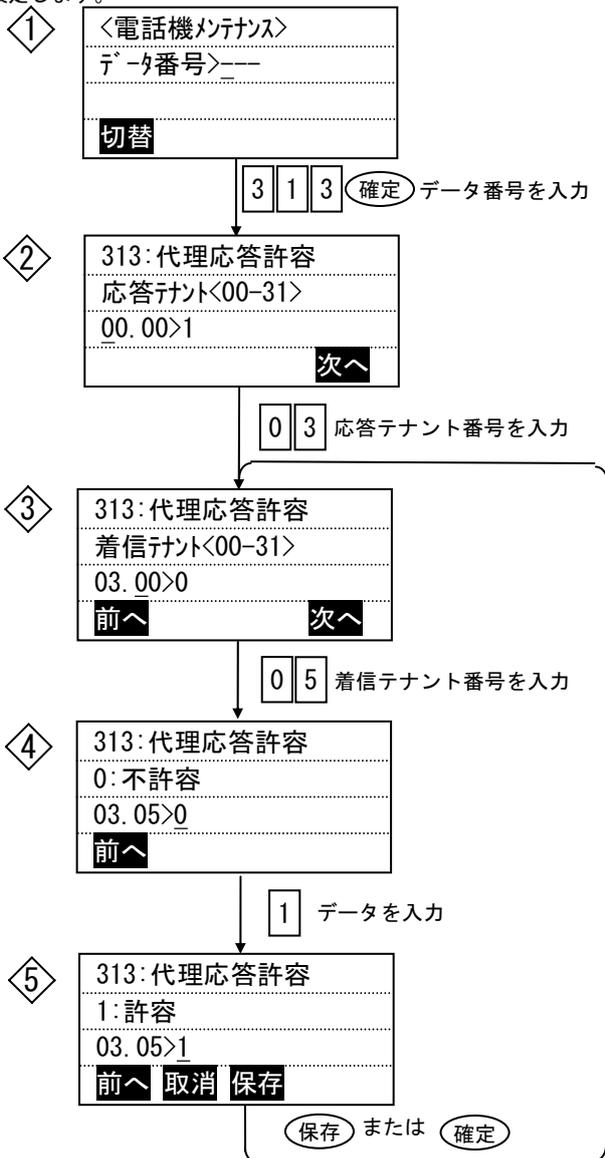
データ番号	代理応答許容	バージョン	V1.0~
313		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

応答する電話機の属するテナントに対して、代理応答できる着信テナントを設定する。

<操作例>

応答テナント番号 03、着信テナント番号 05 間の代理応答を許容する様に設定します。



登録成功音が鳴り次の応答テナント番号へ

「初期値」

着信テナント番号=応答テナント番号の場合

10 キー	代理応答許容
1	許容

上記以外の場合

10 キー	代理応答許容
0	不許容

「キー操作とデータ」

- ② 応答テナント  
応答テナント番号(00~31)を 10 キーで指定します。
  - ③ 着信テナント  
着信テナント番号(00~31)を 10 キーで指定します
  - ④ 代理応答許容
- |       |       |
|-------|-------|
| 10 キー | データ内容 |
| 0     | 不許容   |
| 1     | 許容    |

「関連機能番号」

0224 : 代理応答  
0225 : テナント指定代理応答

<注意事項>

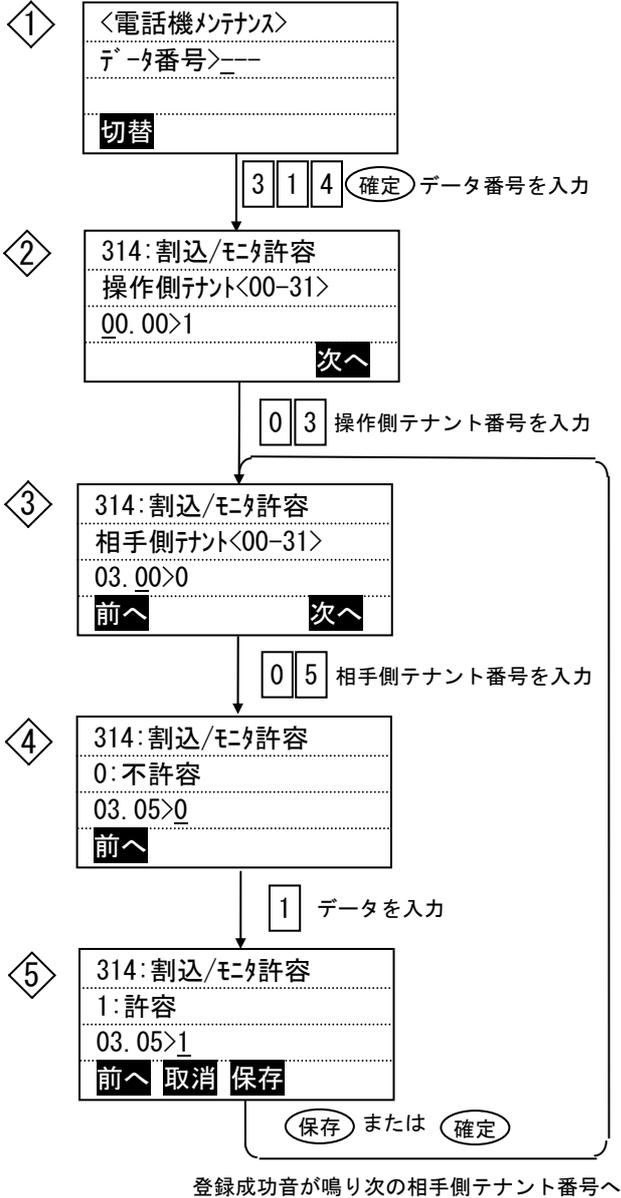
データ番号	割込/通話モニタ許容	バージョン	V1.1~
314		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナント間の割込/通話モニタ許容を設定する。

<操作例>

操作側テナント番号 03、相手側テナント番号 05 間の割込/通話モニタを許容する様に設定します。



「初期値」

着信テナント番号=応答テナント番号の場合

10 キー	割込/通話モニタ許容
1	許容

上記以外の場合

10 キー	割込/通話モニタ許容
0	不許容

「キー操作とデータ」

②

操作側テナント

相手側テナント番号(00~31)及び操作側テナント番号(00~31)を10キーで指定します。

③

相手側テナント

相手側テナント番号(00~31)及び操作側テナント番号(00~31)を10キーで指定します。

④

割込/通話モニタ許容

10 キー	データ内容
0	不許容
1	許容

「関連機能番号」

0410: 割り込み通話<V1.1>

0413: 通話モニタ<V1.4>

<注意事項>

注1. 初期値は、操作内線所属テナント、割込先内線所属テナント、がそれぞれ同一のテナントのみ許容となります。

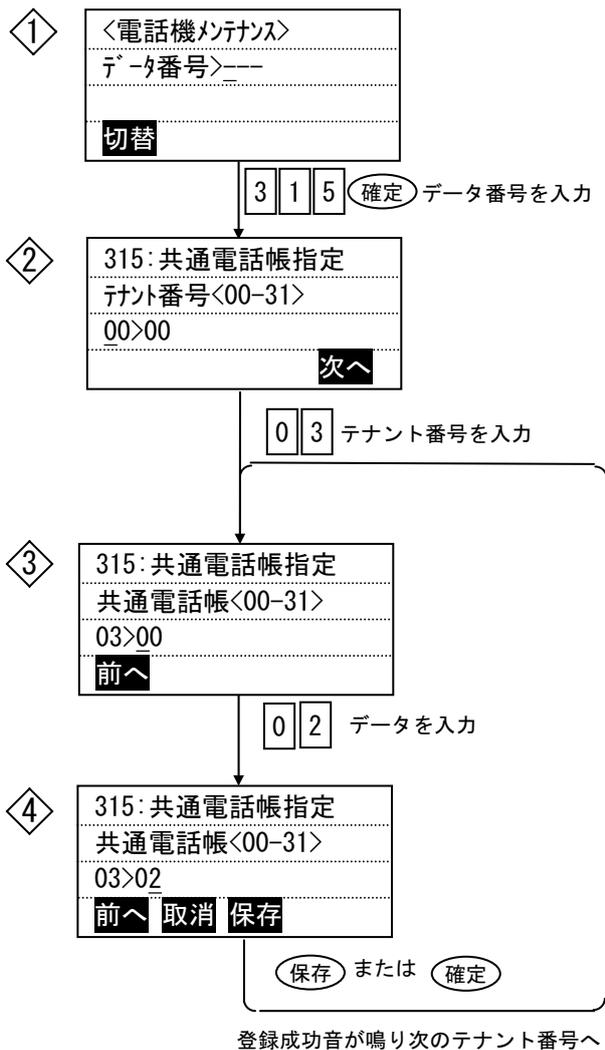
データ番号	共通電話帳指定	バージョン	V1.0~
315		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに使用する共通電話帳を指定する。

<操作例>

テナント番号 03 に共通電話帳 02 を指定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	共通電話帳番号
00	00

②

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

③

テナント共通電話帳

共通電話帳番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

④

「関連機能番号」

- 0108 : 共通電話帳
- 0208 : 発番号別着信音選択
- 0220 : 発番号 DID

<注意事項>

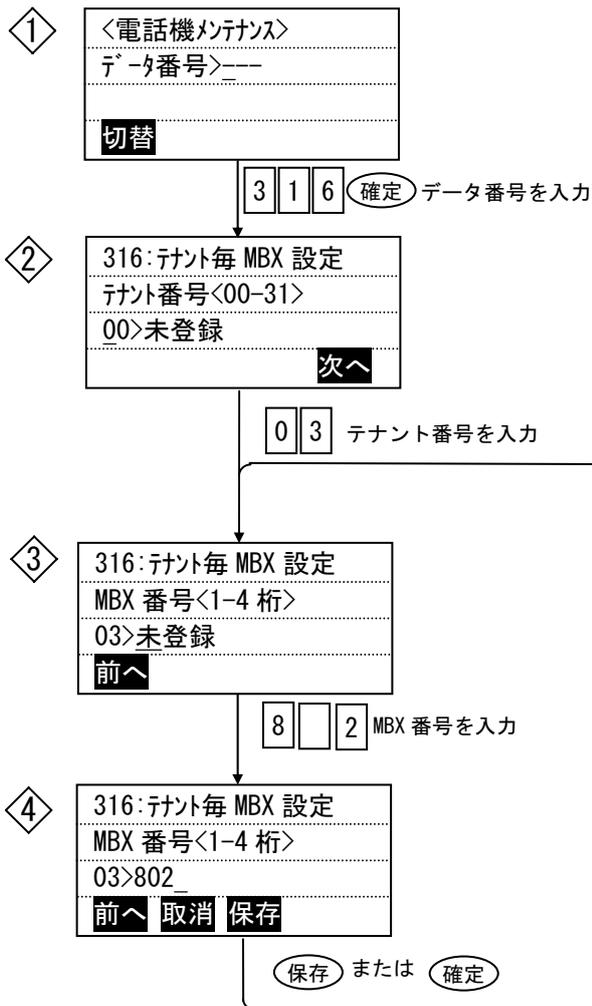
データ番号	テナント毎 MBX 設定	バージョン	V1.2~
316		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに使用するMBX(メールボックス)を指定する。

<操作例>

テナント番号 03 に MBX 802 を指定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	MBX 番号
	未登録

「入力形式選択」

- 2 **テナント**  
テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。
- 3 **MBX 番号**
- |       |        |
|-------|--------|
| 10 キー | データ内容  |
| 0-9   | MBX 番号 |
- 4

「関連機能番号」

- 0900 : 音声メール機能<V1.2>
- 0936 : 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

注 1. MBX 番号を登録するには D471:メールボックス番号の設定が必要です。

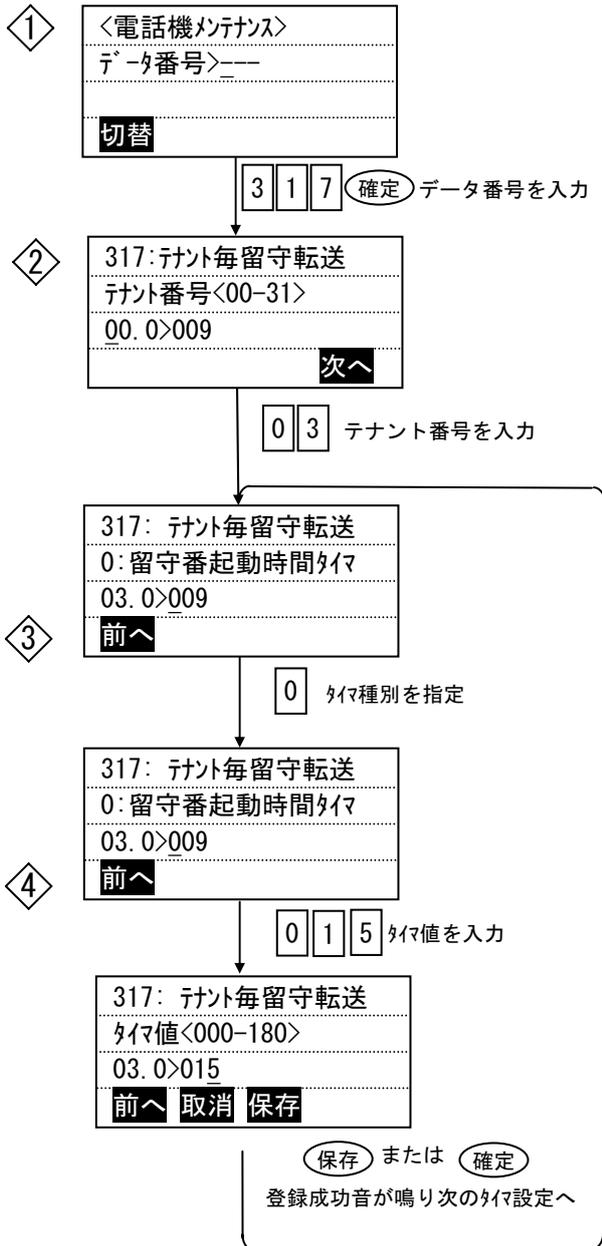
データ番号	留守転送起動タイマ（テナント毎）	バージョン	V1.2～
317		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに留守番起動までのタイマ値、及び外線転送起動までのタイマ値をそれぞれ指定する。

<操作例>

テナント番号 03 の留守番起動時間にタイマ値 15 を指定します。



「初期値」全テナント共通

タイマ種別	10キー	タイマ値
留守番起動時間	0	9秒
外線転送起動時間	1	9秒

「入力形式選択」

- ② テナント  
テナント番号(00～31)を10キーで指定します。
- ③ タイマ種別
- | 10キー | タイマ種別    |
|------|----------|
| 0    | 留守番起動時間  |
| 1    | 外線転送起動時間 |

タイマ値

10キー	データ内容
000～180	タイマ値0～180秒

「関連機能番号」

0936：留守番機能<v1.2>

<注意事項>

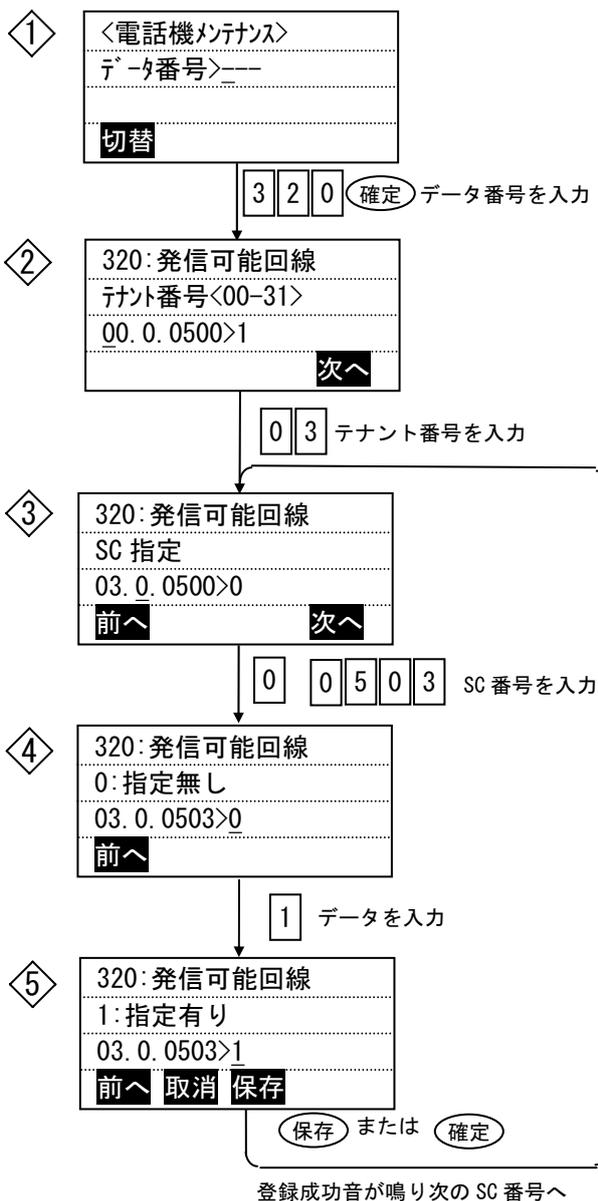
データ番号	発信可能回線	バージョン	V1.0~
320		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに発信可能な回線を指定する。

<操作例>

テナント番号 03 の SC 番号 0503 の発信回線の指定を有りに変更します。



「初期値」

テナント 00 の全 SC

10 キー	発信可能回線指定
1	指定有り

テナント 01~31 の全 SC

10 キー	発信可能回線指定
0	指定無し

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

SC 指定、SC 番号

SC 回線番号 (0100~1899, 3000~3191) を 10 キーで指定します。

発信可能回線指定

10 キー	データ内容
0	指定無し
1	指定有り

「関連機能番号」

- 0101 : ルート選択発信
- 0105 : リダイヤル/発信履歴
- 0107 : オートダイヤル (ワンタッチダイヤル)
- 0109 : オートリポート
- 0113 : MSA キー回線捕捉

<注意事項>

- 注1. テナントの設定はデータ番号104で行います。
- 注2. 指定する回線はデータ番号321: 着信可能回線とは関係なく指定できます。

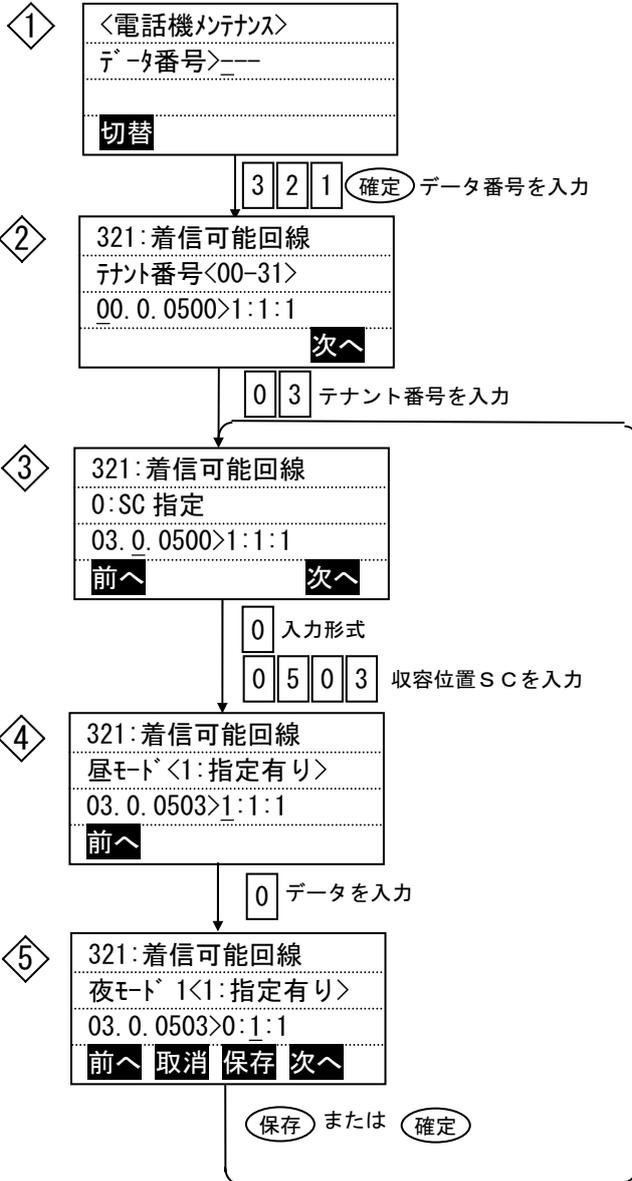
データ番号	着信可能回線	バージョン	V1.0~
321		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

各テナントに対して、各回線からの外線着信の対象とするかを設定する。

<操作例>

テナント番号 03 の SC 番号 0503 を着信指定無しに指定します。



「初期値」 全テナント/全回線共通

	10 キー	着信可能回線指定
昼モード	1	指定有り
夜モード 1	1	指定有り
夜モード 2	1	指定有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「キー操作とデータ」

- 2 テナント  
テナント番号(00~31)を10キーで指定します。
- 3 SC 指定  
SC 回線番号(0100~1899, 3000~3191)を10キーで指定します。
- 着信可能回線指定

	10 キー	データ内容
昼モード	0	指定無し
	1	指定有り
夜モード 1	0	指定無し
	1	指定有り
夜モード 2	0	指定無し
	1	指定有り

「関連機能番号」

- 0106 : 着信履歴
- 0200 : 任意外線応答
- 0201 : オフフック外線自動応答
- 0204 : 外線別鳴動先指定
- 0214 : 外線別個別着信 (DIL)
- 0215 : 付加番号 DID<v1.1>
- 0216 : 着サブアドレス DID
- 0217 : PBX ダイヤルイン
- 0218 : 着番号 DID
- 0219 : i・ナンバー
- 0936 : 留守番機能<v1.2>
- 1315 : PS 一斉着信

<注意事項>

- 注1. DGL、MSA着信時は、着信可能回線にしていない回線からの着信も対象(着信可能)となります。
- 2. ISDN回線のデータ設定
  - (1) インタフェースグループでは、IFG (ins64 : 00, 01, 02, 03 ins1500 : 00, 01) 単位で設定して下さい。
  - (2) 収容位置番号SCでは、収容しているパッケージの回路番号ごとに設定できます。

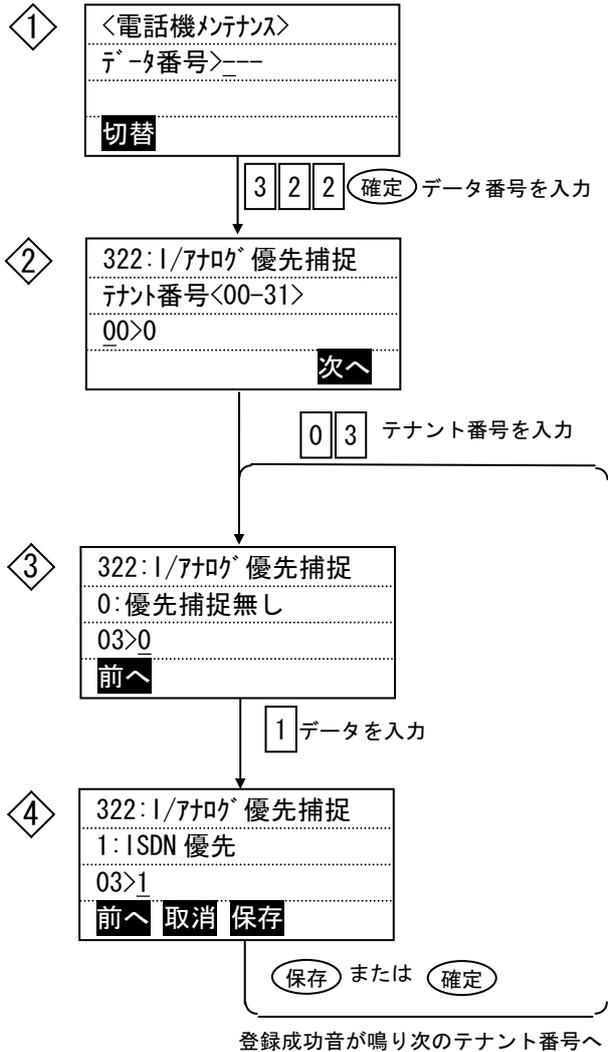
データ番号	ISDN/アナログ優先捕捉	バージョン	V1.0~
322		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ルート選択発信時に、優先して捕捉する ISDN 回線やアナログ回線を、テナントごとに指定する。(優先捕捉する回線を無しに設定することもできる。)

<操作例>

テナント番号 03 の優先捕捉回線を ISDN 優先に設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	ISDN/アナログ優先捕捉
0	優先捕捉無し

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号(00~31)を10キーで指定します。

ISDN/アナログ優先捕捉

10 キー	データ内容
0	優先捕捉無し
1	ISDN 優先
2	アナログ優先

- 2
- 3
- 4

「関連機能番号」

- 0101 ルート選択発信
- 0105 リダイヤル/発信履歴
- 0106 着信履歴
- 0107 オートダイヤル (ワンタッチダイヤル)
- 0115 キャリア選択発信<V1.1>
- 0116 キャリア番号付加発信<V1.1>
- 0117 マイライン/マイラインプラス<V1.1>

<注意事項>

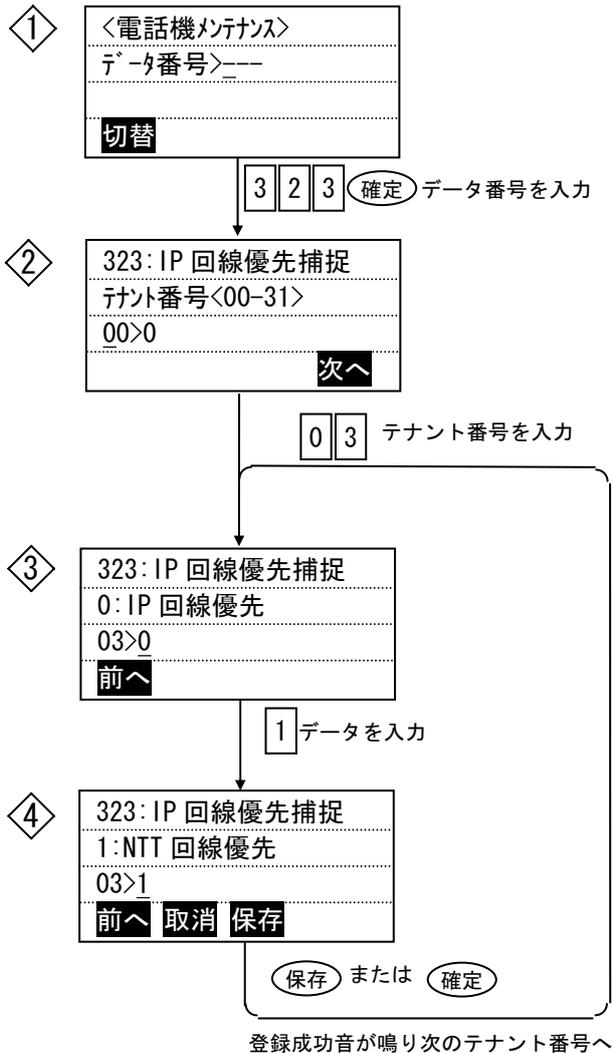
データ番号	IP 回線優先捕捉	バージョン	V1.0~
323		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ルート選択発信時に、優先して捕捉する IP 回線や NTT 回線を、テナントごとに指定する

<操作例>

テナント番号 03 を NTT 回線優先捕捉に設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	回線捕捉方式
0	IP 回線優先

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号(00~31)を 10 キーで指定します。

回線捕捉方式

10 キー	データ内容
0	IP 回線優先
1	NTT 回線優先

「関連機能番号」

- 0101 : ルート選択発信
- 0105 : リダイヤル/発信履歴
- 0106 : 着信履歴
- 0107 : オートダイヤル (ワンタッチダイヤル)
- 0115 : キャリア選択発信<V1.1>
- 0116 : キャリア番号付加発信<V1.1>
- 0117 : マイライン/マイラインプラス<V1.1>

<注意事項>

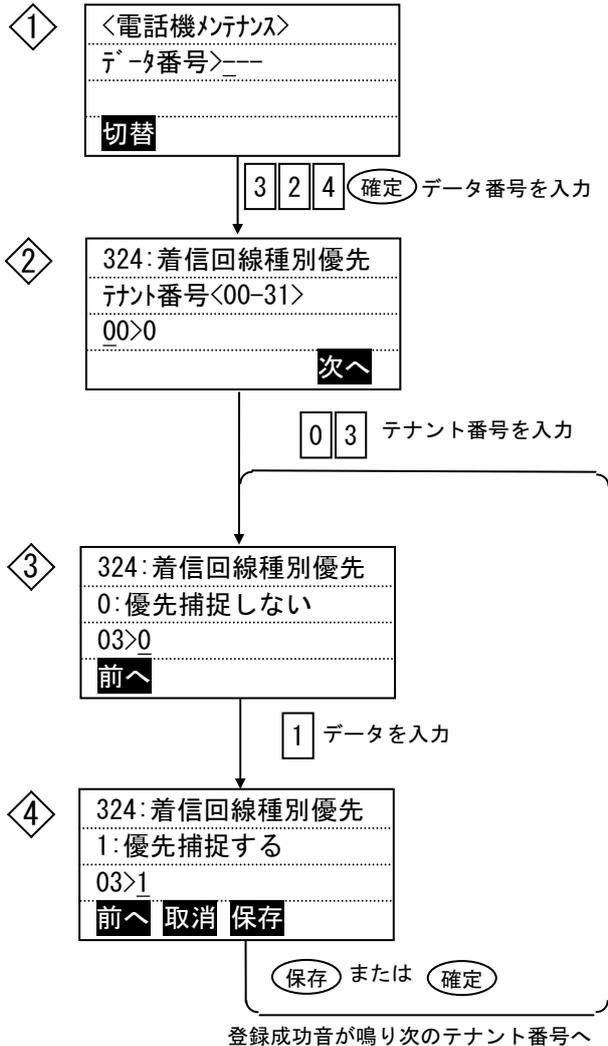
データ番号	着信回線種別優先	バージョン	V1.0~
324		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

着信履歴発信時、着信したときと同じ回線種別 (ISDN/アナログ/IP) を最優先に捕捉し発信するかを設定する。

<操作例>

テナント番号 03 を優先捕捉する様に設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	着信回線種別優先
0	優先捕捉しない

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

着信回線種別優先捕捉

10 キー	データ内容
0	優先捕捉しない
1	優先捕捉する

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0106 : 着信履歴

<注意事項>

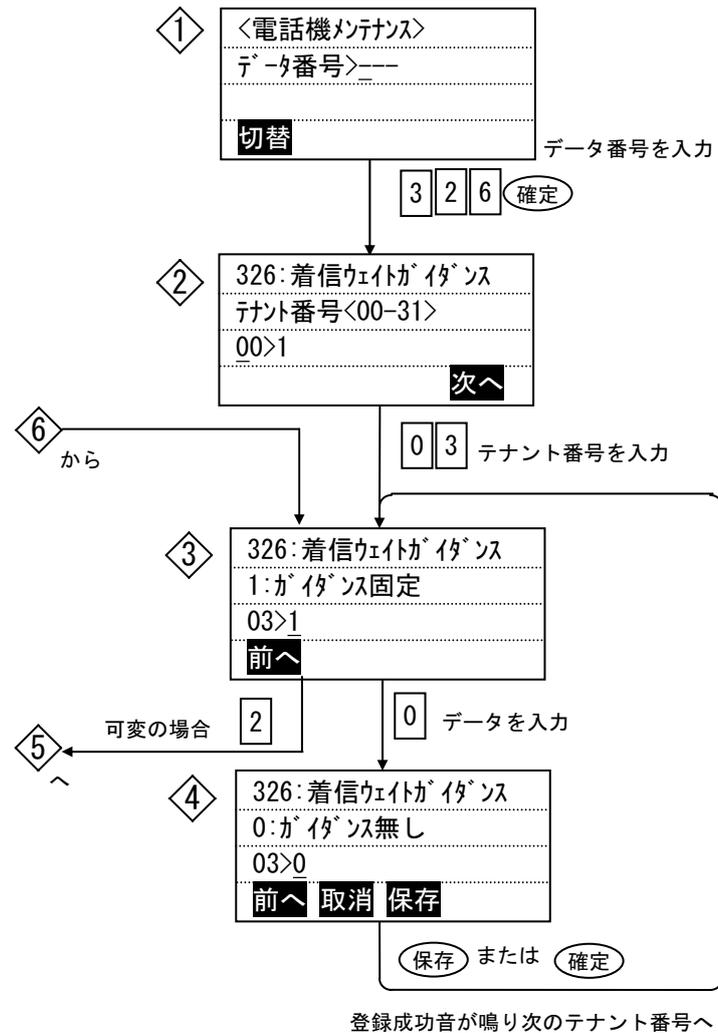
データ番号	着信ウェイトガイダンス 1/2	バージョン	V1.1~
326		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに着信ウェイトガイダンスを設定する。

<操作例>

テナント番号 03 を、着信ウェイトガイダンス無しに設定します。  
(可変ウェイトガイダンスの設定は次頁)



「初期値」全テナント共通

10キー	ウェイトガイダンス
1	ガイダンス固定

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

ウェイトガイダンス

10キー	データ内容
0	ガイダンス無し
1	ガイダンス固定
2	ガイダンス可変

「関連機能番号」

0309 : 着信ウェイトメッセージ<V1.1>

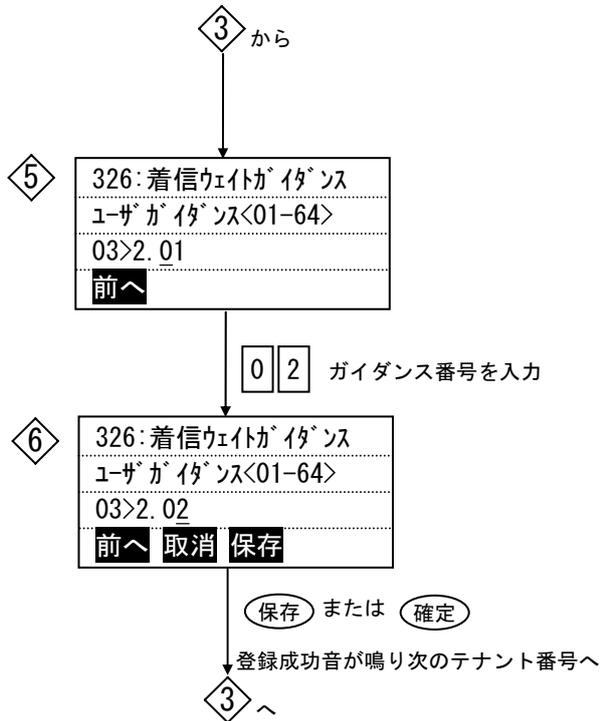
<注意事項>

データ番号	着信ウェイトガイダンス 2/2	バージョン	V1.1~
326		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

テナント番号 03 を、可変ウェイトガイダンス/ユーザガイダンス番号 02 に設定します。



「キー操作とデータ」

⑤

ユーザガイダンス

ユーザガイダンス番号 (01~64) を 10 キーで設定します。

⑥

<注意事項>

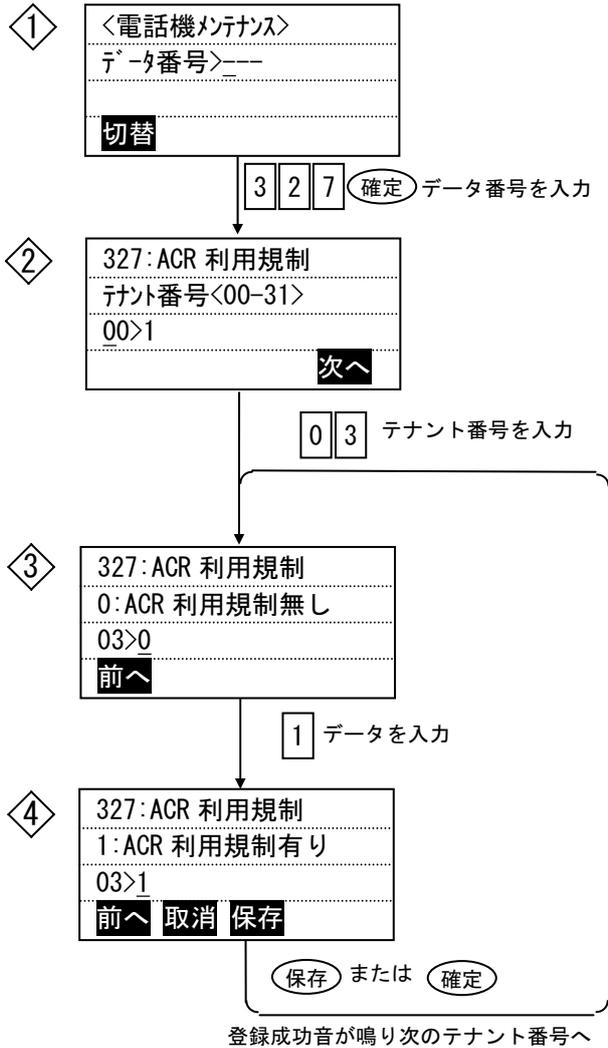
データ番号	ACR 利用規制(テナント毎)	バージョン	V1.1~
327		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに ACR の利用を指定する。

<操作例>

テナント番号 03 の ACR を利用規制無しに設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	ACR 利用規制
0	ACR 利用規制無し

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

ACR 利用規制

10 キー	データ内容
0	ACR 利用規制無し
1	ACR 利用規制有り

②

③

④

「関連機能番号」

0116 : キャリア番号付加発信 <v1.1>

<注意事項>

注1. 本データが「ACR利用規制有り」になっている場合、データ設定605「キャリア番号付加発信（利用有無）」又はユーザメニュー「ACR利用」が利用可になっていても、キャリア番号を自動付加することはできません。

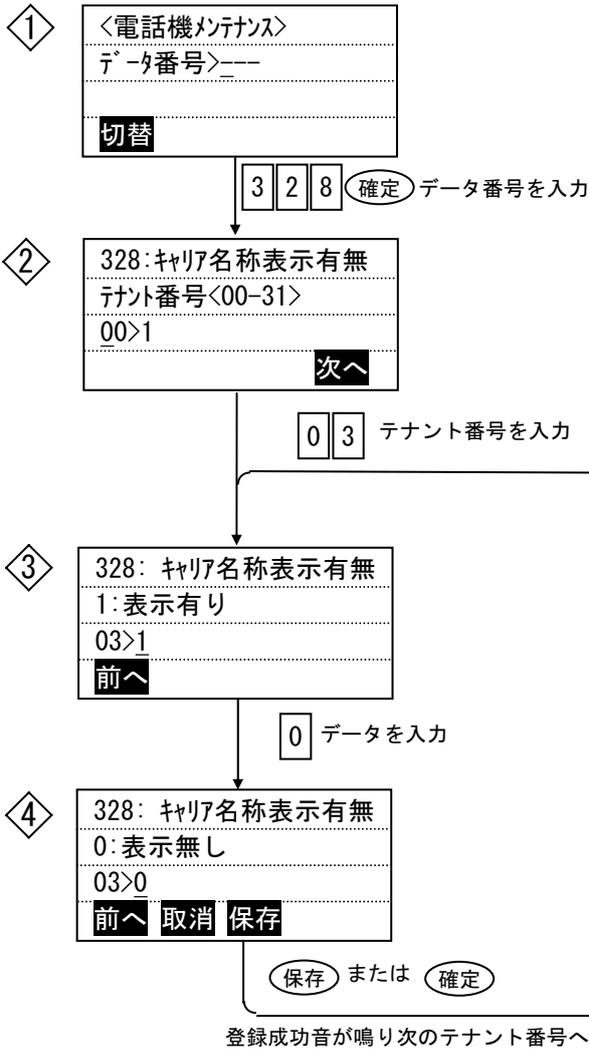
データ番号	キャリア名称表示有無（テナント毎）	バージョン	V1.1～
328		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとにキャリア名称の有無を指定する。

<操作例>

テナント番号 03 のキャリア名称を表示無しに設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	キャリア名称表示有無
1	表示有り

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00～31) を 10 キーで指定します。

キャリア名称表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

②

③

④

「関連機能番号」

0116 : キャリア番号付加発信<V1.1>

<注意事項>

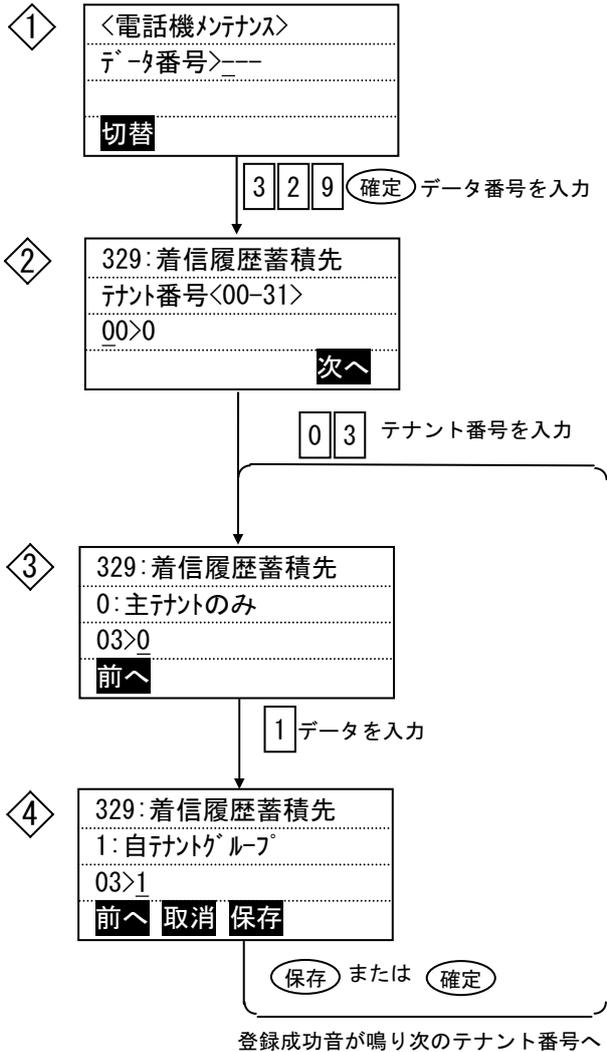
データ番号	着信履歴蓄積先指定	バージョン	V1.4~
329		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

共通着信履歴の蓄積先を主テナントのみにするか、主テナントが属するテナントグループにするかを指定する。

<操作例>

テナント番号 03 の着信履歴蓄積先を自テナントグループに設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	着信履歴蓄積先指定
0	主テナントのみ

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号(00~31)を10キーで指定します。

着信履歴蓄積先指定

10 キー	データ内容
0	主テナントのみ
1	自テナントグループ

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0106 着信履歴

<注意事項>

このページは白紙になります。

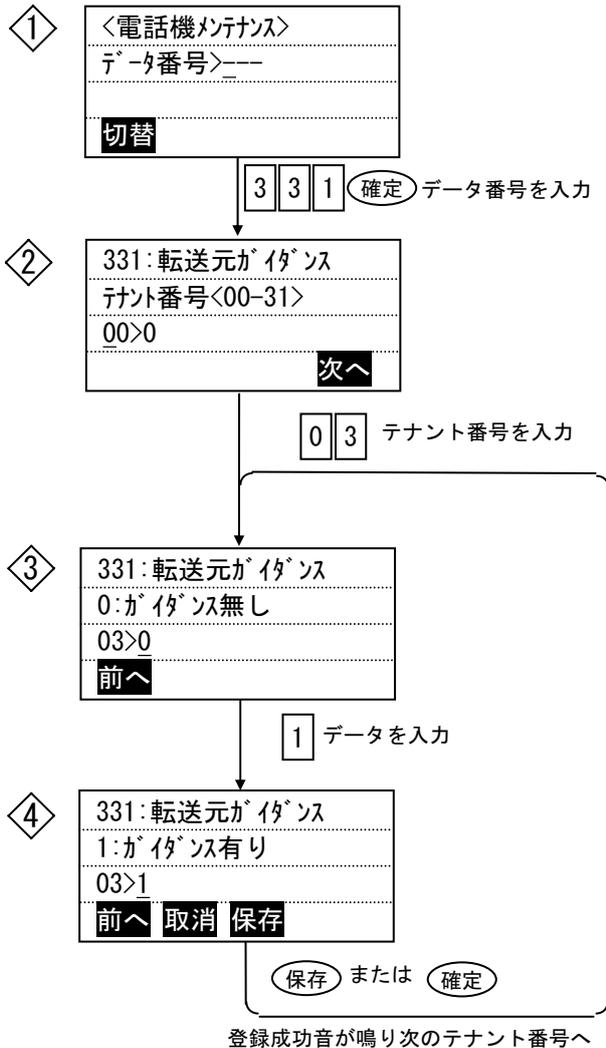
データ番号	転送元ガイダンス	バージョン	V1.1~
331		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

転送時、転送元に固定ガイダンスを送出させる。

<操作例>

テナント番号 03 を転送元ガイダンス有りに設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	転送元ガイダンス
1	ガイダンス有り<V1.1>
0	ガイダンス無し<V1.2>

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

転送元ガイダンス

10 キー	データ内容
0	ガイダンス無し
1	ガイダンス有り

②

③

④

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0313 : 転送ガイダンス送出

<注意事項>

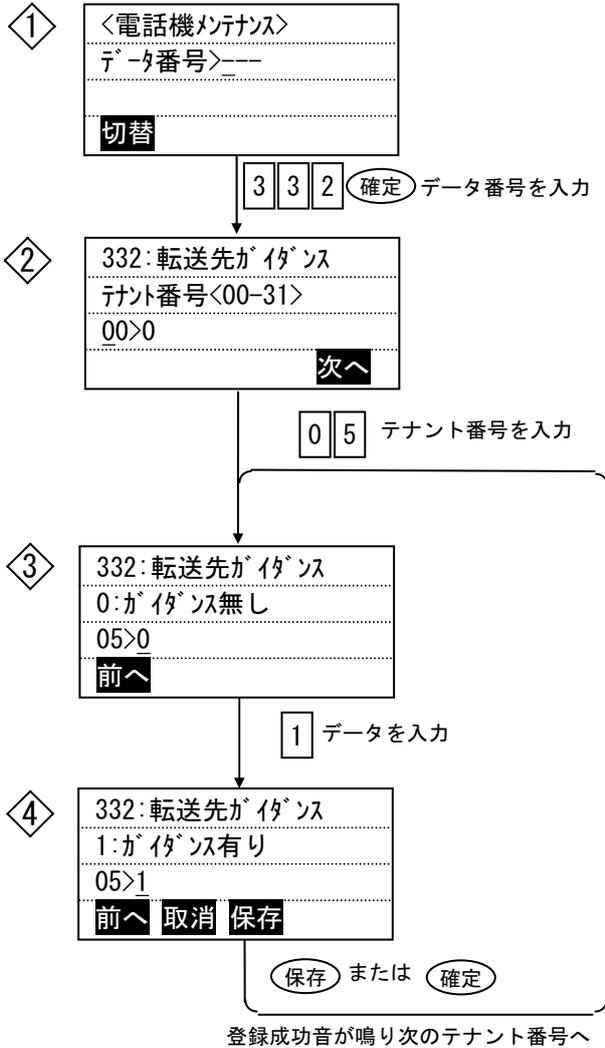
データ番号	転送先ガイダンス	バージョン	V1.1~
332		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

転送時、転送先に固定ガイダンスを送出させます。

<操作例>

テナント番号 05 を転送先ガイダンス有りに設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	転送先ガイダンス
1	ガイダンス有り<V1.1>
0	ガイダンス無し<V1.2>

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

転送先ガイダンス

10 キー	データ内容
0	ガイダンス無し
1	ガイダンス有り

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0313 : 転送ガイダンス送出<V1.1>

<注意事項>

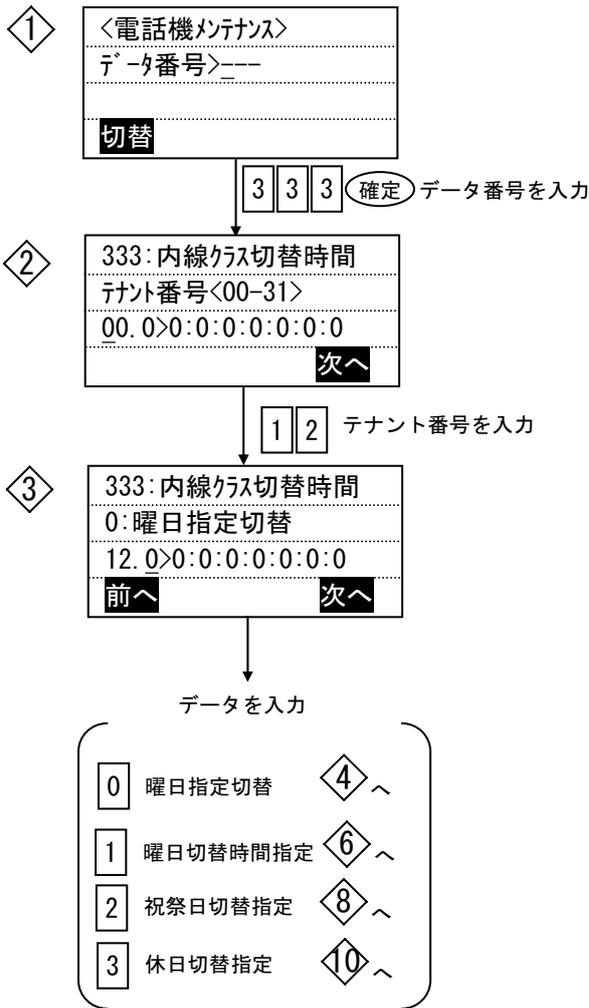
データ番号	内線クラス切替時間帯(テナント毎) 1/3	バージョン	V1.0~
333		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに、クラス切替時刻を設定する。

<操作例>

テナント番号 12 の、内線クラス切替時間帯を設定します。  
設定の詳細は次頁、次々頁を参照。



「初期値」全テナント共通

-	10キー	データ内容
曜日指定切替	0	全曜日切替無し
切替時間指定	-	未登録
祝祭日切替指定	0	切替無し
休日切替指定	0	切替無し

「キー操作とデータ」

② テナント  
テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

③ 項目選択

10キー	データ内容
0	曜日指定切替
1	切替時間指定
2	祝祭日切替指定
3	休日切替指定

「関連機能番号」

0404 : 内線クラス切替

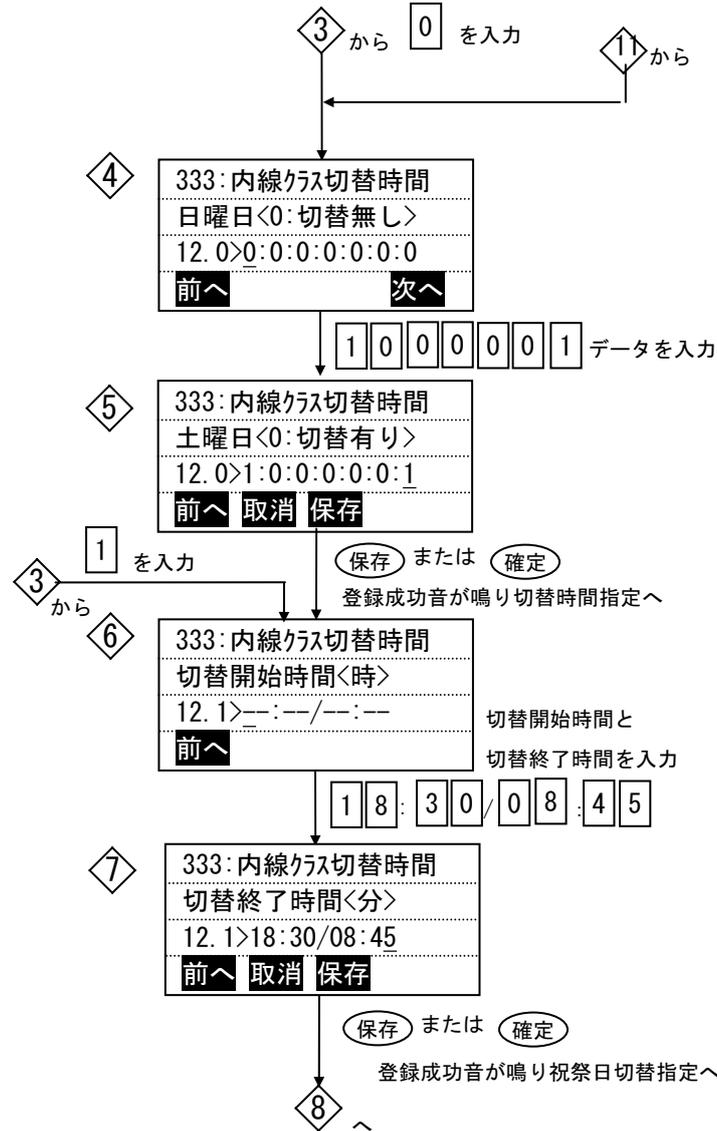
<注意事項>

データ番号	内線クラス切替時間帯(テナント毎) 2/3	バージョン	V1.0~
333		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

テナント番号 12 の曜日指定を土曜日/日曜日に設定します。また切替時間帯を 18:30~翌 8:45 までに設定します。



「キー操作とデータ」

曜日切替指定

日~土曜日の各曜日ごとに切替有無を設定します。

10 キー	データ内容
0	(曜日)切替無し
1	(曜日)切替有り

0	0	0	0	0	0	0
日	月	火	水	木	金	土

切替開始時間、切替終了時間

開始時刻(00:00~23:59)と終了時刻(00:00~23:59)を、それぞれ 10 キーで入力します。

<注意事項>

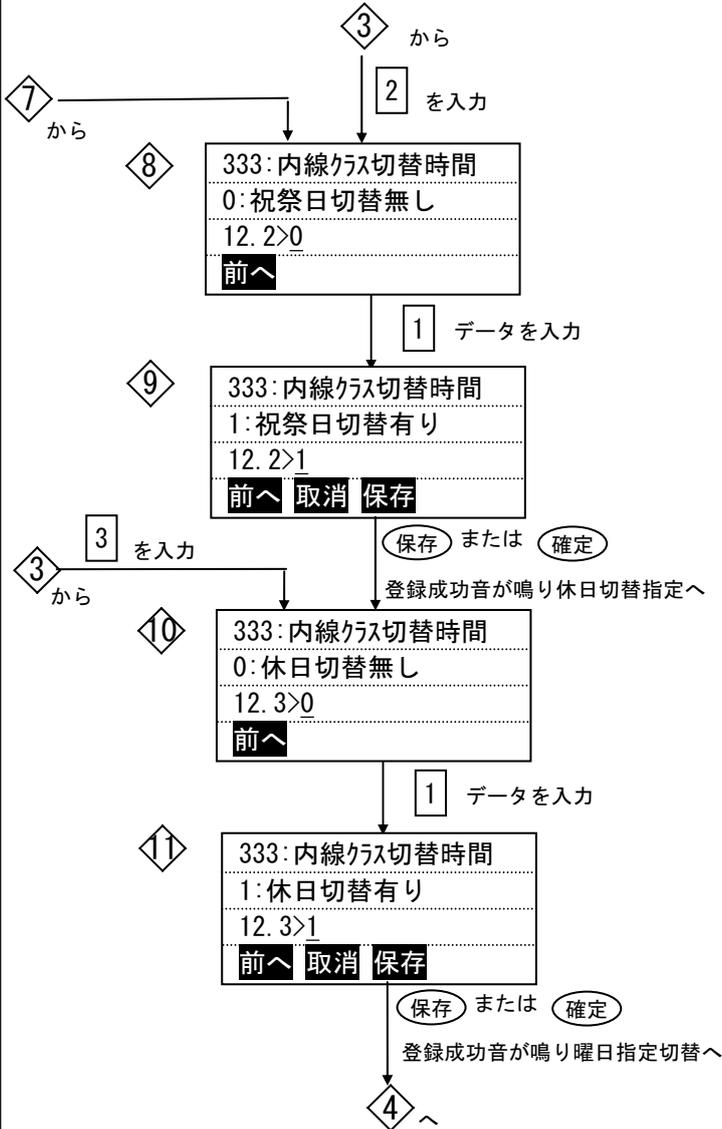
開始時刻00:00~終了時刻00:00と登録すると終日クラス切替時間設定になります。  
曜日指定、時間指定、祝祭日指定、休日指定は各々独立した設定になります。  
曜日を切替有りとした場合、その曜日は終日切替になります。

データ番号	内線クラス切替時間帯(テナント毎) 3/3	バージョン	V1.0~
333		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

テナント番号 12 の内線クラス切替を、祝祭日、及びその他の休日も有効にする様設定します。



「キー操作とデータ」

祝祭日切替

10 キー	データ内容
0	祝祭日切替無し
1	祝祭日切替有り

休日切替

10 キー	データ内容
0	休日切替無し
1	休日切替有り

<注意事項>

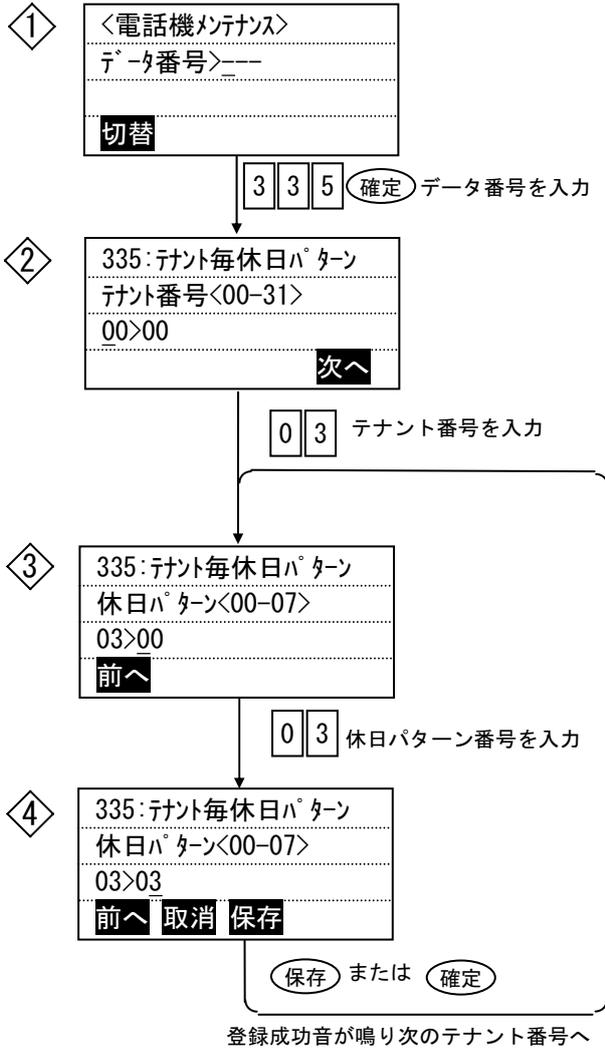
データ番号	テナント毎休日パターン指定	バージョン	V1.0~
335		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

テナントごとに休日を登録した休日のパターンを指定する。

<操作例>

テナント番号 03 の休日パターンをパターン 03 に設定します。



「初期値」全テナント共通

10 キー	転送元ガイダンス
00	休日パターン 00

「キー操作とデータ」

- ② テナント  
テナント番号 (00~31) を 10 キーで指定します。
- ③ 休日パターン  
休日パターン (00~07) を 10 キーで指定します。
- ④

「関連機能番号」

- 0213 : 昼/夜モード自動切替
- 0404 : 内線クラス切替
- 0624 : システムカレンダー

<注意事項>

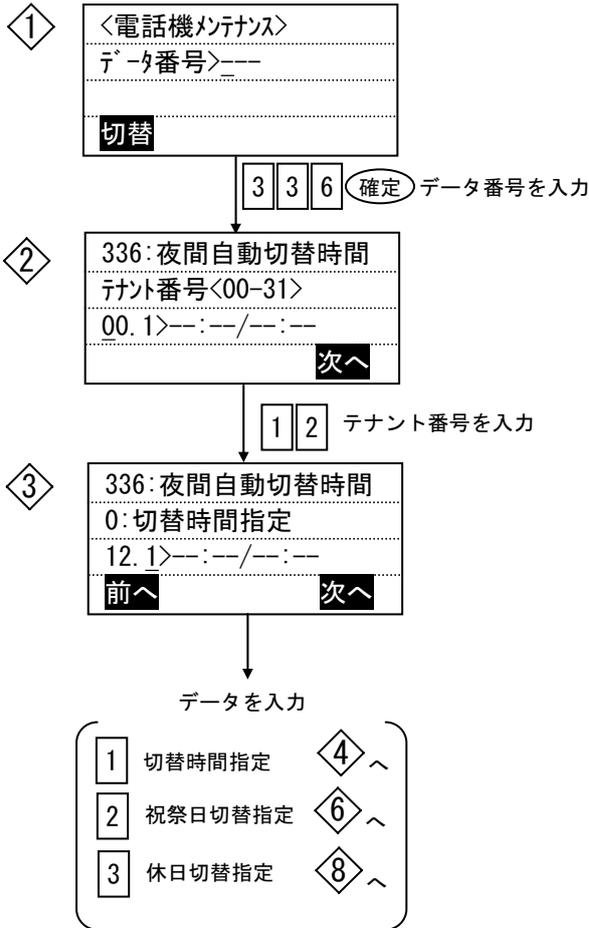
データ番号	夜間自動切替時間帯(テナント毎) 1/3	バージョン	V1.0~
336		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

夜1モードに設定し夜間開始、停止の自動切替を行う時間帯を設定する。

<操作例>

テナント番号12の夜間自動切替時間帯を設定します。  
設定の詳細は次頁、次々頁を参照。



「初期値」全テナント共通

	10キー	データ内容
開始時間	-	未登録
終了時間	-	未登録
祝祭日切替	0	祝祭日切替無し
休日切替	0	休日切替無し

「キー操作とデータ」

テナント

テナント番号(00~31)を10キーで指定します。

項目選択

10キー	データ内容
1	切替時間指定
2	祝祭日切替指定
3	休日切替指定

「関連機能番号」

0213: 昼/夜モード自動切替

<注意事項>

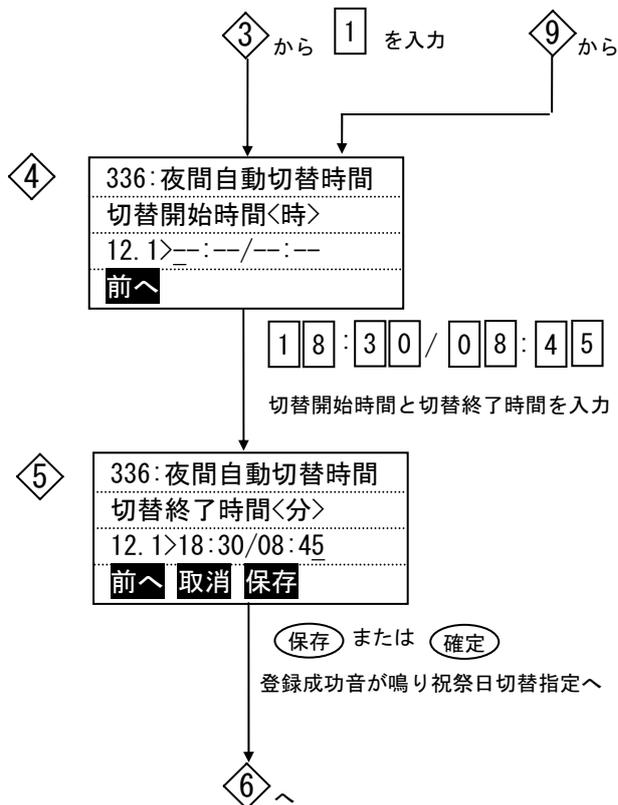
注1. 夜2モードへの自動切替、および夜2モードからの自動切替はできません。

		バージョン	V1.0~
データ番号	夜間自動切替時間帯(テナント毎) 2/3	データ更新条件	システム
336			

<データ設定概要>

<操作例>

テナント番号 12 の夜間自動切替時間帯を、18:30~翌 8:45 までに設定します。



「キー操作とデータ」

④ 切替開始時間、切替終了時間

⑤ 開始時刻(00:00~23:59)と終了時刻(00:00~23:59)を、それぞれ10キーで入力します。

<注意事項>

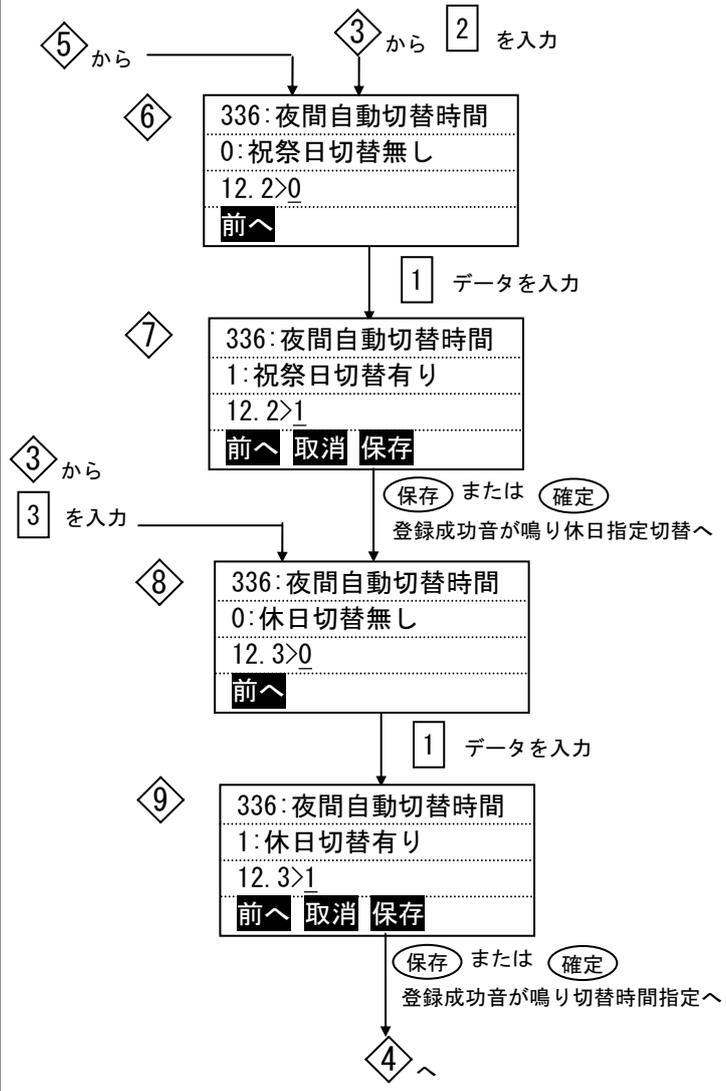
開始時刻00:00~終了時刻00:00と登録すると終日夜間切替時間設定になります。  
時間指定、祝祭日指定、休日指定は各々独立した設定になります。

	バージョン	V1.0~
データ番号	データ更新条件	
336		システム

<データ設定概要>

<操作例>

テナント番号 12 の夜間自動切替を、祝祭日、及びその他の休日も有効にする様設定します。



「キー操作とデータ」

祝祭日切替

10 キー	データ内容
0	祝祭日切替無し
1	祝祭日切替有り

休日切替

10 キー	データ内容
0	休日切替無し
1	休日切替有り

<注意事項>

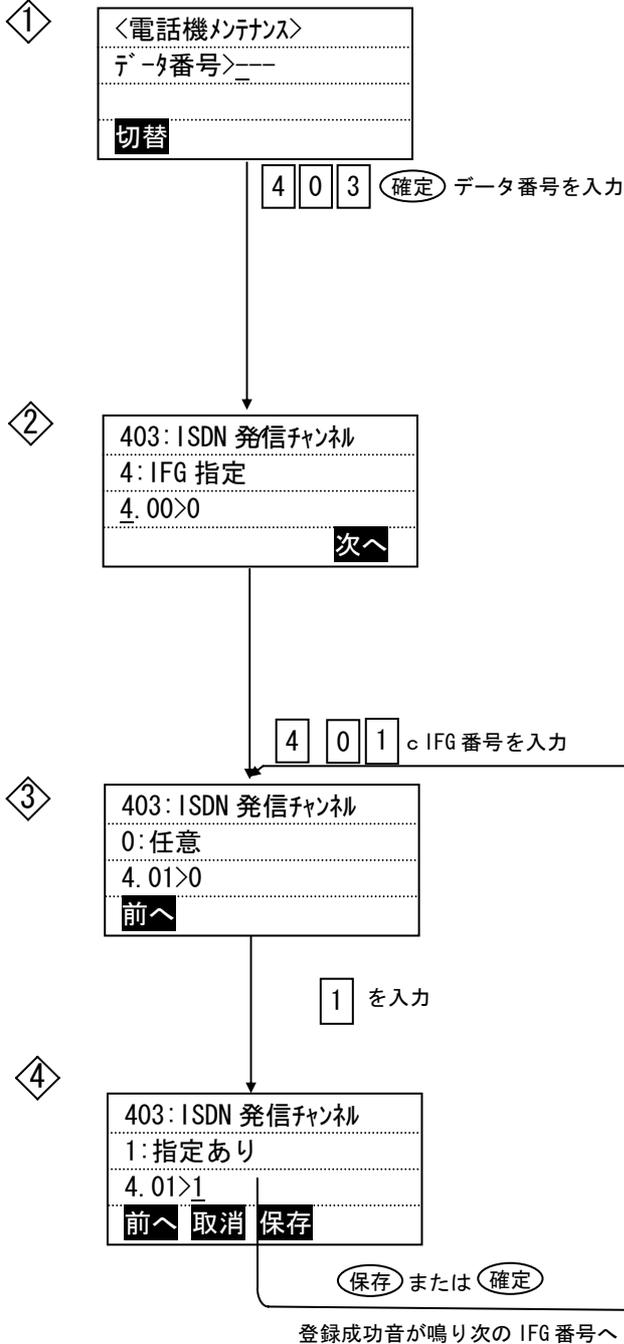
データ番号	ISDN 発信チャンネル	バージョン	V2.0~
403		データ更新条件	インタフェースグループ毎

<データ設定概要>

ISDN 発信チャンネルを指定します。

<操作例>

収容位置 IFG 番号 01 を指定ありに設定します。



「初期値」

10 キー	ISDN 発信チャンネル指定
0	任意

「入力形式選択」

本設定は、IFG 番号のみでの指定になります。

「キー操作とデータ」

IFG 指定

インタフェースグループ IFG 番号を 10 キーで指定します。

ISDN 発信チャンネル指定

10 キー	ISDN 発信チャンネル指定
0	任意
1	指定あり

「関連機能番号」

1000: B チャンネル交渉

<注意事項>

このページは白紙になります。

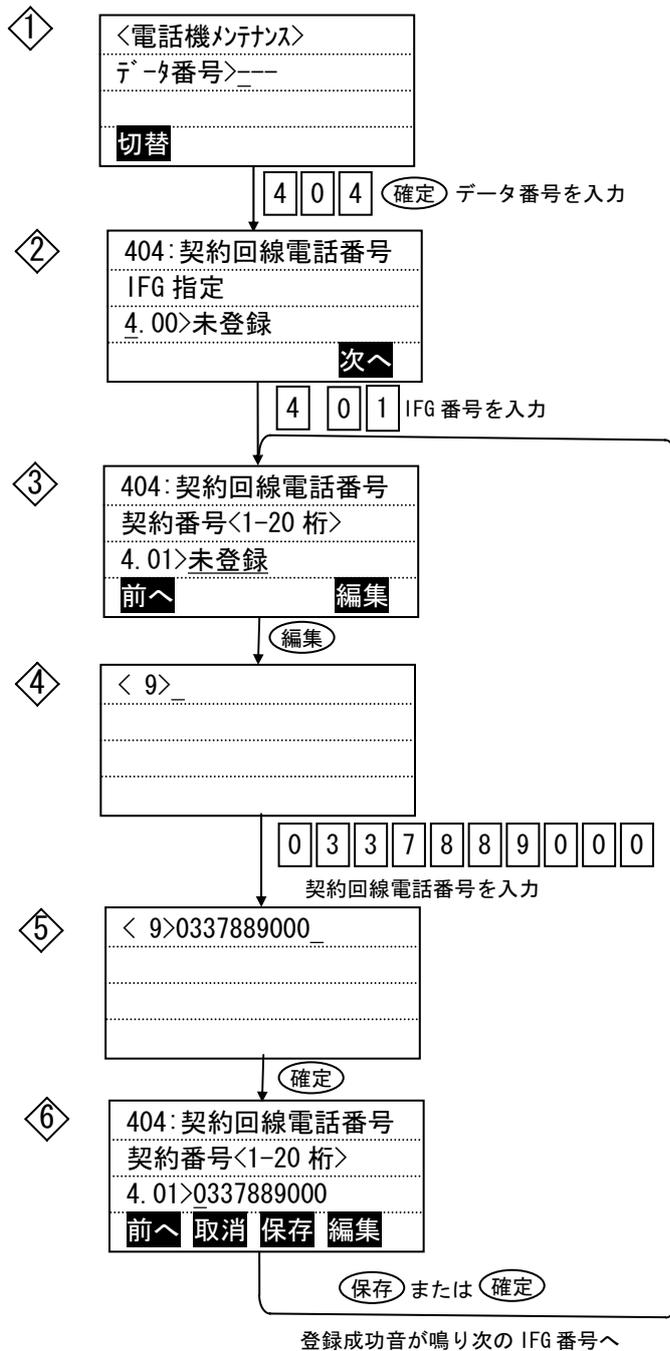
データ番号	契約回線電話番号	バージョン	V1.0~
404		データ更新条件	インターフェースグループ毎

<データ設定概要>

インターフェースグループ毎に契約回線電話番号を設定する。

<操作例>

収容位置 IFG 番号 01 に 03-3788-9000 を設定します。



「初期値」

10 キー	契約者回線番号
-	未登録

「入力形式選択」

本設定は、IFG 番号のみでの指定になります。

「キー操作とデータ」

IFG 指定

インターフェースグループ IFG 番号を 10 キーで指定します。

契約回線電話番号

契約回線電話番号 (1~20 桁) 0~9 を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

1003: 発信者番号付加  
1403: VoIP 発信者番号付加

<注意事項>

注1. 契約回線電話番号に\*, #, -, Pは入力できません。

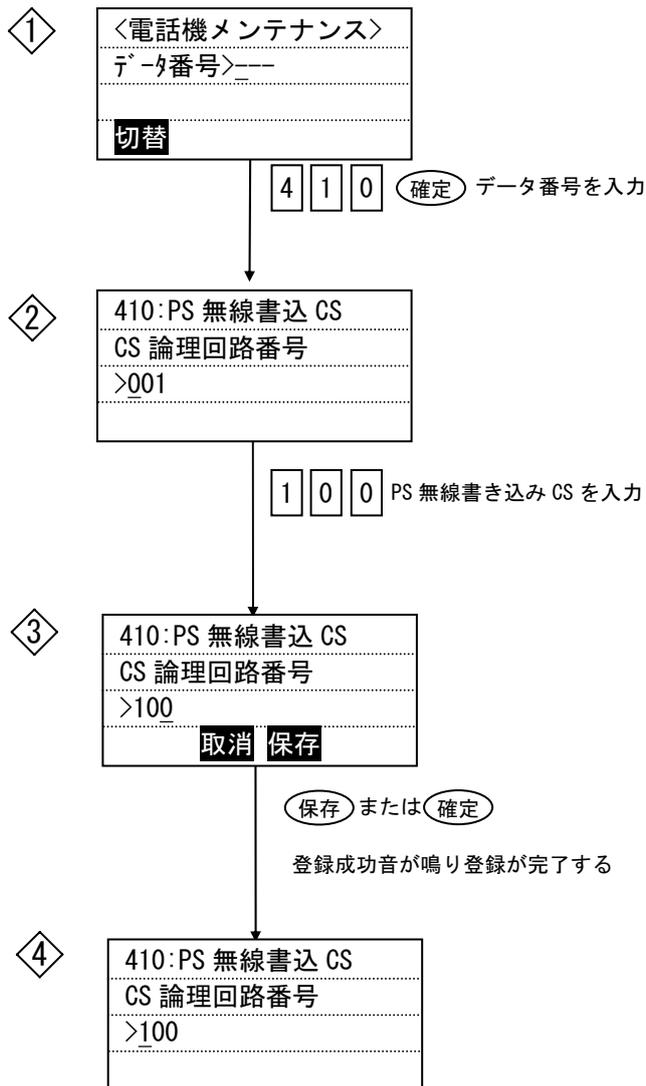
データ番号	PS 無線書込 CS	バージョン	V1.0~
410		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

PS 無線書き込みを行う CS を指定する。(CS への指定は CS 論理番号で指定する。)

<操作例>

論理番号 100 の CS を PS 無線書き込み CS に設定します。



「初期値」

10 キー	PS 無線書込 CS
-	001

「キー操作とデータ」

CS 論理回路番号

PS 無線書き込み CS (001~448) を 10 キーで入力します。

②

③

「関連機能番号」

1322 : PS 登録

<注意事項>

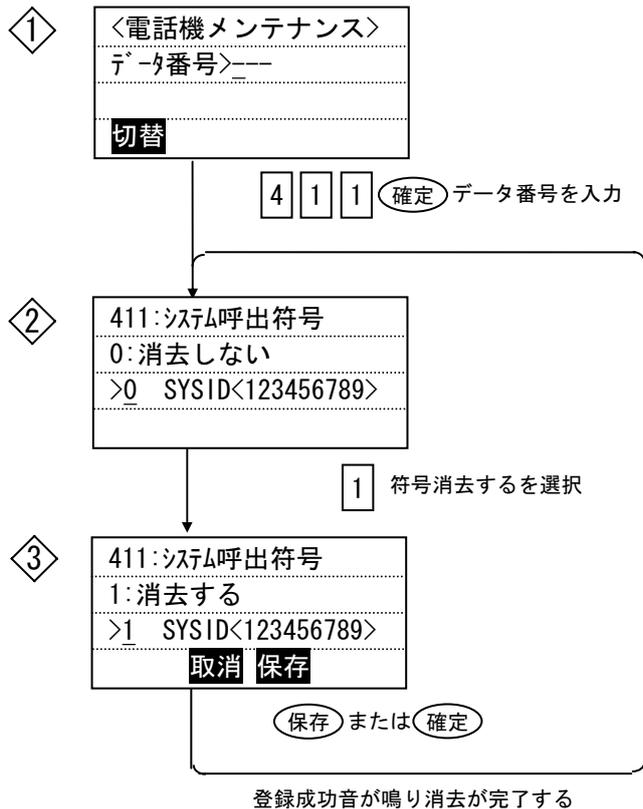
データ番号	システム呼出符号	バージョン	V1.0~
411		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

CS から読み出したシステム呼出符号を表示する、消去することもできる。

<操作例>

CS から読み出したシステム呼出符号を消去します。



「初期値」

10 キー	システム呼出符号
—	未登録

「キー操作とデータ」

②	呼出符号消去	
③	10 キー	システム呼出符号
	0	消去しない
	1	消去する

SYSID

CS システム ID を表示します

「関連機能番号」

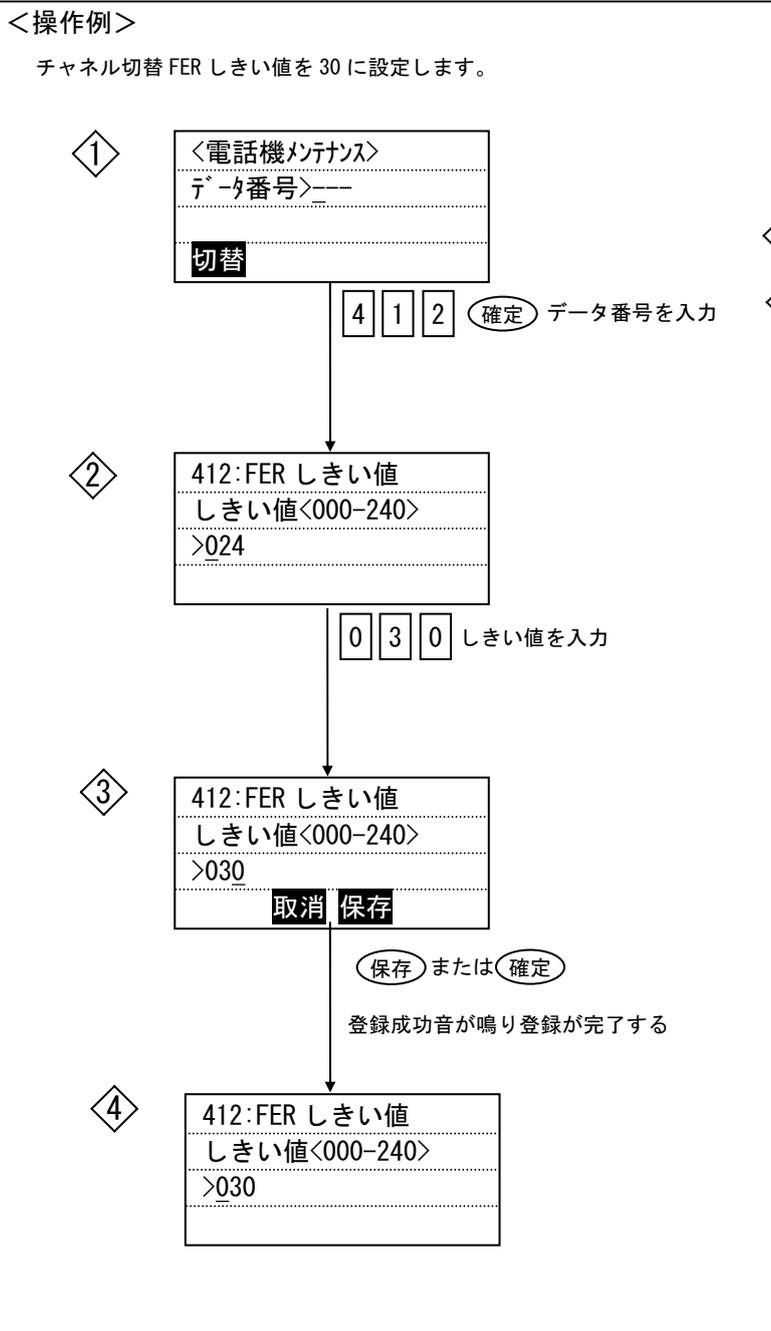
1300 : システムコードレス収容

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム リセット

データ番号	チャンネル切替 FER しきい値
412	

<データ設定概要>  
無線端末のチャンネルを切り替える値を指定する。



「初期値」

10 キー	FER しきい値
-	024

② 「キー操作とデータ」  
FER しきい値  
チャンネル切替 FER しきい値 (000~240) を 10 キーで入力します。

③

「関連機能番号」  
1306 : ハンドオーバー・干渉回避

<注意事項>  
注1. 本データを設定した場合は、C15のリスタート（バックアップ立上）または、C42:GSデータダウンロードを実行してください。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

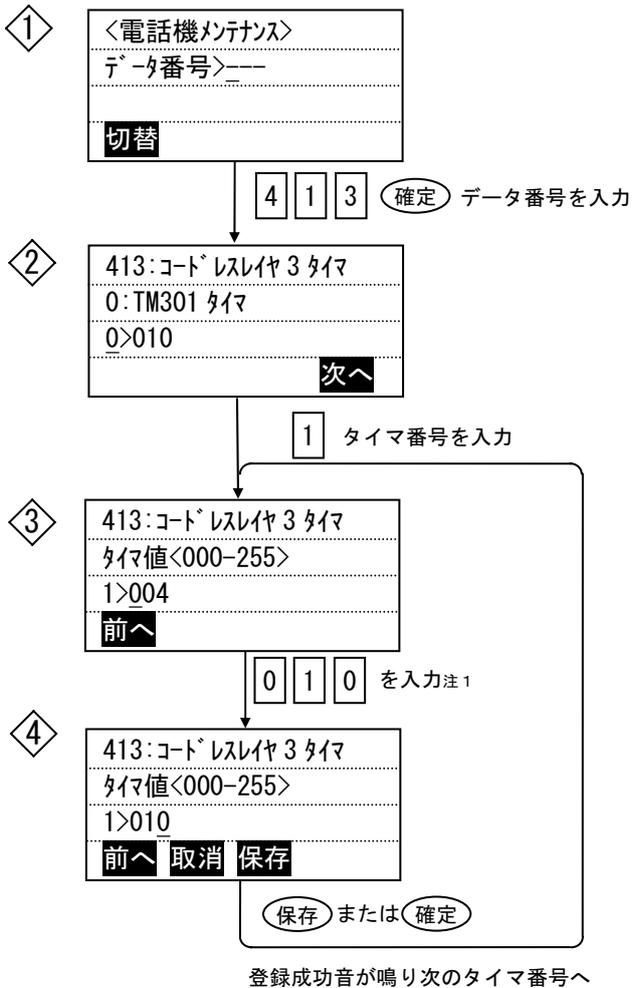
データ番号	コードレスレイヤ3 システムタイマ
413	

<データ設定概要>

コードレスレイヤ3 関連タイマの値を設定する。

<操作例>

T303 タイマ値を 10 秒に変更します。



「初期値」

10 キー	タイマ種別	
0	TM301 タイマ	10 秒
1	TM303 タイマ	4 秒
2	TM305 タイマ	30 秒
3	TM308 タイマ	4 秒

「キー操作とデータ」

システムタイマ

タイマの種別番号を 0~3 で指定します。

10 キー	データ内容	
0	TM301 タイマ	(認証応答待ちタイマ)
1	TM303 タイマ	(呼設定受付待ちタイマ)
2	TM305 タイマ	(切断待ちタイマ)
3	TM308 タイマ	(解放完了待ちタイマ)

タイマ値

タイマ値 (000~255) を 10 キーで指定します。  
タイマ値の範囲は全て 0~255 秒です。

③  
④

「関連機能番号」

1304 : 認証

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	CS 毎

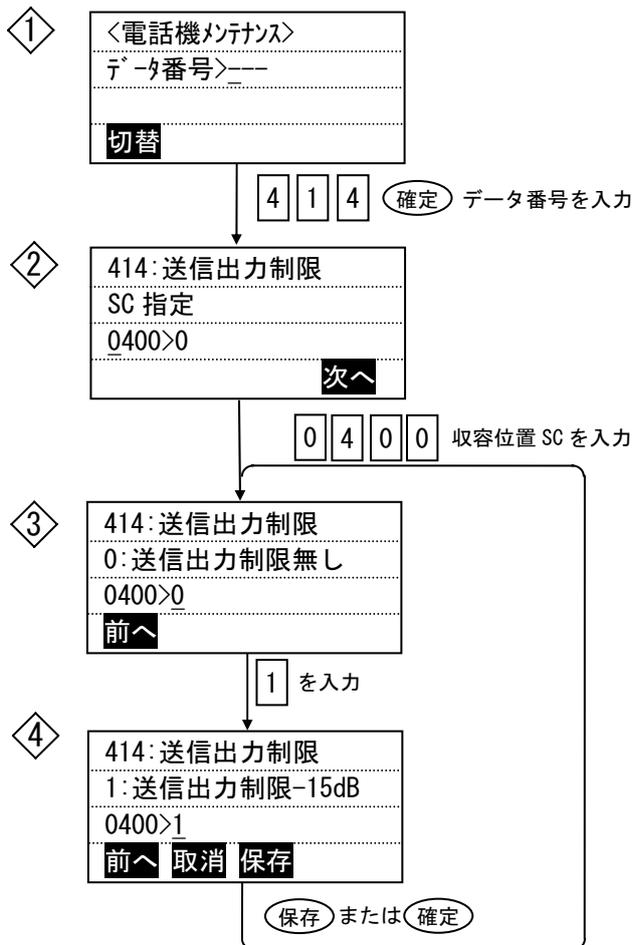
データ番号	送信出力制限
414	

<データ設定概要>

CS 送信出力を制限することができます。

<操作例>

収容位置 SC:0400 の送信出力制限を「1:-15db」に設定します。



登録成功音が鳴り次の収容位置番号へ

「初期値」

10 キー	送信出力制限
0	送信出力制限無し

「キー操作とデータ」

SC 指定

CDLC パッケージの収容位置を 10 キーで指定します。

送信出力制限

10 キー	データ内容
0	送信出力制限無し
1	送信出力制限-15dB

「関連機能番号」

<注意事項>

注1. 本データを設定した場合は、C42 : CSデータダウンロードを実行してください。

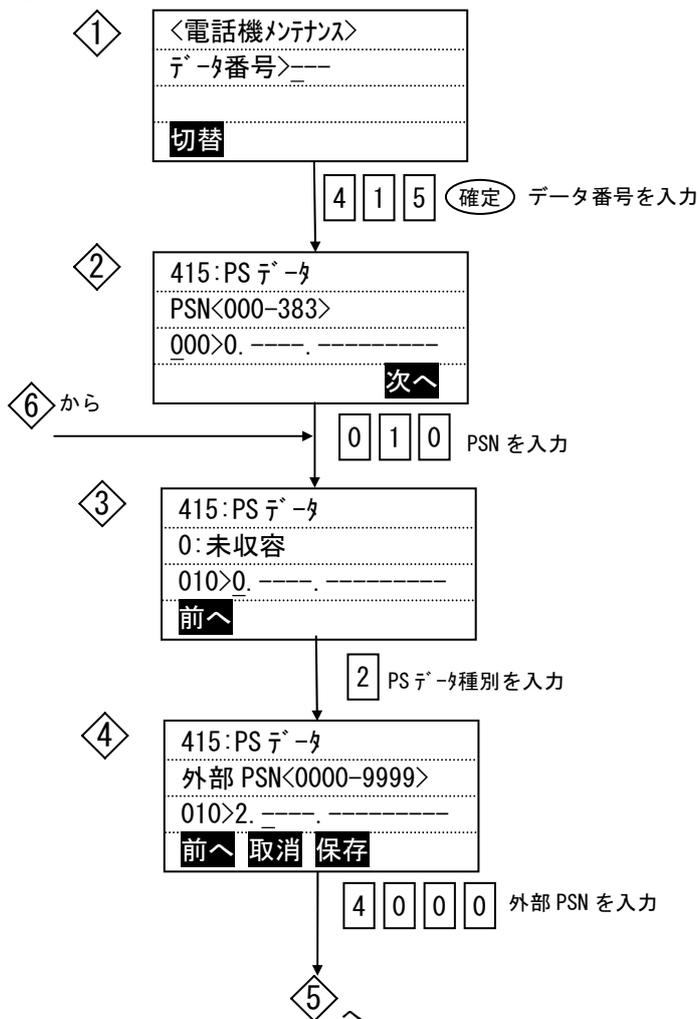
データ番号	PS データ 1/2	バージョン	V1.0~
415		データ更新条件	PS 毎

<データ設定概要>

外部 PS 番号と端末種別を PS-ID を本体の局データに登録する。

<操作例>

PS 番号 010 の多回線 DCL を、外部 PSN4000、PS-ID 123456789 として登録します。



「初期値」

10 キー	外部 PSN
-	未登録

「キー操作とデータ」

② PSN  
PSN (000~383) を 10 キーで指定します。

③ PS データ種別

10 キー	データ内容
0	未收容
1	自営
2	多回線 DCL

④ 外部 PSN  
外部 PSN (0000~9999) を 10 キーで指定します。(4桁固定)

「関連機能番号」

1300 : システムコードレス收容  
1322 : PS 登録

<注意事項>

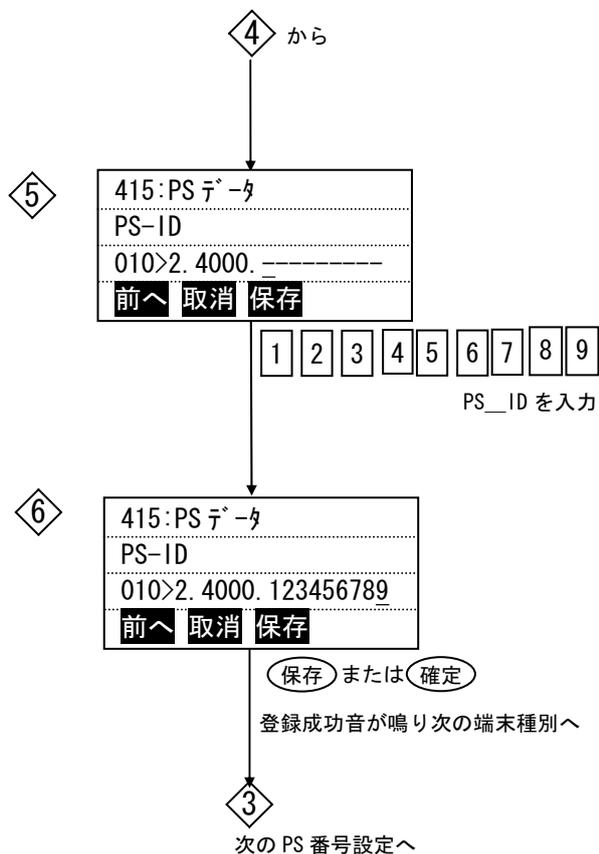
注1. PS-IDを入力せずに登録を行うと、C40:PSデータ登録時に、PS-IDが自動登録されます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	PS 毎

データ番号	PS データ 2/2
415	

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

PS-ID

PS-ID (000000000~268435455) を 10 キーで指定します。(9桁固定)

<注意事項>

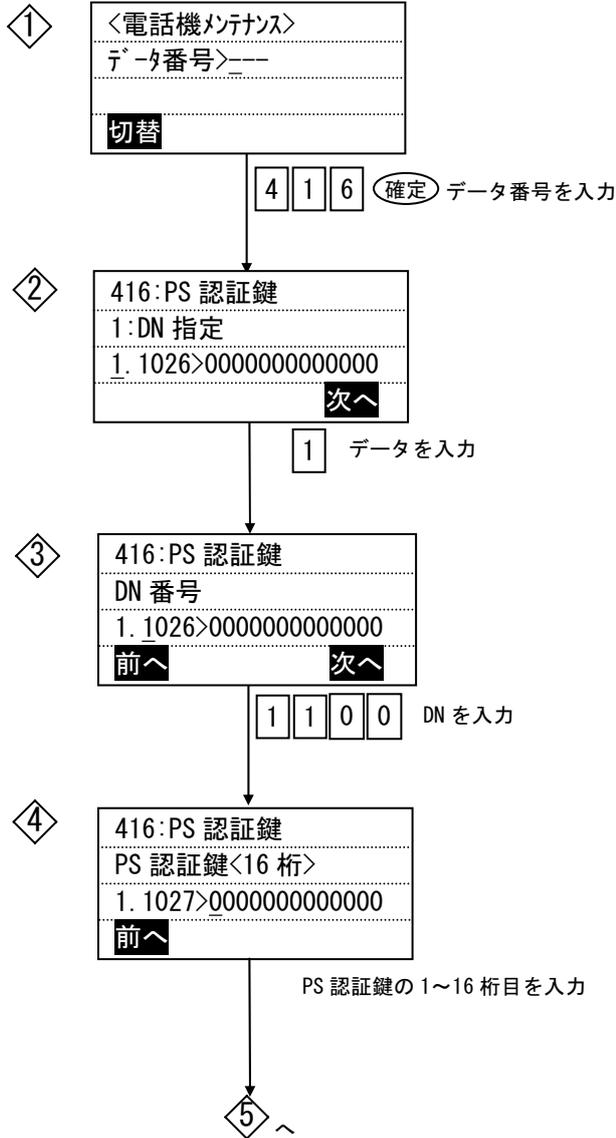
データ番号	PS 認証鍵 1/2	データ更新条件	PS 毎
416			

<データ設定概要>

PS ごとの PS 認証の鍵を設定する。(PS の持つ認証鍵と同じものをシステム側も設定する。)

<操作例>

PS 番号 000 の DN の認証鍵を設定します。



「初期値」

	データ内容
PS 認証鍵	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
1	DN 指定
2	PSN 指定

DN 指定の場合、データ 100「内線番号」で PS の内線番号を設定しておいてください。

②  
③

「関連機能番号」

- 1300 : デジタルコードレス収容
- 1304 : 認証
- 1322 : PS 登録

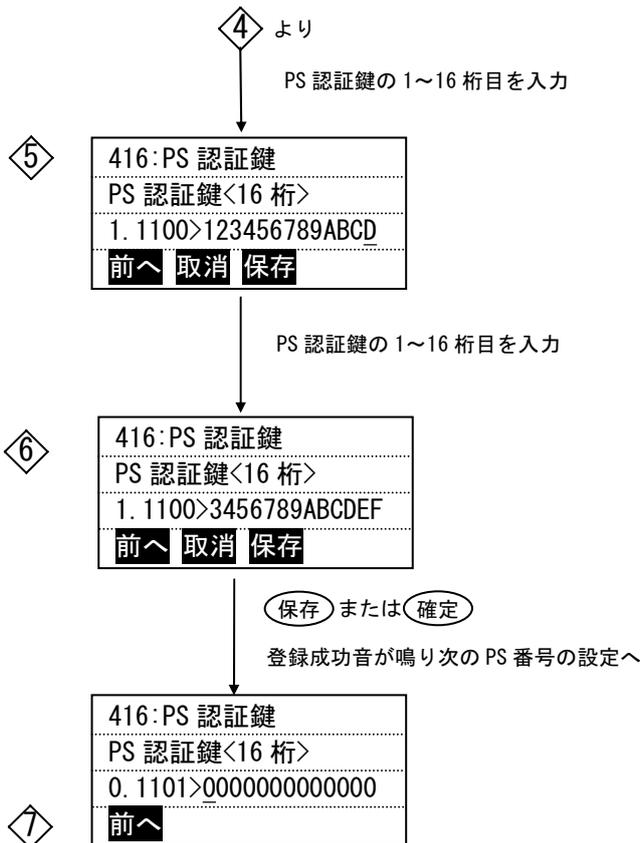
<注意事項>

注 1. 本設定はPS登録後設定することができます。

データ番号	PS 認証鍵 2/2	バージョン	V1.0~
416		データ更新条件	PS 毎

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

PS 認証鍵

PS 認証鍵 (16 桁固定) を 10 キー、オートダイヤルボタン (A~F) にて入力します。  
16 桁入力した場合、スライド表示します

<注意事項>

注1. A~Fの入力にはオートダイヤルボタンを使用します。

—	A	B	C	D	E	F
TD/LD920 (30 ボタン)	外線 19	外線 20	外線 21	外線 22	外線 23	外線 24
TD910 (18 ボタン)	外線 7	外線 8	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12
M-20LKTEL (20 ボタン)	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12	外線 17	外線 18

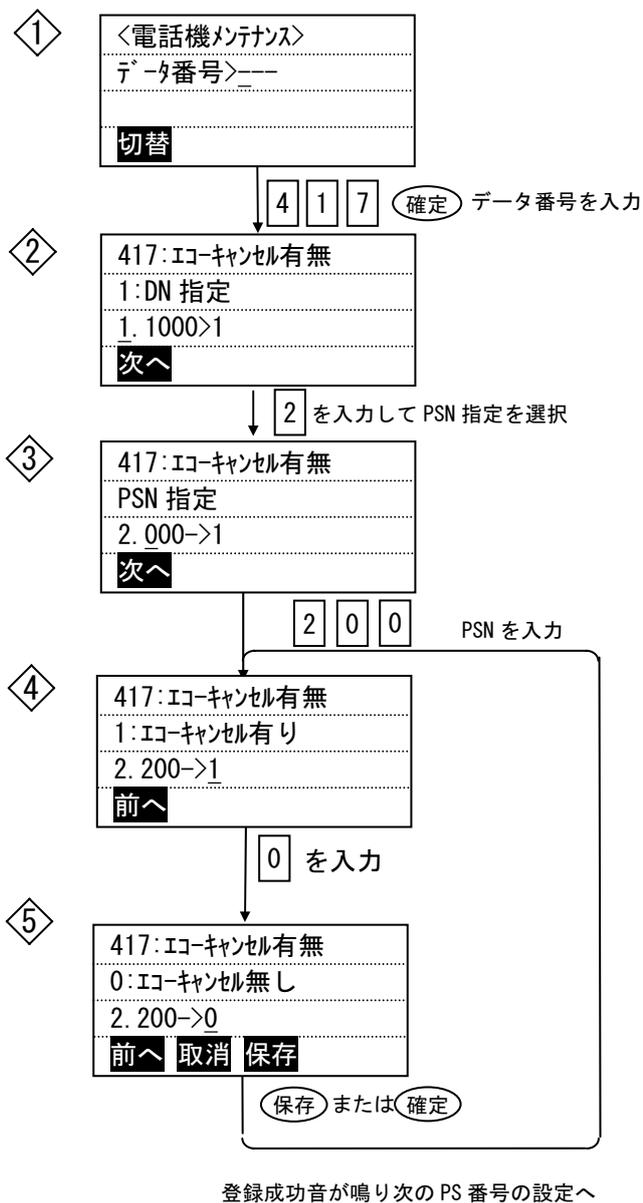
データ番号	エコーキャンセル有無	バージョン	V1.0~
417		データ更新条件	PS 毎

<データ設定概要>

エコーキャンセルの有無を指定する。

<操作例>

PS 番号 200 のエコーキャンセルを無しに設定します。



「初期値」全 PSN 共通

10 キー	データ内容
1	エコーキャンセル有無
1	エコーキャンセル有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
1	DN 指定
2	PSN 指定

DN 指定の場合、データ 100「内線番号」で PS の内線番号を設定しておいてください。

「キー操作とデータ」  
エコーキャンセル

10 キー	データ内容
0	エコーキャンセル無し
1	エコーキャンセル有り

「関連機能番号」

1300: システムコードレス収容

<注意事項>

注 1. 本設定はPS登録後設定することができます。

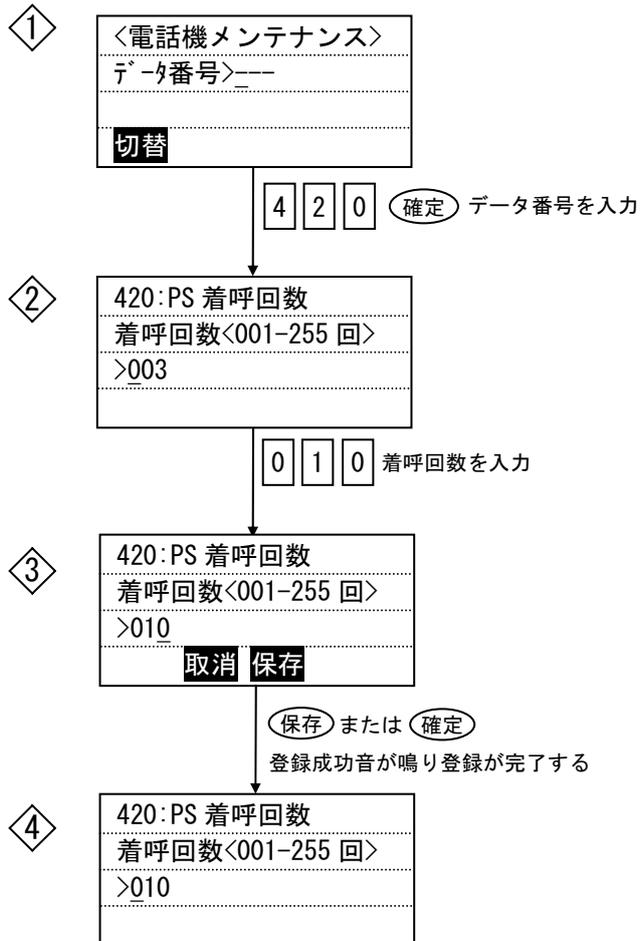
データ番号	PS 着呼回数	バージョン	V1.0~
420		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

PS 着呼回数を設定する。

<操作例>

PS 着呼回数を 10 回に設定します。



「初期値」

10 キー	PS 着呼回数
003	3 回

- ② 「キー操作とデータ」  
着呼回数  
着呼回数 (001~255) を 10 キーで入力します。
- ③

「関連機能番号」

1302 : PS 個別着信  
1303 : PS 圏外ガイダンス通知

<注意事項>

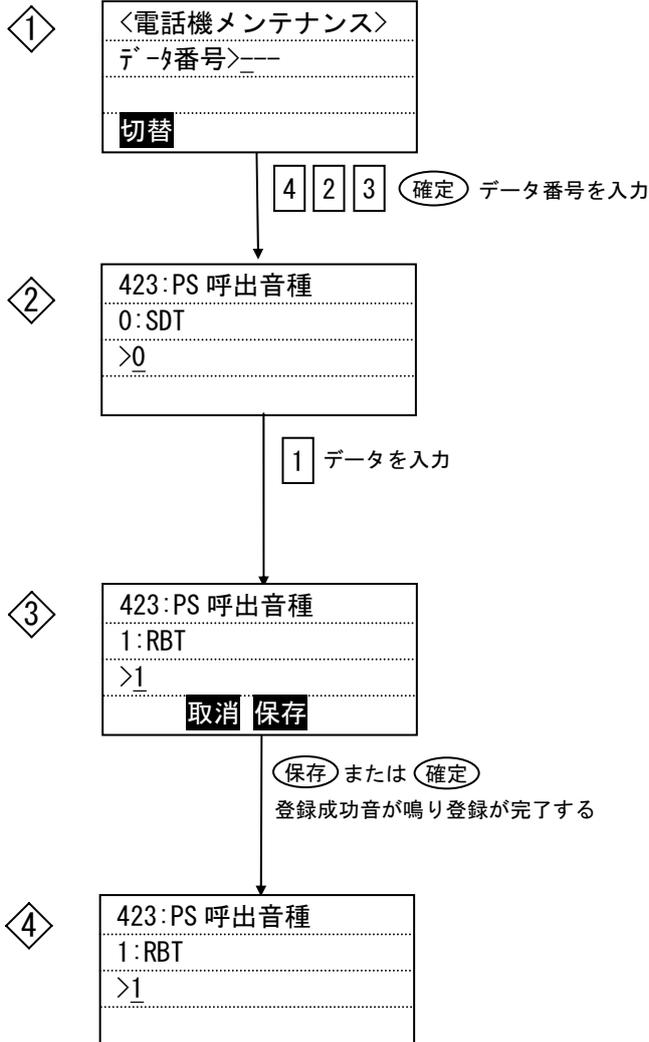
データ番号	PS 呼出音種	バージョン	V1.0~
423		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

PS を呼び出す間、発信側に出す音を指定する。

<操作例>

PS 呼出音種を RBT に変更します。



「初期値」

10 キー	PS 呼出音種
0	SDT

②

「キー操作とデータ」  
PS 呼出音データ

10 キー	データ内容
0	SDT
1	RBT
2	無音

「関連機能番号」

1300 : システムコードレス収容  
1302 : PS 個別着信

<注意事項>

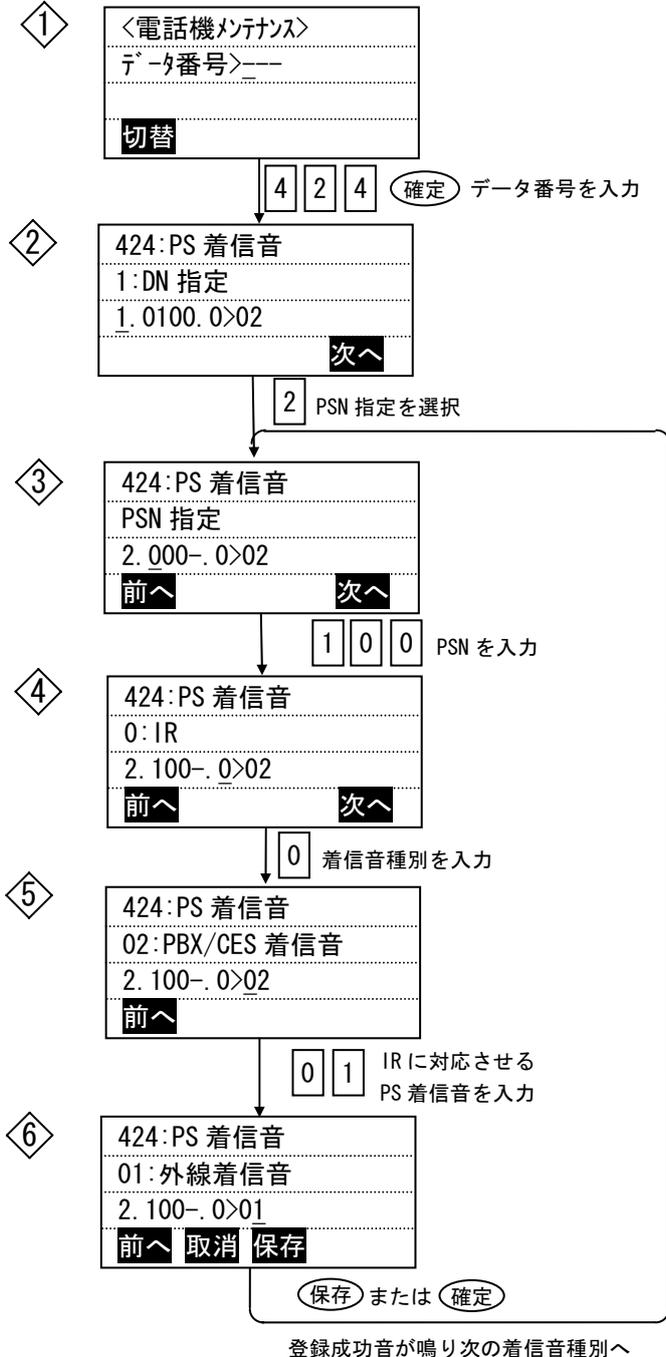
データ番号	PS 着信音	バージョン	V1.0~
424		データ更新条件	PS 毎

<データ設定概要>

主装置の着信音に対応するPSの着信音を指定する。

<操作例>

PS着信音の設定を行います。



「初期値」

SR 種別	10 キー	PS 着信音パターン
IR	02	PBX/CES 着信音
SIR	03	内線着信音
TIR	01	外線着信音

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
1	DN 指定
2	PSN 指定

DN 指定の場合、データ 100「内線番号」でPSの内線番号を設定しておいてください。

「キー操作とデータ」

PS 番号

PS 番号 (PSN) を 000~383 の範囲で指定します。

着信音種別

10 キー	データ内容
0	IR
1	SIR
2	TIR

PS 着信音

10 キー	データ内容
00	呼出音無し
01	外線着信音
02	PBX/CES 着信音
03	内線着信音
04	特殊内線着信音
05	警告着信
06	ページング着信
07	サイレント着信
08	着信未応答警報
09	保留警告音
10	ドアホン着信

「関連機能番号」

1300 : デジタルコードレス受容  
1308 : PS 呼出信号音識別

<注意事項>

- 注1. 自営標準PSの着信音パターンは自営標準PSの種別により異なります。
- 注2. 本設定はPS登録後設定することができます。

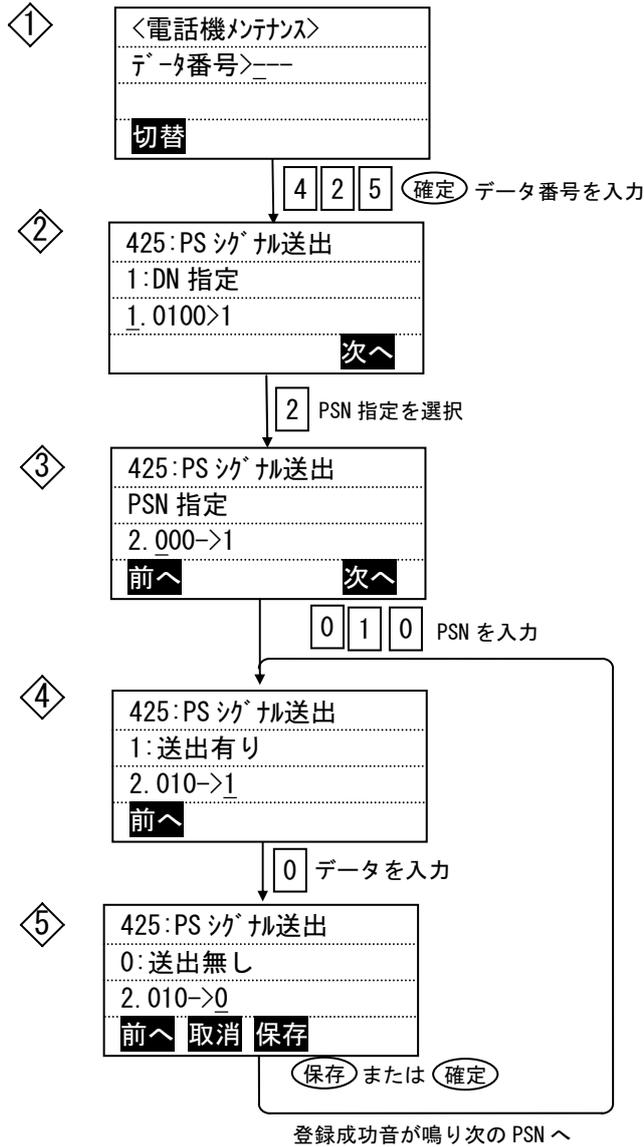
データ番号	PS シグナル送出	バージョン	V1.0~
425		データ更新条件	PS 毎

<データ設定概要>

PS シグナルの送出の有無を設定する。  
(PS シグナルについては、機能仕様書に解説の表記待ち)

<操作例>

PS 番号 010 の PS シグナル送出モードを送出無しに設定します。



「初期値」全 PSN 共通

10 キー	PS シグナル送出
1	送出有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
1	DN 指定
2	PSN 指定

DN 指定の場合、データ 100「内線番号」で PS の内線番号を設定しておいてください。

「キー操作とデータ」

PS 番号

PS 番号 (PSN) を 000~383 の範囲で指定します。

PS シグナル送出

10 キー	データ内容
0	送出無し
1	送出有り

「関連機能番号」

1308:PS 呼出信号音識別

<注意事項>

注1. 本設定はPS登録後設定することができます。

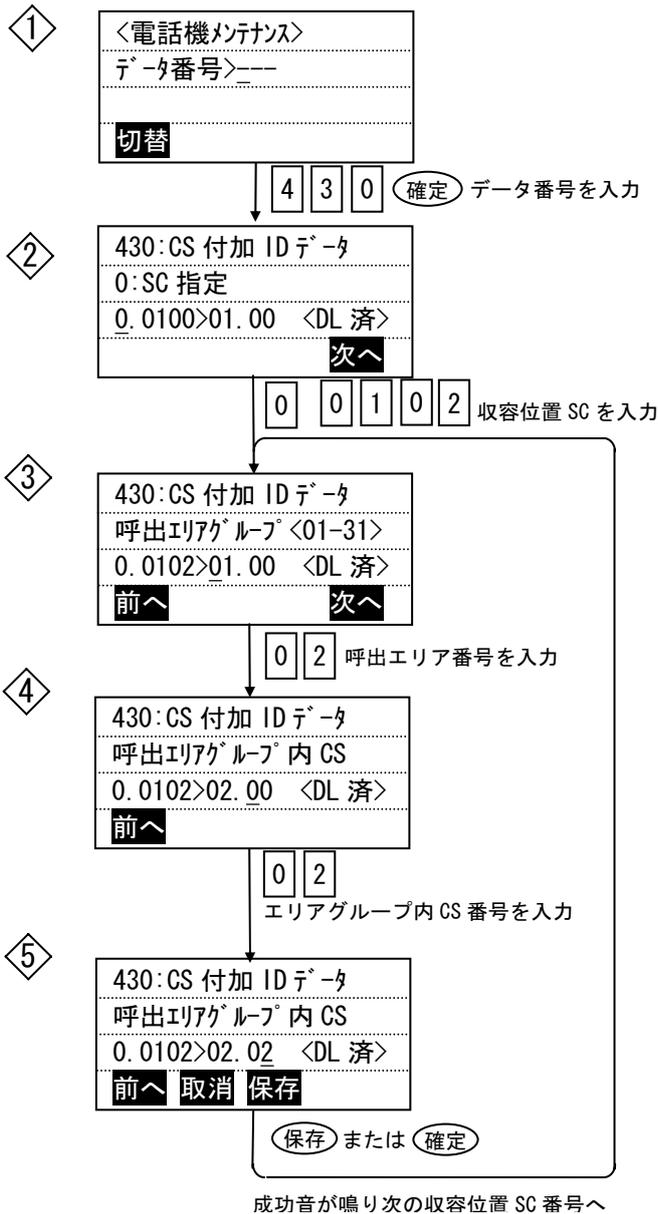
データ番号	CS 付加 ID データ	バージョン	V1.0~
430		データ更新条件	CS 毎

<データ設定概要>

各 CS ごとに付加 ID (呼出エリア番号と CS 番号) を登録し、CS を実装します。また、ダウンロードされた CS 側の付加 ID データを読み込み表示します。

<操作例>

収容位置 SC0102 の CS の付加 ID を 02-02 に設定します。



「初期値」

初実装パッケージの若番ポートから割りふられます。  
呼出エリア番号01、呼出エリアグループ内CS番号00から割りふられます。

②

「入力形式選択」

SC を指定

CDLC パッケージの SC 収容位置を指定します。

③

「キー操作とデータ」

呼出エリアグループ

呼出エリアグループ番号を 01~31 で指定します。

呼出エリアグループ内 CS 番号を 00~31 で指定します。

④

呼出エリアグループ内 CS

ダウンロード表示には、C42 で実際に CS にダウンロードされている場合<DL 済>が表示されず、ダウンロードが行われていない場合は、<DL 未>が表示されます。

本データを変更した場合には C42 で CS データダウンロードが必要です。

「関連機能番号」

1300 : システムコードレス収容

<注意事項>

注1. C42によってダウンロードを行わないとデータ設定通りの運用とはなりません。

注2. CS付加IDの初期値は初実装パッケージの若番ポートから割りふられます。

その際、呼出エリア番号01、呼出エリアグループ内CS番号00から割りふられます。

増設したパッケージについては本データでの設定が必要です。

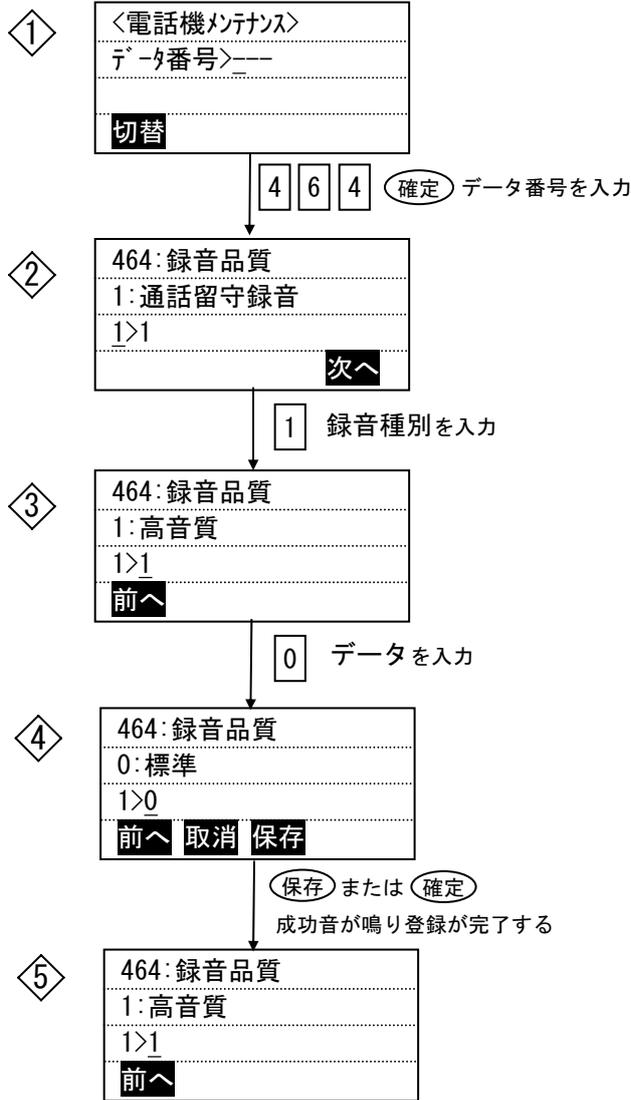
データ番号	録音品質	バージョン	V1.1~
464		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

通話留守録音とガイダンス録音の音質を、標準/高音質から選択する。

<操作例>

ガイダンス録音の録音品質を高音質に設定します。



「初期値」全録音種別共通

10 キー	録音品質
1	高音質

「キー操作とデータ」

録音種別

10 キー	データ内容
1	通話留守録音<V1.2>
2	ガイダンス録音

録音品質

10 キー	データ内容
0	標準
1	高音質

②

③

④

「関連機能番号」

- 0901 : 通話録音<V1.2>
- 0904 : 外線着信代行<V1.2>
- 0920 : メールサービス<V1.2>
- 0932 : クイックメッセージ録音<V1.2>
- 0936 : 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

データ番号	メール属性 1/2	バージョン	V1.2~
470		データ更新条件	システム

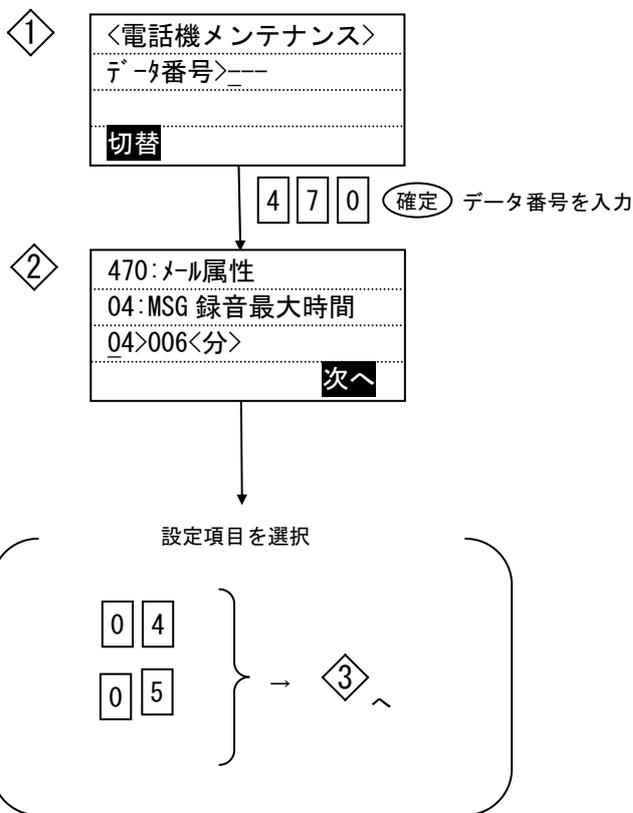
<データ設定概要>

以下の項目についてメール属性を設定します。

- 04. メッセージ録音最大時間
- 05. メッセージ録音最小時間

<操作例>

各種メールの属性を変更します。



「初期値」

	10 キー	データ内容
MSG 録音最大時間	006	6 分
MSG 録音最小時間	003	3 秒

「キー操作とデータ」  
設定項目

10 キー	設定内容	
04	MSG 録音最大時間	001~255 分
05	MSG 録音最小時間	003~255 秒

②

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0900 : 音声メール機能<V1.2>
- 0901 : 通話録音<V1.2>
- 0936 : 留守番機能<V1.2>

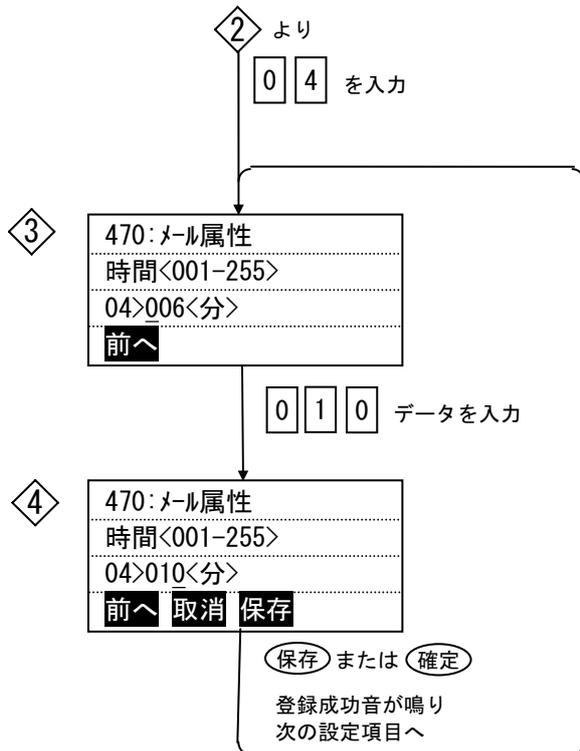
<注意事項>

注1. MSG録音最小時間をMSG録音最大時間より長く、またMSG録音最大時間をMSG録音最小時間より短く設定できません。

データ番号	メール属性 2/2	バージョン	V1.2~
470		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

③  
④

メッセージ録音最大時間

メッセージ録音最大時間を 001~255 分で指定します。  
初期値：6 分

メッセージ録音最小時間

メッセージ録音最小時間を 003~255 秒で指定します。  
初期値：3 秒

<注意事項>

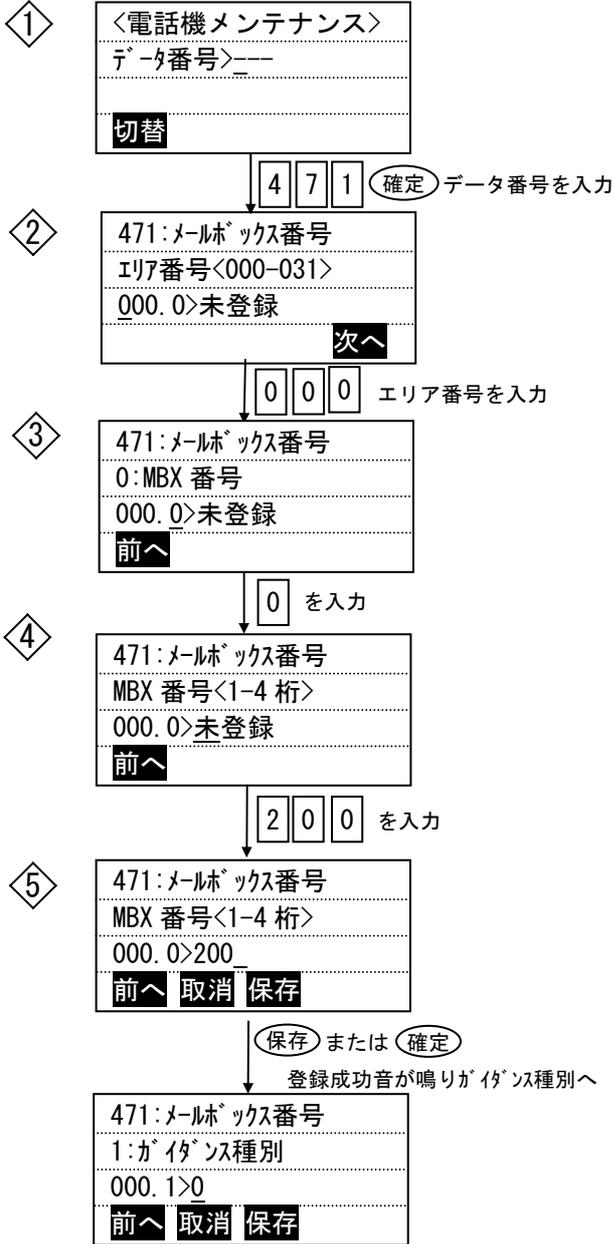
データ番号	メールボックス番号	バージョン	V1.2~
471		データ更新条件	システム
		全内線/外線 ドアホン空き	

<データ設定概要>

内線番号やメールボックスとして設定された拡張内線番号をメールボックス番号として登録する。

<操作例>

登録エリア番号 000 にメールボックス番号 200 を登録します。



「初期値」全エリア共通

種別	データ内容
MBX 番号	未登録
ガイダンス種別	固定ガイダンス 1
着信代行用件録音	録音無し

「キー操作とデータ」

- ② エリア  
登録エリア番号を 000~031 の範囲で指定します。指定先が登録済の場合、未登録のエリア番号を検索します。
- ③ 番号種別
- | 10 キー | データ内容    |
|-------|----------|
| 0     | MBX 番号   |
| 1     | ガイダンス種別  |
| 2     | 着信代行用件録音 |
- MBX 番号  
メールボックス番号(1-4桁)を入力します
- ガイダンス種別
- | 10 キー | データ内容            |
|-------|------------------|
| 0     | ガイダンス 1          |
| 1     | ガイダンス 2          |
| 2     | ユーザガイダンス (01-64) |
- 着信代行用件録音
- | 10 キー | データ内容 |
|-------|-------|
| 0     | 録音無し  |
| 1     | 録音有り  |
- 着信代行特番許可
- | 10 キー | データ内容 |
|-------|-------|
| 0     | 不許容   |
| 1     | 許容    |

「関連機能番号」

- 0900 : 音声メール機<V1.2>
- 0901 : 通話録音<V1.2>
- 0904 : 外線着信代行<V1.2>
- 0920 : メールサービス<V1.2>
- 0936 : 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

- 注1. 内線番号/拡張内線番号対応のメールボックス番号が全て削除された場合、該当するパスワードも初期化されます。
2. データの更新に条件があります。(『第3章データ設定編』3.2 注意事項⑦参照)
3. メールボックス番号に登録できる番号は内線番号(データ番号100)及び拡張内線番号(データ番号182-メールボックス)です。
4. メールボックス番号に内線番号を設定した場合、設定した内線番号を変更する場合は本設定を見直してください。
5. メールボックス番号は先頭に「\*」、「#」、「0」、「9」が入った番号は設定できません。
6. 録音メッセージ有り、もしくはアクセス中のメールボックスに対してはメールボックスの削除、変更はできません。

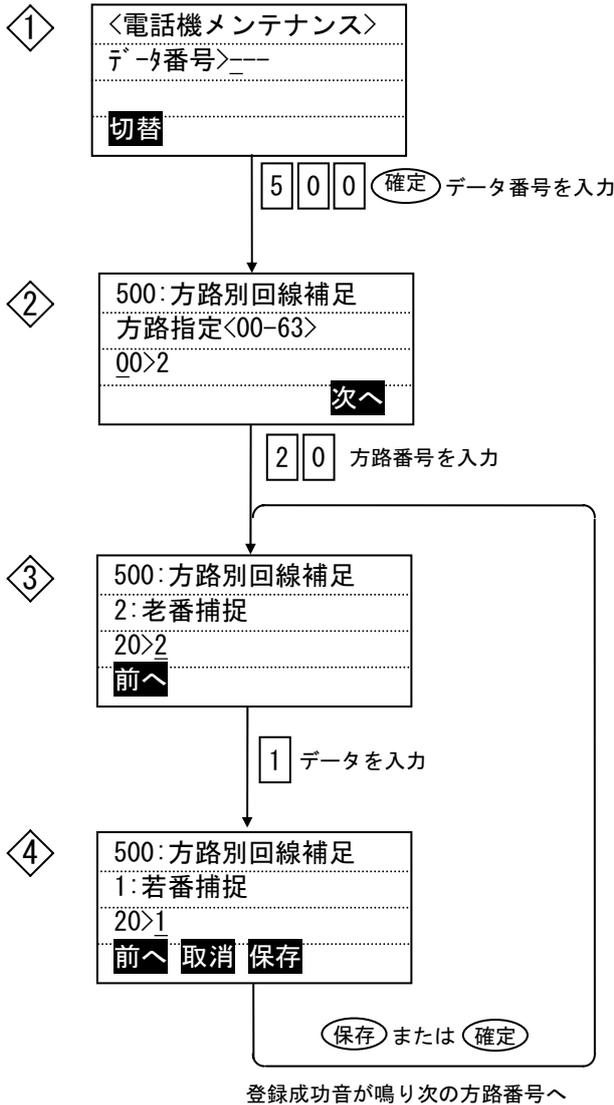
データ番号	方路別回線捕捉モード	バージョン	V1.0～
500		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

方路ごとに回線の捕捉方法を設定する。(回線捕捉モードは若番、老番捕捉があり、方路ごとに回線捕捉を指定する。)

<操作例>

方路20の回線を若番捕捉に設定します。



「初期値」 全方路共通

10 キー	方路回線捕捉モード
1	若番捕捉

「キー操作とデータ」

方路番号

方路番号 (00～63) を 10 キーで指定します。

回線捕捉方式

10 キー	データ内容
1	若番捕捉
2	老番捕捉

②

③

④

「関連機能番号」

0101 : ルート選択発信  
0105 : リダイヤル/発信履歴

<注意事項>

- 注1. 若番 (老番) 捕捉 : 若番 (老番) より順次空を探し、空いている回線を捕捉する方式です。
- 3. 方路番号は最大64あります。

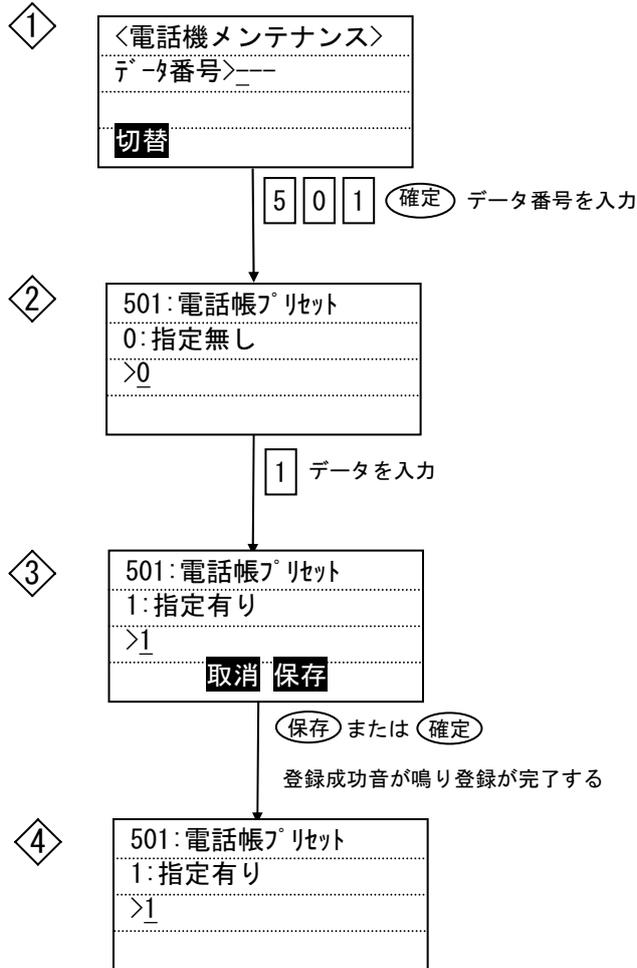
データ番号	電話帳プリセットダイヤルモード切替	バージョン	V1.0~
501		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

電話帳プリセットダイヤルモードの有無を設定する。有りにすると、発信前に電話帳の番号を検索して発信できる。

<操作例>

短縮ダイヤルプリセットダイヤルモードを有りに変更します。



「初期値」

10キー	プリセットダイヤルモード
0	指定無し

「キー操作とデータ」

プリセットダイヤルモード

10キー	データ内容
0	指定無し
1	指定有り

②

③

「関連機能番号」

- 0108：共通電話帳
- 0110：プリセットダイヤル
- 0711：電話帳ネーム表示

<注意事項>

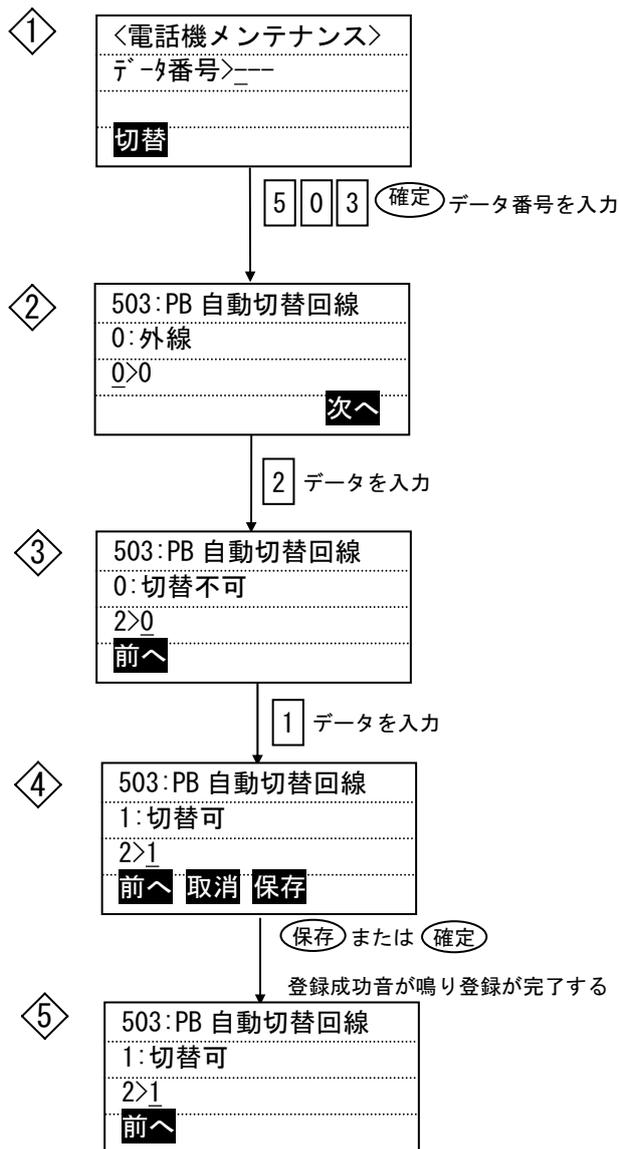
データ番号	PB 自動切替回線種別	バージョン	V1.0~
503		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

相手応答後 PB ダイヤル信号送出を自動的に切り替える外線、内線、専用線<V1.1>、PBX の回線種別を指定する。

<操作例>

専用線を PB 自動切り替え可に設定します。



「初期値」

回線種別	10 キー	PB 自動切替回線種別
外線	1	切替可
内線	1	切替可
専用線	0	切替不可<V1.1>
PBX	0	切替不可

(注1)

「キー操作とデータ」

回線種別

10 キー	設定内容
0	外線
1	内線
2	専用線<V1.1>
3	PBX

PB 自動切替

10 キー	設定内容
0	切替不可
1	切替可

②

③

④

「関連機能番号」

0610 : PB エンド・ツー・エンド通信

<注意事項>

注1. 内線ごとのPB切り替えデータの設定をします。(データ番号111)

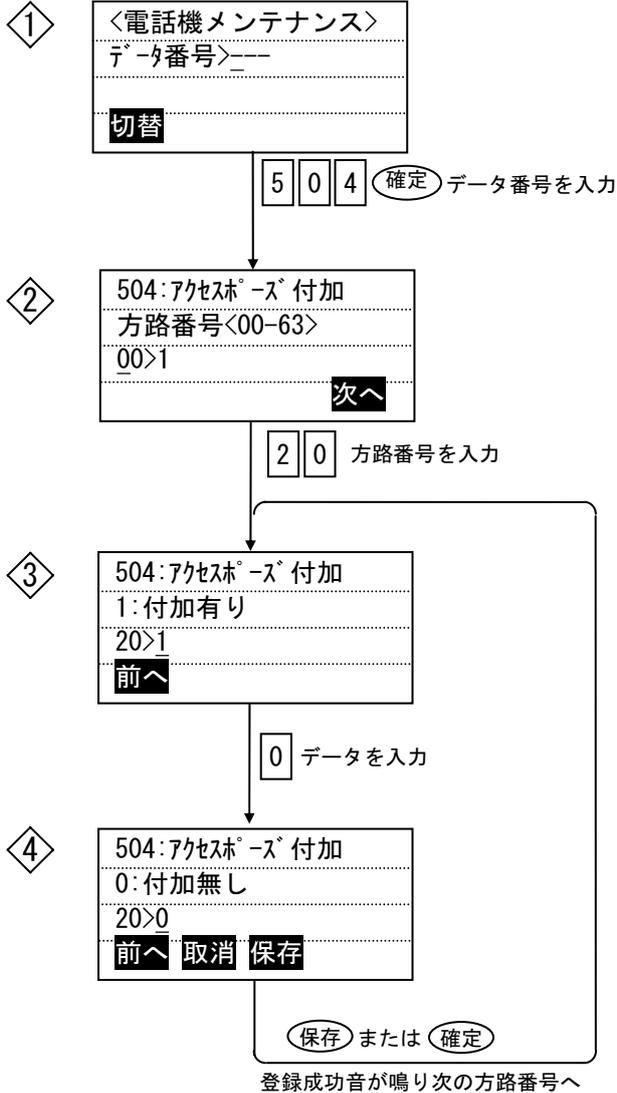
データ番号	キャリアアクセスポーズ付加	バージョン	V1.1~
504		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

方路ごとにキャリア番号(付加)発信した時のキャリアアクセスポーズ付加を指定する

<操作例>

方路 20 の回線のキャリアアクセスポーズ付加を無しに設定します。



「初期値」全方路共通

10 キー	アクセスポーズ付加
1	付加有り

「キー操作とデータ」

方路番号

方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。

アクセスポーズ付加

10 キー	データ内容
0	付加無し
1	付加有り

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

- 0115 : キャリア選択発信<v1.1>
- 0116 : キャリア番号付加発信<v1.1>

<注意事項>

注1. キャリアアクセスポーズ付加を「付加有り」に設定した場合、キャリア番号(付加)発信時にデータ設定515「キャリアアクセスポーズ」付加します。

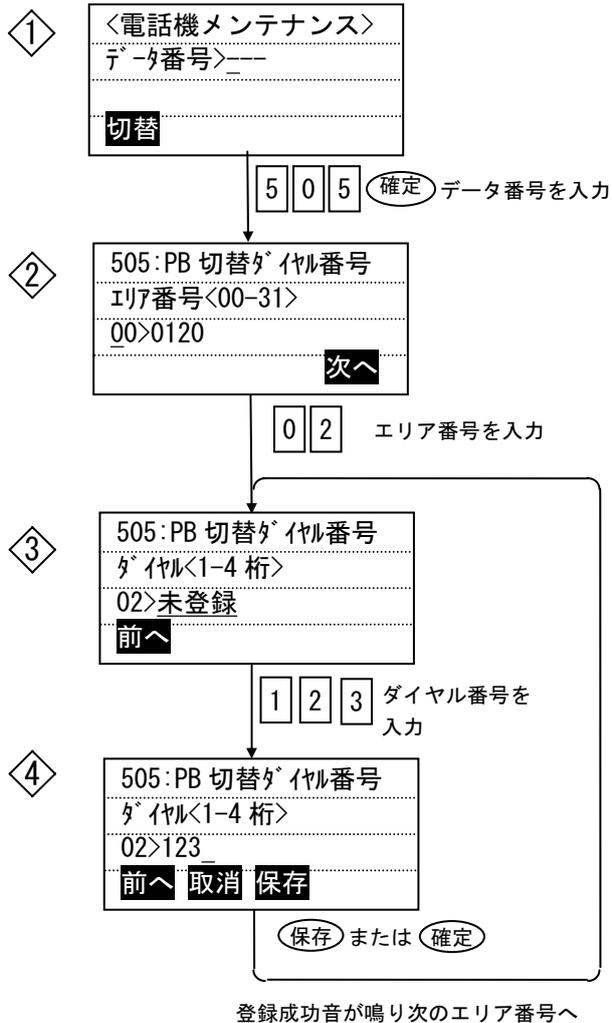
データ番号	PB 切替有効ダイヤル番号	バージョン	V1.0~
505		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

PB ダイヤル信号の切り替え有効ダイヤル番号を設定すると、指定 PB ダイヤル番号以降は PB ダイヤル信号に切り替えることができる。

<操作例>

エリア番号 02 に PB 切り替え有効ダイヤル番号 123 を設定します。



「初期値」

エリア番号	PB 切り替え有効ダイヤル番号
00	0120
01	121
他エリア	未登録

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号
- ③ ダイヤル番号
- ④ エリア番号 (00~31) および PB 切り替え有効ダイヤル番号 (1~4 桁) を 10 キーで入力します。

「関連機能番号」

0610 : PB エンド・ツー・エンド通信

<注意事項>

- 注1. 有効ダイヤル番号は1~4桁で入力します。
- 2. 有効ダイヤル入力エリアは最大32あります。
- 3. 本データはデータ設定112「発信時PB切替」で「切替有り」の場合に有効です。

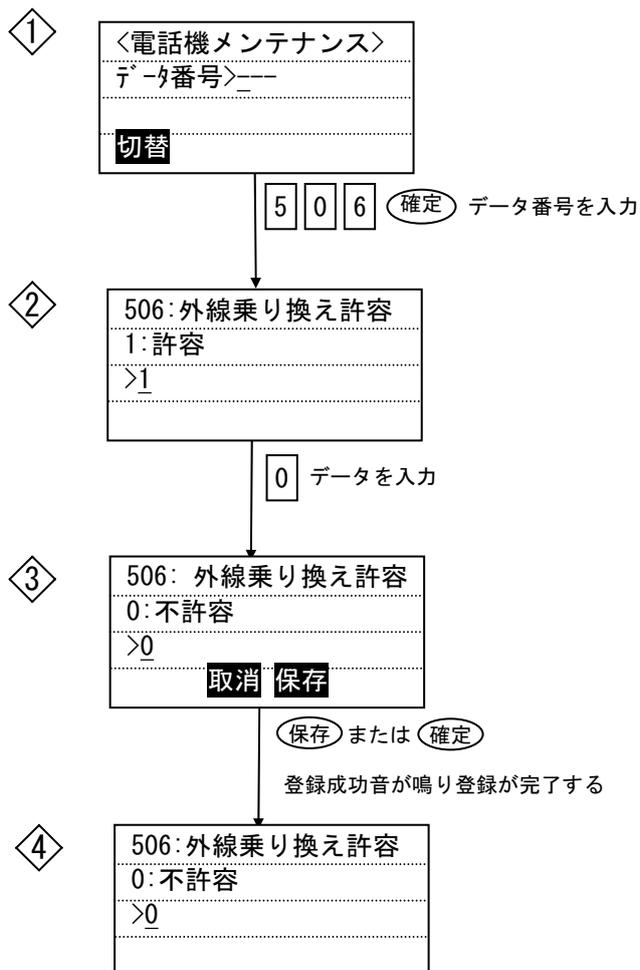
データ番号	外線乗り換え許容	バージョン	V1.0~
506		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線乗り換え指定ができる

<操作例>

外線乗り換え許容を不許容に変更します。



「初期値」

10 キー	外線乗り換え
1	許容

「キー操作とデータ」  
外線乗り換え許容

10 キー	設定内容
0	不許容
1	許容

②

③

「関連機能番号」

0102 : 外線/専用線乗り換え

<注意事項>

- 注1. 本データ設定に関わらず、パーク保留中呼への乗り換えはできません。
- 2. 本データ設定に関わらず、会議通話中<V1.1>、割込中<V1.1>、データ設定中、音声メール接続中<V1.2>は乗り換えはできません。

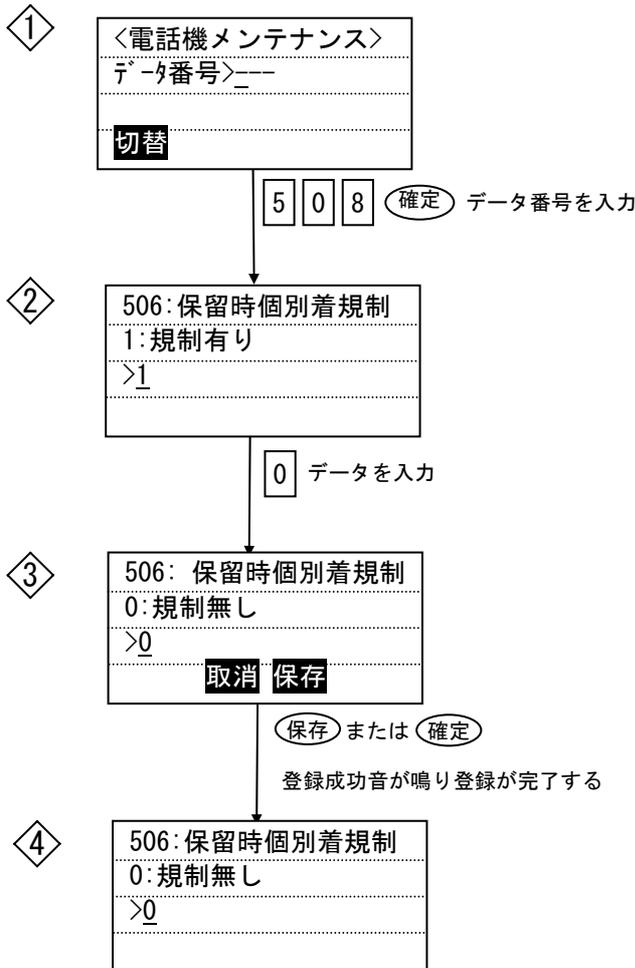
データ番号	保留時個別着信規制	バージョン	V1.7~
508		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

保留時個別着信規制できる。

<操作例>

保留時個別着信規制を規制無しに変更します。



「初期値」

10 キー	個別着信規制
1	規制有り

「キー操作とデータ」  
保留時個別着信規制

10 キー	設定内容
0	規制無し
1	規制有り

②  
③

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. 規制すると設定した場合、保留して待機状態に戻した電話機も話中扱いとし個別着信を拒否します。  
注2. 着信規制は、全て（内線/外線/専用線）の個別着信に対して適用されます。

このページは白紙になります。

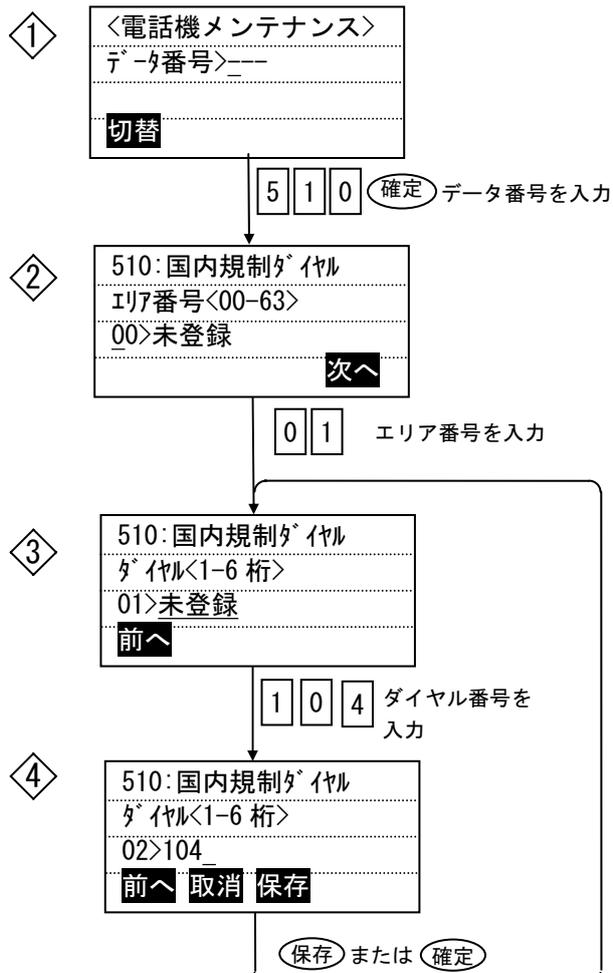
データ番号	国内規制ダイヤル番号	バージョン	V1.0~
510		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

公衆網に発信するときの規制番号 1~6 桁を指定する。  
 (各内線のサービスクラスが「市外発信/市内発信/移動体発信/市内特番が一部規制」クラスのとときに規制される)

<操作例>

エリア番号 01 に規制番号 104 を設定します。



登録成功音が鳴り次のエリア番号へ

「初期値」

エリア番号	国内規制番号
00~63	未登録

全エリア 未登録

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号
- ③ 国内規制番号
- ④ エリア番号 (00~63) および国内規制番号 (1~6 桁) を 10 キー, \*, # で入力します。



「関連機能番号」

0403 : 内線サービスクラス

<注意事項>

- 注1. 規制するエリア番号は最大64番号まで設定できます。
- 2. 国内規制番号は1~6桁で設定できます。

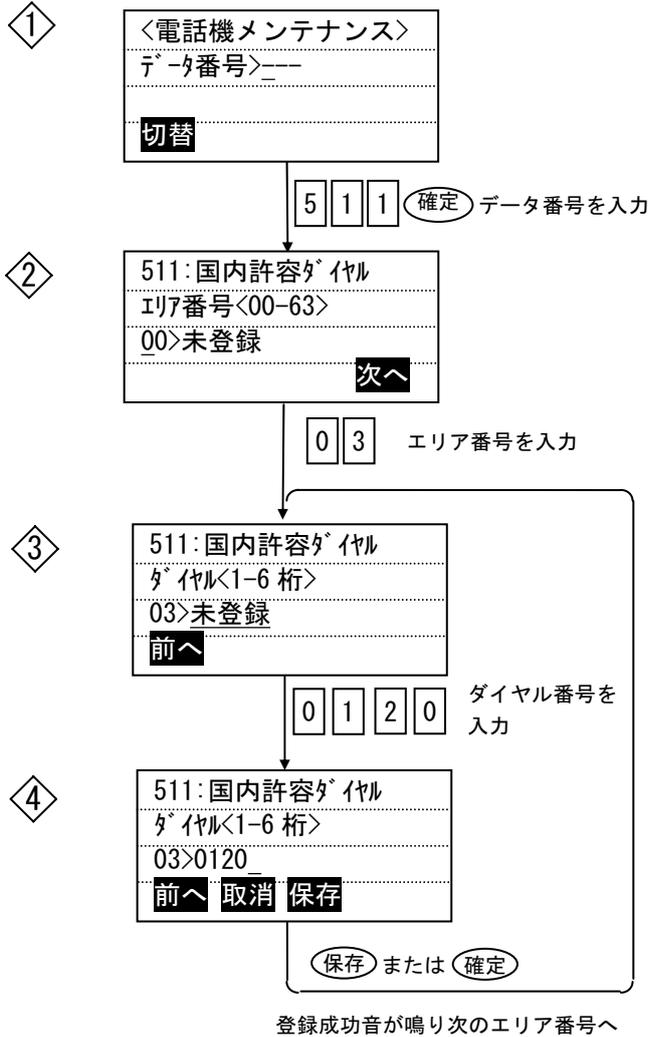
データ番号	国内許容ダイヤル番号	バージョン	V1.0~
511		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

公衆網に発信するときの許容番号 1~6 桁を指定する。  
 (許容番号として設定された番号は、内線サービスクラス「市外発信/市内発信/移動体発信/市内特番が一部規制」クラスのとときに発信できる。)

<操作例>

エリア番号 03 に許容番号 0120 を設定します。



「初期値」

エリア番号	国内許容番号
00	110 (警察)
01	119 (消防)
02	118 (船舶系緊急ダイヤル)

② 「キー操作とデータ」

エリア番号

③ 国内許容番号

エリア番号 (00~63) および国内許容番号 (1~6 桁) を 10 キー, \*, # で入力します。

④

「関連機能番号」

0403 : 内線サービスクラス

<注意事項>

- 注1. 許容するエリア番号は最大64番号まで設定できます。
- 2. 許容番号は1~6桁で設定できます。
- 3. データ番号510よりも本データが優先されます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

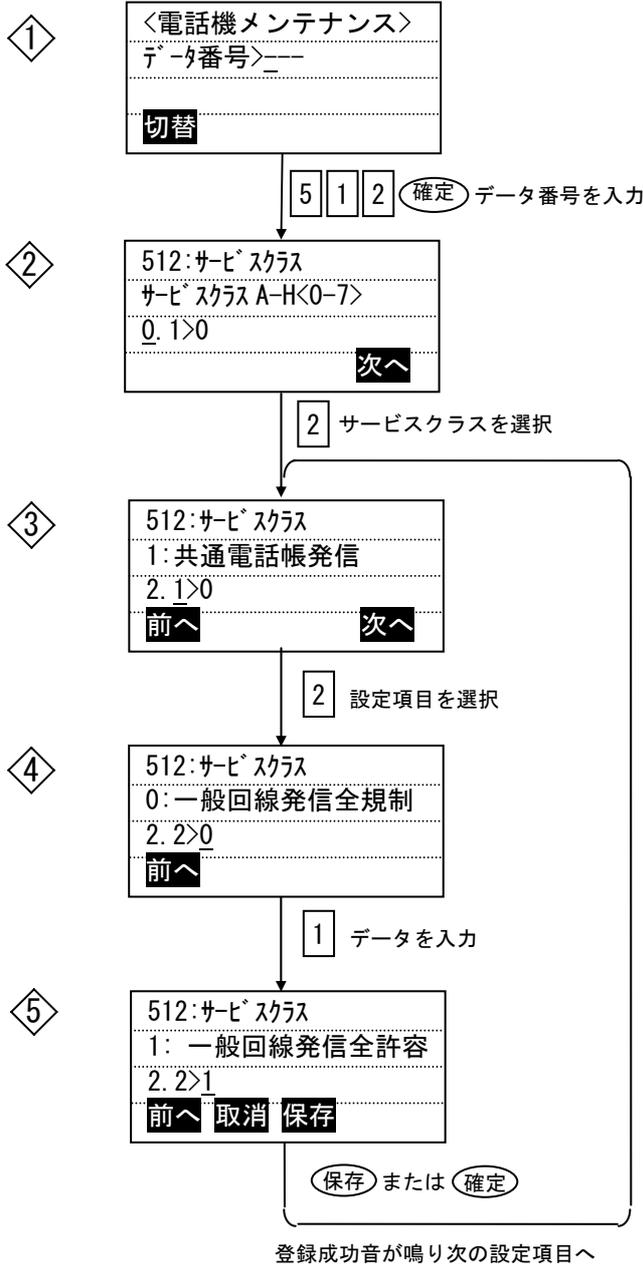
データ番号	サービスクラス 1/2
512	

<データ設定概要>

サービスクラスとして用意されている「サービスクラス A」～「サービスクラス H」を設定できる。

<操作例>

サービスクラス C の一般回線捕捉発信を全て許容に設定します。



「初期値」

- サービスクラス A … 規制しません。(全許容)
  - サービスクラス B … 国際発信のみ規制します。
  - サービスクラス C … 国際発信/市外発信/移動体発信を規制します。
  - サービスクラス D … 一部の市内特番のみ発信できます。
  - サービスクラス E … 内線のみ発信できます。
  - サービスクラス F … 内線のみ発信できます。
  - サービスクラス G … 内線のみ発信できます。
  - サービスクラス H … 内線のみ発信できます。
- ※サービスクラス A～D: 共通電話帳発信は回線規制を適用します。
- ※サービスクラス E～F: 共通電話帳発信は回線規制/ダイヤル規制を適用します。

「キー操作とデータ」

サービスクラスごとの規制

10 キー	データ内容
1	共通電話帳発信
2	一般回線捕捉発信
3	一般外線着信
4	PBX 回線捕捉発信
5	PBX 回線着信
6	専用線発信
7	国際発信
8	市外発信
9	市内発信
10	移動体発信
11	市内特番

規制と許容の選択

⑤ 共通電話帳発信

10 キー	データ内容
0	回線/ダイヤル規制適用
1	回線規制適用

一般回線捕捉発信/PBX 回線捕捉発信

10 キー	データ内容
0	一般/PBX 回線発信全規制
1	一般/PBX 回線発信全許容

(以下次頁)

「関連機能番号」

0403: 内線サービスクラス

<注意事項>

データ番号	サービスクラス 2/2	バージョン	V1.0~
512		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

「キー操作とデータ」  
規制と許容の選択(前頁の続き)

一般外線着信/PBX回線着信

10キー	データ内容
0	一般/PBX外線着信全規制
1	一般/PBX外線着信全許容

専用線発着信

10キー	データ内容
0	専用線発着信全規制
1	専用線発着信全許容

国際発信

10キー	データ内容
0	国際発信全規制
1	国際発信全許容
2	国際発信一部規制
3	国際発信一部許容

市外発信

10キー	データ内容
0	市外発信全規制
1	市外発信全許容
2	市外発信一部規制
3	市外発信一部許容

市内発信

10キー	データ内容
0	市内発信全規制
1	市内発信全許容
2	市内発信一部規制
3	市内発信一部許容

移動体発信

10キー	データ内容
0	移動体発信全規制
1	移動体発信全許容
2	移動体発信一部規制
3	移動体発信一部許容

市内特番

10キー	データ内容
0	市内特番全規制
1	市内特番全許容
2	市内特番一部規制
3	市内特番一部許容

<注意事項>

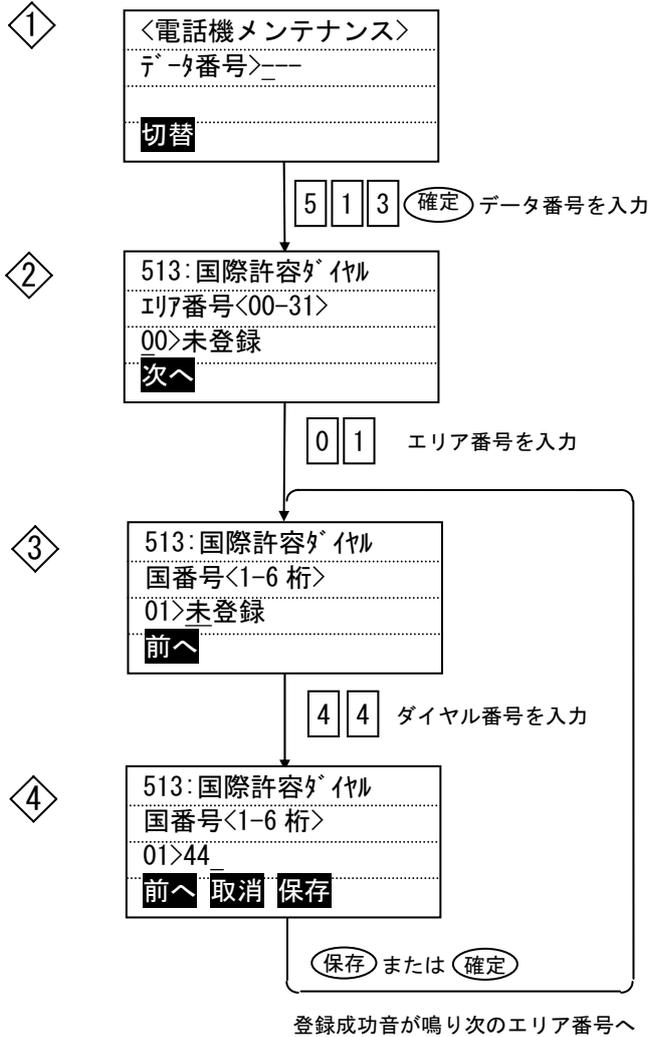
データ番号	国際許容ダイヤル番号	バージョン	V1.0~
513		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

内線のサービスクラスが「国際発信が一部許容」クラスの国際発信する場合、国際番号 1~6 桁の許容番号を設定する。  
 (「国際発信が一部許容」のクラスは国際許容番号での国際発信できる)

<操作例>

エリア番号 01 に許容番号 44 (イギリス) を設定します。



「初期値」

エリア番号	国際許容番号
00~31	未登録

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号
- ③ 国際発信許容番号
- ④ エリア番号 (00~31) および国際発信許容番号 (1~6 桁の国番号) を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

なし

<注意事項>

- 注1. 「国際発信が一部許容」クラスの内線が国際発信する場合の許容する場合の番号は最大32番号まで設定できます。
- 2. 国際発信が一部許容：特定国への発信が可能なクラスをいいます。

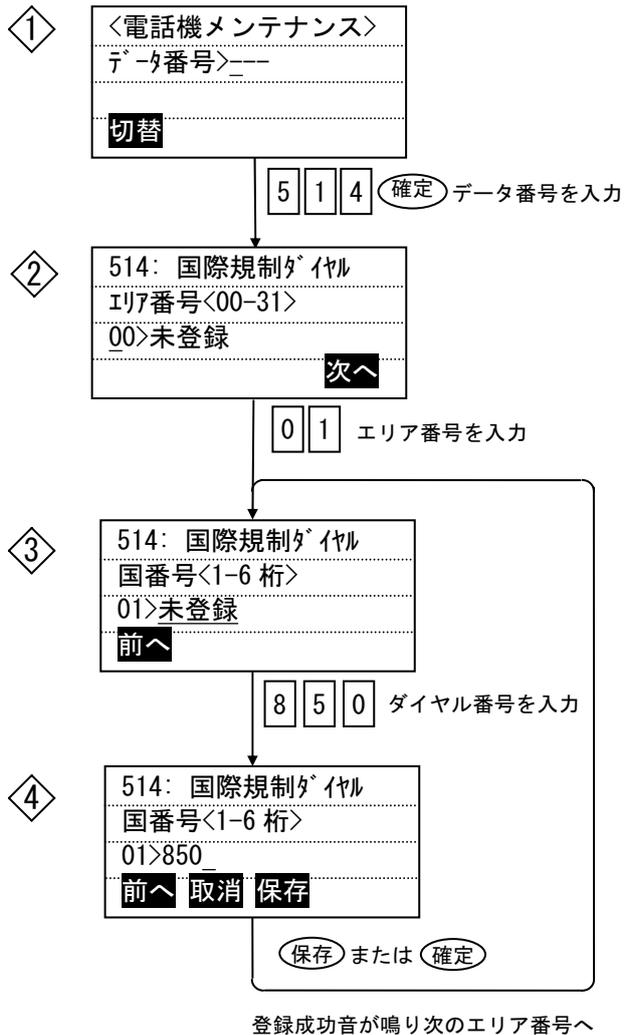
データ番号	国際規制ダイヤル番号	バージョン	V1.0~
514		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

国際発信を規制する国番号 1~6 桁を指定する。

<操作例>

エリア番号 01 に規制国番号 850 を設定します。



「初期値」

エリア番号	国際規制ダイヤル番号
00~31	未登録

② 「キー操作とデータ」

③ エリア番号

④ 国番号

エリア番号 (00~31) および国際規制ダイヤル番号 (1~6 桁での国番号) を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

なし

<注意事項>

注1. 国番号は最大6桁で設定します。

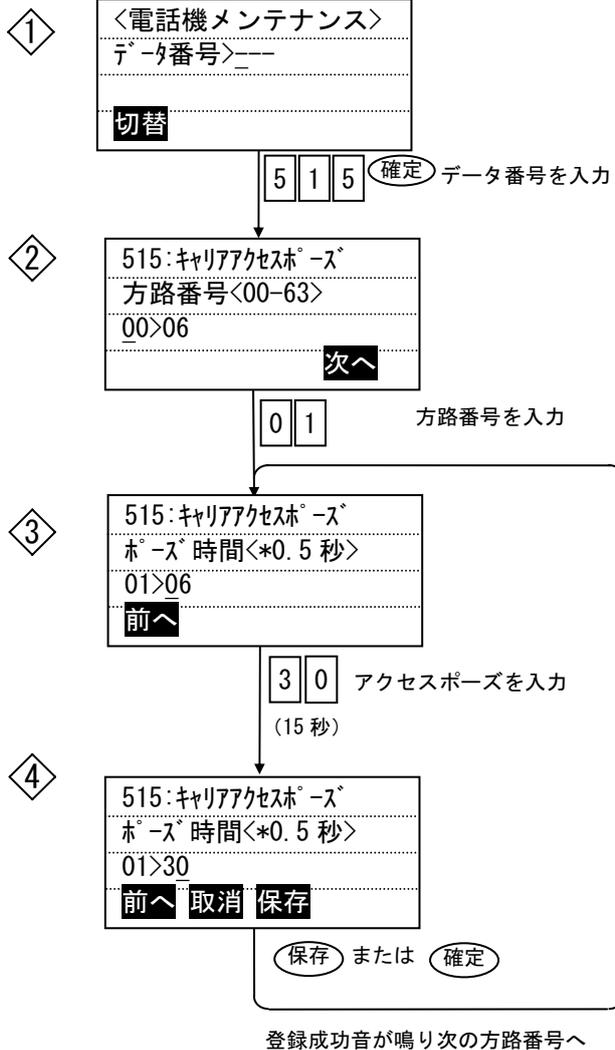
データ番号	キャリアアクセスポーズ	バージョン	V1.1~
515		データ更新条件	回線毎

<データ設定概要>

挿入するキャリアアクセスポーズの長さを指定する。(長さは0.5秒刻みの、0~27秒の範囲で設定する。)

<操作例>

方路番号 01 のアクセスポーズを 15 秒に変更



「初期値」全方路番号共通

10 キー	キャリアアクセスポーズ
00	3秒

- ② 「キー操作とデータ」  
方路番号  
方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。
- ③ ポーズ時間<\*0.5秒>  
アクセスポーズ 00~54 (単位 0.5 秒) を 10 キーで指定します。
- ④

「関連機能番号」  
0116: キャリア番号付加発信<V1.1>

<注意事項>

- 注1. アクセスポーズは0~27秒で設定できます。但し設定は0.5s×2桁数値で行います。  
2. 本設定はデータ504「キャリア付加」を「付加有り」に設定している場合に有効です。

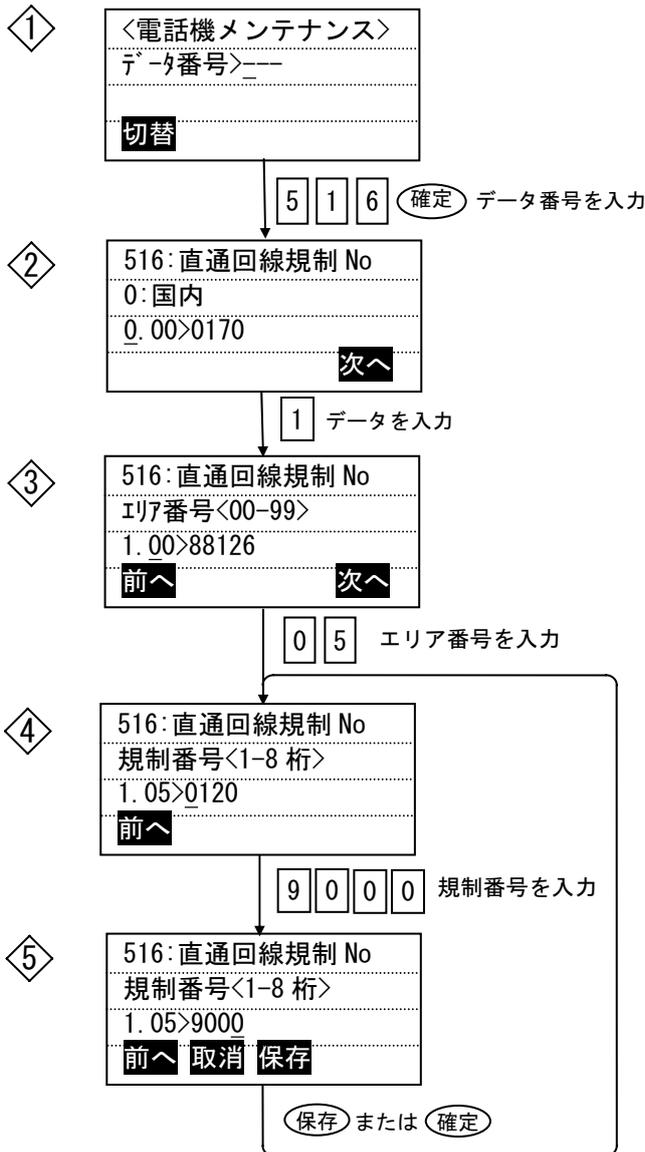
データ番号	直通回線選択規制番号	バージョン	V1.1~
516		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

直通回線選択発信時の規制番号を国内/国際ごとに設定する。

<操作例>

国際のエリア5に規制番号9000を登録します。



登録成功音が鳴り次のエリア番号へ

「初期値」

エリア(国内)	直通回線規制番号
00	0170
01	0180
02	0570
03	0990
04	100
05	106
06	107
07	108
08	110
09	113
10	114
11	115
12	116
13	117
14	118
15	119
16	121
17	136
18	142
19	144
20	161
21	162
22	163
23	166
24	169
25	171
26	0120
27~99	未登録

エリア(国際)	直通回線規制番号
00	88126
01	871
02	872
03	873
04	874
05~99	未登録

「キー操作とデータ」

10キー	国内/国際
0	国内
1	国際

③ エリア番号  
エリア番号(国内 00~99、国際 00~99)を10キーで入力します。

④ 規制番号  
⑤ 直通規制番号(1~8桁)を10キーで入力します

「関連機能番号」

<注意事項>

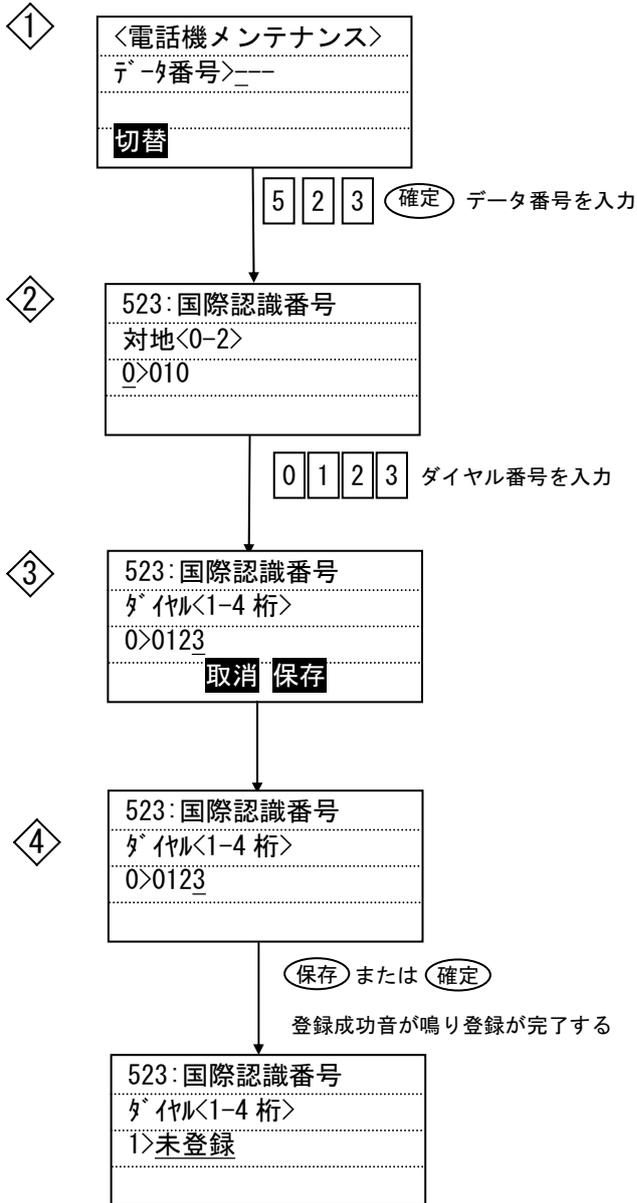
データ番号	国際認識番号	バージョン	V1.0~
523		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

国際発信時、国際と認識する番号（1~4桁）を設定する。

<操作例>

国際認識番号を「0123」に設定します。



「初期値」

対地	国際認識番号
0	010

「キー操作とデータ」

対地

対地(0~2)を10キーで入力します

国際認識番号

国際認識番号(最大1~4桁)を10キーで入力します。

②

③

「関連機能番号」

0116 : キャリア番号付加発信<v1.1>

0403 : 内線サービスクラス

<注意事項>

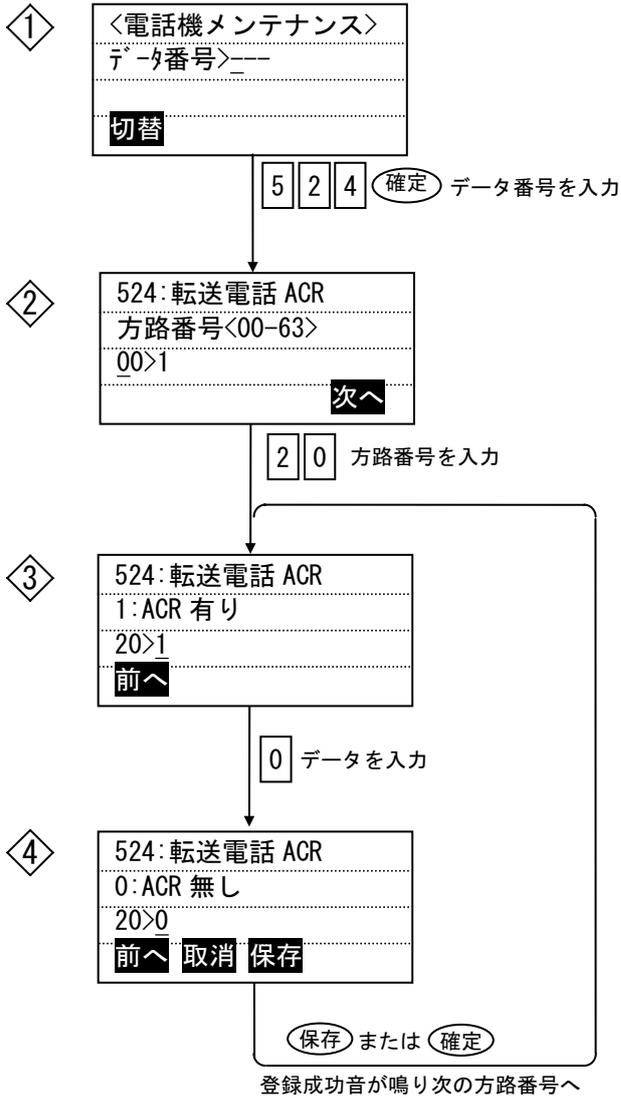
バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

データ番号	転送電話 ACR (方路毎)
524	

<データ設定概要>

<操作例>

方路番号 20 の回線の転送電話 ACR を無しに設定します。



「初期値」 全方路共通

10 キー	転送電話 ACR
1	ACR 有り

「キー操作とデータ」

方路番号

方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。

②

転送電話 ACR

10 キー	データ内容
0	ACR 無し
1	ACR 有り

③

④

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送

<注意事項>

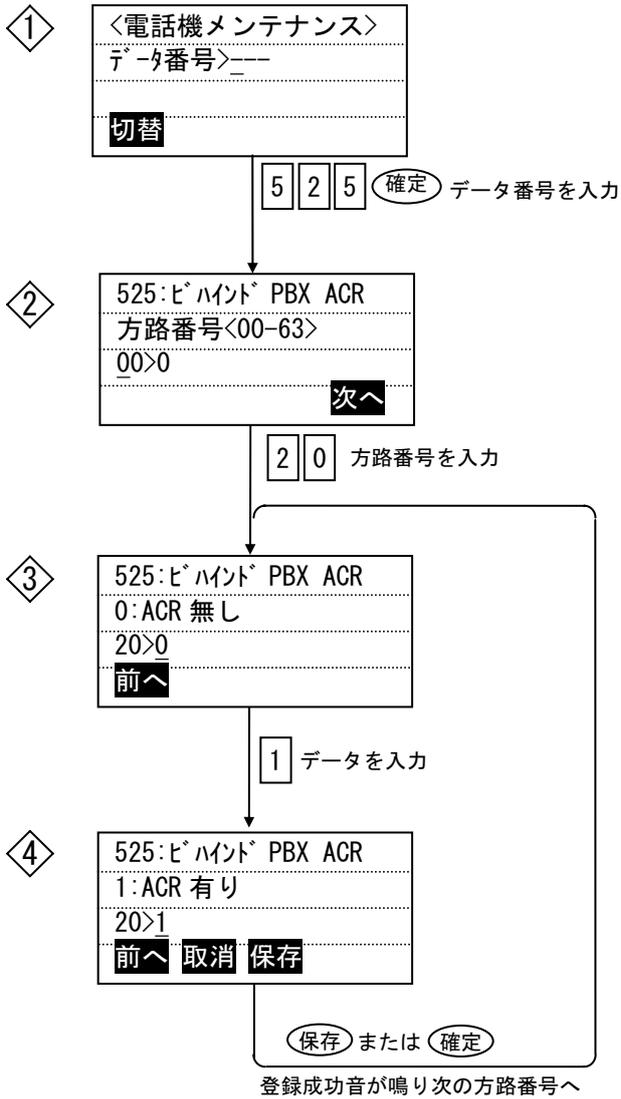
バージョン	V1.0~
データ更新条件	回線毎

データ番号	ビハインド PBX 回線 ACR (方路毎)
525	

<データ設定概要>

<操作例>

方路 20 の回線のビハインド PBX 回線 ACR を有りに設定します。



「初期値」 前方路共通

10 キー	ビハインド PBX 回線 ACR
0	ACR 無し

「キー操作とデータ」

方路番号

方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。

ビハインド PBX 回線 ACR

10 キー	データ内容
0	ACR 無し
1	ACR 有り

②

③

④

「関連機能番号」

<注意事項>

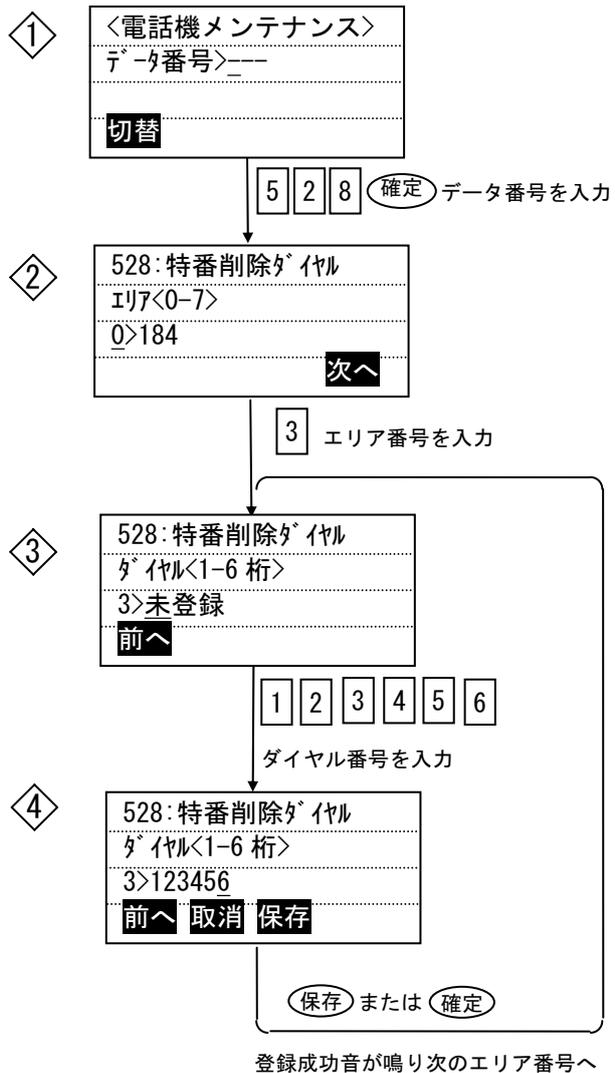
データ番号	付加特番削除ダイヤル	バージョン	V1.0~
528		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ACR や発信規制を行うのに不要なダイヤルを指定する。  
(発信ダイヤルから指定ダイヤルを削除し、残ったダイヤルで ACR/発信規制/課金を行う。)

<操作例>

エリア No 3 に、付加特番削除ダイヤル 123456 を設定します。



「初期値」

エリア No	分析削除ダイヤル
0	184
1	186
2	122
3	未登録
4	未登録
5	未登録
6	未登録
7	未登録

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号  
エリア番号 (0~7) を 10 キーで指定します。
- ③ ダイヤル<1-6桁>  
不要ダイヤル(最大 6 桁)を 10 キーで入力します。
- ④

「関連機能番号」

- 0114 : 発番号通知/非通知切替  
0117 : マイライン/マイラインプラス<v1.1>

<注意事項>

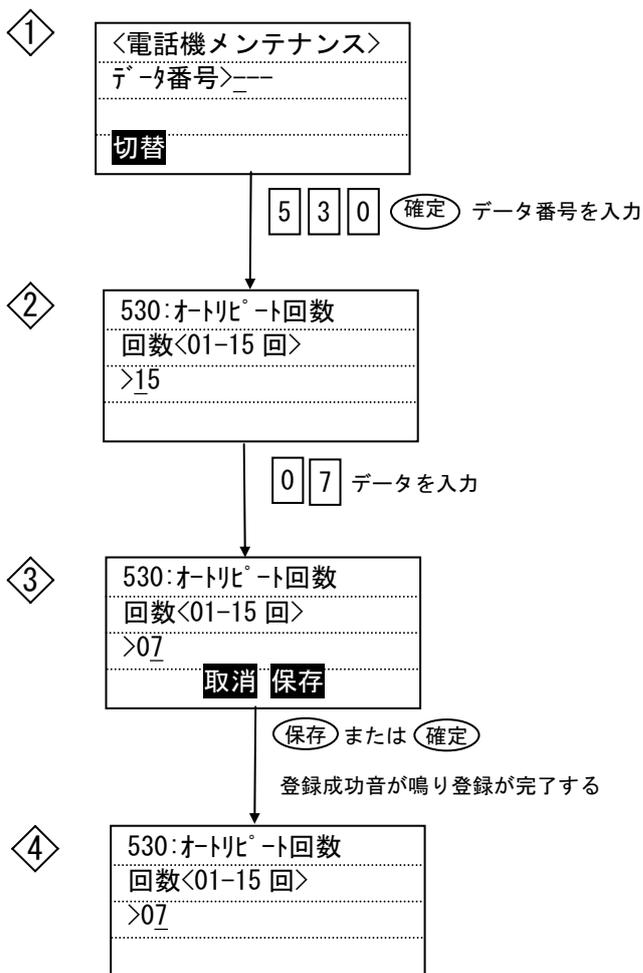
データ番号	オートリポート回数	バージョン	V1.0~
530		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線発信し相手が話中時に、リダイヤルボタンを押してくり返し発信させる回数を設定する。(最大 15 回)

<操作例>

オートリポート回数を 7 回に設定します。



「初期値」

10 キー	オートリポート回数
15	15 回

②

「キー操作とデータ」

回数<01-15回>

オートリポート回数 (01~15) を 10 キーで入力します。

「関連機能番号」

0109 : オートリポート

<注意事項>

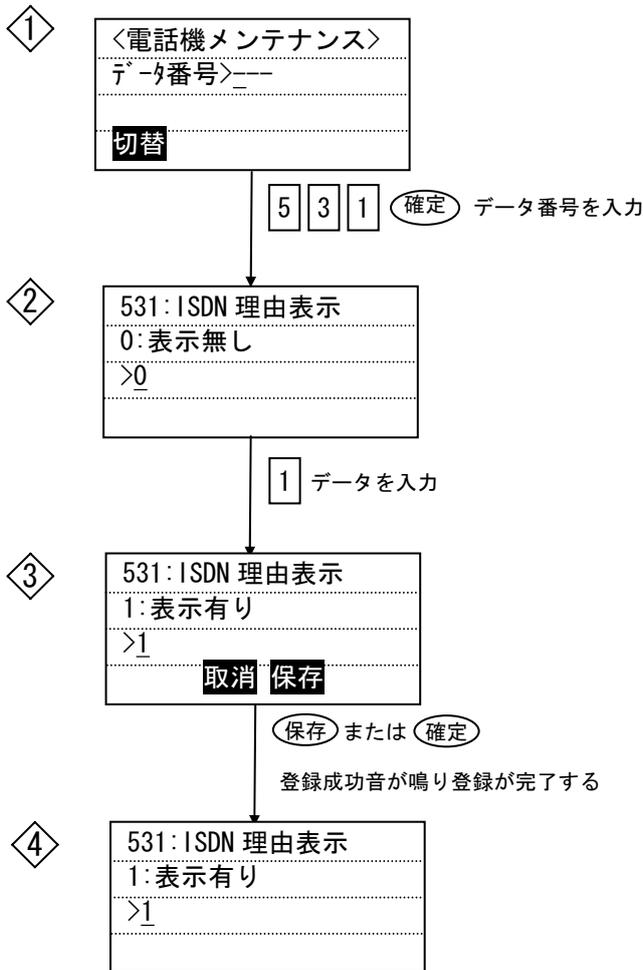
データ番号	I S D N 理由表示	バージョン	V1.0~
531		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ISDN 回線で相手話中等の状態表示（理由表示）、番号（理由番号）の表示識別を指定する。

<操作例>

ISDN 理由表示を有りに変更します。



「初期値」

10 キー	理由表示識別
0	表示無し

「キー操作とデータ」  
ISDN 理由表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

②

「関連機能番号」

0709 : ISDN 相手状態表示

<注意事項>

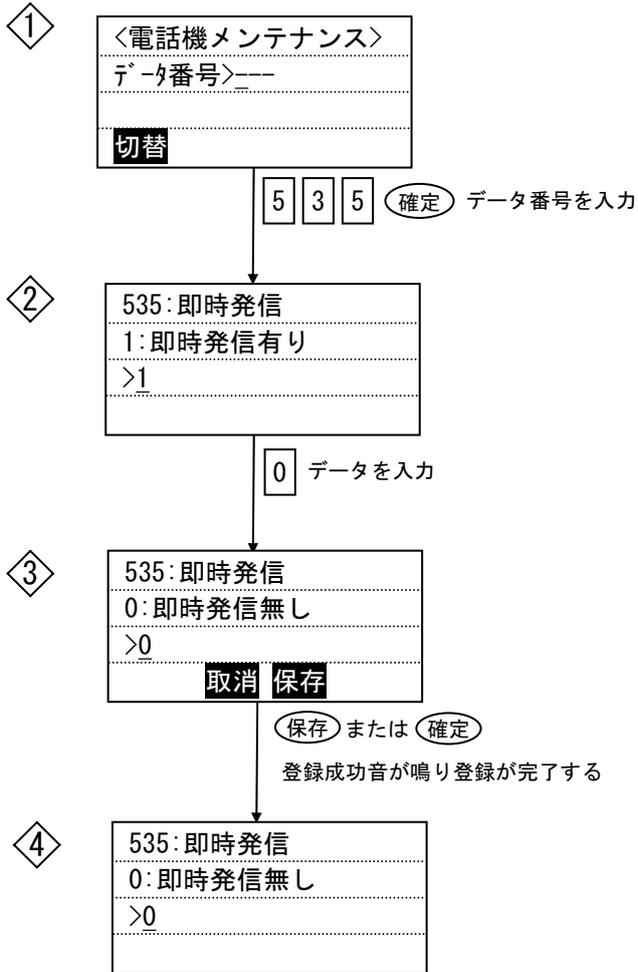
データ番号	即時発信	バージョン	V1.0~
535		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ISDN 回線／IP 回線／専用線でダイヤル直後に発信するよう設定する。

<操作例>

即時発信を無しに変更します。



「初期値」

10 キー	即時発信
1	即時発信有り

「キー操作とデータ」

即時発信

10 キー	データ内容
0	即時発信無し
1	即時発信有り

②  
③

「関連機能番号」

0118 : 即時発信

<注意事項>

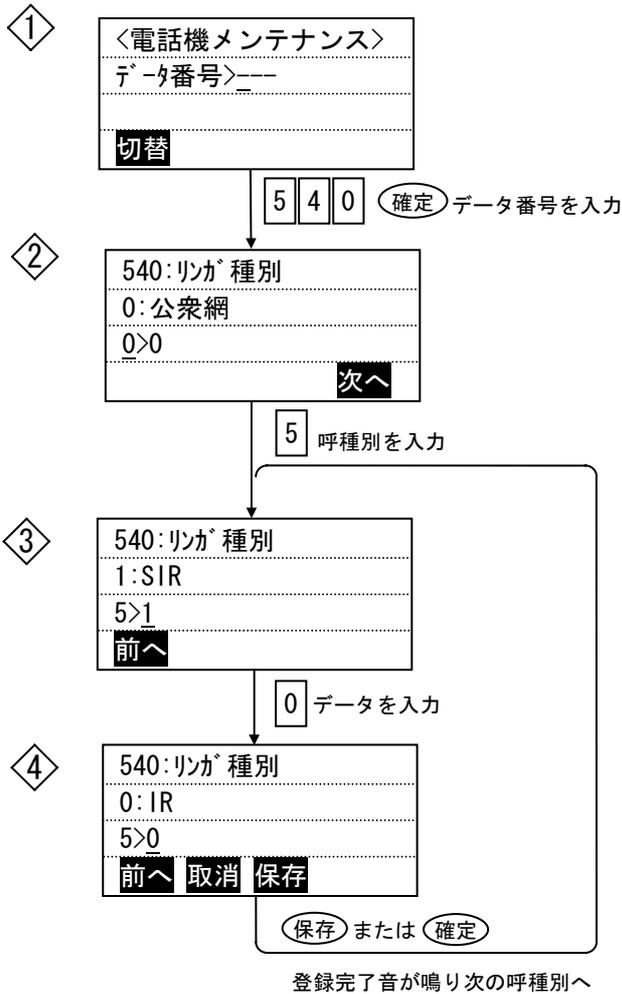
データ番号		バージョン	V1.0~
540	リング（鳴動インタ）種別	データ更新条件	システム

<データ設定概要>

内線着信、または公衆着信の種別ごとに鳴動音を設定できる。

<操作例>

専用線着信時のリングを IR に変更します。



「初期値」

呼種別または着リング種別ごとのリングの初期値

呼種別	10 キー	リング（鳴動インタ）
公衆網(注)	0	IR
IR	0	IR
SIR	1	SIR
TIR	2	TIR
内線	1	SIR
専用線	1	SIR
DIL/DID	2	TIR
一斉呼出	2	TIR

注: 本指定は発 ID パース監視無し時のリングとなります。

「キー操作とデータ」

呼種別

10 キー	データ内容
0	公衆網
1	IR
2	SIR
3	TIR
4	内線
5	専用線
6	DIL/DID
7	一斉呼出

IR/SIR/TIR

10 キー	データ内容
0	IR
1	SIR
2	TIR

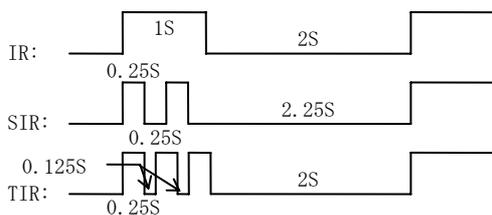
注: 発 ID パース監視無し時のリングとなります。

「関連機能番号」

0206 : 呼出信号識別  
1308 : PS 呼出信号音識別

<注意事項>

注 1. リンガ（鳴動インタ）種別



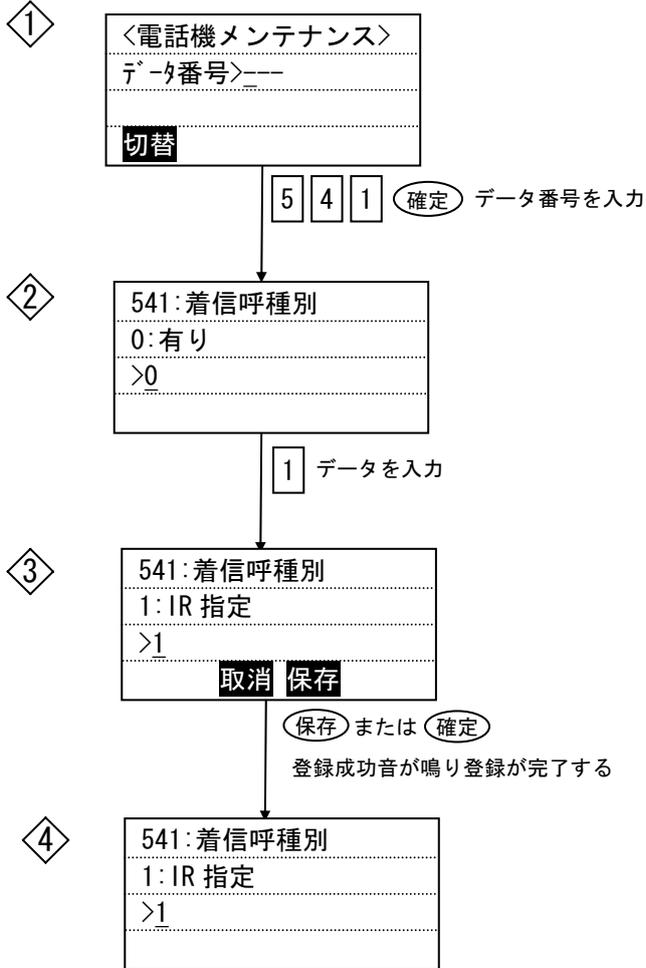
データ番号	着信呼識別	バージョン	V1.0~
541		データ更新条件	システム
		全外線空き	

<データ設定概要>

着信呼を識別して鳴動音を鳴らすか、識別をせず特定の鳴動音に固定するかを設定する。

<操作例>

着信呼識別を IR 指定に変更します。



「初期値」

10 キー	初期値
0	有り

「キー操作とデータ」

着信呼識別

10 キー	データ内容
0	有り
1	IR 指定
2	SIR 指定

②

③

「関連機能番号」

- 0205 : 外線着信呼識別
- 0206 : 呼出信号識別
- 0620 : 情報通知系サービス受信
- 1308 : PS 呼出信号音識別

<注意事項>

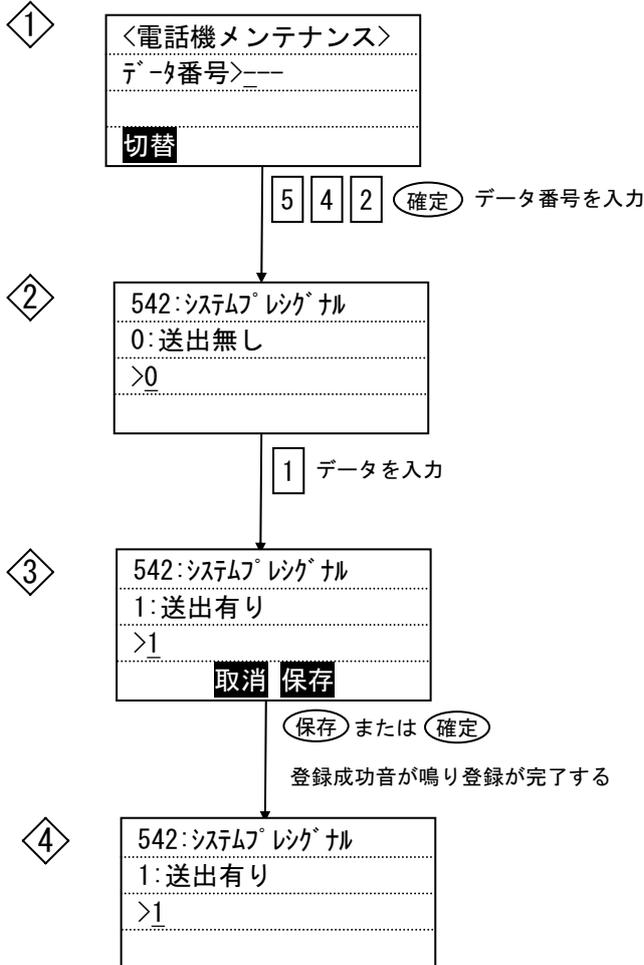
データ番号	システムプレシグナル（呼出信号）	バージョン	V1.0~
542		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線着信があったとき呼出信号の周期にかかわらず即時に呼出信号（プレシグナル）を送出するかしないかの設定を行います。

<操作例>

プレシグナルを送出有りに設定します。



「初期値」

10 キー	システムプレシグナル
0	送出無し

「キー操作とデータ」

システムプレシグナル

10 キー	データ内容
0	送出無し
1	送出有り

②

③

「関連機能番号」

0422 : プレシグナル

<注意事項>

注1. プレシグナルは単独電話機は0.2秒、標準電話機は0.25秒で送出します。

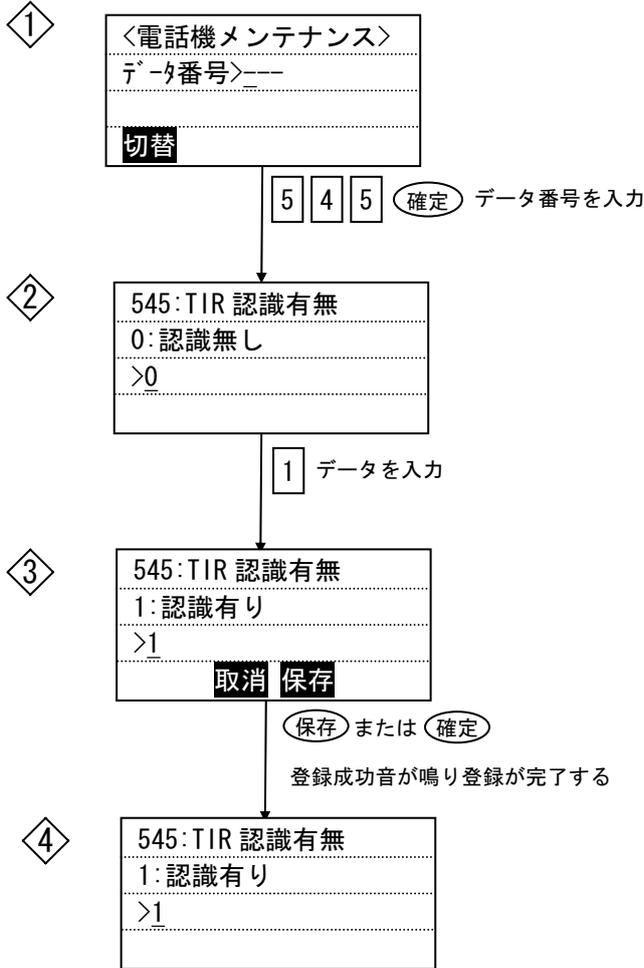
データ番号	TIR 認識有無	バージョン	V1.0~
545		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線からの着信呼に対し、TIR を認識するかを設定する。

<操作例>

TIR 認識有りに変更します。



「初期値」

10 キー	TIR 認識有無
0	認識無し

「キー操作とデータ」

TIR 認識

10 キー	データ内容
0	認識無し
1	認識有り

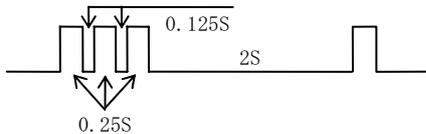
②  
③

「関連機能番号」

0205 : 外線着信呼識別  
0206 : 呼出信号識別  
1308 : PS 呼出信号音識別

<注意事項>

注1. TIRとはPBX回線からのDIL/DID着信に対しての信号周期です。



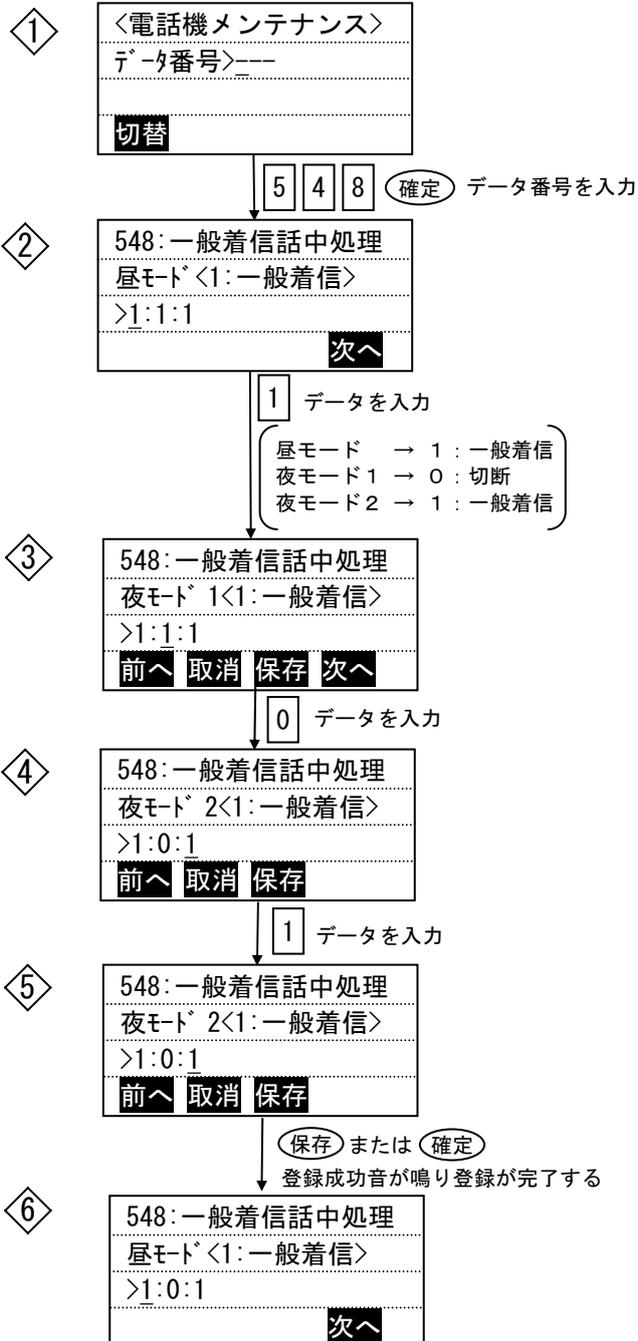
データ番号	一般着信話中時の処理	バージョン	V1.0~
548		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

一般着信の着信先が使用中の場合に一般着信にするか切断にするかを指定する。

<操作例>

昼モードと夜モード2を一般着信、夜モード1を切断に設定します。



「初期値」 昼/夜1/夜2共通

10 キー	話中時の処理
1	一般着信

「キー操作とデータ」

昼:夜1:夜2 モード毎の話中処理内容

10 キー	データ内容
0	切断
1	一般着信

- ②
- ③
- ④
- ⑤

「関連機能番号」  
0200:任意外線応答

<注意事項>

注1. アナログ外線の着信先の場合には「切断」と設定しても正常に切断されないので注意してください。  
このとき回線は使用中、発信者はRBT聴取となります。

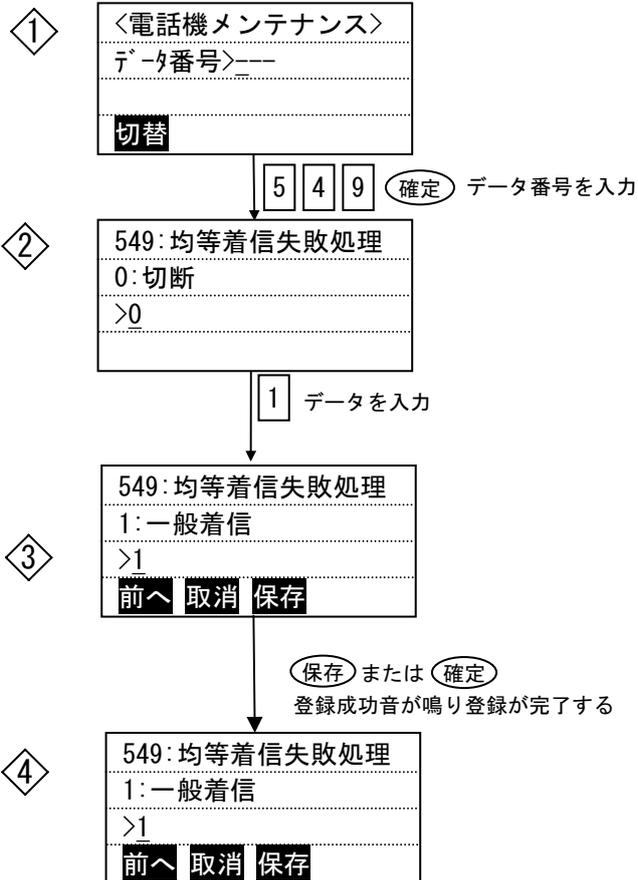
データ番号	均等着信失敗時の処理	バージョン	V1.3~
549		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線着信時、内線グループ内の電話機に均等に個別着信させる場合、内線グループに登録されている全ての端末が塞がっている時の動作を選択する。

<操作例>

均等着信失敗時の処理を切断に設定します。



「初期値」 システム共通

10 キー	均等着信失敗時の処理
0	切断

「キー操作とデータ」

均等着信失敗時の処理内容

10 キー	データ内容
0	切断
1	一般着信

②  
③  
④

「関連機能番号」

0211 : 簡易 ACD

<注意事項>

注1. 均等着信を設定されていない場合は動作しません。

このページは白紙になります。

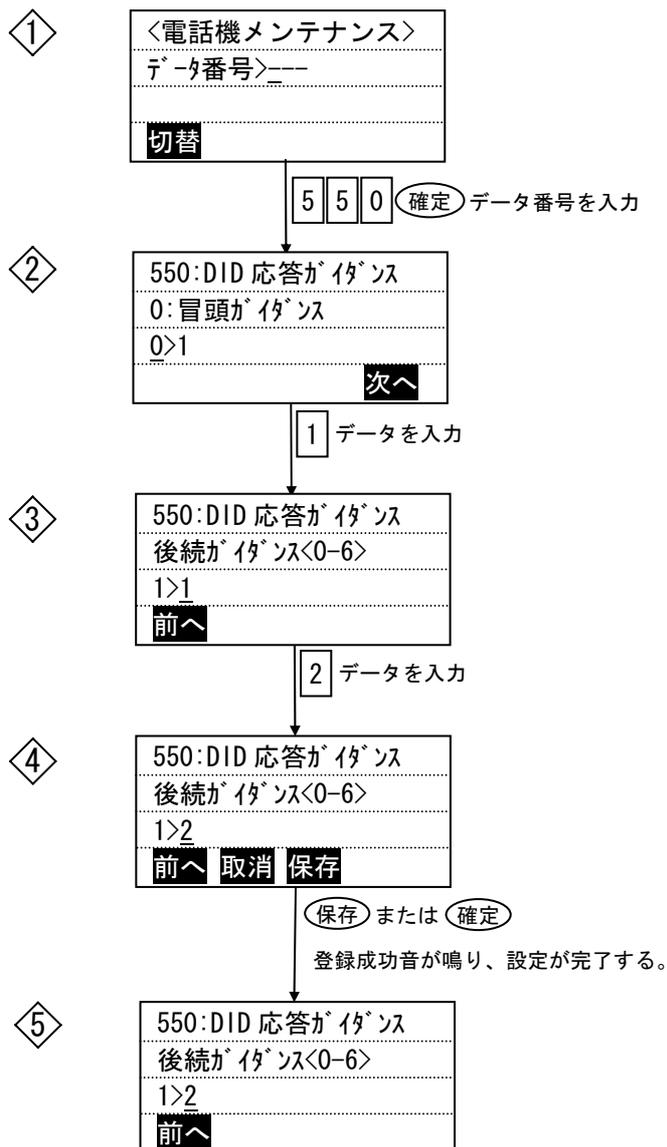
データ番号	付加番号 DID 応答ガイダンス 1/2	バージョン	V1.1~
550		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

付加番号 DID 着信時に、応答用に流す音声ガイダンスの種類を設定する。

<操作例>

後続ガイダンスのメッセージのパターンをパターン 2 に設定します。



「初期値」

冒頭ガイダンス

10 キー	ガイダンス選択
1	固定

後続ガイダンス

10 キー	ガイダンス選択
1	パターン 1

「キー操作とデータ」

冒頭/後続ガイダンス選択

10 キー	データ内容
0	冒頭ガイダンス
1	後続ガイダンス

冒頭ガイダンス

10 キー	データ内容
0	冒頭ガイダンス無し
1	冒頭ガイダンス固定
2	冒頭ガイダンス可変

冒頭ガイダンス可変の場合、さらにユーザガイダンス番号 (01~64) を 10 キーで指定します。

後続ガイダンス

後続ガイダンスのパターン番号 (0~6) を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

- 0215 : 付加番号 DID<v1.1>
- 0424 : ユーザガイダンス管理<v1.1>

<注意事項>

		バージョン	V1.1~
データ番号	付加番号 DID 応答ガイダンス 2/2	データ更新条件	システム
550			

<データ設定概要>

<操作例>

メッセージパターンを示します。

パターン番号	メッセージ内容
0	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">こちらはダイヤルイン電話です。</div> プッシュホンでおかけの方は続けて内線番号をダイヤルしてください。 ダイヤルでおかけの方はしばらくお待ちください。
1	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">こちらはダイヤルイン電話です。</div> プッシュホンでおかけの方は続けて暗証番号をダイヤルしてください。 ダイヤルでおかけの方はしばらくお待ちください。
2	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">こちらはダイヤルイン電話です。</div> プッシュホンでおかけの方は続けて内線番号をダイヤルしてください。 ダイヤルでおかけの方はプッシュホンでおかけ直してください。
3	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">こちらはダイヤルイン電話です。</div> プッシュホンでおかけの方は続けて暗証番号をダイヤルしてください。 ダイヤルでおかけの方はプッシュホンでおかけ直してください。
4	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">こちらはダイヤルイン電話です。</div> 続けて内線番号をダイヤルしてください。
5	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">こちらはダイヤルイン電話です。</div> 続けて暗証番号をダイヤルしてください。
6	メッセージ録音はユーザが行います。 (録音時間：約1分以内)

<注意事項>

注1. メッセージ内容の  で示す部分は、ユーザが自由に録音して使用する部分を示します。録音時間は約1分以内で可能です。ユーザ録音がない場合は、あらかじめ録音されている「こちらはダイヤルイン電話です」が送出され、ユーザ録音があると「こちらはダイヤルイン電話です」の代わりにユーザが録音した内容が送出されます。

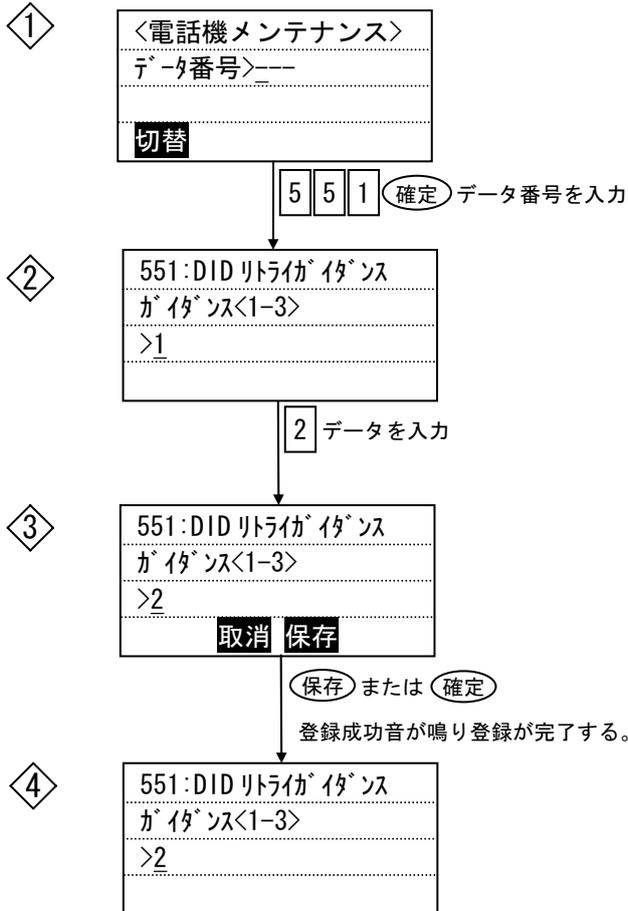
		バージョン	V1.1~
データ番号	付加番号 DID リトライガイダンス	データ更新条件	
551			システム

<データ設定概要>

付加番号 DID 着信の着信失敗時に流す音声ガイダンスの種類を設定する。

<操作例>

ガイダンスをガイダンス 2 に設定します。



「初期値」

10 キー	ガイダンス番号
1	ガイダンス 1

「キー操作とデータ」

- ② ガイダンス番号  
ガイダンス番号 (1~3) を 10 キーで設定します。
- ③

「関連機能番号」

- 0215 : 付加番号 DID<v1.1>  
0424 : ユーザーガイダンス管理<v1.1>

<注意事項>

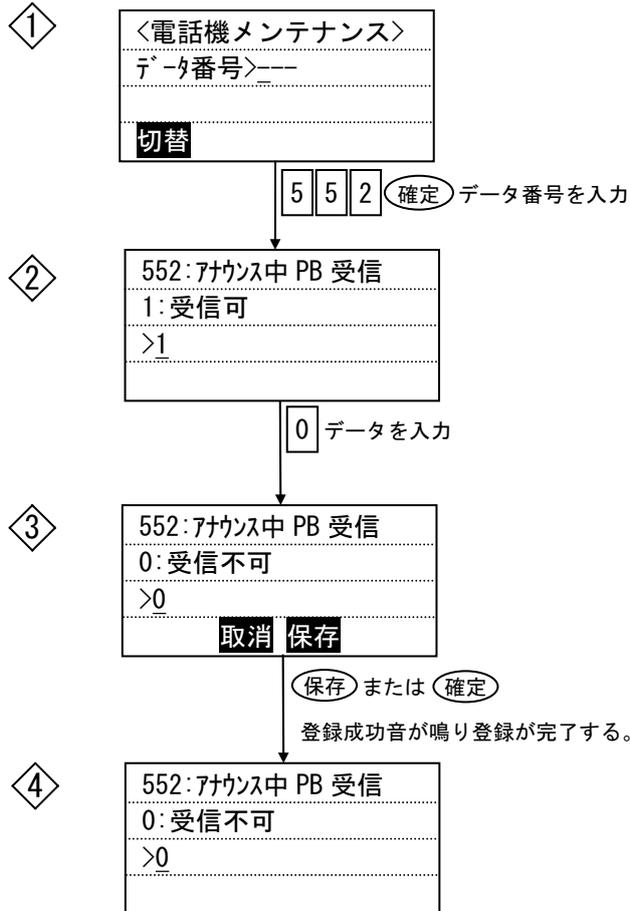
データ番号	アナウンス送出中のPB信号受信	バージョン	V1.0~
552		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

データ番号 550, 551 の音声アナウンス送出中に、PB 信号受け付けの可能/不可能を設定する。

<操作例>

PB 信号受信を不可に変更します。



「初期値」

10 キー	アナウンス中 PB 信号受信
1	受信可

「キー操作とデータ」  
アナウンス中 PB 受信

10 キー	データ内容
0	受信不可
1	受信可

②  
③

「関連機能番号」

0215 : 付加番号 DID<v1.1>

<注意事項>

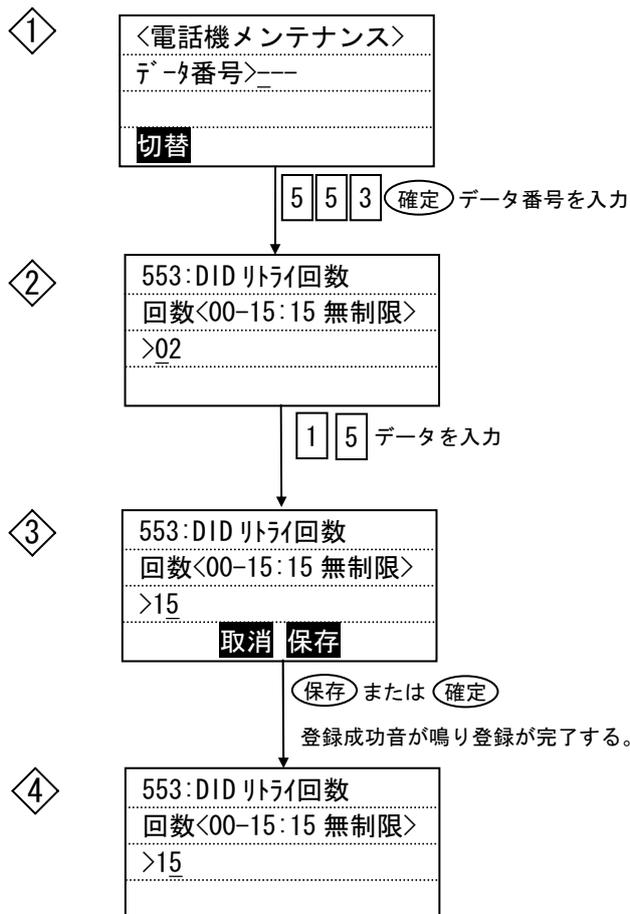
データ番号	付加番号 DID リトライ回数	バージョン	V1.1~
553		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

付加番号 DID 着信失敗時にリトライする回数を指定する。

<操作例>

リトライカウンタを無制限に設定します。



「初期値」

10 キー	リトライ回数
02	リトライ 2 回

「キー操作とデータ」

リトライ回数の選択

10 キー	データ内容
00	リトライ無し
01	リトライ 1 回
02	リトライ 2 回
∫	∫
12	リトライ 12 回
13	リトライ 13 回
14	リトライ 14 回
15	リトライ無制限

②  
③

「関連機能番号」

0215 : 付加番号 DID<v1.1>

<注意事項>

注1. リトライ回数完了時、外線は切断されます。

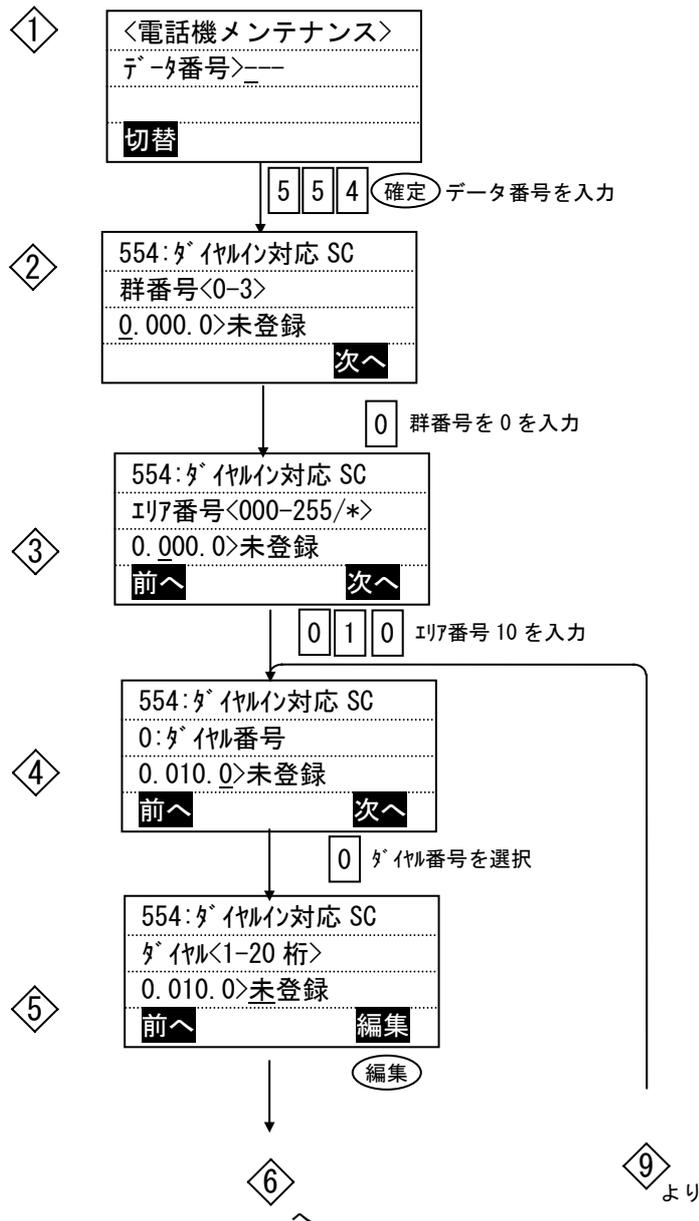
データ番号	ダイヤルイン対応 SC 1/2	バージョン	V1.0~
554		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

着番号 DID、PBX ダイヤルイン機能のダイヤルイン番号を設定する。(ダイヤルイン番号ごとに着信形式を設定するために、ダイヤルイン番号ごとに SC 番号を割り当てる。)

<操作例>

ダイヤルイン対応 SC の設定を行います。



「初期値」全エリア共通

10 キー	ダイヤル番号
—	未登録

10 キー	SC 番号
—	未登録

「キー操作とデータ」

- ② 群番号  
群番号(0~3)を 10 キーで指定します。
- ③ エリア番号  
エリア番号(00~63/\*) <v1.2>  
エリア番号(000~127/\*) <v1.3>  
エリア番号(000~255/\*) <v1.7>  
を 10 キーで指定します。  
グローバル着信の設定を行う場合は\*キーで指定します
- ④ 入力種別  
0:ダイヤル番号、1:SC 番号の入力を選択します。
- ⑤ ダイヤル番号  
網または上位 PBX から通知される着番号(1~20 桁)を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

- 0207 : 外線別着信音選択
- 0208 : 発番号別着信音選択
- 0217 : PBX ダイヤルイン
- 0218 : 着番号 DID
- 0220 : 発番号 DID
- 0223 : 着信拒否 (迷惑電話拒否)
- 0604 : 公-公接続
- 0606 : 公-専接続<v1.1>
- 0607 : 公-専-公接続<v1.1>
- 0616 : 遠隔設定操作 (PB 保守) <v1.1>
- 0920 : メールサービス<v1.2>
- 1401 : VOIP 内線個別着信
- 1455 : IP 回線着信-SIP 回線-

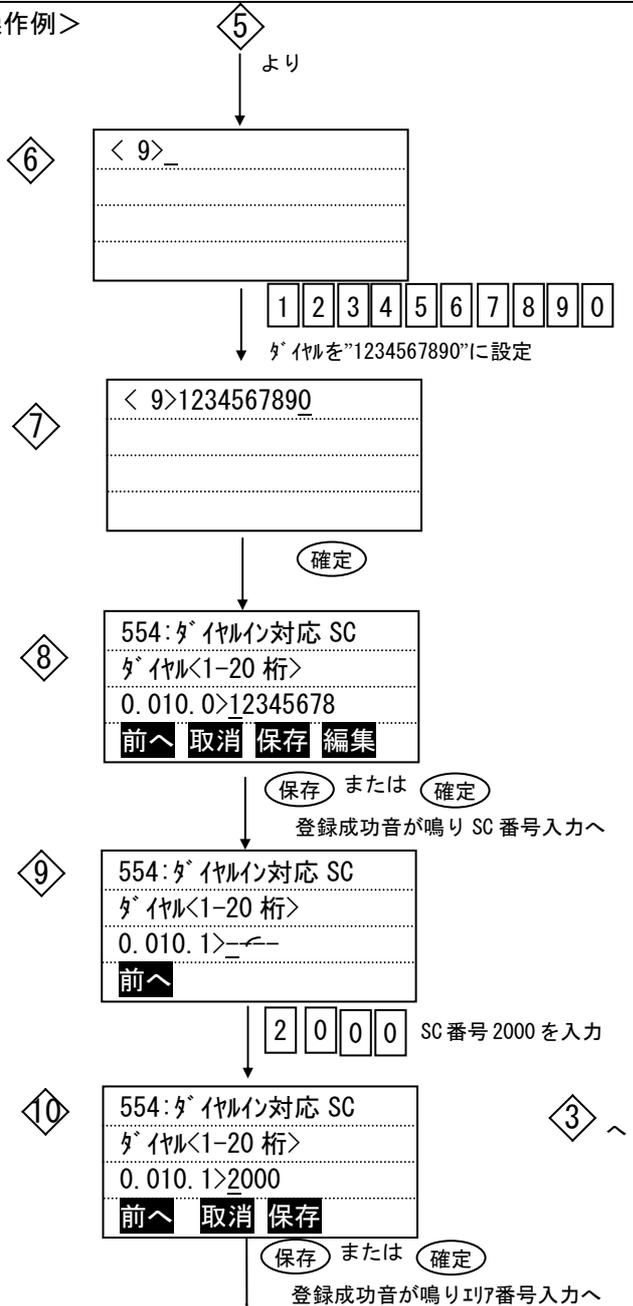
<注意事項>

- 注1. 割り付けられるSC番号は2000~2299です。
2. ダイヤルイン着信時の着信先の設定は、着信形式 (データ 220) にて行います。(本設定で割り付けたSC番号に対して着信形式を設定します)
3. 登録する着番号は、網または上位PBXから通知されるダイヤル全桁登録する必要があります。また、網の仕様により、市外局番が付加される場合、されない場合があります。どちらか不明な場合は、市外局番を付加した番号と、市外局番を付加しない番号の両方に同じSC番号を登録して下さい。

データ番号	ダイヤルイン対応 SC 2/2	バージョン	V1.0~
554		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

- 6 SC 番号
- 7 仮想ダイヤルイン番号(20.00~22.99)を 10 キーで指定します。

<注意事項>

- 注1. グローバル着信設定をした場合、ダイヤル番号の入力はできません。
- 注2. ダイヤル番号を入力し、SC番号を入力しなかった場合一般着信になります。

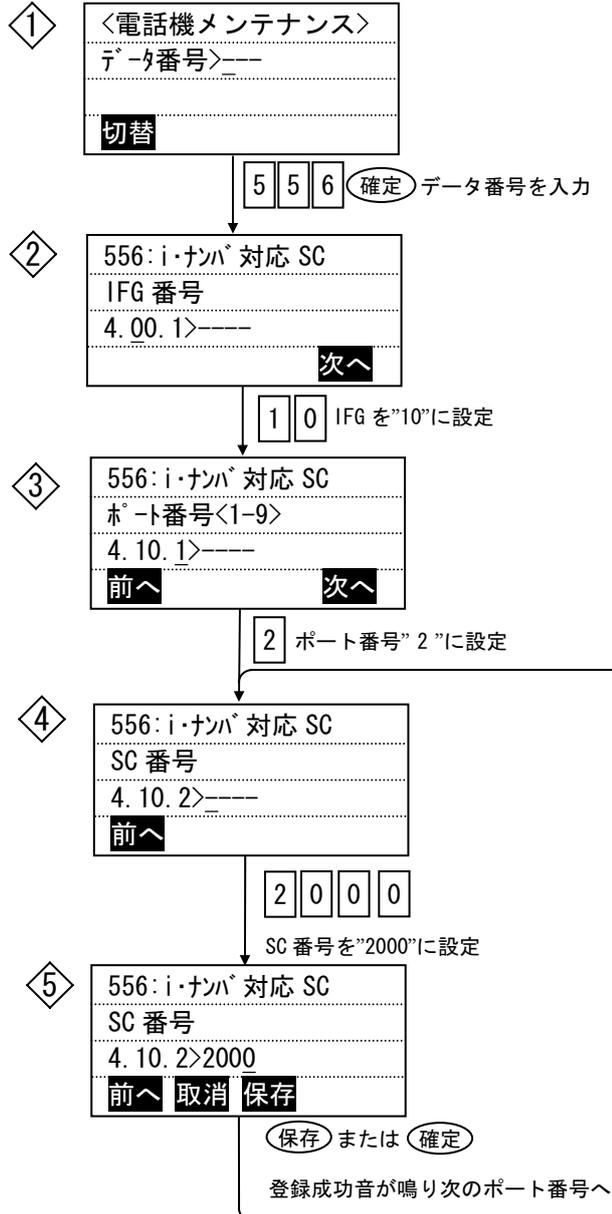
データ番号	i・ナンバー対応 SC	バージョン	V1.0~
556		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

i・ナンバー着信時の着信形式を設定するために、ポート番号ごとに SC 番号を割り当てる。  
(着信したポート番号ごとに着信形式を設定するために、ポート番号ごとに SC 番号を割り当てる。)

<操作例>

i・ナンバー対応 SC の設定を行います。



「初期値」

10 キー	SC 番号設定
-	未登録

「キー操作とデータ」

登録範囲

-	データ内容
IFG	00-71
ポート	1-9
SC	20.00-22.99

- ②
- ③
- ④
- ⑤

「関連機能番号」

- 0207：外線別着信音選択
- 0208：発番号別着信音選択
- 0219：i・ナンバー
- 0220：発番号 DID
- 0223：着信拒否（迷惑電話拒否）
- 0604：公-公接続
- 0606：公-専接続<V1.1>
- 0607：公-専一公接続<V1.1>
- 0616：遠隔設定操作（PB 保守）<V1.1>
- 0920：メールサービス<V1.2>
- 1401：VOIP 内線個別着信

<注意事項>

- 注1. 2000未満のSC番号を設定することは出来ません。
- 2. i・ナンバー着信時の着信先の設定は、着信形式（データ220）にて行います。（本設定で割り付けたSC番号に対して着信形式を設定します）

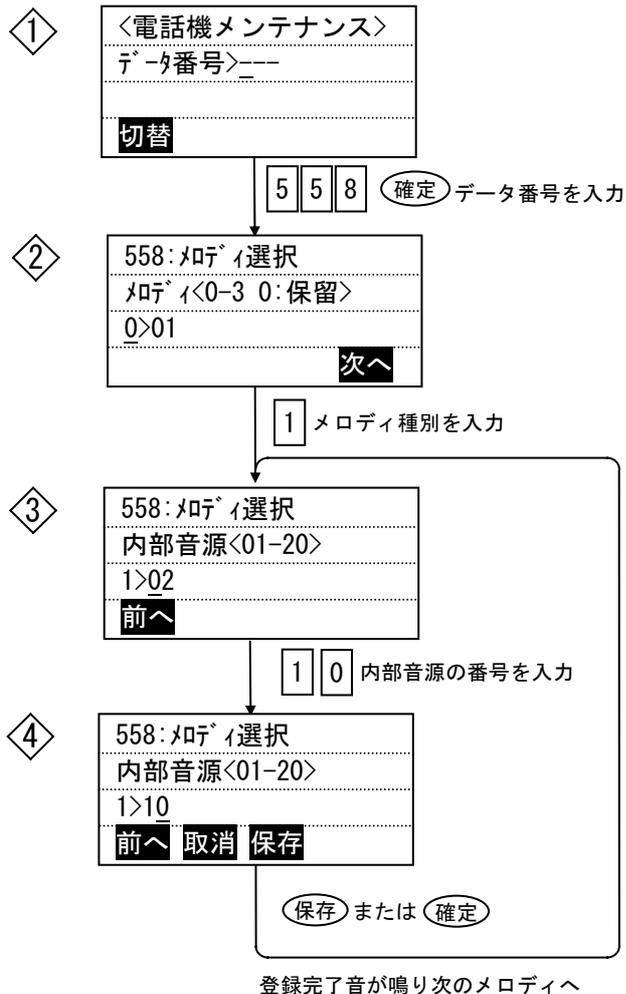
データ番号	メロディ選択	バージョン	V1.0~
558		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

各種メロディとして扱う音源を設定する。(3種類の着信メロディと保留メロディを、20種類の内部音源から設定できる。)

<操作例>

メロディ1に内部音源10を設定します。



「初期値」

呼種別	10キー	リング (鳴動インタ)
保留メロディ	01	内部音源1
メロディ1	02	内部音源2
メロディ2	03	内部音源3
メロディ3	04	内部音源4

「キー操作とデータ」

メロディ種別

10キー	データ内容
0	保留メロディ
1	メロディ1
2	メロディ2
3	メロディ3

内部音源

保留/メロディ1~3に設定する内部音源(01~20)を10キーで設定します。  
保留メロディの場合、指定する内部音源の範囲は「1~10、17~20」となります。

2  
3  
4

「関連機能番号」

- 0202: ダイレクト・グループ・ライン (DGL)
- 0203: MSA 着信
- 0207: 外線別着信音選択
- 0208: 発番号別着信音選択
- 0217: PBX ダイアルイン
- 0218: 着番号 DID
- 0219: i・ナンバー
- 0303: 保留メロディ
- 0304: 外部保留音
- 0423: 着信音選択

<注意事項>

各内部音源番号の曲名は以下の通りになります。(17~20はユーザメロディ)

内部音源番号	曲名(固定メロディ)	内部音源番号	曲名(固定メロディ)	内部音源番号	曲名(ユーザメロディ)
01	愛の挨拶	09	組曲「惑星」の木星	17	ユーザメロディ1
02	さくら	10	カノン	18	ユーザメロディ2
03	夏を抱きしめて	11	黒電話	19	ユーザメロディ3
04	秋桜	12	ステーション	20	ユーザメロディ4
05	Everything	13	ハーブ	-	-
06	花	14	朝	-	-
07	世界に1つだけの花	15	ネクストステージ	-	-
08	ニューヨーク・シティ・セレナーデ	16	琴	-	-

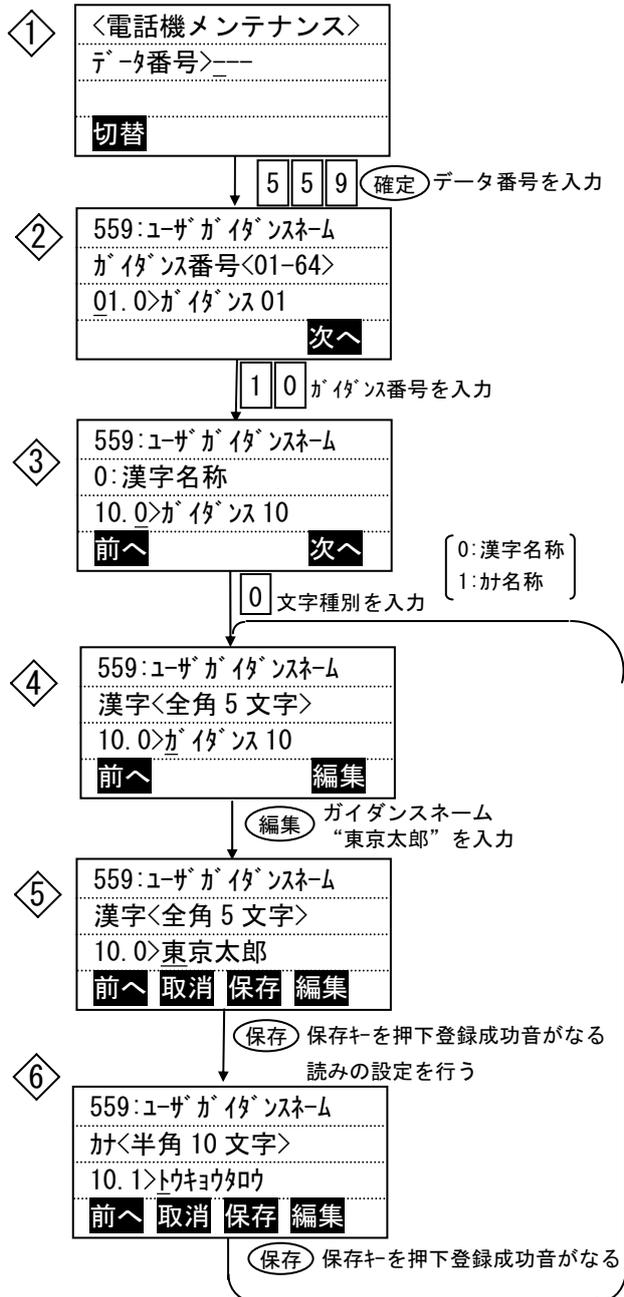
データ番号	ユーザガイドンスネーム	バージョン	V1.0~
559		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

各種ユーザガイドンスに名称を登録することができる。

<操作例>

ユーザガイドンスネーム 02 に“東京太郎”を登録します。



「初期値」漢字名称／カナ名称共通

10 キー	ユーザガイドンス設定範囲
1	ガイドンス01
2	ガイドンス02
:	:
63	ガイドンス63
64	ガイドンス64

「キー操作とデータ」

ユーザガイドンス設定範囲

10 キー	ユーザガイドンス設定範囲
-	01~64

漢字/かな選択

10 キー	データ内容
0	漢字名称
1	かな名称

漢字名称

10 キー	データ内容
全角	全角 5 文字

カナ名称

10 キー	データ内容
半角	半角 10 文字

「関連機能番号」

0424: ユーザガイドンス録音<V1.1>

<注意事項>

- 注1. 設定された機能は、録音ガイドンスを使用できません。
- 2. 漢字/かな名称ともに削除しますと「ガイドンスxx」という初期名称に戻ります。

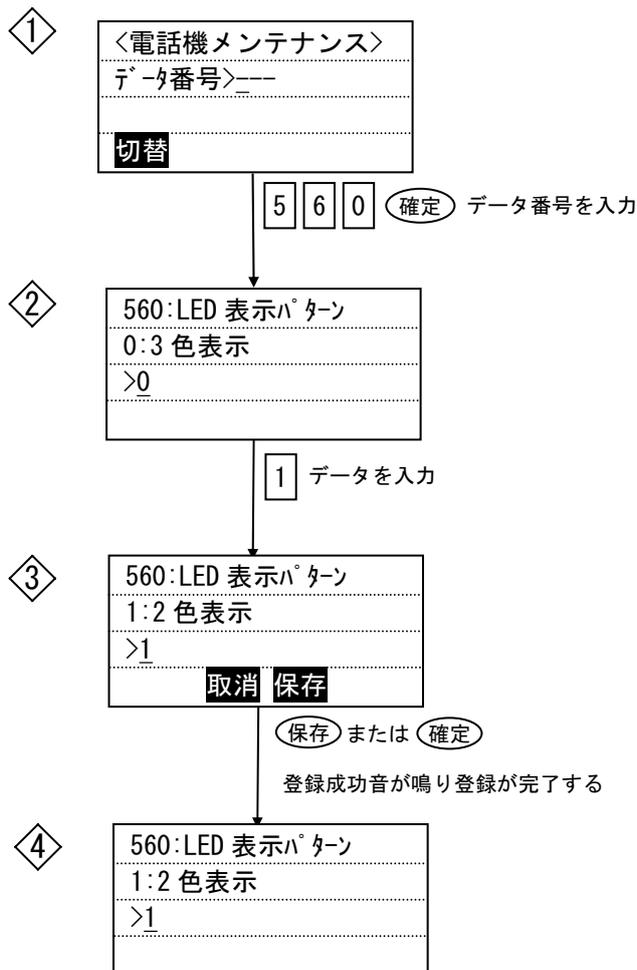
データ番号	LED 表示パターン	バージョン	V1.4~
560		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

オートダイヤルボタンのLEDの表示パターンを、赤・緑・橙の3色パターンと赤・緑の2色パターンとで選択できます。

<操作例>

LED表示パターンを2色表示に変更します。



「初期値」

10 キー	LED 表示
0	3 色表示

「キー操作とデータ」

LED 表示パターン

10 キー	データ内容
0	3 色表示
1	2 色表示



「関連機能番号」

0705 : 外線状態 3 色/2 色表示

<注意事項>

注1 設定変更後にLED表示は即時反映しません。次のLED更新タイミングから表示更新します。

このページは白紙になります。

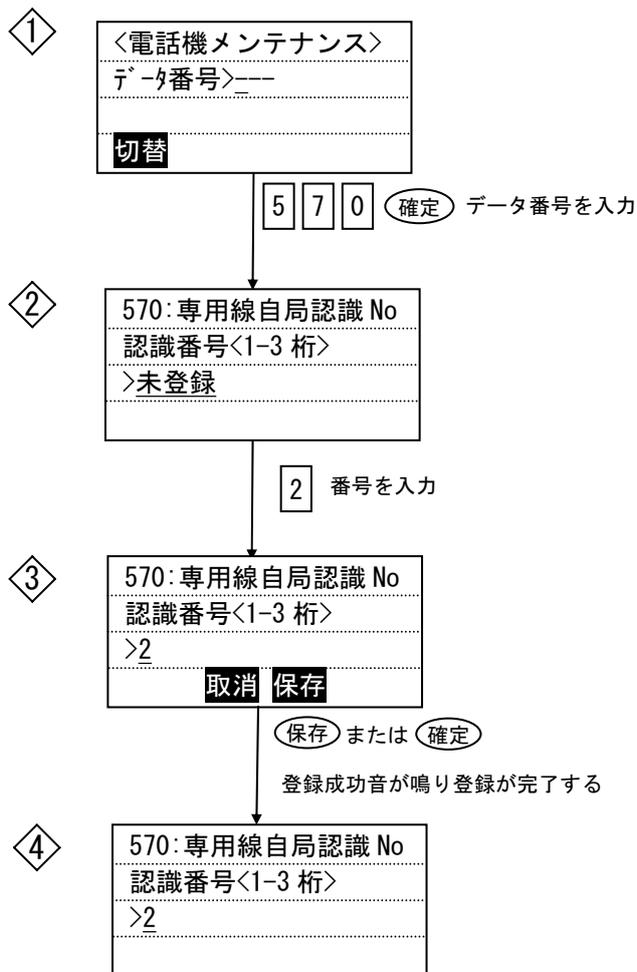
データ番号	専用線接続時の自局認識番号	バージョン	V1.1~
570		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

データ番号 572 において自システム番号有りの時、自局の局番号（1~3桁）を設定する。

<操作例>

自局認識番号を 2 に設定します。



「初期値」

10 キー	自局認識番号
—	未登録

「キー操作とデータ」

- ② 自局認識番号  
③ 自局認識番号（1~3桁）を 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

- 0602：専用線接続<V1.1>  
0603：専用線閉番号接続<V1.1>

<注意事項>

注1. 自局認識番号は1~3桁で設定できます。

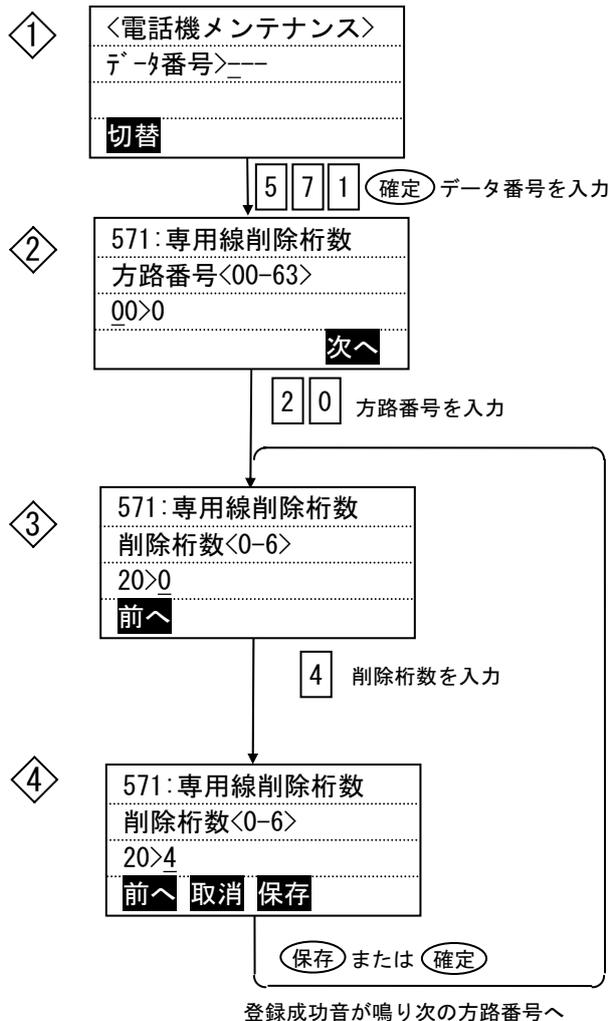
データ番号	専用線方路別削除桁数	バージョン	V1.1~
571		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

専用線に発信する時、ダイヤルから削除される桁数を方路ごとに設定する。  
設定が0桁の場合、削除は行われない。

<操作例>

方路20の削除桁数を4桁に変更します。



「初期値」全方路共通

10キー	削除桁数
0	0桁(削除無し)

「キー操作とデータ」

- ② 方路番号、削除桁数  
③ 方路番号(00~63)および削除桁数(0~6桁)  
④ を10キーで指定します。

「関連機能番号」

- 0602:専用線接続<V1.1>  
0603:専用線閉番号接続<V1.1>

<注意事項>

- 注1. 方路番号は最大64設定できます。  
注2. 削除桁数は0~6桁で設定できます。  
注3. 特番を削除して送出する場合は、特番桁数を設定します。

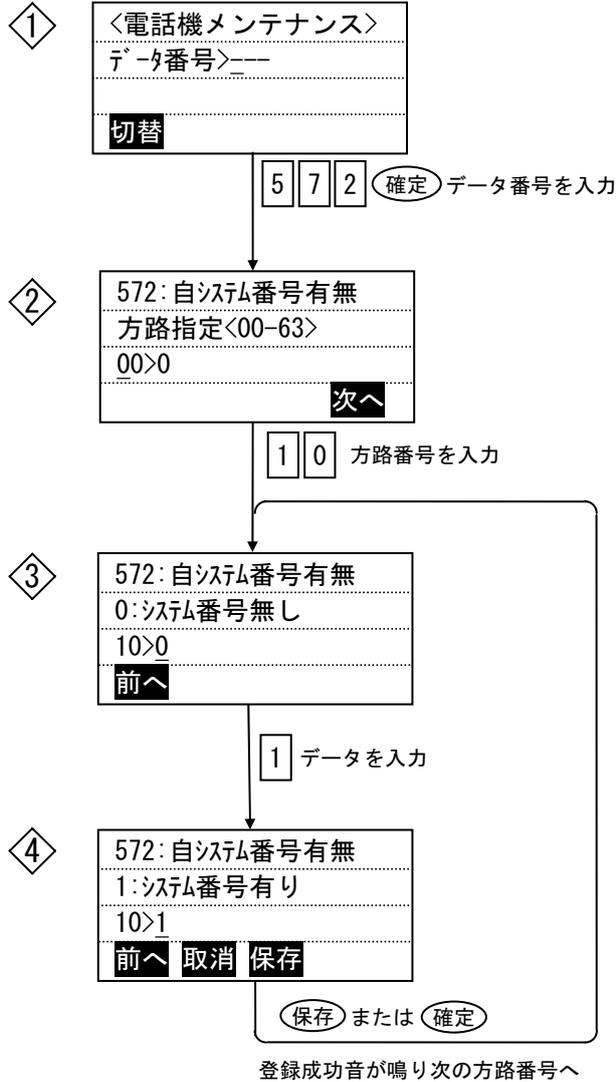
データ番号	方路別自システム番号有無	バージョン	V1.1~
572		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

方路ごとに、自システム番号の有無を設定できる。

<操作例>

方路番号 10 を自システム番号有りに設定します。



「初期値」全方路共通

10 キー	システム番号有無
0	システム番号無し

「キー操作とデータ」

方路番号

方路番号 (00~63) を、10 キーで入力します。

システム番号有無

10 キー	データ内容
0	システム番号無し
1	システム番号有り

②

③

「関連機能番号」

0602 : 専用線接続<V1.1>

0603 : 専用線閉接続<V1.1>

<注意事項>

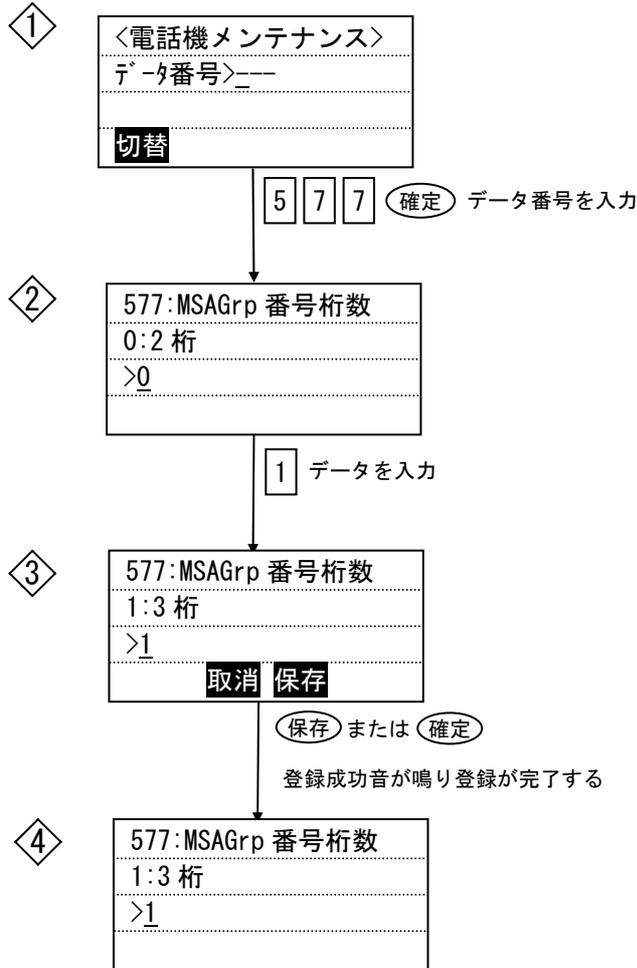
データ番号	MSA グループ番号桁数	バージョン	V1.7~
577		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

MSA グループ番号の運用桁数を設定する。

<操作例>

MSA グループ番号を 3 桁に変更します。



「初期値」

10 キー	MSA グループ番号桁数
0	2 桁

「キー操作とデータ」

MSA グループ番号桁数

10 キー	データ内容
0	2 桁
1	3 桁

②

③

「関連機能番号」

0203 : MSA 着信

<注意事項>

このページは白紙になります。

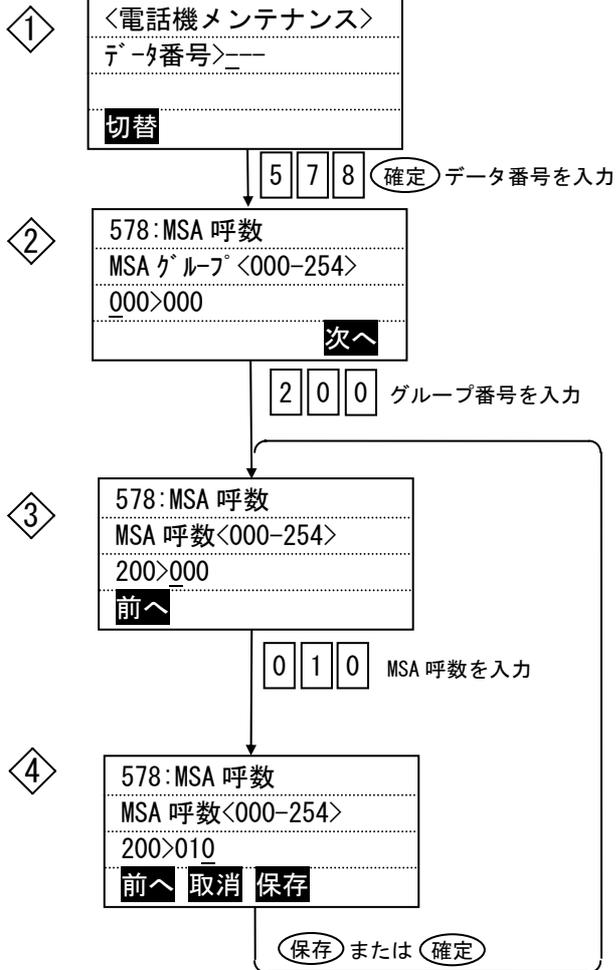
		バージョン	V1.0~
データ番号	MSA 呼数	データ更新条件	システム
578			

<データ設定概要>

オートダイヤルボタンで使える MSA (マルチステーションアクセス) 着信可能呼数を、グループ番号ごとに指定する。

<操作例>

MSA グループ 200 の MSA 呼数を 10 に変更します。



登録成功音が鳴り次の MSA グループ番号へ

「初期値」全 MSA グループ共通

10 キー	MSA 呼数
MSA グループ 0~63	1
MSA グループ 64~254	0

- ② MSA グループ番号  
③ MSA 呼数  
④ MSA グループ番号 (000~254) および MSA 呼数 (000~255) をそれぞれ 10 キーで入力します。

「関連機能番号」

- 0113 : MSA ボタン回線捕捉
- 0203 : MSA 着信

<注意事項>

注 1. 全グループ合計で 255 呼まで設定可能です

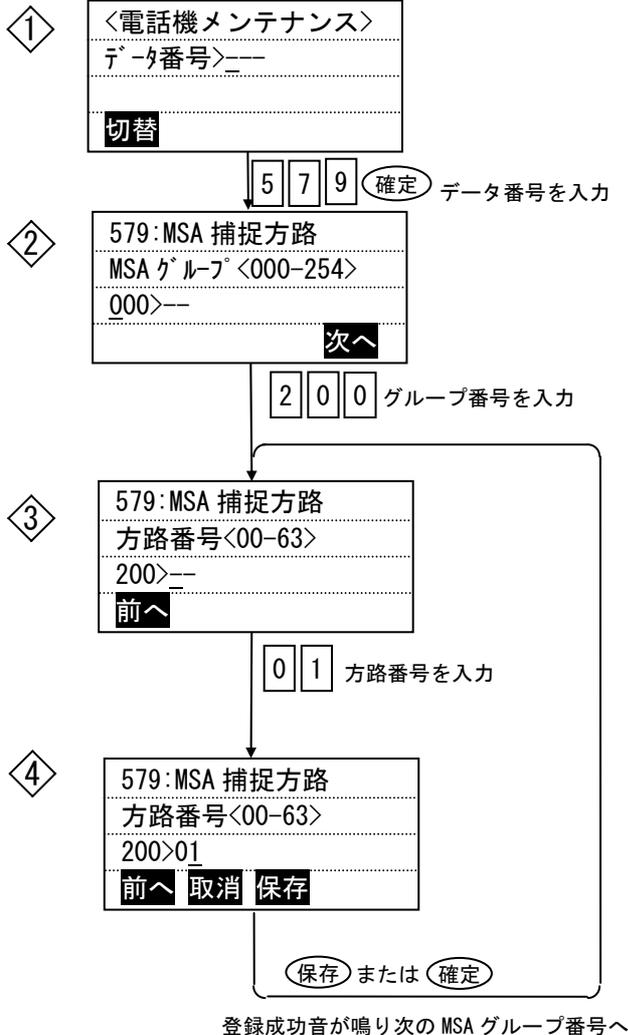
データ番号	MSA 捕捉方路	バージョン	V1.0~
579		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

MSA キー押下時に捕捉する方路を、方路番号で指定できる。

<操作例>

MSA グループ 200 の捕捉方路番号を 1 に設定します。



「初期値」全 MSA Grp 共通

10 キー	MSA 捕捉方路
--	未登録

「キー操作とデータ」

- ② MSA グループ番号、MSA 捕捉番号  
MSA グループ (000~254) および MSA 捕捉方路番号 (00~63) を 10 キーで指定します。
- ③

「関連機能番号」

0113 : MSA キー回線捕捉

<注意事項>

注1. MSA捕捉方路が「未登録」に設定してあると、そのグループのMSAボタンを押下しても発信できません

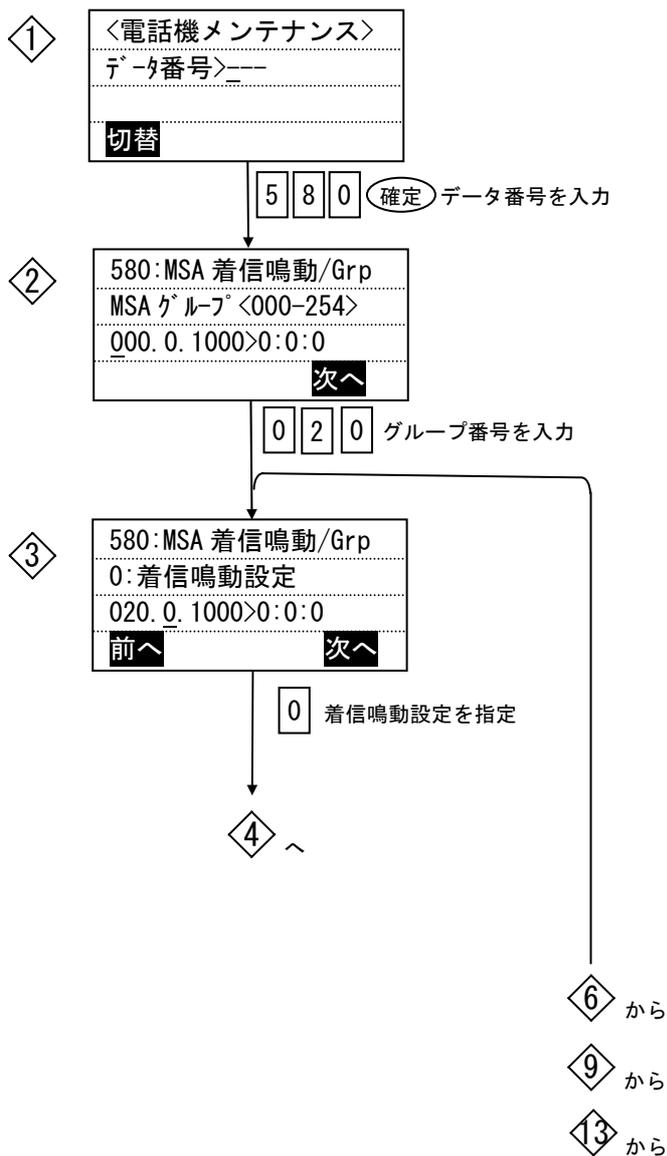
データ番号	MSA 着信鳴動/MSA グループ 1/4	バージョン	V1.0~
580		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

MSA 着信時に鳴動する内線を MSA グループ毎に指定する。  
MSA グループ毎の主テナントの指定や、MSA 着信時の着信音の選択も設定する。

<操作例>

MSA グループ 020 に対して内線番号 1003 の昼モード、夜モード 2 の着信鳴動を有り、主テナントをテナント 11、着信音をトーン 3 に設定します。



「初期値」

回線共通:内線若番号 0・1 番目

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード	1	鳴動有り
夜モード 1	1	鳴動有り
夜モード 2	1	鳴動有り

回線共通:その他各内線番号

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード	0	鳴動無し
夜モード 1	0	鳴動無し
夜モード 2	0	鳴動無し

「キー操作とデータ」

② MSA グループ  
MSA グループ (000~254) を 10 キーで指定します。

③ 着信鳴動、主テナント、着信音設定

10 キー	データ内容
0	着信鳴動設定
1	主テナント設定
2	着信音設定

「関連機能番号」

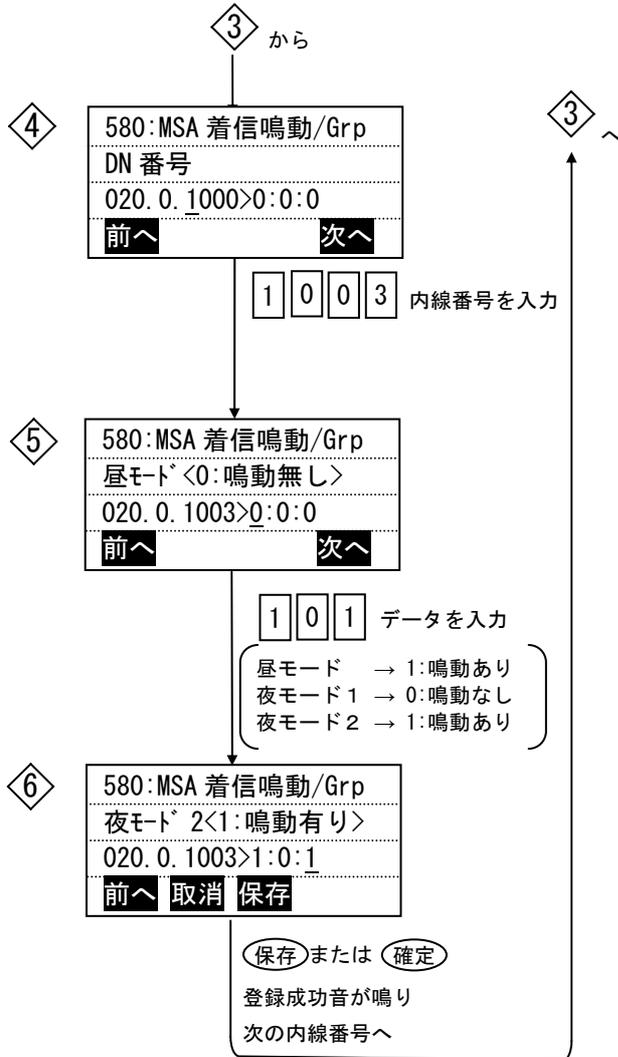
0203 : MSA 着信  
1315 : PS 一斉着信  
1402 : VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

データ番号	MSA 着信鳴動/MSA グループ 2/4	バージョン	V1.0~
580		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

4 **内線番号**  
鳴動させる内線番号1~4桁を10キーで指定します。

5 **MSA 着信鳴動**

10キー	データ内容
0	鳴動無し
1	鳴動有り

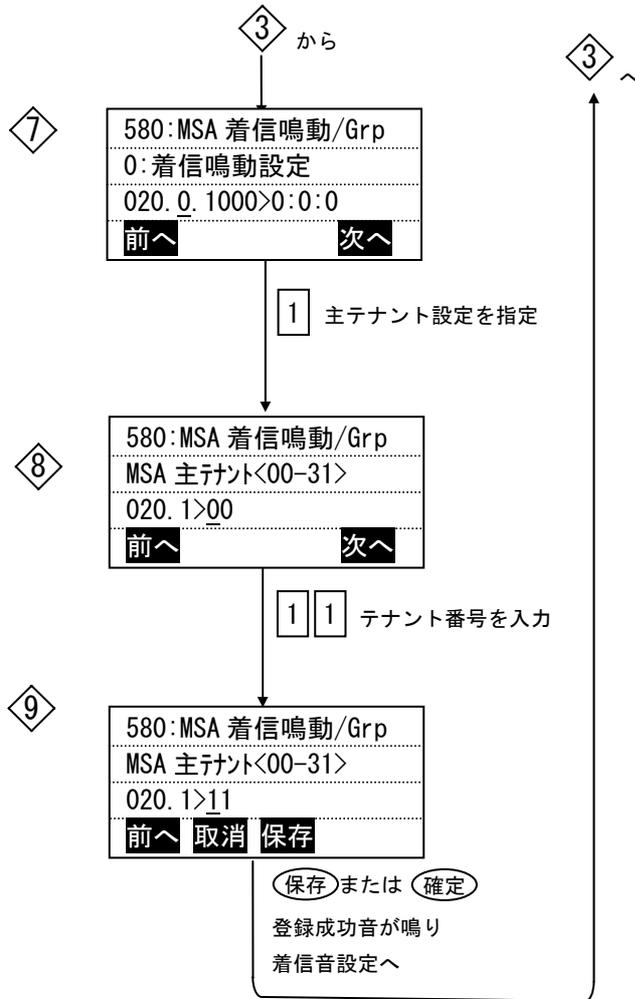
6 MSAグループ毎での各内線MSA着信鳴動有無を指定します。

<注意事項>

データ番号	MSA 着信鳴動/MSA グループ 3/4	バージョン	V1.0~
580		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

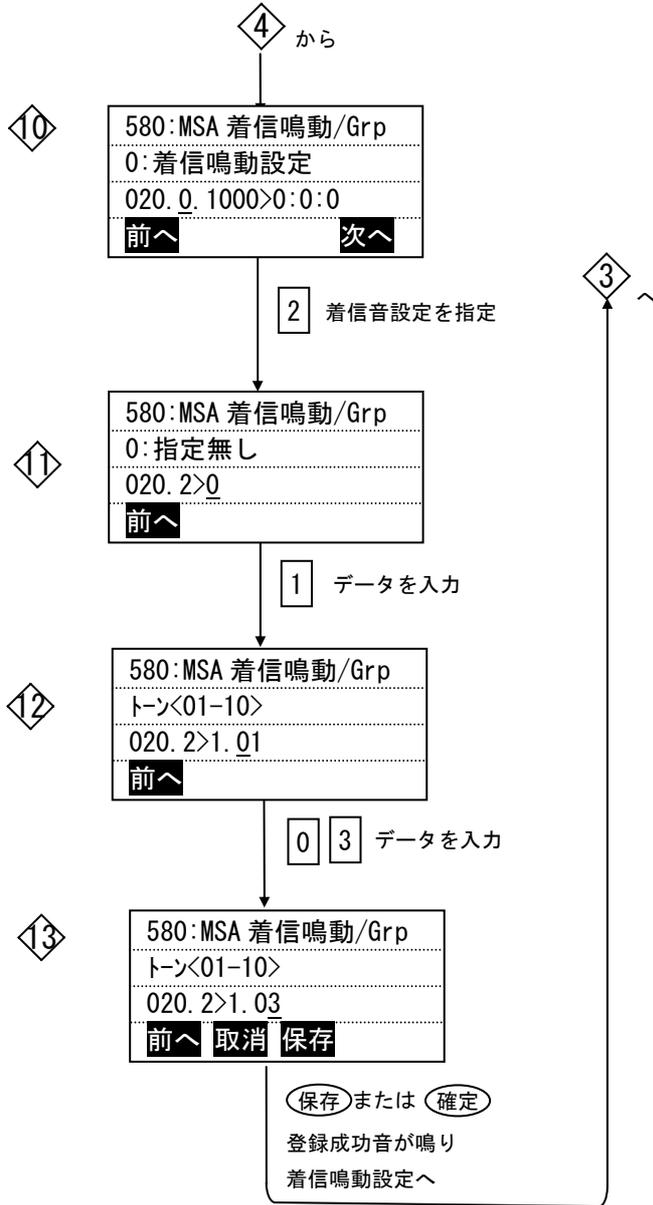
- ◇7 **MSA 主テナント**  
MSA グループの主テナントの番号 (000~254) を10キーで指定します。
- ◇8
- ◇9

<注意事項>

データ番号	MSA 着信鳴動/MSA グループ 4/4	バージョン	V1.0~
580		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

5

着信音種

10 キー	データ内容
0	指定無し
1	トーン
2	メロディ
3	外部音源

MSA グループ毎の着信音種を指定します。

6

トーン選択

トーン(01~10)、メロディ(0~3)、外部音源(1~3)を10キーで指定します。

7

8

<注意事項>

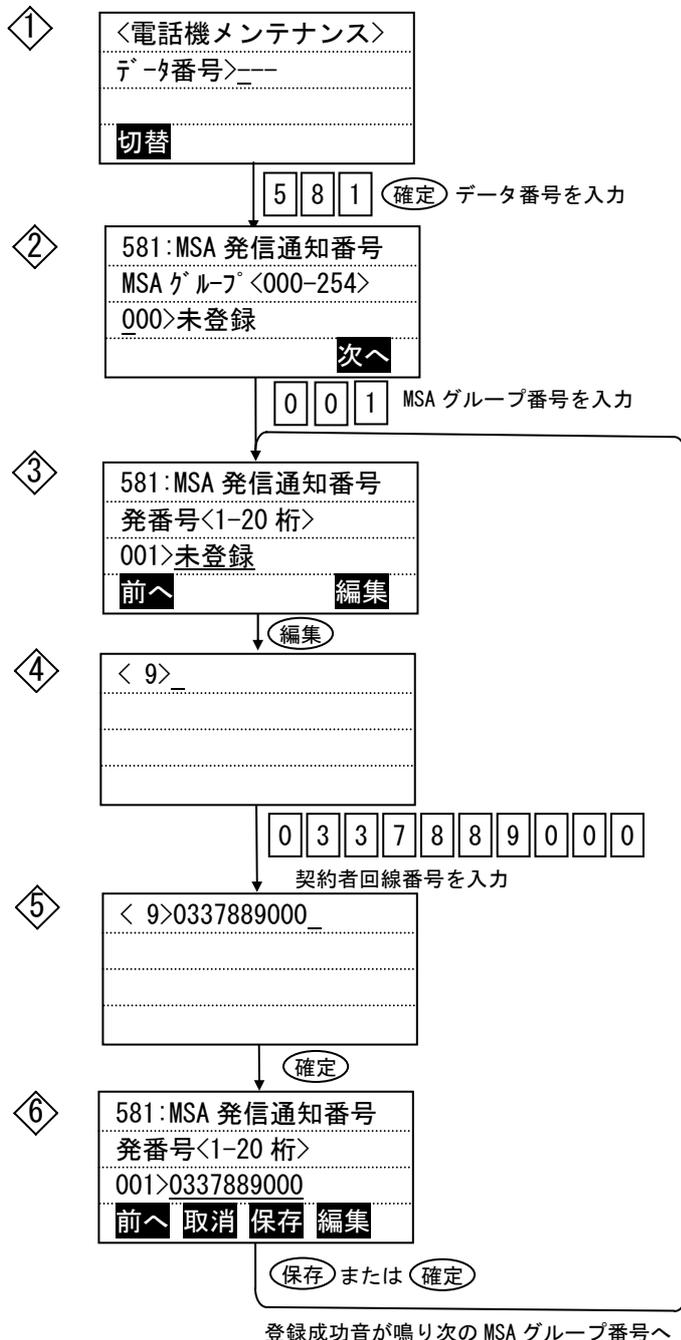
データ番号	MSA 発信通知番号	バージョン	V1.0~
581		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

MSA を捕捉して ISDN 回線/IP 回線で発信した時に、相手側へ通知されるダイヤル番号を設定する。

<操作例>

MSA グループ 001 の発信通知番号を「0337889000」に設定します。



「初期値」

10 キー	MSA 通知発番号
-	未登録

「キー操作とデータ」

- ② DGL グループ番号  
MSA グループ番号 (000~254) を 10 キーで入力します。
- ③ 通知発番号  
通知する発番号 (1~20 桁) を 10 キーで指定します。
- ④
- ⑤

「関連機能番号」

- 0113 : MSA ボタン回線捕捉
- 1003 : 発信者番号付加
- 1456 : IP回線発信者番号通知-SIP回線-

<注意事項>

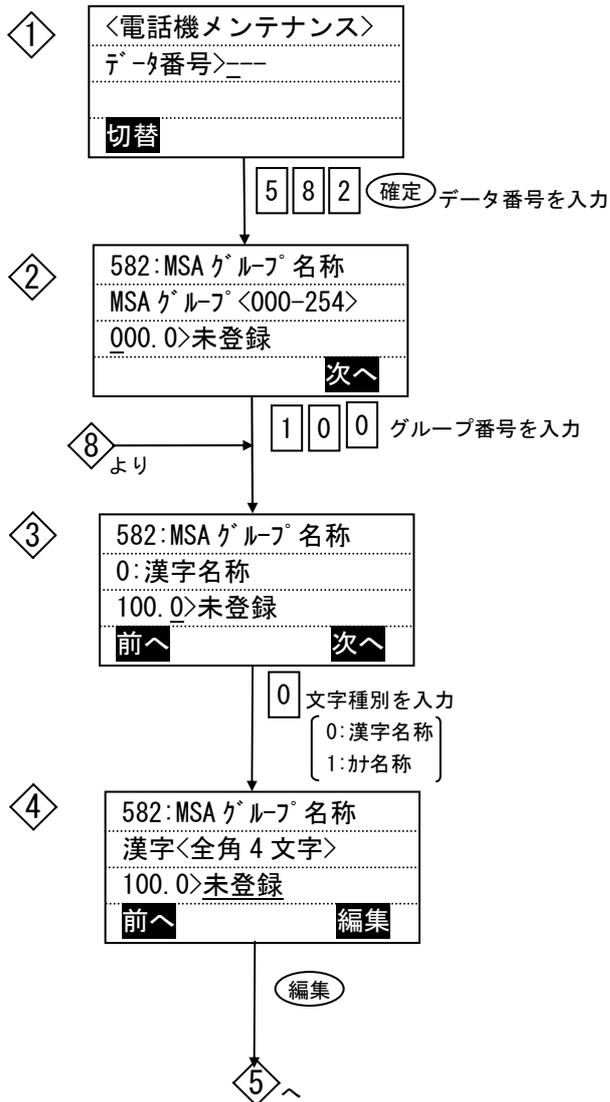
データ番号	MSA グループ名称 1/2	バージョン	V1.0~
582		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

MSA グループの名称を登録する。

<操作例>

MSA グループ 100 の名称に“東京”を登録します



「初期値」全 MSA グループ共通

	MSA グループ名称
漢字名称(全角4文字)	未登録
かな名称(半角8文字)	未登録

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	漢字名称
1	かな名称

「キー操作とデータ」

MSA グループ番号

MSA グループ番号 (000~254) を 10 キーで指定します。

②

「関連機能番号」

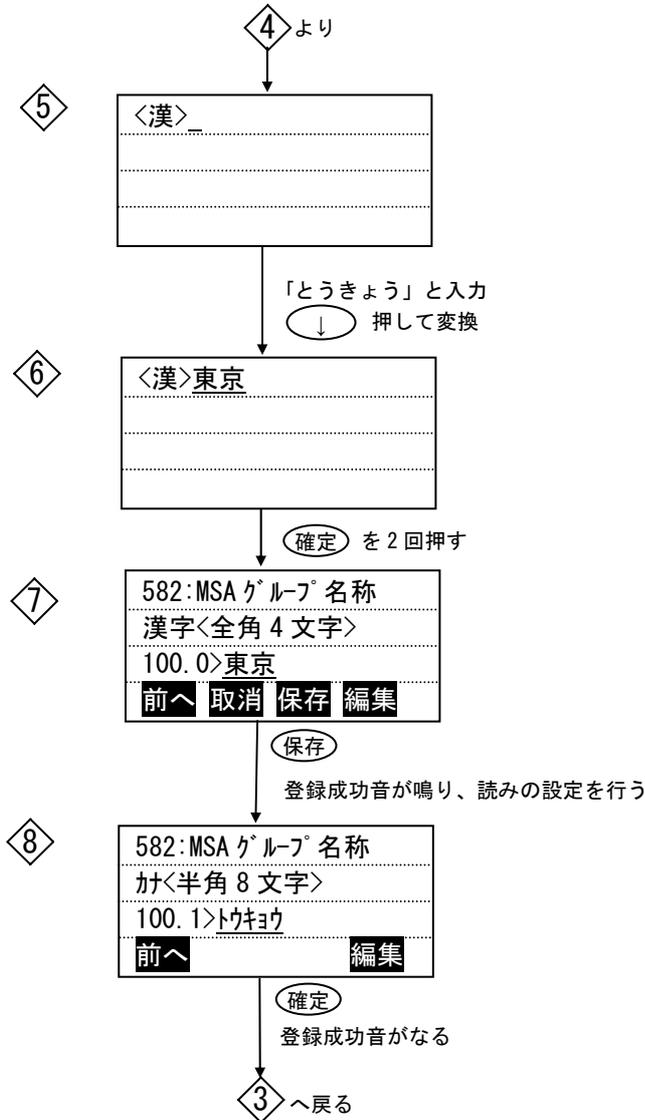
0203 : MSA 着信

<注意事項>

データ番号	MSA グループ名称 2/2	バージョン	V1.0~
582		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

④ **漢字名称**

MSA グループの漢字名称を全角 1~4 文字で入力します。

⑧ **かな名称**

MSA グループののかな名称を半角 1~8 文字で入力します。

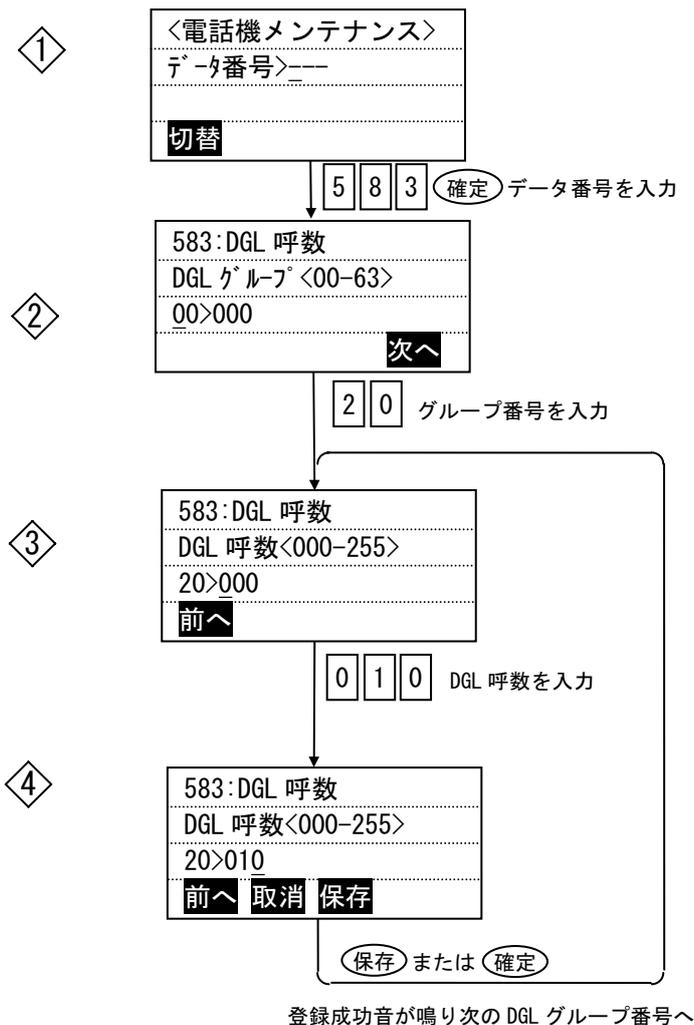
<注意事項>

データ番号	DGL 呼数	バージョン	V1.2~
583		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

オートダイヤルボタンで使える DGL (ダイレクトグループライン) 着信可能呼数を、グループ番号ごとに指定する。

<操作例>



「初期値」全 DGL グループ共通

10 キー	DGL 呼数
全 DGL グループ	1 呼

① 「キー操作とデータ」  
DGL グループ番号  
DGL 呼数  
② DGL グループ番号 (00~63) および DGL 呼  
③ 数 (000~255) をそれぞれ 10 キーで入力しま  
④ す。

「関連機能番号」

0202 : ダイレクト・グループ・ライン (DGL)

<注意事項>

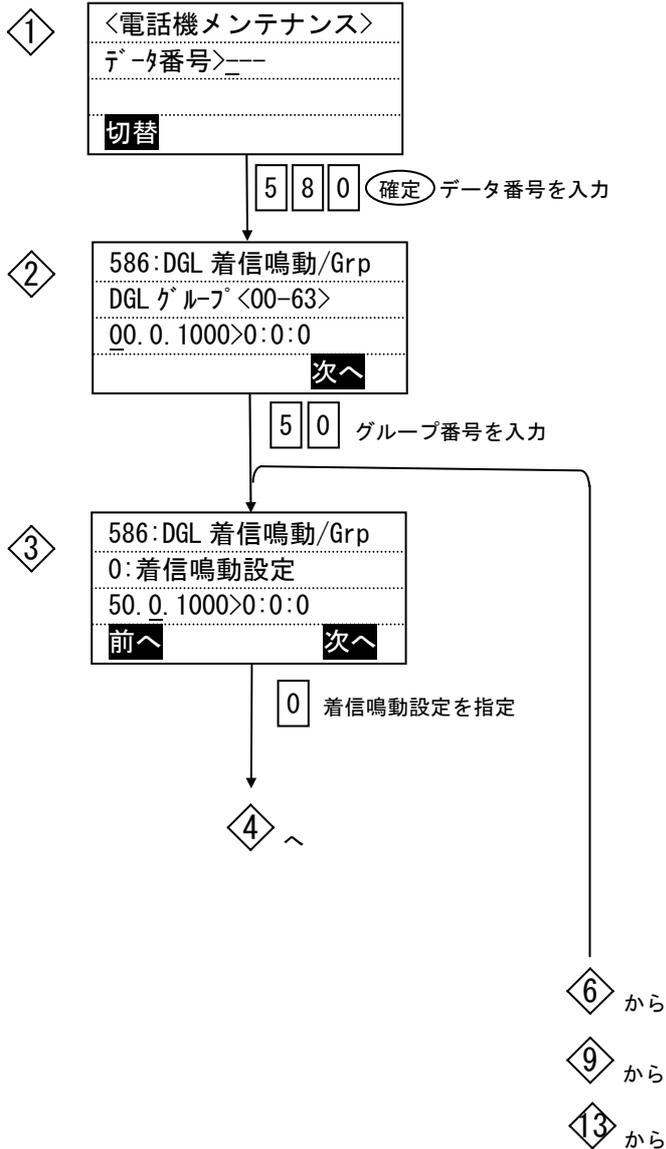
データ番号	DGL 着信鳴動/DGL グループ 1/4	バージョン	V1.0~
586		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

DGL 着信時に鳴動する内線を DGL グループ毎に指定する。  
DGL グループ毎の主テナントの指定や、DGL 着信時の着信音の選択も設定する。

<操作例>

DGL グループ 50 に対して内線番号 1003 の昼モード、夜モード 2 の着信鳴動を有り、主テナントをテナント 11、着信音をトーン 3 に設定します。



「初期値」

回線共通:内線若番号 0・1 番目

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード	1	鳴動有り
夜モード 1	1	鳴動有り
夜モード 2	1	鳴動有り

回線共通:その他各内線番号

	10 キー	外線着信鳴動
昼モード	0	鳴動無し
夜モード 1	0	鳴動無し
夜モード 2	0	鳴動無し

「キー操作とデータ」

**DGL グループ**

DGL グループ (00~63) を 10 キーで指定します。

**着信鳴動、主テナント、着信音設定**

10 キー	データ内容
0	着信鳴動設定
1	主テナント設定
2	着信音設定

②

③

「関連機能番号」

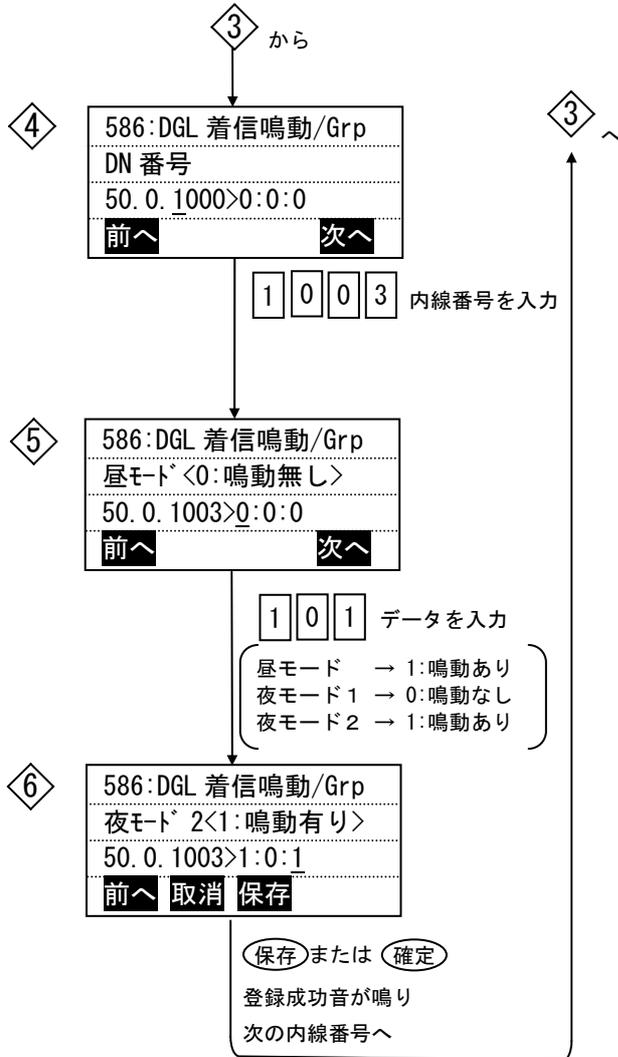
0202 : ダイレクト・グループ・ライン (DGL)  
1315 : PS 一斉着信  
1402 : VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

データ番号	DGL 着信鳴動/DGL グループ 2/4	バージョン	V1.0~
586		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

4 **内線番号**  
鳴動させる内線番号 1~4桁を 10 キーで指定します。

5 **DGL 着信鳴動**

10 キー	データ内容
0	鳴動無し
1	鳴動有り

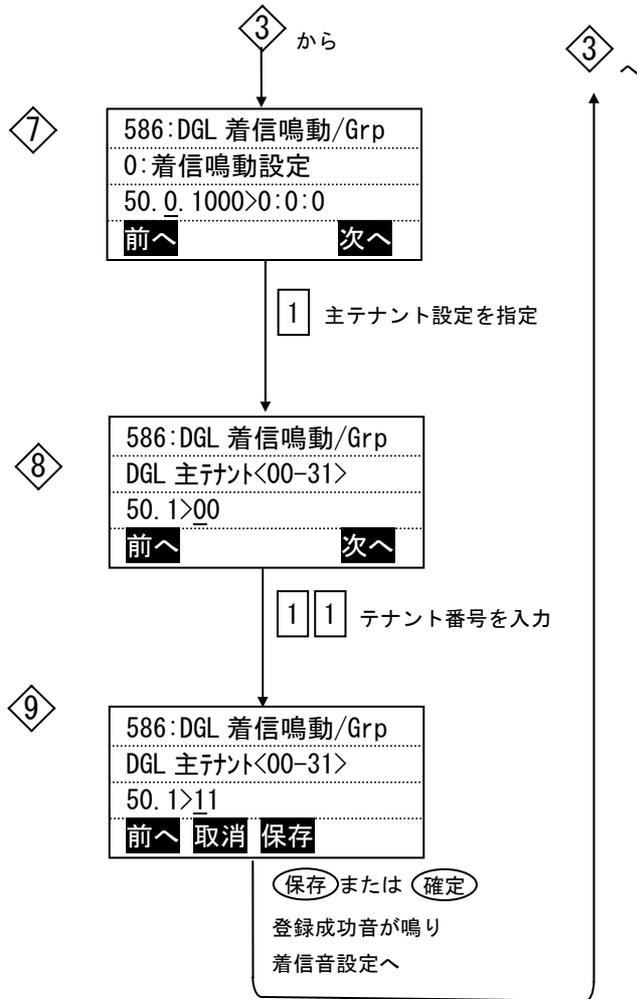
6 DGL グループ毎での各内線 DGL 着信鳴動有無を指定します。

<注意事項>

データ番号	DGL 着信鳴動/DGL グループ 3/4	バージョン	V1.0~
586		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

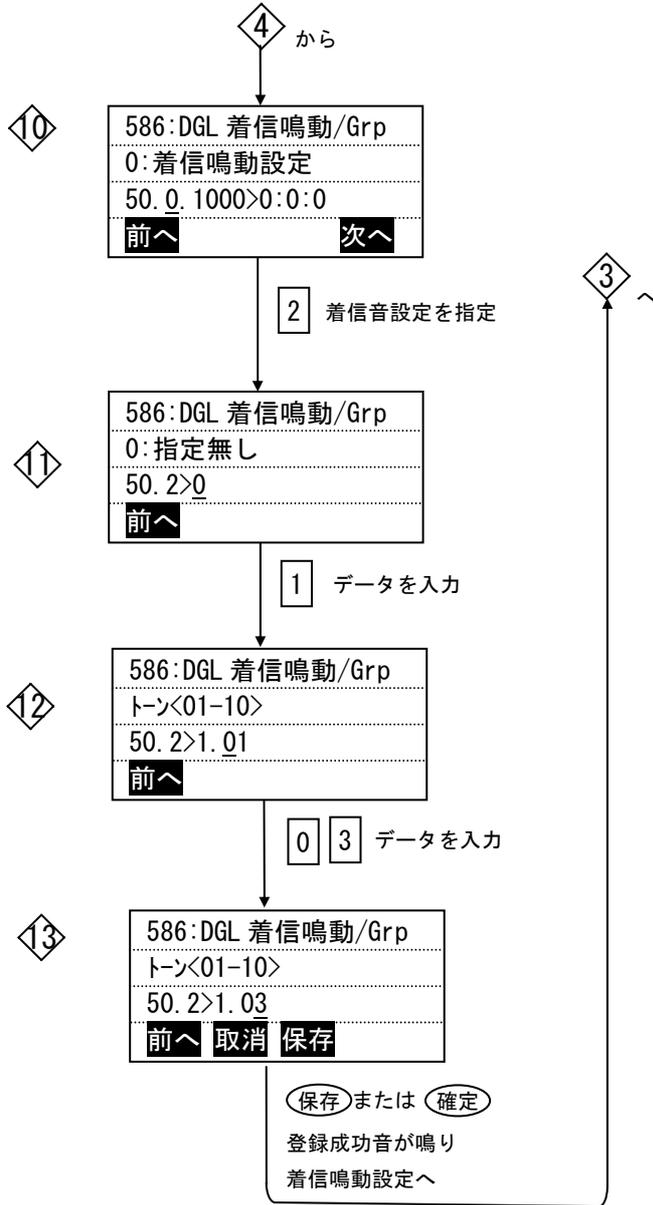
- 7 **DGL 主テナント**  
DGL グループの主テナントの番号 (00~63) を 10 キーで指定します。
- 8
- 9

<注意事項>

データ番号	DGL 着信鳴動/DGL グループ 4/4	バージョン	V1.0~
586		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

⑤

着信音種

10 キー	データ内容
0	指定無し
1	トーン
2	メロディ
3	外部音源

DGL グループ毎の着信音種を指定します。

⑥

トーン選択

トーン(01~10)、メロディ(0~3)、外部音源(1~3)を10キーで指定します。

⑦

⑧

<注意事項>

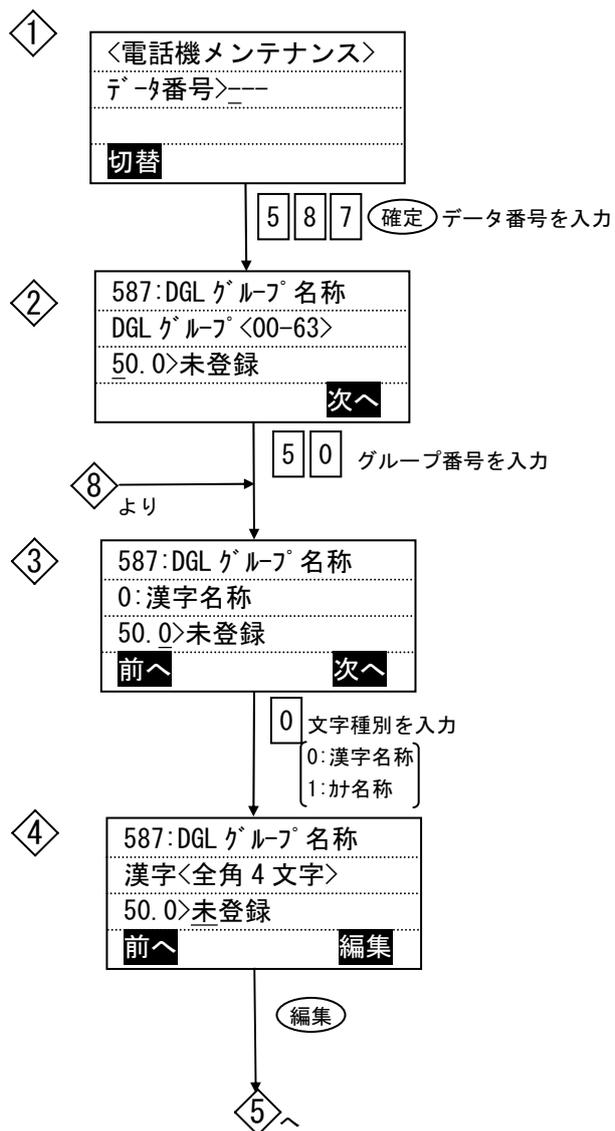
データ番号	DGL グループ名称 1/2	バージョン	V1.0~
587		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

DGL グループの名称を登録する。

<操作例>

DGL グループ 50 の名称に“目黒”を登録します



「初期値」全 DGL グループ共通

	DGL グループ名称
漢字名称(全角4文字)	未登録
かな名称(半角8文字)	未登録

③ 「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	漢字名称
1	かな名称

② 「キー操作とデータ」

DGL グループ番号

DGL グループ番号 (00~63) を 10 キーで指定します。

②

「関連機能番号」

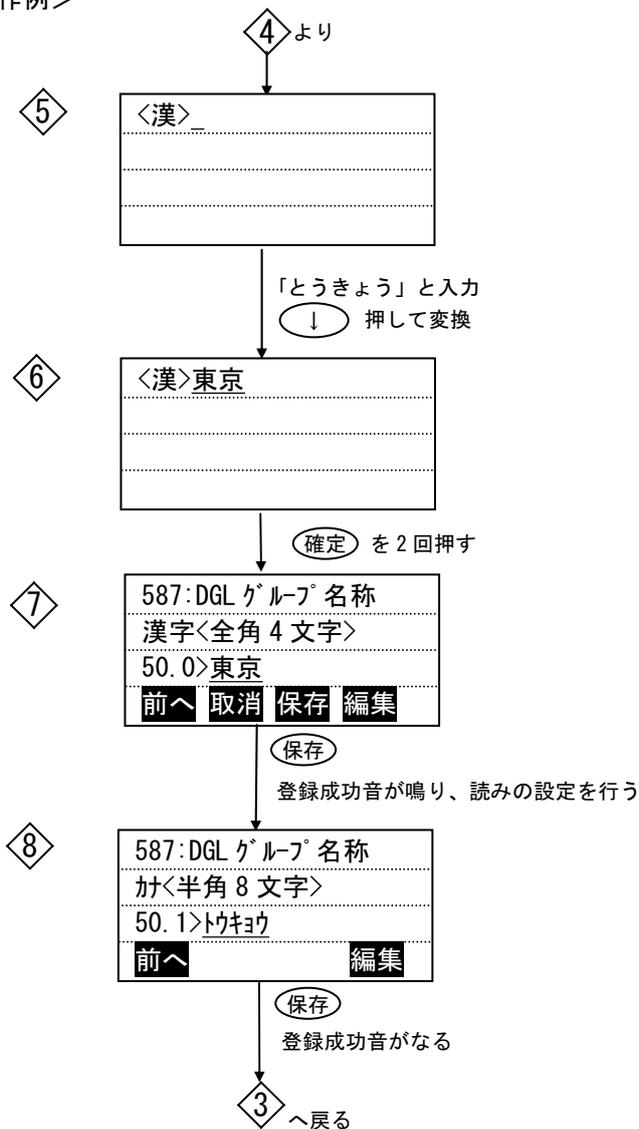
0202 : ダイレクト・グループ・ライン (DGL)

<注意事項>

データ番号	DGL グループ名称 2/2	バージョン	V1.0~
587		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

漢字名称

DGL グループの漢字名称を全角 1~4 文字で入力します。

かな名称

DGL グループののかな名称を半角 1~8 文字で入力します。

<注意事項>

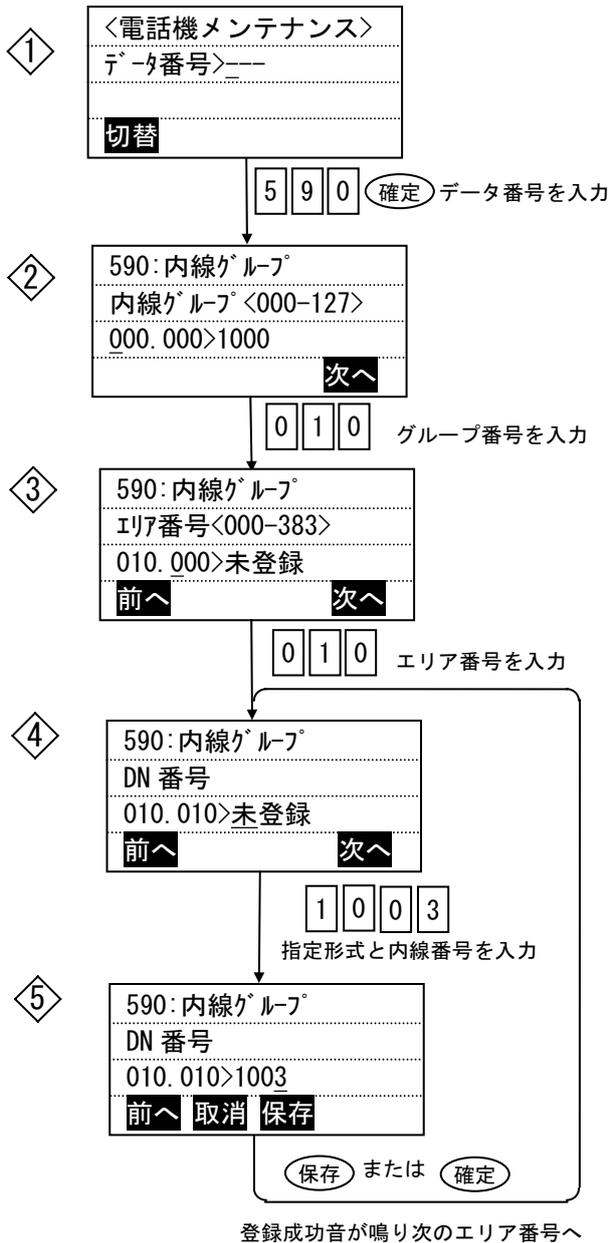
データ番号	内線グループ	バージョン	V1.0~
590		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

内線ごとに、内線グループを指定できる。

<操作例>

内線グループ番号 010 の登録エリア 010 に内線番号 2000 を設定します。



「初期値」全内線共通

10 キー	全内線
00	グループ 00

②

「キー操作とデータ」

グループ番号の指定

グループ番号 (000~127) を 10 キーで指定します。

③

エリア番号指定

エリア番号 (000~383) を 10 キーで指定します。

④

DN 指定

内線番号 (1~4 桁) を 10 キーで指定します。

⑤

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0405 : 内線代表
- 0409 : 内線グループ呼出 (音声)
- 0611 : ドアホン着信
- 1402 : VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

- 注1. 同じ内線グループに同じ内線番号を登録できません。
- 注2. 内線グループの子内線として親内線として設定されている内線番号を登録できません。(D612参照)

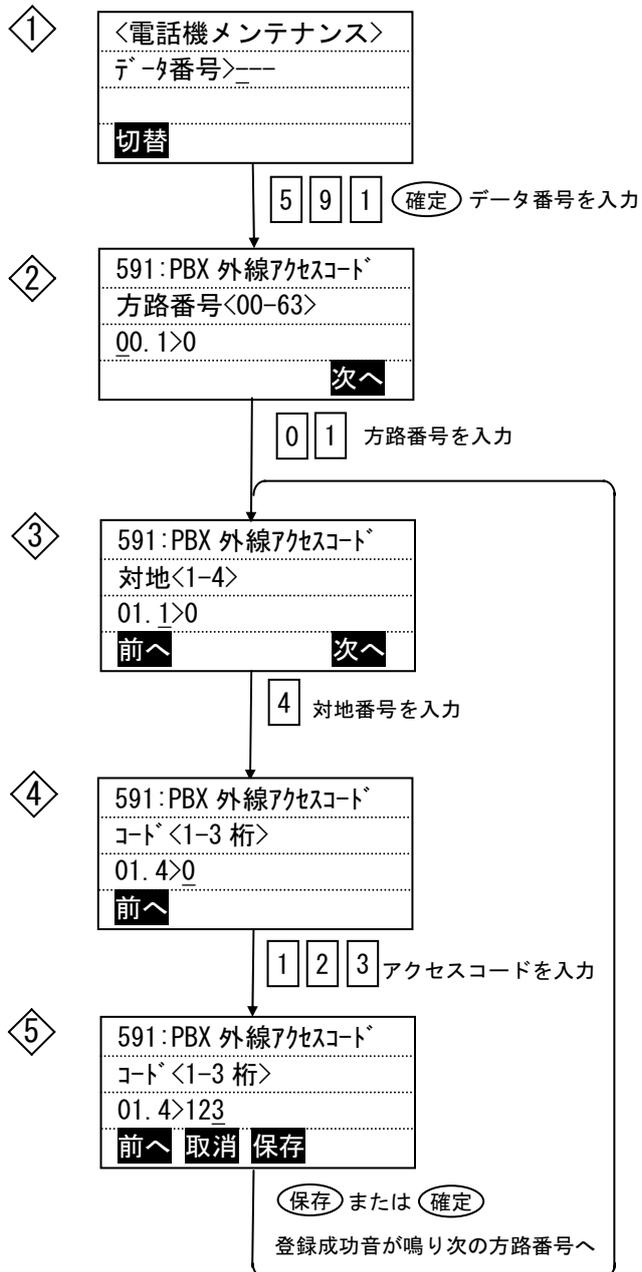
データ番号	PBX 外線アクセスコード	バージョン	V1.0~
591		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

PBX 収容外線で発信するとき、ダイヤルに自動付加される番号（アクセスコード）を1~3桁で設定します。

<操作例>

方路番号1の対地番号4をアクセスコード123に設定します。



「初期値」 全方路共通

10 キー	対地番号
-	1
10 キー	外線アクセスコード
-	0

「キー操作とデータ」

- ② 方路番号指定  
方路番号 (0~63) を 10 キーで入力します。
- ③ 対地番号指定  
対地番号 (1~4) を 10 キーで入力します。
- ④ PBX 外線アクセスコード  
PBX 外線アクセスコード (1~3 桁) を 10 キーで入力します。

「関連機能番号」

- 0103 : オートポーズ
- 0105 : リダイヤル/発信履歴
- 0106 : 着信履歴
- 0107 : ワンタッチダイヤル
- 0108 : 共通電話帳
- 0403 : 内線サービスクラス
- 0600 : 各種回線収容

<注意事項>

- 注1. PBX外線アクセスコードは方路毎に対地番号1~4で最大4コードの設定ができます。
- 2. 初期値は全方路エリア番号0のみアクセスコード0が設定されています。
- 3. アクセスコードは1~3桁 (0~999,000) で設定できます。

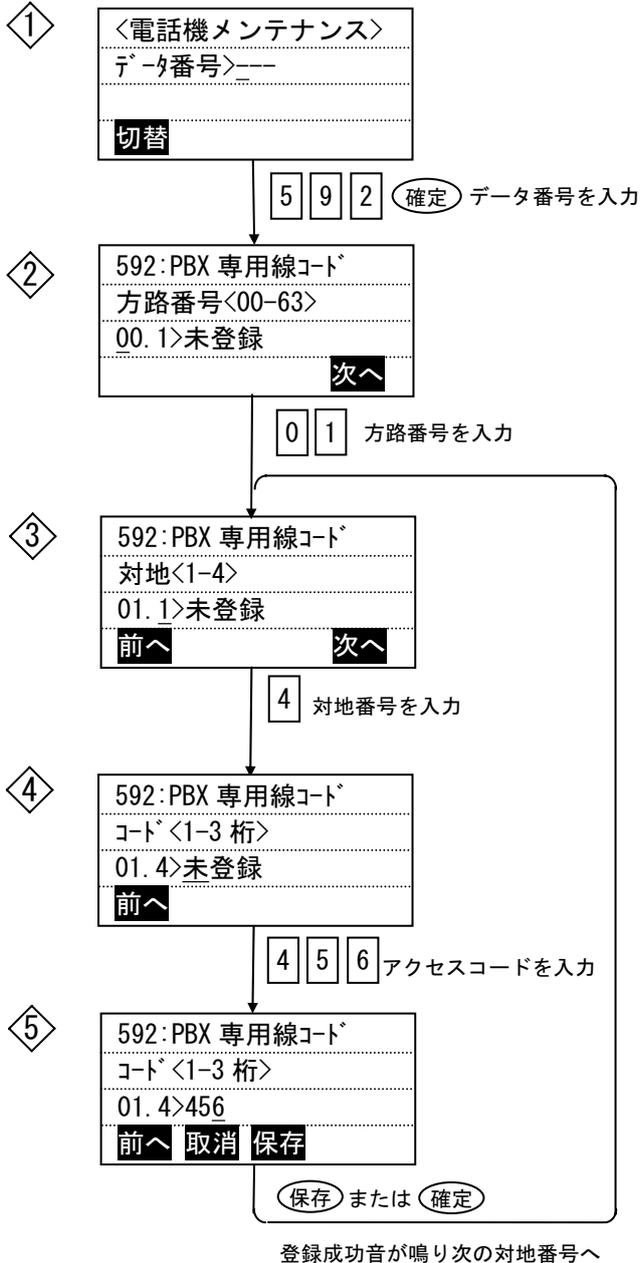
データ番号	PBX 専用線アクセスコード	バージョン	V1.1~
592		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

PBX 専用線で発信するとき、ダイヤルに自動付加される番号（アクセスコード）を1~3桁で設定する。

<操作例>

方路番号1の対地番号4をアクセスコード456に設定します。



「初期値」 全方路対地番号共通

10 キー	PBX 専用線アクセスコード
-	未登録

- ② 「キー操作とデータ」  
方路番号指定、  
方路番号（0~63）を10キーで入力します。
- ③ 対地番号指定  
対地番号（1~4）を10キーで入力します。
- ④ PBX 外線アクセスコード  
PBX 外線アクセスコード（1~3桁）を10キーで入力します。
- ⑤

「関連機能番号」  
0103：オートポーズ  
0600：各種回線収容

<注意事項>

- 注1. PBX専用線アクセスコードは方路毎に対地番号1~4で最大4コードの設定ができます。
- 2. アクセスコードは1~3桁（0~999,000）で設定できます。

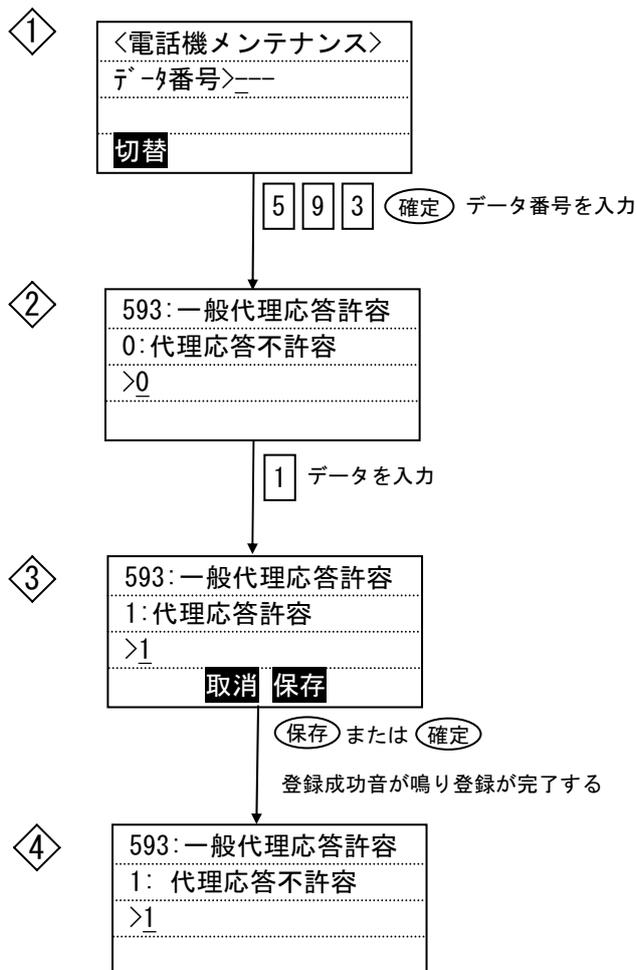
データ番号	一般着信代理応答許容	バージョン	V1.0~
593		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

一般着信または DGL/MSA 着信の時、他の端末の代理応答を許容するかを設定する。

<操作例>

代理応答を不許容から許容に変更します。



「初期値」

10 キー	代理応答許容
0	代理応答不許容

「キー操作とデータ」

10 キー	データ内容
0	代理応答不許容
1	代理応答許容

「関連機能番号」

- 0224 : 代理応答
- 0225 : テナント指定代理応答
- 0611 : ドアホン着信

<注意事項>

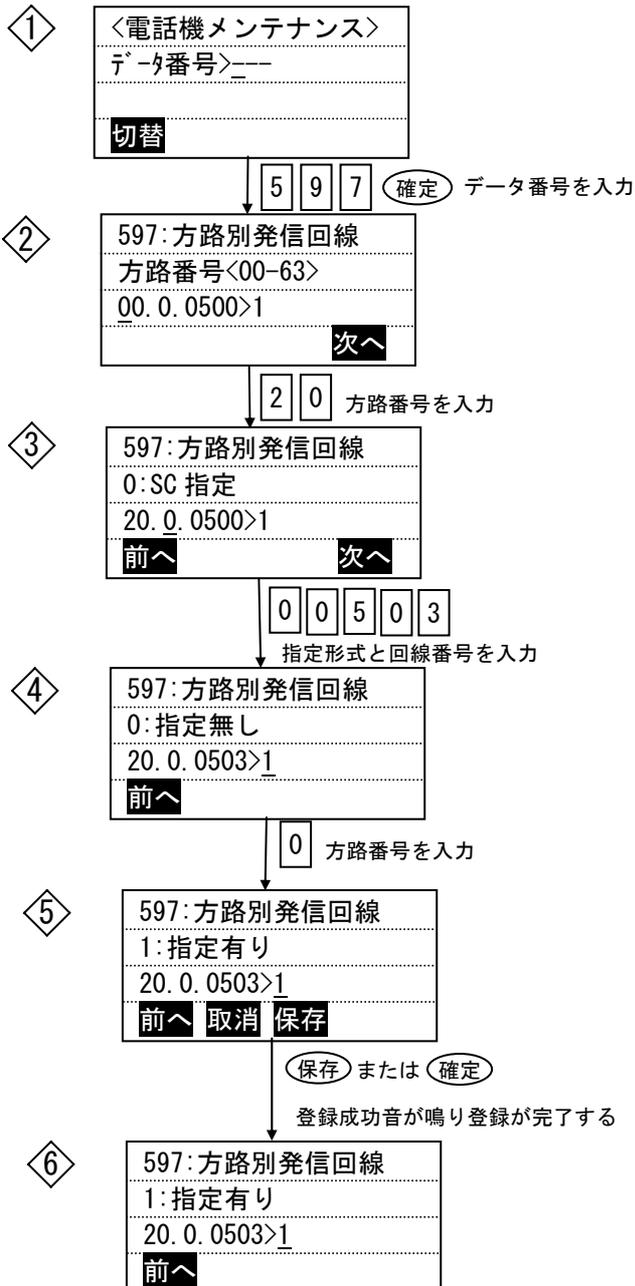
データ番号	方路別発信可能回線	バージョン	V1.0~
597		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

方路番号毎に、発信する回線の収容位置 SC、もしくはインターフェースグループを指定できる。

<操作例>

方路番号 20 に発信する回線の収容位置に SC0503 を指定します。



「初期値」全 SC 番号

10 キー	発信テナント
1	指定有り

「キー操作とデータ」

方路番号

方路番号 (00~63) を 10 キーで入力します。

SC 指定

10 キー	データ内容
0	SC 指定

発信回線指定

発信する回線の収容位置 SC(0100~1899/3000~3191) を 10 キーで入力します。

発信テナント指定

10 キー	データ内容
0	指定無し
1	指定有り

④  
⑤

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0602 : 専用線接続<V1.1>
- 0603 : 専用線閉番号接続<V1.1>
- 0604 : 公-公接続
- 0605 : 専-公接続<V1.1>
- 0606 : 公-専接続<V1.1>
- 0607 : 公-専-公接続<V1.1>
- 0936 : 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

- 注1. 初期値は方路番号0については全回線指定有りになっています。
- 注2. 方路番号は最大64設定できます。
- 注3. 発信回線指定時、アナログ回線、ISDN回線、IP回線、アナログ専用線を指定する場合は、SC単位で設定して下さい。

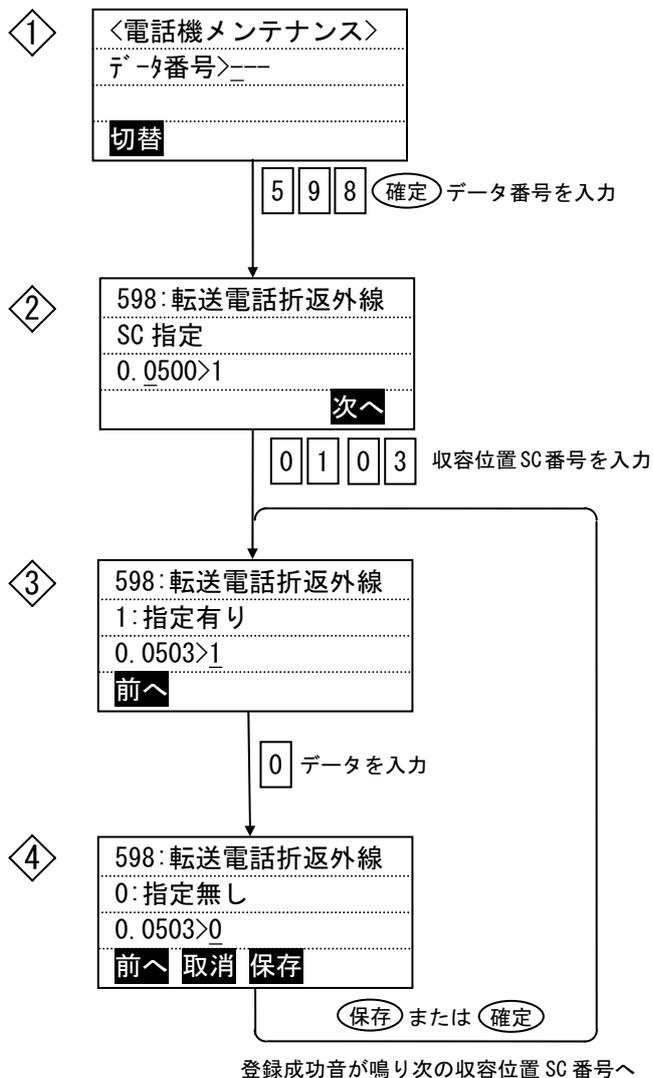
データ番号	転送電話折返外線	バージョン	V1.0~
598		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

転送電話を接続する時に使用する外線（折返し外線）を設定する。

<操作例>

収容位置 SC:0103 の回線を折返し外線指定無しに設定します。



「初期値」

10 キー	折返し外線
1	指定有り

「キー操作とデータ」

SC 指定

10 キー	データ内容
0	SC 指定

折返し外線 SC

折返し外線の収容位置 SC (0100~1899/3000) を 10 キーで入力します。

折返し外線指定

10 キー	データ内容
0	指定無し
1	指定有り

「関連機能番号」

- 0310 : 不在転送
- 0311 : 話中転送
- 0312 : 無応答転送
- 0936 : 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

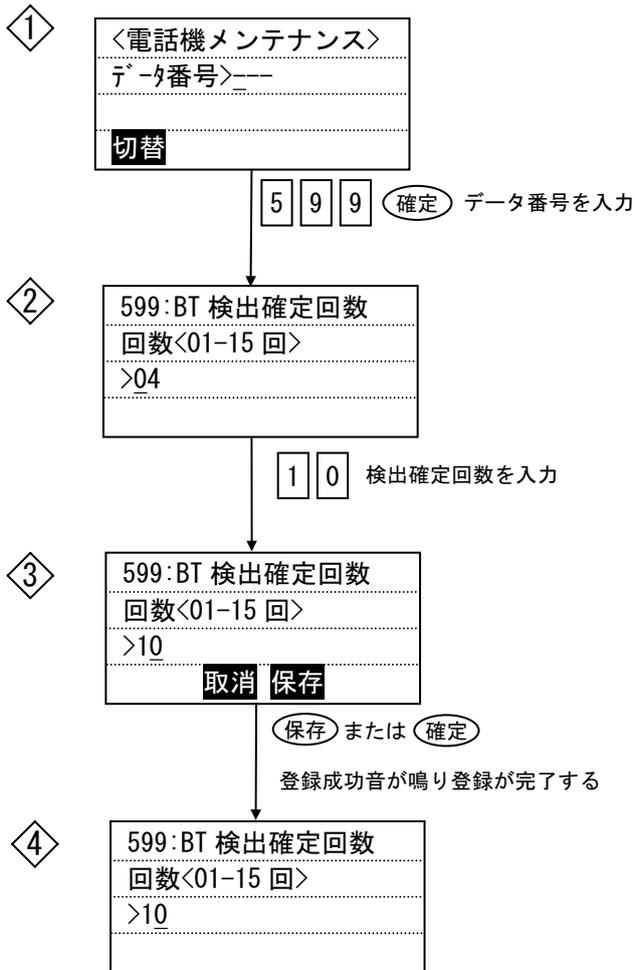
データ番号	BT 検出確定回数	バージョン	V1.0~
599		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

付加番号 DID<sup><V1.1></sup>、転送電話<sup><V1.1></sup>、会議通話<sup><V1.1></sup>で、指定した回数だけ外線からの BT を検出すると、回線を自動解放する様設定する。

<操作例>

BT 検出確定回数を 10 回に設定します。



「初期値」

10 キー	確定回数
04	4 回

「キー操作とデータ」

確定回数

BT 検出確定回数 (01~15) を 10 キーで指定します。  
15 に設定すると無制限になります。

②

③

「関連機能番号」

0618 : BT 検出外線切断

<注意事項>

注1. BT検出回数は最大14回まで、15に設定すると無制限に検出する設定にできません。

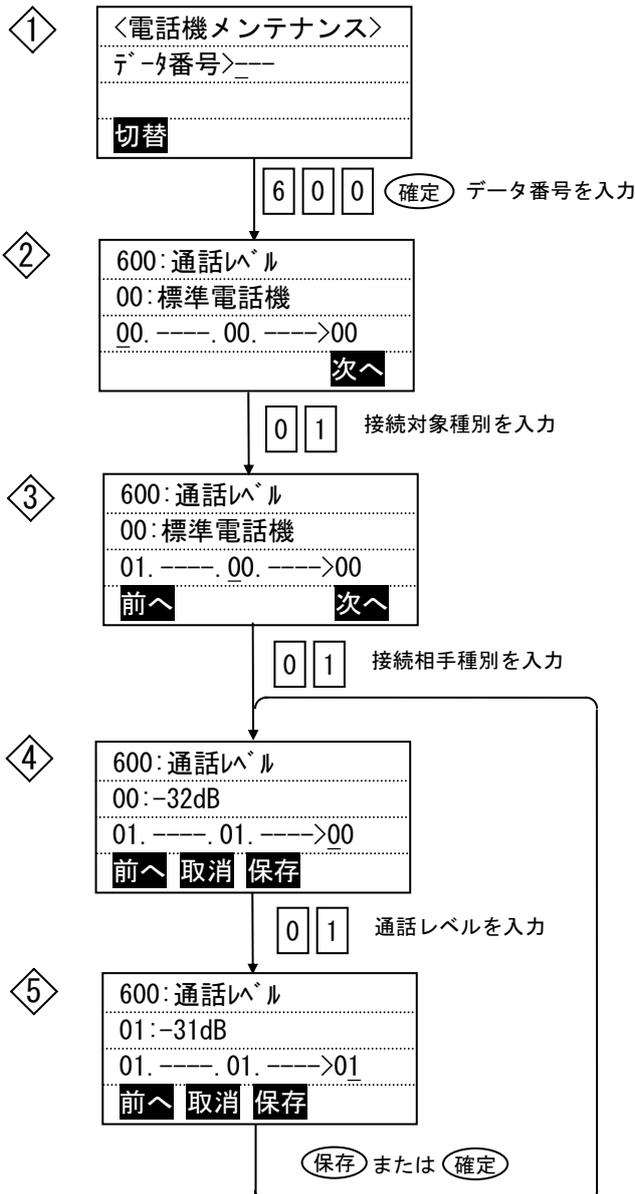
データ番号	通話レベル 1/2	バージョン	V1.0~
600		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

電話機、または回線やその他種別（ドアホンや音声メール等）毎に通話レベルを設定する。

<操作例>

標準電話機(接続対象種別)への、標準電話機(接続相手種別)への通話レベルを10dBに設定します。



「初期値」

「キー操作とデータ」

10 キー	接続対象種別、もしくは接続相手種別
00	標準電話機
01	単独電話機
02	長距離内線
03	7+ホート
05	SIP 端末
06	IP 標準電話機<v1.1>
07	PS
08	ISDN 回線 (64)
09	ISDN 回線 (1500)
10	アナログ回線
11	LD 専用線<v1.1>
12	OD 専用線<v1.1>
13	IP 回線 (8IPGW)
14	IP 回線 (IPGW)
15	ドアホン
16	放送装置
17	外部音源
18	CCU 外部音源
20	トーン
21	会議
26	モデム (DSP)
27	BT 監視 (DSP)
28	PB レシーバ (DSP)
29	MIDI (DSP) (※メロディ<保留音を含む>)
30	CNG (DSP) (※CNG 信号検出)
31	HDLC (DSP) (※データ通信)
32	VRS (DSP) (※音声メール/ユーザガイダンスの録音レベル)

「関連機能番号」

- 0600 : 各種回線収容
- 0619 : 通話レベルの設定
- 0900 : 音声メール装置収容<v1.2>
- 0901 : 通話録音<v1.2>
- 0904 : 外線着信代行<v1.2>
- 0936 : 留守番機能<v1.2>
- 1300 : システムコードレス収容
- 1451 : IP 回線接続<8IPGW>

<注意事項>

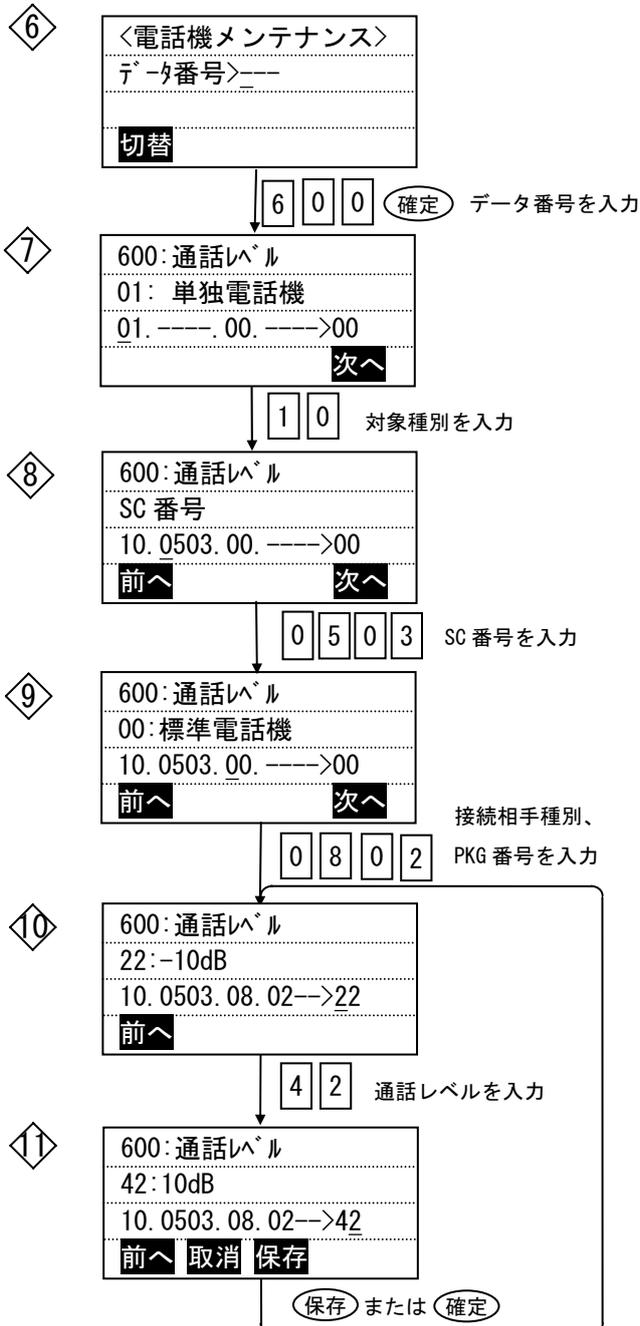
- 注1. SIP端末機や、IP標準電話機は接続相手によってはハードスイッチによる設定になります。
- 2. 対象種別と接続相手との組み合わせによっては通話レベルを変更できないもの(固定値)があります。
- 3. ISDN回線、専用線、IP回線 (VOIP) はPKG毎の設定になります。
- 4. 7+ホート回線はSC毎の設定になります。

データ番号	通話レベル 2/2	バージョン	V1.0~
600		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

アナログ回線(接続対象種別) 収容位置 SC:0503 の、ISDN 回線(接続相手種別) PKG 番号:02 への通話レベルを 10dB に設定します。



「キー操作とデータ」

PKG 番号

スポット番号(2桁)を 10 キーで指定します。

SC 番号

SC 番号(4桁)を 10 キーで指定します。

通話レベル

接続対象種別により通話レベル設定値が決まります。

通話レベルパターン (1)

10 キー	接続対象種別
00	標準電話機
01	単独電話機
02	長距離内線
03	アナログポート
05	SIP 端末
06	IP 標準電話機<v1.1>
07	PS
08	ISDN 回線(64)
09	ISDN 回線(1500)
10	アナログ回線
11	LD 専用線<v1.1>
12	OD 専用線<v1.1>
13	IP 回線(8IPGW)
14	IP 回線(IPGW)
15	ドアホン
16	放送装置
17	外部音源
18	CCU 外部音源
20	トーン
21	会議

(1) 通話レベル(00:-32dB~63:+31dB)を 10 キーで指定します。

通話レベルパターン (2)

26	モジュール(DSP)
27	BT 監視(DSP)
28	PB レシーバ(DSP)
29	MIDI(DSP) (※メロディ<保留音を含む>)
30	CNG(DSP) (※CNG 信号検出)
31	HDLC(DSP) (※データ通信)
32	VRS(DSP) (※音声メール/ユーザーガイダンスの録音レベル)

(2) 通話レベル(00:-15dB~30:+15dB)を 10 キーで指定します。

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

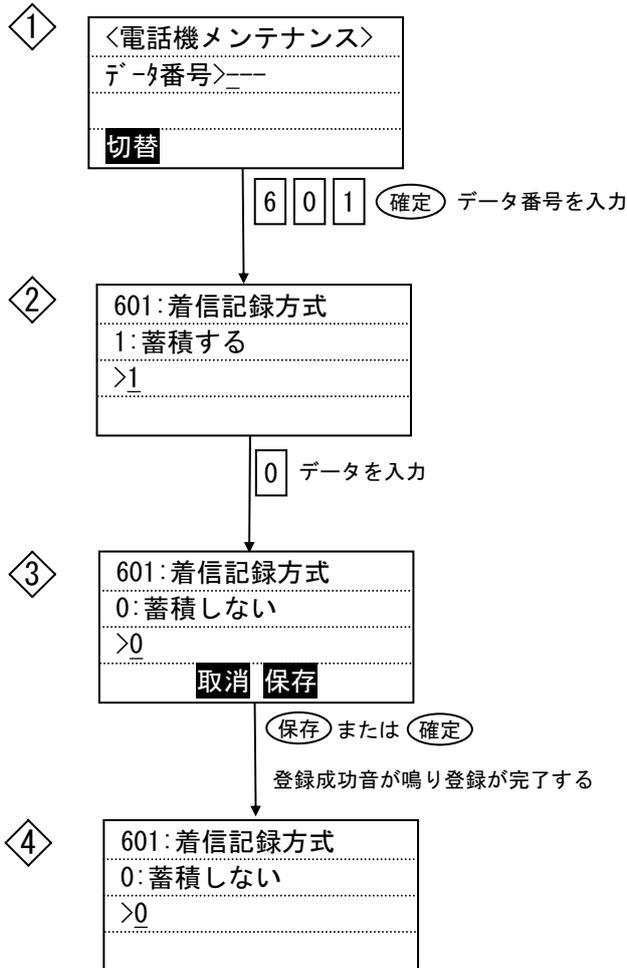
データ番号	着信記録方式
601	

<データ設定概要>

発番号未受信、非通知の場合に着信履歴を蓄積するか設定する。

<操作例>

着信履歴を蓄積しない様に設定します。



「初期値」

10 キー	着信記録方式
1	蓄積する

「キー操作とデータ」

着信履歴蓄積

10 キー	データ内容
0	蓄積しない
1	蓄積する

②  
③

「関連機能番号」

- 0106 : 着信履歴
- 0223 : 着信拒否 (迷惑電話拒否)

<注意事項>

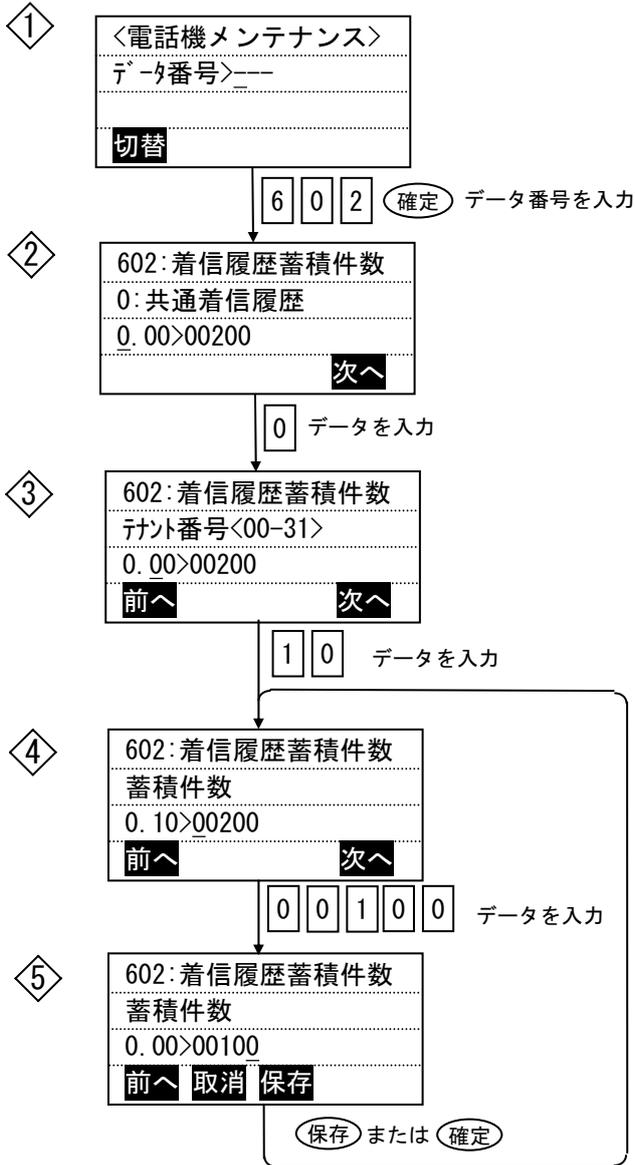
データ番号	着信履歴蓄積件数	バージョン	V1.0~
602		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

内線グループごとに着信履歴蓄積呼件数を設定する。

<操作例>

テナント00の着信履歴蓄積件数を100件に設定します。



登録成功音が鳴り次のテナント番号へ

「初期値」

共通着信履歴

テナント	10キー	着信履歴蓄積件数
テナント0	00200	200件
その他	00000	0件

個別着信履歴

10キー	着信履歴蓄積件数
00020	20件

PS, IP-KT, SLI, キーラフユニットを除く一般着信履歴(全内線共通)

「キー操作とデータ」

着信履歴

10キー	データ内容
0	共通着信履歴
1	個別着信履歴

テナントグループ番号

テナントグループ番号(00~31)を10キーで入力します。

着信履歴蓄積件数

着信履歴蓄積件数(0~10000件)を10キーで入力します。

「関連機能番号」

0106 : 着信履歴

<注意事項>

- 注1. 着信履歴蓄積件数は32グループトータルでMAX10000件です。10000件を分配して使用することになります。
- 注2. 個別着信履歴件数にてPS内線、SIP内線、単独電話機等、主装置が蓄積している着信履歴が表示できない内線端末には着信履歴件数の初期値を割り振ることはできません。

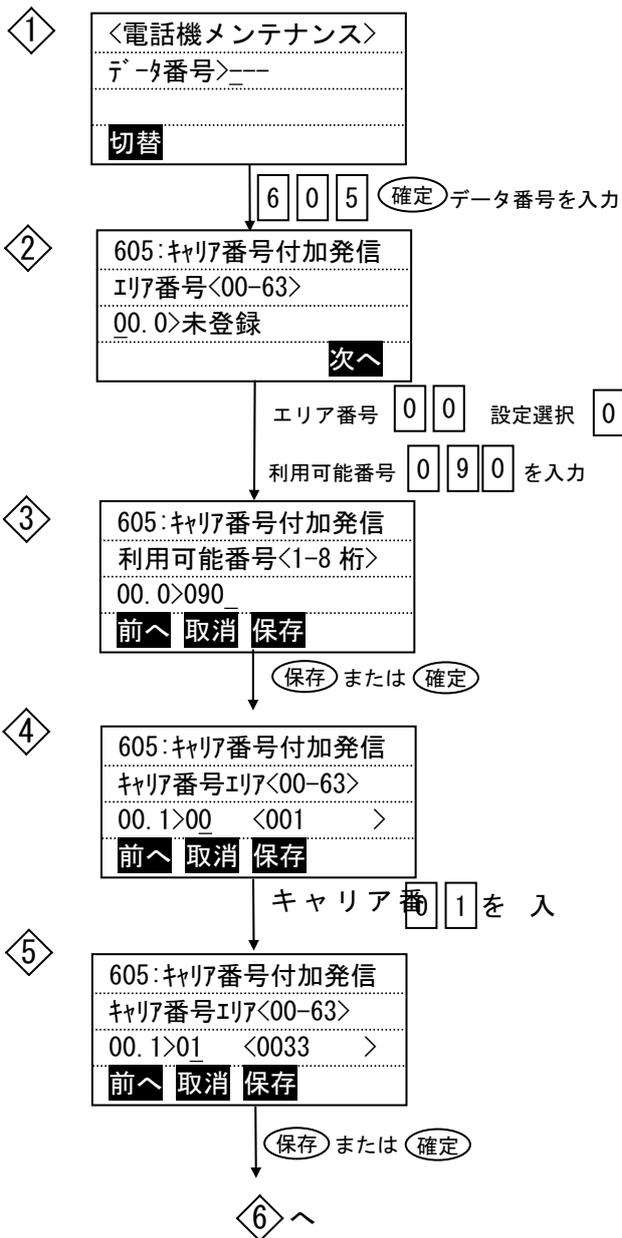
データ番号	キャリア番号付加発信 1/2	バージョン	V1.1~
605		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

利用可能番号ごとに、キャリア番号、回線指定、優線捕捉を指定する。

<操作例>

090の移動体発信時に付加する番号として0033(NTTcom)を設定します。



「初期値」

10 キー	利用可能番号
-	未登録

「キー操作とデータ」

② エリア番号指定  
エリア番号(00~63)を10キーで入力します

設定選択指定

10 キー	設定選択指定
0	利用可能番号指定
1	キャリア番号指定
2	回線指定

③ 利用可能番号  
利用可能番号(1~8桁)を10キーで入力します。

④ キャリア番号エリア  
D615で設定したキャリア番号エリア(00~63)を10キーで指定します。D615登録済みキャリア番号を右に表示します。

⑤

「関連機能番号」

0116: キャリア番号付加発信

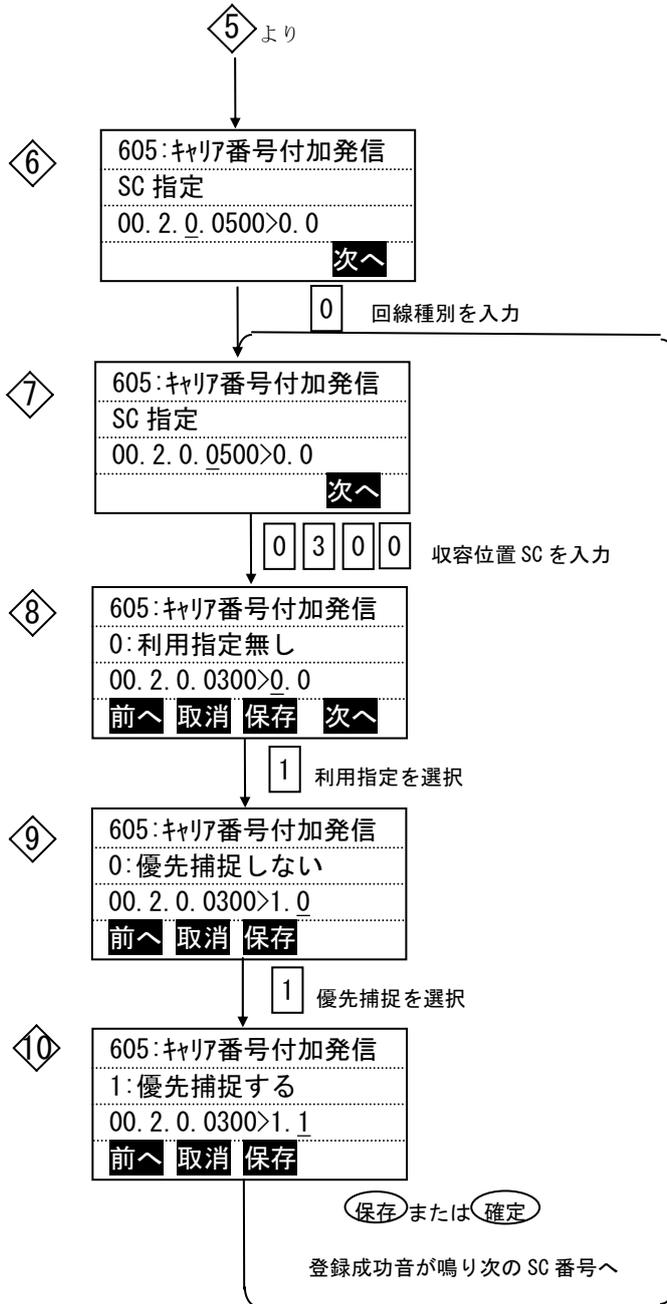
<注意事項>

注1. 同一利用可能番号で、異なる付加キャリア番号で同一回線を指定した場合は、キャリア番号エリアの若番に入力したものを優先します。

データ番号	キャリア番号付加発信	2/2	バージョン	V1.1~
605			データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

6 「入力形式選択」

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

7 SC 指定  
收容位置 SC (0100-1899、3000-3191) を 10 キーで入力します

8 利用指定

10 キー	利用指定
0	利用指定無し
1	利用指定有り

9 優先捕捉

10 キー	優先捕捉
0	優先捕捉しない
1	優先捕捉する

<注意事項>

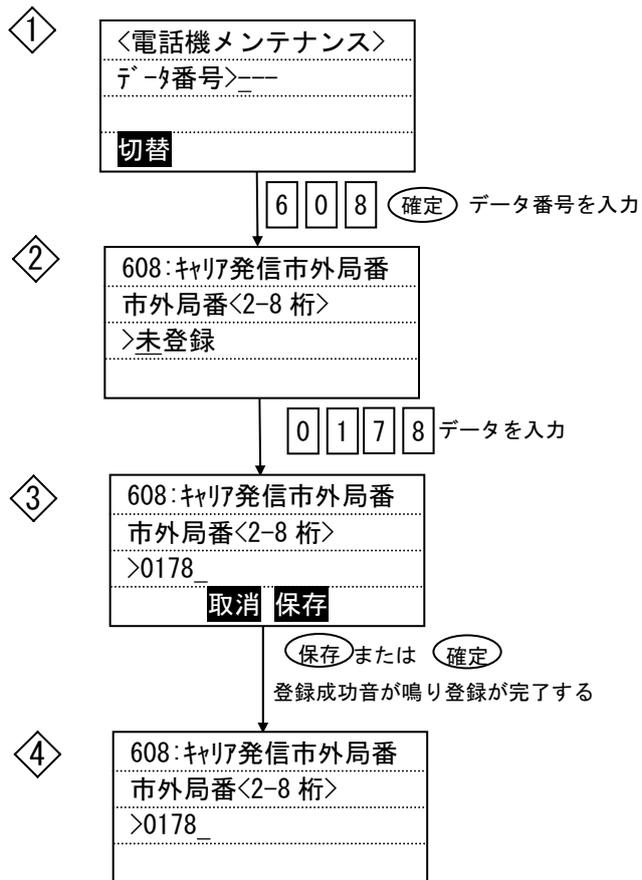
データ番号	キャリア番号付加発信市外局番	バージョン	V1.1~
608		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

キャリア番号付加有りの回線からの市内発信時、付加する市外局番を指定する。

<操作例>

市内発信時の付加市外局番として0178を登録します。



「初期値」

10 キー	付加市外局番
—	未登録

「キー操作とデータ」

付加市外局番（2～8桁）を10キーで指定します。

②  
③

「関連機能番号」

0116：キャリア番号付加発信

<注意事項>

- 注1. 付加市外局番入力時、\*、#は入力不可となります。
- 注2. 市外局番は2桁以上の設定が必要です。2桁未満での設定はできません。

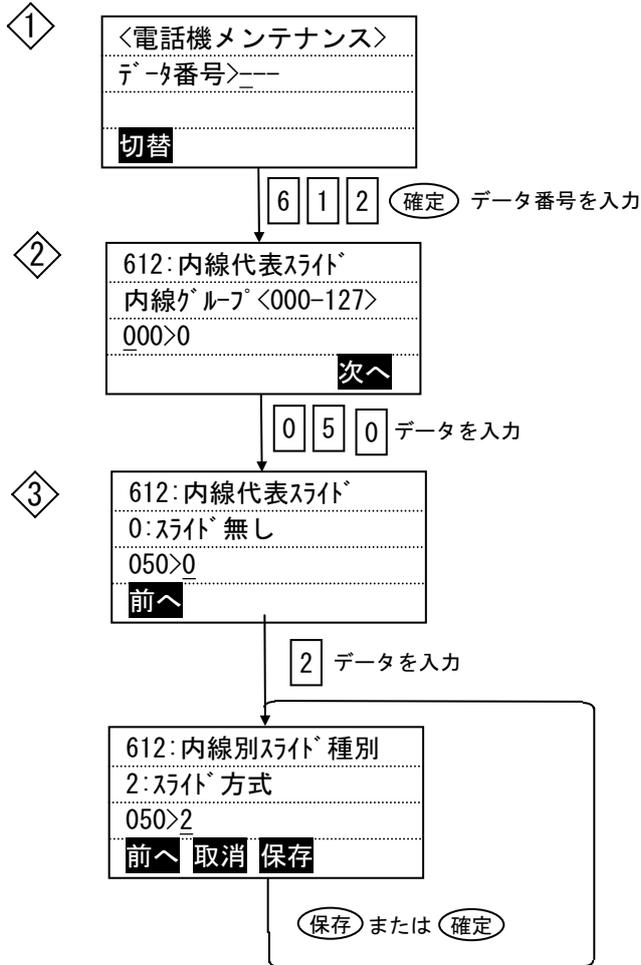
データ番号	内線代表スライド種別	バージョン	V1.1~
612		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

内線グループで、親内線と不在中/話中/無応答 等、空き状態にない内線に着信があった時、空き状態にある子内線に着信をスライドさせる。

<操作例>

内線グループ 50 を、スライド方式に設定します。



「初期値」  
全代表共通

10 キー	スライド種別
0	スライド無し

「キー操作とデータ」

② 内線代表  
内線代表グループ番号 (000~127) は 10 キーで指定します。

③ スライド種別

10 キー	データ内容
0	スライド無し
1	パイロット方式
2	スライド方式

「関連機能番号」

0405:内線代表

<注意事項>

- 注1. 内線代表グループは最大128設定できます。
- 注2. 内線代表着信順序はエリア番号で指定された若番順になります。

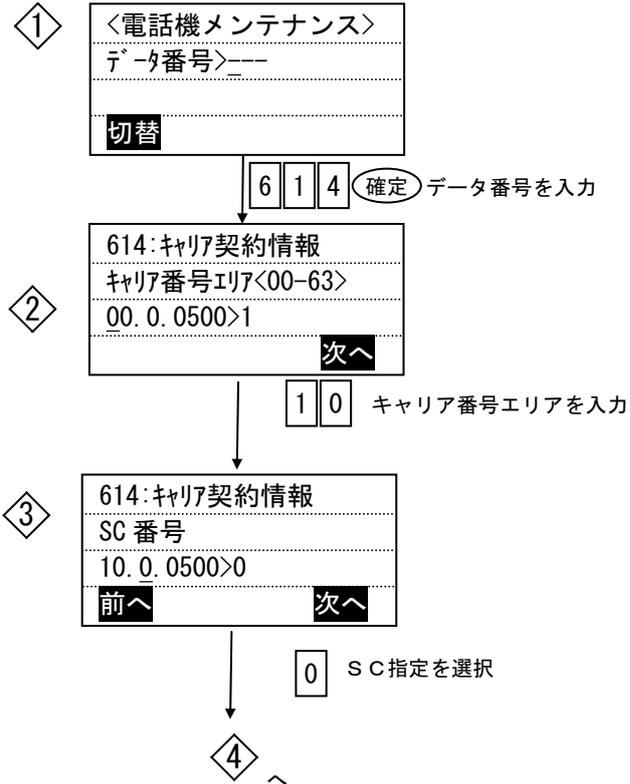
データ番号	キャリア契約情報(キャリア毎) 1/2	バージョン	V1.1~
614		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

キャリア毎に、回線に対して回線契約情報を指定する。

<操作例>

キャリア番号エリア10の収容位置SC:0503の契約情報を契約有りに設定します。



② 「初期値」全SC共通

10 キー	契約情報
0	契約無し

② 「キー操作とデータ」

エリア番号  
キャリア番号エリア (00~63) を 10 キーで入力します。

③ 回線種別選択

10 キー	データ内容
0	SC 指定
4	IFG 指定

「関連機能番号」

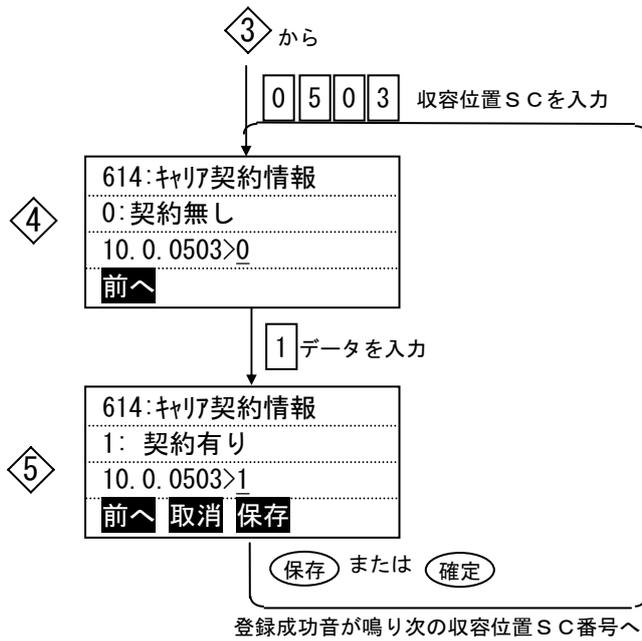
0115:キャリア選択発信  
0116:キャリア番号付加発信

<注意事項>

データ番号	キャリア契約情報(キャリア毎) 2/2	バージョン	V1.1~
614		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

④

**SC 番号**

收容位置 SC(0100~1899、3000~3191) を 10 キーで指定します。

⑤

**契約情報**

10 キー	データ内容
0	契約無し
1	契約有り

<注意事項>

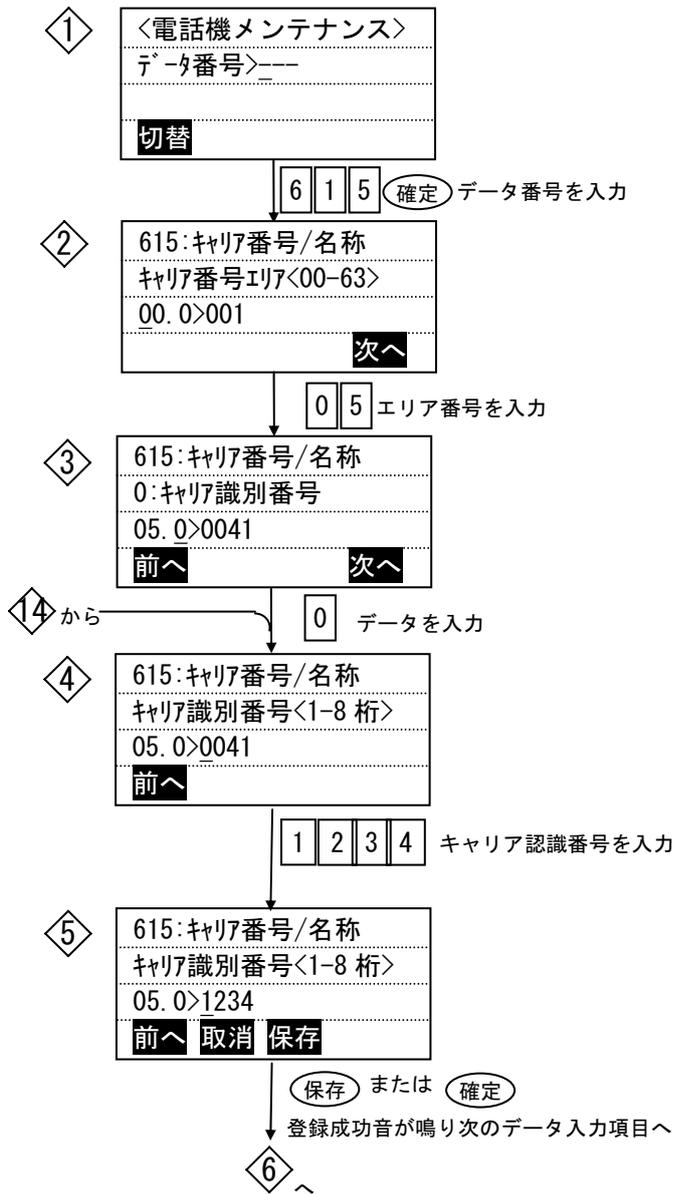
データ番号	キャリア番号/名称 1/3	バージョン	V1.1~
615		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

キャリアの番号およびその名称を、キャリア毎に設定できる。

<操作例>

キャリア番号 05 をキャリア識別番号 1234 およびキャリアネーム「キャリア」に変更します。



「初期値」

キャリア番号	識別番号	漢字名称 (全角4文字分)	加名称 (半角4文字)
00	001	KDDI	KDDI
01	0033	NTTcom	NTTcom
02	0036	NTTeast	NTTeast
03	0038	FCM	FCM
04	0039	NTTwest	NTTwest
05	0041	日本テレコム	JT
06	00500	fitコール	fitコール
07	0060	マイイ	マイイ
08	0061	IDC	IDC
09	0071	MCI	MCI
10	0077	KDDI	KDDI
11	0080	ドイテレコム	ドイテレコム
12	0081	東京電話	TokyoTEL
13	0082	東京電話	TokyoTEL
14	0083	平成電電	HEISEI
15	0086	九州電話	KYUSYU
16	0088	日本テレコム	JT
17	009191	ぷらら	プラー

「キー操作とデータ」

- ② **キャリア番号**  
キャリア番号 (00~63) を10キーで入力します。
- ③ **番号/漢字/加選択**
- | 10キー | データ内容    |
|------|----------|
| 0    | キャリア識別番号 |
| 1    | 漢字名称     |
| 2    | 加名称      |
- ④ **キャリア識別番号**  
キャリア識別番号 (1~8桁) を10キーで入力します。
- ⑤

「関連機能番号」

- 0115: キャリア選択発信
- 0116: キャリア番号付加発信
- 0117: マイライン/マイラインプラス
- 0703: ダイヤルモニタ

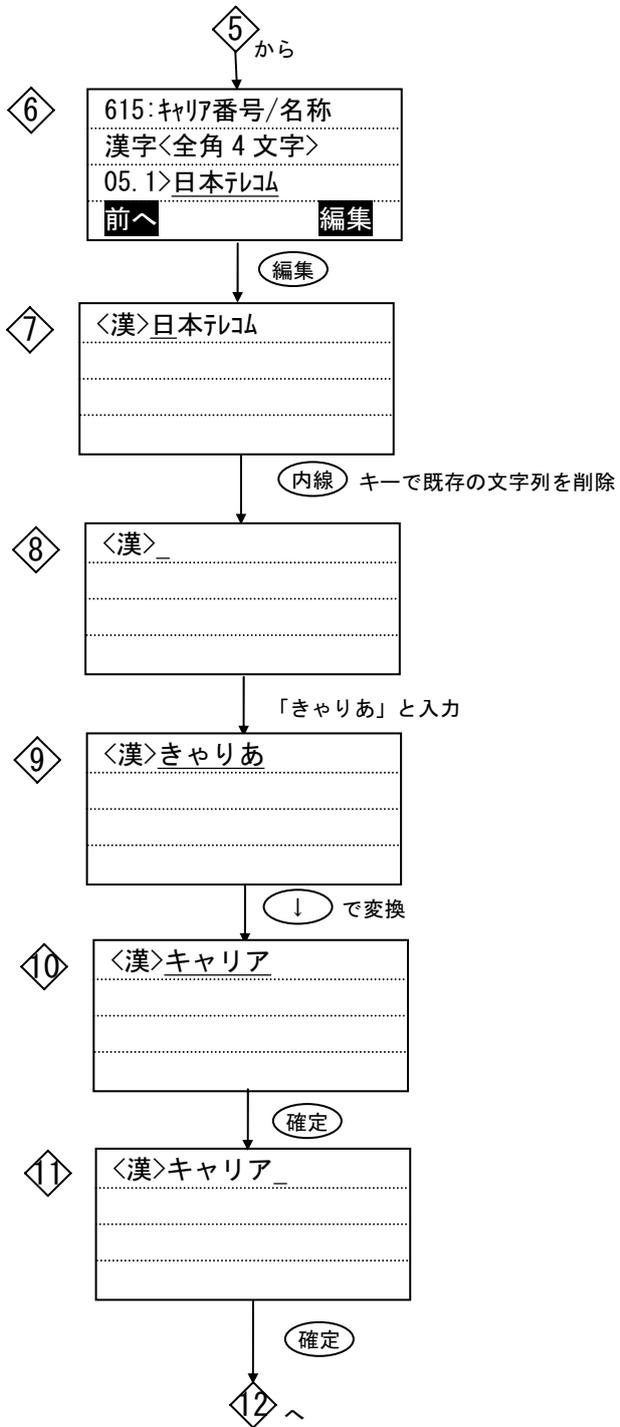
<注意事項>

- 注1. キャリア番号は最大64設定できます。
- 注2. キャリアネームは全角4文字、フリガナは半角8文字が指定できます。

データ番号	キャリア番号/名称 2/3	バージョン	V1.1~
615		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪

「キー操作とデータ」

漢字名称

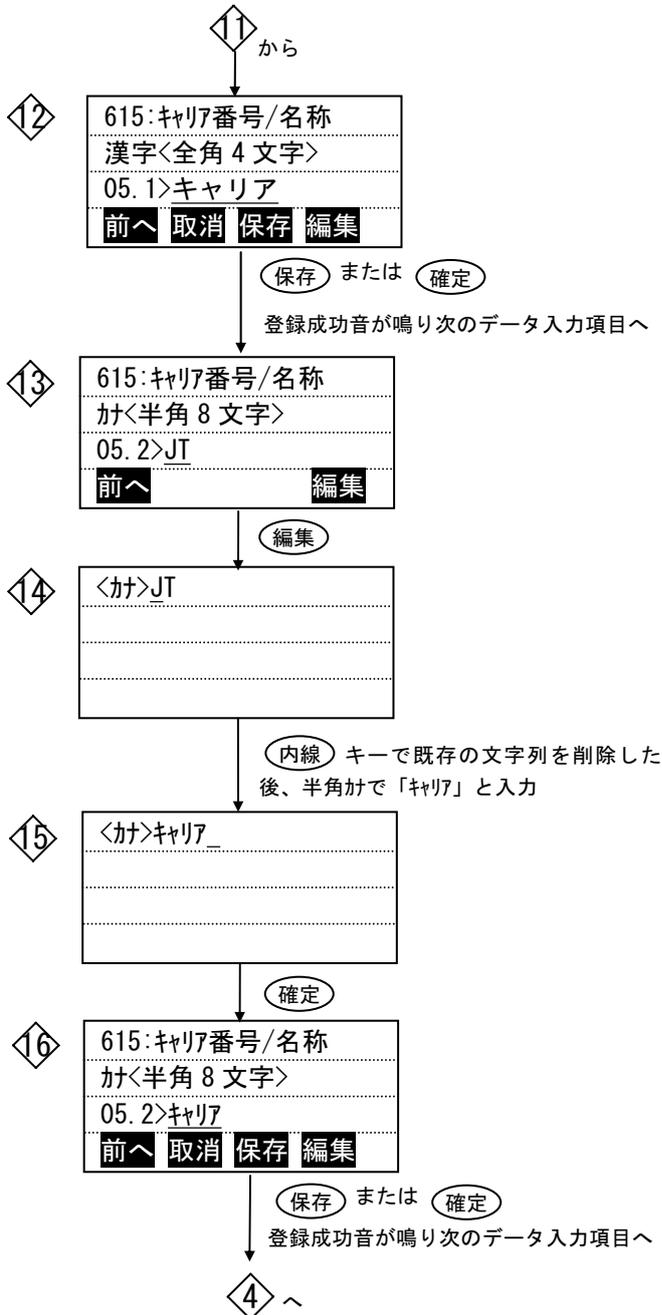
キャリアの名称を全角 1~4 文字分で入力します。

<注意事項>

データ番号	キャリア番号/名称 3/3	バージョン	V1.1~
615		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



①②  
①③  
①④

「キー操作とデータ」

か名称

キャリアのか名称を半角 1~8 文字で入力します。

<注意事項>

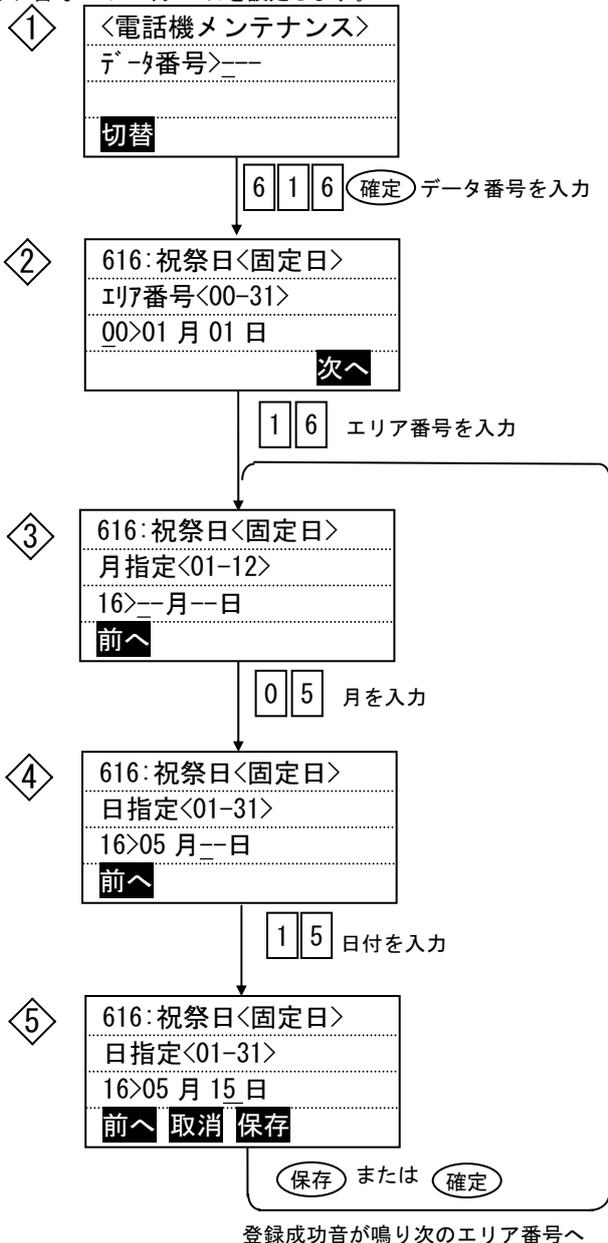
データ番号	祝祭日（固定日）	バージョン	V1.0～
616		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

元旦など固定の祝祭日を、日付で設定する。

<操作例>

エリア番号 16 に 5 月 15 日を設定します。



「初期値」

10 キー	祝祭日
00	01 月 01 日
01	01 月 02 日
02	01 月 03 日
03	02 月 11 日
04	03 月 21 日
05	04 月 29 日
06	05 月 03 日
07	05 月 04 日
08	05 月 05 日
09	09 月 23 日
10	11 月 03 日
11	11 月 23 日
12	12 月 23 日
13~31	未登録

（日本の祝祭日を示します）

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号  
エリア番号（00～31）を 10 キーで入力します。
- ③ 月指定／日指定  
月（01～12）および日（01～31）を 10 キーで入力します。
- ④
- ⑤

「関連機能番号」

0213: 昼／夜モード自動切替  
0404: 内線クラス切替  
0624: システムカレンダー  
0936: 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。  
2. データは内線ボタンでクリアできます。  
3. 独自で指定する休日はデータ番号618で設定して下さい。  
4. 振替休日については登録しなくても自動的にサポートされます。<V1.1>

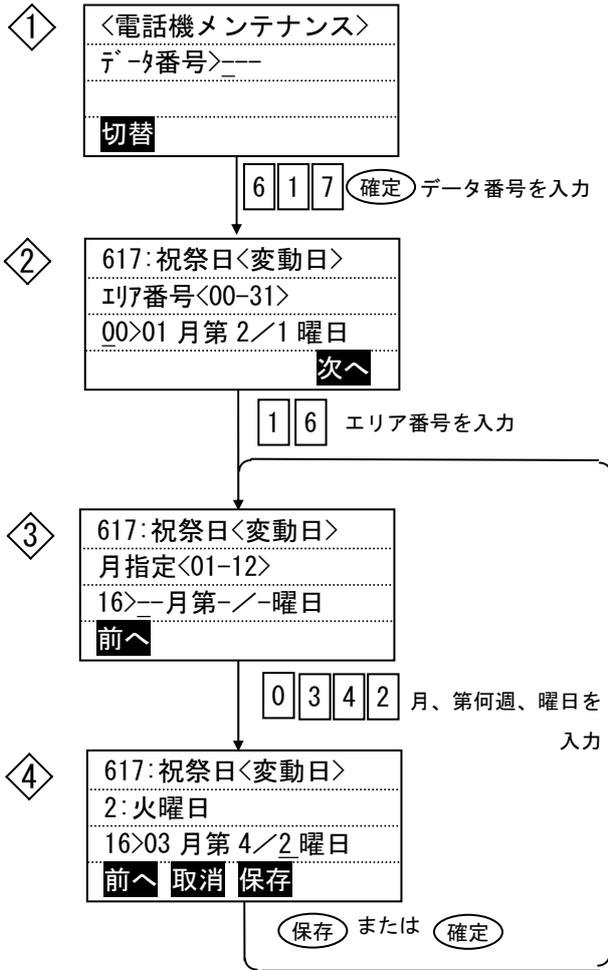
データ番号	祝祭日(変動日)	バージョン	V1.0~
617		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

成人の日など固定でない祝祭日を、週と曜日で設定する。

<操作例>

エリア番号16に3月第4火曜日を設定します。



登録成功音が鳴り次のエリア番号へ

「初期値」

10 キー	祝祭日(変動日)
00	1月第2月曜日(成人の日)
01	10月第2月曜日(体育の日)
02	7月第3月曜日(海の日)
03	9月第3月曜日(敬老の日)
04~31	未登録

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号  
エリア番号(00~31)を10キーで入力します。
- ③ 月指定/週指定/曜日指定  
月(01~12)、第何週(1~5)、  
曜日(0:日曜~6:土曜)を10キーで入力します。
- ④

「関連機能番号」

- 0213: 昼/夜モード自動切替
- 0404: 内線クラス切替
- 0624: システムカレンダー
- 0936: 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。
2. データは内線ボタンでクリアできます。
4. 振替休日については登録しなくても自動的にサポートされます。<V1.1>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

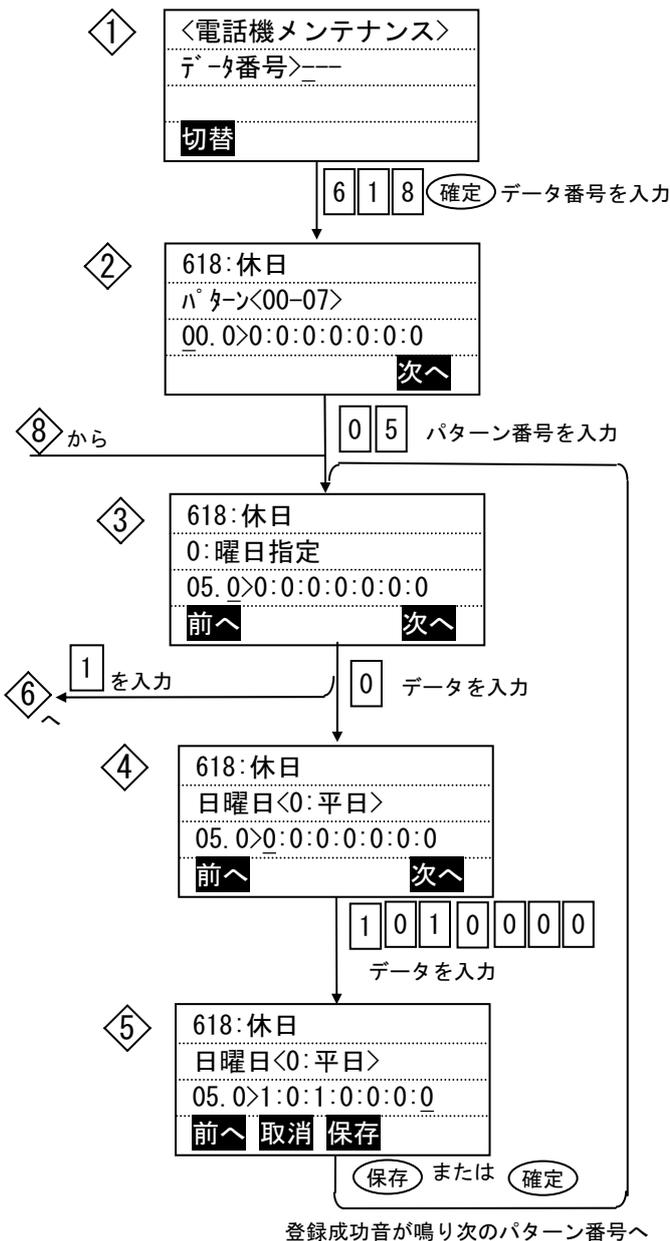
データ番号	休日 1/2
618	

<データ設定概要>

祝祭日以外のユーザー独自の休日を設定する。

<操作例>

休日パターン05の月曜日と水曜日を休日に指定します。



「初期値」

曜日指定

10 キー	休日
00~31	未登録

固定日設定

0	0	0	0	0	0	0
日	月	火	水	木	金	土

「キー操作とデータ」

②

パターン

パターン番号(00~07)を10キーで入力します。  
1桁の場合、10の位に0を入力します。

③

曜日/固定日指定

10 キー	休日パターン
0	曜日指定
1	固定日設定

④

休日指定

10 キー	休日指定
0	平日
1	休日

「関連機能番号」

- 0213: 昼/夜モード自動切替
- 0404: 内線クラス切替
- 0624: システムカレンダー
- 0936: 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

- 注1. 休日パターンは最大8パターン設定できます。
- 2. データは内線ボタンでクリアできます。
- 3. 祝祭日以外の独自指定の休日を設定して下さい。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	休日 2/2
618	

<データ設定概要>

<操作例>  
休日パターン05のI77 10に2月7日を設定します。

③ から  
① データを入力

⑥

618: 休日  
エリア番号<00-31>  
05. 1. 00>一月一日  
前へ 次へ

① 0 を入力

⑦

618: 休日  
月指定<01-12>  
05. 1. 10>一月一日  
前へ 次へ

⑦ 0 2 月 0 7 日を入力

⑧

618: 休日  
日指定<01-31>  
05. 1. 10>02月07日  
前へ 取消 保存

保存 または 確定  
登録成功音が鳴り次のパターン番号へ

③

「キー操作とデータ」

⑥ パターン番号、月日指定  
パターン番号 (00~07)、エリア番号(00~31)  
および月日を10キーで入力します。

⑦

⑧

<注意事項>

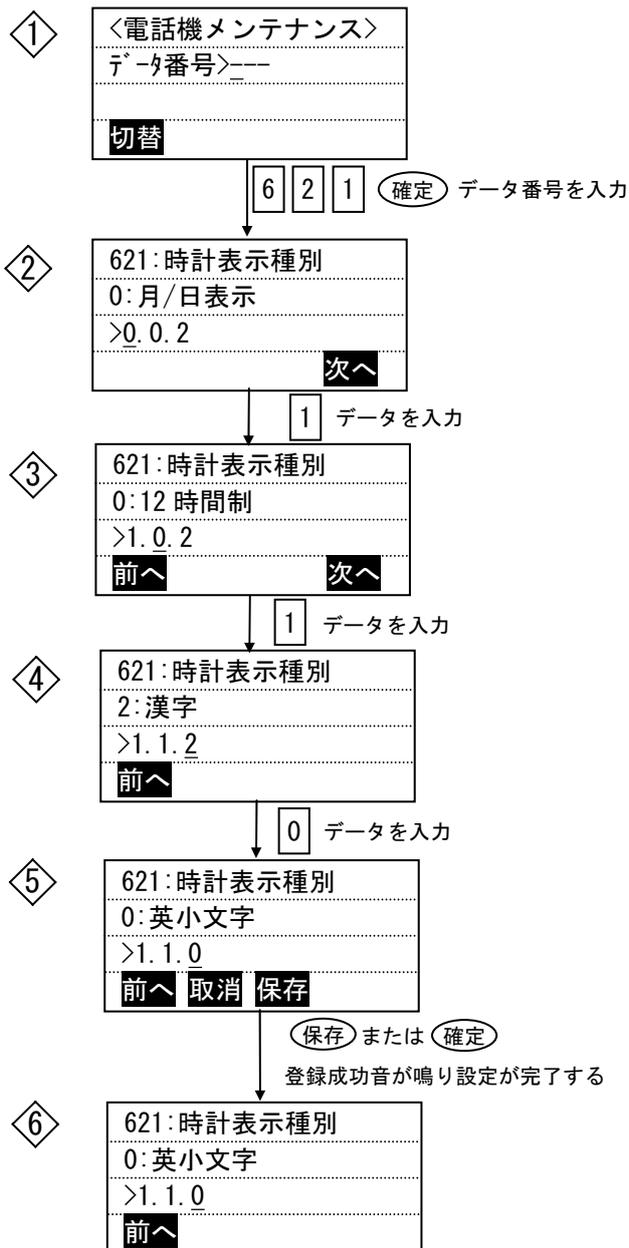
データ番号	時計表示種別 1/3	バージョン	V1.0~
621		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

- 時計表示に関し、以下の設定を行う。
- (1) 月日表示 (月/日または日/月)
  - (2) 時刻表示 (12時間制または24時間制)
  - (3) 曜日表示 (英文字または漢字)

<操作例>

月日表示種別 (日/月)、時刻表示種別 (24H 制)、曜日表示種別 (英小文字) に設定します。



「初期値」

	10 キー	時計表示種別
時計表示 (1)	0	月/日
時計表示 (2)	0	12 時間制
時計表示 (3)	2	漢字

「キー操作とデータ」

② 時計表示 (1)

10 キー	データ内容
0	月/日表示
1	日/月表示

③ 時計表示 (2)

10 キー	データ内容
0	12 時間制
1	24 時間制

④ 時計表示 (3)

10 キー	データ内容
0	英小文字
1	英大文字
2	漢字

「関連機能番号」

0700:時計表示

<注意事項>

- 注1. 時刻は1分ごとに表示されます。
2. 時刻表示は12時間制と24時間制があります。
3. 曜日表示は英文字または漢字で指定できます。
4. うるう年でも自動的に日付が更新されます。

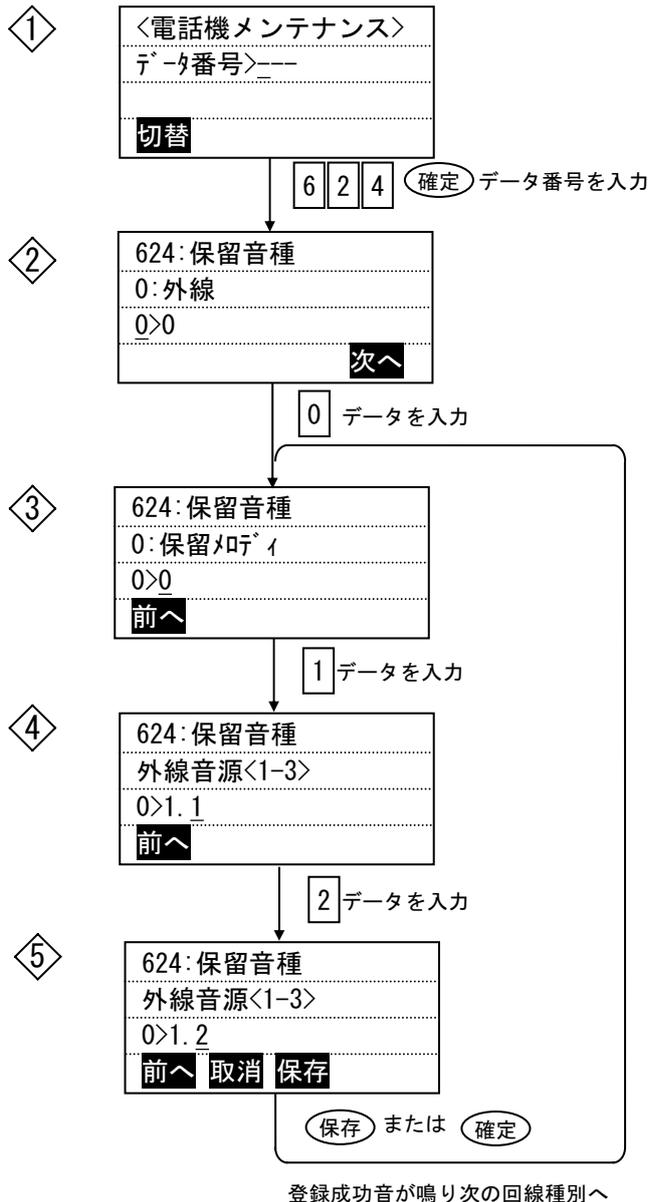
データ番号	保留音種	バージョン	V1.0~
624		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

市販の音源機器を外部保留音源として接続しているとき、回線種別ごとに使用する音源を内部/外部から指定する。

<操作例>

外線保留音を外部音源2に設定します。



「初期値」全回線共通

10キー	音源種別
0	保留メロディ

「キー操作とデータ」

回線種別

10キー	データ内容
0	外線
1	専用線<V1.1>
2	内線

音源種別

10キー	データ内容
0	保留メロディ (D558 保留音源に従う)
1	外部音源

外部音源種別

10キー	データ内容
1	外部音源 1
2	外部音源 2
3	外部音源 3

②

③

④

⑤

「関連機能番号」

0303: 保留メロディ  
0304: 外部保留音

<注意事項>

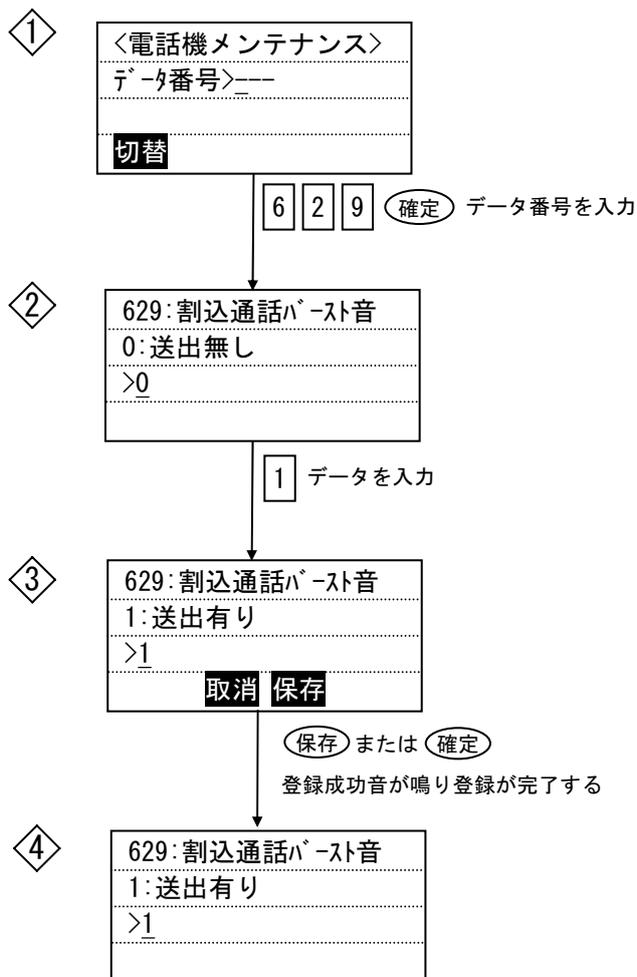
データ番号	割込通話バースト音送出	バージョン	V1.1~
629		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

割込通話のとき、割り込まれる側にバースト音を送出するかしないかを設定する。

<操作例>

バースト音の送出を有りに設定します。



「初期値」

10 キー	バースト音送出
0	送出無し

「キー操作とデータ」

バースト音送出

10 キー	データ内容
0	送出無し
1	送出有り

②  
③

「関連機能番号」

0410: 割り込み通話

<注意事項>

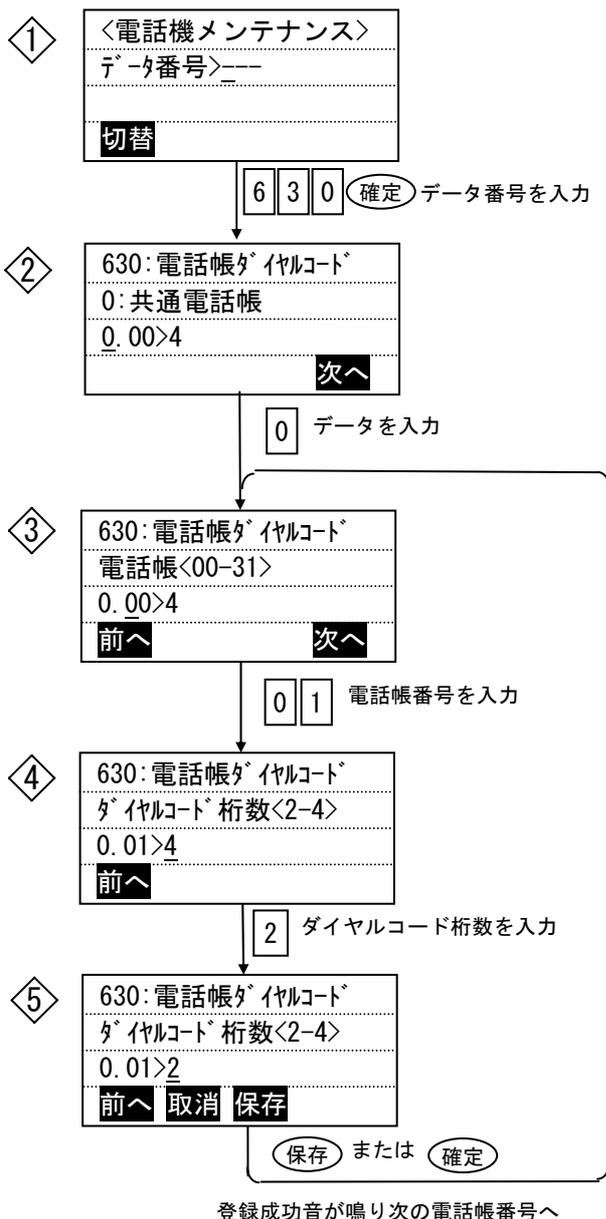
データ番号	電話帳ダイヤルコード	バージョン	V1.0~
630		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

電話帳ダイヤルコードの桁数（2～4桁）を指定する。

<操作例>

共通電話帳ダイヤルコード桁数を2桁に登録します。



「初期値」全電話帳/全テナント共通

10 キー	電話帳ダイヤルコード桁数
4	4桁

「キー操作とデータ」

電話帳選択

10 キー	データ内容
0	共通電話帳
1	個別電話帳<v1.4>

共通電話帳

電話帳番号(00～31)を10キーで指定します。

個別電話帳

テナント番号(00～31)を10キーで指定します。

ダイヤルコード桁数

ダイヤルコード(2～4)を10キーで指定します。

②

③

④

⑤

「関連機能番号」

0108:共通電話帳/個別電話帳<v1.4>

<注意事項>

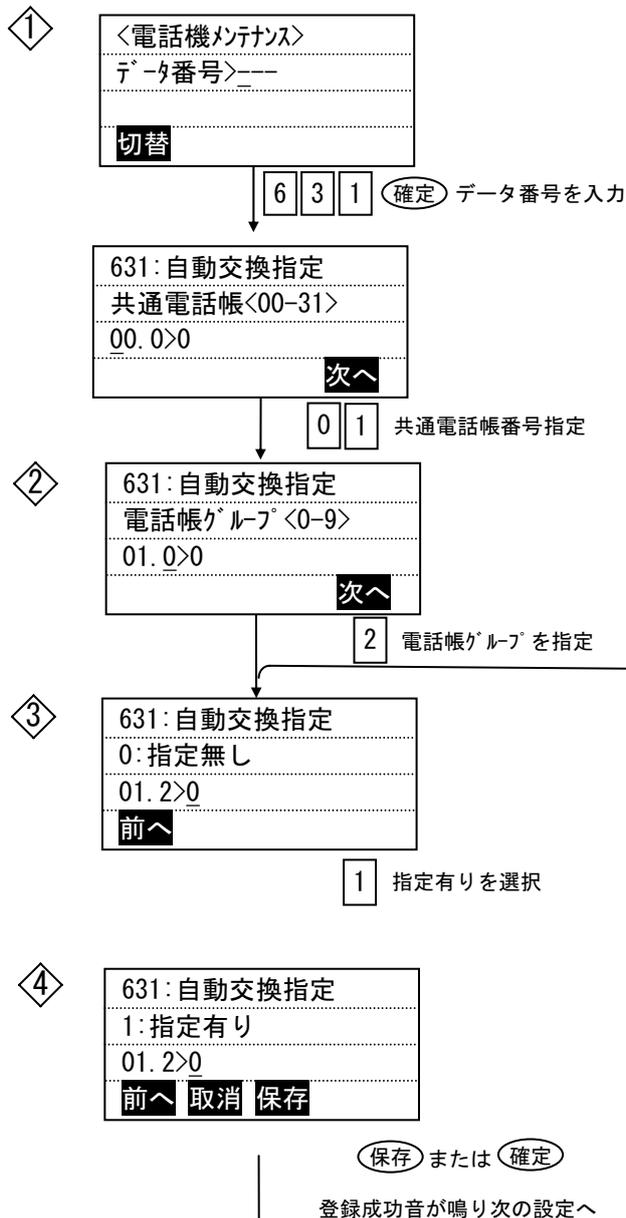
- 注1. 共通電話帳登録、変更はシステム管理電話機（データ番号119）で行うことができます。  
個別電話帳登録、変更はシステム管理電話機、及び自内線で行うことができます。
- 電話帳ダイヤルコードが2桁の場合は、00～99となります。
  - 電話帳ダイヤルコードが3桁の場合は、000～999となります。
  - 電話帳ダイヤルコードが4桁の場合は、0000～9999となります。

データ番号	自動交換指定	バージョン	V1.3~
631		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

各電話帳グループに対して、自動交換を有効とするかどうかを指定する。

<操作例>



「初期値」

10 キー	自動交換指定
0	指定無し

「入力形式選択」

「キー操作とデータ」

- ② 共通電話帳指定  
共通電話帳番号 00~31 を選択します。
- ③ 電話帳グループ指定  
電話帳グループ番号を 10 キーで指定します。
- ④ 自動交換指定  
自動交換指定有り無しを 10 キーで指定します。

「関連機能番号」

0609 : IP/ISDN 電話自動交換

<注意事項>

注1. 本データは電話帳グループ単位での設定になりますので電話帳登録時に電話帳グループを設定してください。

このページは白紙になります。

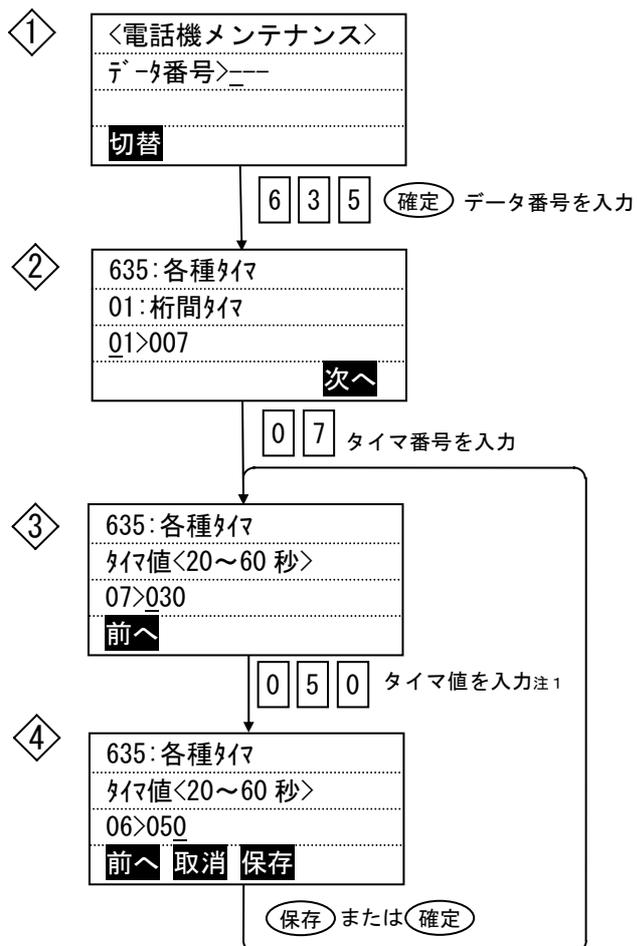
データ番号	各種タイマ 1/3	バージョン	V1.0~
635		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

発信タイマなどの、各種タイマを設定する。  
各タイマの設定に関する詳細は次頁、次々頁を参照。

<操作例>

タイマ種別 07 のオートリピート呼出タイマを 50 秒に変更します。



登録成功音が鳴り次のタイマ番号へ

「初期値」

タイマ設定表の初期値データによります。

「キー操作とデータ」

タイマ番号、タイマ設定

タイマ設定表 (表 1-a、表 1-b) に基づきタイマ番号およびタイマ設定を 10 キーで入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

- 0100: 任意外線/専用線発信
- 0103: オートボーズ
- 0109: オートリピート
- 0110: プリセットダイヤル
- 0111: オフフック外線自動捕捉
- 0205: 外線着信呼識別
- 0215: 付加番号 DID<v1.1>
- 0300: 自己保留
- 0301: システム保留
- 0302: パーク保留
- 0305: 長時間保留警報
- 0307: 強制転送 (キャンプオンリング) <v1.1>
- 0309: 着信ウェイトメッセージ<v1.1>
- 0310: 不在転送
- 0311: 話中転送
- 0312: 無応答転送
- 0408: プリセット内線発信
- 0414: 内線キャッチホン<v1.3>
- 0415: 通話中着信<v1.3>
- 0416: 放送呼出
- 0418: オフフック自動ダイヤル
- 0419: ホットライン
- 0513: ハウラ音送出<v1.3>
- 0600: 各種回線収容
- 0602: 専用線接続<v1.1>
- 0603: 専用線閉番号接続<v1.1>
- 0604: 公-公接続
- 0605: 専-公接続<v1.1>
- 0606: 公-専接続<v1.1>
- 0607: 公-専-公接続<v1.1>
- 0611: ドアホン着信
- 0615: 電気錠接続<v1.3>
- 0616: 遠隔設定操作 (PB 保守) <v1.1>
- 0618: BT 検出外線切断<v1.1>
- 0626: 一斉呼出<v1.5>
- 0650: 単独電話機収容
- 0904: 外線着信代行
- 0936: 留守番機能<v1.2>
- 1002: 着サブアドレス付加
- 1300: システムコードレス収容
- 1301: PS 発信
- 1302: PS 個別着信
- 1400: VOIP 内線型収容<v1.7>
- 1458: IP 回線着サブアドレス通知- SIP 回線-
- 1005: キーパッドファシリティ送出
- 0610: PB エンド・ツー・エンド通信
- 1303: PS 圏外ガイダンス<v1.1>

データ番号	各種タイマ設定 2/3	バージョン	V1.0~
635		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

タイマ設定表

表 1-a

タイマ番号	意 味	単位	初期値	範 囲
01	桁間タイマ	x1s	007	001~255
02	発信タイマ	x1s	005	001~255
03	通話時間開始タイマ	x1s	007	001~255
07	オートリピート呼出タイマ	x1s	030	020~060
08	均等着信スライドタイマ	x1s	000	000~255 0 (スライドなし)
09	付加番号 DID 1st ダイヤル受信タイマ<V1.1>	x1s	007<V1.0> 020<V1.1>	001~255
10	付加番号 DID 一般着信解放タイマ<V1.1> タイマ値"000"の場合は切断	x1s	020	000~255
11	付加番号 DID ダイヤル受信桁間タイマ<V1.1>	x1s	020<V1.0> 007<V1.1>	001~255
13	強制転送無応答タイマ<V1.1> タイマ値"000"の場合は機能無し	x1s	000	0~255
15	転送先無応答外線解放タイマ	x1s	030	001~255
16	一斉呼出終了タイマ	x1s	060	000~255
18	オフフック自動ダイヤル開始タイマ タイマ値が"000"の場合即時開始	x1s	003	000~255
19	プリセット発信解放タイマ	x1s	030	000~255
20	リモート切断タイマ	x1s	060	010~255
22	自動応答ガイダンス接続タイマ	x1s	032	001~255
23	PBX 外線発信ポーズタイマ	x0.5s	006	000~127
24	着信ウェイトガイダンス送出タイマ<V1.1> タイマ値が"000"の場合は即時保留音送出 タイマ値が"255"の場合無制限	x1s	015	000~255
25	フッキング監視タイマ	x0.1s	005	001~016
26	ヒットタイミング	x0.1s	004	001~008
27	保留警告音送出開始時間 タイマ値が"000"の場合保留警告音送出無	x1s	060	000~255
28	ハウラ音送出タイマ タイマ値が"000"の場合ハウラ音送出無し	x10s	003	000~018
30	転送電話最大通話時間 タイマ値が"000"の場合は転送電話サービス無	x1min	030	000~255
31	PB 通信時自動ポーズ	x0.5s	000	000~127
33	オートリピート間隔	x1s	005	005~075
34	継続バースト間隔	x1s	010	003~010
35	バースト監視時間	x0.1s+2.4s	006	000~015
36	オートドロップアウト監視	x0.5s	006	001~016
37	フレキシブルポーズタイマ	x0.5s	006	001~016
38	電気錠解錠リレーメーク時間<V1.3>	X0.2s	002	001~010
39	専用線ウイंक送出時間間隔<V1.1>	x32ms	001	001~016

データ番号	各種タイマ 3/3	バージョン	V1.0~
635		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

タイマ設定表

表 1-b

タイマ番号	意 味	単位	初期値	範 囲
40	1st ダイヤル受信タイマ	x1s	020	001~255
43	バースト ON 監視時間	0.1s	006	001~016
44	バースト OFF 監視時間	0.1s	006	001~016
45	専用線プレポーズタイマ<v1.1>	x0.5s	006	001~255
46	外線解放ガードタイマ	x0.5s	002	001~255
47	PBX 桁間タイマ	x1s	005	001~255
48	放送装置起動プレポーズタイマ	x0.5s	000	000~255
49	PS 着呼タイマ	x1s	004	001~255
50	PS 圏外ガイダンス送出	x1s	008	001~255
51	PS 解放タイマ	x1s	010	001~255
54	早期ダイヤル送出防止タイミング<v1.1>	x0.5s	002	001~255
56	VM 応答後回線解放タイマ<v1.4>	x1s	000	000~255
57	SIP 端末解放タイマ	x1s	010	000~180
58	ドアホン鳴動音送出プレポーズタイマ	x1s	000	000~255
59	IP 標準電話機ヘルスチェック間隔	X1s	090	000~255
61	BT ON 検出最小値	X0.02 s+0.3 s	001	000~024
62	BT ON 検出最大値	X0.02 s+0.3 s	023	001~025
63	BT OFF 検出最小値	X0.02 s+0.3 s	001	000~024
64	BT OFF 検出最大値	X0.02 s+0.3 s	023	001~025
79	自動交換 PB ホース	x0.5s	000	000~003

<注意事項>

注1. タイマ設定表で例えばタイマ番号23で初期値006×0.5S、範囲000~127の場合、設定は0.5Sは固定で006が000~127の範囲で設定できます。

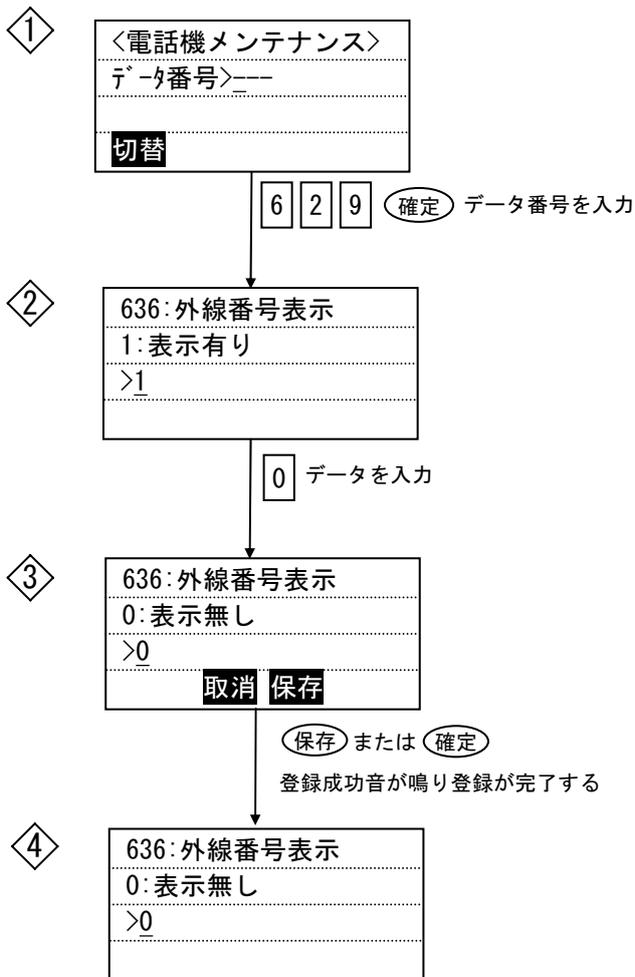
データ番号	外線番号表示	バージョン	V1.0~
636		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線番号の表示をするかしないかを設定します。

<操作例>

外線番号の表示を無しに設定します。



「初期値」

10 キー	外線番号表示
1	表示有り

「キー操作とデータ」

外線番号表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り



「関連機能番号」

0704:呼種表示

<注意事項>

バージョン	V2.0~
データ更新条件	システム

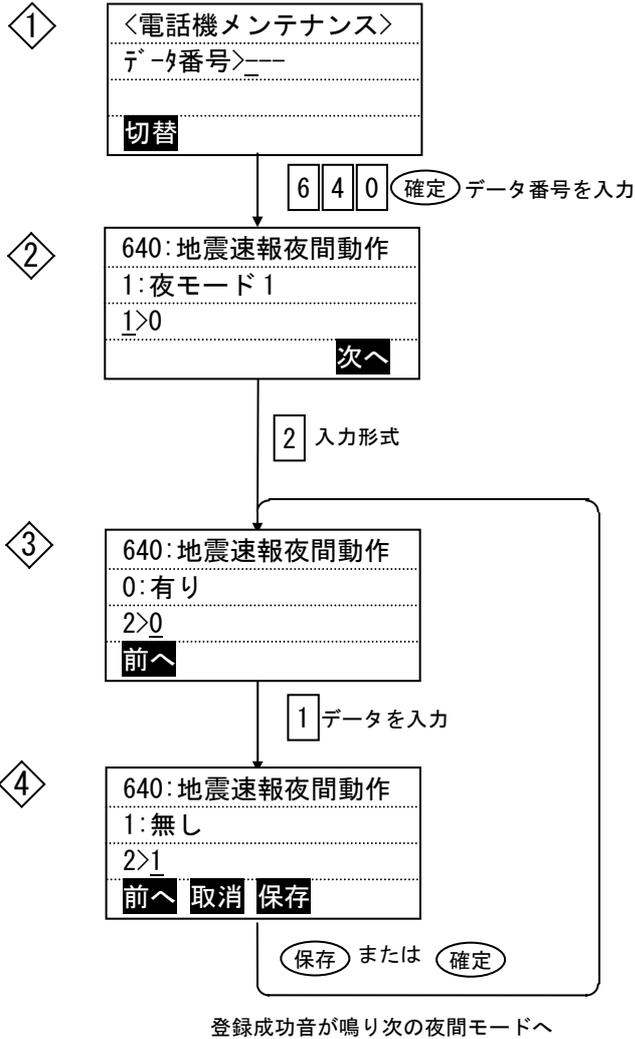
データ番号	地震速報夜間動作
640	

<データ設定概要>

夜間モード中、地震速報が動作するかどうかを指定する。

<操作例>

夜間モード2地震速報動作が指定なしに設定します。



「初期値」 両方共通

10 キー	地震速報夜間動作
0	有り

「入力形式選択」

10 キー	データ内容
1	夜モード1
2	夜モード2

「キー操作とデータ」

夜間モード指定

夜間モード1、夜間モード2を10キーで指定します。

動作指定

10 キー	データ内容
0	有り
1	無し

「関連機能番号」

0627: 緊急地震速報

<注意事項>

バージョン	V2.0~
データ更新条件	システム

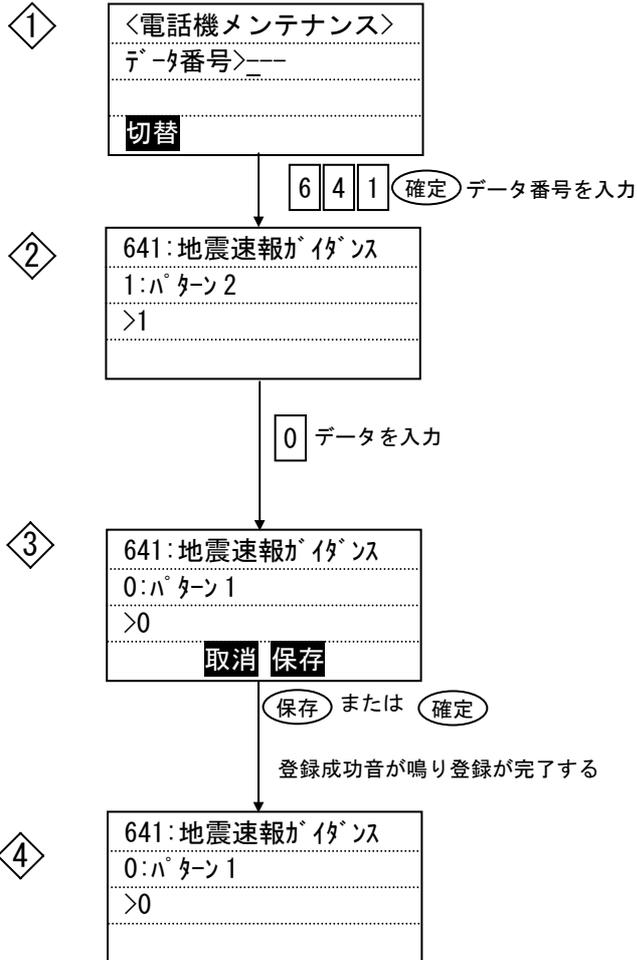
データ番号	地震速報ガイダンス
641	

<データ設定概要>

地震速報が発生した時、流れる音声ガイダンスの種類を設定する。

<操作例>

地震速報ガイダンスパターン1を設定します。



「初期値」

10キー	地震速報ガイダンス
1	パターン2

② 「キー操作とデータ」  
地震速報ガイダンス

③

10キー	地震速報ガイダンス
0	パターン1
1	パターン2

「関連機能番号」

0627：緊急地震速報

<注意事項>

注 1. 各パターンのガイダンス内容は「機能 0627：緊急地震速報」を参照してください。

バージョン	V2.0~
データ更新条件	システム

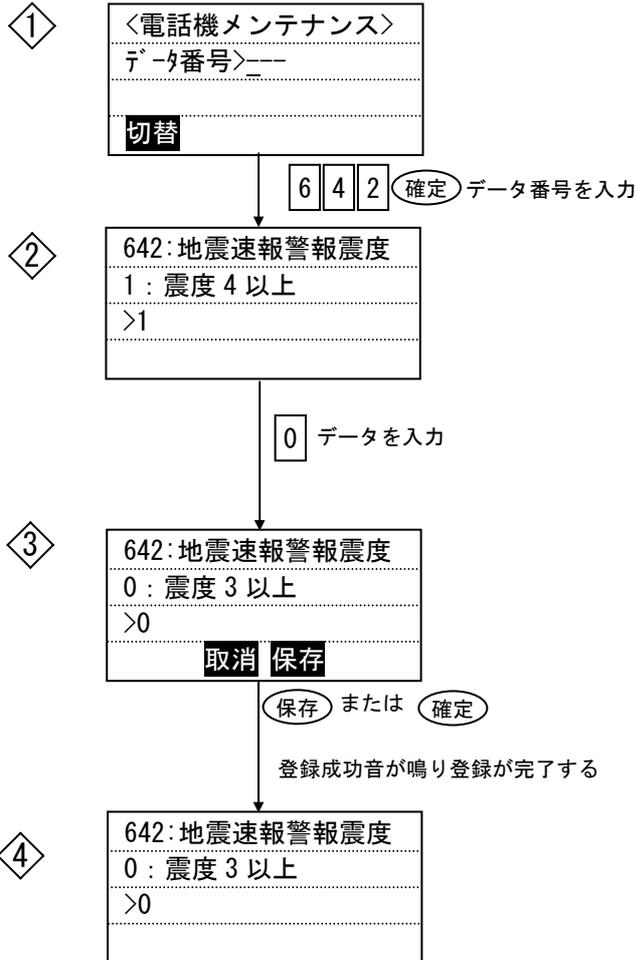
データ番号	地震速報警報震度
642	

<データ設定概要>

地震速報警報許容震度を設定します。

<操作例>

地震速報警報震度 3 を設定します。



「初期値」

10 キー	地震速報警報震度
1	震度 4 以上

「キー操作とデータ」  
地震速報地震震度

10 キー	地震速報警報震度
0	震度 3 以上
1	震度 4 以上
2	震度 5 弱以上

②  
③

「関連機能番号」

0627 : 緊急地震速報

<注意事項>

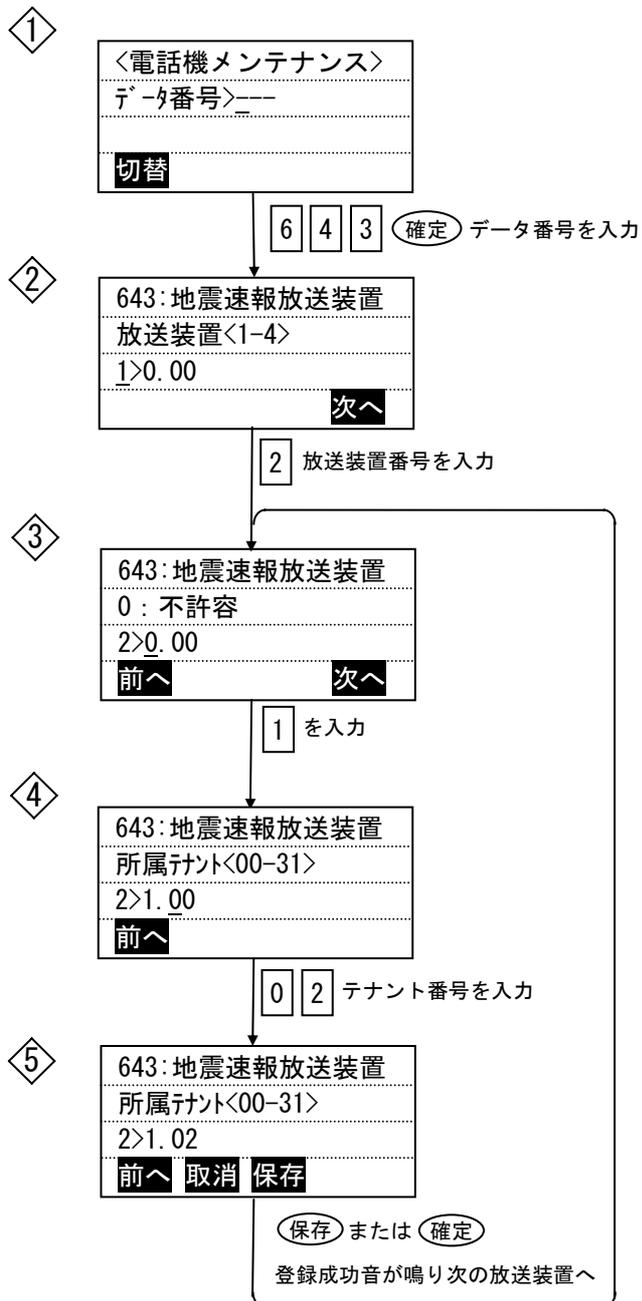
データ番号	地震速報対象放送装置	バージョン	V2.0~
643		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

放送装置毎の地震速報放送許可/不許可を設定し、さらに所属テナントを指定する。

<操作例>

放送装置 2 を速報警報放送許可にします、所属テナント 02 に指定します。



「初期値」全放送装置共通

10 キー	地震速報放送装置
0	不許可

10 キー	所属テナント
00	00

「キー操作とデータ」

② 放送装置指定

放送装置 (1~4) を 10 キーで入力します。

③ 地震速報放送装置

10 キー	地震速報放送装置
0	不許可
1	許可

④ 所属テナント指定

所属テナント (00~31) を 10 キーで入力します。

②

③

④

「関連機能番号」

0627 : 緊急地震速報

<注意事項>

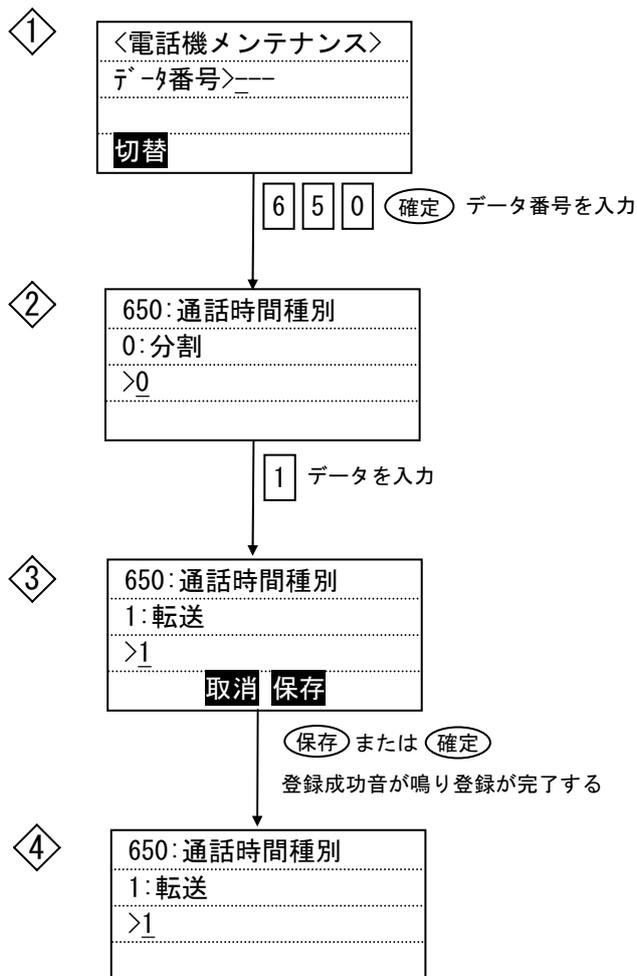
データ番号	通話時間種別	バージョン	V1.0~
650		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

保留転送での通話時間表示の新規カウント／継続カウントを指定する。

<操作例>

通話時間の種別を転送先課金に変更します。



「初期値」

10キー	課金方法種別
0	分割

「キー操作とデータ」

課金方法種別

10キー	データ内容
0	分割(新規カウント)
1	転送(継続カウント)

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0706:通話時間表示

<注意事項>

- 注1. 「新規カウント」を指定すると、保留転送後の通話時間表示が0秒から開始します。  
「継続カウント」を指定すると、保留転送前(転送者)の通話時間表示の継続時間より開始します。

バージョン	V1.3~
データ更新条件	内線毎

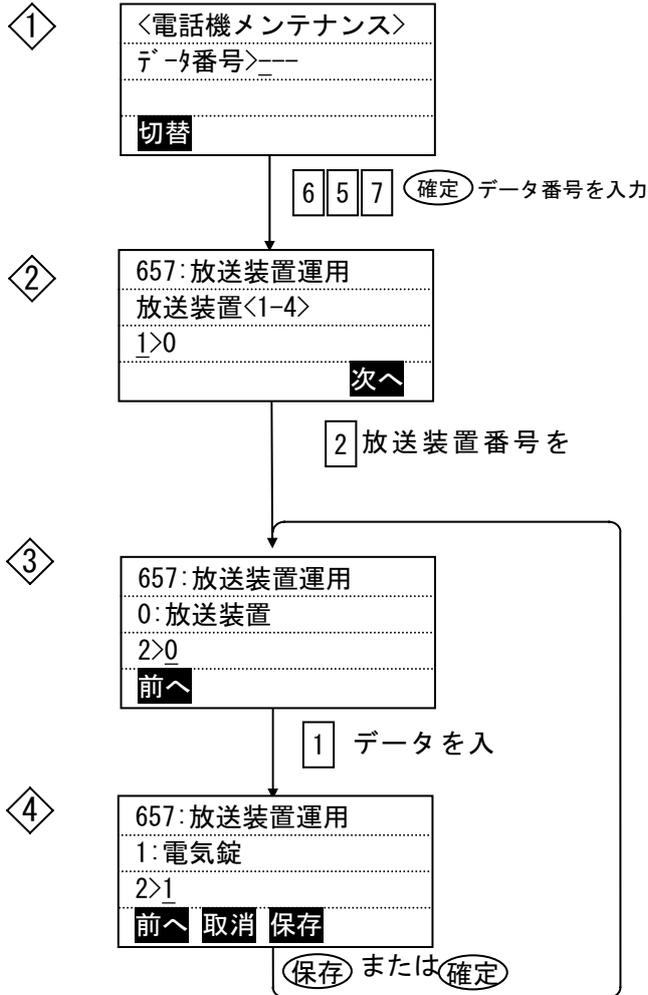
データ番号	放送装置運用
657	

<データ設定概要>

放送装置の運用形態を設定する。

<操作例>

放送装置 2 番を電気錠として運用します。



「初期値」全放送装置共通

10 キー	放送装置運用
0	放送装置

「入力形式選択」

「キー操作とデータ」

② 放送装置番号指定  
放送装置番号を 10 キーで入力します。

放送装置運用形態

10 キー	データ内容
0	放送装置
1	電気錠

「関連機能番号」

- 0416：放送呼出
- 0417：放送応答
- 0615：電気錠接続

<注意事項>

注1.

このページは白紙になります。

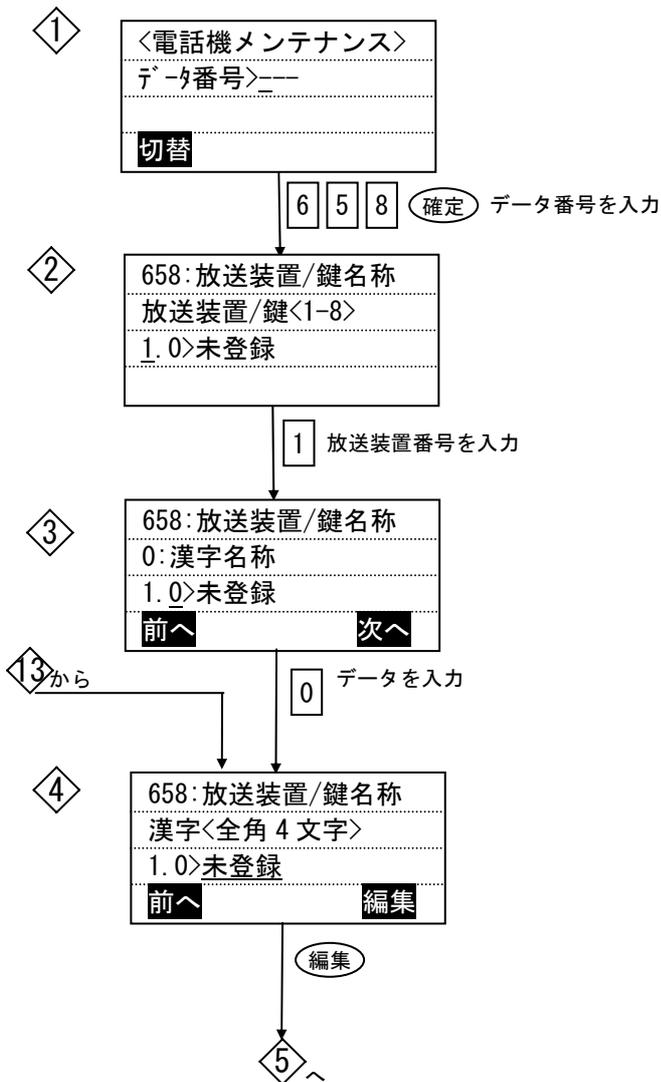
データ番号	放送装置/鍵名称 1/3	バージョン	V1.0~
658		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

放送装置/電気錠の名称を設定する。(名称は全角4文字、半角8文字入力可)

<操作例>

放送装置1の名称を「東京太郎(トキョウタロウ)」に設定します。



「初期値」全放送装置/電気錠共通

放送装置名称	
放送装置/鍵 1-8	未登録(漢字名称) 未登録(カナ名称)

「入力形式選択」

漢字/カナ選択

	データ内容
0	漢字名称
1	カナ名称

「キー操作とデータ」

放送装置/鍵

放送装置/電気錠(1~8)を10キーで指定します。

放送装置/電気錠名称

	データ内容
漢字	全角4文字
カナ	半角8文字

- ③
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬

「関連機能番号」

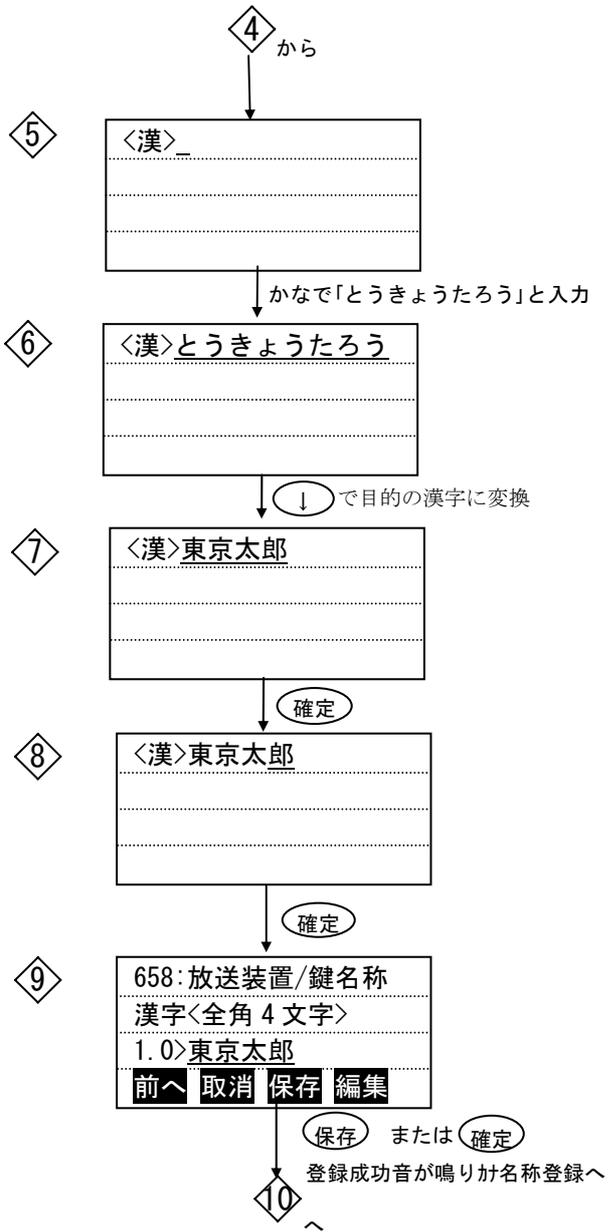
- 0416 : 放送呼出
- 0615 : 電気錠接続

<注意事項>

データ番号	放送装置/鍵名称 2/3	バージョン	V1.0~
658		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

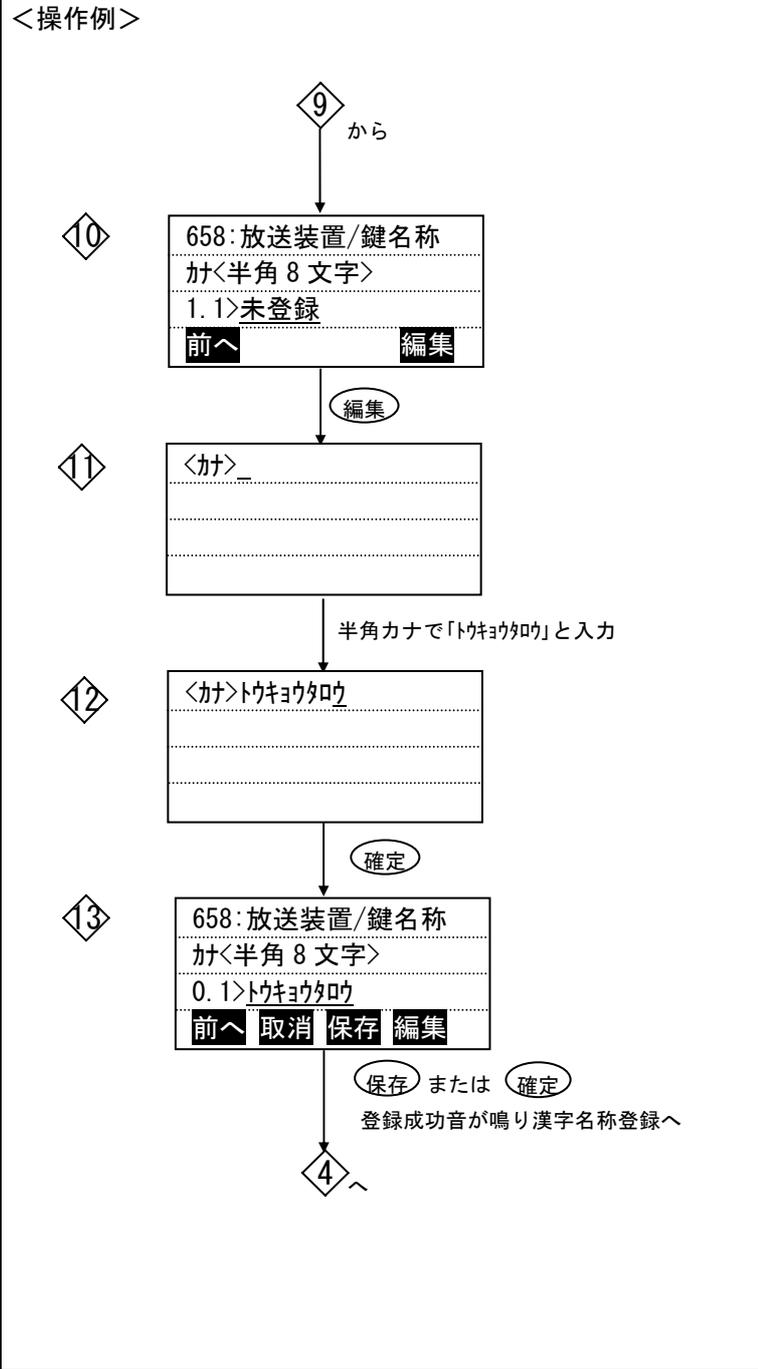


<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	放送装置/鍵名称 3/3
658	

<データ設定概要>



<注意事項>

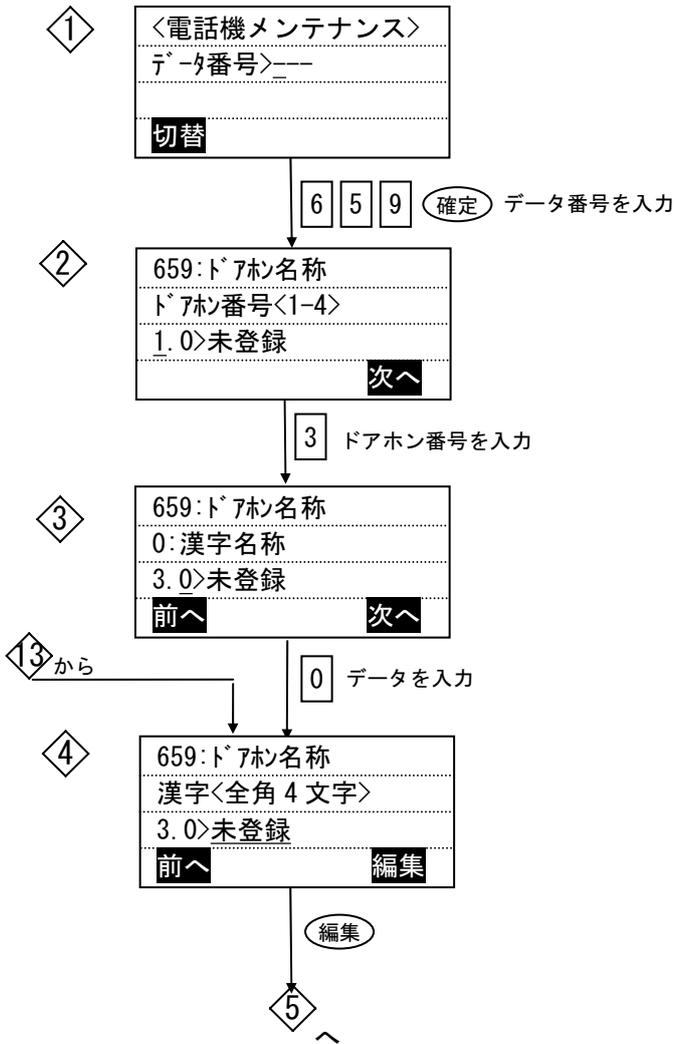
データ番号	ドアホン名称 1/3	バージョン	V1.0~
659		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ドアホンの名称を設定する。  
(名称はドアホン1~4のそれぞれに全角4文字、半角8文字入力可)

<操作例>

ドアホン3の名称を東京太郎(トウキョウトウ)に設定します。



「初期値」全ドアホン共通

10キー	ドアホン名称
-	未登録

「入力形式選択」

漢字/カナ選択

10キー	データ内容
0	漢字名称
1	カナ名称

「キー操作とデータ」

ドアホン番号

ドアホン番号(1~4)を10キーで指定します。

ドアホン名称

	データ内容
漢字	全角4文字
カナ	半角8文字

- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13

「関連機能番号」

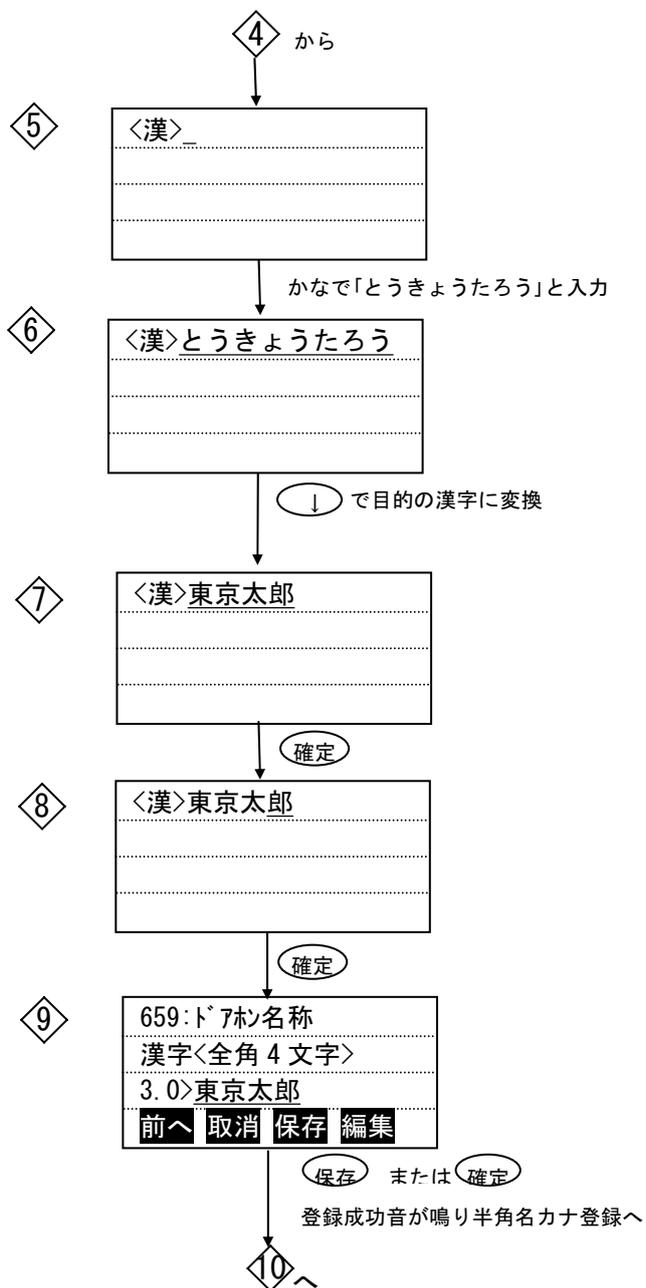
0611: ドアホン着信  
0612: ドアホン呼出

<注意事項>

データ番号	ドアホン名称 2/3	バージョン	V1.0~
659		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

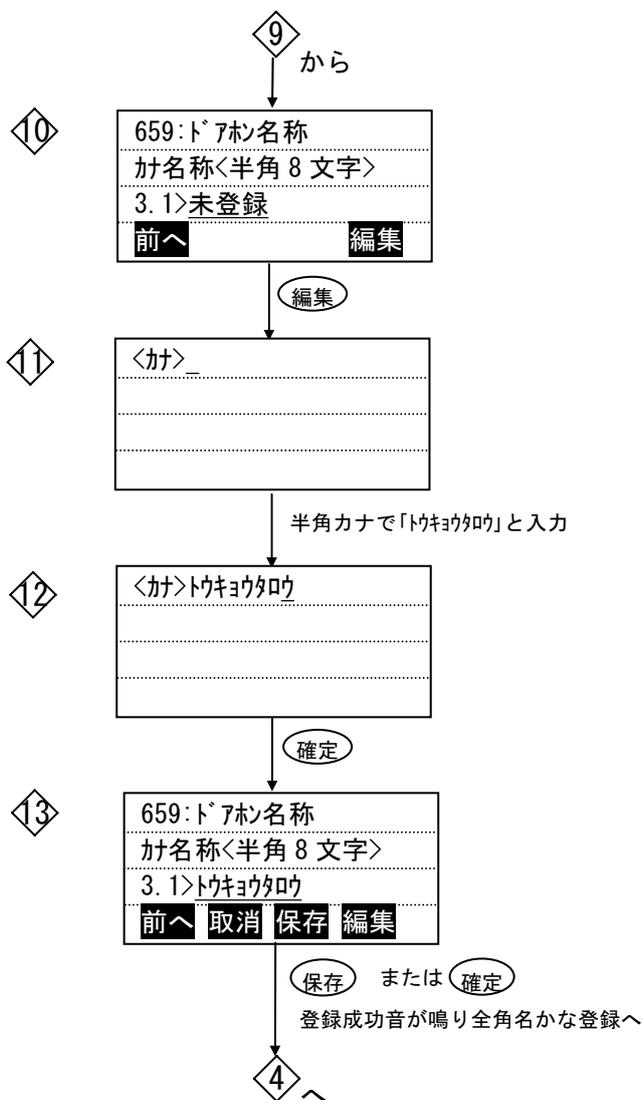


<注意事項>

データ番号	ドアホン名称 3/3	バージョン	V1.0~
659		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



<注意事項>

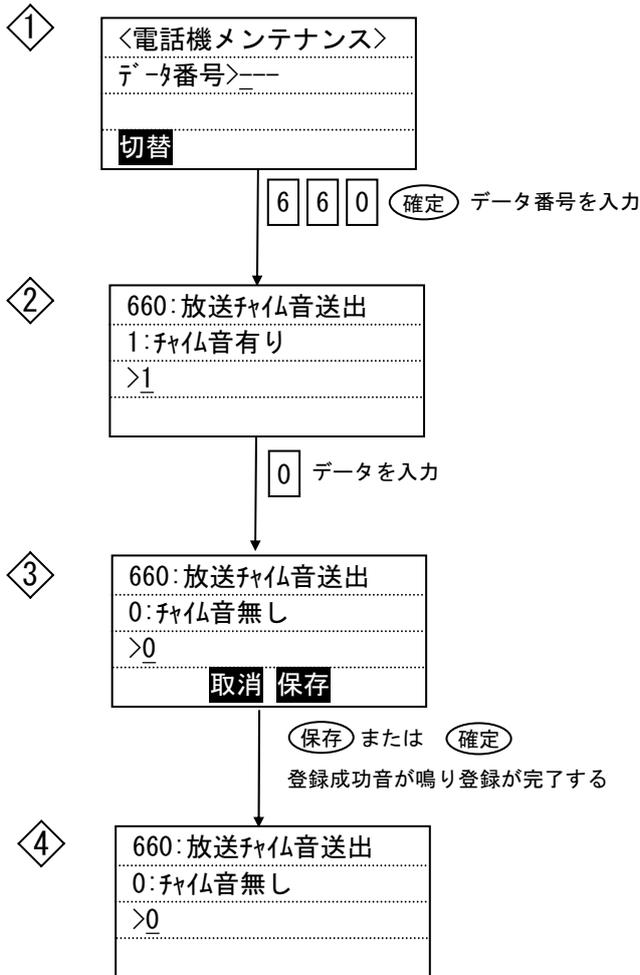
データ番号	放送チャイム音送出	バージョン	V1.0~
660		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

放送結合装置にアクセスした時、チャイム音送出の有無を指定する。

<操作例>

チャイム音送出を無しに変更します。



「初期値」

10 キー	チャイム音の有無
1	チャイム音有り

「キー操作とデータ」

放送チャイム音

10 キー	データ内容
0	チャイム音無し
1	チャイム音有り

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0416: 放送呼出

<注意事項>

注1. チャイム音送出までの時間については各種タイマ設定（データ番号635-48）で調節できます。

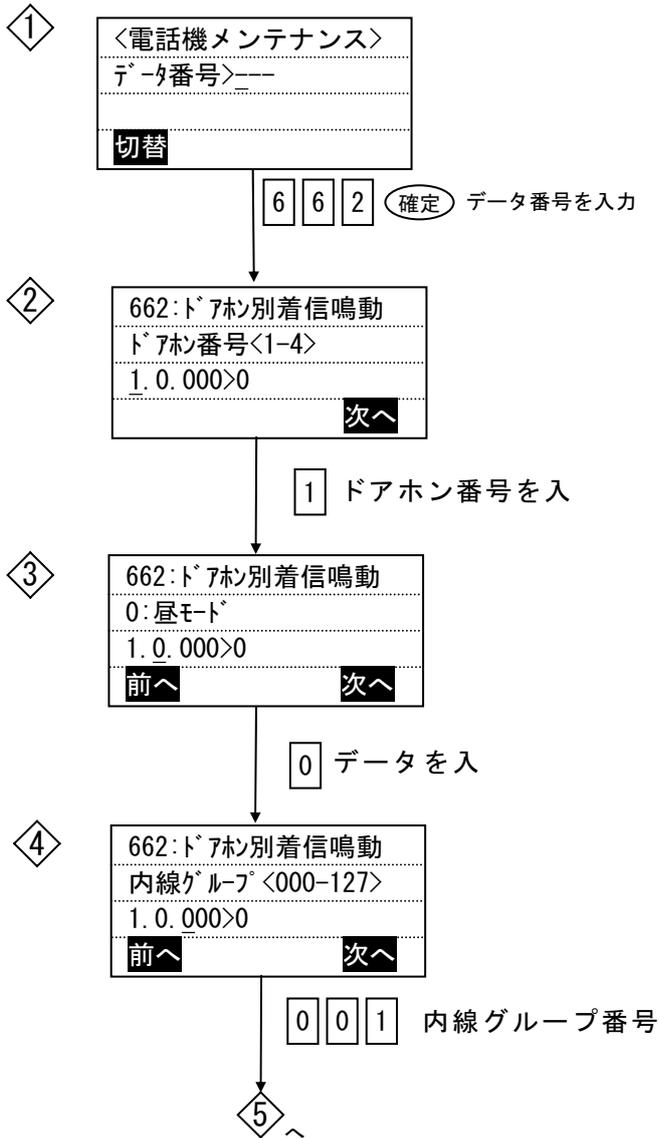
データ番号	ドアホン別着信鳴動有無 1/2	バージョン	V1.0~
662		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ドアホン1~4の鳴動内線を内線グループごとに、昼・夜別に鳴動指定する

<操作例>

内線グループ001のドアホン着信の昼鳴動を鳴動指定有にします。



「初期値」

10 キー	鳴動指定
0	鳴動指定無し

「キー操作とデータ」

ドアホン番号

ドアホン回路番号(1~4)を10キーで入力します。

昼/夜1/夜2選択

10 キー	データ内容
0	昼モード
1	夜モード1
2	夜モード2

内線グループ

内線グループ番号(000~127)を10キーで入力します。

④

「関連機能番号」

0611:ドアホン着信  
1315:PS一斉着信  
1402:VOIP内線一斉着信

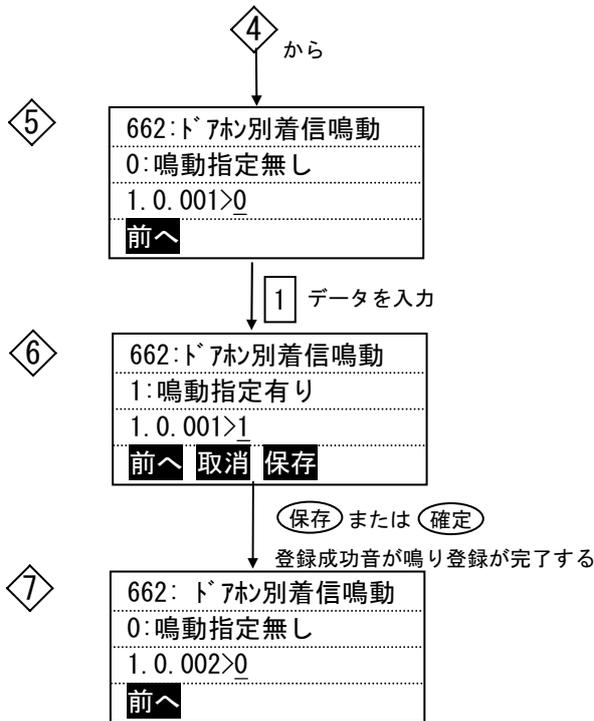
<注意事項>

- 注1. 初期値で、ドアホン全回路について、昼・夜1・夜2とも全内線鳴動無しになっています。
- 2. ドアホン回路番号は1~4設定できます。
- 3. ドアホン鳴動対象電話機には着信時ドアホン着信のLCD表示をします。
- 4. ドアホン着信で鳴動させる端末は内線グループ(データ番号590)を設定してください。

データ番号	ドアホン別着信鳴動有無 2/2	バージョン	V1.0~
662		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

鳴動指定無し/有り

10 キー	データ内容
0	鳴動指定無し
1	鳴動指定有り

<注意事項>

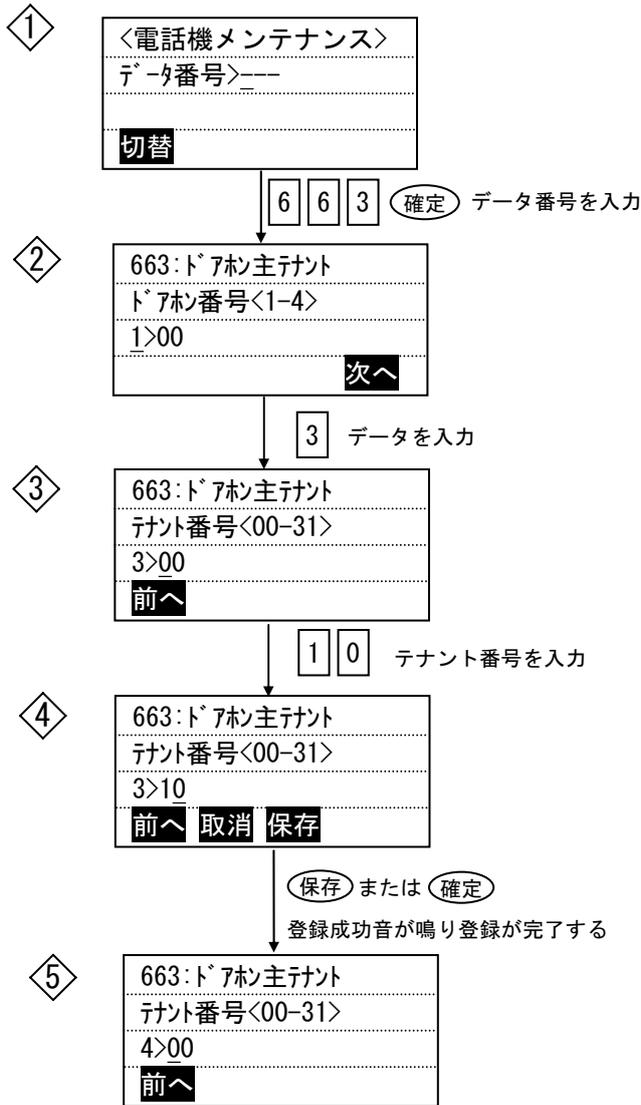
データ番号	ドアホン主テナント(ドアホン毎)	バージョン	V1.0~
663		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ドアホンごとに昼夜切替のテナント番号を指定する。

<操作例>

ドアホン番号3の主テナントにテナント番号10を設定します。



「初期値」全ドアホン共通

10キー	テナント番号
00	00

「キー操作とデータ」

ドアホン番号、テナント番号

ドアホン番号(1~4)およびテナント番号(00~31)を10キーで入力します。

- ②
- ③
- ④
- ⑤

「関連機能番号」

0611: ドアホン着信

<注意事項>

注1. テナントをまたがった内線をドアホン鳴動の内線グループに指定してある場合もドアホンの昼/夜1/夜2の切替は本データで設定したテナントに従って切替します。

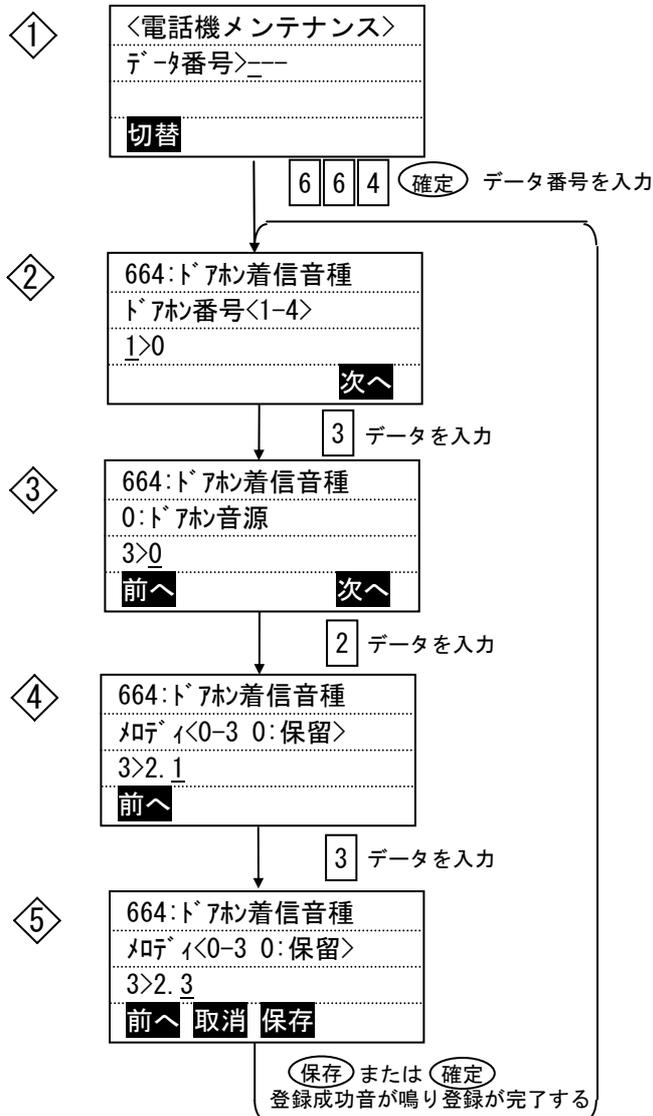
データ番号	ドアホン着信音種	バージョン	V1.0~
664		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ドアホンの音源を、ドアホン内部音源/トーン/メロディ/外部音源を含めた計 17 種類から選択できる。

<操作例>

ドアホン番号 3 の鳴動音をメロディ 3 に変更します。



「初期値」全ドアホン共通

10 キー	着信音種別
0	ドアホン音源

「キー操作とデータ」

ドアホン番号

ドアホン番号(1~4)を10キーで入力します

ドアホン着信音種

10 キー	着信音種別
0	ドアホン音源
1	トーン選択
2	メロディ選択
3	外部音源

トーン種別

10 キー	データ内容
1~10	トーン 01~10<v1.4>

メロディ種別

10 キー	データ内容
0	保留メロディ<v1.4>
1	メロディ 1
2	メロディ 2
3	メロディ 3

メロディ種別

10 キー	データ内容
1	外部音源 1
2	外部音源 2
3	外部音源 3

「関連機能番号」

0611: ドアホン着信

<注意事項>

注 1. トーンの場合その中の10種類より選択し、メロディの場合その中の4種類より選択し、外部音源の場合その中の3種類より選択します。

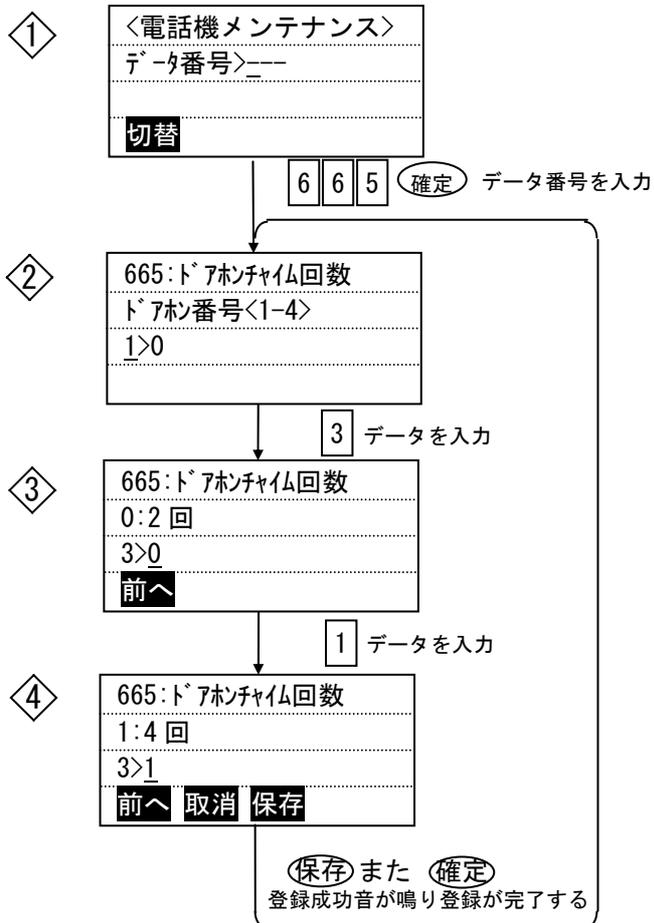
データ番号	ドアホンチャイム回数	バージョン	V1.5~
665		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ドアホンチャイム送出回数を設定します。

<操作例>

ドアホン番号3のチャイム送出回数を4回に変更します。



「初期値」全ドアホン共通

10 キー	チャイム回数
0	2回

「キー操作とデータ」

ドアホン番号

ドアホン番号(1~4)を10キーで入力します

チャイム送出回数

10 キー	チャイム回数
0	2回
1	4回
2	8回

「関連機能番号」

0611:ドアホン着信

<注意事項>

注1. ドアホンチャイム回数はドアホンチャンネル毎（ドアホン1とドアホン2は同じチャンネルである、ドアホン3とドアホン4は同じチャンネルである）の指定のため、片方が変更されたとき、ペアとなったドアホンの設定内容も同時に変更される。

このページは白紙になります。

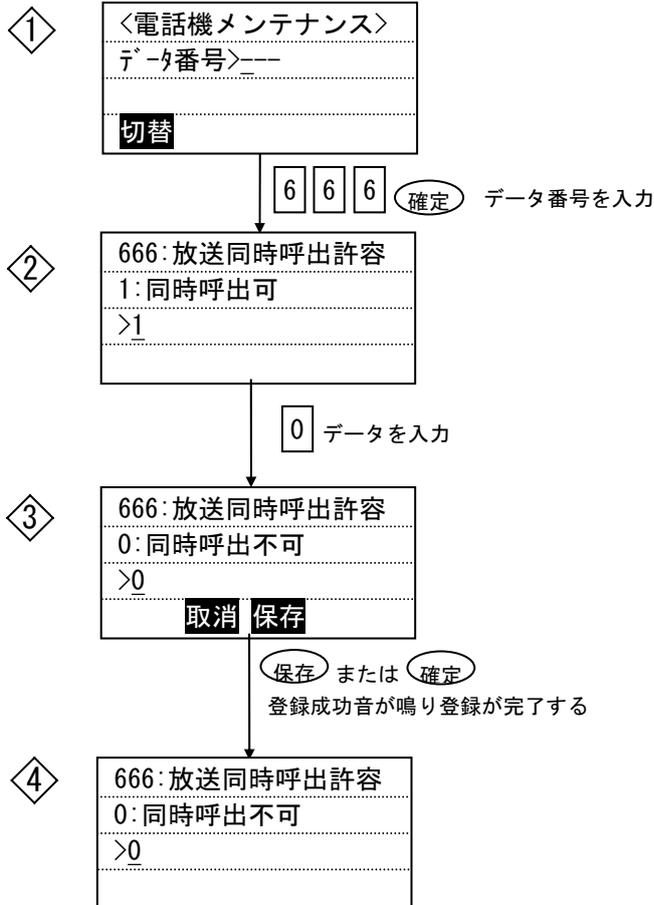
データ番号	放送同時呼出許容	バージョン	V1.0~
666		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

放送呼び出しを運用するモードを指定する。

<操作例>

放送呼び出しの運用モードを同時呼出不可に変更します。



「初期値」

10 キー	放送呼び出し運用モード
1	同時呼出可

「キー操作とデータ」

放送呼び出しの運用モード

10 キー	データ内容
0	同時呼出不可
1	同時呼出可

②

「関連機能番号」

0416: 放送呼出  
0417: 放送応答

<注意事項>

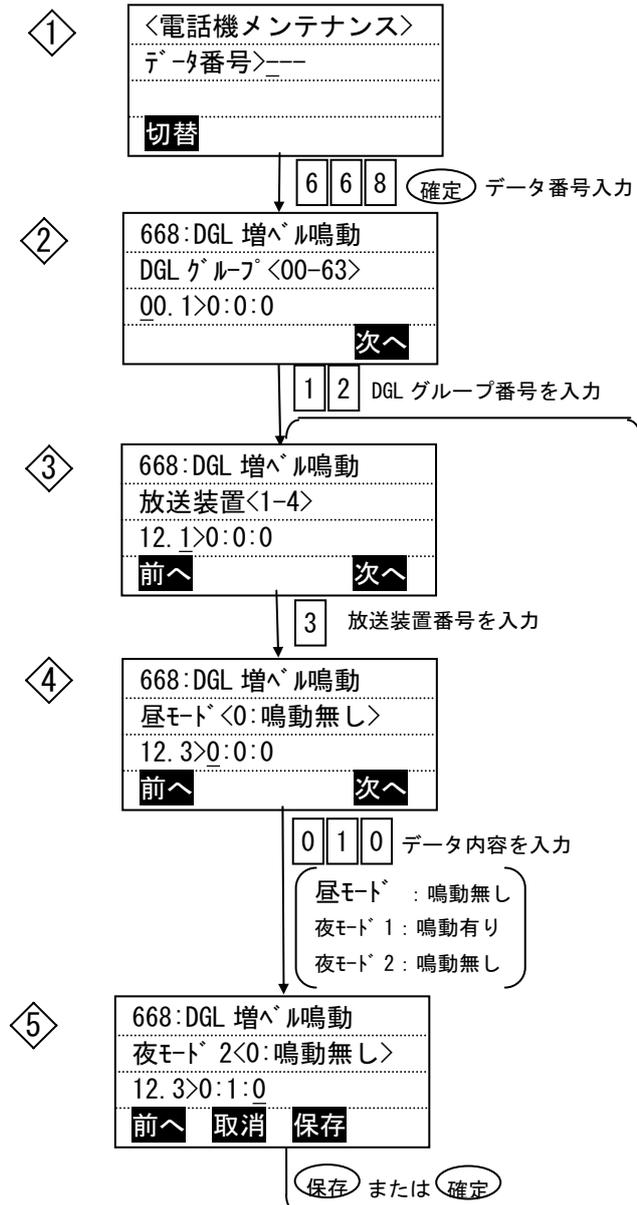
データ番号	放送装置増ベル鳴動有無 (DGL 毎)	バージョン	V1.0~
668		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

DGL (ダイレクトグループライン) 着信時、放送装置に鳴動音の送出有無を設定する。

<操作例>

DGL グループ番号 12 を、放送装置 3 夜モード 1 のみ鳴動有りに変更します。



登録成功音が鳴り次の  
DGL グループ番号へ

「初期値」全グループ/全放送装置/全モード共通

10 キー	鳴動設定
0	鳴動無し

「キー操作とデータ」

DGL グループ

DGL グループ番号 (00~63) を 10 キーで入力します。

放送装置番号

放送装置 (1~4) を 10 キーで入力します

昼:夜 1:夜 2 動作

0	0	0
昼モード	夜 1 モード	夜 2 モード

10 キー	データ内容
0	鳴動無し
1	鳴動有り

「関連機能番号」

0217:ダイレクトグループライン (DGL)

<注意事項>

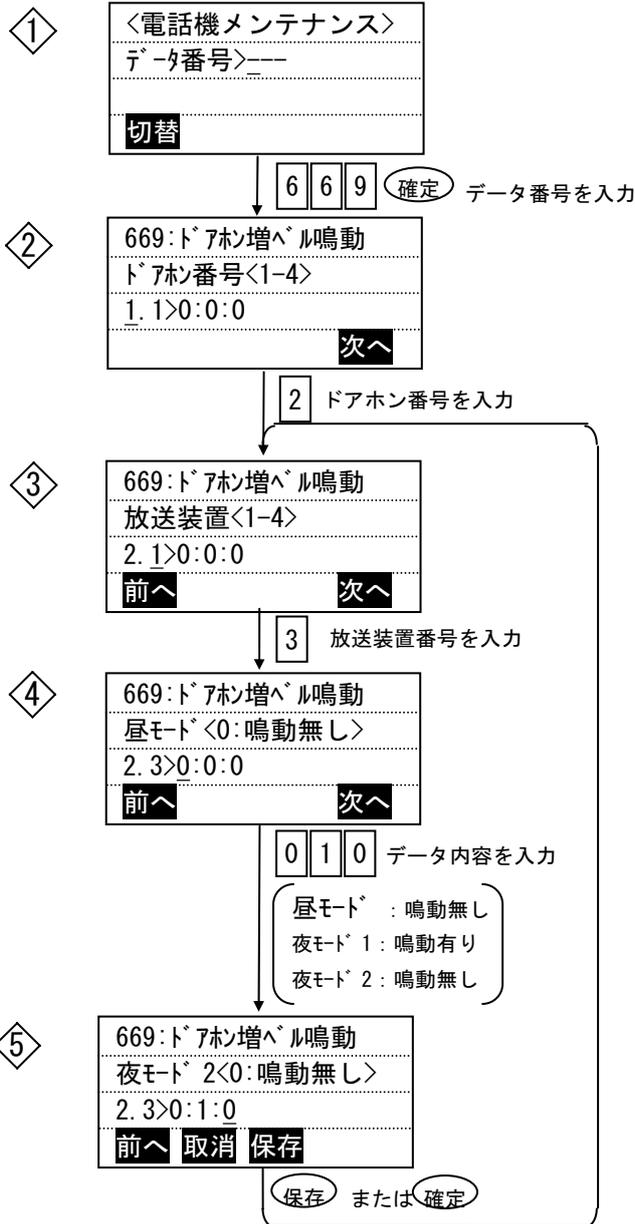
データ番号	放送装置増ベル鳴動有無(ドアホン毎)	バージョン	V1.0~
669		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ドアホン着信時、放送装置に鳴動音の送出有無を設定する。

<操作例>

ドアホン2を放送装置3夜モード1のみ鳴動ありに変更します。



登録成功音が鳴り次のドアホン番号へ

「初期値」全ドアホン/全放送装置/全モード共通

10 キー	鳴動設定
0	鳴動無し

「キー操作とデータ」

② ドアホン番号  
ドアホン番号 (1~4) を 10 キーで入力します。

③ 放送装置番号  
放送装置番号 (1~4) を 10 キーで入力します。

④ 昼:夜 1:夜 2 動作

0	0	0
昼モード	夜 1 モード	夜 2 モード
10 キー	データ内容	
0	鳴動無し	
1	鳴動有り	

「関連機能番号」  
0611: ドアホン着信

<注意事項>

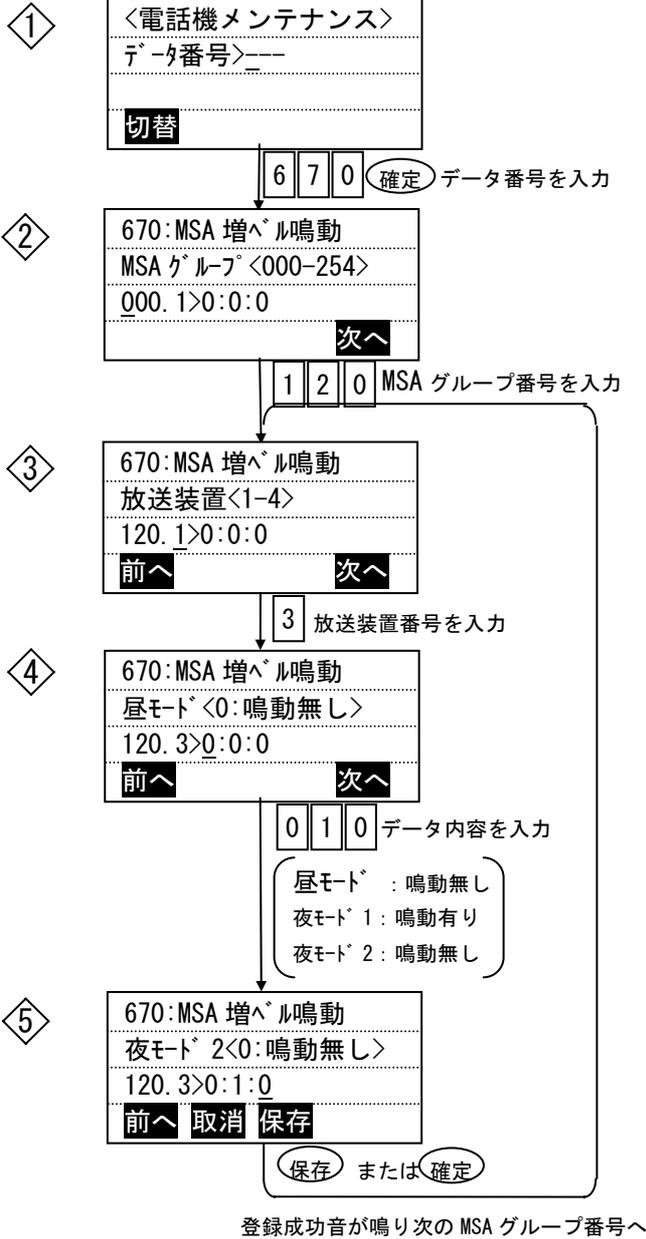
データ番号	放送装置増ベル鳴動有無 (MSA 毎)	バージョン	V1.0~
670		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

MSA で着信時、放送装置に鳴動音の送出有無を設定する。

<操作例>

MSA グループ番号 120 を、放送装置 3 夜モード 1 のみ鳴動有りに変更します。



「初期値」全グループ/全放送装置/全モード共通

10 キー	鳴動設定
0	鳴動無し

「キー操作とデータ」

MSA グループ

MSA グループ番号 (000~254) を 10 キーで入力します。

放送装置番号

放送装置番号 (1~4) を 10 キーで入力します

昼:夜 1:夜 2 動作

0	0	0
昼モード	夜 1 モード	夜 2 モード

10 キー	データ内容
0	鳴動無し
1	鳴動有り

「関連機能番号」

0203:MSA 着信

<注意事項>

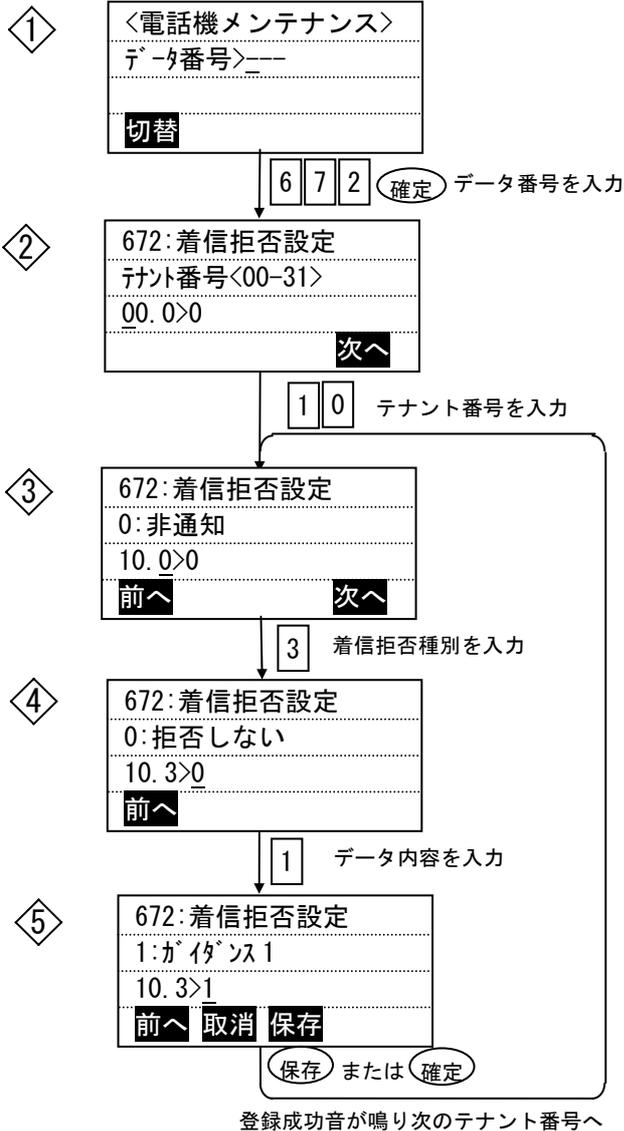
データ番号	着信拒否設定	バージョン	V1.0~
672		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

電話をかけてきた相手ごとに、着信させるか拒否するかを設定する。  
(着信拒否する場合、着信拒否ガイダンスを流してから切断するかを選択できます。)

<操作例>

テナント番号 10 の端末の、表示圏外着信を拒否する様に設定します。



「初期値」全テナント/迷惑電話番号以外共通

10 キー	着信拒否設定
0	拒否しない

迷惑電話番号着信拒否設定<v2.0>

10 キー	着信拒否設定
3	ガイダンス無し

② 「キー操作とデータ」

テナント番号

テナント番号 (00~31) を 10 キーで入力します。

③ 非通知理由+着信拒否番号

10 キー	
0	非通知
1	公衆電話
2	表示圏外
3	迷惑電話番号

④

着信拒否設定 注1

10 キー	
0	拒否しない
1	ガイダンス1
2	ガイダンス2
3	ガイダンス無し

⑤

「関連機能番号」

0223:着信拒否 (迷惑電話拒否)

<注意事項>

注1. 迷惑電話番号はメニューで設定できます。

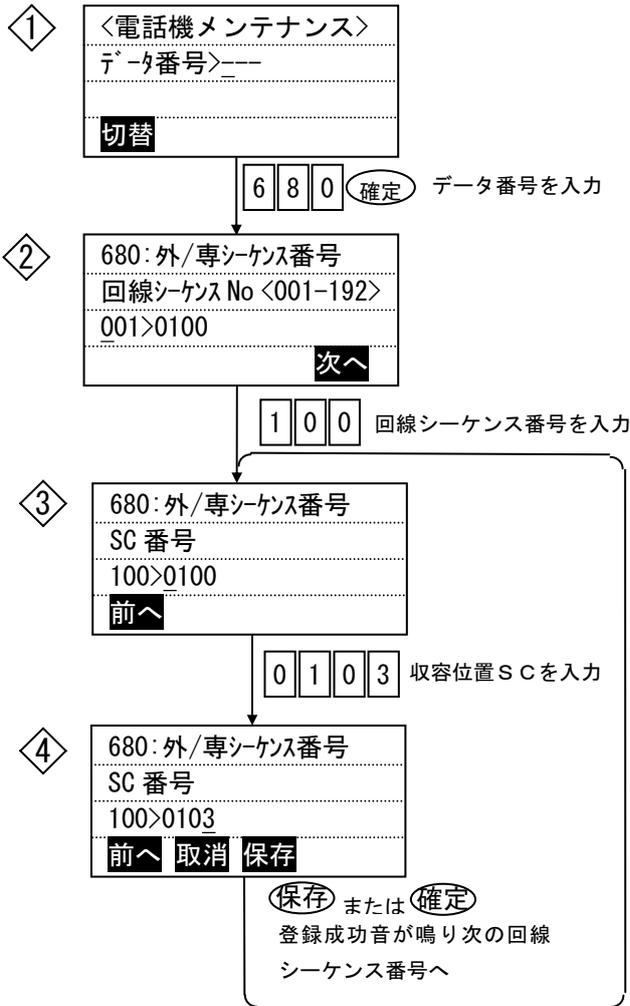
データ番号	外線/専用線シーケンス番号	バージョン	V1.0~
680		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線/専用線のシーケンス番号（外線順序番号）と回線収容位置の対応データを設定する。

<操作例>

回線シーケンス番号 100 に回線収容位置 SC0103 を設定します。



「初期値」

10 キー	局線収容位置
—	SC 未登録

(注1)

「キー操作とデータ」

回線シーケンス番号、SC 番号

回線シーケンス番号および回線収容位置 SC を 10 キーで入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0112: 指定外線/専用線捕捉

<注意事項>

- 注1. システムの立ち上げの時、外線ユニット実装の若番ポートから順番に回線シーケンス番号が設定されます。
- 2. 回線シーケンス番号は最大192設定できます。

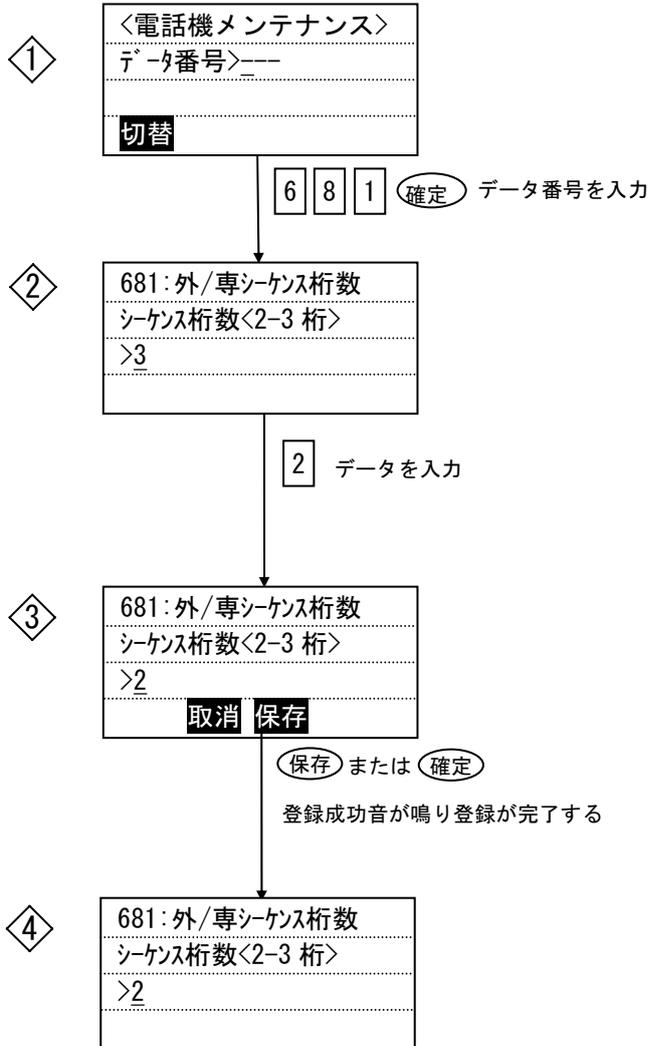
データ番号	外線/専用線シーケンス番号桁数	バージョン	V1.0~
681		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外線/専用線のシーケンス番号の番号桁数を設定する。

<操作例>

シーケンス番号桁数を2桁に変更します。



「初期値」

10キー	シーケンス番号桁数
3	3桁

「キー操作とデータ」  
シーケンス番号桁数

10キー	シーケンス番号桁数
2	2桁
3	3桁

②  
③  
④

「関連機能番号」

0112: 指定外線/専用線捕捉

<注意事項>

1. シーケンス番号桁数が2桁の場合は01~99となります。
2. シーケンス番号桁数が3桁の場合は001~192となります。
3. 2桁だと最大回線数収容(192回線)の時99以降の番号が設定できないので、注意してください。

バージョン	V1.5~
データ更新条件	システム

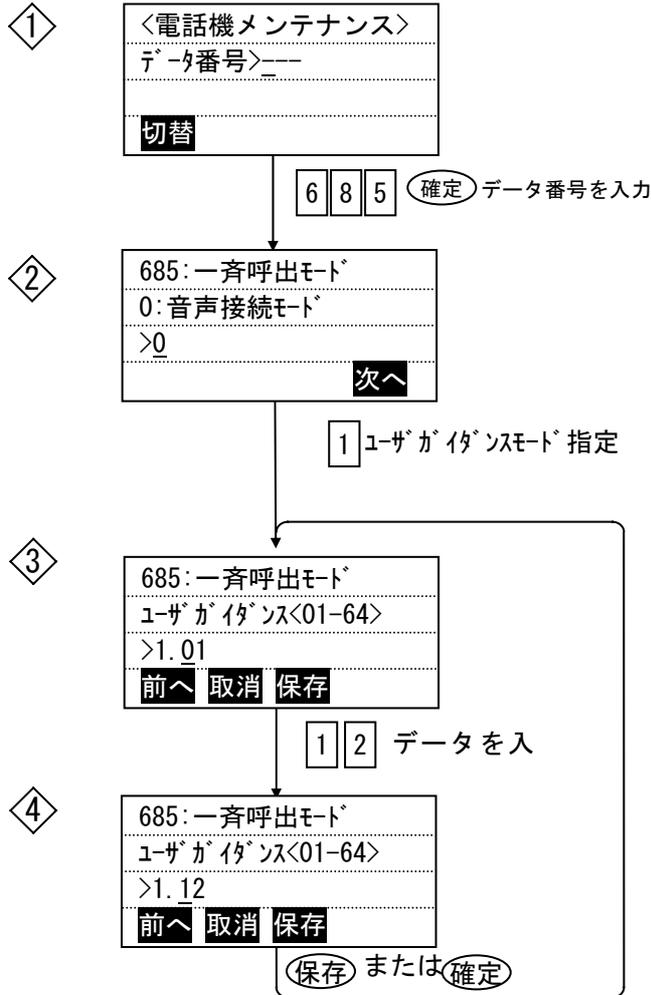
データ番号	一斉呼出モード
685	

<データ設定概要>

一斉呼出の運用モードを設定する。

<操作例>

ユーザガイダンス12番を一斉呼出の呼び出し元として運用します。



「初期値」全放送装置共通

10 キー	一斉呼出モード
0	音声接続モード

「キー操作とデータ」

2 一斉呼出モード指定

10 キーで入力します。

10 キー	データ内容
0	音声接続モード
1	ユーザガイダンス接続モード

3 ユーザガイダンス番号指定

ユーザガイダンス番号(1~64)を入力します。

4

「関連機能番号」

0626 : 一斉呼出  
0424 : ユーザガイダンス録音

<注意事項>

注1. 録音なしのユーザガイダンスを指定できませんので、予め録音しておいてください。

このページは白紙になります。

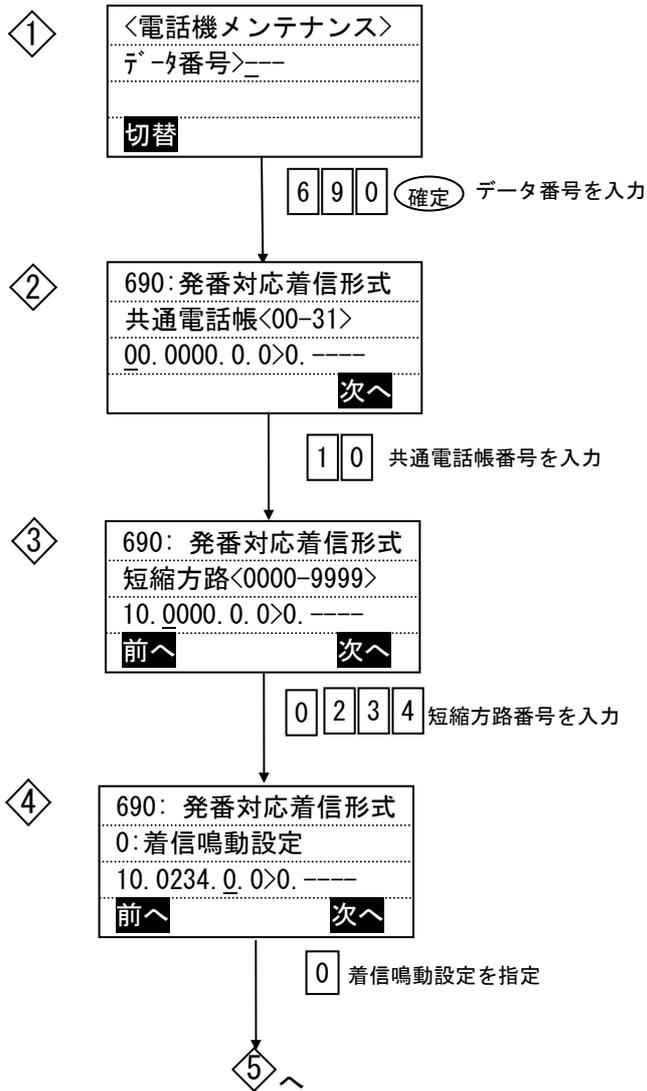
		バージョン	V1.0~
データ番号	発番号対応着信形式 1/3	データ更新条件	システム
690			

<データ設定概要>

発番号に対応するデータ設定を行う。  
 (発番号ごとに、昼/夜の着信形式の設定/変更を行うことができる、発番号ごとに着信音を指定できる。)

<操作例>

短縮方路 234 に該当する発番号に着信形式を設定します。



「初期値」

10 キー	発番号
-	発番号一括登録コード

「キー操作とデータ」

② 共通電話帳番号

共通電話帳番号を (00~31) 10 キーで入力します。

③ 短縮方路

電話帳番号を (0000~9999) 10 キーで入力します。

④ 着信鳴動、着信音設定選択

10 キー	データ内容
0	着信鳴動設定
1	着信音設定

「関連機能番号」

- 0106: 着信履歴
- 0108: 共通電話帳
- 0208: 発番号別着信音選択
- 0220: 発番号 DID
- 0616: 遠隔設定操作 (PB 保守) <v1.1>

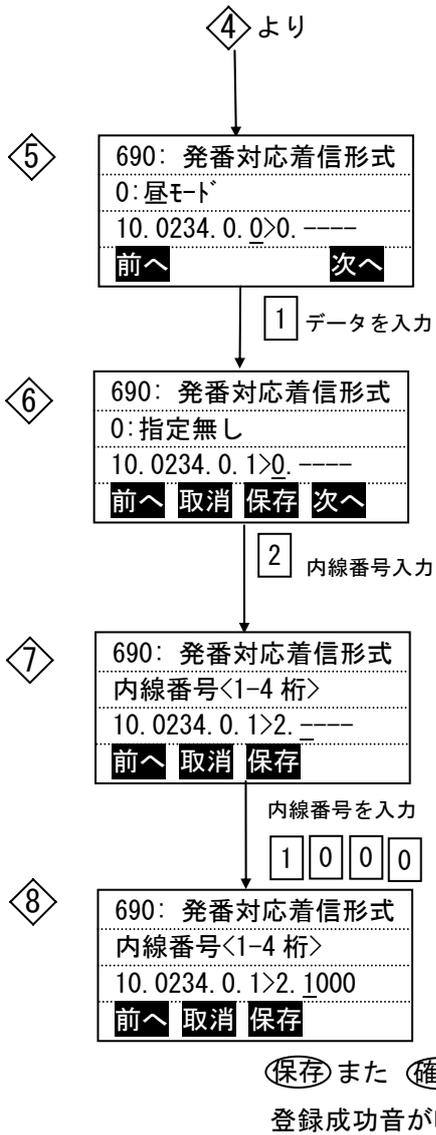
<注意事項>

- 注1. 電話帳削除時には同時に削除され、電話帳ダイヤル及び名称変更時には保持されます。  
電話帳登録の相手先変更時には発番号対応データを再登録して使用してください。
- 注2. 本データはメニュー/ブラウザ/RPCから登録する電話帳の各メモリ番号の情報-着信形式と連動します。
- 注3. 電話帳にて設定されているデータのみ編集可能です。
- 注4. 個別電話帳に対する設定はサービスメニューおよびリモートメンテナンスより行なってください。

データ番号	発番号対応着信形式 2/3	バージョン	V1.0~
690		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「初期値」

10 キー	発番号対応着信形式
0	指定無し

「キー操作とデータ」

昼/夜1/夜2 選択

10 キー	データ内容
0	昼モード
1	夜モード1
2	夜モード2

着信形式, 数値範囲

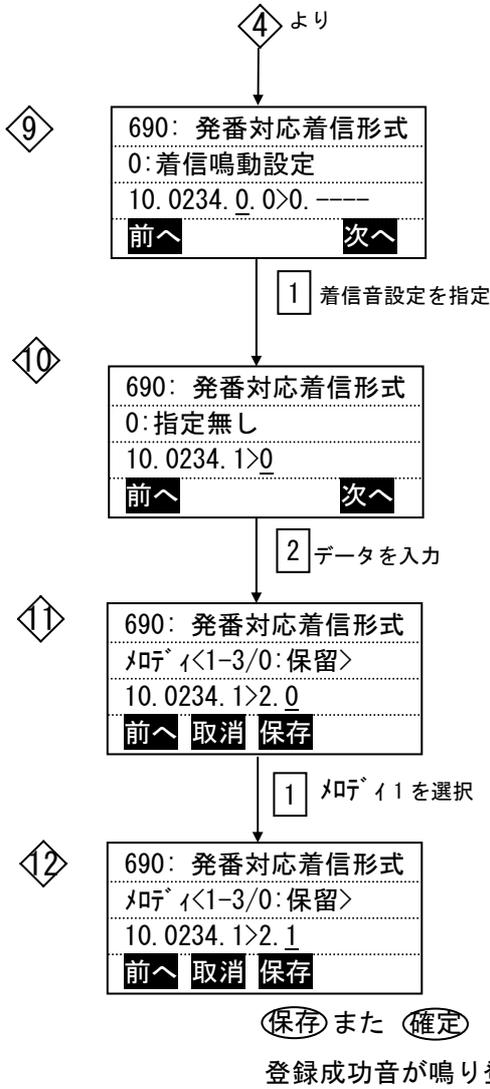
10 キー	データ内容	
0	指定無し	-
1	一般着信	-
2	内線番号	1-4桁
3	DGL グループ	00-63
4	MSA グループ	000-254
5	専用線閉番号 <V1.1>	1-4桁
6	メール着信代行 <V1.2>	1-4桁
7	付加番号 DID<V1.1>	-
8	遠隔PB保守 <V1.1>	-

<注意事項>

データ番号	発番号対応着信形式 3/3	バージョン	V1.0~
690		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

着信音選択, 数値範囲

10キー	内容	10キー	内容
0	指定無し	-	-
1	トーン	01	トーン01
		10	トーン10
2	メロディ	0	保留音
		1	メロディ1
		2	メロディ2
3	外部音源	3	メロディ3
		1	外部音源1
		2	外部音源2
		3	外部音源3

<注意事項>

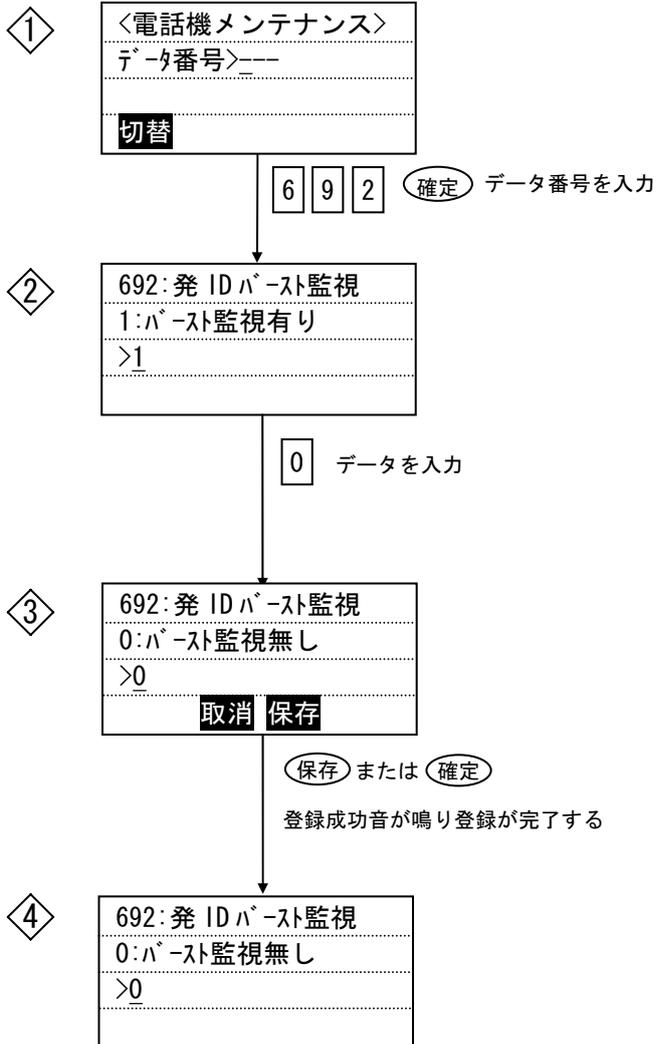
データ番号	発 ID 受信後バースト監視	バージョン	V1.0~
692		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

発 ID 受信後のバースト監視指定の有無を指定する。

<操作例>

発 ID 用バースト監視指定を無しに設定します。



「初期値」

10 キー	発 ID 受信後バースト監視
1	バースト監視有り

「キー操作とデータ」

バースト監視の有り無し

10 キー	データ内容
0	バースト監視無し
1	バースト監視有り

②  
③  
④

「関連機能番号」

0220: 発番号 DID

<注意事項>

注1. バースト監視無しの時のリングは、データ番号540のリング(鳴動インタ)種別の公衆網の指定で行います。

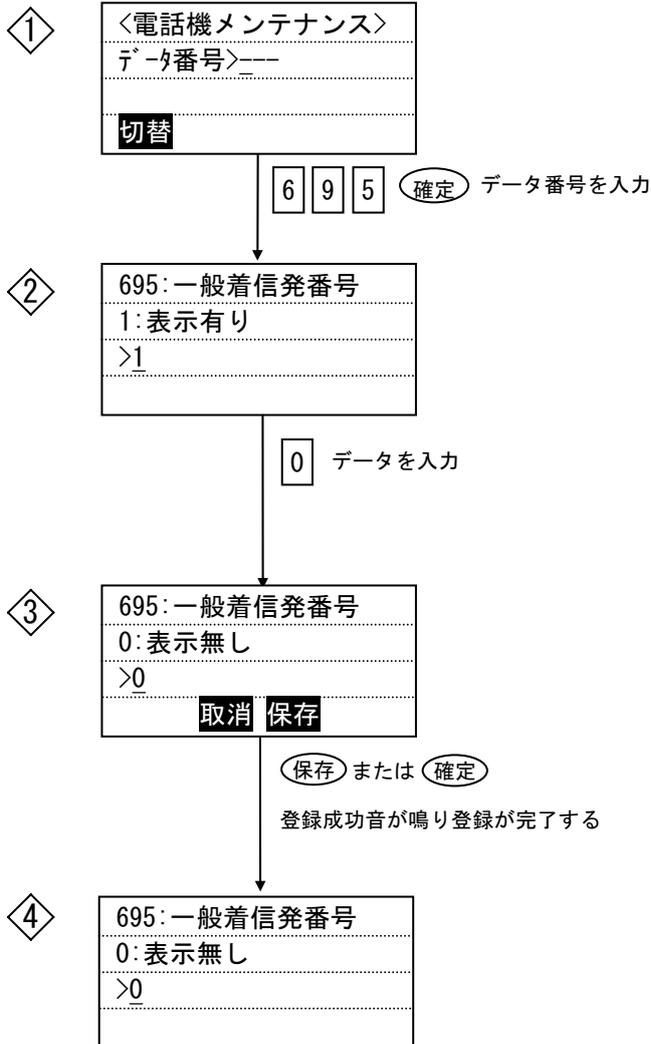
データ番号	一般着信発番号表示	バージョン	V1.0~
695		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

一般着信時の発番号表示の有無を指定します。

<操作例>

一般着信時の発番号表示を無しにします。



「初期値」

10 キー	一般着信発番号表示
1	表示有り

「キー操作とデータ」  
一般着信発番号表示

10 キー	データ内容
0	表示無し
1	表示有り

②  
③  
④

「関連機能番号」

0712:ナンバーディスプレイ  
0713:ネームディスプレイ  
1402:VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

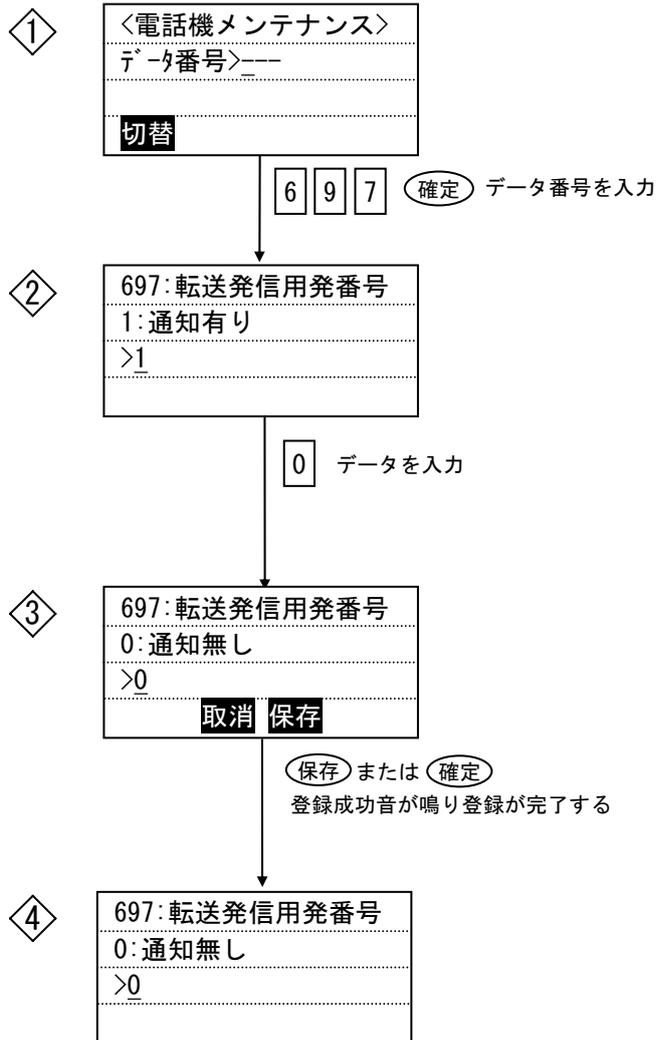
データ番号	転送発信用発番号通知	バージョン	V1.0~
697		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ISDN 回線/VoIP 専用線で転送発信した時、発信者番号を自動的に付与し接続相手に通知するかを設定する。

<操作例>

転送発信時の発信者番号を通知するから通知しないに変更します。



「初期値」

10 キー	発番号通知
1	通知有り

「キー操作とデータ」

発番号通知

10 キー	データ内容
0	通知無し
1	通知有り
2	網に従う

②  
③

「関連機能番号」

- 0310: 不在転送
- 0311: 話中転送
- 0312: 無応答転送
- 0604: 公一公接続
- 0605: 専一公接続<V1.1>
- 0606: 公-専接続<V1.1>
- 0936: 留守番機能<V1.2>

<注意事項>

転送発信用発番号は捕捉したISDN回線の契約番号となります。

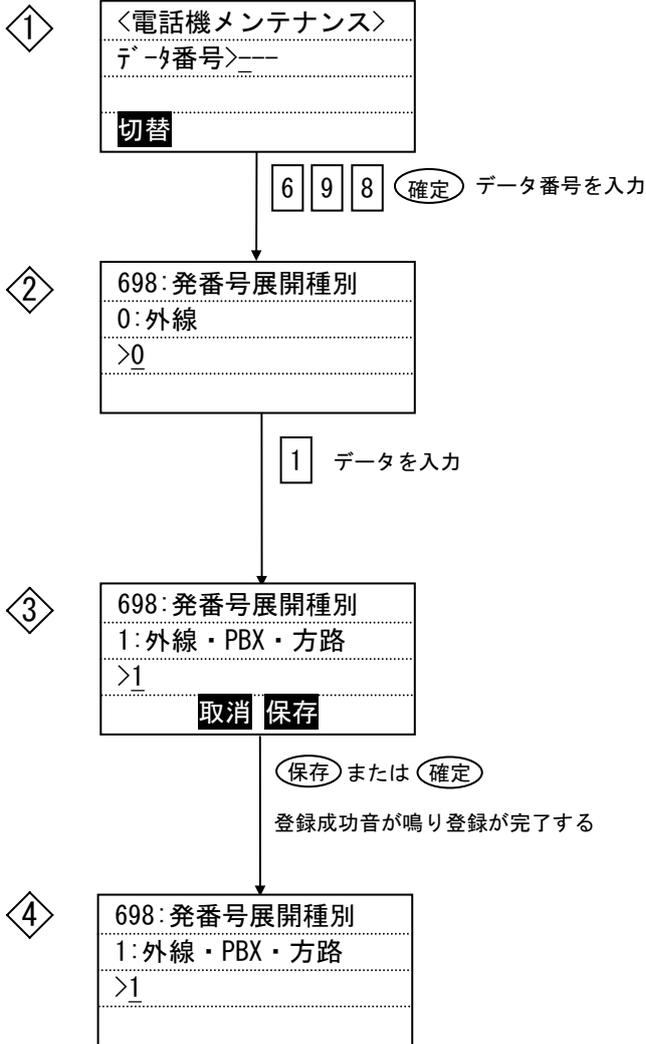
データ番号	発番号展開種別	バージョン	V1.0~
698		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

発番号検索の対象となる電話帳登録番号の発信種別を指定する。

<操作例>

発番号検索の対象を外線・PBXに変更します。



「初期値」

10 キー	発番号展開種別
0	外線<~V1.1>
1	外線・PBX・方路<V1.2~>

「キー操作とデータ」

発番号展開種別

10 キー	データ内容
0	外線
1	外線・PBX・方路

②

③

「関連機能番号」

- 0108: 共通電話帳
- 0220: 発番号 DID
- 0310: 不在転送
- 0312: 無応答転送
- 0712: ナンバーディスプレイ

<注意事項>

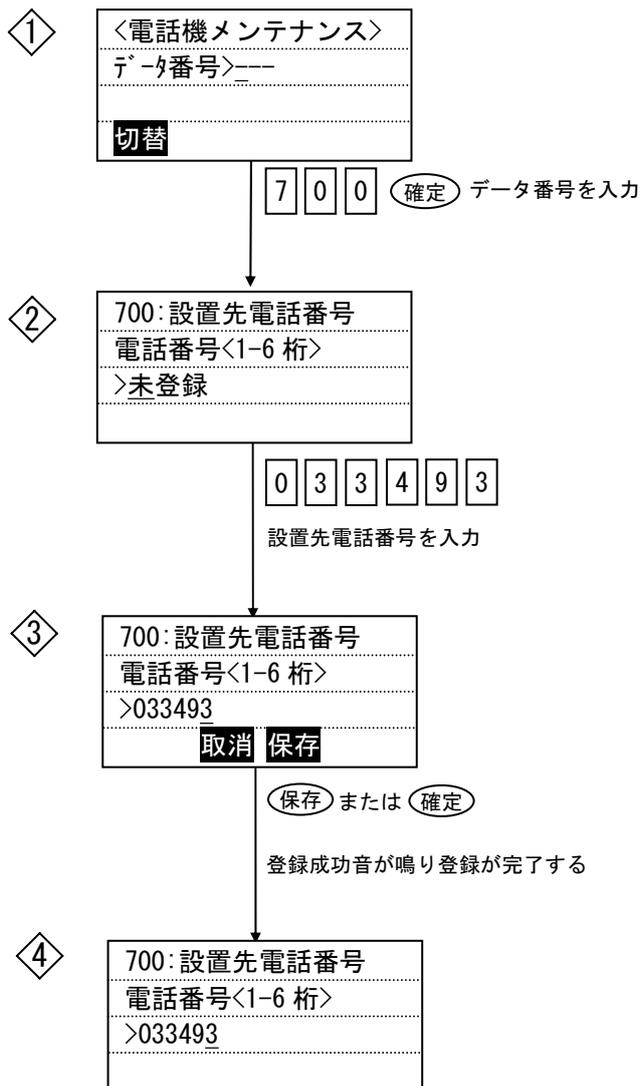
データ番号	設置先電話番号（自地域市外局番含む）	バージョン	V1.0~
700		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

課金を行う基準として、設置先電話番号を自地域市外局番を含め頭6桁を設定する。  
(例) 03-3493-5432 の場合 033493 を入力します。

<操作例>

設置先電話番号 03-3493-5432 の 033493 を設定します。



「初期値」

10キー	設置先電話番号
-	未登録

「キー操作とデータ」

電話番号

設置先電話番号の頭6桁（自地域市外局番含む）を10キーで入力します。

②  
③

「関連機能番号」

- 0116: キャリア番号付加発信<v1.1>
- 0117: マイライン/マイラインプラス<v1.1>

<注意事項>

注1. 自地域市外局番は必ず市外および市内局番の頭6桁で設定してください。

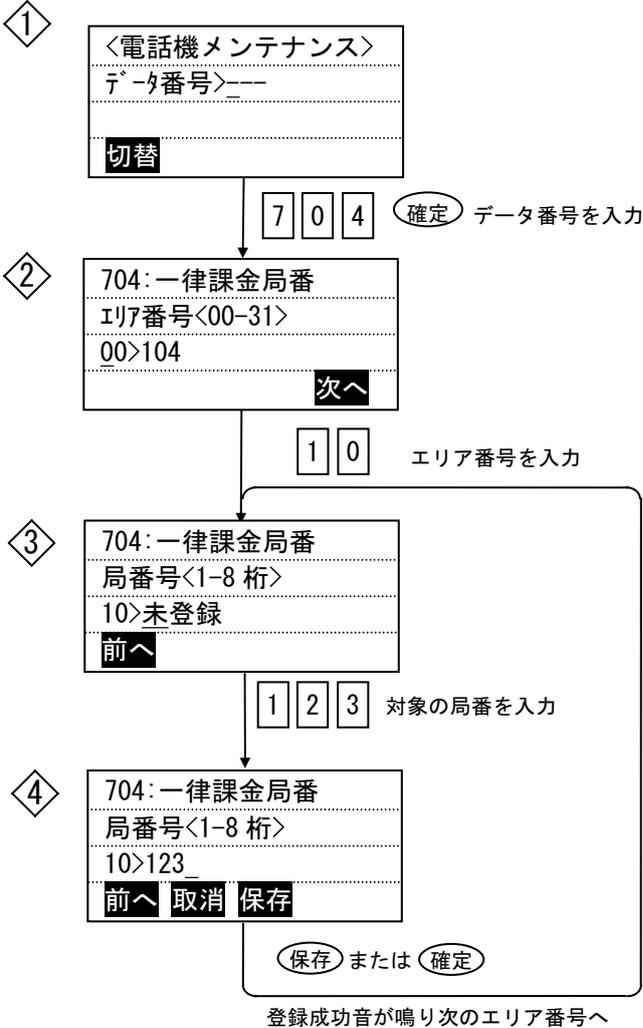
データ番号	一律課金局番	バージョン	V1.0~
704		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

特殊な課金の 104 などは一律課金で設定する。  
 (NTT 発信時の一律課金を行う局番については、その局番をエリアごとに指定する)

<操作例>

エリア番号 10 に局番 123 を設定します。



「初期値」

エリア番号	一律課金局番
00	104 (局番案内)
その他	未登録

「キー操作とデータ」

エリア番号、局番号の設定  
 エリア番号 (00~31) および局番号 (1~8桁)  
 を 10 キー, \*, # で指定します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0116: キャリア番号付加発信<V1.1>

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。
- 注2. 一律課金をを行う局番は1~8桁で設定できます。

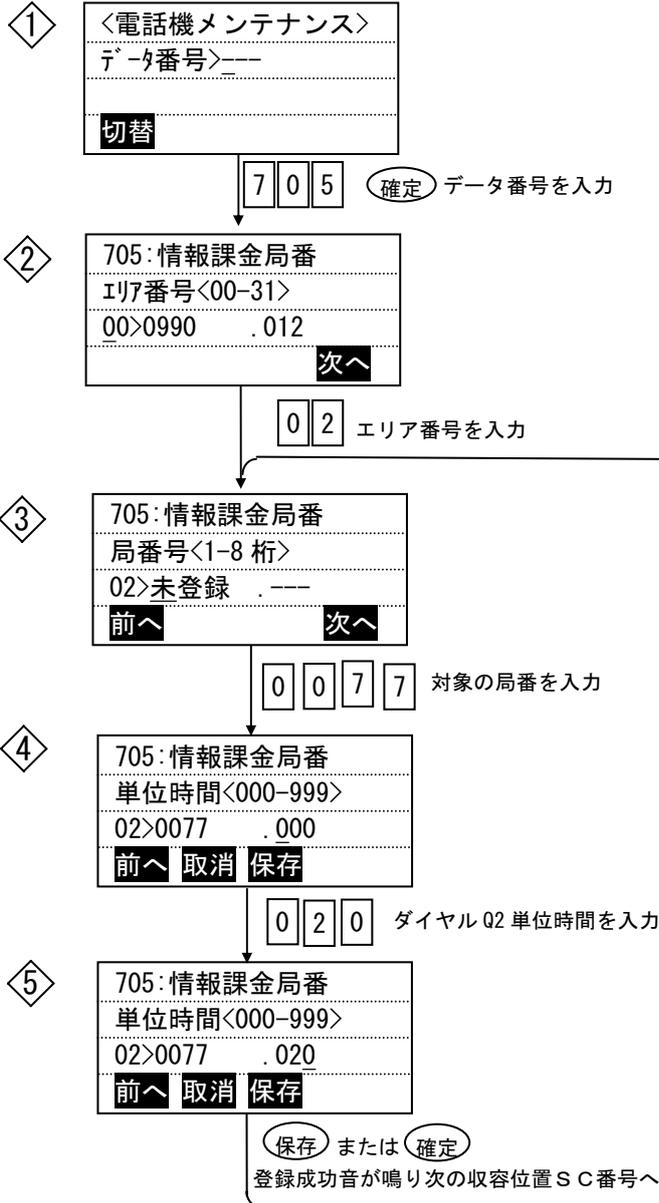
データ番号	情報課金局番	バージョン	V1.0~
705		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ダイヤル Q2 などの特殊な情報課金の設定をする。  
 (NTT 発信時に情報課金をを行う局番については、その局番と単位時間を設定する)

<操作例>

エリア番号 2 に局番 0777、0.5 秒単位 100 円を設定します。



「初期値」

エリア番号	情報課金局番
00	0990 (ダイヤル Q <sub>2</sub> )
01	050
その他	未登録

「キー操作とデータ」

② エリア番号、局番号の設定

③ エリア番号 (00~31)、局番 (1~8 桁)、  
 ④ 及び単位時間当たりの課金 (000~999)、全て  
 10 キーで指定します。

⑤ 単位時間

単位時間	データ内容
単位時間	000-999 (*0.5)

「関連機能番号」

0116: キャリア番号付加発信<V1.1>

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。
- 注2. 情報課金の局番は1~8桁で設定できます。

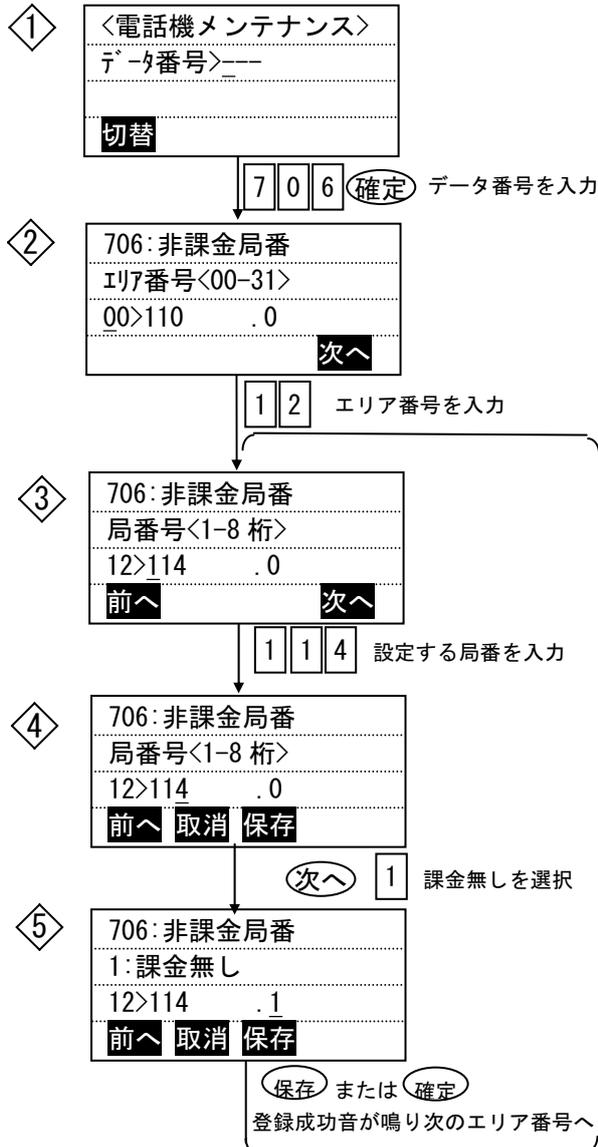
データ番号	非課金局番	バージョン	V1.0～
706		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

NTT 発信時の非課金対象局番号を設定する。

<操作例>

エリア番号 12 に局番 114 を設定し、その局番を課金なしとします。



「初期値」

エリア番号	非課金局番	意味
00	110	警察
01	119	消防
02	106	コレクトコール
03	0120	フリーダイヤル
04	121	クレジット通話
05	116	NTT 営業窓口
06	113	障害問い合わせ
07	115	電報
08	005	国際オペレータ
09	100	100 番通話
10	*	NTT 特番
11	#	NTT 特番
12	114	お話し中調べ
13	108	自動コレクトコール
14	0091	公専公サービス
15	091	公専サービス
16	0570	ナビダイヤルサービス
17	118	船舶系緊急ダイヤル
18	0800	フリーアクセス

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号、局番号の設定  
エリア番号 (00～31) および対象とする局番 (1～8 桁) を 10 キーで指定します。

非課金設定

10 キー	データ内容
0	0 円課金
1	課金無し

「関連機能番号」

0116:キャリア番号付加発信<v1.1>

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。  
注2. 非課金対象局番は1～8桁で設定できます。

バージョン	V1.0～
データ更新条件	システム

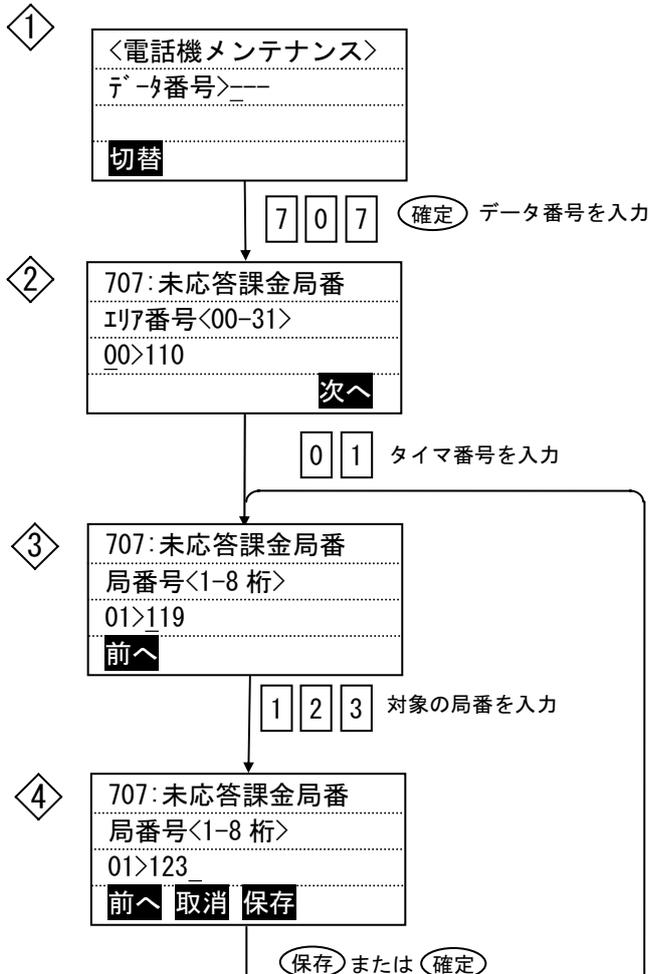
データ番号	未応答課金局番
707	

<データ設定概要>

NTT 発信時に課金させない対象局番を設定する。

<操作例>

エリア番号 01 に局番 123 を設定します。



登録成功音が鳴り次のエリア番号へ

「初期値」

エリア番号	無課金局番	意味
00	110	警察
01	119	消防
02	106	コレクトコール
03	0120	フリーダイヤル
04	121	クレジット通話
05	116	NTT 営業窓口
06	113	障害問い合わせ
07	114	お話し中調べ
08	108	自動コレクトコール
09	118	船舶系緊急ダイヤル
10	0800	フリーアクセス

② 「キー操作とデータ」  
③ エリア番号、局番号の設定  
④ エリア番号 (00~31) および局番 (1~8桁) を10キーで指定します。

「関連機能番号」

0100:任意外線/専用線発信

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。
- 2. 未応答課金局番は1~8桁で設定できます。

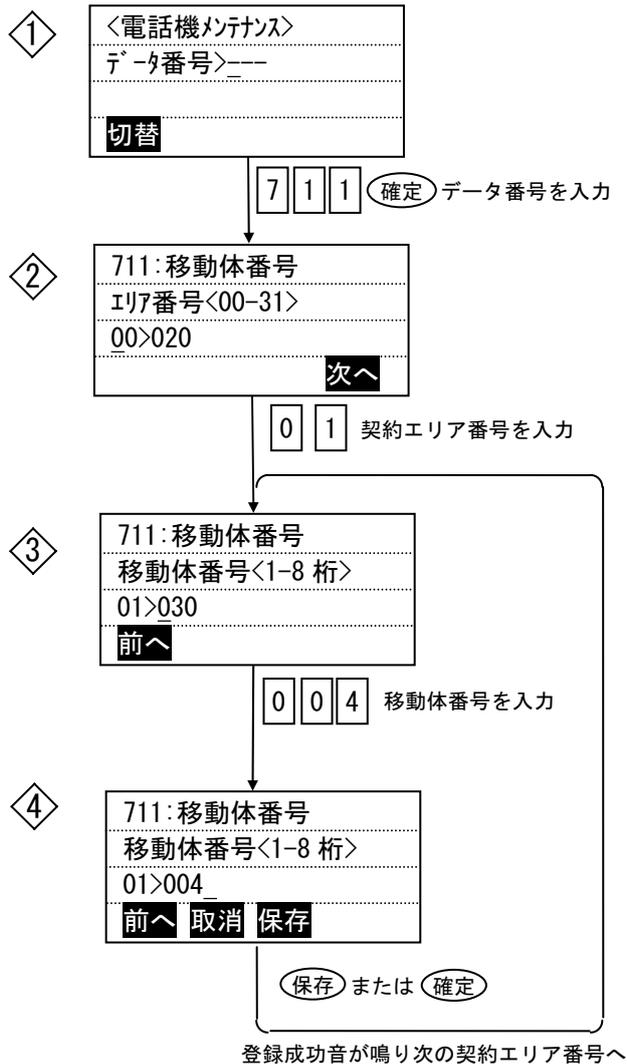
データ番号	移動体番号	バージョン	V1.0~
711		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

移動体電話番号のアクセス番号を設定する。

<操作例>

エリア番号 01 の移動体番号を 004 に設定します。



「初期値」

エリア	移動体番号
00	020
01	030
02	040
03	060
04	070
05	080
06	090
他エリア	未登録

「キー操作とデータ」

- ② 契約エリア番号、移動体番号
- ③ 契約エリア番号 (00-31) 及び移動体番号 (1-8桁)
- ④ を 10 キーで入力します。

「関連機能番号」

- 0116: キャリア番号付加発信<v1.1>
- 0403: 内線サービス

<注意事項>

- 注1. エリア番号は最大32設定できます。
- 2. 移動体番号は1~8桁で設定できます。

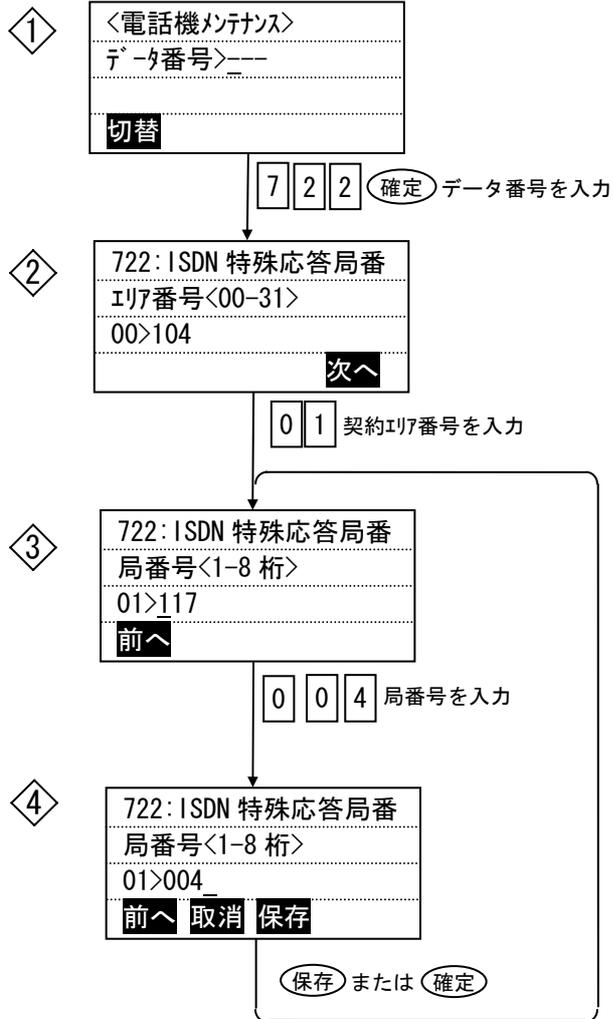
データ番号	ISDN 特殊応答局番	バージョン	V1.0~
722		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

特殊な課金（PROG 課金）をする局番を設定する。

<操作例>

エリア番号 01 に局番 123 を設定します。



登録成功音が鳴り次の契約エリア番号へ

「初期値」

エリア	局番号
0	104
1	117
2	0120
3	0800
4	171
他エリア	未登録

「キー操作とデータ」

- ② エリア番号
- ③ 局番設定
- ④ エリア番号 (00~31) <v2.0>および局番 (1~8 桁) を 10 キー\*, # で指定します。

「関連機能番号」

なし

<注意事項>

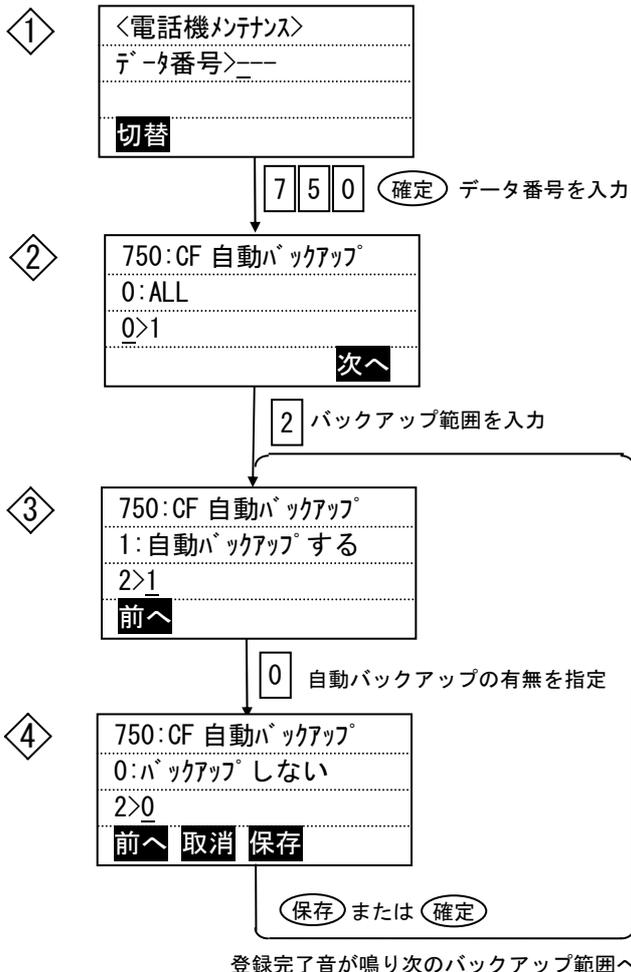
データ番号	CF 自動バックアップ	バージョン	V1.0~
750		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

設定データや障害情報の CF 自動バックアップをする/しないを設定する。

<操作例>

障害情報の自動バックアップを無効に設定する。



「初期値」

範囲	自動バックアップの有無
ALL	自動バックアップする

「キー操作とデータ」  
バックアップの範囲

10キー	データ内容
0	ALL
1	設定データ
2	障害情報

自動バックアップ

10キー	データ内容
0	自動バックアップしない
1	自動バックアップする

②

③

④

「関連機能番号」

1119: 障害情報表示/障害情報蓄積  
1123: 主装置データの自動バックアップ

<注意事項>

- 注1. CF障害表示中は、自動バックアップされません。
- 注2. CFアクセス停止中は、自動バックアップされません。

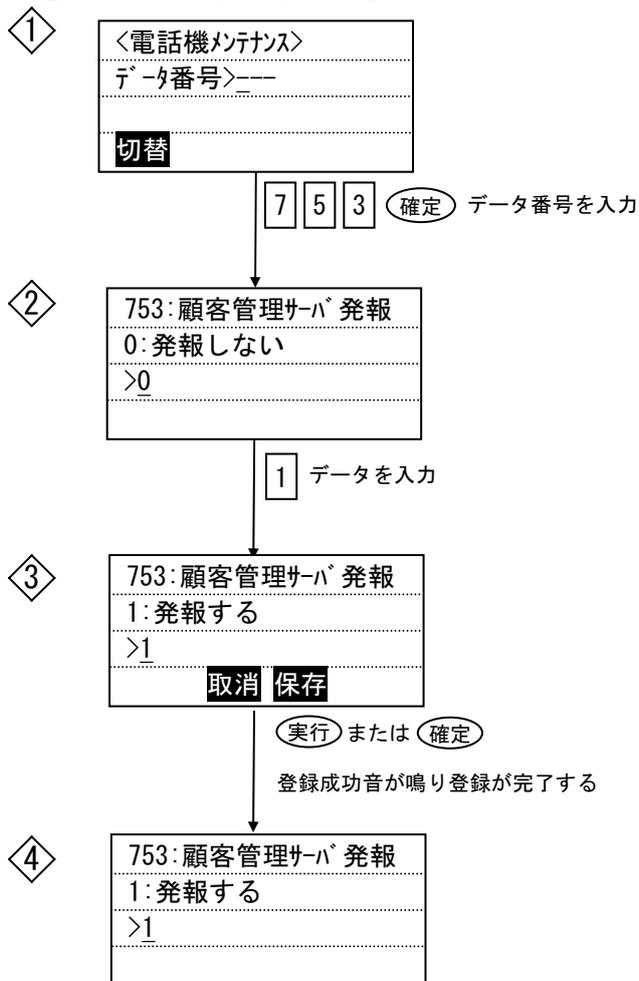
データ番号	顧客管理サーバ発報	バージョン	V1.0~
753		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

顧客管理サーバへの発報をする/しないを設定する。

<操作例>

顧客管理サーバへの発報を行うよう設定します。



「初期値」

10キー	サーバ発報
0	発報しない

「キー操作とデータ」  
サーバ発報の設定

②	10キー	データ内容
③	0	発報しない
④	1	発報する

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<VI.1>

<注意事項>

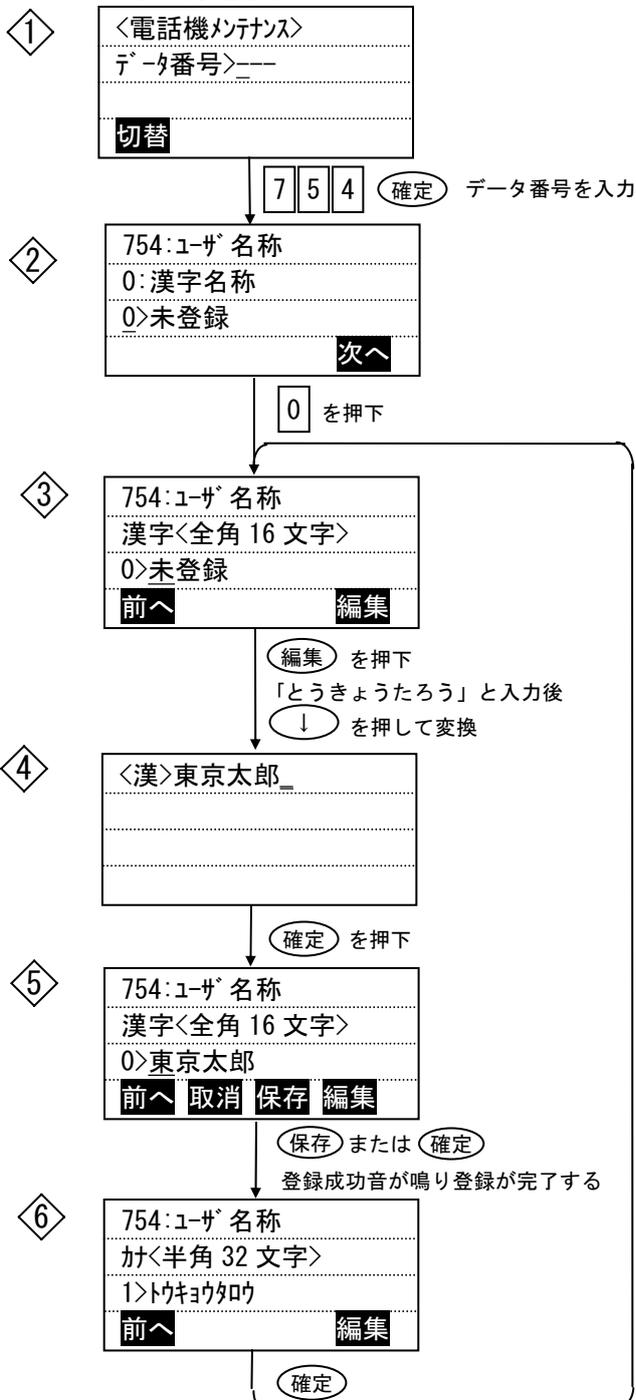
データ番号	ユーザ名称	バージョン	V1.0~
754		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ユーザ名称を設定する。(全角 16 文字、半角 32 文字)

<操作例>

ユーザ名称に「東京太郎」を登録します。



「初期値」

-	ユーザ名称
漢字名称(全角 16 文字)	未登録
か名称(半角 32 文字)	未登録

「キー操作とデータ」

入力文字の設定

10 キー	データ内容(文字数)
0	漢字名称<全角 16 文字>
1	か名称<半角 32 文字>

- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

漢字名称

ユーザの漢字名称を全角 1~16 文字で入力します。

か名称

ユーザのか名称を半角 1~32 文字で入力します。

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<VI. 1>

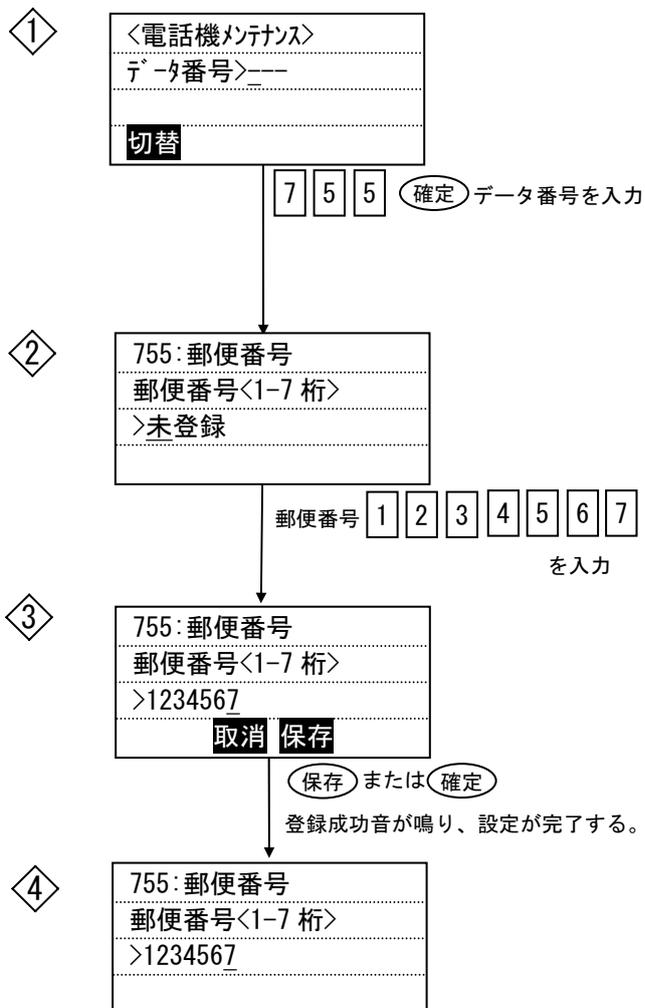
<注意事項>

データ番号	郵便番号	バージョン	V1.0~
755		データ更新条件	システム

<データ設定概要>  
ユーザーの郵便番号を登録できる。

<操作例>

郵便番号「〒123-4567」を設定します。



「初期値」

10 キー	郵便番号
-	未登録

「キー操作とデータ」

② 郵便番号の登録  
郵便番号(1-7桁)を10キーで入力する。

③

④

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<VI.1>

<注意事項>

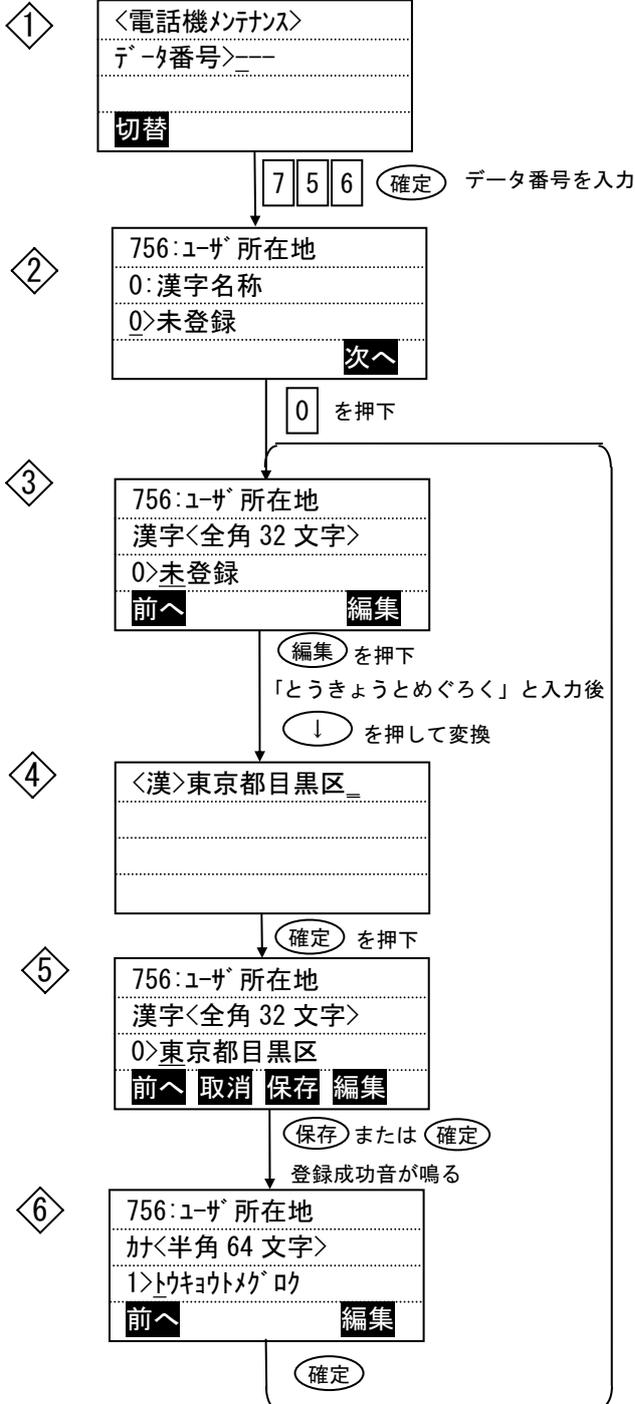
データ番号	ユーザ所在地	バージョン	V1.0~
756		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ユーザの所在地を登録する。

<操作例>

ユーザ所在地に「東京都目黒区」を登録します。



「初期値」

	ユーザ所在地
漢字名称(全角 32 文字)	未登録
か名称(半角 64 文字)	未登録

「キー操作とデータ」

入力文字の選択

10 キー	データ内容(文字数)
0	漢字名称<全角 32 文字>
1	か名称<半角 64 文字>

②

③

④

⑤

⑥

漢字名称

ユーザ所在地の漢字名称を全角1~32文字で入力します。

か名称

ユーザ所在地のか名称を半角1~64文字で入力します。

「関連機能番号」

1117-1:ユーザ情報管理<これだねっと(KNET)管理>  
<VI.1>

<注意事項>

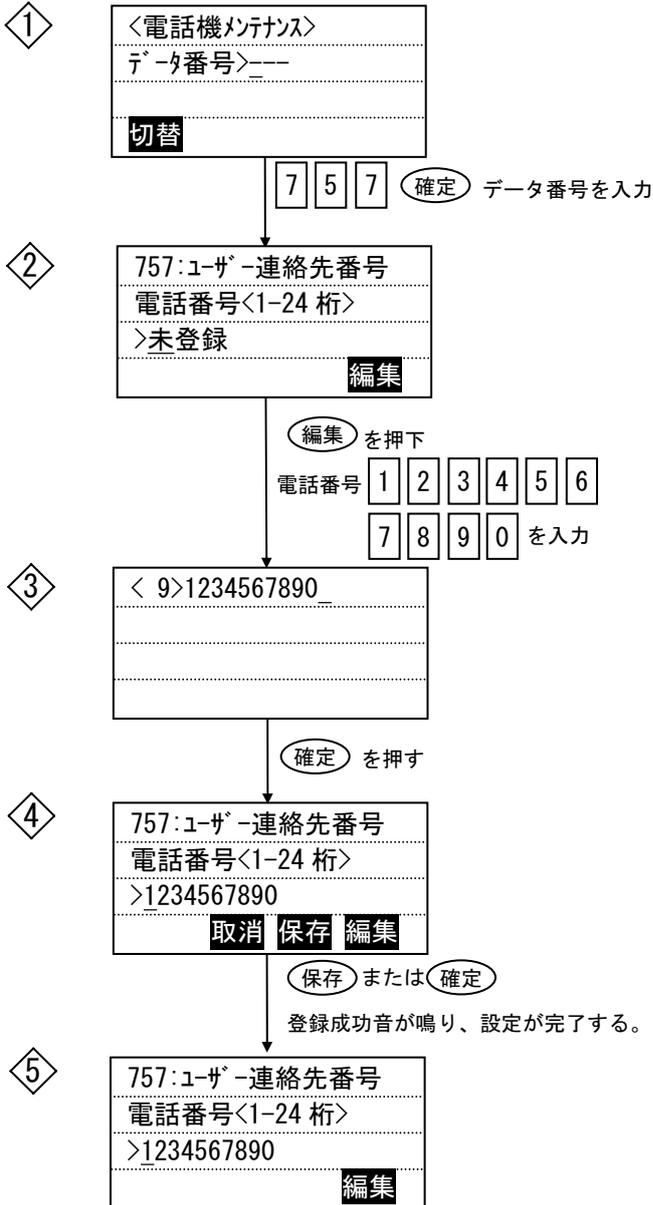
データ番号	ユーザ連絡先番号	バージョン	V1.0~
757		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ユーザの連絡先電話番号を登録できる。

<操作例>

ユーザ連絡先番号に「1234567890」を登録します。



「初期値」

ユーザ連絡先番号 (FAX)
未登録

「キー操作とデータ」

入力先電話番号の登録

ユーザ連絡先番号(1~24桁)を10キーで入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1117-1:ユーザ情報管理<これだねっと(KNET)管理>  
<V1.1>

<注意事項>

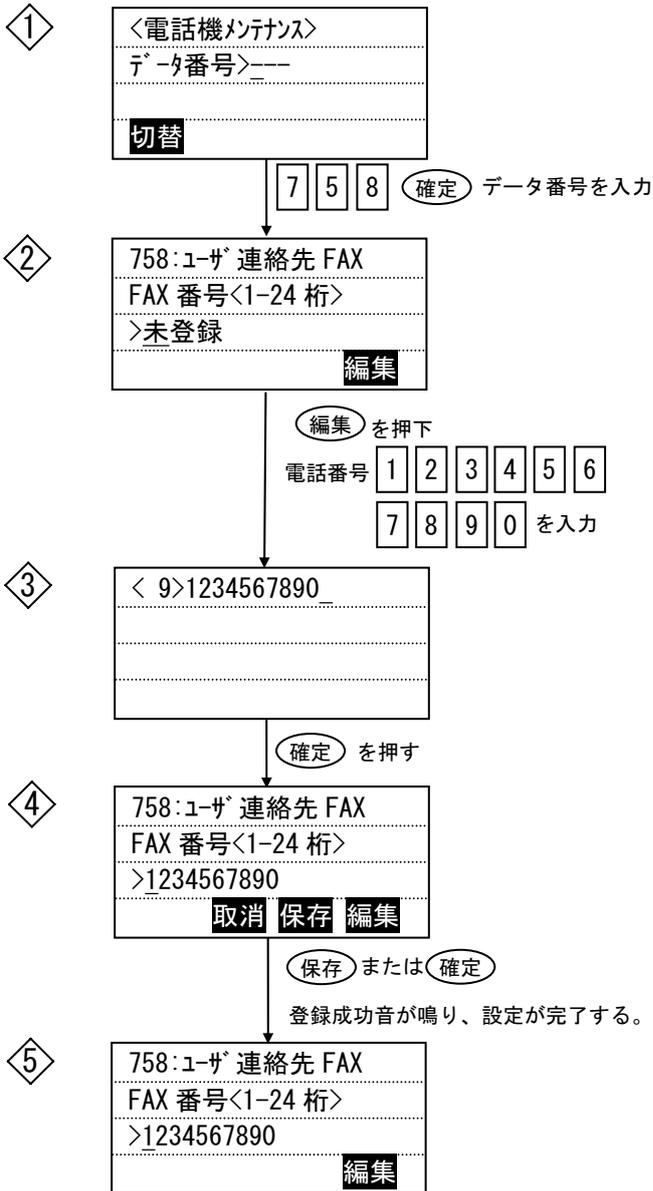
データ番号	ユーザ連絡先番号 (FAX)	バージョン	V1.0~
758		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ユーザの連絡先 FAX 番号を登録できる。

<操作例>

ユーザ連絡先番号 (FAX) に「1234567890」を登録します。



「初期値」

ユーザ連絡先番号
未登録

「キー操作とデータ」

ユーザー連絡先番号

ユーザ連絡先番号 (FAX) (1~24桁) を 10 キーで入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<VI.1>

<注意事項>

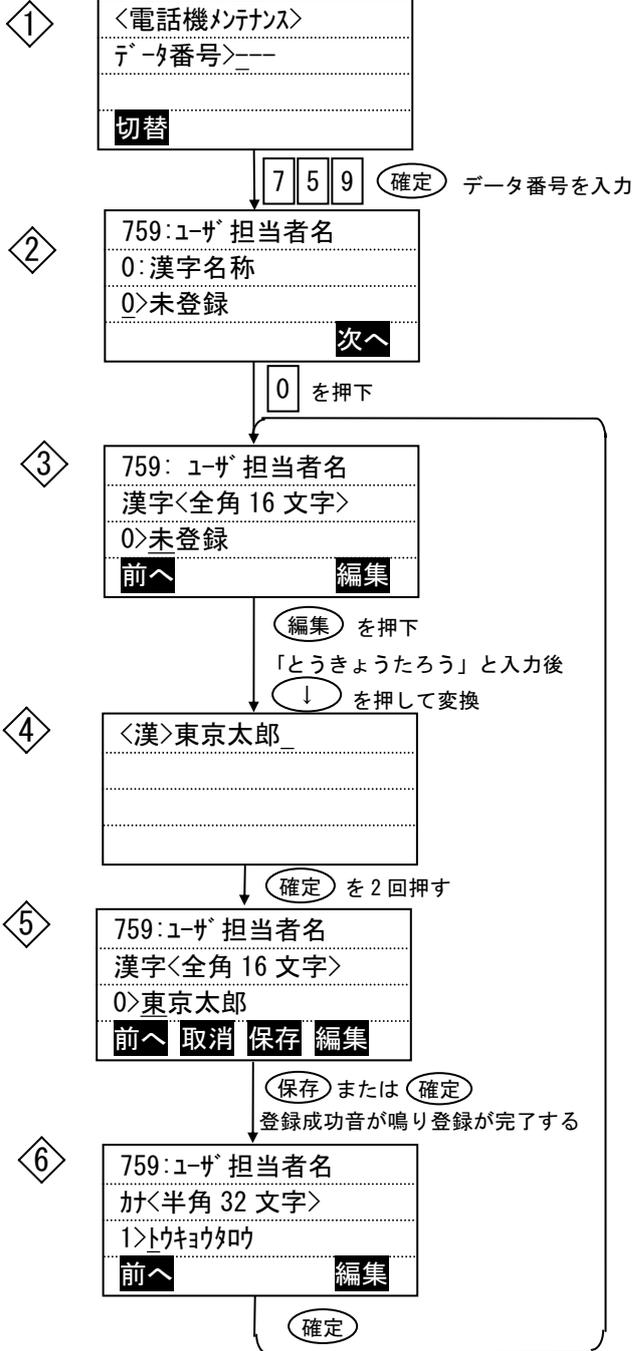
データ番号		バージョン	V1.0~
759	ユーザ担当者名	データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ユーザの担当者名を登録できる。

<操作例>

ユーザ担当者名に「東京太郎」を登録します



「初期値」

	ユーザ担当者名
漢字名称(全角16文字)	未登録
か名称(半角32文字)	未登録

「キー操作とデータ」

入力文字の選択

10キー	データ内容(文字数)
0	漢字名称<全角16文字>
1	か名称<半角32文字>

漢字名称

ユーザ担当者の漢字名称を全角1~16文字で入力します。

か名称

ユーザ担当者のか名称を半角1~32文字で入力します。

「関連機能番号」

<注意事項>

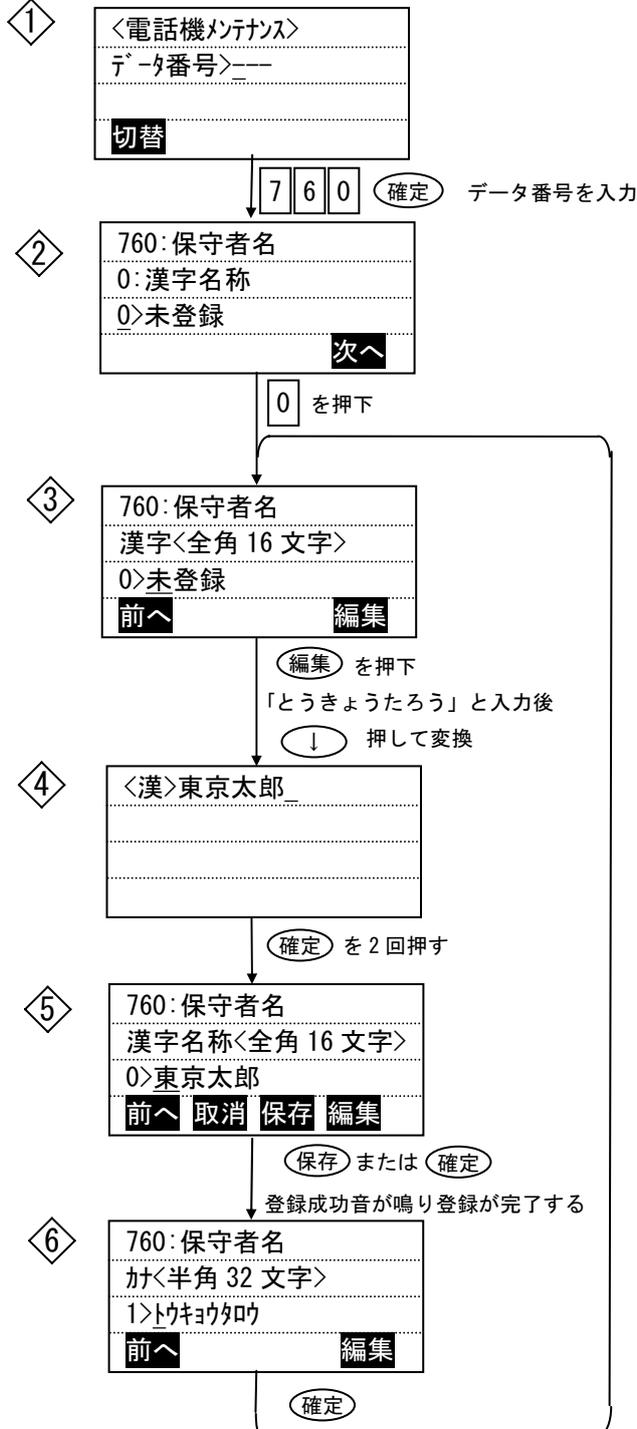
データ番号	保守者名	バージョン	V1.0~
760		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

システム保守者の名称を登録できる。(全角 16 文字、半角 32 文字)

<操作例>

保守者名に「東京太郎」を登録します



「初期値」

	保守者名
漢字名称(全角 16 文字)	未登録
か名称(半角 32 文字)	未登録

「キー操作とデータ」

入力文字の選択

10 キー	データ内容(文字数)
0	漢字名称<全角 16 文字>
1	か名称<半角 32 文字>

③ 漢字名称

システム保守者の漢字名称を全角 1~16 文字で入力します。

④

⑥

か名称

システム保守者のか名称を半角 1~32 文字で入力します。

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<V1.1>

<注意事項>

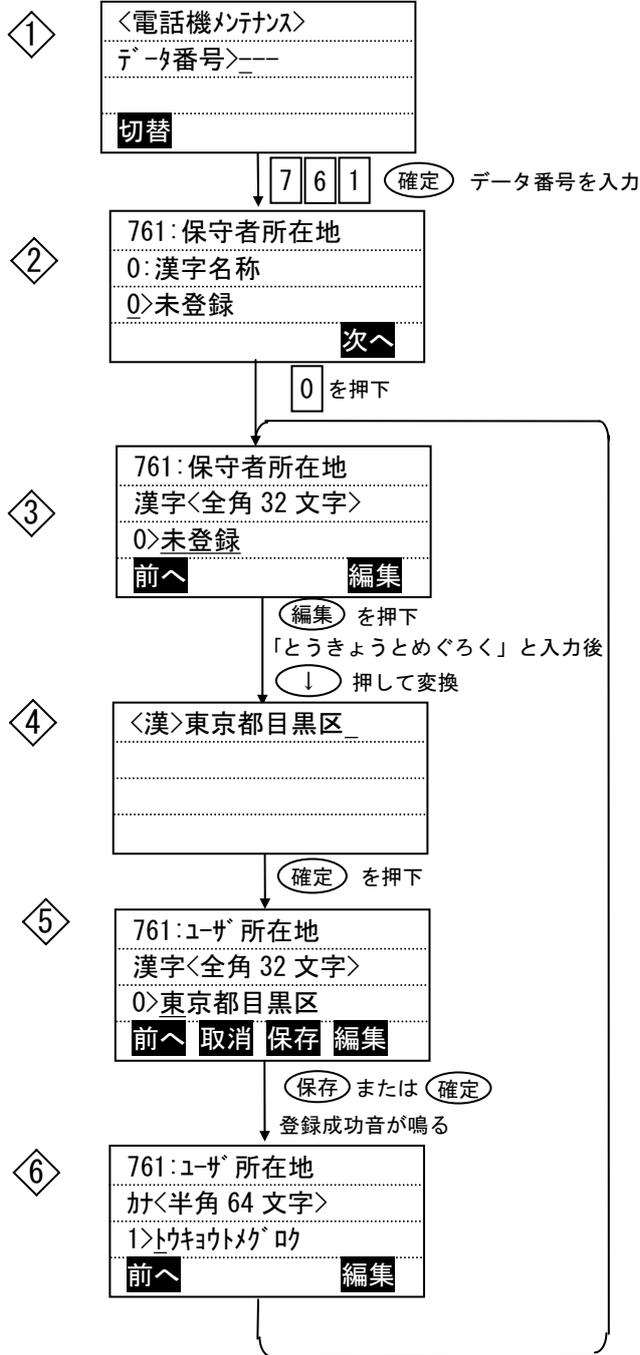
データ番号	保守者所在地	バージョン	V1.0~
761		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

システム保守者の所在地を登録できる。(全角 32 文字、半角 64 文字)

<操作例>

保守者所在地に「東京都目黒区」を登録します



「初期値」

	保守者所在地
漢字名称(全角 32 文字)	未登録
か名称(半角 64 文字)	未登録

「キー操作とデータ」

入力文字の選択

10 キー	データ内容(文字数)
0	漢字名称<全角 32 文字>
1	か名称<半角 64 文字>

漢字名称

システム保守者所在地の漢字名称を全角 1~32 文字で入力します。

か名称

システム保守者所在地のか名称を半角 1~64 文字で入力します。

②

③

④

⑤

⑥

「関連機能番号」

1117-1:ユーザ情報管理<これだねっと(KNET)管理>  
<V1.1>

<注意事項>

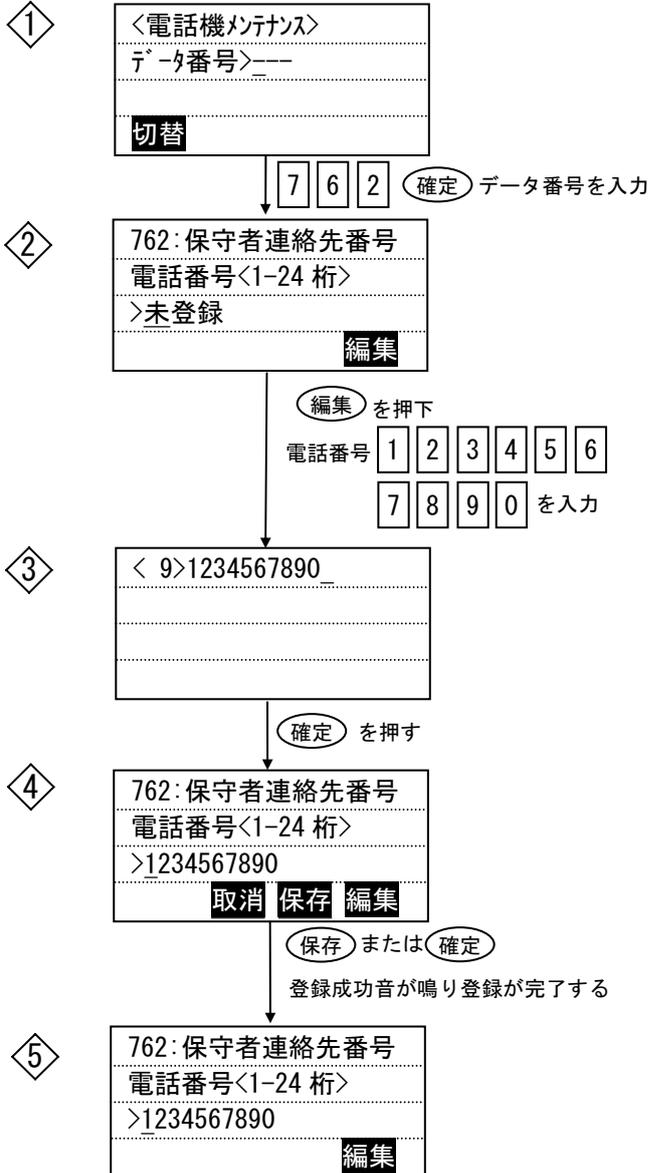
データ番号	保守者連絡先番号	バージョン	V1.0~
762		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

システム保守者の連絡先電話番号を登録できる。

<操作例>

保守者連絡先番号に「1234567890」を設定します。



「初期値」

保守者連絡先番号
未登録

「キー操作とデータ」

保守者連絡先番号の設定

保守者連絡先番号 (1~15桁) <V1.0> (1~24桁) <V1.1> を 10 キーで入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<V1.1>

<注意事項>

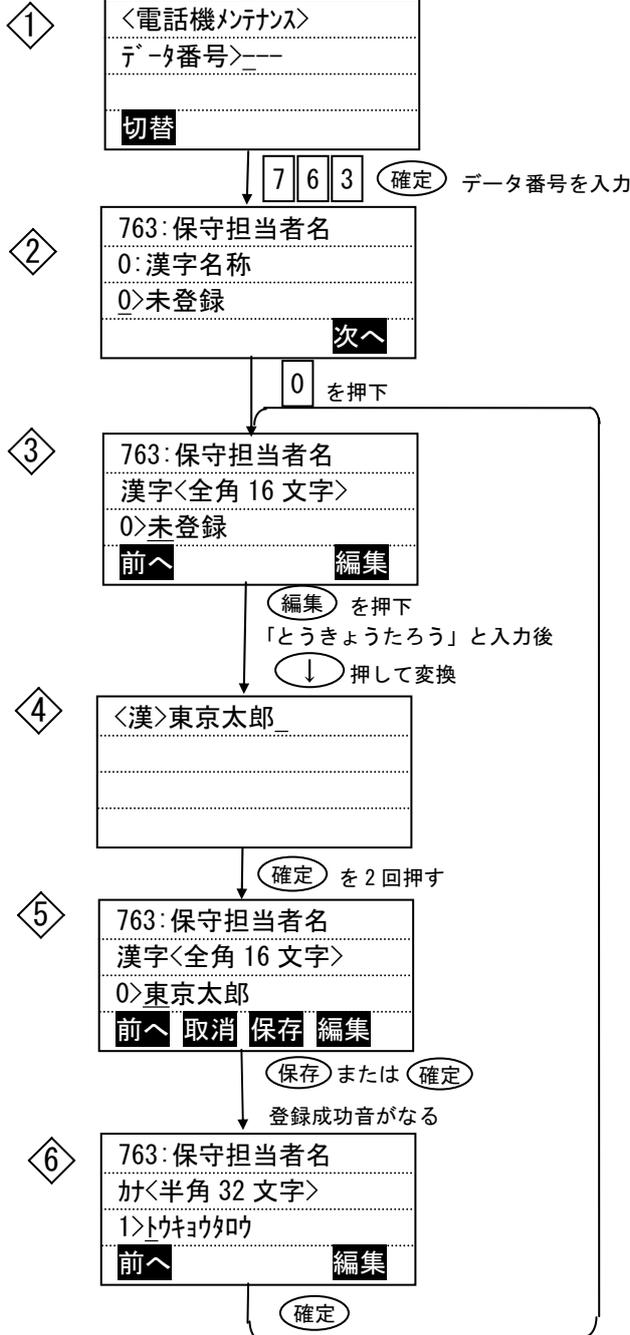
データ番号	保守担当者名	バージョン	V1.0~
763		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

システム保守者の担当者名を登録できる。(全角 16 文字、半角 32 文字)

<操作例>

保守者名に「東京太郎」を登録します。



「初期値」

	保守担当者名
漢字名称(全角 16 文字)	未登録
か名称(半角 32 文字)	未登録

「キー操作とデータ」

入力文字の選択

10 キー	データ内容(文字数)
0	漢字名称<全角 16 文字>
1	か名称<半角 32 文字>

漢字名称

システム保守担当者の漢字名称を全角 1~16 文字で入力します。

か名称

システム保守担当者のか名称を半角 1~32 文字で入力します。

②

③

④

⑤

⑥

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<VI.1>

<注意事項>

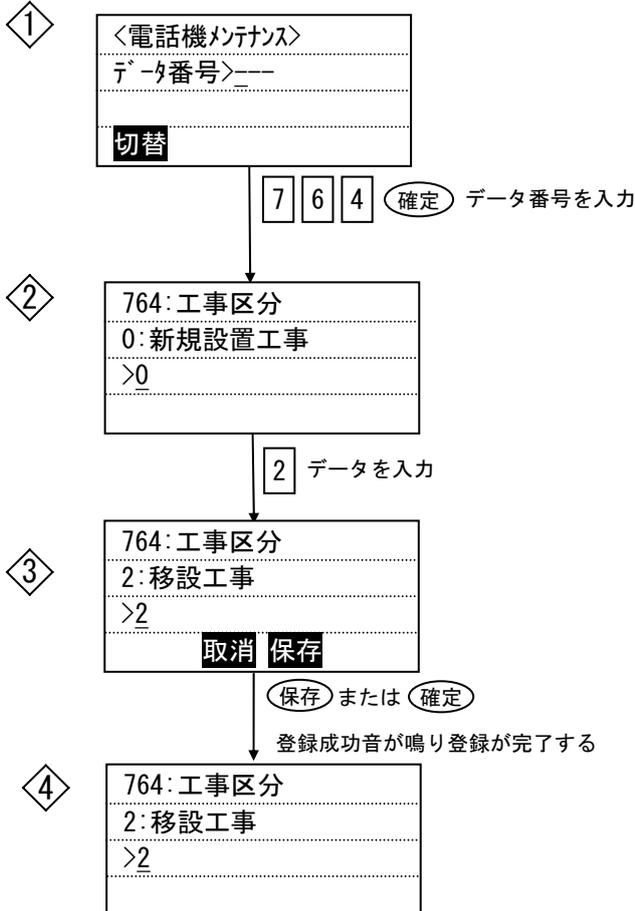
データ番号	工事区分	バージョン	V1.0~
764		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

「増設工事」などの工事区分を選択して登録する。

<操作例>

工事区分を移設工事に設定します。



「初期値」

10 キー	工事区分
-	新規設置工事

「キー操作とデータ」  
工事区分の選択

10 キー	設定内容
0	新規設置工事
1	増設工事
2	移設工事
3	場変工事
4	設定変更
5	障害対応
6	その他

②  
③  
④

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理>  
<VI.1>

<注意事項>

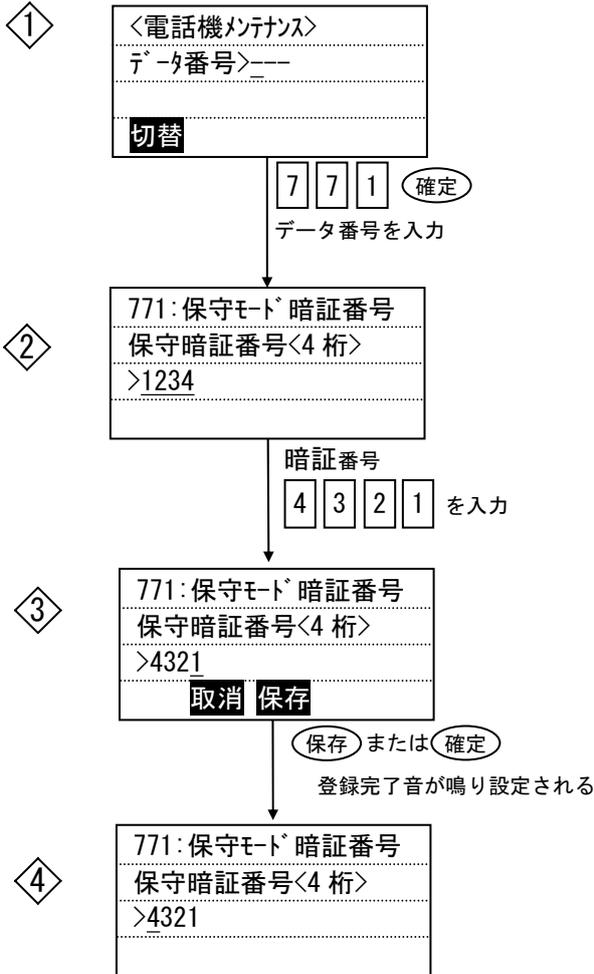
		バージョン	V1.0~
データ番号	保守モード暗証番号	データ更新条件	システム
771			

<データ設定概要>

外部のデジタルボタン電話機やブラウザからでもデータ設定を行うための暗証番号を設定する。  
 (外部のデジタルボタン電話機やブラウザから、登録した暗証番号を入力することによりデータ設定を行う事が可能。)

<操作例>

保守モード暗証番号に「4321」を設定します。



「初期値」

10キー	暗証番号(4桁)
—	1234

「キー操作とデータ」

保守モード暗証番号登録

保守モード暗証番号<4桁>を入力し登録する。  
 入力設定範囲(0-9, \*, #)

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

- 0310: 不在転送
- 0311: 話中転送
- 0312: 無応答転送
- 0616: 遠隔設定操作 (PB 保守) <V1.1>
- 1107: 保守電話機能

<注意事項>

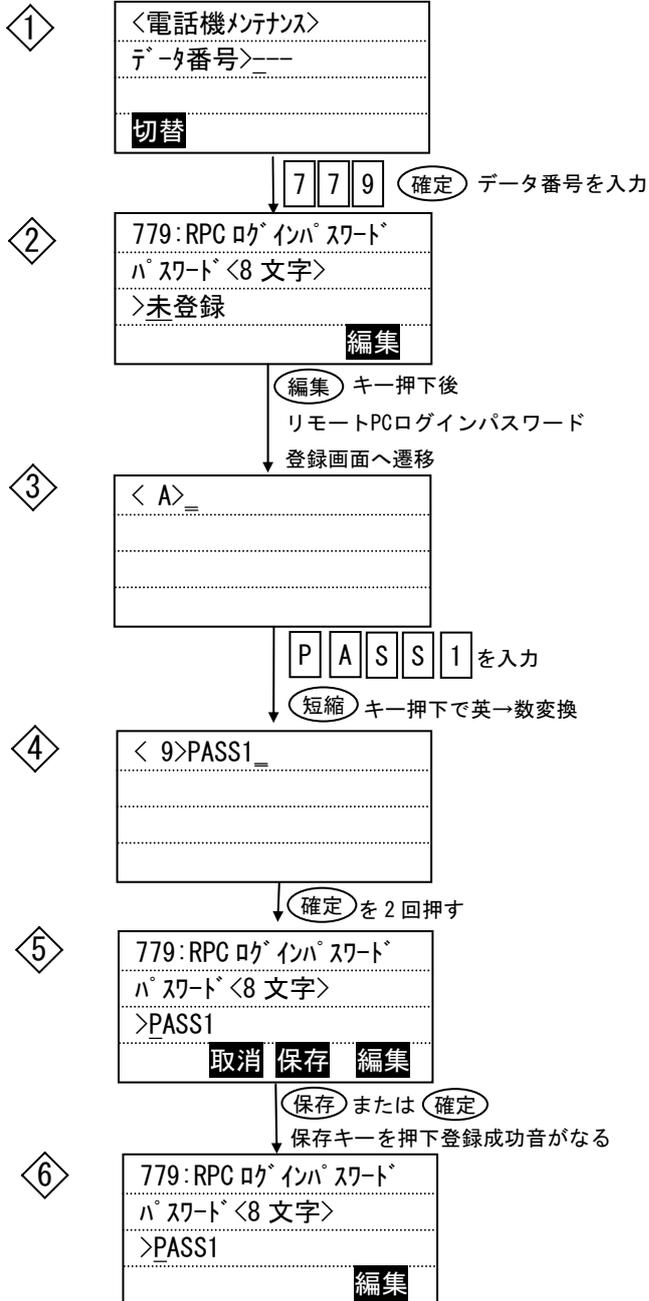
データ番号	リモートPCログインパスワード	バージョン	V1.0~
779		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

リモートPCのログインパスワードを設定する。

<操作例>

リモートPCのログインパスワードを「PASS1」に設定します。



「初期値」

10キー	パスワード
—	未登録

「キー操作とデータ」

パスワードの入力設定

② 電話機メンテナンスで779を押下後、編集キー  
③ を押してリモートPCログインパスワード登録  
④ 画面に移る。  
⑤ 短縮キーで英/数選択しリモートPCログインパ  
⑥ スワードの入力を行う。後決定ボタンを2回押  
し保存又は設定画面に移り保存又は設定を行  
う。設定範囲(英数字8文字)

- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

「関連機能番号」

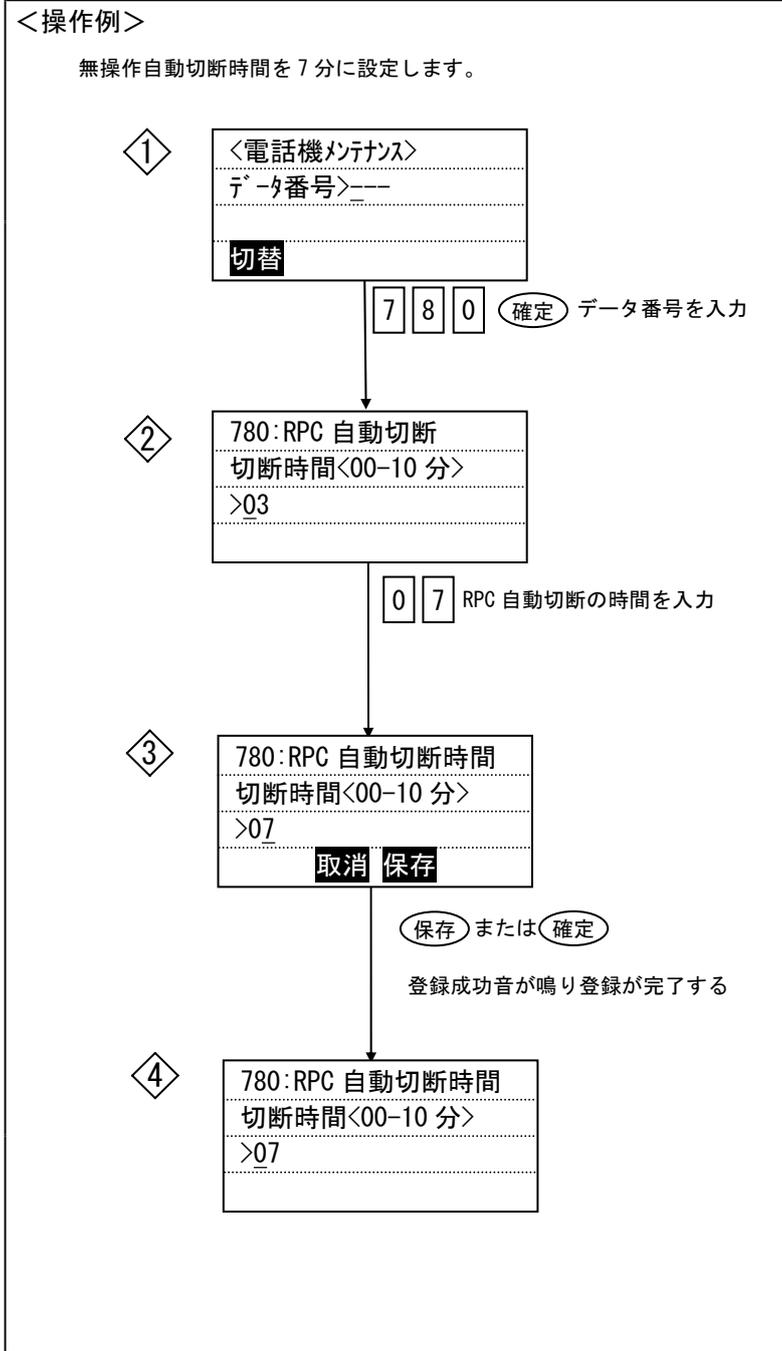
1108:リモートPC(ローカル保守)  
1109:リモートPC(遠隔保守)

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	無操作自動切断時間
780	

<データ設定概要>  
 リモート PC がログインしてから無操作時間を経過したら、接続を切断する時間を設定する。



「初期値」

10 キー	切断時間
3	3 分

②  
③  
④

「キー操作とデータ」  
**切断時間の入力**  
 無操作自動切断時間 (00~10 分) を 10 キーで入力します。(0 分は自動切断なしです)

「関連機能番号」  
 1108 : リモート PC (ローカル保守)  
 1109 : リモート PC (遠隔保守)

<注意事項>

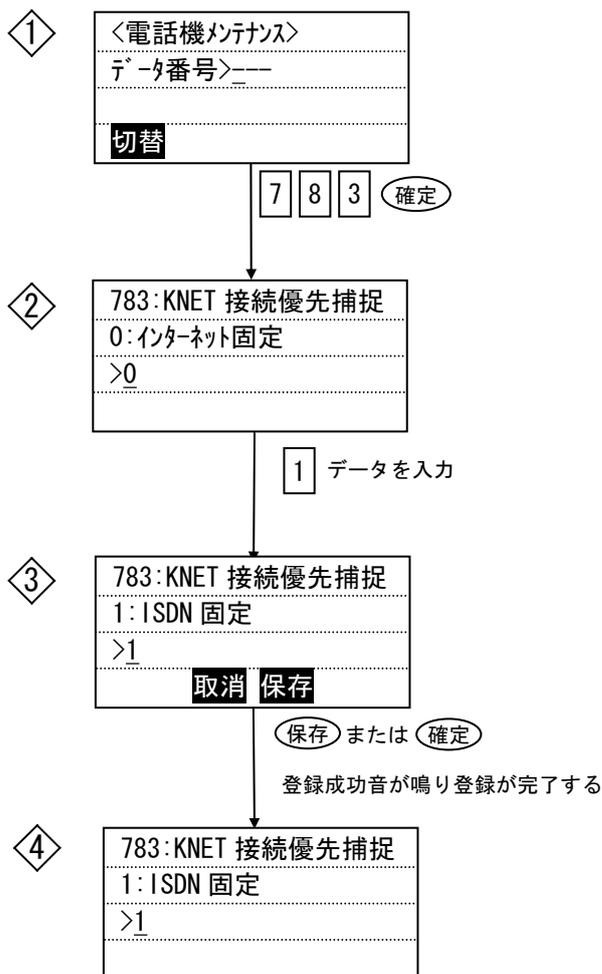
データ番号	これだねっと (KNET) 接続優先捕捉回線	バージョン	V1.0~
783		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

外部 FTP サーバ接続時に捕捉する回線を選択する。

<操作例>

これだねっとの接続優先捕捉回線を ISDN 固定に設定します。



「初期値」

10 キー	接続優先捕捉
0	インターネット固定

「キー操作とデータ」  
接続優先捕捉の選択

10 キー	データ内容
0	インターネット固定
1	ISDN 固定

「関連機能番号」

- 1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理> <V1.1>
- 1125: ファームウェアのバージョンアップ (リモート) <V1.1>
- 1126: ファームウェアの自動バージョンアップ <V1.1>

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

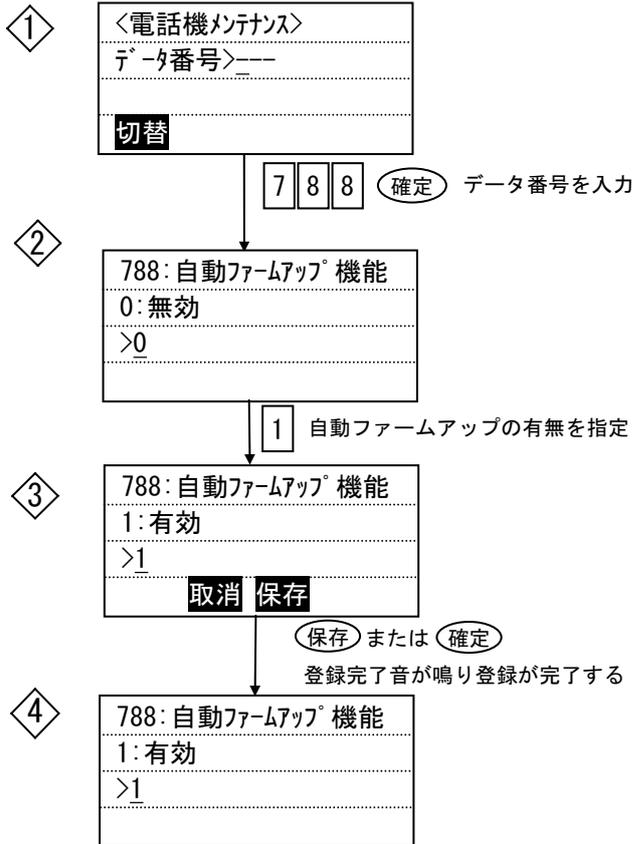
データ番号	自動ファームアップ機能
788	

<データ設定概要>

自動ファームアップ(ファームソフトの自動更新)機能を有効にするかを設定する。

<操作例>

自動ファームアップ機能を有効に設定する。



「初期値」

10 キー	設定内容
0	無効

「キー操作とデータ」

自動ファームアップの有無を指定

10 キー	設定内容
0	無効
1	有効

「関連機能番号」

1126:ファームウェアの自動バージョンアップ<V1.1>

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

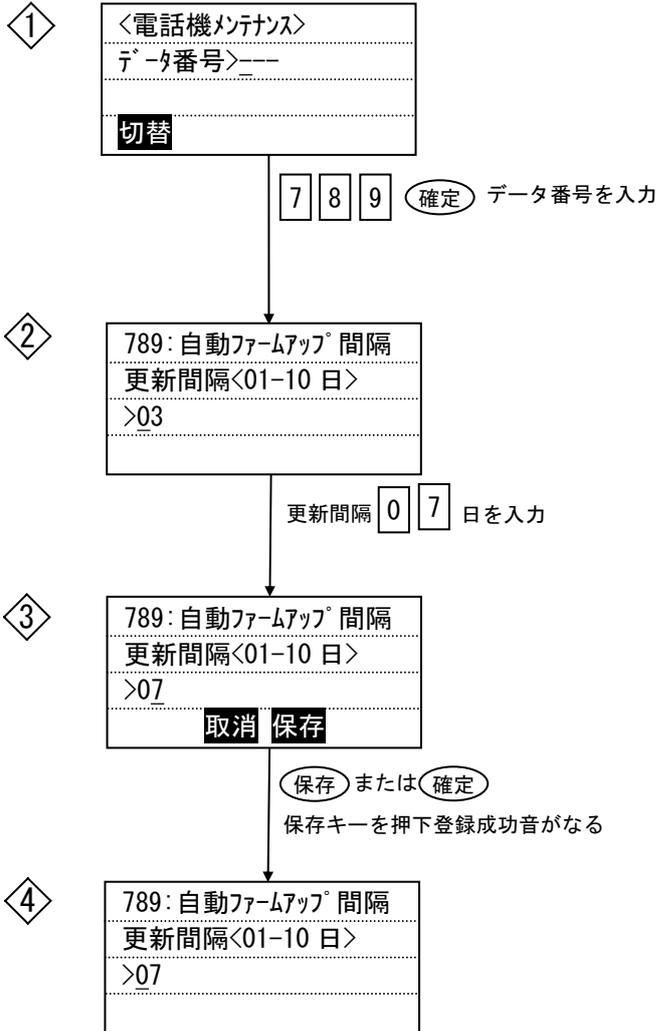
データ番号	自動ファームアップ更新間隔
789	

<データ設定概要>

自動ファームアップの間隔を、1日~10日の中から指定する。

<操作例>

ファームアップ更新間隔を7日に設定する



「初期値」

10 キー	設定内容
3	3 日

「キー操作とデータ」  
ファーム更新間隔の設定

-	設定範囲
更新間隔	1-10 日

②  
③

「関連機能番号」

1126:ファームウェアの自動バージョンアップ<v1.1>

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

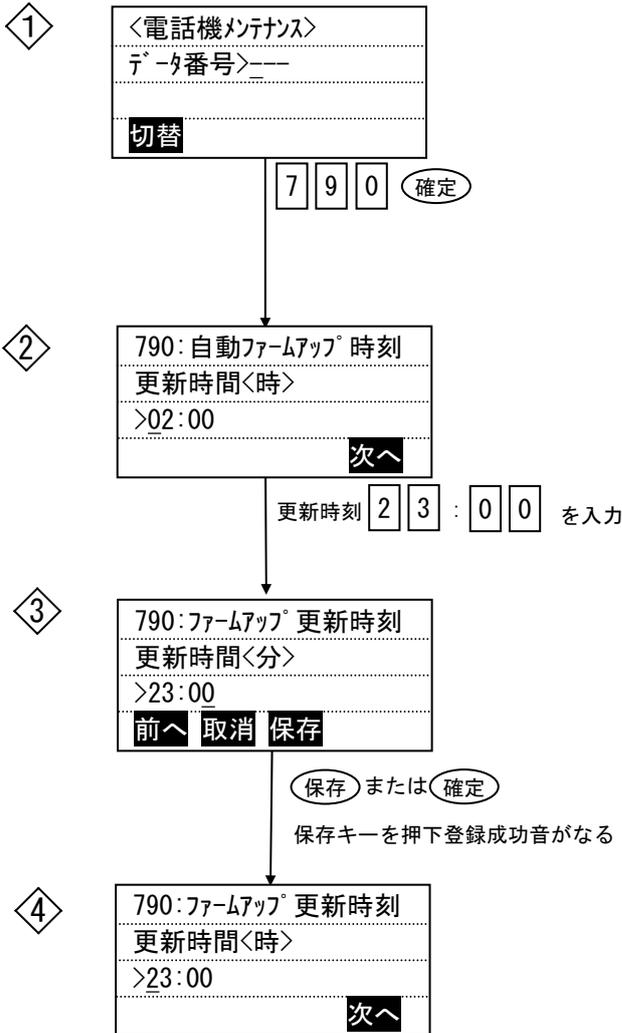
データ番号	自動ファームアップ更新時刻設定
790	

<データ設定概要>

自動ファームアップを行う時刻を設定する。

<操作例>

ファームソフト自動更新時刻を 23:00 に設定する。



「初期値」

10 キー	更新時刻
—	02:00

「キー操作とデータ」

更新時刻の入力設定

更新時刻 (00:00~23:59) を 10 キーで指定します。

②  
③

「関連機能番号」

1126:ファームウェアの自動バージョンアップ<V1.1>

<注意事項>

注1. 毎日電源OFFする場合は、OFFする2時間以上前の時刻を設定してください。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	791
-------	-----

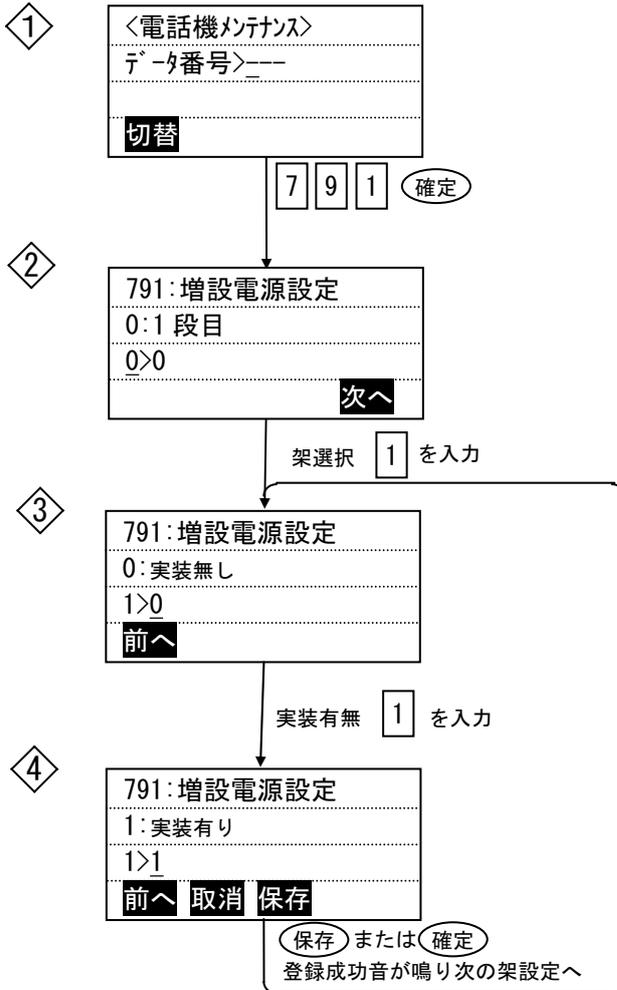
## 増設電源設定

### <データ設定概要>

架単位に増設電源の実装有無を設定する。

### <操作例>

架2段目を追加電源「実装有り」に設定する



### 「初期値」

10 キー	実装有無
0	実装無し

### 「キー操作とデータ」

2 架の選択設定	
10 キー	設定内容
0	1 段目
1	2 段目
2	3 段目

3 実装有無の選択設定	
10 キー	設定内容
0	実装無し
1	実装有り

### 「関連機能番号」

### <注意事項>

バージョン	V2.0~
データ更新条件	システム

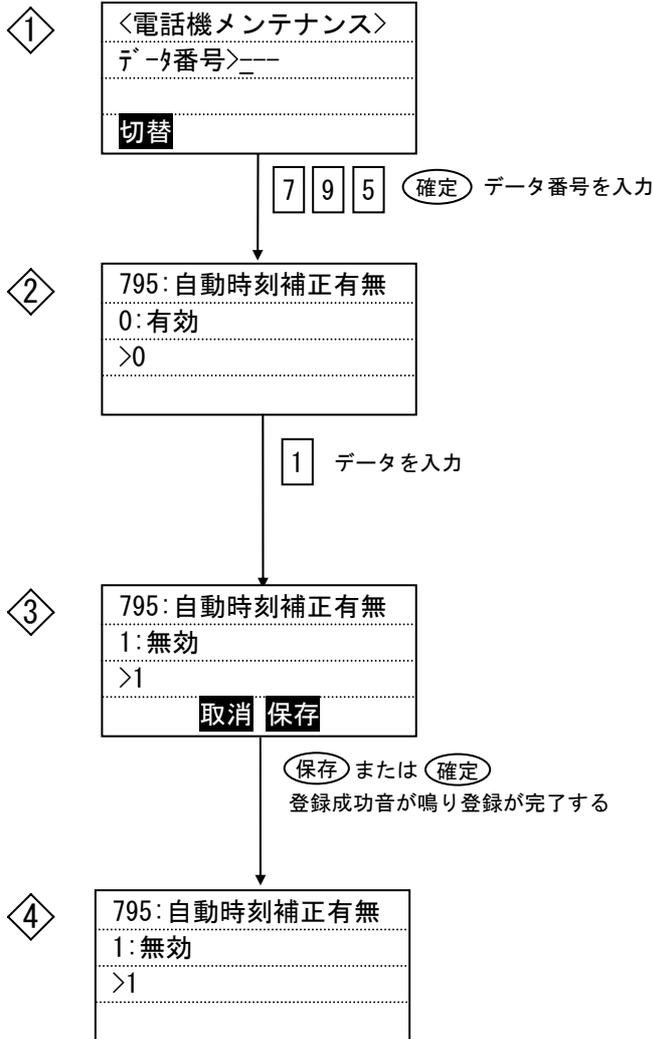
データ番号	自動時刻補正有無
795	

<データ設定概要>

自動時刻補正機能有効/無効を指定します。

<操作例>

自動時刻補正を無効に設定します。



「初期値」

10 キー	自動時刻補正有無
0	有効

「キー操作とデータ」

自動時刻補正有無

10 キー	データ内容
0	有効
1	無効

2  
3

「関連機能番号」

1128 : 自動時刻補正

<注意事項>

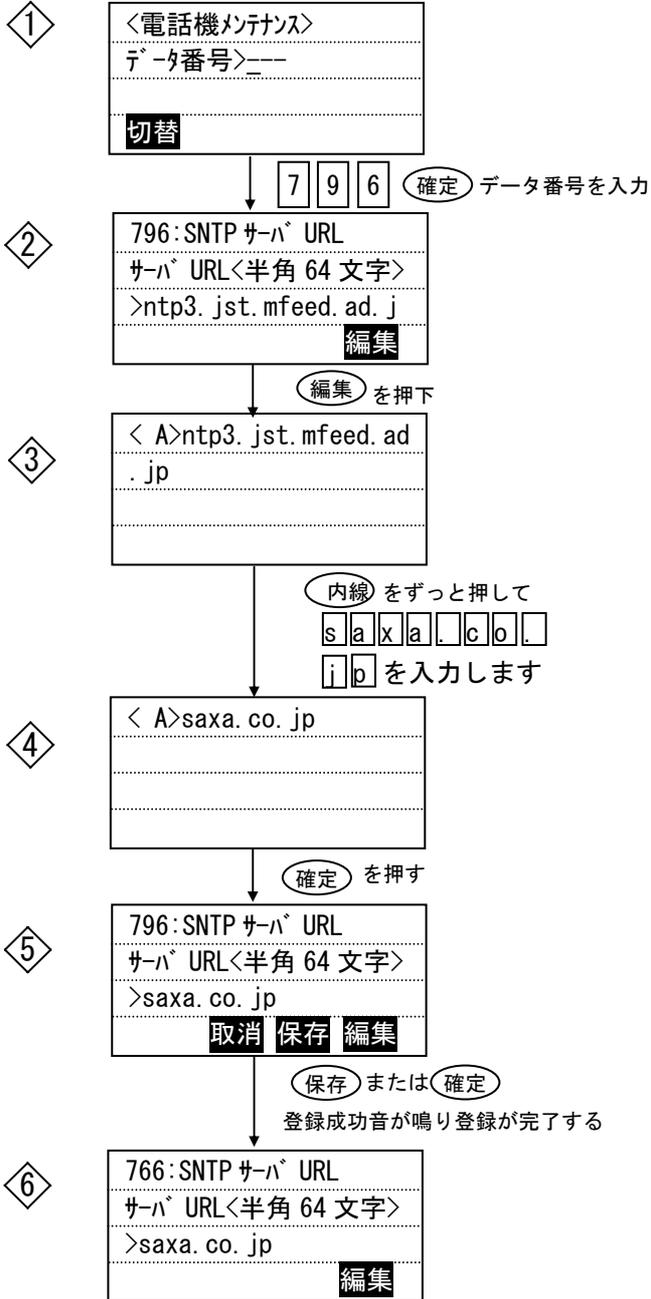
データ番号	SNTP サーバ URL	バージョン	V2.0~
796		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

SNTP サーバの URL を登録します。

<操作例>

SNTP サーバに「saxa.co.jp」を設定します。



「初期値」

SNTPサーバ URL
ntp3.jst.mfeed.ad.jp

「キー操作とデータ」

SNTP サーバ URL 設定

SNTP サーバ URL を 10 キーで入力します。

- ②  
③  
④

「関連機能番号」

1128 : 自動時刻補正

<注意事項>

バージョン	V2.0~
データ更新条件	システム

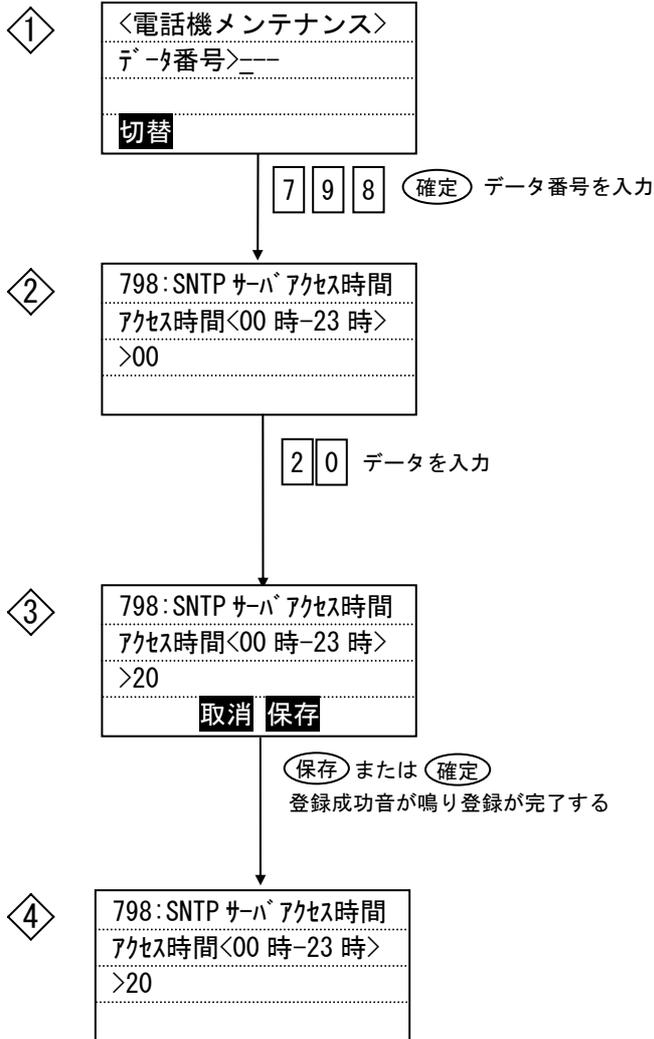
データ番号	SNTP サーバアクセス時間
798	

<データ設定概要>

SNTP サーバアクセス時刻を指定する。

<操作例>

SNTP サーバアクセス時間を 20 時に設定します。



「初期値」

10 キー	SNTP サーバアクセス時間
00	00

「キー操作とデータ」

アクセス時間

SNTP サーバアクセス時間 (00 時~23 時) を 10 キーで指定します。

②  
③

「関連機能番号」

1128 : 自動時刻補正

<注意事項>

このページは白紙になります。

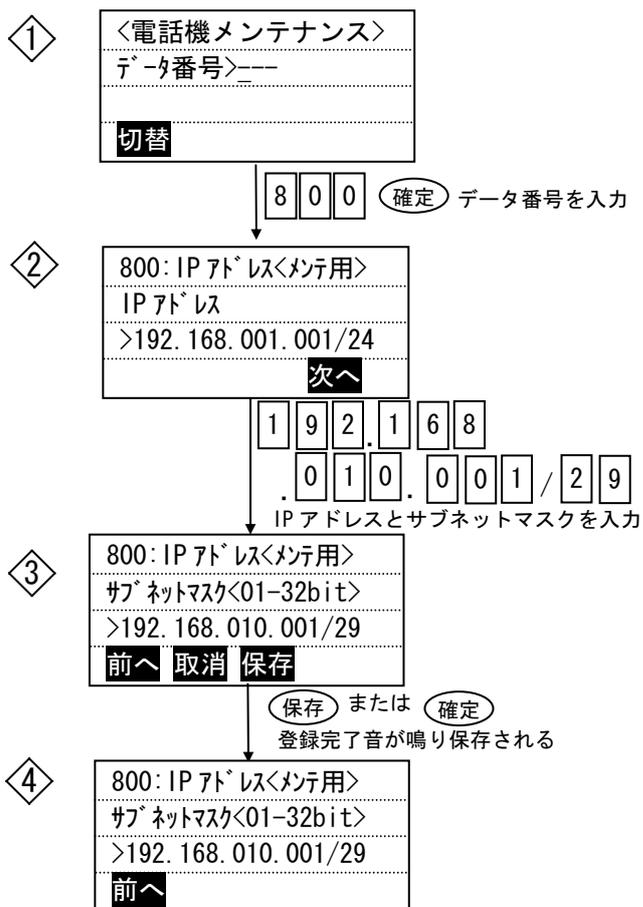
データ番号	主装置 IP アドレス/サブネットマスク (メンテナンス用)	バージョン	V1.0~
800		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

主装置の IP アドレス(メンテナンス用)を設定する。

<操作例>

主装置 IP アドレスを「192.168.010.001」に、サブネットマスクを「29」に設定します。



「初期値」

ネットワーク設定	
主装置 IP アドレス	192.168.001.001
サブネットマスク	24

「キー操作とデータ」

IP アドレス

主装置 IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力する。

サブネットマスク

主装置サブネットマスク (1~32) を入力する。

②  
③

「関連機能番号」

- 1110: ブラウザ設定 (主装置/PGW)
- 1400: VOIP 内線型収容
- 1500: 電話機連携アプリケーション収容

<注意事項>

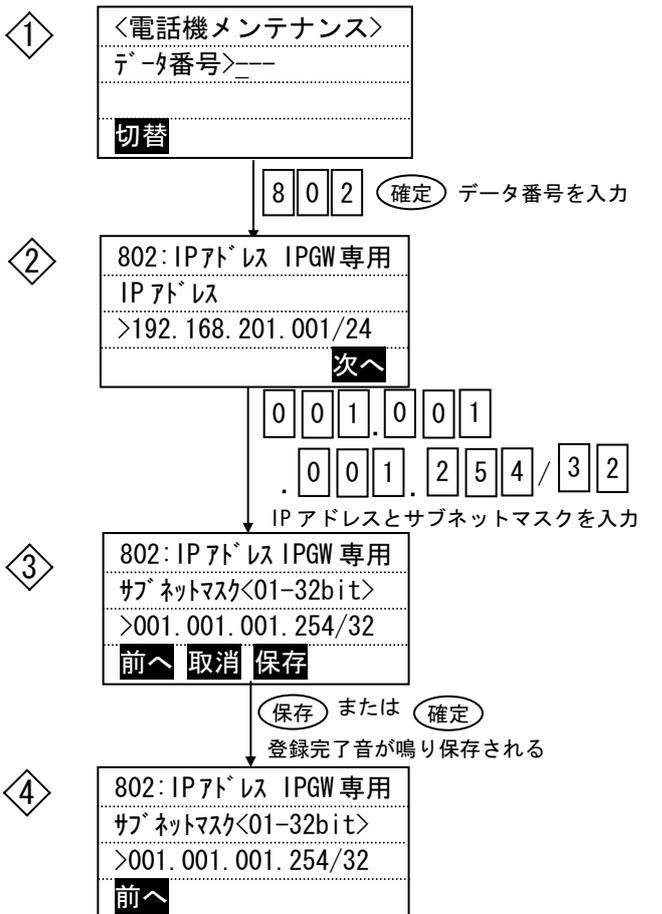
		バージョン	V1.0~
データ番号	主装置 IP アドレス/サブネットマスク (IPGW 接続専用ポート用)	データ更新条件	システム
802		システム リセット	

<データ設定概要>

主装置の IP アドレス (IPGW 接続専用ポート用) を設定する。

<操作例>

IP アドレスを「001.001.001.254」に、サブネットマスクを「32」に設定します。



「初期値」

ネットワーク設定	
主装置 IP アドレス	192.168.201.001
サブネットマスク	24

「キー操作とデータ」

- ② IP アドレス  
主装置 IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力する。
- ③ サブネットマスク  
主装置サブネットマスク (1~32) を入力する。

「関連機能番号」

- 1400: VOIP 内線型収容
- 1450: IP 回線接続 -SIP 回線- (IPGW 収容)

<注意事項>

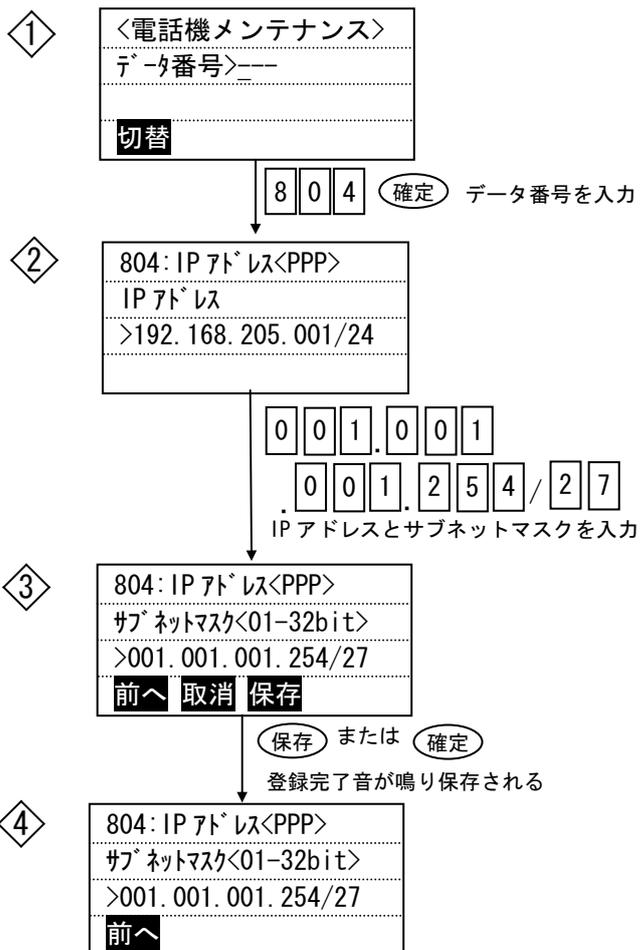
		バージョン	V1.0~
データ番号	主装置 IP アドレス/サブネットマスク (PPP 用)	データ更新条件	システム
804			

<データ設定概要>

RAS 接続先相手通知用 IP アドレスを設定する。

<操作例>

IP アドレスを「001.001.001.254」に、サブネットマスクを「27」に設定します。



「初期値」

ネットワーク設定	
主装置 IP アドレス	未登録
サブネットマスク	24

「キー操作とデータ」

IP アドレスの設定

主装置 IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力する。

サブネットマスク

主装置サブネットマスク (1~32) を入力する。

②  
③

「関連機能番号」

1109 : リモート PC (遠隔保守)

<注意事項>

- (1) データ番号804を設定する際は、データ番号800などとは別セグメントのアドレスとなるように設定してください。  
例 : D800 : 192.168.1.1/24 だった場合 D804 : 192.168.205.1/24 等

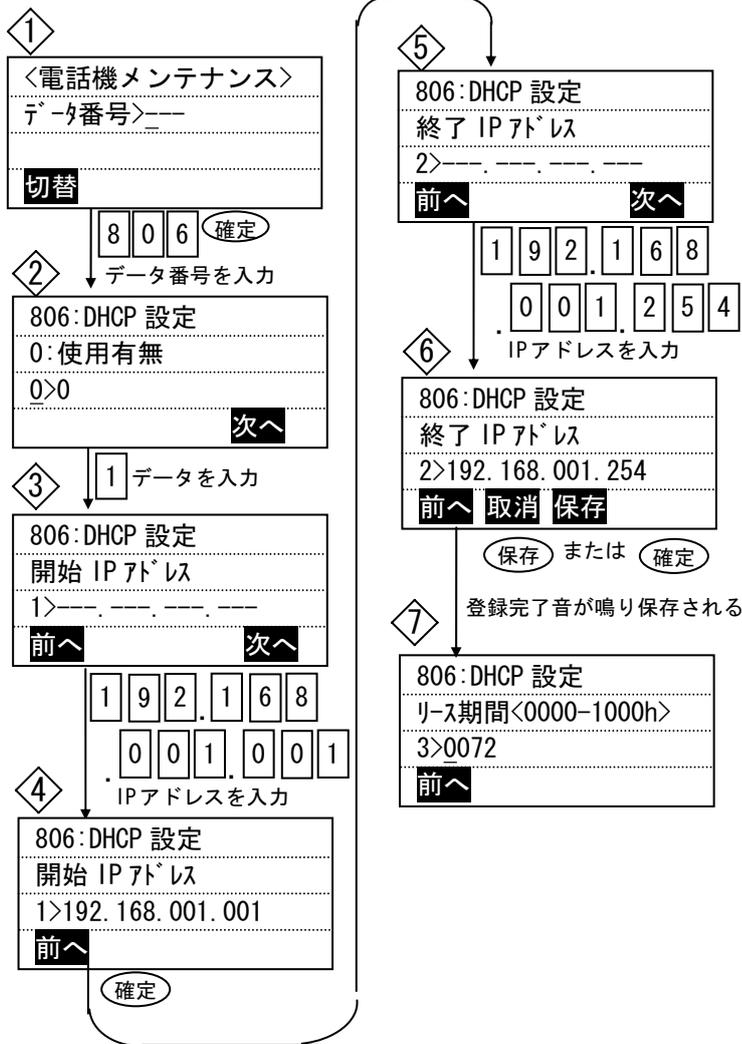
データ番号	DHCP 設定	バージョン	V1.0~
806		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

DHCP 機能を設定する

<操作例>

IP アドレス使用範囲を「192.168.001.001」～「192.168.001.254」に設定します。



「初期値」

	DHCP 設定
使用有無	使用しない
IP アドレス使用範囲	登録無し
クライアントリース期間	72h
除外 IP アドレス	登録無し

「キー操作とデータ」

DHCP 設定

10 キー	データ内容
0	使用有無
1	使用開始 IP アドレス
2	使用終了 IP アドレス
3	クライアントリース期間
4	除外 IP アドレス

使用有無

10 キー	データ内容
0	使用しない
1	使用する

使用開始・終了 IP アドレス

「000.000.000.000」, 「255.255.255.255」  
以外

クライアントリース期間

0(無制限)~1000h

対地・除外 IP アドレス

対地 00~19  
「000.000.000.000」, 「255.255.255.255」  
以外

「関連機能番号」

1400: VOIP 内線型収容

<注意事項>

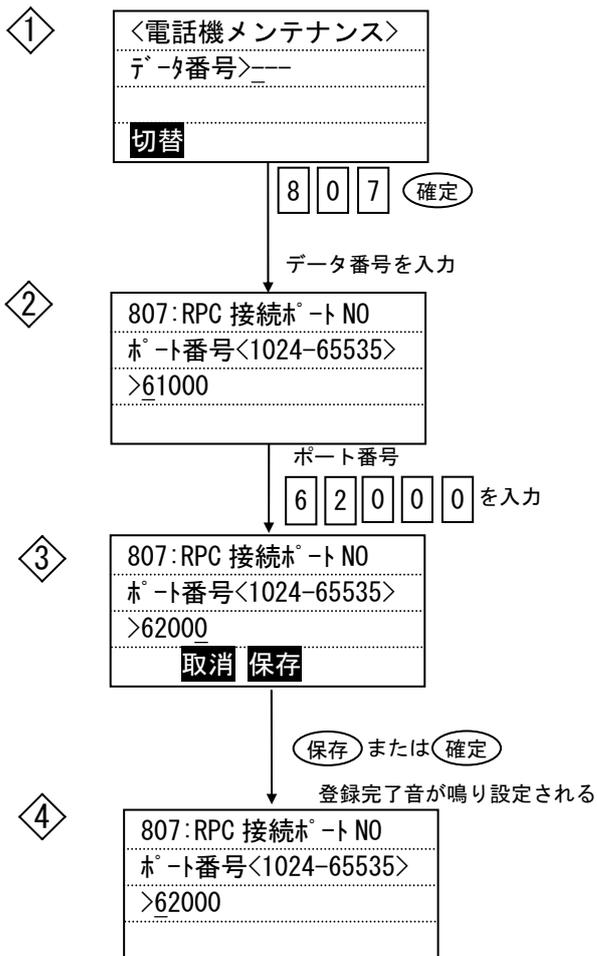
データ番号	リモート PC 接続ポート番号	バージョン	V1.0~
807		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

リモート PC 通信時のポート番号を登録する。

<操作例>

リモート PC 接続ポート番号に「62000」を設定します



「初期値」

ポート番号
61000

「キー操作とデータ」

② ポート番号  
③ ポート番号 (1024~65535) を入力する。  
④

②  
③  
④

「関連機能番号」

- 1108 リモート PC (ローカル保守)
- 1109 リモート PC (遠隔保守)

<注意事項>

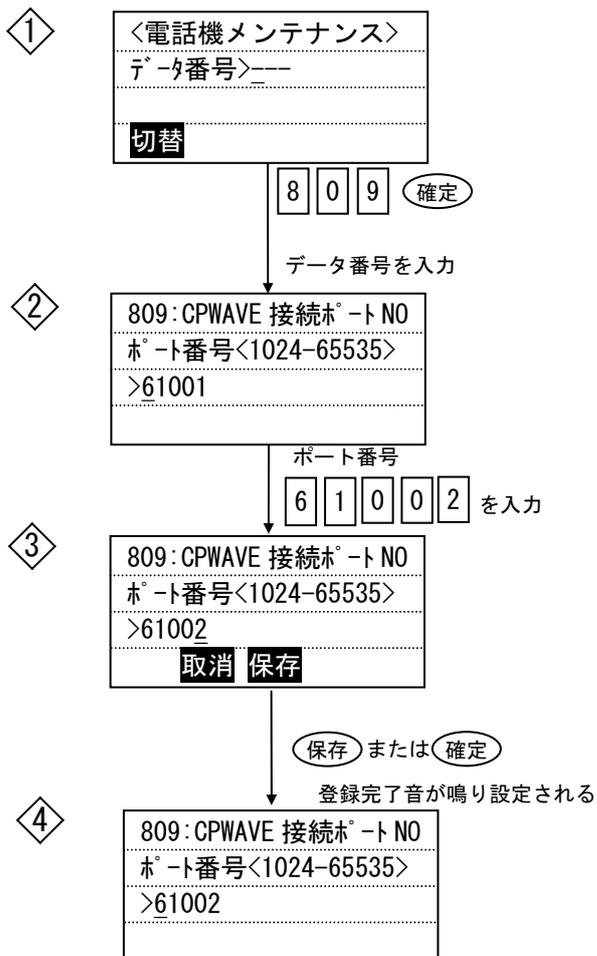
データ番号	CPWAVE 接続ポート番号	バージョン	V1.2~
809		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

CPWAVE 通信時のポート番号を登録する。

<操作例>

CPWAVE 接続ポート番号に「61002」を設定します。



「初期値」

ポート番号
61001

「キー操作とデータ」

ポート番号  
ポート番号 (1024~65535) を入力する。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1500 CPWAVE 収容

<注意事項>

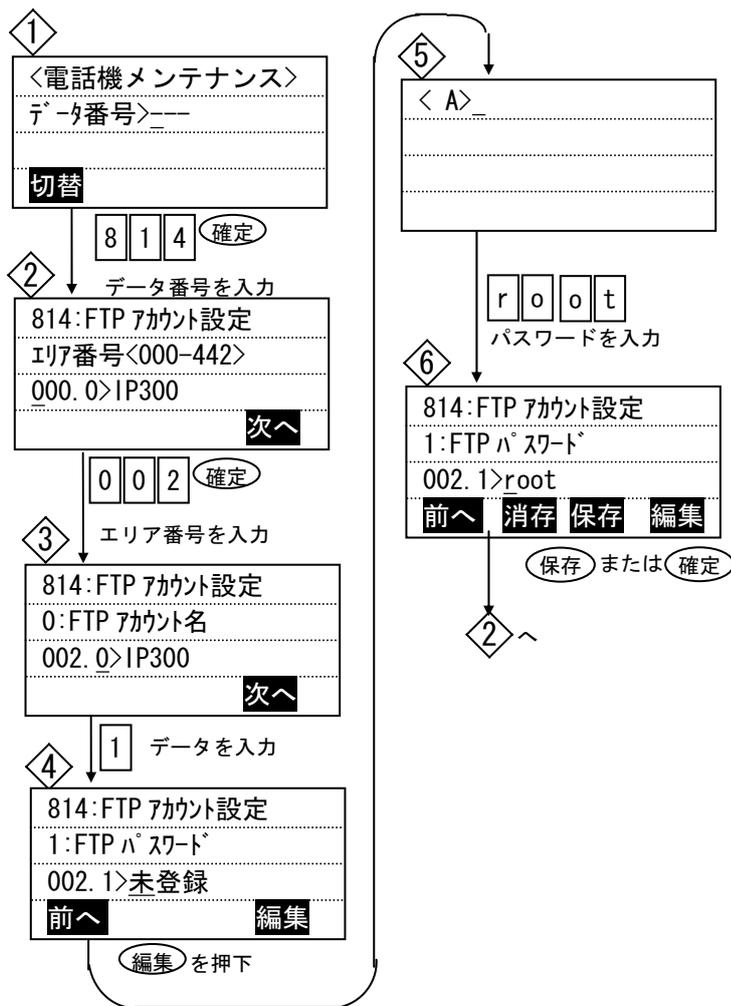
データ番号	FTP アカウント設定	バージョン	V1.0~
814		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

FTP サーバのアカウント設定をする。

<操作例>

FTP アカウントをエリア「002」にアカウント名「IP300」のパスワード「root」で登録します。



「初期値」

エリア	FTP アカウント名
000	IP300
その他エリア	未登録

エリア	FTP パスワード
000	admin
その他エリア	未登録

「キー操作とデータ」

2 エリア  
エリア番号(0~007<v1.0>/0~442<v1.1>)を10キーで入力します。

3 FTP

10キー	データ内容
0	FTP アカウント名
1	FTP パスワード

5 FTP アカウント名、FTP パスワード  
FTP アカウント名(英数字16文字)、FTP パスワード(英数字8文字)を入力します。

「関連機能番号」

- 1108 リモート PC(ローカル保守)
- 1109 リモート PC(遠隔保守)
- 1110 ブラウザ設定(主装置/IPGW)

<注意事項>

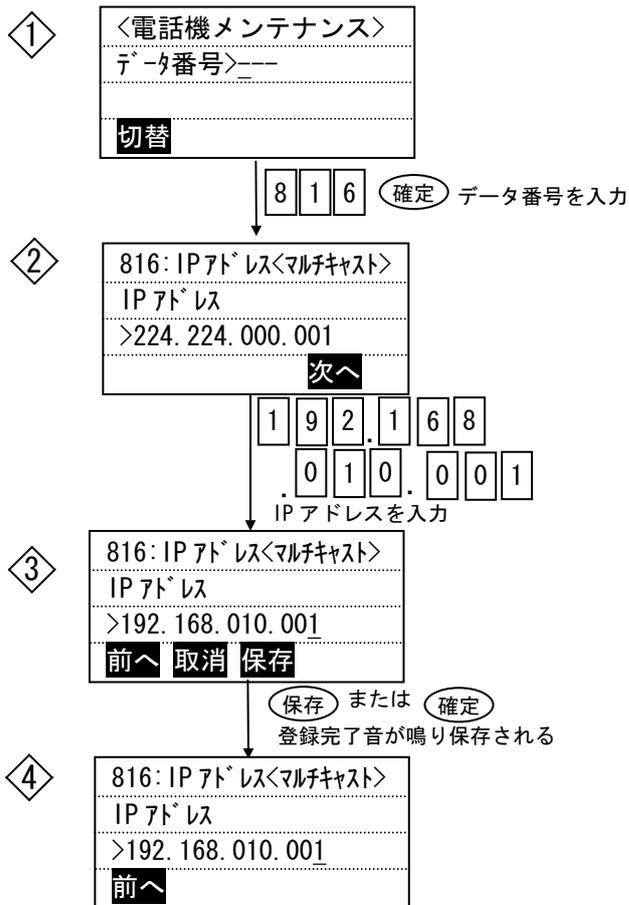
データ番号	主装置 IP アドレス (マルチキャスト用)	バージョン	V1.0~
816		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

主装置の IP アドレス (マルチキャスト用) を設定する。

<操作例>

主装置 IP アドレスを「192.168.010.001」に設定します。



「初期値」

主装置 IP アドレス
224.224.000.001

「キー操作とデータ」

- ② IP アドレス  
③ 主装置 IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力する。

「関連機能番号」

1450 IP回線接続-SIP回線- (IPGW900収容)

<注意事項>

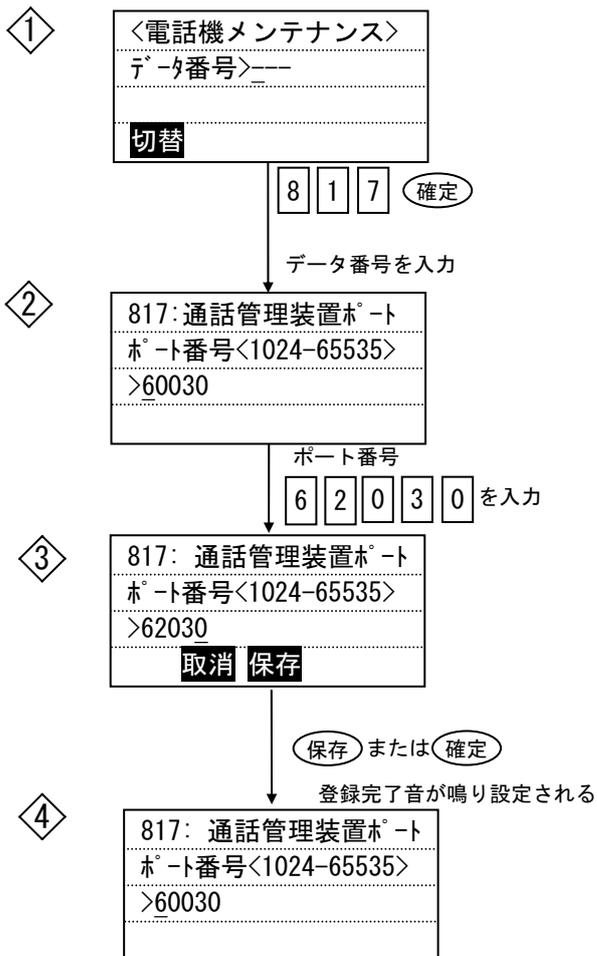
データ番号	通話情報管理装置接続ポート番号	バージョン	V1.4~
817		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

通話情報管理装置接続時のポート番号を登録する。

<操作例>

通話情報管理装置接続ポート番号を「62030」を設定します



「初期値」

ポート番号
60030

「キー操作とデータ」

ポート番号  
ポート番号(1024~65535)を入力する。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1127: 通話情報管理装置接続

<注意事項>

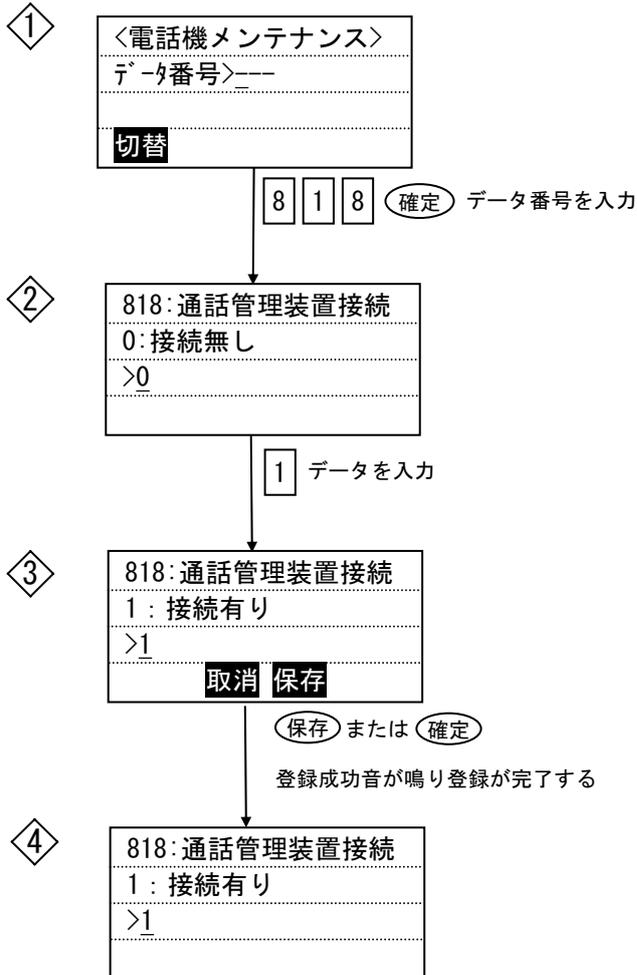
データ番号	通話情報管理装置接続有無	バージョン	V1.4~
818		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

通話情報管理装置への接続の有無を設定する。

<操作例>

通話情報管理装置接続を接続有りに設定します。



「初期値」

通話情報管理装置接続
接続無し

「キー操作とデータ」

10 キー	データ内容
0	接続無し
1	接続有り

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1127：通話情報管理装置接続

<注意事項>

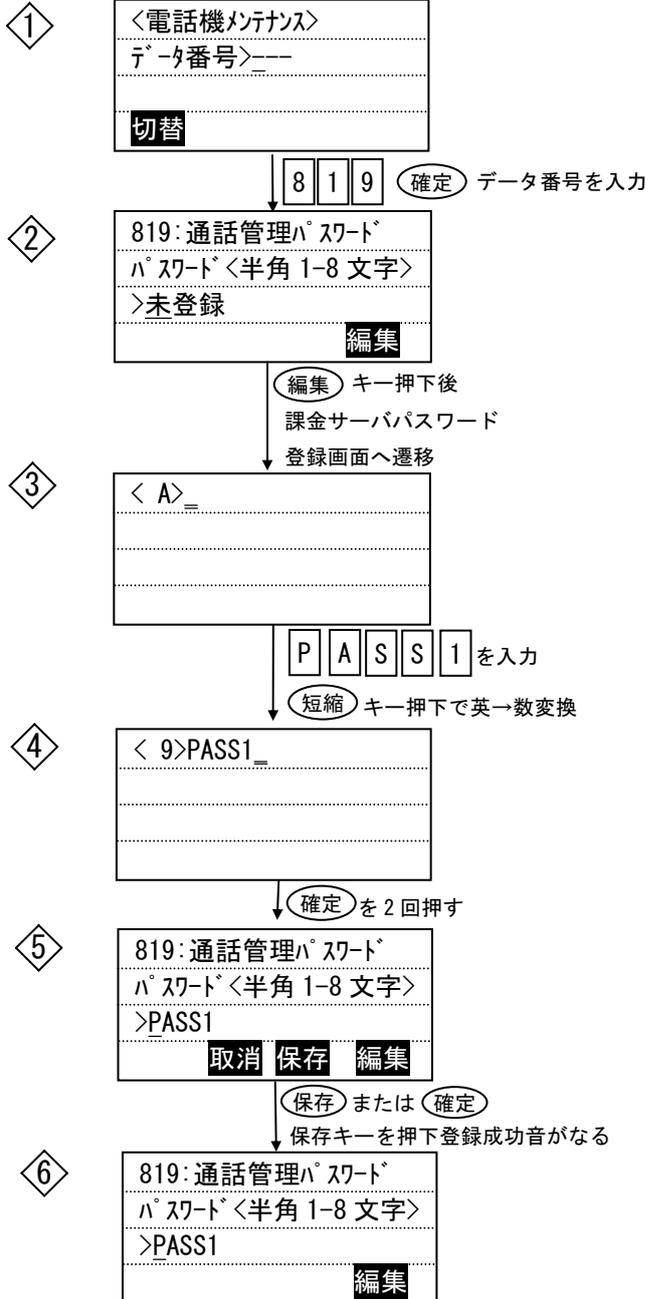
データ番号	通話情報管理装置パスワード	バージョン	V1.4~
819		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

通話情報管理装置に接続する時のパスワードを設定する。

<操作例>

通話情報管理装置パスワードを「PASS1」に設定します。



「初期値」

10 キー	パスワード
—	未登録

「キー操作とデータ」

パスワードの入力設定

② 電話機メンテナンスで819を押下後、編集キー  
③ を押して通話管理パスワード登録画面に移る。  
④ 短縮キーで英/数選択し課金サーバパスワード  
⑤ の入力を行う。後決定ボタンを2回押し保存又  
⑥ は設定画面に移り保存又は設定を行う。  
入力可能文字はA-Z、a-z、0-9、\*#/.<>:です。

- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

「関連機能番号」

1127: 通話情報管理装置接続

<注意事項>

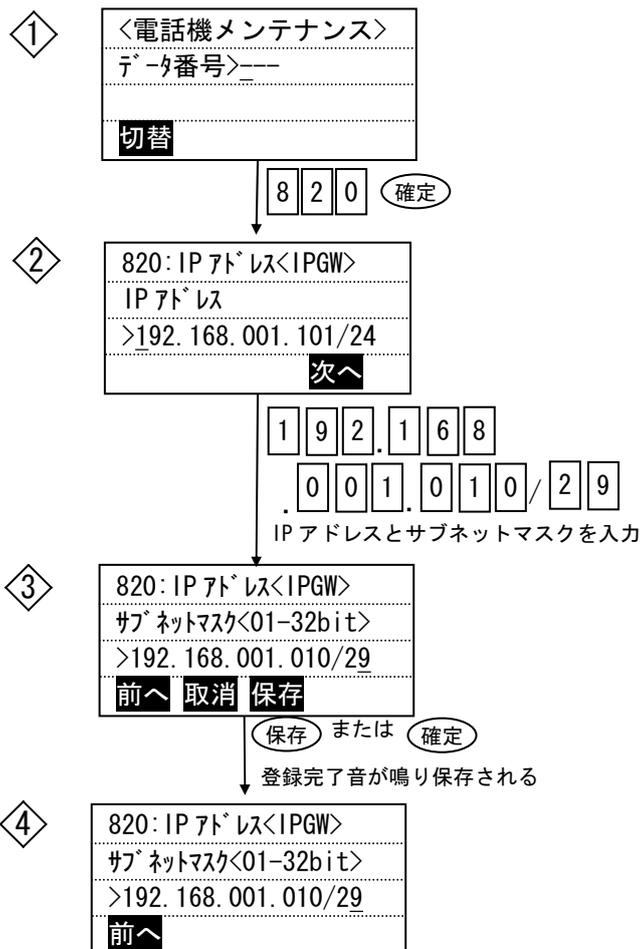
このページは白紙になります。

データ番号	IPGW IP アドレス/サブネットマスク	バージョン	V1.0~
820		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>  
IPGW の IP アドレス、サブネットマスクを設定する。

<操作例>

IPGW IP アドレス（ネットワーク接続側）を「192.168.001.010」に、サブネットマスクを「29」に設定します。



「初期値」

ネットワーク設定	
-主装置 IP アドレス	192.168.001.101
サブネットマスク	24

「キー操作とデータ」

- IP アドレス**  
IPGW IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力する。
- サブネットマスク**  
IPGW サブネットマスク (01~32) を入力する。

②  
④

「関連機能番号」

- 1400: VOIP 内線型収容
- 1450: IP 回線接続 -SIP 回線- (IPGW 収容)

<注意事項>

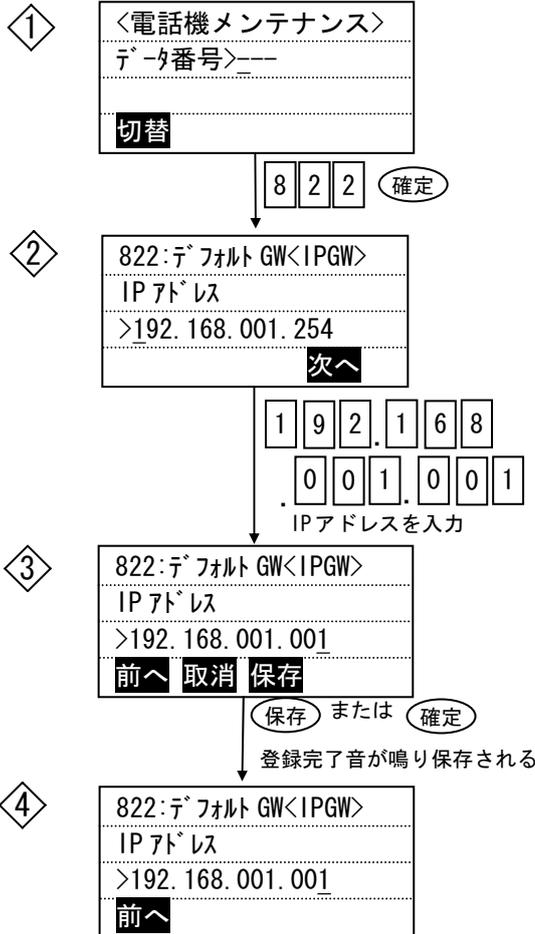
注1. 本設定を変更した場合ルーターの再起動が必要です。

データ番号	IPGW/IPAD デフォルトゲートウェイ	バージョン	V1.0~
822		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>  
CCU/IPGW/IPAD のデフォルトゲートウェイを設定する。

<操作例>

IPアドレスを「192.168.001.001」に設定します



「初期値」

IPアドレス
192.168.001.254

「キー操作とデータ」

IPアドレス

IPU デフォルトゲートウェイ  
(000.000.000.000、255.255.255.255 以外)  
を入力し登録します

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

- 1400: VOIP 内線型収容
- 1450: IP 回線接続 -SIP 回線- (IPGW 収容)
- 1459: IP 回線デフォルトゲートウェイ設定  
-SIP 回線- (IPGW 収容)

<注意事項>

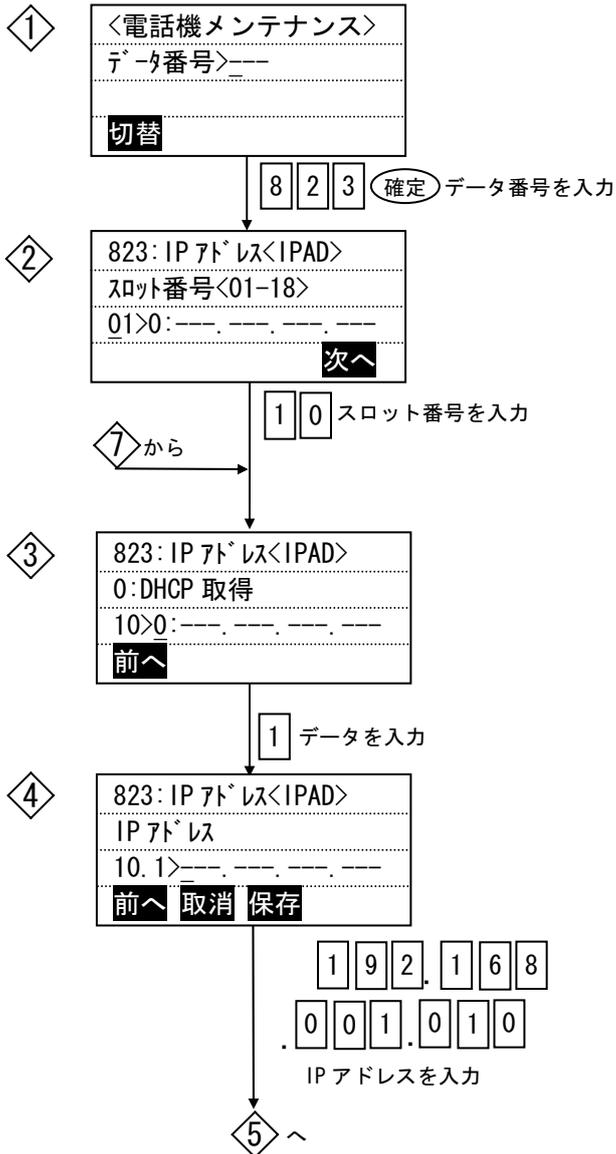
データ番号	IPAD ネットワーク設定 1/2	バージョン	V1.0~
823		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

IPAD の IP アドレスを設定する。

<操作例>

スロット 10 の IPAD の IP アドレスを、固定 IP アドレス 192.168.001.001、サブネットマスク 29 に設定します。



「初期値」

エリア	IPアドレス設定
全エリア	DHCP 取得

エリア	固定IPアドレス
全エリア	未登録

エリア	サブネットマスク
全エリア	24

「キー操作とデータ」

スロット番号

スロット番号(01~18)を10キーで設定します。

IPアドレス設定

10キー	データ内容
0	DHCP 取得
1	固定IPアドレス
2	サブネットマスク

③

「関連機能番号」

1400: VOIP 内線型収容

1450: IP 回線接続 - SIP 回線 - (IPGW 収容)

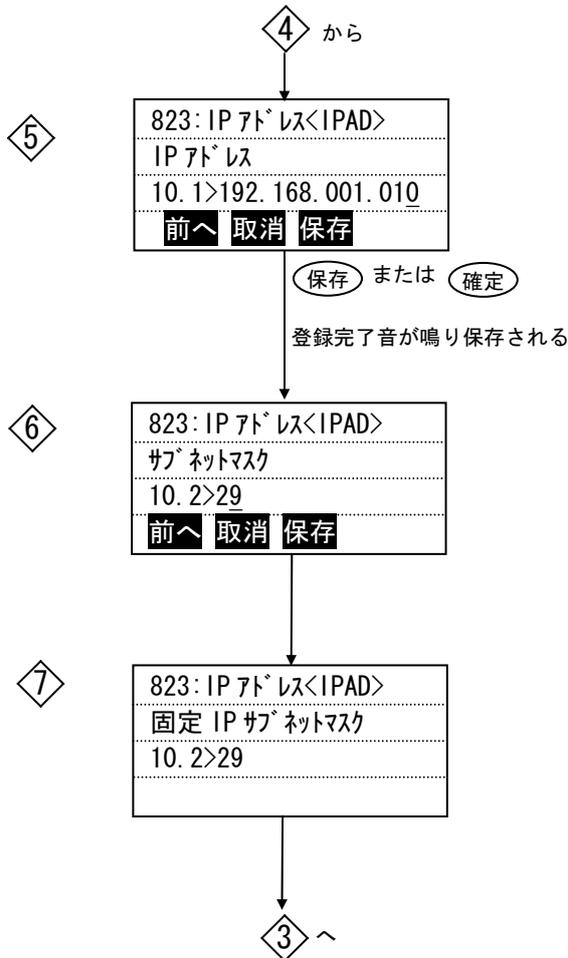
<注意事項>

1. 固定アドレスの設定の際、IPアドレスを設定して下さい。
2. DHCP取得の場合、固定IPアドレスで設定したIPアドレスは無効です。

データ番号	IPAD ネットワーク設定 2/2	バージョン	V1.0~
823		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

<操作例>



- 「キー操作とデータ」
- ⑤ IP アドレス  
固定 IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力します
  - ⑥ サブネットマスク  
IPU サブネットマスク (1~32) を入力します
  - ⑦

<注意事項>

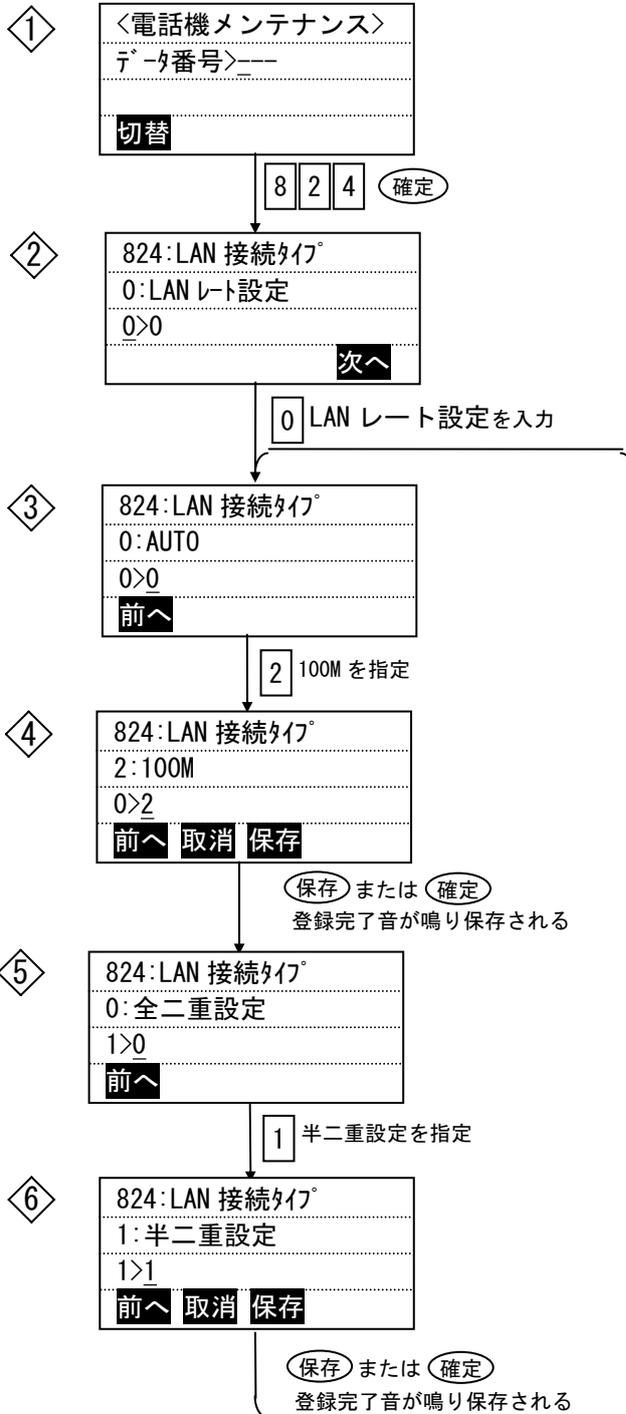
データ番号	IPGW/IPAD LAN 接続タイプ	バージョン	V1.0~
824		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IPGW/IPAD LAN 接続タイプを設定する。

<操作例>

IPGW/IPAD LAN 接続タイプを100Mの半二重設定にします。



「初期値」

LAN レート設定	AUTO
モード設定	全二重設定

「キー操作とデータ」

LAN 接続タイプ

10 キー	データ内容
0	LAN レート設定
1	モード設定

LAN レート設定

10 キー	データ内容
0	AUTO
1	10M
2	100M

モード設定

10 キー	データ内容
0	全二重設定
1	半二重設定

②  
③  
④  
⑤  
⑥

「関連機能番号」

- 1400:VOIP 内線型収容
- 1401:VOIP 内線個別着信
- 1450:IP 回線接続 -SIP 回線- (IPGW 収容)

<注意事項>

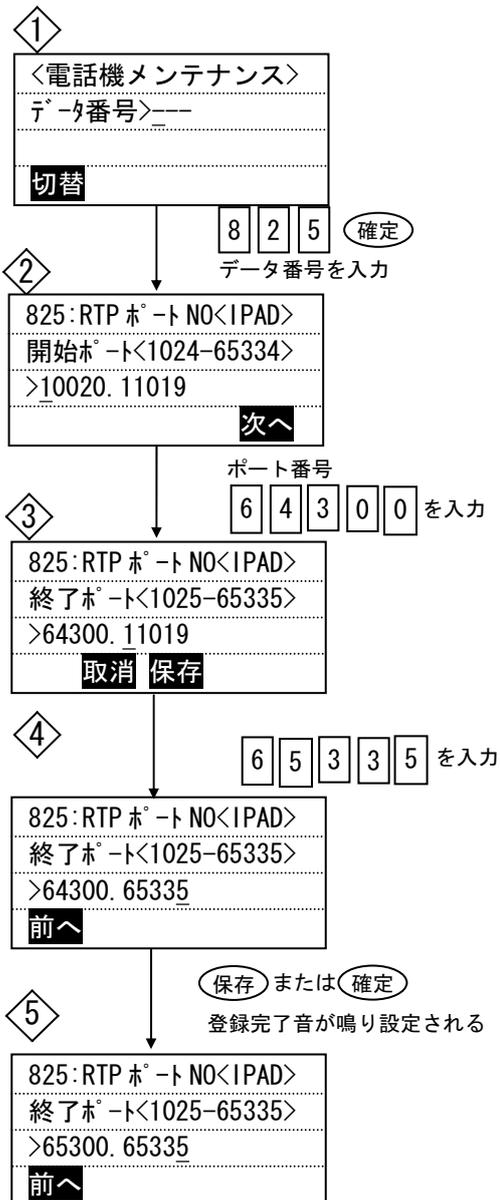
データ番号	IPAD LAN 側 RTP ポート番号	バージョン	V1.0~
825		データ更新条件	システムリセット

<データ設定概要>

IPAD LAN 側 RTP のポート番号範囲を設定する。

<操作例>

IPAD LAN 側 RTP ポート番号を 64300~65335 に設定する。



「初期値」

開始ポート	10020
終了ポート	11931

「キー操作とデータ」

② 開始ポート番号  
ポート番号(1024~65334)を入力します。

④ 終了ポート番号  
ポート番号(1025~65335)を入力します。

「関連機能番号」

- 1400 VOIP 内線型収容
- 1450 IP 回線接続-SIP 回線-(IPGW 収容)

<注意事項>

- 注1. 開始ポートと終了ポートが同値ですと設定できません。
- 注2. VOIP回線と標準SIP端末、およびIPKTで使用するRTP/RTCPの総数の範囲を一定量保障するため開始ポートと終了ポートが1000ポート未満になるような設定はできません。  
1000ポート使用の内訳は以下のようになります。
- ・VOIP回線に300ポート
  - ・標準SIPに300ポート
  - ・IPKTに400ポート
- 注3. 本設定を変更した場合ルーターの再起動が必要です。
- 注4. 電話機からの設定可能なデータ番号845、web設定から設定可能なIPKTローカルプロトコルポート番号、標準SIP端末サーバポート番号、標準SIP端末REGISTERサーバポート番号、自呼制御用ポート番号と重複する設定をされると動作を保障しかねますのでご了承ください。

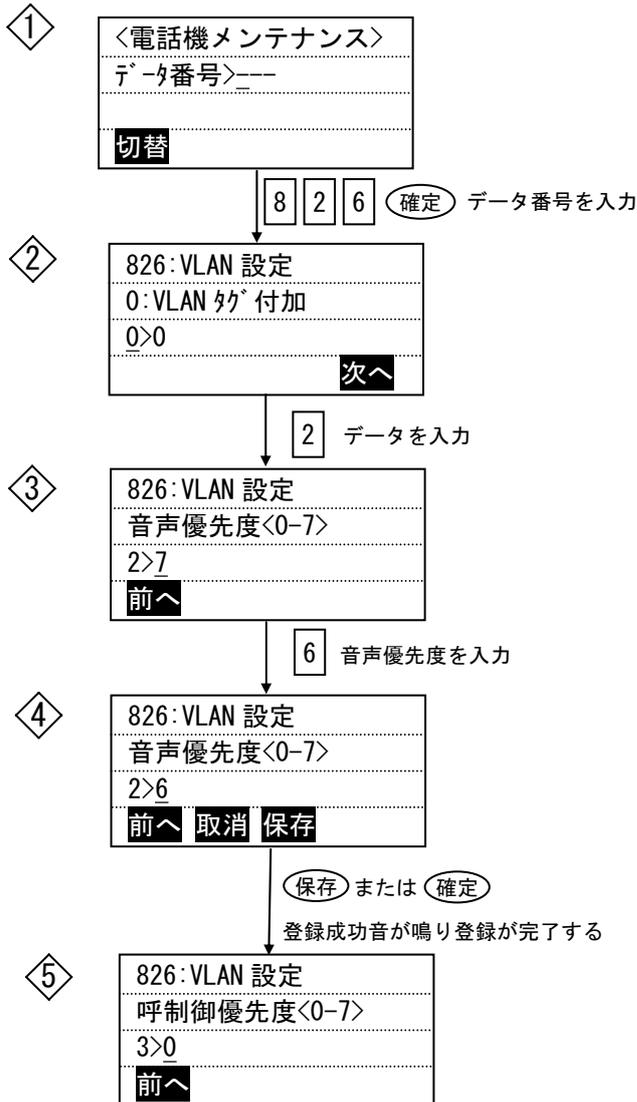
データ番号	VLAN 設定	バージョン	V1.0~
826		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

QoS 機能を実現するための VLAN を設定する。VLAN タグを用いたシステムに組み込むことが可能。

<操作例>

音声優先度を 6 に設定します。



「初期値」

VLAN タグ付加	VLAN タグ付加しない
VLAN ID	0000
音声優先度	7
呼制御優先度	0

「キー操作とデータ」

10 キー	データ内容
0	VLAN タグ付加
1	VLAN ID
2	音声優先度
3	呼制御優先度

VLAN タグ付加の設定

10 キー	設定値
0	VLAN タグ付加しない
1	VLAN タグ付加する

VLAN ID の設定

VLAN ID(0~4094)を入力します。

音声優先度

音声優先度(0~7)を入力します。

呼制御優先度

呼制御優先度(0~7)を入力します。

「関連機能番号」

- 1400 VOIP 内線型収容
- 1450: IP 回線接続—SIP 回線— (IPGW 収容)

<注意事項>

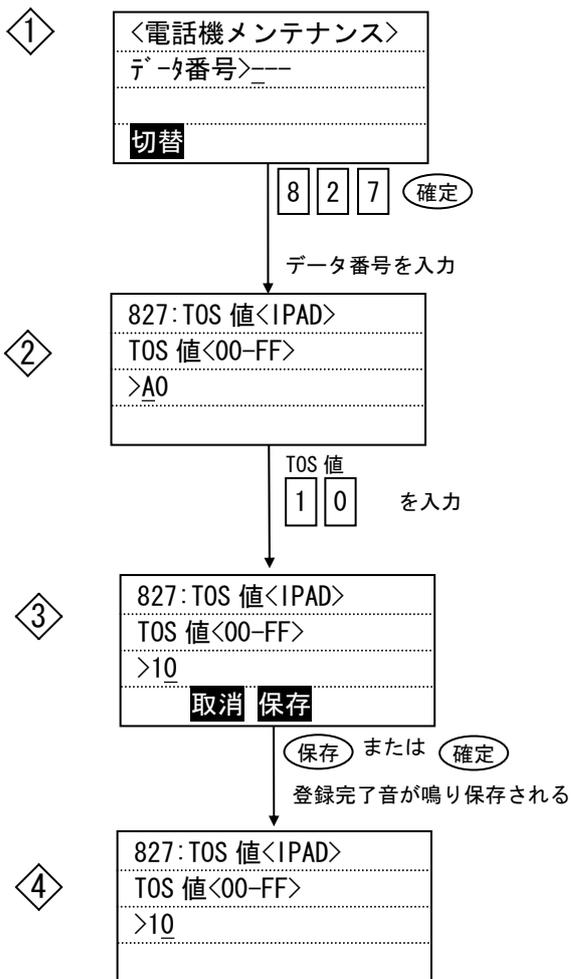
データ番号	TOS 値 (IPAD)	バージョン	V1.0~
827		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IPAD から IP パケットを送信する際の優先順位 (ToS) を設定する。

<操作例>

TOS 値を 10 に設定します。



「初期値」

TOS 値	A0
-------	----

「キー操作とデータ」

TOS 値の設定

TOS 値 (00~FF) を入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1400:VOIP 内線型収容  
1450:IP 回線接続-SIP 回線- (IPGW 収容)

<注意事項>

注1. A~Fの入力にはオートダイヤルボタンを使用します。

—	A	B	C	D	E	F
TD/LD920 (30 ボタン)	外線 19	外線 20	外線 21	外線 22	外線 23	外線 24
TD910 (18 ボタン)	外線 7	外線 8	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12
M-20LKTEL (20 ボタン)	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12	外線 17	外線 18

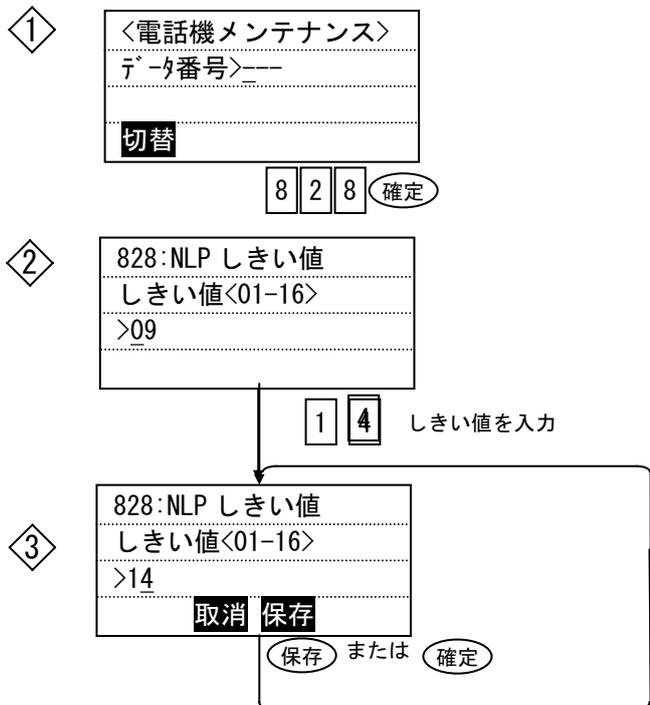
データ番号	NLPしきい値	データ更新条件	システム
828		システムリセット	

<データ設定概要>

IPAD を使用した通話時に雑音が入る場合に本データを設定します

<操作例>

NLP しきい値を「9」から「14」に変更します。



「初期値」全エリア共通

10 キー	しきい値
—	9

「キー操作とデータ」

② しきい値  
しきい値(1~16)を10キーで指定します。

③

「関連機能番号」

<注意事項>

本データ設定後にシステム再起動もしくはIPGWの再起動が必要です。

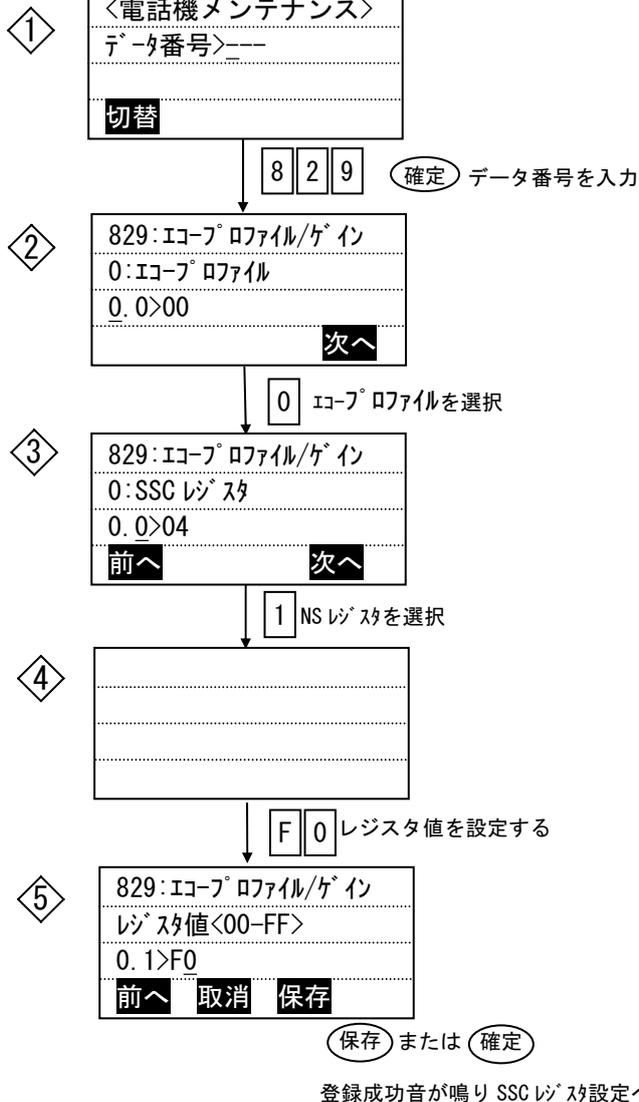
データ番号	エコープロファイル/ゲイン 1/2	バージョン	V1.3~
829		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

通話時のエコー除去時間とエコー除去率の調整をする内部ゲイン値の調整レジスタと内部ゲイン値を設定する。

<操作例>

エコー除去時間を調整します。



「初期値」

エコープロファイル

SSC レジスタ	04
NS レジスタ	08

「キー操作とデータ」

設定選択

設定を選択します

10キー	設定選択
0	エコープロファイル
1	内部ゲイン

③ エコープロファイルレジスタ選択

設定したいレジスタを選択します。

10キー	設定選択
0	SSC レジスタ
1	NS レジスタ

④ エコープロファイル

レジスタ値を 00~FF で設定します。

⑤

「関連機能番号」

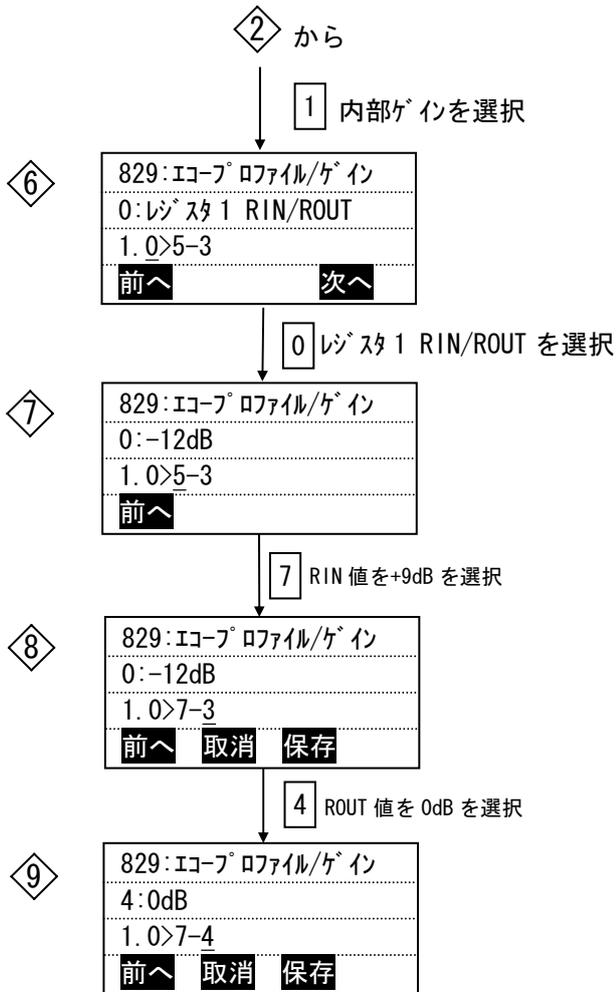
<注意事項>

データ番号	エコープロファイル/ゲイン 2/2	バージョン	V1.3~
829		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

<操作例>

内部ゲインを設定を設定します。



保存 または 確定

登録成功音が鳴り SIN/SOUT の設定へ

「初期値」

内部ゲイン

RIN レジスタ	+3dB
ROUT レジスタ	-3dB
SIN レジスタ	-9dB
SOUT レジスタ	+9dB

「キー操作とデータ」

内部ゲイン値調整レジスタ選択  
設定したいレジスタを選択します。

10キー	設定選択
0	レジスタ1 RIN/ROUT
1	レジスタ2 SIN/SOUT

内部ゲイン

10キー	内部ゲイン
0	-12dB
1	-9dB
2	-6dB
3	-3dB
4	0dB
5	+3dB
6	+6dB
7	+9dB

「関連機能番号」

<注意事項>

このページは白紙になります。

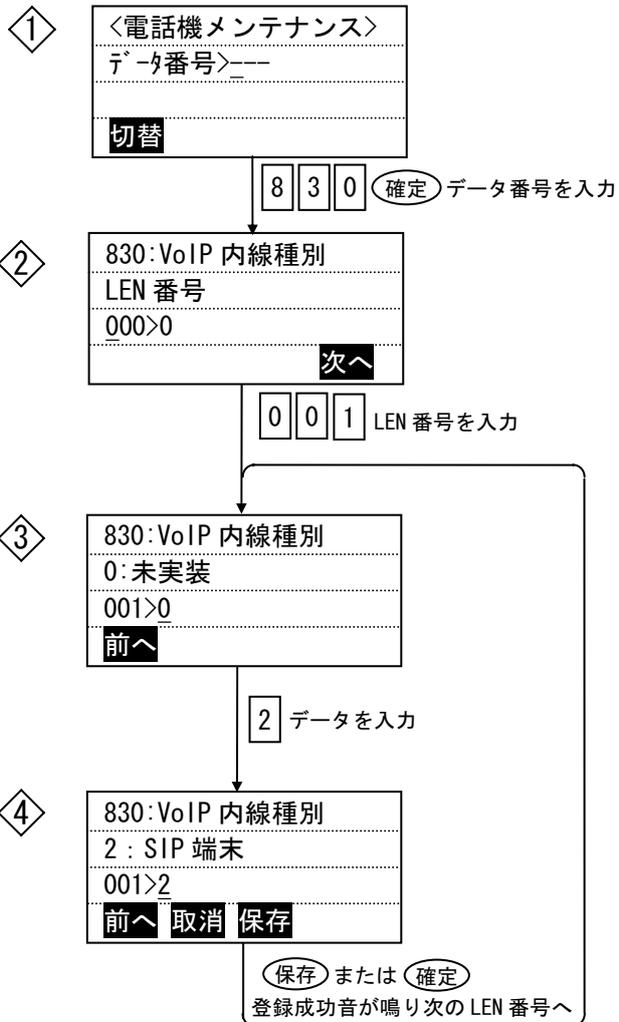
データ番号	VoIP 内線種別	バージョン	V1.0~
830		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

IP 内線端末種別 (IP 標準電話機/SIP 端末) を設定する。

<操作例>

LEN 番号 001 の IP 内線端末種別を「SIP 端末」に設定します。



「初期値」

エリア	VoIP 内線種別
全エリア	未実装

「キー操作とデータ」

**LEN 番号**  
LEN 番号 (3桁) を入力する。

**VoIP 内線種別**

10 キー	データ内容
0	未実装
1	IP 標準電話機<V1.1>
2	SIP 端末

2

3

4

「関連機能番号」

1400: VOIP 内線型収容

<注意事項>

(1) 本データを変更した場合は、IPGWユニットを再起動してください。

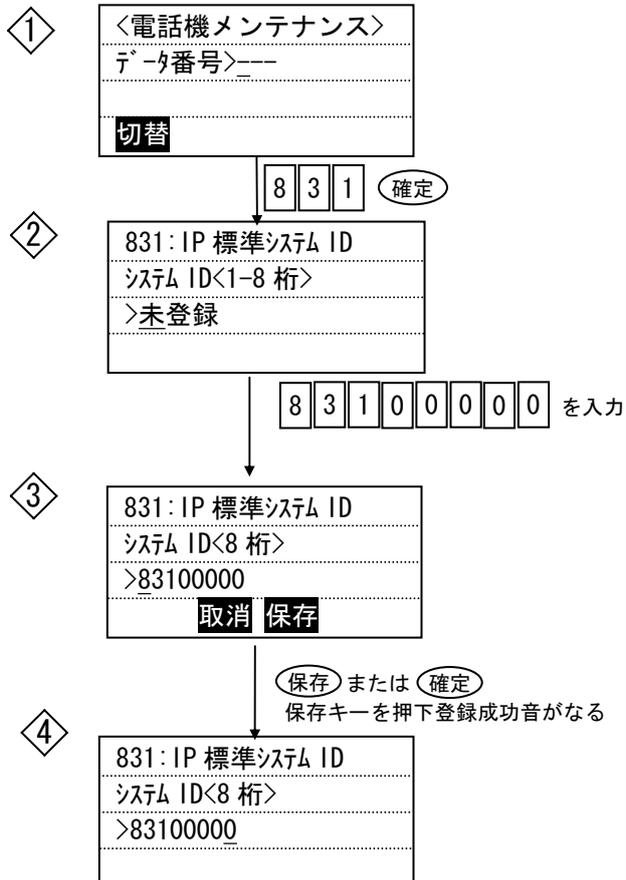
データ番号	IP 標準電話機システム ID	バージョン	V1.1~
831		データ更新条件	システム
		VOIP内線. IP回線 全空き	

<データ設定概要>

IP 標準電話機のシステム ID 設定を行う。

<操作例>

IP 標準電話機のシステム ID を「83100000」に設定します。



「初期値」

システム ID
未登録

「キー操作とデータ」

システム ID  
システム ID(1~8桁)を入力する。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1400:VOIP内線型収容

<注意事項>

注1. 主装置識別IDの異なるIP標準電話機は接続できません。

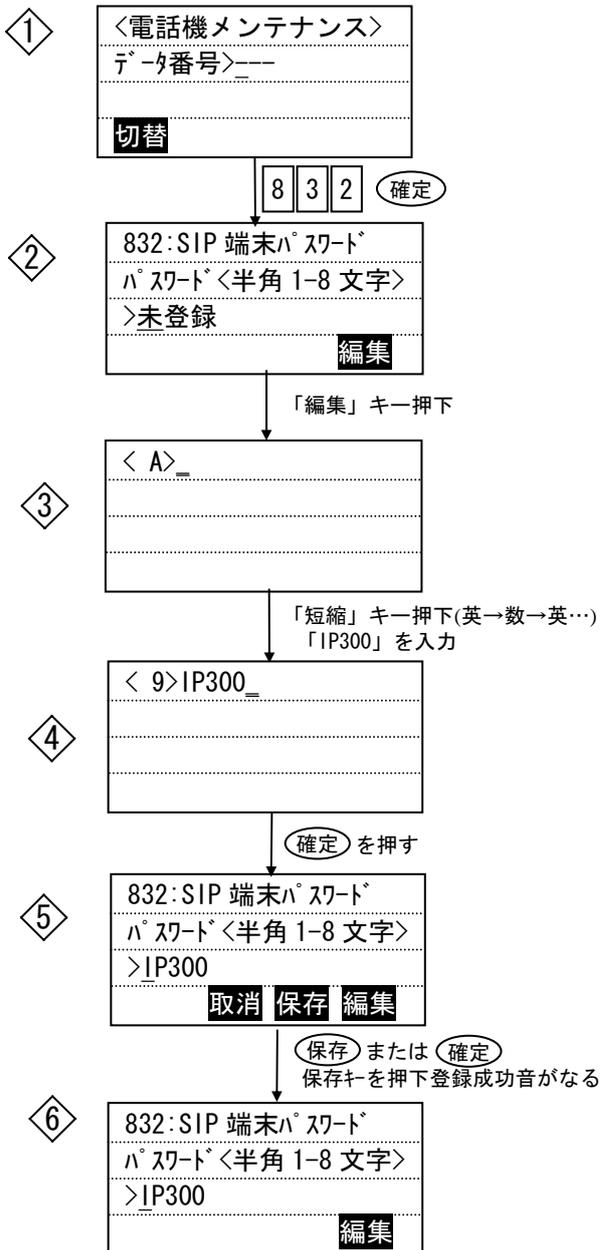
データ番号	SIP 端末パスワード	バージョン	V1.0~
832		データ更新条件	システム リセット

<データ設定概要>

SIP 端末のパスワードを設定する

<操作例>

SIP 端末パスワード、半角 8 文字にてパスワード「IP300」設定し登録する



「初期値」

10 キー	パスワード
-	未登録

「キー操作とデータ」  
パスワード

SIP 端末パスワード (半角英数 1~8 文字) を入力する。

電話機メンテナンスで 832 を押下後、編集キーを押して編集画面に移る。  
短縮キーで英/数選択し SIP 端末パスワードの入力を行う。  
確定ボタンを押し保存又は設定画面に移り保存又は設定を行う。

- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

「関連機能番号」

1400:VOIP 内線型収容

<注意事項>

データ番号	ローカルプロトコルポート番号	バージョン	V1.1~
833		データ更新条件	システム

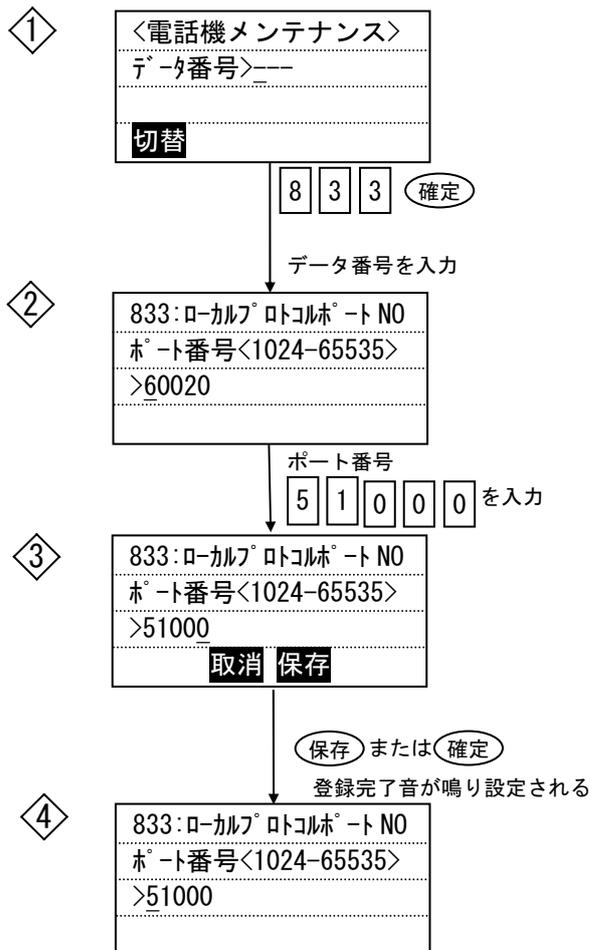
<データ設定概要>

IP 標準電話機と通信する IPGW のポート番号を設定する。

<操作例>

ローカルプロトコルポート番号を 51000 に設定します。

。



「初期値」

ポート番号
60020

「キー操作とデータ」

② ポート番号  
③ ポート番号 (1024~65535) を入力します。  
④

②  
③  
④

「関連機能番号」

1400:VOIP 内線型収容

<注意事項>

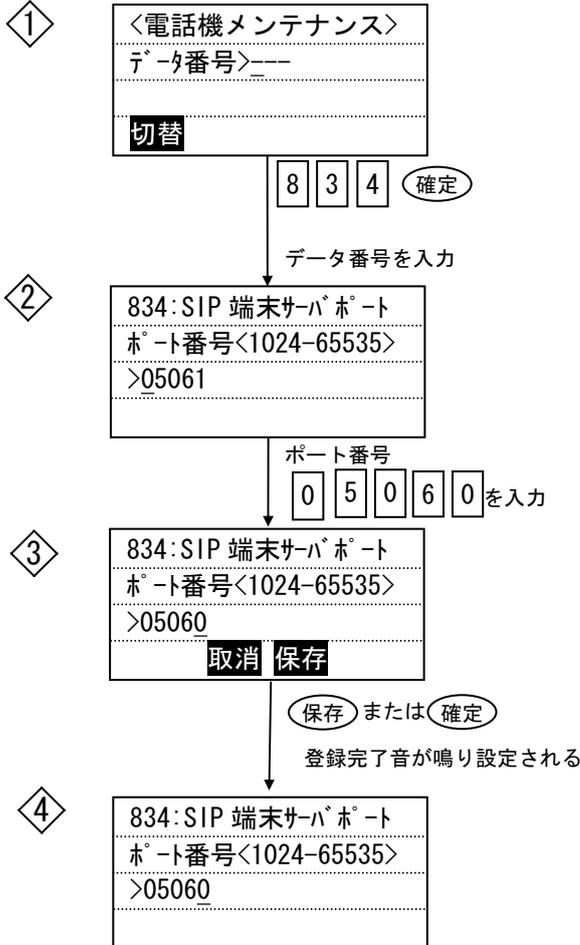
データ番号	SIP 端末サーバポート番号	バージョン	V1.0~
834		データ更新条件	SIP 標準端末全空き
			システム

<データ設定概要>

SIP 端末が登録/呼制御を行う時に使用する、IPU ポート番号を設定する。

<操作例>

SIP 端末サーバポート番号を 5060 に設定します。



「初期値」

ポート番号
05061

「キー操作とデータ」

ポート番号  
ポート番号 (1024~65535) を入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1400:VOIP 内線型収容

<注意事項>

注1. データ833との重複登録不可

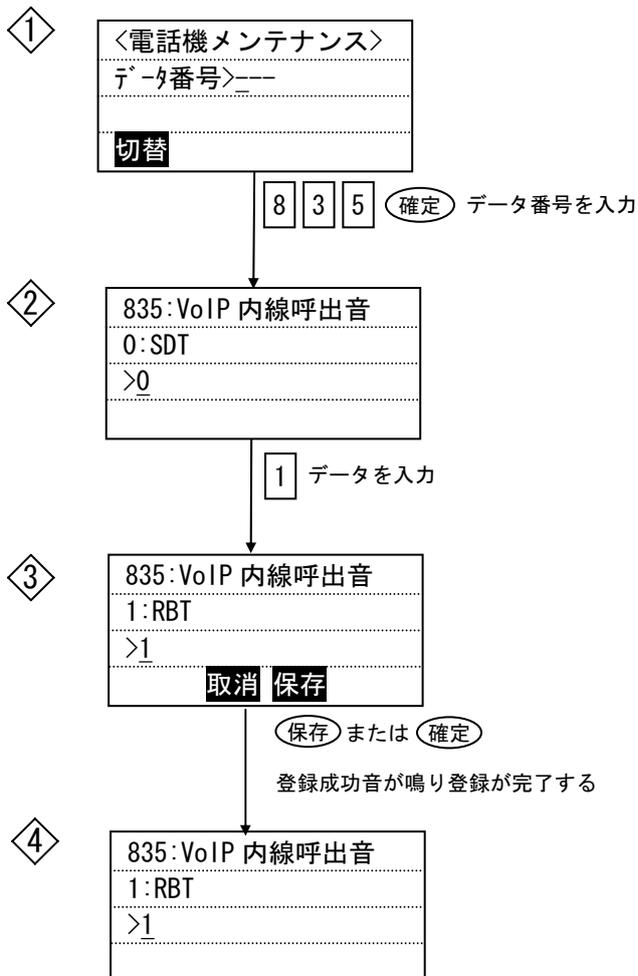
データ番号	VoIP 内線呼出音データ	バージョン	V1.0~
835		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 標準電話機<V1.1>、SIP 端末着信時、呼出応答を検出するまで発信者に聞かせる音を指定する。

<操作例>

VoIP 内線呼出音を RBT に設定します。



「初期値」

呼出音データ
SDT

「キー操作とデータ」

呼出音データ

10 キー	データ内容
0	SDT
1	RBT
2	無音

②  
③  
④

「関連機能番号」

1401: VOIP 内線個別着信

<注意事項>

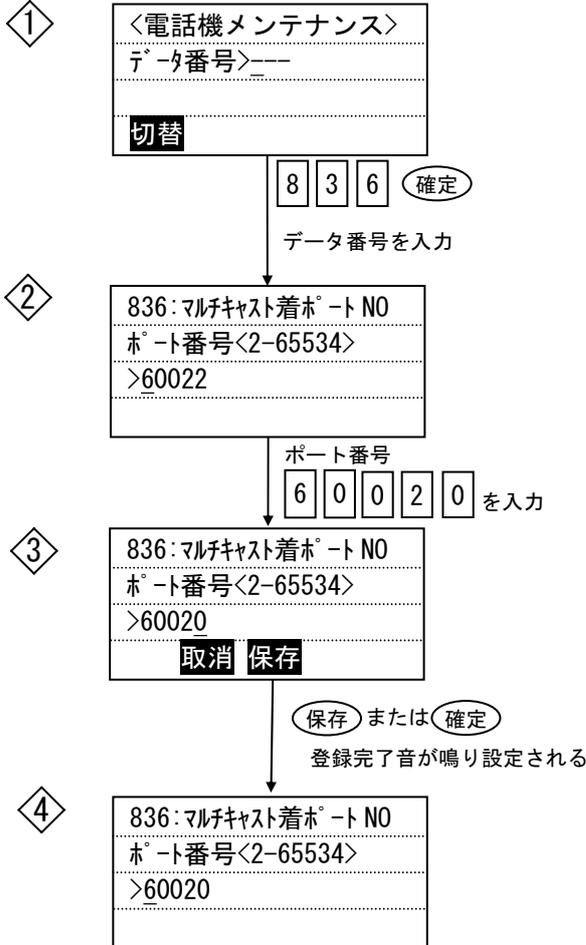
データ番号	マルチキャスト着信用ポート番号	バージョン	V1.0~
836		データ更新条件	システム
		IP 標準電話機 全空き	

<データ設定概要>

メロディ着信/内線グループ呼出/ドアホン着信時に IP 標準電話機<V1.1>、標準 SIP 端末がデータ受信するためのポート番号を設定する。

<操作例>

マルチキャスト着信用ポート番号を 60020 に設定します。



「初期値」

10キ	ポート番号
-	60022

「キー操作とデータ」

ポート番号

ポート番号 (1~65535) を入力します。  
<V1.2>

ポート番号 (2~65534) を入力します。  
<V1.3>

②  
③  
④

「関連機能番号」

1402:VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

(1) 設定は偶数を設定してください。奇数値を設定するとパケットが送出されません。

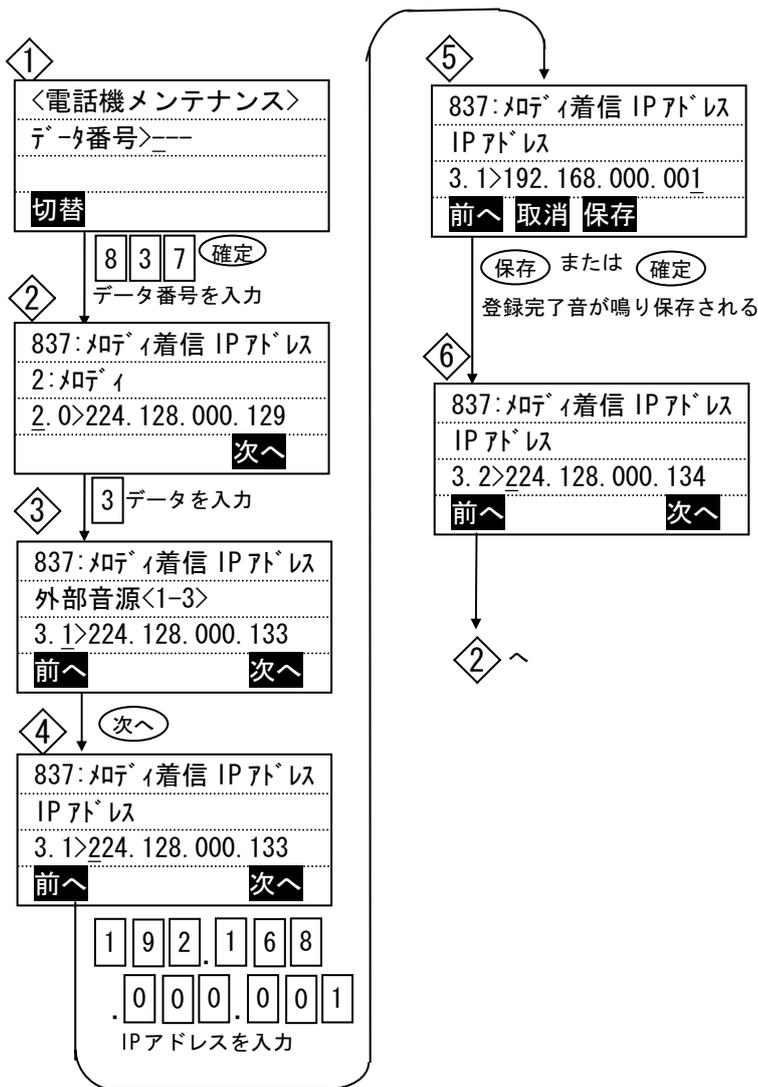
データ番号	メロディ着信 IP アドレス	バージョン	V1.1~
837		データ更新条件	システム
		IP 標準電話機 全空き	

<データ設定概要>

メロディ着信に使用する IP アドレスを設定する。

<操作例>

外部音源 2 の IP アドレスを 192.168.0.1 に設定します。



「初期値」

項目	IP アドレス
保留メロディ	224.128.000.129
メロディ 1	224.128.000.130
メロディ 2	224.128.000.131
メロディ 3	224.128.000.132
外部音源 1	224.128.000.133
外部音源 2	224.128.000.134
外部音源 3	224.128.000.135

「キー操作とデータ」

着信音種

10 キー	データ内容
2	メロディ
3	外部音源

メロディ

10 キー	データ内容
0	保留メロディ
1	メロディ 1
2	メロディ 2
3	メロディ 3

外部音源

10 キー	データ内容
1	外部音源 1
2	外部音源 2
3	外部音源 3

IP アドレス

IP アドレス (000.000.000.000、  
255.255.255.255 以外) を入力します。

「関連機能番号」

- 1400:VOIP 内線型収容
- 1401:VOIP 内線個別着信
- 1402:VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

注1. メロディ毎、データ838、データ839の重複登録不可

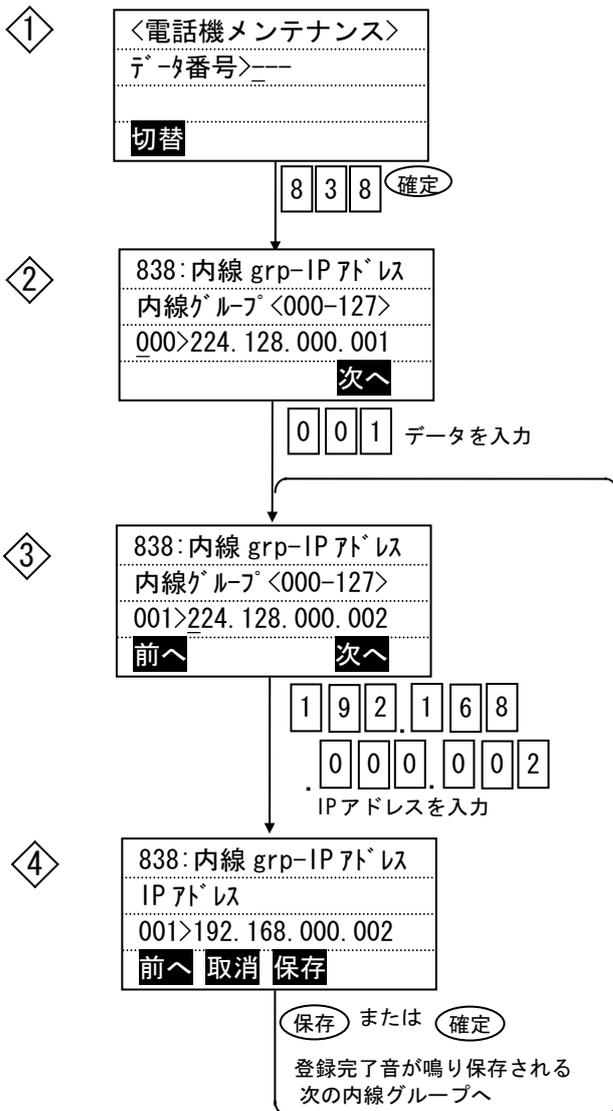
データ番号	内線グループ呼出 IP アドレス	バージョン	V1.1~
838		データ更新条件	システム
		IP 標準電話機 全空き	

<データ設定概要>

内線グループ呼出に使用する IP アドレスを設定する。

<操作例>

内線グループ 001 の呼出 IP アドレスを 192.168.0.2 に設定します。



「初期値」

内線 Grp	IP アドレス
000	224.128.000.001
001	224.128.000.002
002	224.128.000.003
:	:
126	224.128.000.127
127	224.128.000.128

「キー操作とデータ」

- ② 内線グループ  
内線 GRP (000~127) を入力し設定します。
- ③ IP アドレス  
IP アドレス (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を入力し登録します。
- ④

「関連機能番号」

1402:VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

注1. データ837、データ839、他のグループ中の重複登録不可

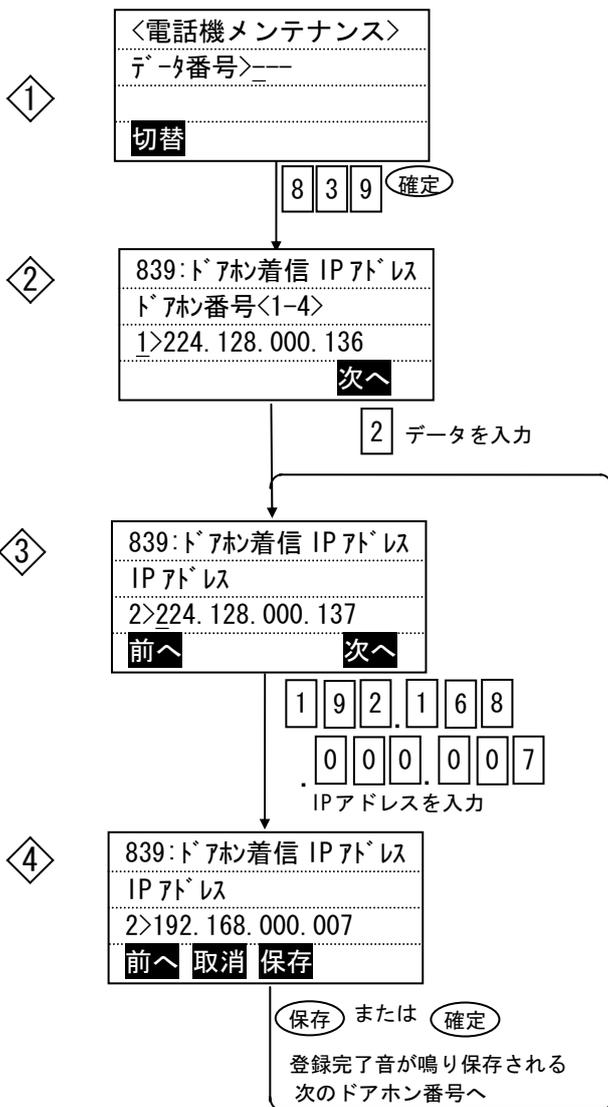
データ番号	ドアホン着信 IP アドレス	バージョン	V1.0~
839		データ更新条件	システム
		IP 標準電話機 全空き	

<データ設定概要>

ドアホン着信に使用する IP アドレスを設定する。

<操作例>

ドアホン2の着信 IP アドレスを 192.168.0.7 に設定します。



「初期値」

ドアホン番号	IP アドレス
1	224.128.000.136
2	224.128.000.137
3	224.128.000.138
4	224.128.000.139

「キー操作とデータ」

- ② ドアホン番号  
ドアホン番号(1~4)を入力し設定します。
- ③ IP アドレス  
IP アドレス (000.000.000.000、  
255.255.255.255 以外)を入力します。
- ④

「関連機能番号」

1402:VOIP 内線一斉着信

<注意事項>

注1. 他のドアホン、データ837、データ838、重複登録不可。

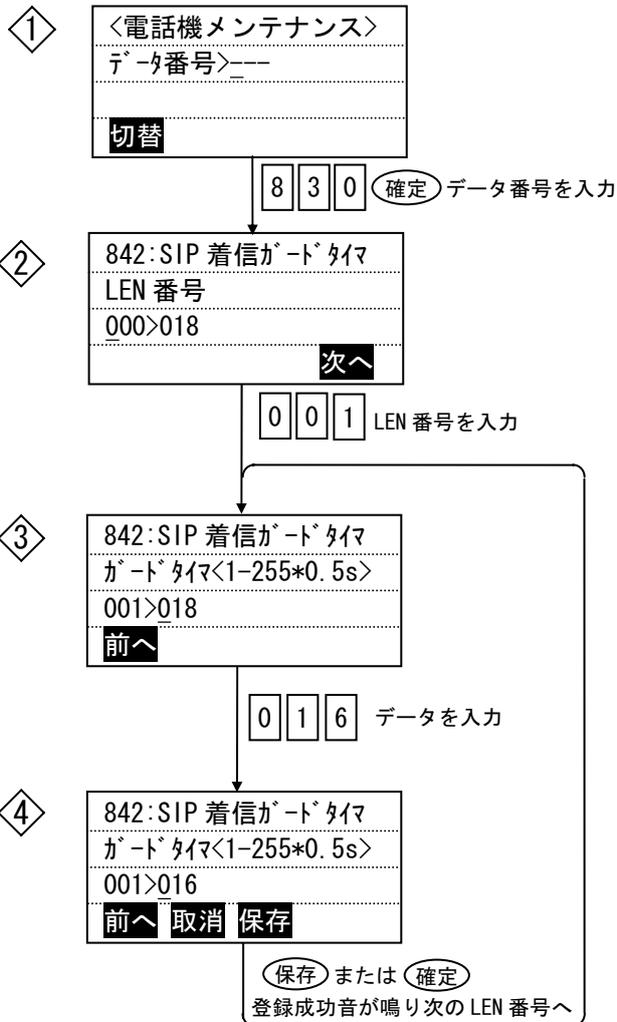
データ番号	SIP 端末着信ガードタイマ	バージョン	V1.0~
842		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

SIP 内線端末の空き遷移時に着信を許容するまでの時間(タイマ)を設定する。

<操作例>

LEN 番号 001 の着信ガードタイマを「16(8 秒)」に設定します。



「初期値」

10 キー	着信ガードタイマ
-	18(9 秒)

「キー操作とデータ」

LEN 番号

LEN 番号(0~383)を 10 キーで入力します。

着信ガードタイマ

タイマ番号(1~255)を 10 キーで入力します

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

1400:VOIP 内線型収容

<注意事項>

注1. データ番号830(VoIP内線種別)にて「SIP端末」と設定したLENのみ、設定が有効となります。

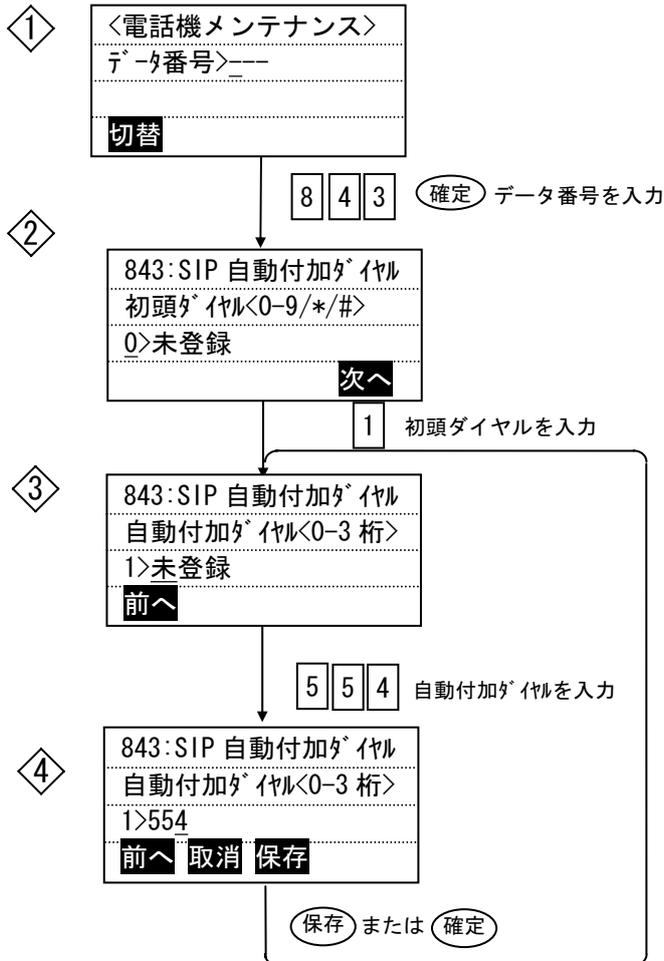
データ番号	SIP 端末自動付加ダイヤル	バージョン	V1.2~
843		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

SIP 内線端末での発信時、自動で付加するダイヤルを設定する。

<操作例>

対象初頭ダイヤル「1」自動付加ダイヤル「554」を設定します。



「初期値」

初頭ダイヤル	付加ダイヤル
0~9,*,#	未登録

「キー操作とデータ」

② 初頭ダイヤル  
対象ダイヤルを0~9,\*,#キーで1桁入力します。

③ 自動付加ダイヤル  
対象ダイヤルを0~9,\*,#キーで3桁入力します。

「関連機能番号」

1400:VOIP 内線型収容

<注意事項>

このページは白紙になります。

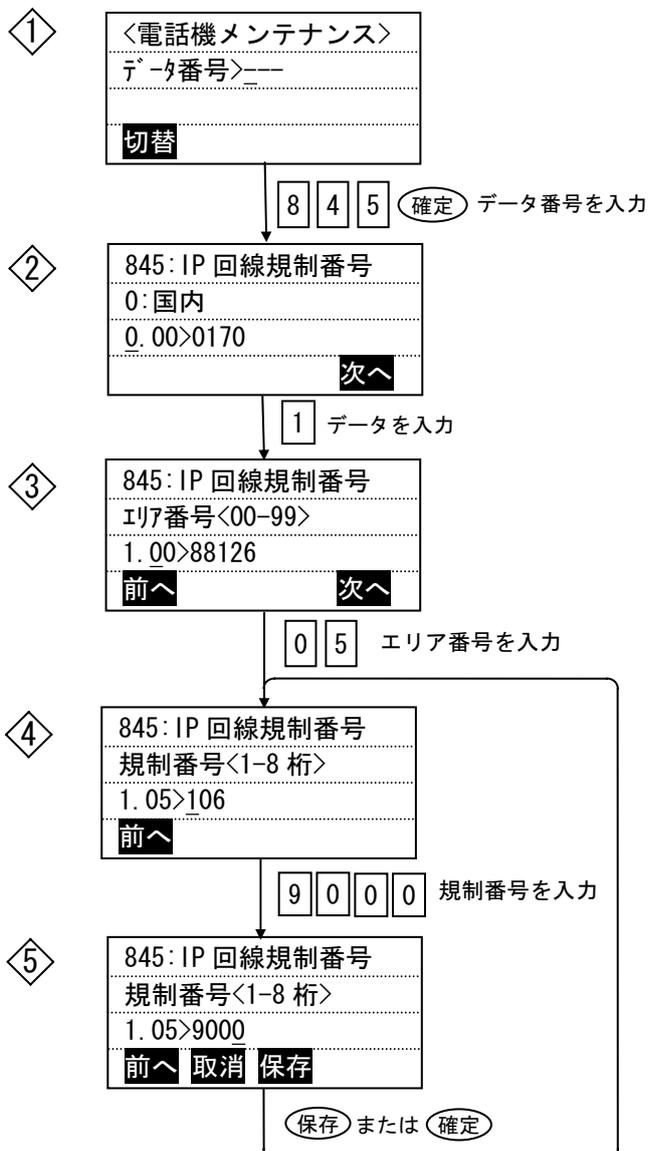
データ番号	IP 回線選択規制番号	バージョン	V1.0~
845		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 回線選択発信時の規制番号を国内／国際ごとに設定する。

<操作例>

国際のエリア 5 に規制番号 9000 を登録します。



登録成功音が鳴り次のエリア番号へ

「初期値」

エリア(国内)	IP 回線規制番号
00	0170
01	0180
02	0570
03	0990
04	100
05	106
06	107
07	108
08	110
09	113
10	114
11	115
12	116
13	117
14	118
15	119
16	121
17	136
18	142
19	144
20	161
21	162
22	163
23	166
24	169
25	171
26	0120
27~99	未登録

エリア(国際)	IP 回線規制番号
00	88126
01	871
02	872
03	873
04	874
05~99	未登録

「キー操作とデータ」

10 キー	国内/国際
0	国内
1	国際

③ エリア番号  
エリア番号(国内 00~99、国際 00~99)を10キーで入力します。

④ 規制番号  
⑤ IP 規制番号(1~8桁)を10キーで入力します

「関連機能番号」

1453 : IP 回線発信 - SIP 回線 -

<注意事項>

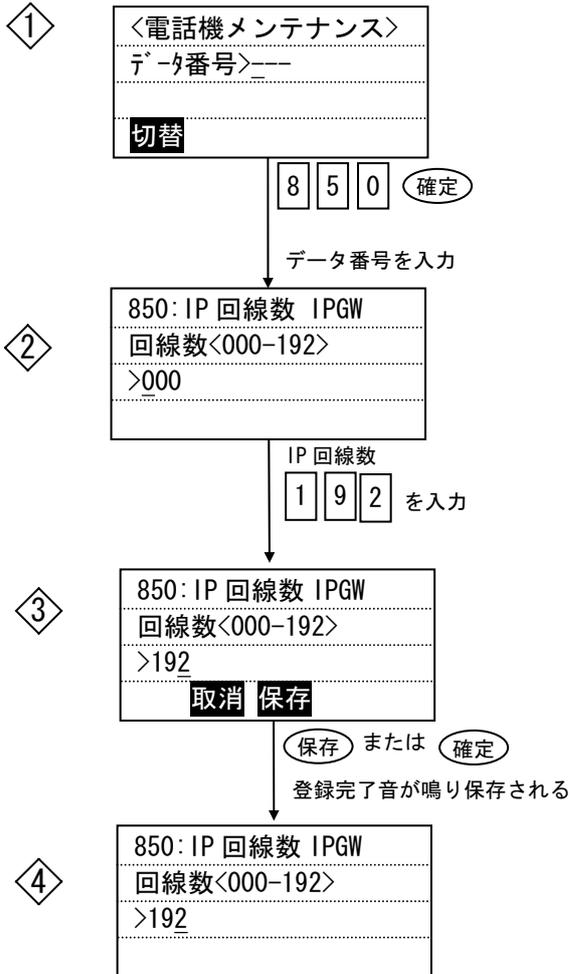
データ番号	IP 回線数<IPGW>	バージョン	V1.0~
850		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 回線の回線数を設定する。

<操作例>

IP 回線数を 192 に設定します。



「初期値」

10キ-	回線数
-	0(未設定)

「キー操作とデータ」

回線数

IP 回線数(0 : 未設定、1~192)を入力し設定します。

- 2
- 3
- 4

「関連機能番号」

1450: IP 回線接続 -SIP 回線- (IPGW 收容)

<注意事項>

回線数は最大192回線まで設定可能ですが、他の回線（アナログ回線、ISDN回線、アナログ専用線、IP回線が收容されている場合は他の回線数も含めて192回線までしか設定できません。

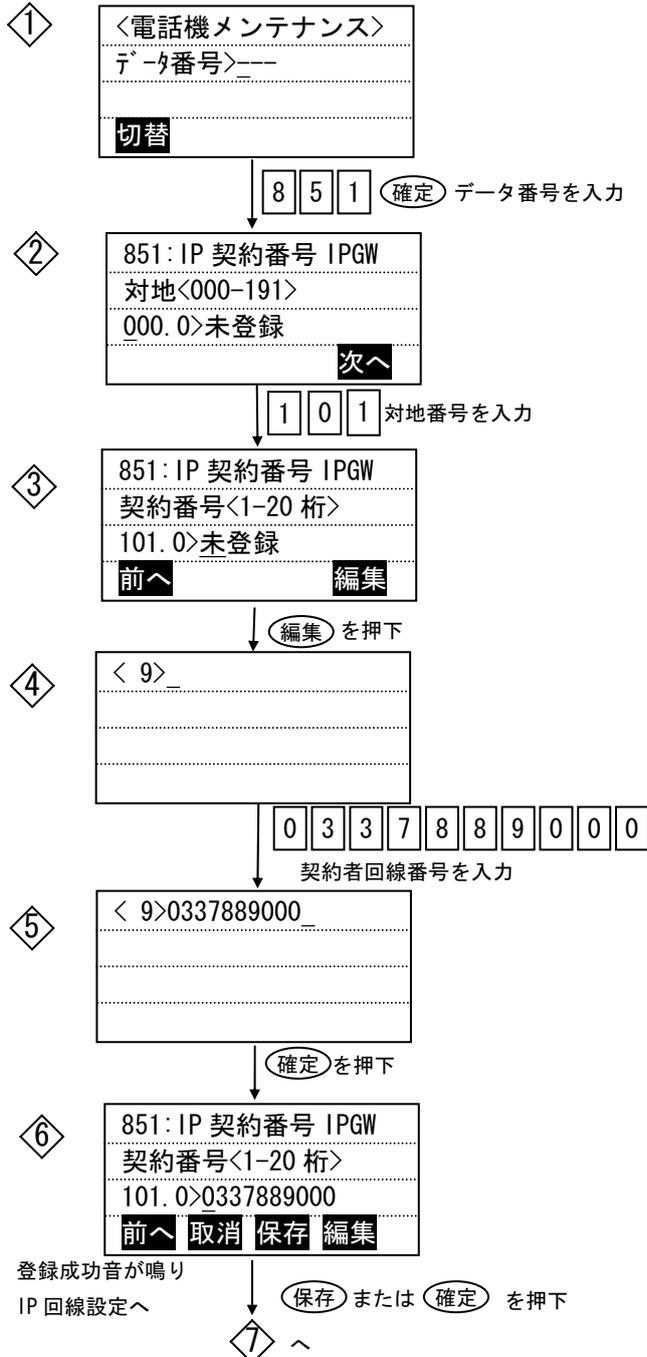
データ番号	IP 回線契約番号<IPGW> 1/2	バージョン	V1.0~
851		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 回線網との契約番号を登録する。

<操作例>

対地番号 101 の IP 回線契約番号に 03-3788-9000 を設定し、IP 回線 001 を回線有効に設定します。



「初期値」 全対地共通

対地	契約番号
全対地<V1.0>	未登録
全エリア<V1.1>	未登録

IP 回線	回線有効/無効
全回線	無効

「キー操作とデータ」

- ② 対地  
対地番号 (000~191) を 10 キーで設定します。  
<V1.0>  
エリア番号 (000~191) を 10 キーで設定します。<V1.1>
- ③ 契約番号  
IP 回線契約番号 (1~20 桁) を 10 キーで設定  
します。

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

⓪

⓫

⓬

⓭

⓮

⓯

⓰

⓱

⓲

⓳

⓴

⓵

⓶

⓷

⓸

⓹

⓺

⓻

⓼

⓽

⓾

⓿

Ⓚ

Ⓛ

Ⓜ

Ⓨ

Ⓩ

ⓐ

ⓑ

ⓒ

ⓓ

ⓔ

ⓕ

ⓖ

ⓗ

ⓘ

ⓙ

ⓚ

ⓛ

ⓜ

ⓝ

ⓞ

ⓟ

ⓠ

ⓡ

ⓢ

ⓣ

ⓤ

ⓥ

ⓦ

ⓧ

ⓨ

ⓩ

⓪

⓫

⓬

⓭

⓮

⓯

⓰

⓱

⓲

⓳

⓴

⓵

⓶

⓷

⓸

⓹

⓺

⓻

⓼

⓽

⓾

⓿

Ⓚ

Ⓛ

Ⓜ

Ⓨ

Ⓩ

ⓐ

ⓑ

ⓒ

ⓓ

ⓔ

ⓕ

ⓖ

ⓗ

ⓘ

ⓙ

ⓚ

ⓛ

ⓜ

ⓝ

ⓞ

ⓟ

ⓠ

ⓡ

ⓢ

ⓣ

ⓤ

ⓥ

ⓦ

ⓧ

ⓨ

ⓩ

⓪

⓫

⓬

⓭

⓮

⓯

⓰

⓱

⓲

⓳

⓴

⓵

⓶

⓷

⓸

⓹

⓺

⓻

⓼

⓽

⓾

⓿

Ⓚ

Ⓛ

Ⓜ

Ⓨ

Ⓩ

ⓐ

ⓑ

ⓒ

ⓓ

ⓔ

ⓕ

ⓖ

ⓗ

ⓘ

ⓙ

ⓚ

ⓛ

ⓜ

ⓝ

ⓞ

ⓟ

ⓠ

ⓡ

ⓢ

ⓣ

ⓤ

ⓥ

ⓦ

ⓧ

ⓨ

ⓩ

⓪

⓫

⓬

⓭

⓮

⓯

⓰

⓱

⓲

⓳

⓴

⓵

⓶

⓷

⓸

⓹

⓺

⓻

⓼

⓽

⓾

⓿

Ⓚ

Ⓛ

Ⓜ

Ⓨ

Ⓩ

ⓐ

ⓑ

ⓒ

ⓓ

ⓔ

ⓕ

ⓖ

ⓗ

ⓘ

ⓙ

ⓚ

ⓛ

ⓜ

ⓝ

ⓞ

ⓟ

ⓠ

ⓡ

ⓢ

ⓣ

ⓤ

ⓥ

ⓦ

ⓧ

ⓨ

ⓩ

⓪

⓫

⓬

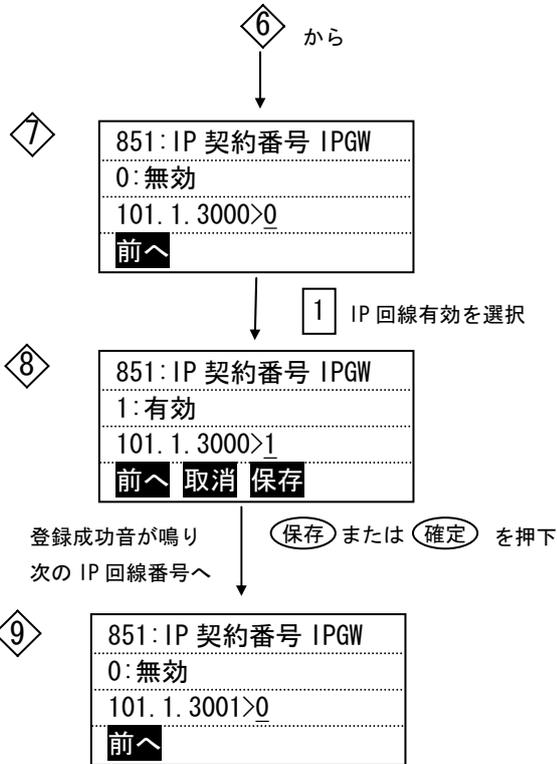
⓭

⓮

データ番号	IP 回線契約番号<IPGW> 2/2	バージョン	V1.0~
851		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 回線網との契約番号を登録する。



「キー操作とデータ」

IP 回線設定

SC 番号 (3000-3191) に対して回線有効/無効を設定します。

10 キー	データ内容
0	無効
1	有効

⑦

⑧

⑨

「関連機能番号」

<注意事項>

SC番号 (3000-3191) 選択時「\*」入力でも全回線に対して設定が可能です。

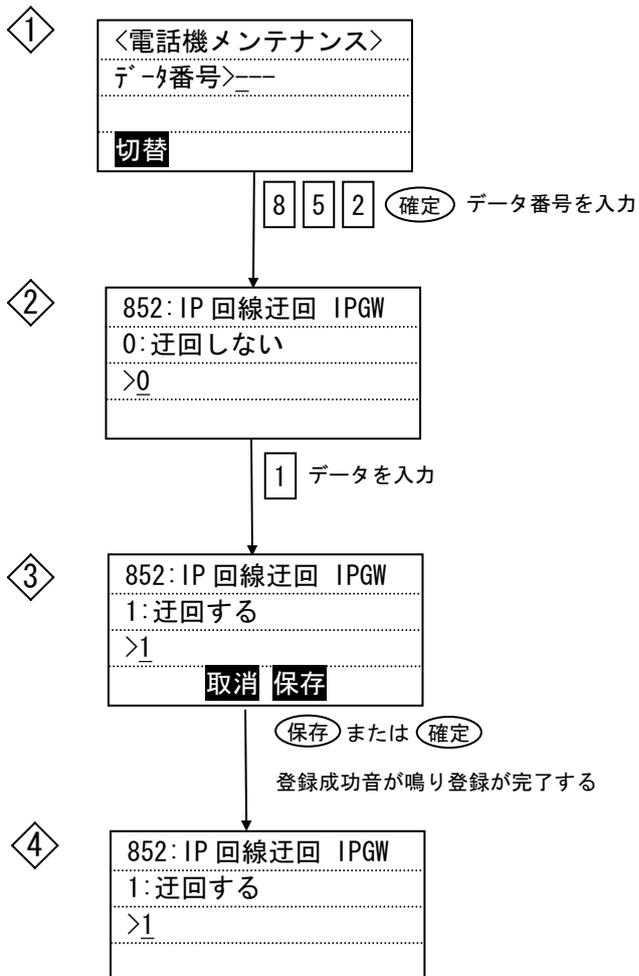
データ番号	IP 回線迂回指定<IPGW>	バージョン	V1.0~
852		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 回線で発信時、IP 回線網からの応答内容により、アナログ回線や ISDN 回線に迂回して発信するかを設定する。

<操作例>

IP 回線迂回指定を迂回するに設定します。



「初期値」

10 キー	迂回指定
-	迂回しない

「キー操作とデータ」

迂回指定

10 キー	データ内容
0	迂回しない
1	迂回する

②  
③  
④

「関連機能番号」

1453: IP 回線発信 -SIP 回線-  
1454: IP 回線迂回発信 -SIP 回線-

<注意事項>

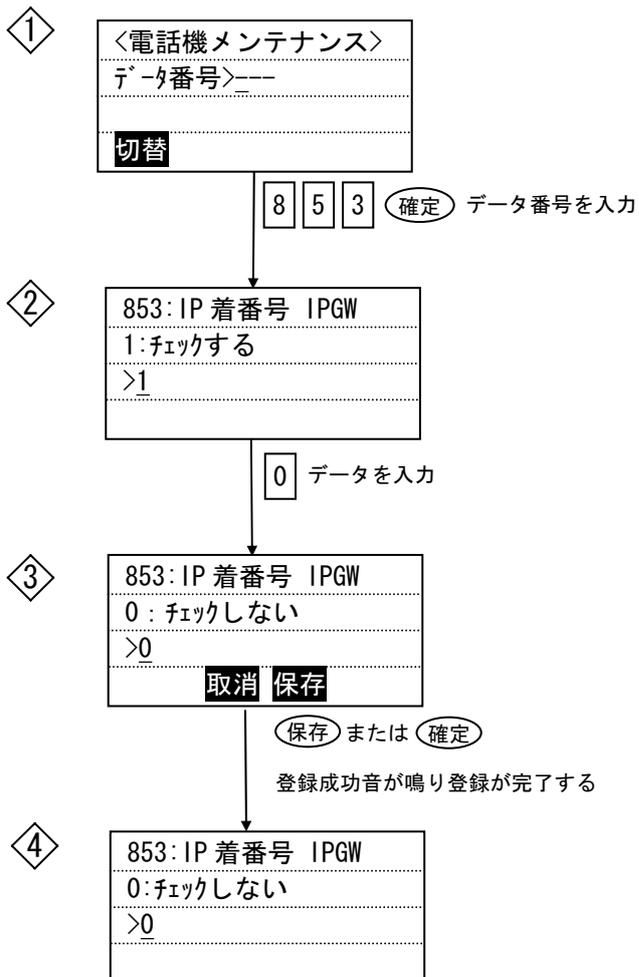
データ番号	IP 回線着番号チェック<IPGW>	バージョン	V1.0~
853		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

IP 回線着信時、着番号をチェックするかを設定する。チェックする場合は着番号と一致した契約番号の回線に着信し、チェックしない場合は全 IP 回線の中から着信回線を選択する。

<操作例>

IP 回線着番号チェックをチェックしないに設定します。



「初期値」

着番号チェック
チェックする

「キー操作とデータ」

10キー	データ内容
0	チェックしない
1	チェックする

②  
③  
④

「関連機能番号」

1450: IP回線接続—SIP回線— (IPGW900収容)  
1455: IP 回線着信 —SIP 回線—

<注意事項>

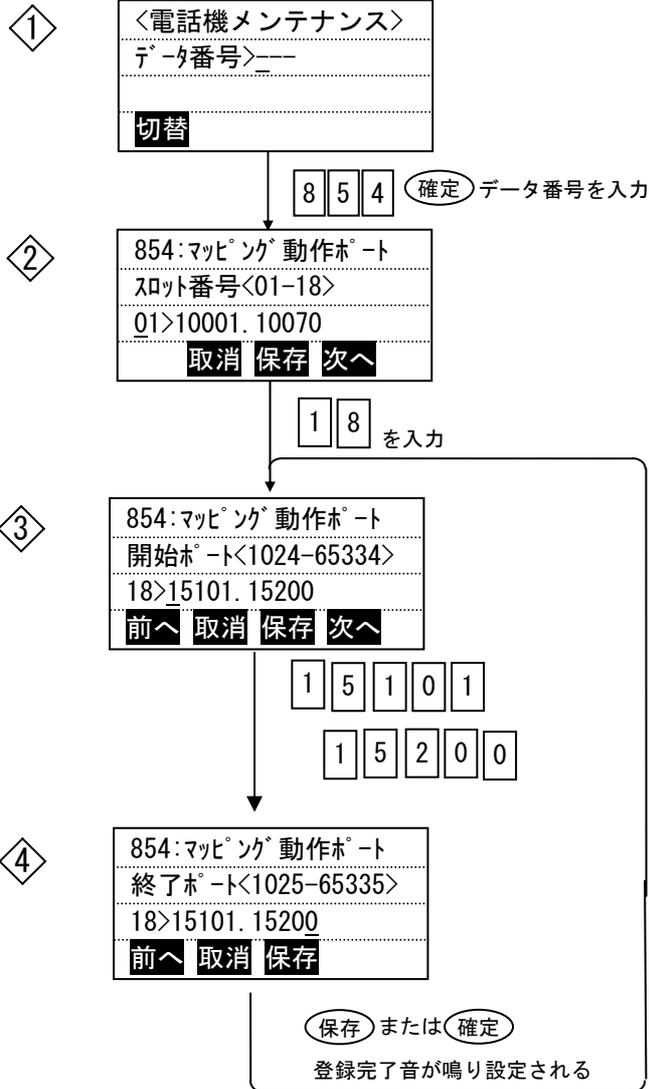
データ番号	ポートマッピング時動作ポート	バージョン	V1.3~
854		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

UPnP が一括ポートマッピングか External アドレス取得モード選択時に、使用するポート番号を設定する。

<操作例>

収容位置 SC : 18 のポート範囲を 15101~15200 に変更します。



「初期値」全内線共通

スロット	IP 回線開始終了ポート
1	11940~12009
2	12010~12079
18	13130~13199

「キー操作とデータ」

- ② スロット番号  
スロット番号を 01~18 で入力します。
- ③ 開始ポート番号  
ポート番号 (1024~65334) を入力します。
- ④ 終了ポート番号  
ポート番号 (1025~65335) を入力します。

「関連機能番号」

- 1400 VOIP 内線型収容
- 1450 IP 回線接続-SIP 回線-(IPGW 収容)

<注意事項>

- 注1. ポート番号が重複するような設定はできません。
- 注2. 電話機からの設定可能なデータ番号845、web設定から設定可能なIPKTローカルプロトコルポート番号、標準SIP端末サーバポート番号、標準SIP端末REGISTERサーバポート番号、自呼制御用ポート番号と重複する設定をされると動作を保障しかねますのでご了承ください。
- 注3. 本データを変更した場合ルーターの再起動が必要です。

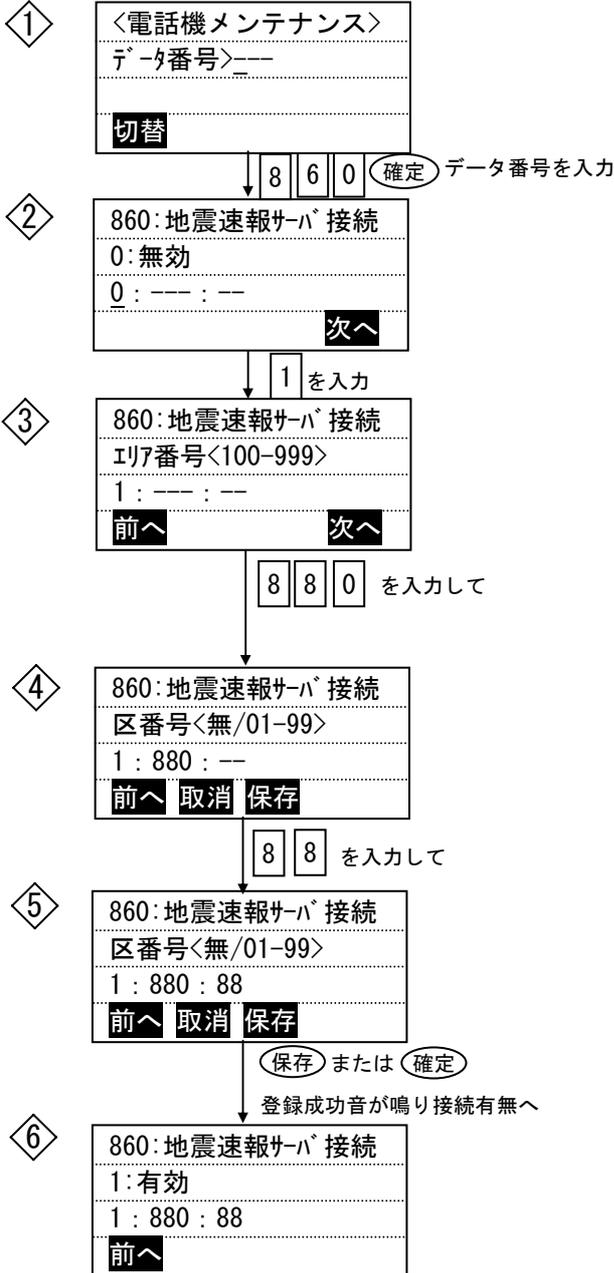
データ番号	地震速報サーバ接続	バージョン	V2.0~
860		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

地震速報サーバ接続有無を指定し、さらにサーバエリアコードを設定する。

<操作例>

地震速報サーバ接続有無を指定し、サーバエリアコードを設定する。



「初期値」

種別	データ内容
サーバ接続有無	無効
エリア番号	---
区番号	--

「キー操作とデータ」

② 地震速報サーバ接続

10キー	データ内容
0	無効
1	有効

③ エリア番号  
地震速報サーバエリア番号 (100~999) を 10 キーで入力します。

④ 区番号  
地震速報サーバ区番号 (01~99) を 10 キーで入力します。

「関連機能番号」

0627: 緊急地震速報

<注意事項>

- 注1. 接続有効のときのみエリア番号設定は可能。
- 注2. 区番号は未指定も可能である。
- 注3. エリアコードについては別紙「緊急地震速報エリアコード一覧」を参照。

## 別紙 緊急地震速報のエリアコード一覧

### 【エリアコード一覧】

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
北海道	石狩支庁北部	石狩市、石狩郡〔当別町、新篠津村〕	100	
	石狩支庁中部	札幌市、江別市	101	
	石狩支庁南部	千歳市、恵庭市、北広島市	102	
	渡島支庁北部	二世郡〔八雲町〕、山越郡〔長万部町〕	105	
	渡島支庁東部	函館市、北斗市、亀田郡〔七飯町〕、茅部郡〔鹿部町、森〕	106	
	渡島支庁西部	松前郡〔松前町、福島町〕、上磯郡〔知内町、木古内町〕	107	
	檜山支庁	檜山郡〔江差町、上ノ国町、厚沢部町〕、爾志郡〔乙部町〕、瀬棚郡〔今金町〕、久遠郡〔せたな町〕	110	
	後志支庁北部	小樽市、積丹郡〔積丹町〕、古平郡〔古平町〕、余市郡〔仁木町、余市町、赤井川村〕	115	
	後志支庁東部	虻田郡の一部〔ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町〕	116	
	後志支庁西部	島牧郡〔島牧村〕、寿都郡〔寿都町、黒松内町〕、磯谷郡〔蘭越町〕、岩内郡〔共和町、岩内町〕、古宇郡〔泊村、神〕	117	
	空知支庁北部	深川市、雨竜郡の一部〔妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町、幌加内町〕	120	
	空知支庁中部	芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、空知郡の一部〔奈井江町、上砂川町〕、樺戸郡の一部〔浦臼町、新十津川町〕、雨竜郡の一部〔雨竜町〕	121	
	空知支庁南部	夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、空知郡の一部〔南幌町〕、夕張郡〔由仁町、長沼町、栗山町〕、樺戸郡の一部〔月形町〕	122	
	上川支庁北部	士別市、名寄市、上川郡の一部〔和寒町、剣淵町、下川町〕、中川郡の一部〔美深町、音威子府村、中川町〕	125	
	上川支庁中部	旭川市、上川郡の一部〔鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町〕	126	
	上川支庁南部	富良野市、空知郡の一部〔上富良野町、中富良野町、南富良野町〕、勇払郡の一部〔占冠村〕	127	
	留萌支庁中北部	苫前郡〔苫前町、羽幌町、初山別村〕、天塩郡の一部〔遠別町、天塩町、幌延町〕	130	
	留萌支庁南部	留萌市、増毛郡〔増毛町〕、留萌郡〔小平町〕	131	
	宗谷支庁北部	稚内市、宗谷郡〔猿払村〕、天塩郡の一部〔豊富町〕	135	
	宗谷支庁南部	枝幸郡〔浜頓別町、中頓別町、枝幸町〕	136	
	網走支庁網走	網走市、網走郡〔美幌町、津別町、大空町〕、斜里郡〔斜里町、清里町、小清水町〕	140	
	網走支庁北見	北見市、常呂郡〔訓子府町、置戸町、佐呂間町〕	141	
	網走支庁紋別	紋別市、紋別郡〔遠軽町、上湧別町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町〕	142	
	胆振支庁西部	伊達市、虻田郡の一部〔豊浦町、洞爺湖町〕、有珠郡〔壮瞥町〕	145	
	胆振支庁中東部	室蘭市、苫小牧市、登別市、白老郡〔白老町〕、勇払郡の一部〔安平町、厚真町、むかわ町〕	146	
	日高支庁西部	沙流郡〔日高町、平取町〕	150	
	日高支庁中部	新冠郡〔新冠町〕、日高郡〔新ひだか町〕	151	
	日高支庁東部	浦河郡〔浦河町〕、様似郡〔様似町〕、幌泉郡〔えりも町〕	152	
	十勝支庁北部	河東郡の一部〔上士幌町、鹿追町〕、上川郡の一部〔新得町〕、足寄郡〔足寄町、陸別町〕	155	
	十勝支庁中部	帯広市、河東郡の一部〔音更町、士幌町〕、上川郡の一部〔清水町〕、河西郡の一部〔芽室町〕、中川郡の一部〔幕別町、池田町、豊頃町、本別町〕、十勝郡〔浦幌町〕	156	
	十勝支庁南部	河西郡の一部〔中札内村、更別村〕、広尾郡〔大樹町、広尾町〕	157	
	釧路支庁北部	川上郡の一部〔弟子屈町〕	160	
	釧路支庁中南部	釧路市、釧路郡〔釧路町〕、厚岸郡〔厚岸町、浜中町〕、川上郡の一部〔標茶町〕、阿寒郡〔鶴居村〕、白糠郡〔白糠〕	161	
根室支庁北部	標津郡〔中標津町、標津町〕、目梨郡〔羅臼町〕	165		
根室支庁中部	野付郡〔別海町〕	166		
根室支庁南部	根室市	167		
北海道奥尻島	奥尻郡〔奥尻町〕	119		
北海道利尻礼文	礼文郡〔礼文町〕、利尻郡〔利尻町、利尻富士町〕	139		

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード
青森県	青森県津軽北部	青森市、五所川原市、つがる市、東津軽郡[平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町]、北津軽郡[板柳町、鶴田町、中泊町]	200
	青森県津軽南部	弘前市、黒石市、平川市、西津軽郡[鱒ヶ沢町、深浦町]、中津軽郡[西目屋村]、南津軽郡[藤崎町、大鰐町]	201
	青森県三八上北	八戸市、十和田市、三沢市、上北郡[野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町]、三戸郡[三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村]	202
	青森県下北	むつ市、下北郡[大間町、東通村、風間浦村、佐井村]	203
岩手県	岩手県沿岸北部	宮古市、久慈市、下閉伊郡[山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、川井村]、九戸郡の一部(洋野町、野田村)	210
	岩手県沿岸南部	大船渡市、陸前高田市、釜石市、気仙郡[住田町]、上閉伊郡[大槌町]	211
	岩手県内陸北部	盛岡市、二戸市、八幡平市、岩手郡[雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村]、紫波郡[紫波町、矢巾町]、九戸郡の一部(軽米町、九戸村)、二戸郡[一戸町]	212
	岩手県内陸南部	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、和賀郡[西和賀町]、胆沢郡[金ヶ崎町]、西磐井郡[平泉町]、東磐井郡[藤沢町]	213
宮城県	宮城県北部	気仙沼市、登米市、栗原市、大崎市、加美郡[色麻町、加美町]、遠田郡[涌谷町、美里町]、本吉郡[本吉町、南三	220
	宮城県中部	仙台市、石巻市、塩竈市、多賀城市、東松島市、宮城郡[松島町、七ヶ浜町、利府町]、黒川郡[大和町、大郷町、富谷町、大衡村]、牡鹿郡[女川町]	222
	宮城県南部	白石市、名取市、角田市、岩沼市、刈田郡[蔵王町、七ヶ宿町]、柴田郡[大河原町、村田町、柴田町、川崎町]、伊具郡[丸森町]、亶理郡[亶理町、山元町]	221
秋田県	秋田県沿岸北部	能代市、男鹿市、潟上市、山本郡[藤里町、三種町、八峰町]、南秋田郡[五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村]	230
	秋田県沿岸南部	秋田市、由利本荘市、にかほ市	231
	秋田県内陸北部	大館市、鹿角市、北秋田市、鹿角郡[小坂町]、北秋田郡[上小阿仁村]	232
	秋田県内陸南部	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、仙北郡[美郷町]、雄勝郡[羽後町、東成瀬村]	233
山形県	山形県庄内	鶴岡市、酒田市、東田川郡[三川町、庄内町]、飽海郡[遊佐町]	240
	山形県最上	新庄市、最上郡[金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村]	241
	山形県村山	山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、東村山郡[山辺町、中山町]、西村山郡[河北町、西川町、朝日町、大江町]、北村山郡[大石田町]	242
	山形県置賜	米沢市、長井市、南陽市、東置賜郡[高畠町、川西町]、西置賜郡[小国町、白鷹町、飯豊町]	243
福島県	福島県中通り	福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、伊達郡[桑折町、国見町、川俣町]、安達郡[大玉村]、岩瀬郡[鏡石町、天栄村]、西白河郡[西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町]、東白川郡[棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村]、石川郡[石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町]、田村郡[三春町、小野町]	250
	福島県浜通り	いわき市、相馬市、南相馬市、双葉郡[広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村]、相馬郡[新地町、飯舘村]	251
	福島県会津	会津若松市、喜多方市、南会津郡[下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町]、耶麻郡[北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町]、河沼郡[会津坂下町、湯川村、柳津町]、大沼郡[三島町、金山町、昭和村、会津美里町]	252

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード
茨城県	茨城県北部	水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、東茨城郡[茨城町、大洗町、城里町]、那珂郡[東海村]、久慈郡[大子町]	300
	茨城県南部	土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、稲敷郡[美浦村、阿見町、河内町]、結城郡[八千代町]、猿島郡[五霞町、境町]、北相馬郡[利根町]	301
栃木県	栃木県北部	日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、塩谷郡の一部(塩谷町)、那須郡の一部(那須町)	310
	栃木県南部	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、さくら市、那須烏山市、下野市、河内郡[上三川町]、上都賀郡[西方町]、芳賀郡[二宮町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町]、下都賀郡[壬生町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町]、塩谷郡の一部(高根沢町)、那須郡の一部(那珂川町)	311
群馬県	群馬県北部	沼田市、吾妻郡[中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、六合村、高山村、東吾妻町]、利根郡[片品村、川場村、昭和村、みなかみ町]	320
	群馬県南部	前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、勢多郡[富士見村]、北群馬郡[榛東村、吉岡町]、多野郡[吉井町、上野村、神流町]、甘楽郡[下仁田町、南牧村、甘楽町]、佐波郡[玉村町]、邑楽郡[板倉町、明和町、千代田町、大泉町、長瀬町]	321
埼玉県	埼玉県北部	熊谷市、行田市、加須市、本庄市、東松山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、久喜市、比企郡の一部(滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、吉見町、鳩山町)、秩父郡の一部(東秩父村)、児玉郡[美里町、神川町、上里町]、大里郡[寄居町]、北埼玉郡[騎西町、北川辺町、大利根町]、南埼玉郡の一部(菫浦町)、北葛飾郡の一部(栗橋町、鷺宮)	330
	埼玉県南部	さいたま市、川越市、川口市、所沢市、飯能市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、北足立郡[伊奈町]、入間郡[三芳町、毛呂山町、越生町]、比企郡の一部(川島町)、南埼玉郡の一部(宮代町、白岡町)、北葛飾郡の一部(杉戸町、松伏町)	331
	埼玉県秩父	秩父市、秩父郡の一部(横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町)	332
千葉県	千葉県北東部	銚子市、茂原市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、香取郡[神崎町、多古町、東庄町]、山武郡[大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町]、長生郡[一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町]	340
	千葉県北西部	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、成田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡[酒々井町、印旛村、本埜村、栄町]	341
	千葉県南部	館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、いすみ市、夷隅郡[大多喜町、御宿町]、安房郡[鋸南町]	342

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
東京都	東京都23区	千代田区	350	1
		中央区	350	2
		港区	350	3
		新宿区	350	4
		文京区	350	5
		台東区	350	6
		墨田区	350	7
		江東区	350	8
		品川区	350	9
		目黒区	350	10
		大田区	350	11
		世田谷区	350	12
		渋谷区	350	13
		中野区	350	14
		杉並区	350	15
		豊島区	350	16
		北区	350	17
		荒川区	350	18
		板橋区	350	19
		練馬区	350	20
		足立区	350	21
		葛飾区	350	22
		江戸川区	350	23
東京都多摩東部	八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、西多摩郡の一部(瑞穂町)	351		
東京都多摩西部	青梅市、あきる野市、西多摩郡の一部(日の出町、檜原村、奥多摩町)	352		
伊豆大島	大島町	355		
新島	利島村、新島村	356		
神津島	神津島村	354		
三宅島	三宅村、御蔵島村	357		
八丈島	八丈町、青ヶ島村	358		
小笠原	小笠原村	359		
神奈川県	神奈川県東部	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡[葉山町]、高座郡[寒川町]、中郡[大磯町、二宮町]	360	
	神奈川県西部	小田原市、相模原市、秦野市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、足柄上郡[中井町、大井町、松田町、山北町、開成町]、足柄下郡[箱根町、真鶴町、湯河原町]、愛甲郡[愛川町、清川村]	361	
新潟県	新潟県上越	糸魚川市、妙高市、上越市	370	
	新潟県中越	長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、魚沼市、南魚沼市、南蒲原郡[田上町]、三島郡[出雲崎町]、北魚沼郡[川口町]、南魚沼郡[湯沢町]、中魚沼郡[津南町]、刈羽郡[刈羽村]	371	
	新潟県下越	新潟市、新発田市、村上市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、北蒲原郡[聖籠町]、西蒲原郡[弥彦村]、東蒲原郡[阿賀町]、岩船郡[関川村、粟島浦村]	372	
	新潟県佐渡	佐渡市	375	
富山県	富山県東部	富山市、魚津市、滑川市、黒部市、中新川郡[舟橋村、上市町、立山町]、下新川郡[入善町、朝日町]	380	
	富山県西部	高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市	381	
石川県	石川県能登	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、羽咋郡[志賀町、宝達志水町]、鹿島郡[中能登町]、鳳珠郡[穴水町、能登町]	390	
	石川県加賀	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、能美郡[川北町]、石川郡[野々市町]、河北郡[津幡町、内灘町]	391	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード
福井県	福井県嶺北	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、吉田郡[永平寺町]、今立郡[池田町]、南条郡[南越前町]、丹生郡[越前町]	400
	福井県嶺南	敦賀市、小浜市、三方郡[美浜町]、大飯郡[高浜町、おおい町]、三方上中郡[若狭町]	401
山梨県	山梨県東部・富士五湖	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、南都留郡[道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町]、北都留郡[小菅村、丹波山村]	410
	山梨県中・西部	甲府市、山梨市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、甲州市、中央市、西八代郡[市川三郷町]、南巨摩郡[増穂町、皷沢町、早川町、身延町、南部町]、中巨摩郡[昭和町]	411
長野県	長野県北部	長野市、須坂市、中野市、大町市、飯山市、千曲市、北安曇郡[池田町、松川村、白馬村、小谷村]、埴科郡[坂城町]、上高井郡[小布施町、高山村]、下高井郡[山ノ内町、木島平村、野沢温泉村]、上水内郡[信州新町、信濃町、小川村、中条村、飯綱町]、下水内郡[栄村]	420
	長野県中部	松本市、上田市、岡谷市、諏訪市、小諸市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、南佐久郡[小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町]、北佐久郡[軽井沢町、御代田町、立科町]、小県郡[青木村、長和町]、諏訪郡[下諏訪町、富士見町、原村]、東筑摩郡[麻績村、生坂村、波田町、山形村、朝日村、筑北村]	421
	長野県南部	飯田市、伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡[飯野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村]、下伊那郡[松川町、高森町、阿南町、清内路村、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村]、木曾郡[上松町、南木曾町、木祖村、王滝村、土桑村、木曽町]	422
岐阜県	岐阜県飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、大野郡[白川村]	430
	岐阜県美濃東部	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、加茂郡[坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村]、可児郡[御嵩町]	431
	岐阜県美濃中西部	岐阜市、大垣市、関市、美濃市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、郡上市、海津市、羽島郡[岐南町、笠松町]、養老郡[養老町]、不破郡[垂井町、関ヶ原町]、安八郡[神戸町、輪之内町、安八町]、揖斐郡[揖斐川町、大野町、池田町]、本巣郡[北方町]	432
静岡県	静岡県伊豆	熱海市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、賀茂郡[東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町]、田方郡[函南町]	440
	静岡県東部	沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、駿東郡[清水町、長泉町、小山町]、富士郡[芝川町]	441
	静岡県中部	静岡市、島田市、焼津市、藤枝市[岡部町]、牧之原市、榛原郡[吉田町、川根本町]	442
	静岡県西部	浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、周智郡[森町]、浜名郡[新居町]	443
愛知県	愛知県東部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡[設楽町、東栄町、豊根村]、宝飯郡[小坂井町]	450
	愛知県西部	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、愛知郡[東郷町、長久手町]、西春日井郡[豊山町、春日町]、丹羽郡[大口町、扶桑町]、海部郡[七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛鳥村]、知多郡[阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町]、幡豆郡[一色町、吉良町、幡豆町]、額田郡[幸田町]、西加茂郡[三好町]	451
三重県	三重県北部	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡[木曾岬町]、員弁郡[東員町]、三重郡[菟野町、朝日町、川越町]	460
	三重県中部	津市、松阪市、名張市、伊賀市、多気郡の一部(多気町、明和町)	461
	三重県南部	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、多気郡の一部(大台町)、度会郡[玉城町、度会町、大紀町]、南伊勢町、北牟婁郡[紀北町]、南牟婁郡[御浜町、紀宝町]	462

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
滋賀県	滋賀県北部	彦根市、長浜市、高島市、米原市、愛知郡[愛荘町]、犬上郡[豊郷町、甲良町、多賀町]、東浅井郡[虎姫町、湖北町]、伊香郡[高月町、木之本町、余呉町、西浅井町]	500	
	滋賀県南部	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、守賢町、野洲市、湖南市、東近江市、蒲生郡[安土町、日野町、竜王町]	501	
京都府	京都府北部	福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝郡[伊根町、与謝野町]	510	
	京都府南部	京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、乙訓郡[大山崎町]、久世郡[久御山町]、綴喜郡[井手町、宇治田原町]、相楽郡[笠置町、和束町、精華町、南山城村]、船井郡[高尾波町]	511	
大阪府	大阪府北部	大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、寝屋川市、大東市、箕面市、柏原市、門真市、摂津市、東大阪市、四条畷市、交野市、三島郡[島本町]、豊能郡[豊能町、能勢町]	520	
	大阪府南部	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、泉北郡[忠岡町]、泉南郡[熊取町、田尻町、岬町]、南河内郡[太子町、河南町、千早赤阪村]	521	
兵庫県	兵庫県北部	豊岡市、養父市、朝来市、美方郡[香美町、新温泉町]	530	
	兵庫県南東部	神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、丹波市、加東市、川辺郡[猪名川町]、多可郡[多可町]、加古郡[稲美町、播磨町]	531	
	兵庫県南西部	姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、神崎郡[市川町、福崎町、神河町]、揖保郡[太子町]、赤穂郡[上郡町]、佐用郡[佐用町]	532	
	兵庫県淡路島	洲本市、南あわじ市、淡路市	535	
奈良県	奈良県	奈良県全域	540	
和歌山県	和歌山県北部	和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、紀の川市、岩出市、海草郡[紀美野町]、伊都郡[かつらぎ町、九度山町、高野町]、有田郡[湯浅町、広川町、有田川町]、日高郡[美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高田辺市、新宮市、西牟婁郡[白浜町、上富田町、すさみ町]、東牟婁郡[那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町]	550	
	和歌山県南部		551	
鳥取県	鳥取県東部	鳥取市、岩美郡[岩美町]、八頭郡[若桜町、智頭町、八頭町]	560	
	鳥取県中部	倉吉市、東伯郡[三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町]	562	
	鳥取県西部	米子市、境港市、西伯郡[日吉津村、大山町、南部町、伯耆町]、日野郡[日南町、日野町、江府町]	563	
島根県	島根県東部	松江市、出雲市、安来市、雲南市、八束郡[東出雲町]、仁多郡[奥出雲町]、飯石郡[飯南町]、簸川郡[斐川町]	570	
	島根県西部	浜田市、益田市、大田市、江津市、邑智郡[川本町、美郷町、邑南町]、鹿足郡[津和野町、吉賀町]	571	
	島根県隠岐	隠岐郡[海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町]	575	
岡山県	岡山県北部	津山市、新見市、真庭市、美作市、真庭郡[新庄村]、苫田郡[鏡野町]、勝田郡[勝央町、奈義町]、英田郡[西粟倉村]、久米郡[久米南町、美咲町]	580	
	岡山県南部	岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、和気郡[和気町]、都窪郡[早島町]、浅口郡[里庄町]、小田郡[矢掛町]、加賀郡[吉備中央町]	581	
広島県	広島県北部	三次市、庄原市、安芸高田市、山県郡[安芸太田町、北広島町]	590	
	広島県南東部	三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅郡[世羅町]、神石郡[神石高原町]	591	
	広島県南西部	広島市、呉市、竹原市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、安芸郡[府中町、海田町、熊野町、坂町]、豊田郡[大崎上島町]	592	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード
山口県	山口県北部	萩市、長門市、美祢市、阿武郡[阿武町、阿東町]	700
	山口県東部	山口市、防府市、下松市、岩国市、光市、柳井市、周南市、大島郡[周防大島町]、玖珂郡[和木町]、熊毛郡[上関町、田布施町、平生町]	701
	山口県西部	下関市、宇部市、山陽小野田市	702
徳島県	徳島県北部	徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、名東郡[佐那河内村]、名西郡[石井町、神山町]、板野郡[松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町]、美馬郡[つるぎ町]、三好郡[東みよし町]	600
	徳島県南部	阿南市、勝浦郡[勝浦町、上勝町]、那賀郡[那賀町]、海部郡[牟岐町、美波町、海陽町]	601
香川県	香川県東部	高松市、さぬき市、東かがわ市、小豆郡[土庄町、小豆島町]、木田郡[三木町]、香川郡[直島町]	610
	香川県西部	丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、三豊市、綾歌郡[宇多津町、綾川町]、仲多度郡[琴平町、多度津町、まんのう町]	611
愛媛県	愛媛県東予	今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、越智郡[上島]	620
	愛媛県中予	松山市、伊予市、東温市、上浮穴郡[久万高原町]、伊予郡[松前町、砥部町]	621
	愛媛県南予	宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、喜多郡[内子町]、西宇和郡[伊方町]、北宇和郡[松野町、鬼北町]、南宇和郡[愛南町]	622
高知県	高知県東部	室戸市、安芸市、安芸郡[東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村]	630
	高知県中部	高知市、南国市、土佐市、須崎市、香南市、香美市、長岡郡[本山町、大豊町]、土佐郡[土佐町、大川村]、吾川郡[いの町、仁淀川町]、高岡郡の一部(佐川町、越知町、日高村、津野町)	631
	高知県西部	宿毛市、土佐清水市、四万十市、高岡郡の一部(甲土庄町、四万十町、禰原町)、幡多郡[大月町、三原村、黒潮町]	632
福岡県	福岡県福岡	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、前原市、古賀市、福津市、筑紫郡[那珂川町]、糟屋郡[宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町]、糸島郡[二丈町、志摩町]	710
	福岡県北九州	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、遠賀郡[芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町]、京都郡[苅田町、みやこ町]、築上郡[吉富町、上毛町、築上町]	711
	福岡県筑豊	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、鞍手郡[小竹町、鞍手町]、嘉穂郡[桂川町]、田川郡[香春町、添田町]、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町]	712
	福岡県筑後	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、朝倉市、みやま市、朝倉郡[筑前町、東峰村]、三井郡[大刀洗町]、三潞郡[大木町]、八女郡[黒木町、立花町、広川町、矢部村、星野村]	713
佐賀県	佐賀県北部	唐津市、伊万里市、東松浦郡[玄海町]、西松浦郡[有田]	720
	佐賀県南部	佐賀市、鳥栖市、多久市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、神埼郡[吉野ヶ里町]、三養基郡[基山町、上峰町、みやき町]、杵島郡[大町町、江北町、白石町]、藤津郡[太良町]	721
長崎県	長崎県北部	佐世保市の一部(宇久町を除く)、平戸市、松浦市、東彼杵郡[東彼杵町、川棚町、波佐見町]、北松浦郡の一部(江迎町、鹿町町、佐々町)	730
	長崎県南西部	長崎市、諫早市、大村市、西海市、西彼杵郡[長与町、時津町]	731
	長崎県島原半島	島原市、雲仙市、南島原市	732
	長崎県対馬	対馬市	735
	長崎県壱岐	壱岐市	736
長崎県五島	五島市、佐世保市の一部(宇久町に限る)、北松浦郡の一部(小値賀町)、南松浦郡[新上五島町]	737	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード
熊本県	熊本県阿蘇	阿蘇市、阿蘇郡の一部(南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村)	740
	熊本県熊本	熊本市、八代市、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、下益城郡[城南町、美里町]、玉名郡[玉東町、南関町、長洲町、和水町]、鹿本郡[植木町]、菊池郡[大津町、菊陽町]、阿蘇郡の一部(西原村)、上益城郡[御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町]、八代郡[氷川町]	741
	熊本県球磨	人吉市、球磨郡[錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町]	742
	熊本県天草・芦北	水俣市、上天草市、天草市、葦北郡[芦北町、津奈木町]、天草郡[苓北町]	743
大分県	大分県北部	中津市、豊後高田市、宇佐市、国東市、東国東郡[姫島]	750
	大分県中部	大分市、別府市、臼杵市、津久見市、杵築市、由布市、速見郡[日出町]	751
	大分県南部	佐伯市、豊後大野市	752
	大分県西部	日田市、竹田市、玖珠郡[九重町、玖珠町]	753
宮崎県	宮崎県北部平野部	延岡市、日向市、西都市、児湯郡の一部(高鍋町、新富町、川南町、都農町、木城町)、東臼杵郡の一部(門川)	760
	宮崎県北部山沿い	児湯郡の一部(西米良村)、東臼杵郡の一部(美郷町、諸塚村、椎葉村)、西臼杵郡[高千穂町、日之影町、五ヶ瀬]	761
	宮崎県南部平野部	宮崎市、日南市、串間市、宮崎郡[清武町]、南那珂郡[北郷町、南郷町]、東諸県郡[国富町、綾町]	762
	宮崎県南部山沿い	都城市、小林市、えびの市、北諸県郡[三股町]、西諸県郡[高原町、野尻町]	763
鹿児島県	鹿児島県薩摩	鹿児島市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、薩摩川内市の一部(鹿島町、上甑町、里町及び下甑町を除く。)、日置市、いちき串木野市、南さつま市、霧島市、南九州市、伊佐市、薩摩郡[さつま町]、出水郡[長島町]、姶良郡[加治木町、姶良町、蒲生町、湧水町]	770
	鹿児島県大隅	鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、曾於郡[大崎町]、肝属郡[東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町]	771
	鹿児島県十島村	鹿児島郡の一部(十島村)	774
	鹿児島県甑島	薩摩川内市の一部(鹿島町、上甑町、里町及び下甑町に限る。)	775
	鹿児島県種子島	西之表市、鹿児島郡の一部(三島村)、熊毛郡の一部(中種子町、南種子町)	776
	鹿児島県屋久島	熊毛郡の一部(屋久島町)	777
	鹿児島県奄美北部	奄美市、大島郡の一部(大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町)	778
	鹿児島県奄美南部	大島郡の一部(徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町)	779
沖縄県	沖縄県本島北部	名護市、国頭郡[国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村]、島尻郡の一部(粟国村、伊平屋村、伊是名村)	800
	沖縄県本島中南部	那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、南城市、中頭郡[読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町]、島尻郡の一部(八重瀬町、与那原町、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、渡名喜村)	801
	沖縄県久米島	島尻郡の一部(久米島町)	802
	沖縄県大東島	島尻郡の一部(南大東村、北大東村)	803
	沖縄県宮古島	宮古島市、宮古郡[多良間村]	804
	沖縄県石垣島	石垣市	805
	沖縄県与那国島	八重山郡の一部(与那国町)	806
	沖縄県西表島	八重山郡の一部(竹富町)	807

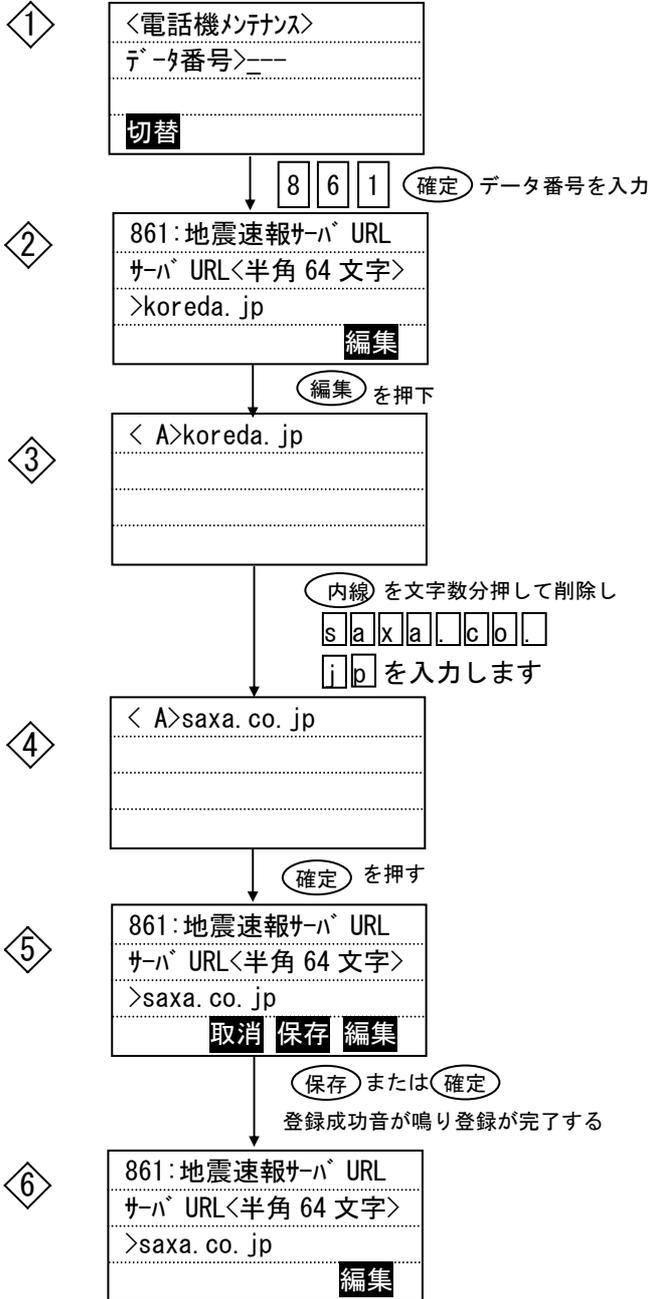
データ番号	地震速報サーバ URL	バージョン	V2.0~
861		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

地震速報サーバの URL を登録します。

<操作例>

地震速報サーバ URL に「saxa.co.jp」を設定します。



「初期値」

地震速報サーバ URL
koreda.jp

「キー操作とデータ」

地震速報サーバ URL 設定

地震速報サーバ URL を 10 キーで入力します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0627 : 緊急地震速報

<注意事項>

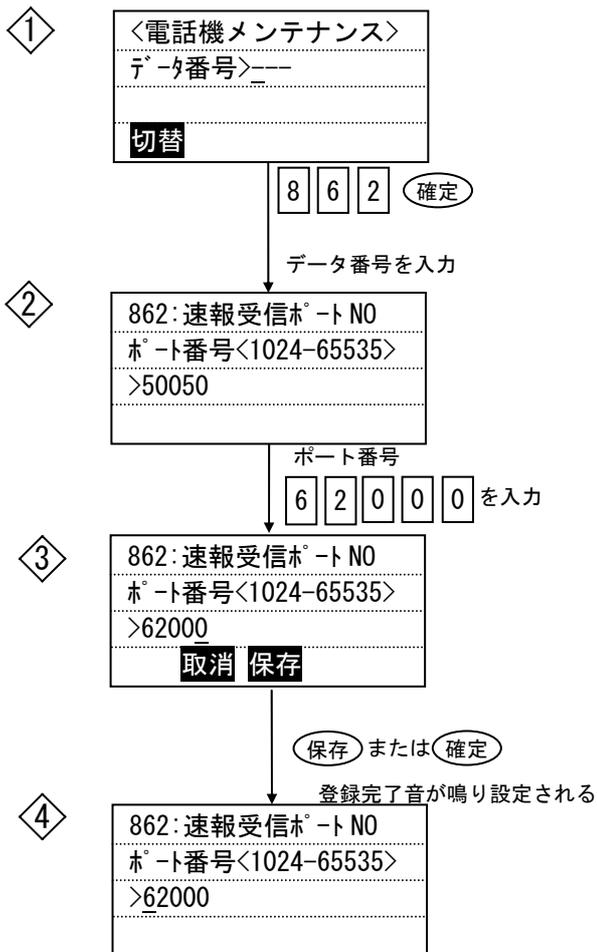
データ番号	地震速報受信ポート番号	バージョン	V2.0~
862		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

地震速報受信ポート番号を登録する。

<操作例>

速報受信ポート番号に「62000」を設定します



「初期値」

ポート番号
60050

「キー操作とデータ」

速報受信ポート番号

速報受信ポート番号(1024~65535)を10キーで入力する。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

0627:緊急地震速報

<注意事項>

バージョン	V2.0~
データ更新条件	システム

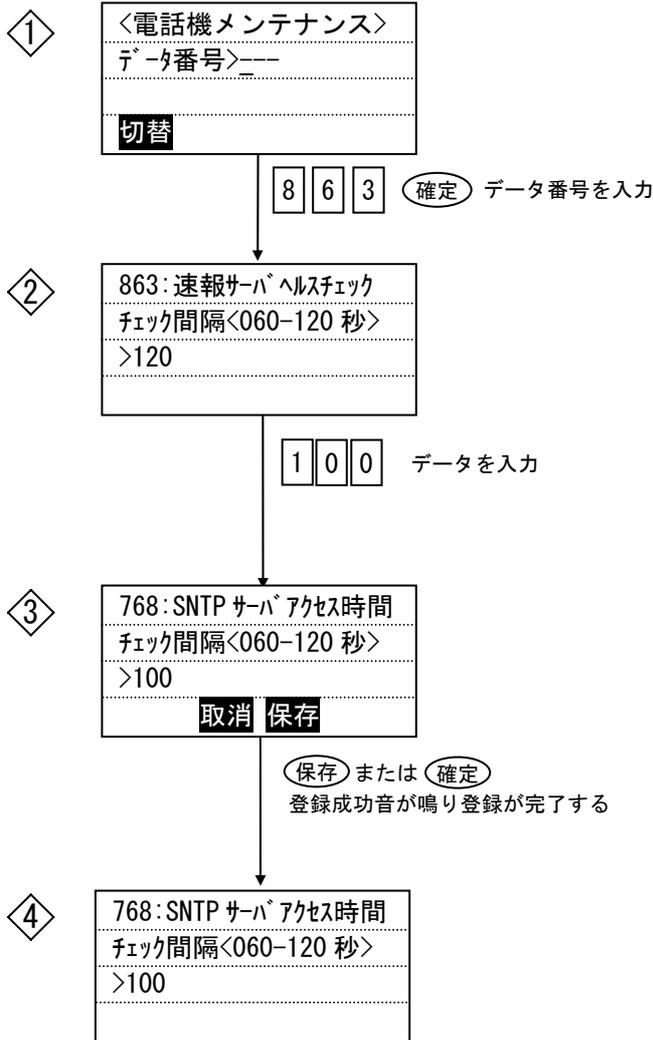
データ番号	地震速報サーバヘルスチェック間隔
863	

<データ設定概要>

地震速報サーバとのヘルスチェック間隔を指定する。

<操作例>

速報サーバヘルスチェック間隔を 100 秒に設定します。



「初期値」

10 キー	速報サーバヘルスチェック間隔
120	120

「キー操作とデータ」

- ② 速報サーバヘルスチェック間隔  
速報サーバヘルスチェック間隔 (60~120 秒)  
を 10 キーで指定します。
- ③

「関連機能番号」

0627 : 緊急地震速報

<注意事項>

このページは白紙になります。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

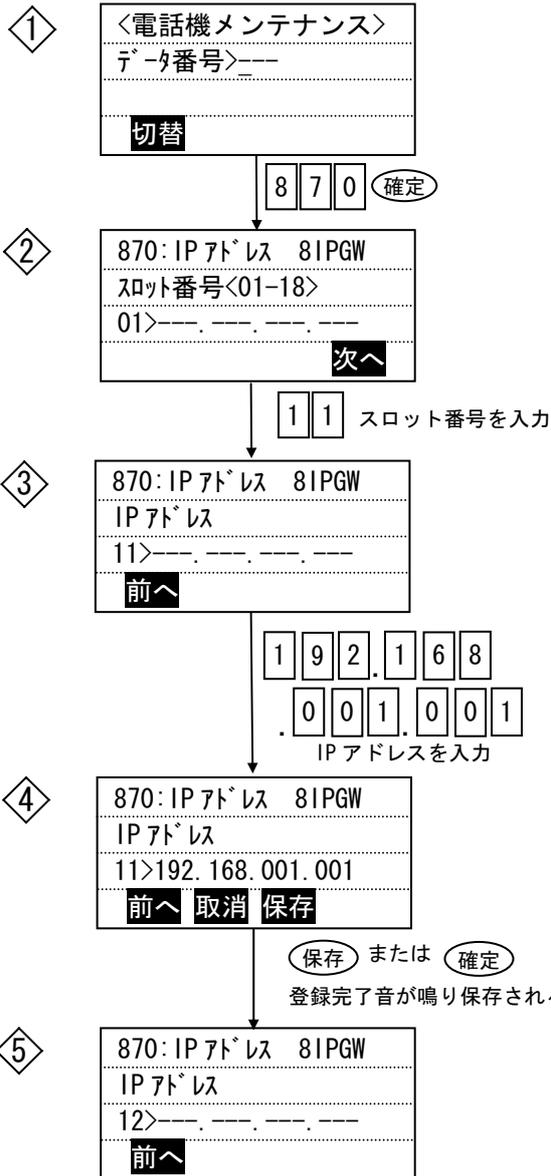
データ番号	IP 回線ゲートウェイ<8IPGW>
870	

<データ設定概要>

8IPGW の IP アドレスを登録する。

<操作例>

スロット番号 11 の 8IPGW の IP アドレスを「192.168.001.001」に設定します。



「初期値」全スロット番号共通

スロット番号	IP 回線 GW
全スロット	未登録

「キー操作とデータ」

2. スロット番号  
スロット番号 (01~18) を 10 キーで設定します。

3. IP アドレス  
IP 回線ゲートウェイ (000.000.000.000、255.255.255.255 以外) を 10 キーで設定します。

4.

5.

「関連機能番号」

- 1451: IP 回線接続 -SIP 回線- (8IPGW 収容)
- 1463: VOIPデータブラウザ設定 (IP回線) -SIP回線- (8IPGW 収容)

<注意事項>

1. IPアドレス入力時「\*」「#」は入力不可となります。
2. IPアドレスは「000.000.000.000」と「255.255.255.255」以外を指定して下さい。
3. 以下のIPアドレスデータの重複登録はできません。  
データ番号 766, 802, 804, 837, 838, 839, 880, 872
4. データ変更後、収容回線が全空きになり次第指定スロットの8IPGWパッケージをリセットします。

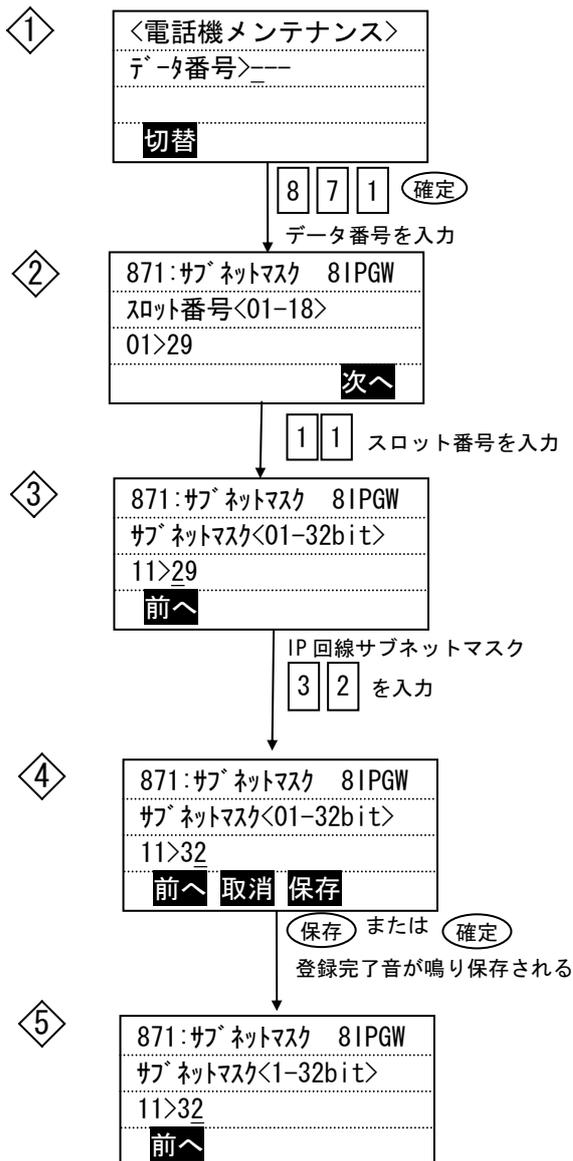
データ番号	IP 回線サブネットマスク<8IPGW>	バージョン	V1.0~
871		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

8IPGWのサブネットマスクを設定する。

<操作例>

スロット番号11の8IPGWのIP回線サブネットマスクを「32」に設定します。



「初期値」

スロット番号	サブネットマスク
全スロット	24

「キー操作とデータ」

② スロット番号  
スロット番号(01~18)を10キーで設定します。

③ サブネットマスク  
サブネットマスク(1~32)を10キーで設定します。

④

⑤

「関連機能番号」

1451: IP回線接続 -SIP回線- (8IPGW 収容)

1463: IP回線データブラウザ設定 -SIP回線- (8IPGW 収容)

<注意事項>

注1. データ変更後、収容回線が全空きになり次第指定スロットの8IPGWパッケージをリセットします。

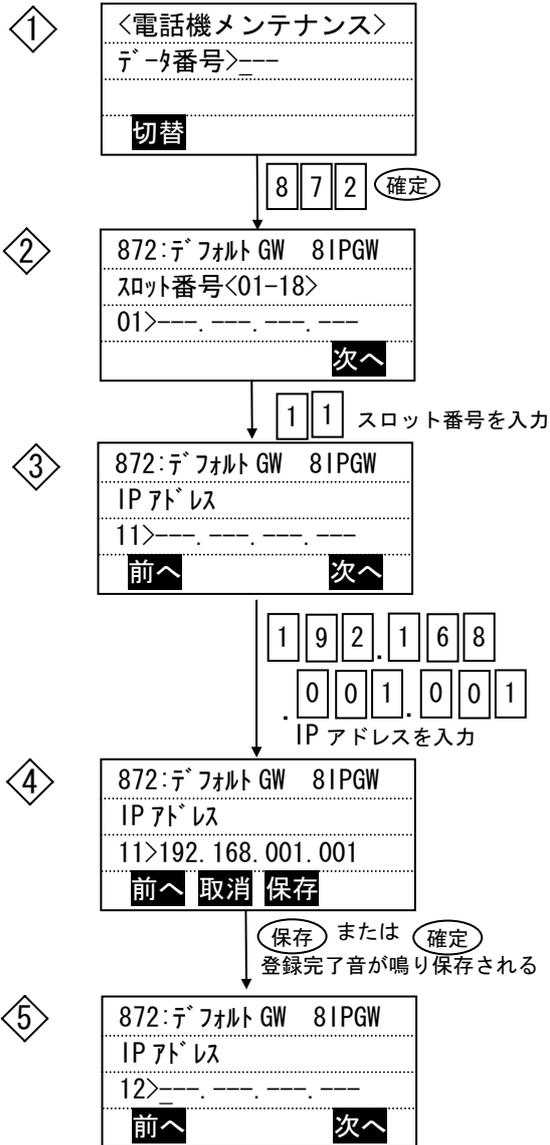
データ番号	IP 回線デフォルトゲートウェイ<8IPGW>	データ更新条件	システム
872			

<データ設定概要>

8IPGWのデフォルトゲートウェイのIPアドレスをパッケージごとに登録する。

<操作例>

スロット番号11の8IPGWのデフォルトゲートウェイを「192.168.001.001」に設定します。



「初期値」

スロット番号	IP 回線デフォルト GW
全スロット	未登録

「キー操作とデータ」

**スロット番号**  
スロット番号(01~18)を10キーで設定します。

**IPアドレス**  
IP 回線デフォルトゲートウェイ  
(000.000.000.000、255.255.255.255 以外)を  
10キーで設定します。

- ②
- ③
- ④

「関連機能番号」

- 1451: IP 回線接続 —SIP 回線— (8IPGW 収容)
- 1460: IP 回線デフォルトゲートウェイ設定  
—SIP 回線— (8IPGW 収容)

<注意事項>

- 注1. IPアドレス入力時「\*」「#」は入力不可となります。
- 2. IPアドレスは「000.000.000.000」と「255.255.255.255」以外を指定して下さい。
- 3. 以下のIPアドレスデータは重複登録はできません。  
データ番号 766, 802, 804, 837, 838, 839, 880, 872
- 4. データ変更後、収容回線が全空きになり次第指定スロットの8IPGWパッケージをリセットします。

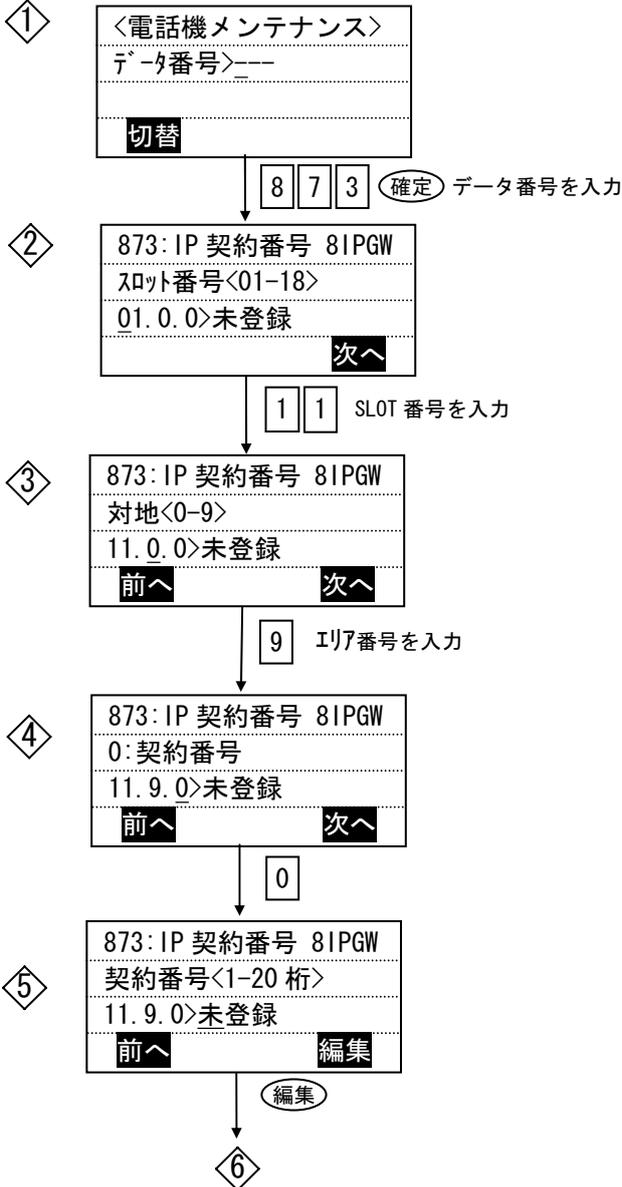
データ番号	IP 回線契約番号<8IPGW> 1/2	バージョン	V1.0~
873		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

8IPGWのキャリアとの契約番号を、パッケージごとに登録する。

<操作例>

SLOT 番号 11、対地番号 10 の IP 回線契約番号に 03-3788-9000 を設定します。



「初期値」全エリア共通

スロット番号/対地	IP 回線契約番号
全スロット/全対地	未登録

スロット番号/対地/IP 回線	有効回線
全スロット/全対地/全回線	未登録

「キー操作とデータ」

- ② **スロット番号**  
スロット番号(01~18)を10キーで設定します。
- ③ **対地**  
対地番号(0~9)を10キーで設定します。

- ④
- ⑤
- 「関連機能番号」
- 1451: IP 回線接続 -SIP 回線- (8IPGW 収容)
  - 1455: IP 回線着信 -SIP 回線-
  - 1456: IP 回線発信者番号通知 -SIP 回線-
  - 1463: VOIPデータブラウザ設定 (IP回線) -SIP回線- (8IPGW 収容)
  - 1464: IP 回線データブラウザ設定 -SIP 回線- (8IPGW 収容)

<注意事項>

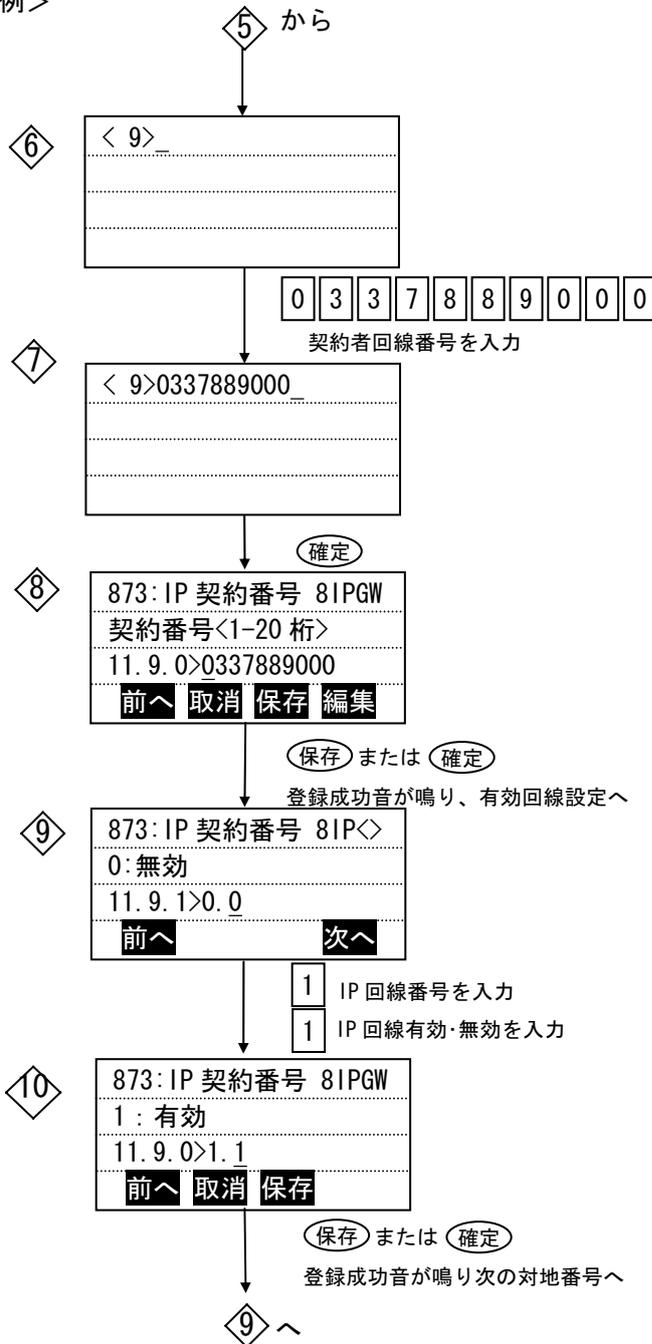
- 注1. データ変更後、収容回線が全空きになり次第データは更新されます。本データを変更した場合、ゲートキーパーに対して番号確認を行います。確認が終了するまで指定8IPGWのIP回線は使用不可状態となります。
- 2. 使用可能回線として指定していない回線については使用不可となります。
- 3. 「対地」と表示されている箇所はV1.1以降では「エリア」表示となります。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	IP 回線契約番号<8IPGW> 2/2
873	

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

契約番号

IP 回線契約番号 (1~20 桁) を 10 キーで指定します。

IP 回線番号

使用 IP 回線番号 (0~7、\*(全回線)) を 10 キーで指定します。

IP 回線収容

10 キー	データ内容
0	無効
1	有効

<注意事項>

注1. 電話番号入力時、「\*」「#」は入力不可となります。

このページは白紙になります。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

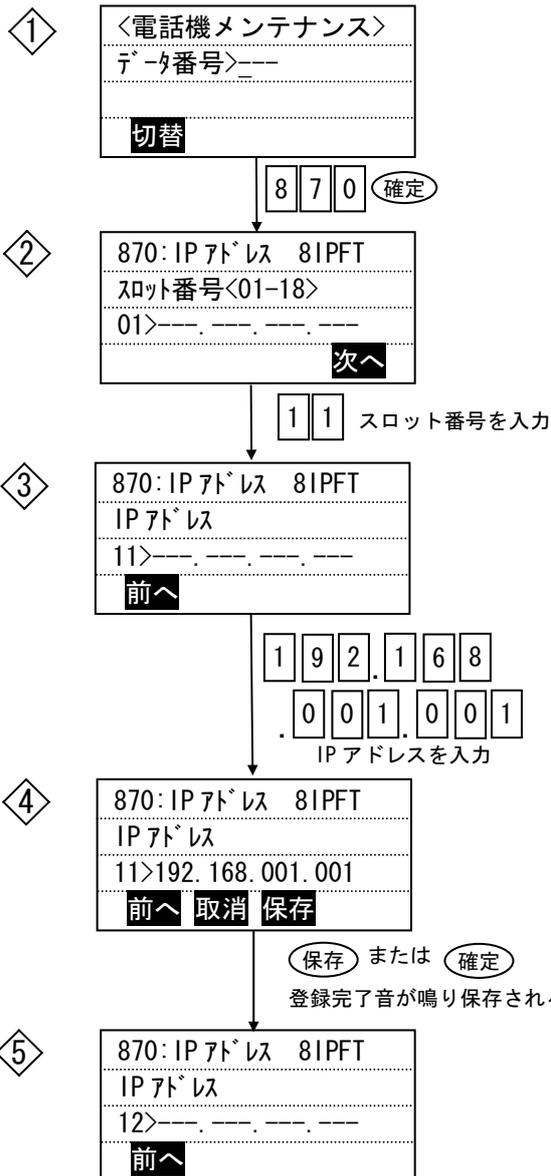
データ番号	IP 回線ゲートウェイ<8IPFT>
870	

<データ設定概要>

8IPFT の IP アドレスを登録する。

<操作例>

スロット番号 11 の 8IPFT の IP アドレスを  
「192.168.001.001」に設定します。



「初期値」全スロット番号共通

スロット番号	IP 回線 GW
全スロット	未登録

「キー操作とデータ」

② **スロット番号**  
スロット番号 (01~18) を 10 キーで設定します。

③ **IP アドレス**  
IP 回線ゲートウェイ (000.000.000.000、  
255.255.255.255 以外) を 10 キーで設定します。

「関連機能番号」

- 1452: IP 回線接続 -SIP 回線- (8IPFT 収容)
- 1464: VOIPデータブラウザ設定 (IP回線) -SIP回線- (8IPFT 収容)

<注意事項>

- IPアドレス入力時「\*」「#」は入力不可となります。
- IPアドレスは「000.000.000.000」と「255.255.255.255」以外を指定して下さい。
- 以下のIPアドレスデータは重複登録はできません。  
データ番号 766, 802, 804, 837, 838, 839, 880, 872
- データ変更後、収容回線が全空きになり次第指定スロットの8IPFTパッケージをリセットします。

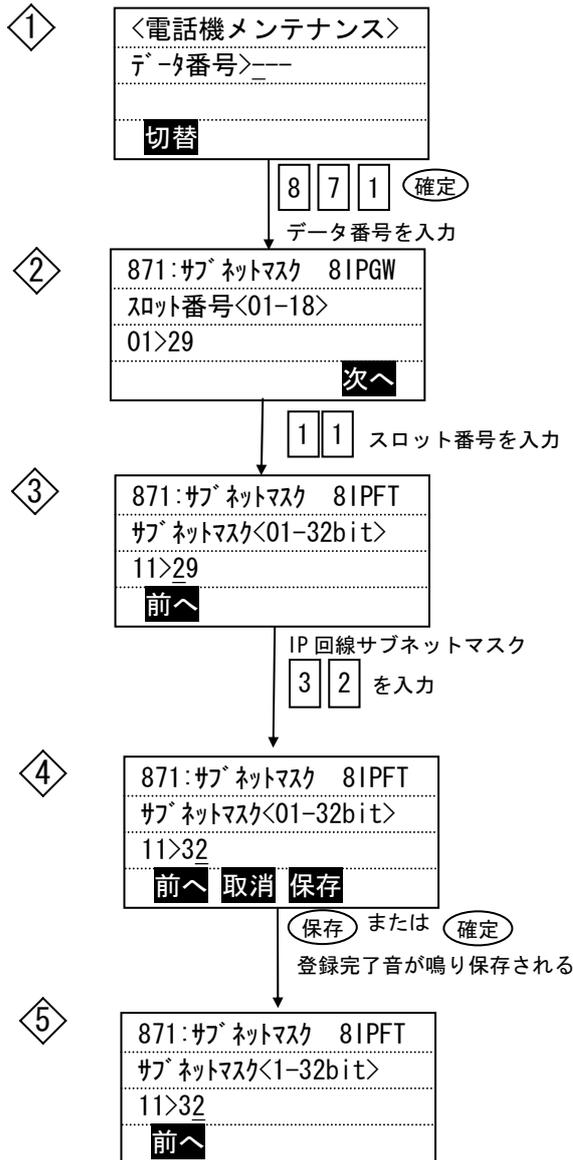
データ番号	IP 回線サブネットマスク<8IPFT>	バージョン	V1.0~
871		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

8IPFTのサブネットマスクを設定する。

<操作例>

スロット番号11の8IPFTのIP回線サブネットマスクを「32」に設定します。



「初期値」

スロット番号	サブネットマスク
全スロット	29

「キー操作とデータ」

- ② スロット番号  
スロット番号(01~18)を10キーで設定します。
- ③ サブネットマスク  
サブネットマスク(1~32)を10キーで設定します。
- ④
- ⑤

「関連機能番号」

- 1452: IP回線接続 -SIP回線- (8IPFT 収容)
- 1464: IP回線データブラウザ設定 -SIP回線- (8IPFT 収容)

<注意事項>

注1. データ変更後、収容回線が全空きになり次第指定スロットの8IPFTパッケージをリセットします。

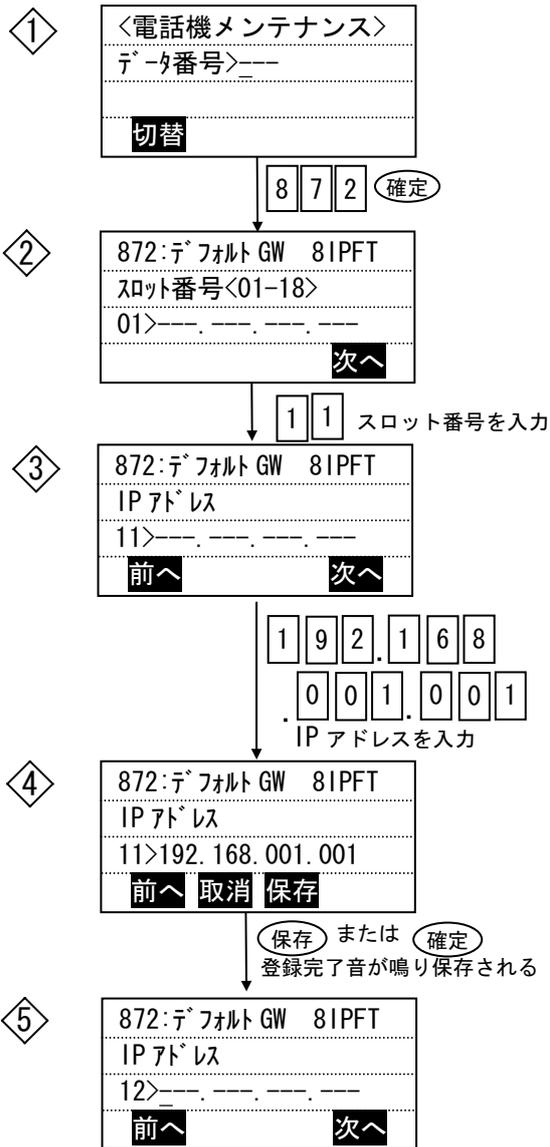
データ番号	IP 回線デフォルトゲートウェイ<8IPFT>	データ更新条件	システム
872			

<データ設定概要>

8IPFT のデフォルトゲートウェイの IP アドレスをパッケージごとに登録する。

<操作例>

スロット番号 11 の 8IPFT のデフォルトゲートウェイを「192.168.001.001」に設定します。



「初期値」

スロット番号	IP 回線デフォルト GW
全スロット	未登録

「キー操作とデータ」

スロット番号  
スロット番号(01~18)を10キーで設定します。

IP アドレス

IP 回線デフォルトゲートウェイ  
(000.000.000.000、255.255.255.255 以外)を  
10キーで設定します。

②  
③  
④

「関連機能番号」

- 1452: IP 回線接続 -SIP 回線- (8IPFT 収容)
- 1461: IP 回線デフォルトゲートウェイ設定  
-SIP 回線- (8IPFT 収容)

<注意事項>

- 注1. IPアドレス入力時「\*」「#」は入力不可となります。
- IPアドレスは「000.000.000.000」と「255.255.255.255」以外を指定して下さい。
- 以下のIPアドレスデータは重複登録はできません。  
データ番号 766, 802, 804, 837, 838, 839, 880, 872
- データ変更後、収容回線が全空きになり次第指定スロットの8IPGWパッケージをリセットします。

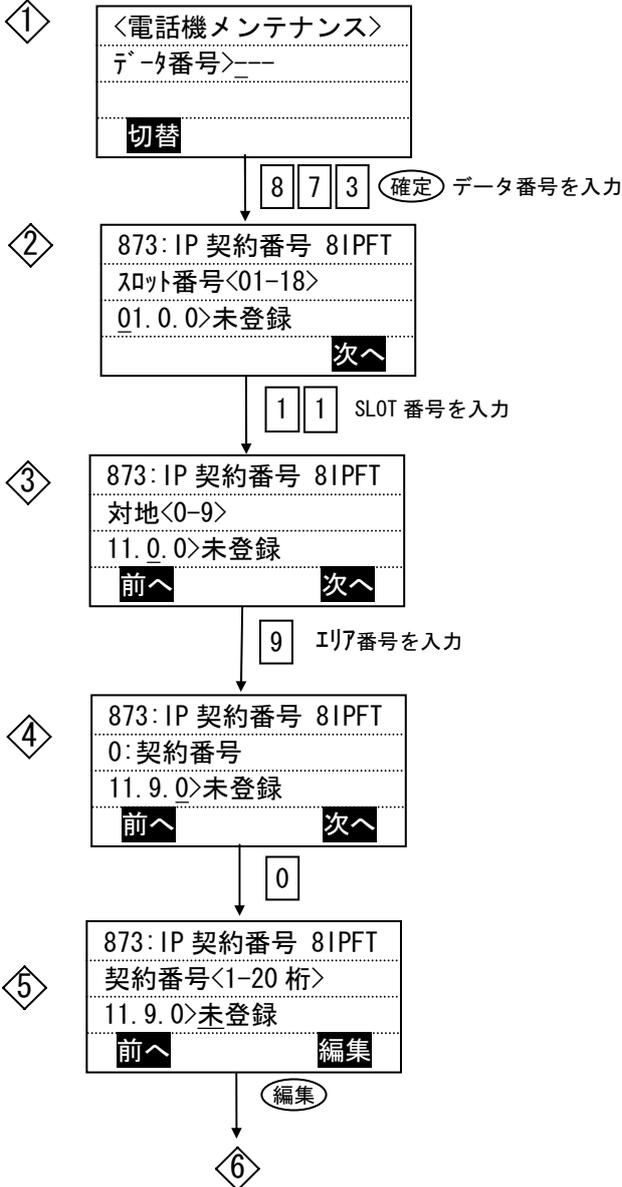
データ番号	IP 回線契約番号<8IPFT> 1/2	バージョン	V1.0~
873		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

8IPFTのキャリアとの契約番号を、パッケージごとに登録する。

<操作例>

SLOT 番号 11、対地番号 10 の IP 回線契約番号に 03-3788-9000 を設定します。



「初期値」全I77共通

スロット番号/対地	IP 回線契約番号
全スロット/全対地	未登録

スロット番号/対地/IP 回線	有効回線
全スロット/全対地/全回線	未登録

「キー操作とデータ」

- ② スロット番号  
スロット番号(01~18)を10キーで設定します。
- ③ 対地  
対地番号(0~9)を10キーで設定します。

- ④
- ⑤
- 「関連機能番号」
- 1452: IP 回線接続 -SIP 回線- (8IPFT 収容)
  - 1455: IP 回線着信 -SIP 回線-
  - 1456: IP 回線発信者番号通知 -SIP 回線-
  - 1464: VOIPデータブラウザ設定 (IP回線) -SIP回線- (8IPFT 収容)

<注意事項>

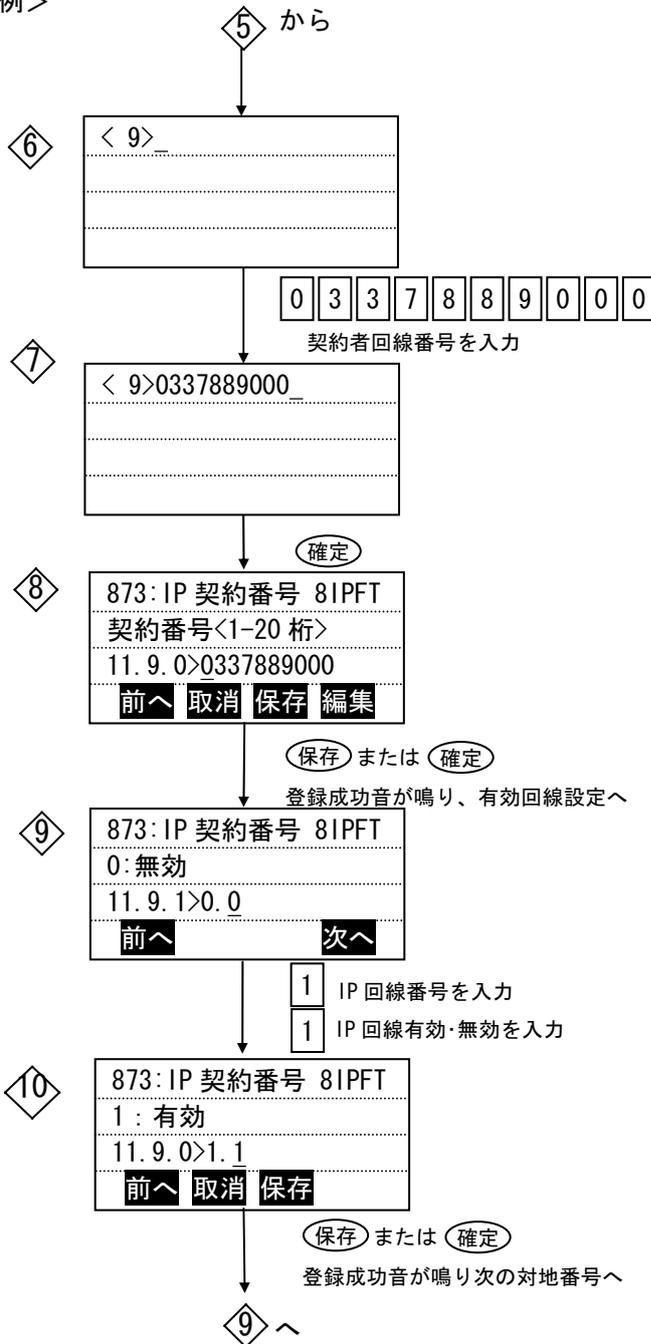
- 注1. データ変更後、収容回線が全空きになり次第データは更新されます。本データを変更した場合、ゲートキーパーに対して番号確認を行います。確認が終了するまで指定8IPFTのIP回線は使用不可状態となります。
2. 使用可能回線として指定していない回線については使用不可となります。
3. 「対地」と表示されている箇所はV1.1以降では「エリア」表示となります。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

データ番号	IP 回線契約番号<8IPFT> 2/2
873	

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

契約番号

IP 回線契約番号 (1~20 桁) を 10 キーで指定します。

IP 回線番号

使用 IP 回線番号 (0~7、\*(全回線)) を 10 キーで指定します。

IP 回線収容

10 キー	データ内容
0	無効
1	有効

<注意事項>

注2. 電話番号入力時、「\*」「#」は入力不可となります。



バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

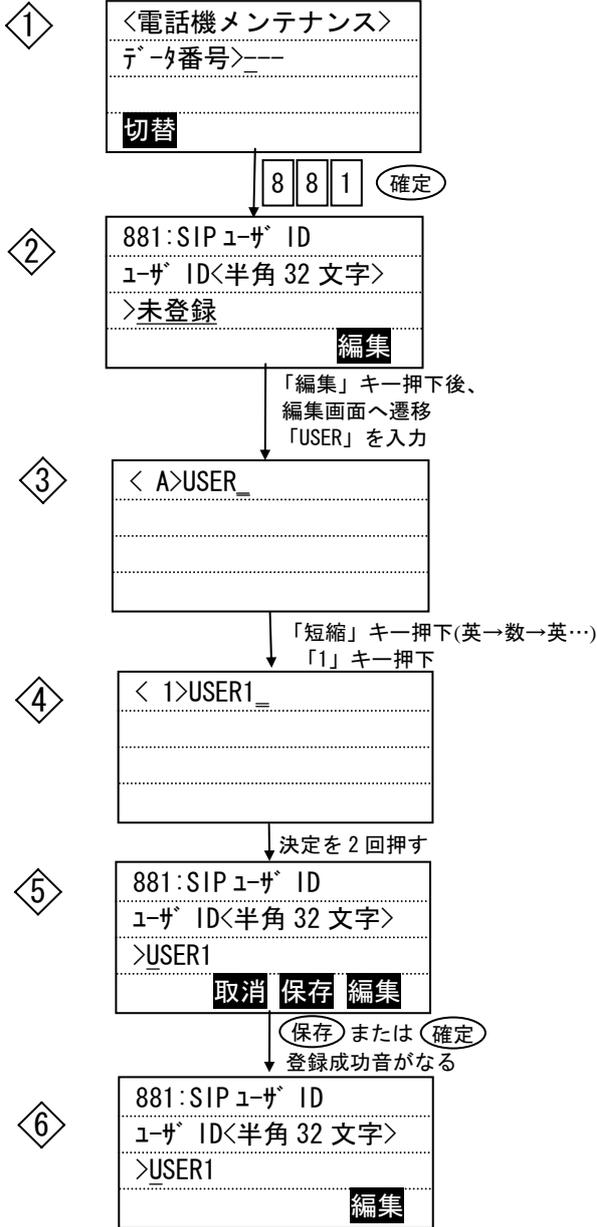
データ番号	SIP ユーザ ID
881	

<データ設定概要>

8IPFT での SIP サーバ接続の為のユーザ ID を登録する。

<操作例>

ユーザ ID に” USER1 ”を登録します。



「初期値」

10 キー	ユーザ ID
-	未登録

「キー操作とデータ」

- 2 ユーザ ID
- 3 電話機メンテナンスで 881 を押下後、編集キーを押して編集画面に移る。
- 4 短縮キーで英/数選択し SIP ユーザ ID の入力を行う。
- 5 確定ボタンを押して保存又は設定画面に移り保存又は設定を行う。
- 6

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. ユーザIDは32文字まで半角英数字を登録することができます。
- 2. データ変更後、システムが全空きになり次第全パッケージをリセットします。

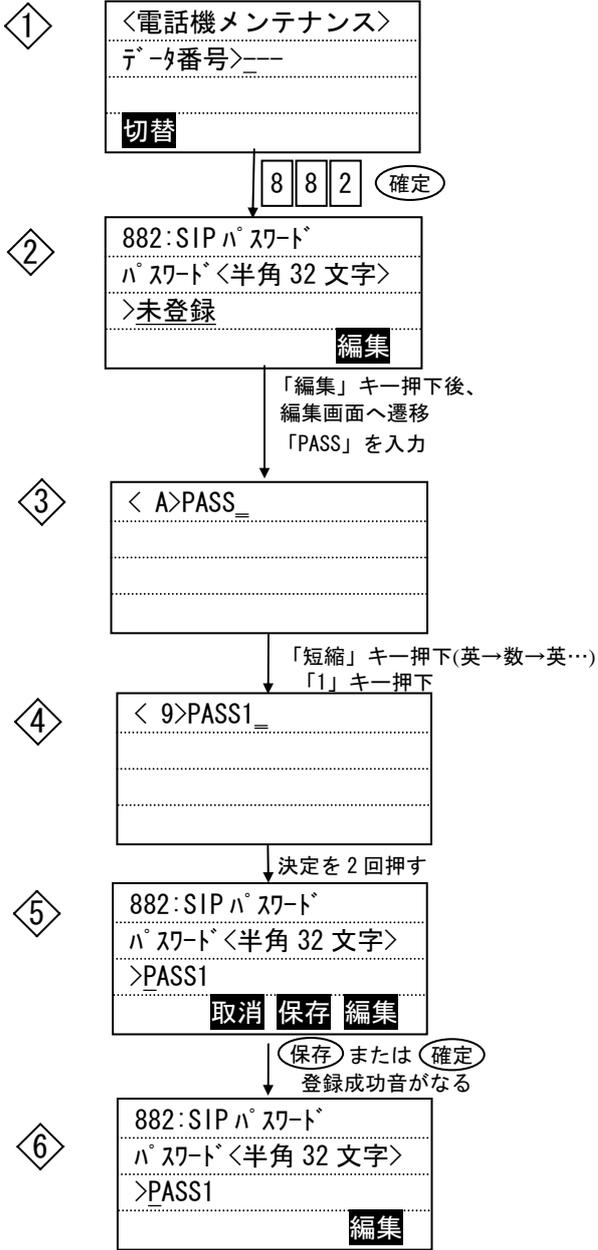
データ番号	SIP パスワード	バージョン	V1.0~
882		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

81PFT での SIP サーバ接続の為のパスワードを登録する。

<操作例>

SIP パスワードに” PASS1 ” を登録します。



「初期値」

10 キー	パスワード
-	未登録

「キー操作とデータ」

- ② パスワード
- ③ 電話機メンテナンスで 882 を押下後、編集キーを押して編集画面に移る。
- ④ 短縮キーで英/数選択し SIP パスワードの入力を行う。
- ⑤ 確定キーを押し保存又は設定画面に移り保存又は設定を行う。
- ⑥

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. ユーザIDは32文字まで半角英数字を登録することができます。
- 注2. データ変更後、システムが全空きになり次第全パッケージをリセットします。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

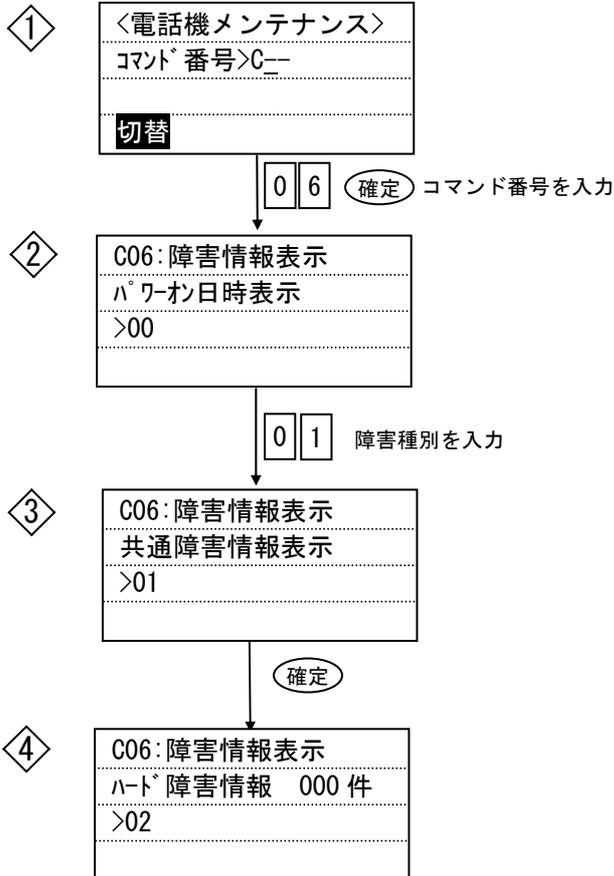
コマンド番号	障害情報表示
C06	

<データ設定概要>

障害情報の表示を行う。

<操作例>

共通障害情報を表示します。



「キー操作とデータ」

障害種別

10 キー	データ内容
00	パワーオン日時表示
01	共通障害情報表示
02	ハード障害情報表示
03	PKG 障害情報表示
04	ソフト障害情報表示
05	端末障害情報表示
06	通信障害情報表示<v1.7>
07	ファイルシステム障害表示<v1.7>
08	CS 障害情報表示
09	PS 障害情報表示
10	DSP 障害情報表示
11	8IPGW 障害情報表示
12	カーネル障害情報表示<v1.7>
13	CDLC 障害情報表示
14	回線障害表示<v1.4>
15	IPAD 障害情報表示<v1.7>
16	IPGW 障害情報表示<v1.7>
17	伝送 SUBU 障害表示<v1.7>

「関連機能番号」

<注意事項>

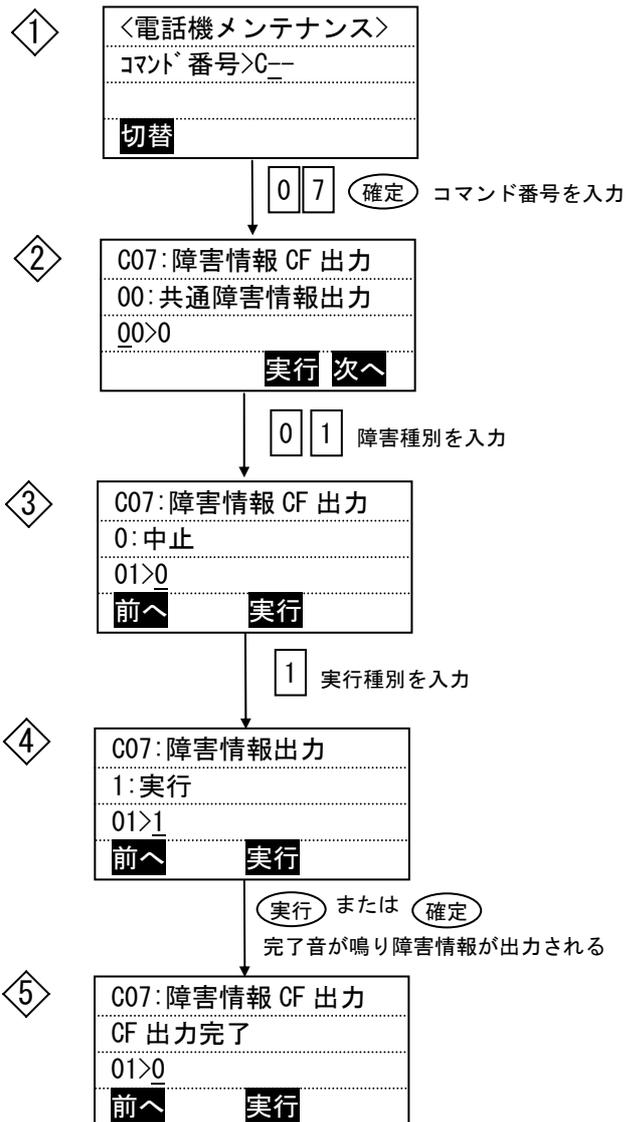
コマンド番号	障害情報 CF 出力	バージョン	V1.0~
C07		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

障害情報をCF（コンパクトフラッシュ）に出力する。

<操作例>

ハード障害情報出力をコンパクトフラッシュに出力します。



「キー操作とデータ」

障害種別

10 キー	データ内容
00	共通障害情報出力
01	ハード障害情報出力
02	PKG 障害情報出力
03	ソフト障害情報出力
04	端末障害情報出力
05	通信障害情報出力<v1.7>
06	ファイルシステム障害出力<v1.7>
07	CS 障害情報出力
08	PS 障害情報出力
09	DSP 障害情報出力
10	8IPGW 障害情報出力
11	カネル障害情報出力<v1.7>
12	CDLC 障害情報出力
13	回線障害情報出力<v1.4>
14	IPAD 障害情報出力<v1.7>
15	IPGW 障害情報出力<v1.7>
16	伝送 SUBU 障害出力<v1.7>
17	全出力

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

③

④

「関連機能番号」

<注意事項>

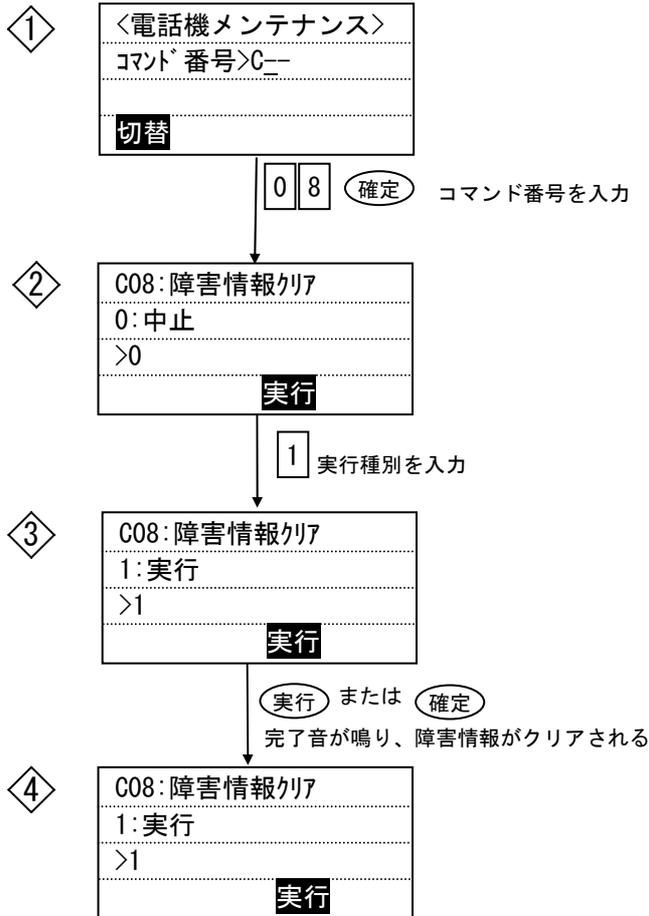
バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム
コマンド番号	障害情報クリア
C08	

<データ設定概要>

障害情報の一括クリアを行い、同時にアラームランプを消灯する。

<操作例>

障害情報をクリアします。



2  
3

「キー操作とデータ」

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. 一括クリアを行った障害情報は使用できません。障害情報を保存しておきたい場合は、CF（コンパクトフラッシュ）へ保存してから一括クリアを行ってください。
- 注2. 障害情報の一括クリアは、地震速報の通信ログ情報もクリアするのでご注意ください。

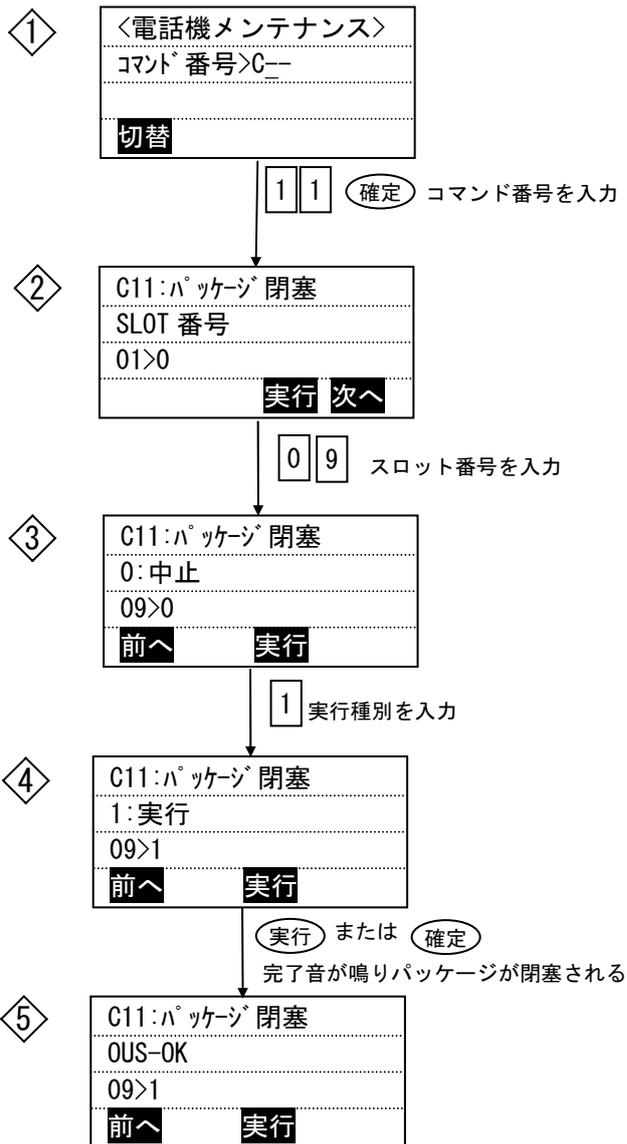
バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム
コマンド番号	パッケージ閉塞
C11	

<データ設定概要>

パッケージの閉塞指定を行う。

<操作例>

スロット 09 のパッケージを閉塞します。



「キー操作とデータ」

② スロット番号  
③ 対象パッケージの実装スロット番号 (01~18) を 10 キーで指定します。

④ 実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

⑤ 実行結果

表示	意味
OUS-OK	PKG 閉塞 OK
OUS-NG<XX>	PKG 閉塞 NG

XX:PKG 閉塞 NG コード

NG コード

NG-コード	意味
01	PKG 実装状態更新タイムアウト
02	パッケージ種別不一致
03	パッケージ未実装
04	DPRAM 異常
05	スロット番号 NG
06	PP 番号範囲 NG
07	パッケージ実装チェック NG
08	要求端末接続スロット番号指定
09	MPW 未実装
10	伝送 SUBU 未実装
11	PKG 状態不一致

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. パッケージ閉塞 (OUS) を解除するときは、コマンドC13 (パッケージINS) でパッケージの立ち上げを行います。
- 注2. NGコード表示はV1.1より提供されます。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

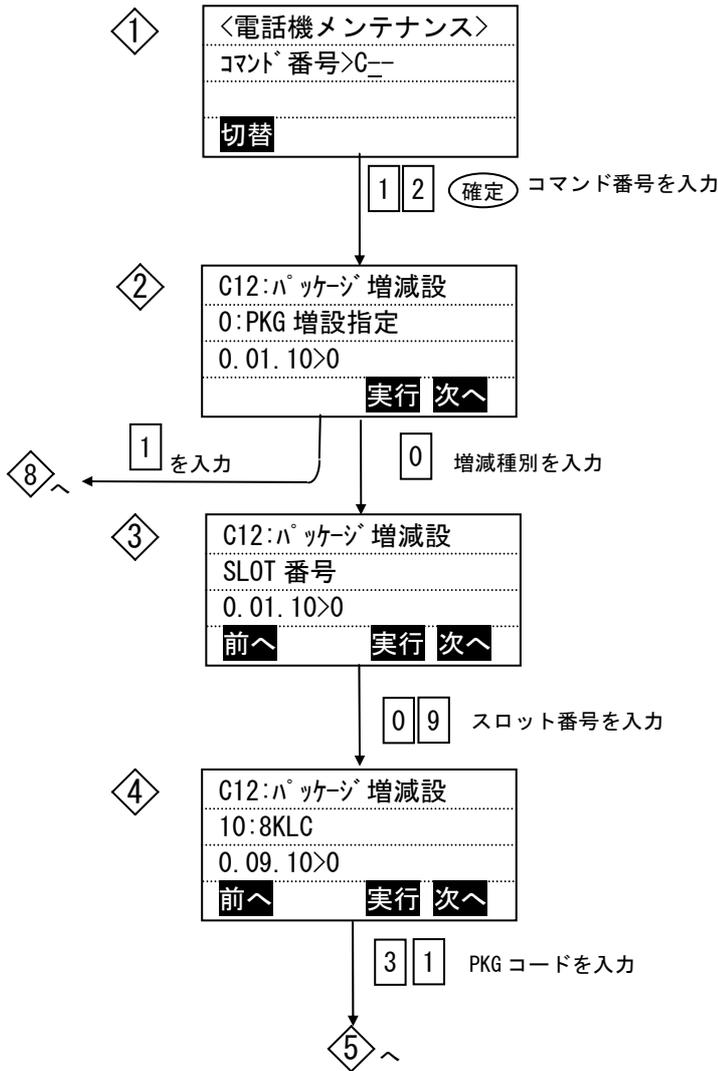
コマンド番号	パッケージ増減設 1/4
C12	

<データ設定概要>

各種 PKG の増設および減設を行う。

<操作例>

スロット 09 に 8ACOU のパッケージを増設します。



「キー操作とデータ」

増減種別

10 キー	データ内容
0	PKG 増設指定
1	PKG 減設指定

スロット番号

対象パッケージの実装スロット番号 (01~18) を 10 キーで指定します。

PKG コード

パッケージコード (00~FF) を 10 キーで指定します。A~F の入力はオートダイヤルボタンで入力します。注 7

2

3

4

「関連機能番号」

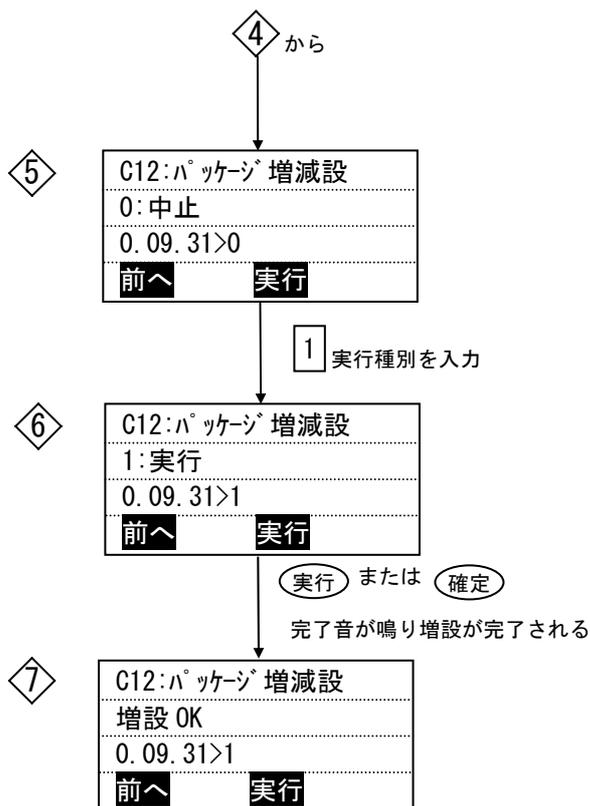
<注意事項>

- 注1. PKG増設指定時、PKGデフォルトデータの作成およびPKGの立ち上げまでを行います。
- パッケージ増設は、パッケージを実装した後コマンドC12で行います。
- パッケージ減設は、パッケージを抜き取った後コマンドC12で行います。
- パッケージ増設、減設の詳細は『第4章 保守編』4項増設・減設工事を参照してください。
- 内線系パッケージ (KLC、SLC等) を減設する際は、そのパッケージに割り付けられている内線のMBXの録音メッセージを消去してください。〈VI.2〉
- IPGW、IPADの増減設について、IPGWを減設する場合は先にIPADを減設してください。IPADを増設する場合は先にIPGWを増設してください。また本コマンドを実行する場合は、CGUとIPGWはLANケーブルで接続したままで行ってください。

コマンド番号	パッケージ増減設 2/4	バージョン	V1.0~
C12		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

実行結果

表示	意味
増設 OK	PKG 増設 OK
増設 NG<XX>	PKG 増設 NG

XX:PKG 閉塞 NG コード

NG コード

NG-コード	意味
01	PKG 実装状態更新タイムアウト
02	パッケージ種別不一致
03	パッケージ未実装
04	DPRAM 異常
05	スロット番号 NG
06	PP 番号範囲 NG
07	パッケージ実装チェック NG
08	要求端末接続スロット番号指定
09	MPW 未実装
10	伝送 SUBU 未実装
11	PKG 状態不一致

「関連機能番号」

<注意事項>

注6. A~Fの入力にはオートダイヤルボタンを使用します。

—	A	B	C	D	E	F
TD/LD920(30 ボタン)	外線 19	外線 20	外線 21	外線 22	外線 23	外線 24
TD910(18 ボタン)	外線 7	外線 8	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12
M-20LKTEL(20 ボタン)	外線 9	外線 10	外線 11	外線 12	外線 17	外線 18

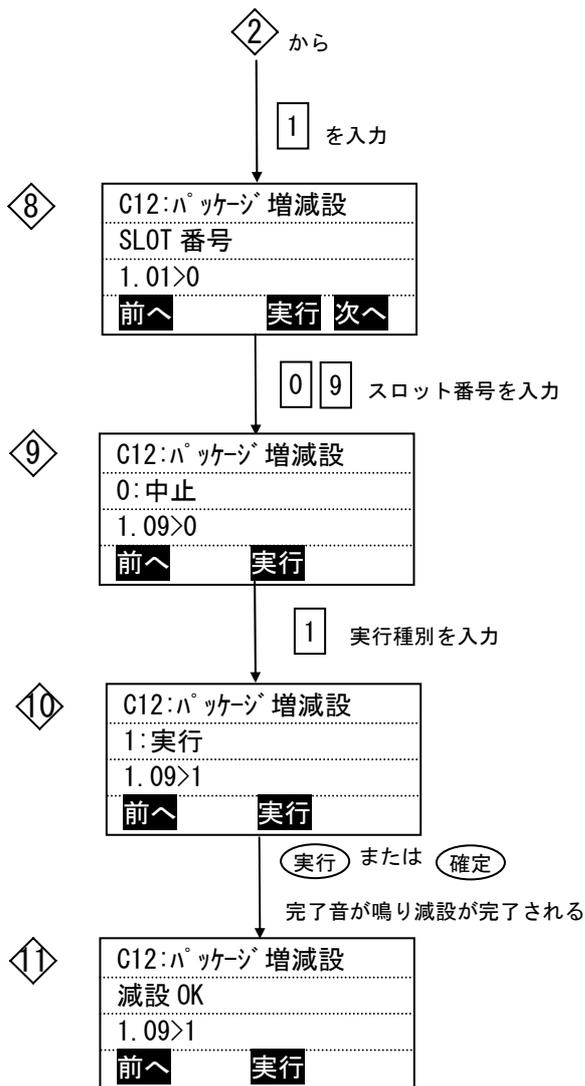
注7. NGコード表示はV1.1より提供されます。

コマンド番号	パッケージ増減設 3/4	バージョン	V1.0~
C12		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

スロット09のパッケージを減設します。



「キー操作とデータ」

⑧ スロット番号  
対象パッケージの実装スロット番号 (01~18) を10キーで指定します。

⑨ 実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

⑪ 実行結果

表示	意味
減設 OK	PKG 減設 OK
減設 NG<XX>	PKG 減設 NG

XX:PKG 閉塞 NG コード

NG コード

NG-コード	意味
01	PKG 実装状態更新タイムアウト
02	パッケージ種別不一致
03	パッケージ未実装
04	DPRAM 異常
05	スロット番号 NG
06	PP 番号範囲 NG
07	パッケージ実装チェック NG
08	要求端末接続スロット番号指定
09	MPW 未実装
10	伝送 SUBU 未実装
11	PKG 状態不一致

「関連機能番号」

<注意事項>

コマンド番号	パッケージ増減設 4/4	バージョン	V1.0~
C12		データ更新条件	システム

区分	パッケージ種別コード	パッケージ	パッケージ備考
内線系	0x10	8KLC900	内線(8)増設ユニット
	0x12	8SLI	単独電話(8)増設ユニット
	0x14	2LLC	単独電話延長ユニット
	0x92	8KLC901	内線(8)増設ユニット<V1.3>
	0x93	16KLC901	内線(16)増設ユニット<V1.3>
	0x94	24KLC901	内線(24)増設ユニット<V1.3>
	0x95	16SLC	単独電話(16)増設ユニット<V1.3>
	0x96	16KLC900	内線(16)増設ユニット
	0x97	24KLC900	内線(24)増設ユニット
	0xA6	8SLI901	新単独電話(8)増設ユニット<V2.0>
0xA7	16SLI911	新単独電話(16)増設ユニット<V2.0>	
デジタルコードレス系	0x4C	2CDLC	デジタルコードレスCS(2)接続ユニット
	0x4E	4CDLC	デジタルコードレスCS(4)接続ユニット
外線(CO)系	0x31	8CO	アナログ(8)局線増設ユニット
ISDN系	0x70	PRTL	net1500(1)局線増設ユニット
	0x62	2BRI	デジタル(2)局線増設ユニット
	0x63	4BRI	デジタル(4)局線増設ユニット
専用線系	0x24	LDT	OD(4)専用線ユニット<V1.1>
	0x28	ODT	LD(2)専用線ユニット<V1.1>
VOIP系	0xA2	8IPFT	VoIP(8)ユニット
	0xA3	8IPGW	VoIP(8)ユニット(マルチキャリア対応)
	0xA4	1PGW	VoIP(28)ユニット
	0xA5	1PAD	VoIP(28)増設ユニット
オプション系	0xFE	DRPG	ドア・ページングユニット
	0xFD	DRPG911	新ドア・ページングユニット<V1.5>

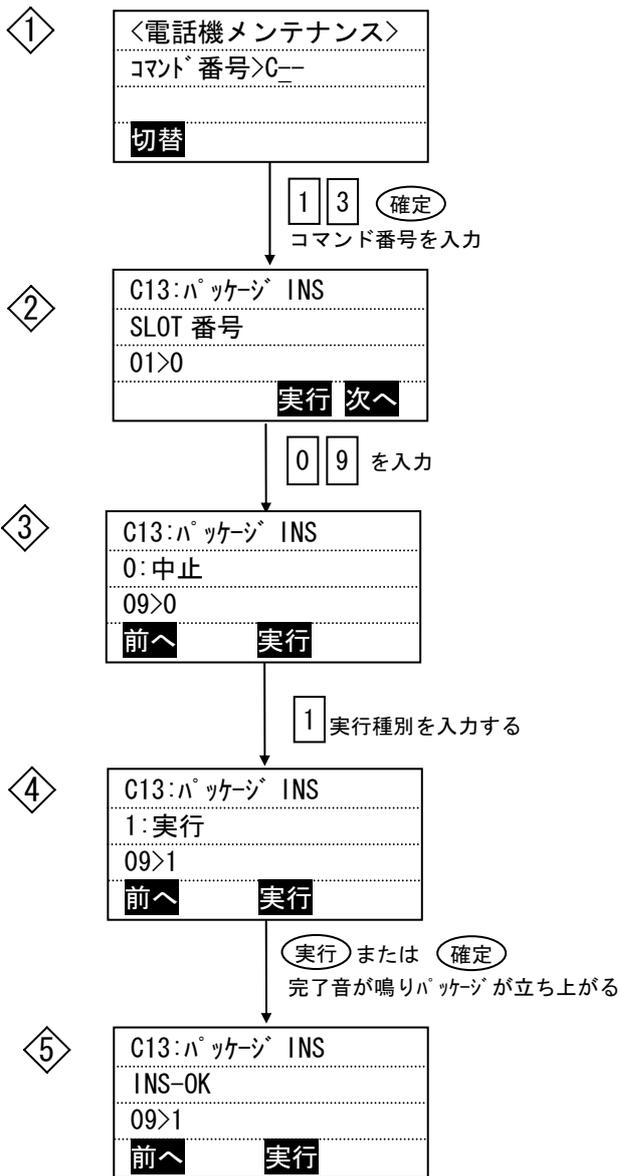
コマンド番号	パッケージ INS	バージョン	V1.0~
C13		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

指定スロットに実装されている PKG の立ち上げを行う。

<操作例>

スロット 29 のパッケージを立ち上げる。



「キー操作とデータ」

②

スロット番号

③

対象パッケージの実装スロット番号 (01~18) を 10 キーで指定します。

④

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

「関連機能番号」

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム

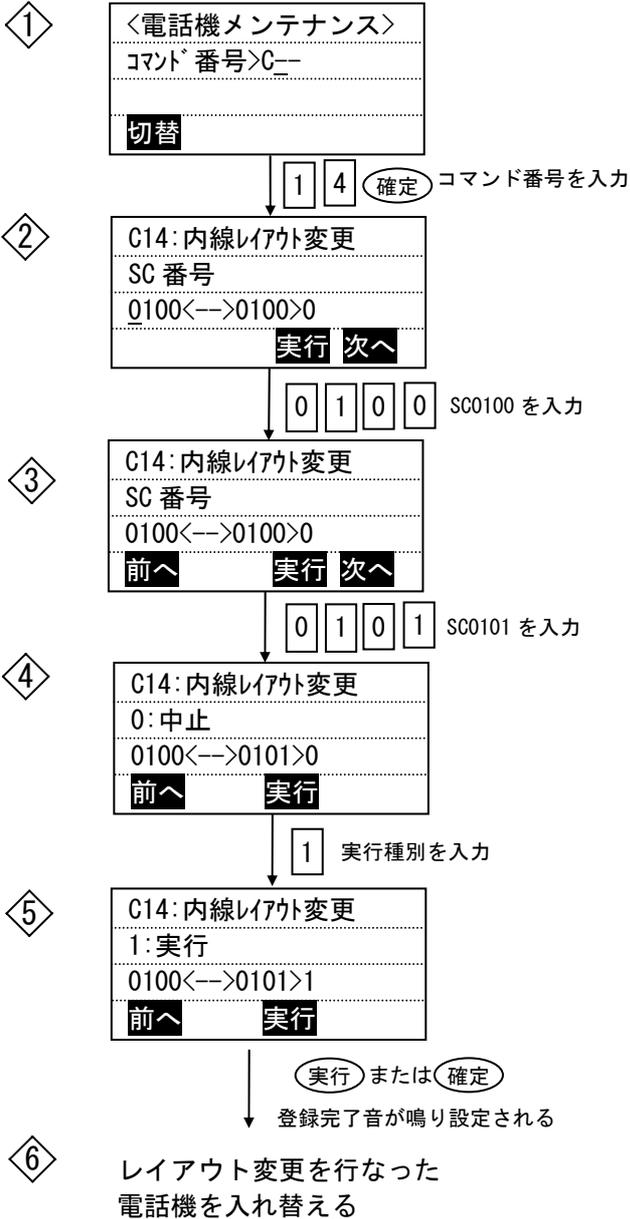
コマンド番号	内線レイアウト変更
C14	

<データ設定概要>

内線同士の収容位置の入れ替えを行う。

<操作例>

収容位置 SC0100 と SC0101 の収容位置入れ替えを行います。



「キー操作とデータ」

収容位置 1

	範囲
収容位置 1	0100-1901

収容位置 2

	範囲
収容位置 2	0100-1901

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

②

③

④

⑤

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. PS内線、IP電話機のレイアウト変更はできません。
- 2. 使用中、保留中（自己保留、システム保留、パーク保留）内線のレイアウト変更はできません。
- 3. 標準端末から単独電話機へのレイアウト変更はできません。

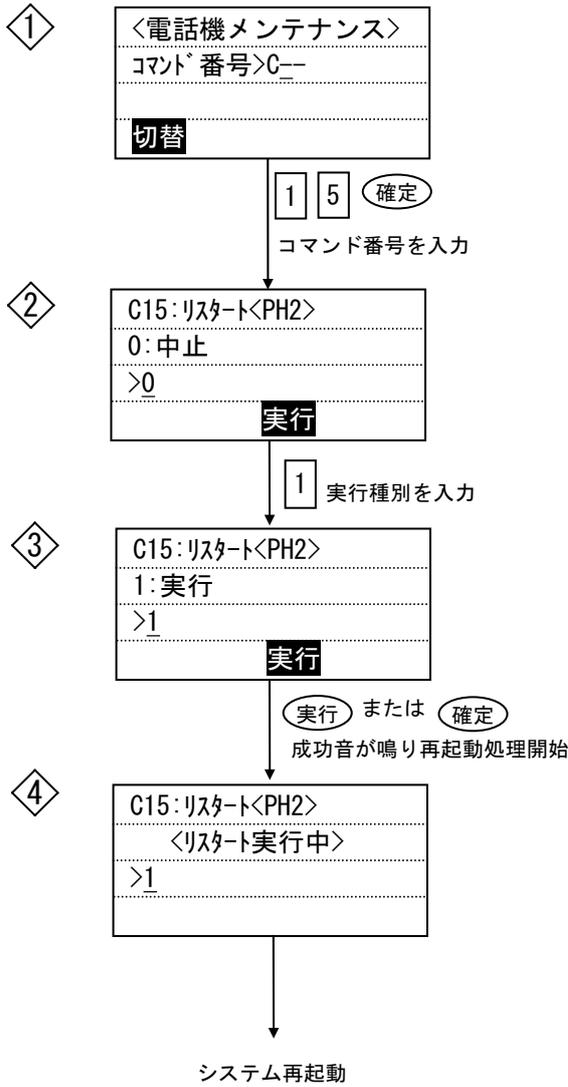
バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム
コマンド番号	リスタート<PH2>
C15	

<データ設定概要>

PH2 再開処理（バックアップ立ち上げ処理）を起動する。

<操作例>

PH2 再開処理を起動する設定を行う



「キー操作とデータ」

実行種別

10 キー	設定
0	中止
1	実行

②  
③

「関連機能番号」

<注意事項>

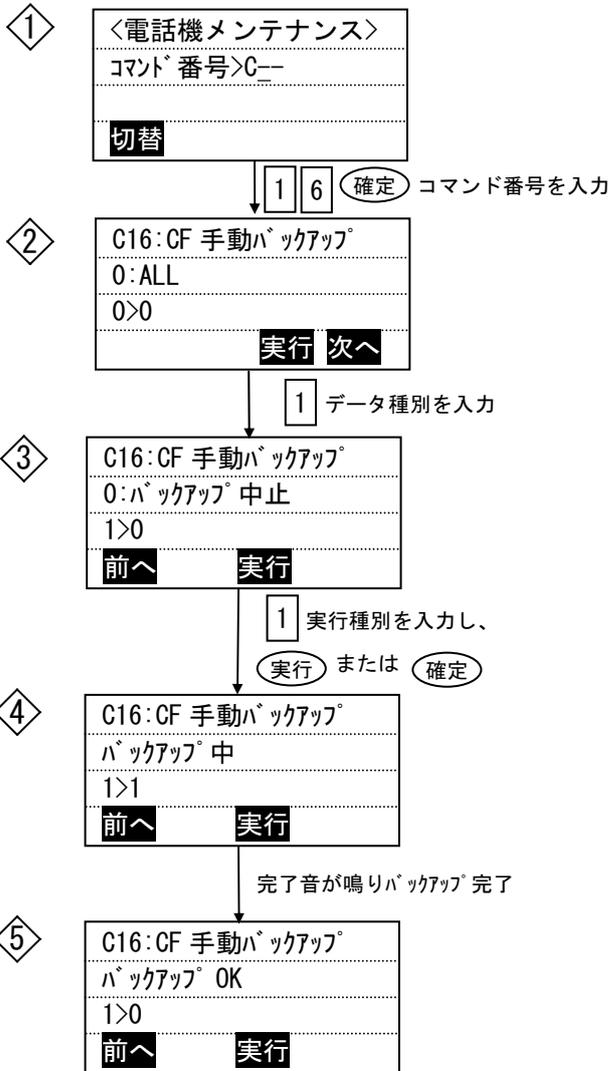
コマンド番号	CF 手動バックアップ	データ更新条件	システム
C16			

<データ設定概要>

設定データ（工注設定+ユーザ設定）、CCUメモリのCFへのバックアップを行う。

<操作例>

設定データのCF手動バックアップを行います。



「キー操作とデータ」

データ種別

10キー	データ内容
0	ALL 注1
1	設定データ注2

実行種別

10キー	データ内容
0	バックアップ 中止
1	バックアップ 実行

「関連機能番号」  
1122：主装置データの手動バックアップ/リストア

<注意事項>

注1. ALLとは、設定データに、障害データ/発着履歴/トラヒック/制御バックアップデータ/サービスバックアップデータも含めたものを指します。

注2. 設定データとは、工注設定/ユーザ設定を含めたものを指します。

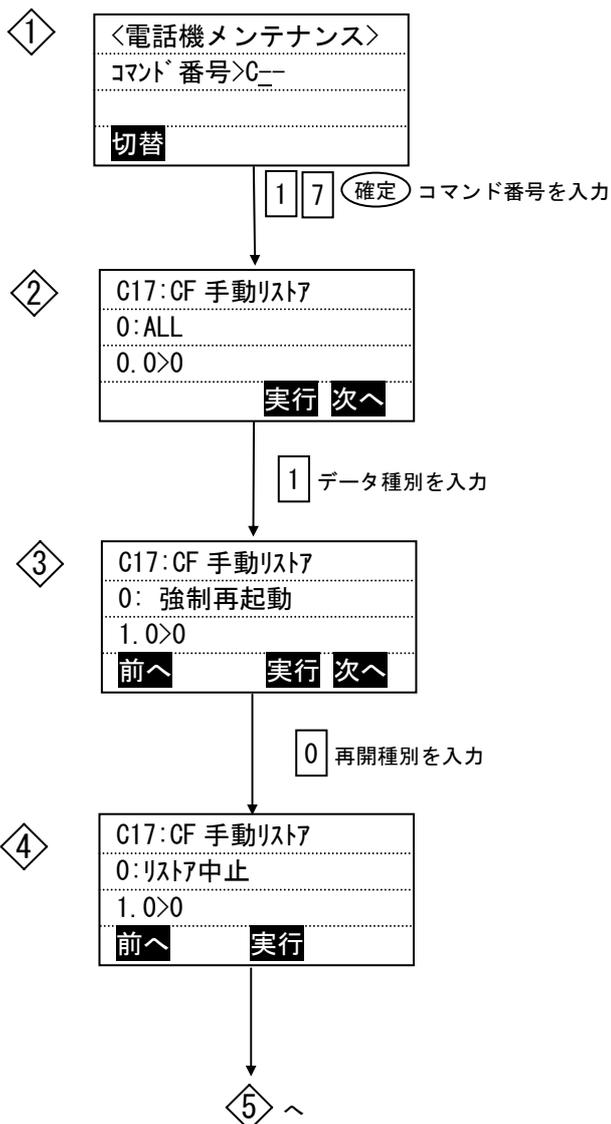
バージョン	V1.2~
データ更新条件	システム
コマンド番号	CF 手動リストア 1/2
C17	

<データ設定概要>

設定データ（工注設定+ユーザ設定）、CGUメモリをCFからリストアを行う。

<操作例>

設定データのCF手動リストアを行い、システム閉塞後再起動します



「キー操作とデータ」

データ種別

10 キー	データ内容
0	ALL 注1
1	設定データ 注2

再開種別

10 キー	データ内容
0	強制再起動
1	閉塞後再起動

実行種別

10 キー	データ内容
0	リストア中止
1	リストア実行

②

③

④

「関連機能番号」

1122：主装置データの手動バックアップ/リストア

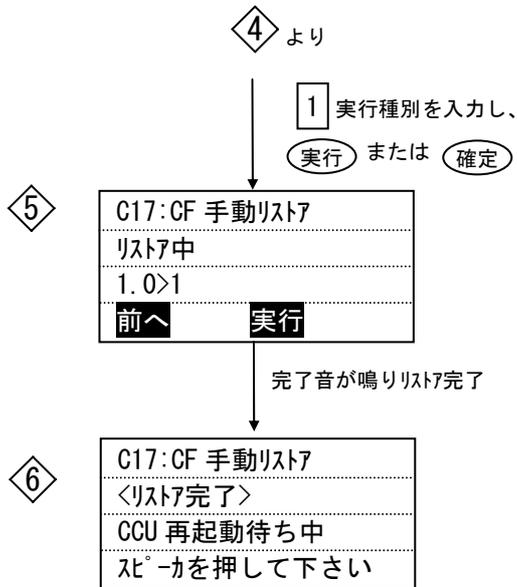
<注意事項>

- 注1. ALLとは、設定データに、障害データ/発着履歴/トラヒック/制御バックアップデータ/サービスバックアップデータも含めたものを指します。
- 注2. 設定データとは、工注設定/ユーザ設定を含めたものを指します。
- 注3. 強制再起動は、リストア作業が完了次第、主装置リセットを行います。通話中の端末に対しては通話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 注4. システム閉塞後再起動は、リストア作業が完了後に全回線・全端末が空きの状態になったら主装置リセットを行います。また再起動待ち中は、メンテナンス作業やサービスメニューキーからの登録作業やリモートPC/WEBからのログインはできません。これだねっとへの接続も出来ません。
- 注5. リストアを行うためにCFを実装する場合、データ750（CF自動バックアップ）を「0:自動バックアップしない」に設定して下さい。

コマンド番号	CF 手動リストア 2/2	バージョン	V1.2~
C17		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

「関連機能番号」

<注意事項>

注6. 「システム閉塞後再起動」指定の場合、

RPC-INS回線接続中では手動でオンラインDGN<sup>④</sup>を終了してください。(オンラインDGN<sup>④</sup>終了後、システムが閉塞完了次第再起動されます。)

RPC-LAN接続中ではRPC切断待ちは行ないません。(オンラインDGN<sup>④</sup>接続中でもシステムが閉塞完了次第再起動されます。)

このページは白紙になります。

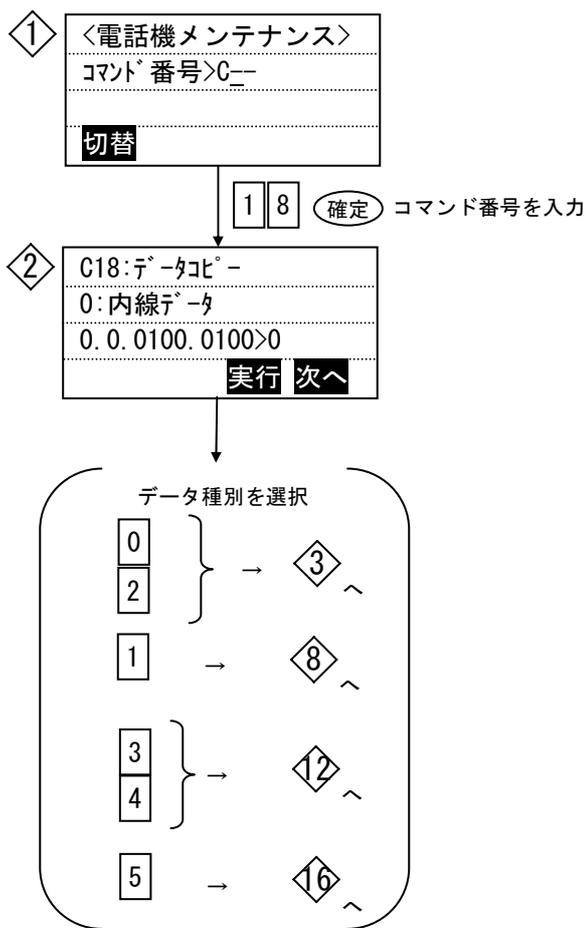
コマンド番号	データコピー 1/5	バージョン	V1.0~
C18		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

内線データ、回線データ、オートダイヤルボタンデータ、共通電話帳データ、個別電話帳データ<sup>〈V1.4〉</sup>をそれぞれ別の内線、回線、共通電話帳、個別電話帳にコピーする。また、オートダイヤルボタンデータを指定したテナントへの展開はできます。

<操作例>

コピーするデータ種別を選択します



「キー操作とデータ」

データ種別

10 キー	表示
0	内線データ
1	回線データ
2	オートダイヤルボタンデータ
3	共通電話帳データ
4	個別電話帳データ <sup>〈V1.4〉</sup>
5	オートダイヤルテナント展開

「関連機能番号」

<注意事項>

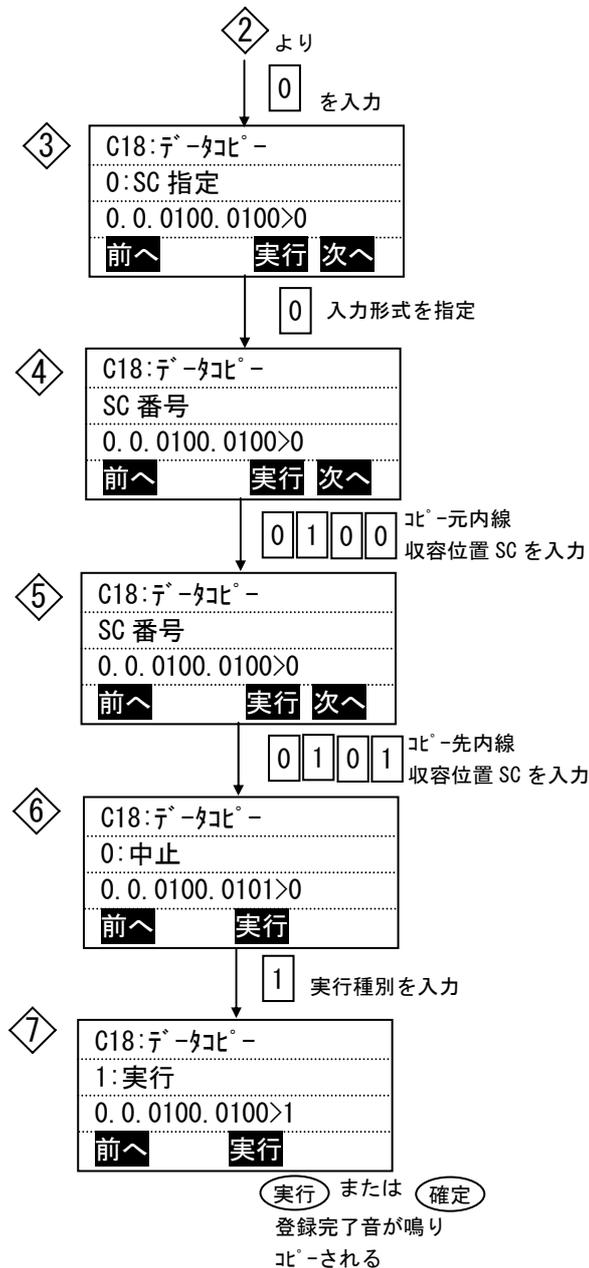
- 注1. コピー元、コピー先共に同一パラメータ形式で入力してください。
- 注2. ⑤のコピー先入力時「\*」（1桁）入力で「確定」を行うと、全てのSCを対象としてコピーできます。
- 注3. PS、SIP内線の内線データをコピーする時は、DN形式で指定してください。
- 注4. コピー元、コピー先の端末種別が異なる場合、オートダイヤルボタンデータはコピーできません。
- 注5. コピー途中で全端末のオートダイヤルボタンの登録数が1500を越えた場合は、オートダイヤルボタンのコピーは行いません。ただし、登録数が1500以下だった場合はコピーを行います。
- 注6. 共通電話帳の途中でシステム全体の共通電話帳登録数が10000を越えた場合は、共通電話帳のコピーは行いません。ただし、登録数が10000以下だった場合はコピーを行います。

コマンド番号	データコピー 2/5	バージョン	V1.0~
C18		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

内線データコピーの設定を行います



「キー操作とデータ」

入力形式

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

SC 指定 (ｺｰ-元/ｺｰ-先)

コピー元、およびコピー先の収容位置 SC (0100 ~1901) を 10 キーで指定します。

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

「関連機能番号」

<注意事項>

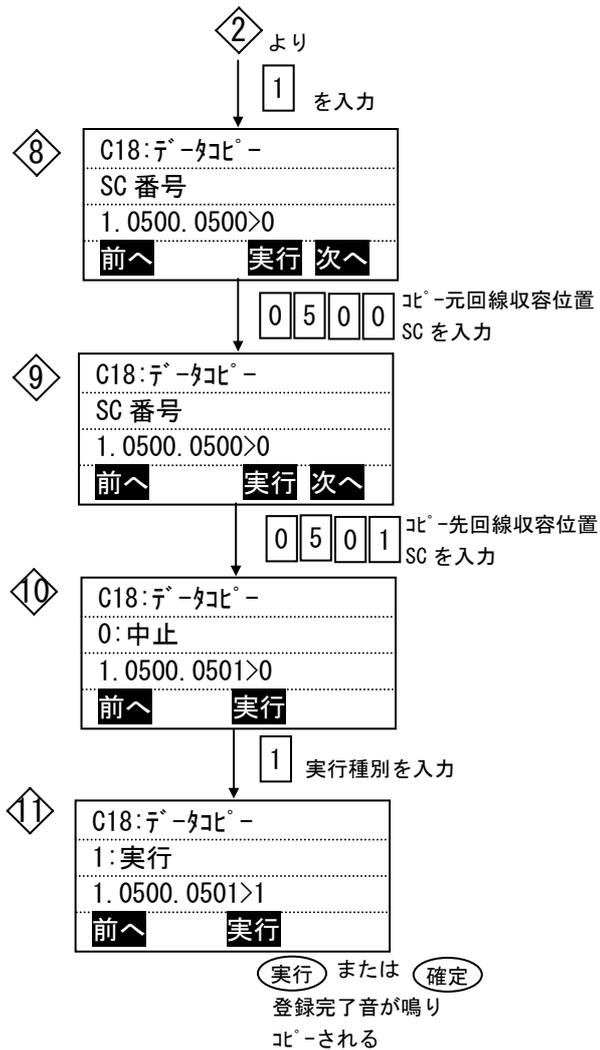
注. 内線データコピー対象のデータ番号は「3章-4. データ番号別設定一覧表」参照

コマンド番号	データコピー 3/5	バージョン	V1.0~
C18		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

回線データコピーの設定を行います



「キー操作とデータ」

SC 指定 (コピー元/コピー先)

コピー元、およびコピー先の収容位置 SC (0100 ~1899、3000~3191) を 10 キーで指定します。

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

「関連機能番号」

<注意事項>

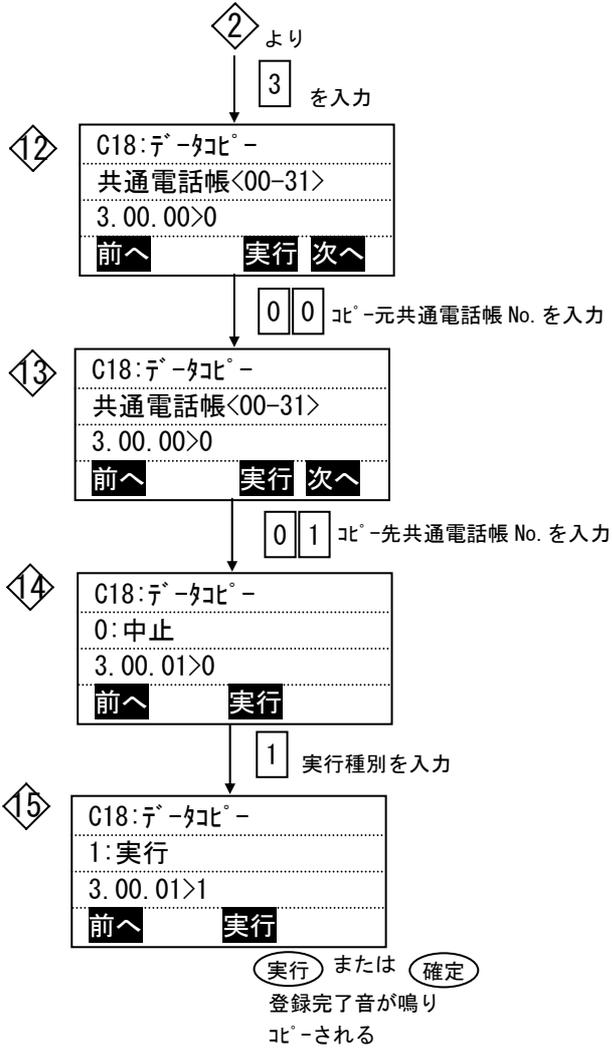
- ※ 注1. タイトル対応SC (SC2000~2299) はビブされません。
- 注2. 回線データコピー対象のデータ番号は「3章-4. データ番号別設定一覧表」参照

コマンド番号	データコピー 4/5	バージョン	V1.0~
C18		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

共通電話帳のデータコピーの設定を行います



「キー操作とデータ」

共通電話帳 No. (コピー元/コピー先)

コピー元、およびコピー先の共通電話帳番号 (00~31) を 10 キーで指定します。

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

「関連機能番号」

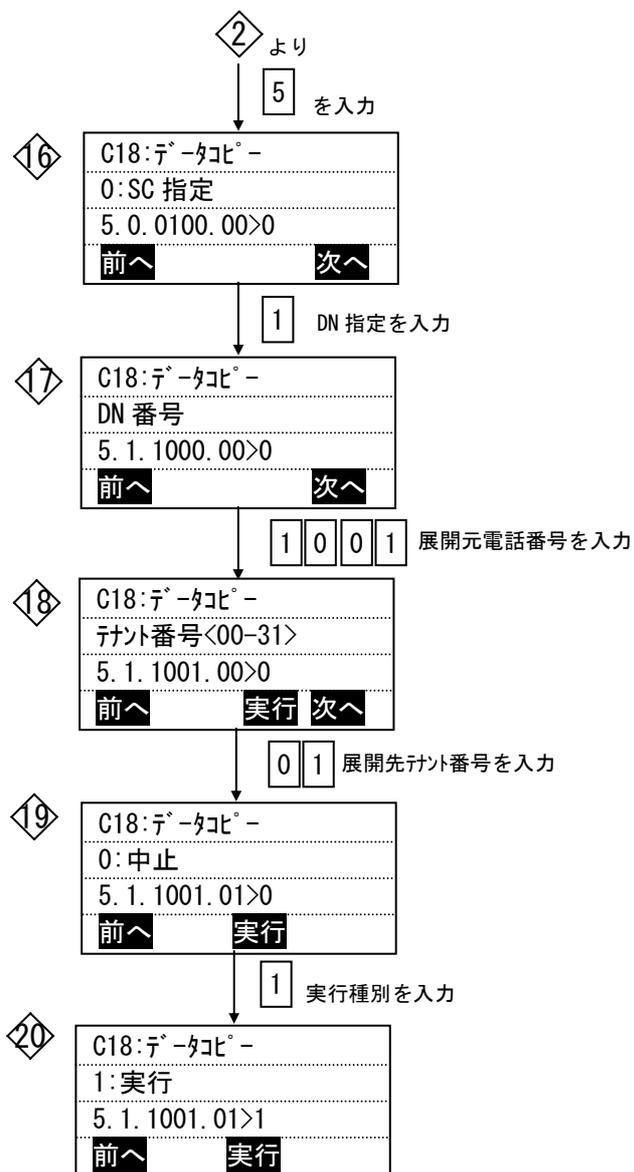
<注意事項>

コマンド番号	データコピー 5/5	バージョン	V1.0~
C18		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

内線 1001 のオートダイヤルボタンデータのテナント 01 への展開を行います



実行 または 確定  
登録完了音が鳴り  
止-される

「キー操作とデータ」

16

SC/DN 指定(展開元)

展開元端末の収容位置 SC(0100~1901)または DN 番号を 10 キーで指定します。

17

テナント指定(展開先)

展開先のテナント番号(00~31)を 10 キーで指定します。

18

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

19

20

「関連機能番号」

<注意事項>

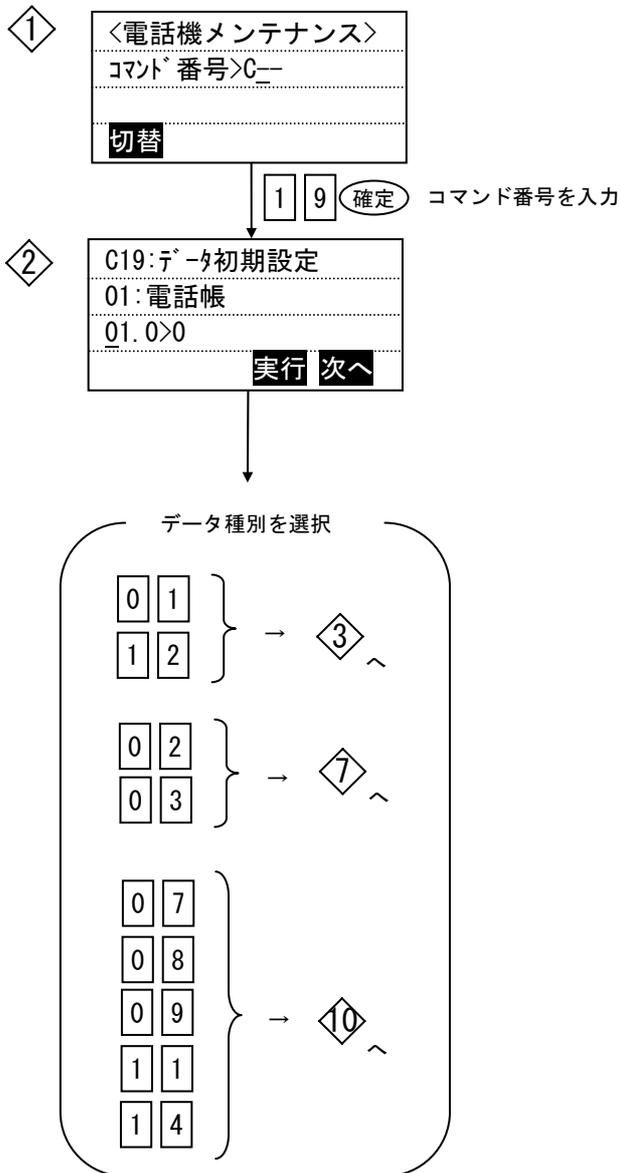
このページは白紙になります。

コマンド番号	データ初期設定 1/5	バージョン	V1.0~
C19		データ更新条件	システム

<データ設定概要>  
指定データの初期設定をします

<操作例>

データの初期設定を行います。



「キー操作とデータ」

データ種別

10キー	データ名称
01	電話帳
02	ワンタッチ
03	オートダイヤルデータ
07	内線番号全クリア
08	特番全クリア
09	特番部分クリア
11	MBX番号データ全クリア<v1.1>
12	発着履歴
14	着信拒否全クリア

②

「関連機能番号」

<注意事項>

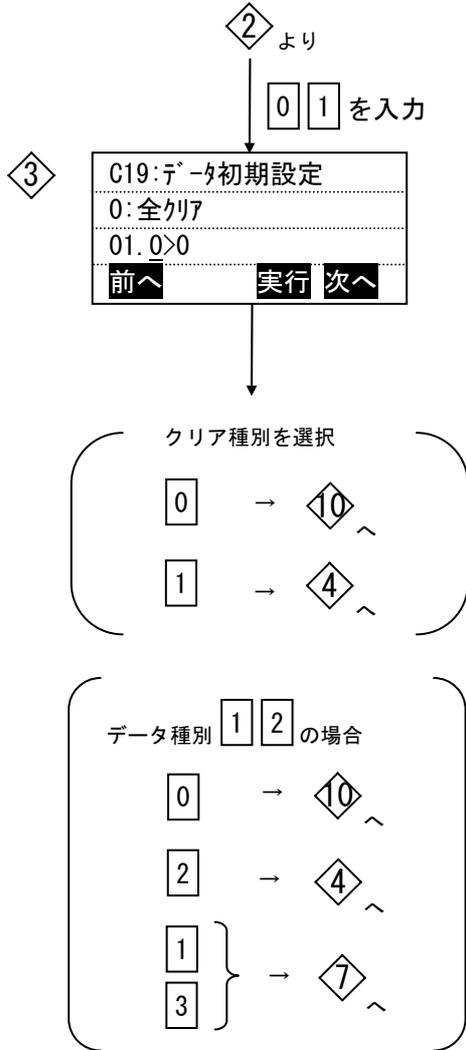
- 注1. 特番部分クリアの初期化で、内線:1000~2999の4桁、ダイヤル0:方路0の回線捕捉として設定されます。
- 注2. 11:MBX番号データ全クリアは登録されているMBXのうち1つでも録音情報がある場合、他のMBX番号もすべてクリアされません。

コマンド番号	データ初期設定 2/5	バージョン	V1.0~
C19		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

データの初期設定を行います。



「キー操作とデータ」

③

クリア種別

01:電話帳クリアの場合

10キー	データ名称
0	全クリア
1	指定共通電話帳クリア
2	指定個別電話帳クリア<v1.4>

12:発着履歴クリアの場合

10キー	データ名称
0	全クリア
1	指定発着履歴クリア
2	指定共通着履歴クリア
3	指定個別着履歴クリア

「関連機能番号」

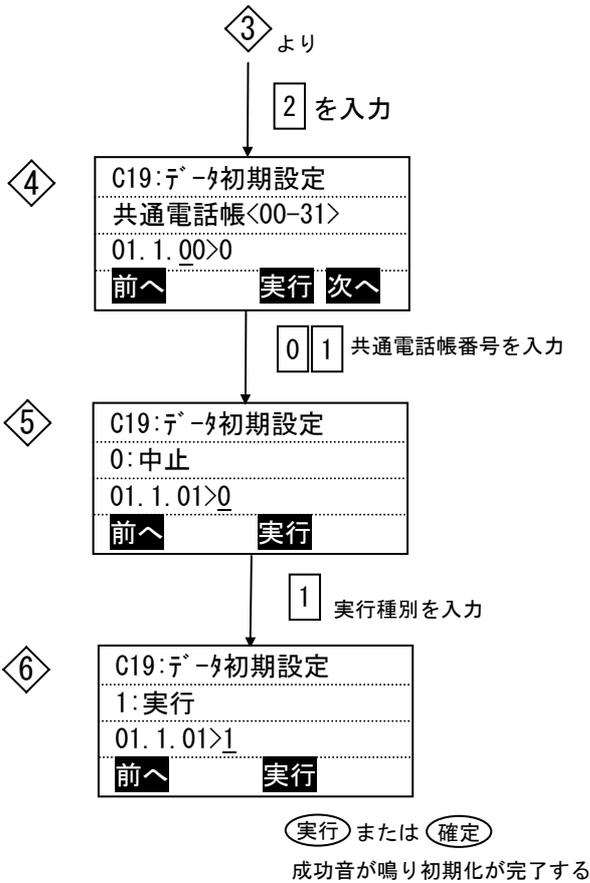
<注意事項>

バージョン	V1.0~
コマンド番号	データ初期設定 3/5
データ更新条件	システム
C19	

<データ設定概要>

<操作例>

データの初期設定を行います。



「キー操作とデータ」

4

**共通電話帳番号**

対象の電話帳番号(00~31)を 10 キーで指定します。

5

**実行種別**

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

6

「関連機能番号」

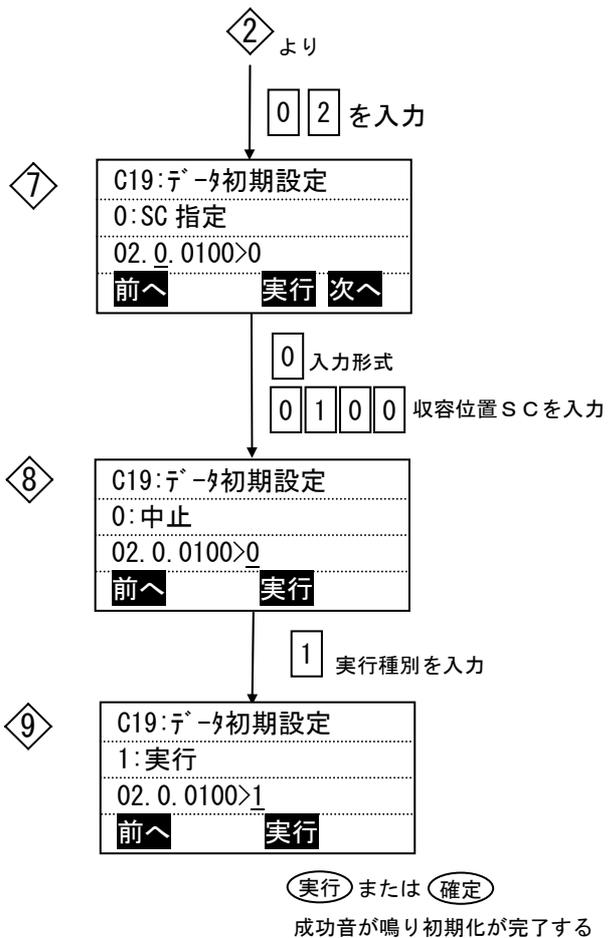
<注意事項>

コマンド番号	データ初期設定 4/5	バージョン	V1.0~
C19		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

<操作例>

データの初期設定を行います。



「キー操作とデータ」

SC/DN 指定

10 キー	データ内容
0	SC 指定
1	DN 指定

SC/DN 番号

対象端末の收容位置 SC(0100~1899/3000~3191)もしくは内線番号1~4桁を、10 キーで指定します。

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

⑦

⑧

⑨

「関連機能番号」

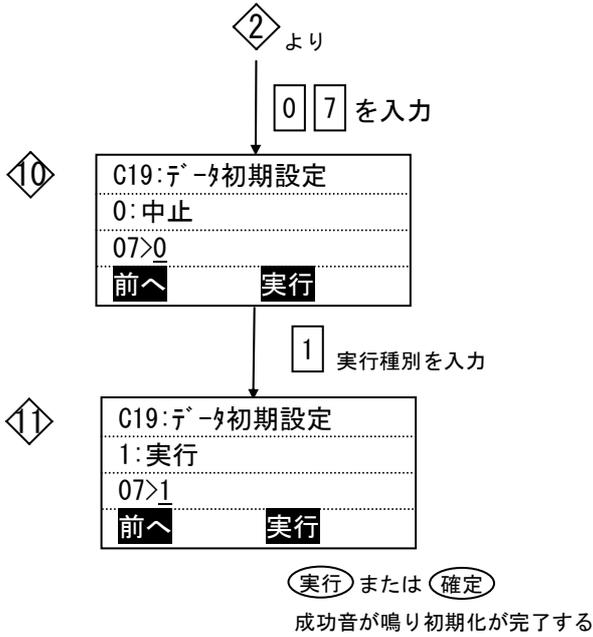
<注意事項>

バージョン	V1.0~
コマンド番号	データ初期設定 5/5
データ更新条件	システム
C19	

<データ設定概要>

<操作例>

データの初期設定を行います。



「キー操作とデータ」

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

10  
11

「関連機能番号」

<注意事項>

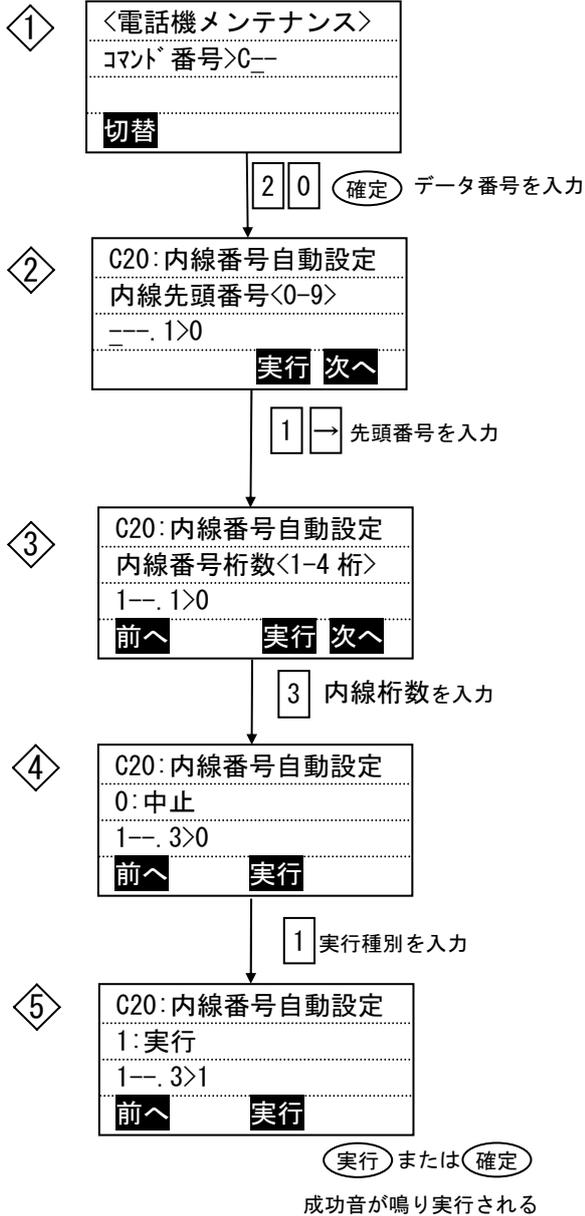
バージョン	V1.0~
コマンド番号	内線番号自動設定
データ更新条件	システム
C20	

<データ設定概要>

内線番号の先頭番号と内線番号桁数を指定することより、内線番号を自動作成する。

<操作例>

内線番号自動設定の設定をおこないます



「キー操作とデータ」

内線番号自動設定範囲

—	範囲
内線先頭番号	0-9
内線番号桁数	1-4

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

②  
③  
④  
⑤

「関連機能番号」

<注意事項>

注1. 内線先頭桁にはD300にて内線番号として設定されているものを入力してください。

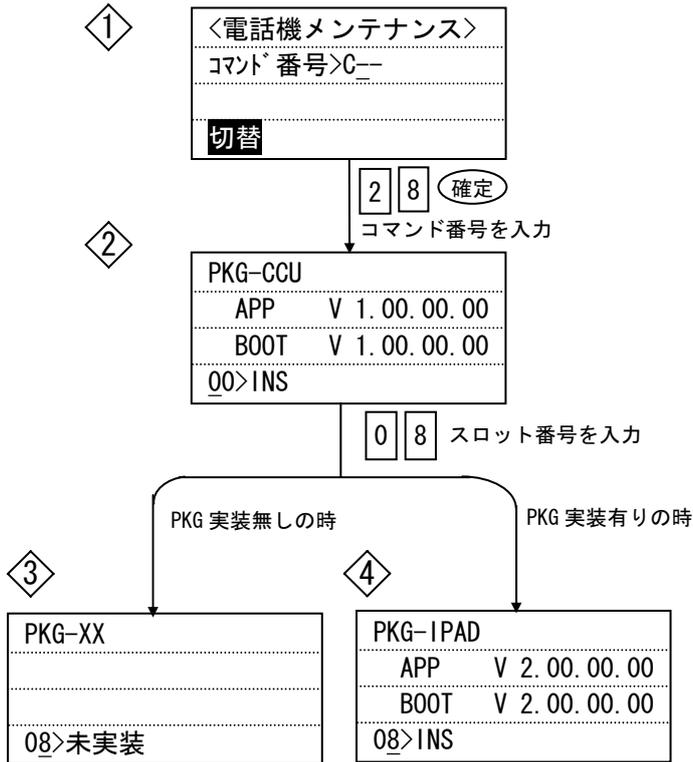
コマンド番号	PKG 状態表示	バージョン	V1.0~
C28		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

パッケージの状態およびバージョンを表示する。

<操作例>

スロット番号 08 の PKG の状態表示を行います。



「キー操作とデータ」

スロット番号

-	範囲
スロット番号	00-24

- 00 の場合、CCU の情報を表示
- 20 の場合、DSP の情報を表示
- 21 の場合、DSP の情報を表示
- 22 の場合、IPGW の情報を表示
- 23 の場合、固定ゲイタスの情報を表示
- 24 の場合、固定 MIDI の情報を表示

状態表示

意味	PKG 状態表示
対象外 PKG (その他状態)	---
PKG 未実装	未実装
PKG INS	INS
PKG OUS (障害中)	OUS
PKG 試験中	試験中
PKG OUS 閉塞中	OUS 閉塞中

バージョン表示

-	バージョン表示
APP	アプリケーションバージョン情報
BOOT	ブートバージョン情報<V1.1>

- パッケージ状態が、対象外 PKG /PKG 未実装/ PKG OUS (障害中) の場合は、バージョン表示は行いません。

「関連機能番号」

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	
	システム

コマンド番号	SC→IFG 表示
C29	

<データ設定概要>  
 ISDN 回線データ設定時に必要な SC と IFG の対応を表示する。

<操作例>  
 スロット 11 の 4BR1900 の 4 回路目の IFG を求めます。

```

graph TD
  A["① <電話機メンテナンス>  
コマンド番号>C-  
切替"] -- "2 9 確定 コマンド番号を入力" --> B["② C29: SC->IFG 変換  
SC 番号  
0500>00"]
  B -- "1 1 0 4 SC 番号を入力" --> C["③ C29: SC->IFG 変換  
SC 番号  
1104>02"]
  C --- D["IFG 表示処理"]
  
```

「キー操作とデータ」  
 SC 番号  
 SC 番号 (0100~1899) を 10 キーで指定します。

②

③

「関連機能番号」

<注意事項>  
 注1. ISDNパッケージ収容以外のSCを指定するとエラーとなります。



バージョン	V1.0~
データ更新条件	
	システム

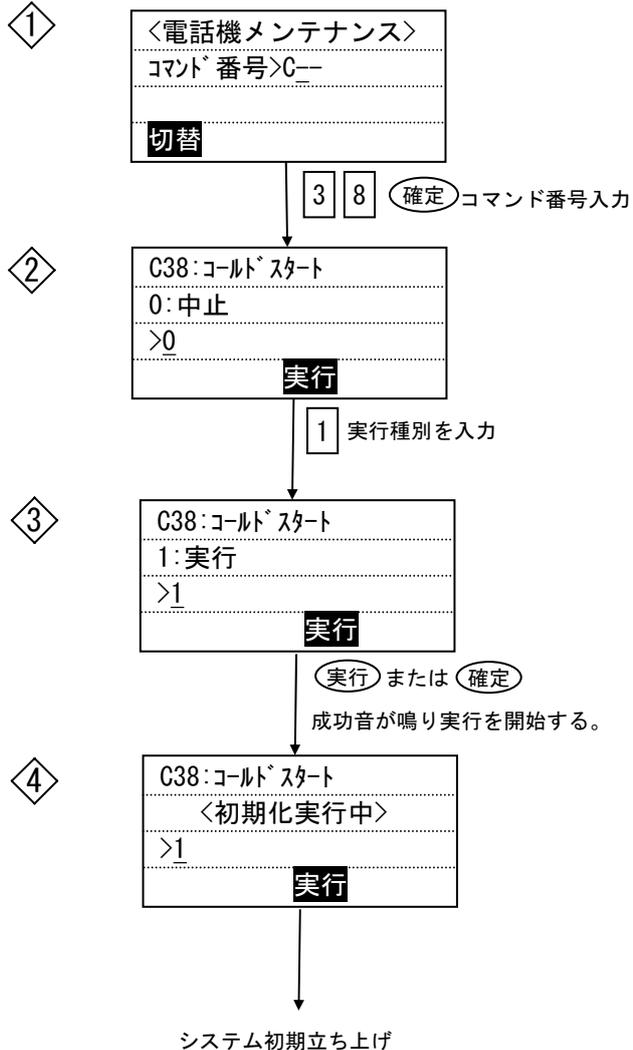
コマンド番号	C38	コールドスタート(初期化)

<データ設定概要>

システムの初期化を行う。運用には注意すること  
(システムが停止し、時計、全データを初期化して再稼動する)

<操作例>

コールドスタートを実行します。



「キー操作とデータ」

②

実行種別

10キー	データ内容
0	中止
1	実行

③

実行を行うと、設定は各データ番号のデフォルト値になります。

「関連機能番号」

<注意事項>

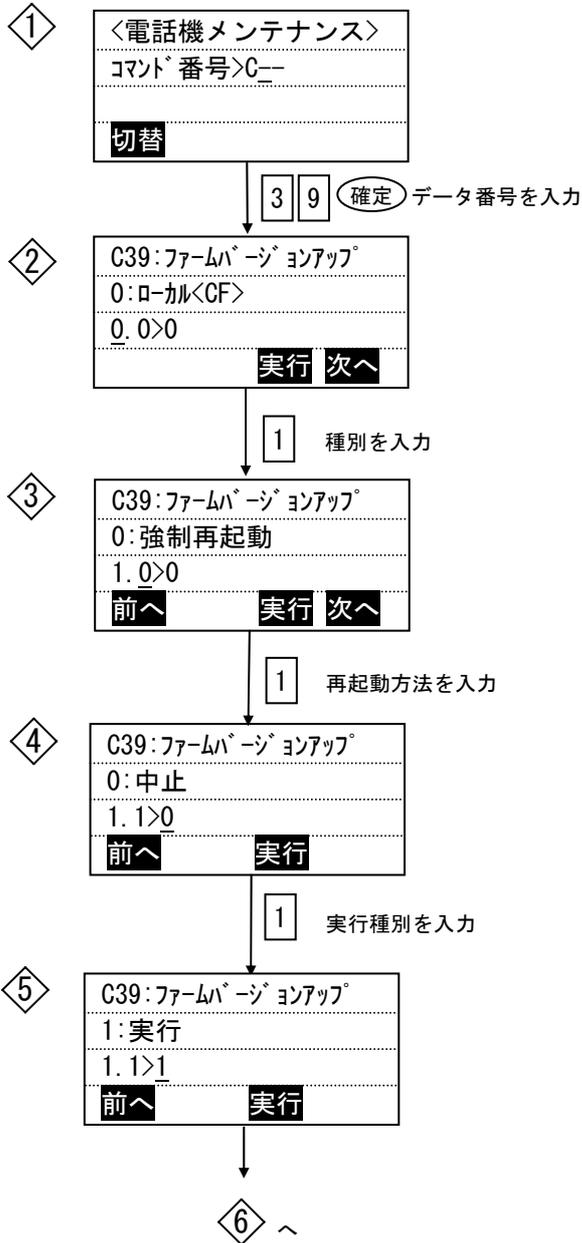
注1. 本コマンドは主装置の初期化スイッチが初期化側またはバックアップ側にかかわらずサービスデータは初期化されます。

コマンド番号	ファームウェアバージョンアップ 1/2	バージョン	V1.0~
C39		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

ファームウェアのバージョンアップを行う。

<操作例>



「キー操作とデータ」

種別

10 キー	処理種別
0	ローカル<CF>
1	リモート<外部 FTP サーバ>

※ローカルの場合 CF 内のシナリオファイルを参照する

※リモートの場合外部 FTP サーバからシナリオファイルを取得する

再起動方法

10 キー	データ内容
0	強制再起動
1	システム閉塞後再起動

データを入力

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

②

③

④

⑤

「関連機能番号」

- 1124: ファームウェアのバージョンアップ (ローカル)
- 1125: ファームウェアのバージョンアップ (リモート)

<注意事項>

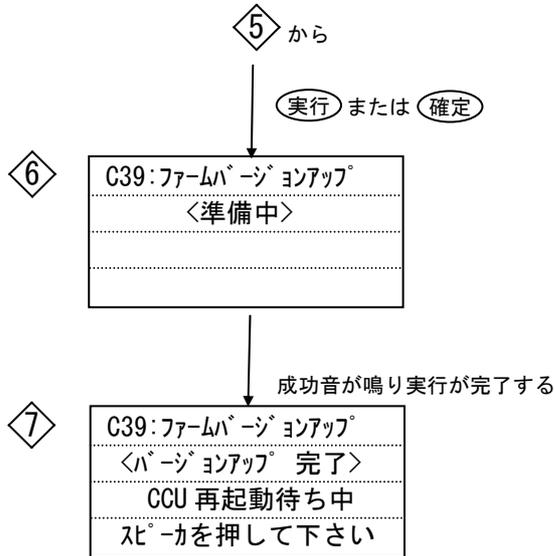
- 注 1. 強制再起動は、リストア作業が完了次第、主装置リセットを行います。通話中の端末に対しては通話が切れてしまいますのでご注意ください。
- システム閉塞後再起動は、リストア作業が完了後に全回線・全端末が空きの状態になったら主装置リセットを行います。また再起動待ち中は、メンテナンス作業やサービスメニューキーからの登録作業やリモート PC/WEB からのログインはできません。これだネットへの接続も出来ません。
- IP 標準電話機<v1.1>をバージョンアップする場合、他ファームウェアと同時にバージョンアップしないでください。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム
コマンド番号	ファームウェアバージョンアップ 2/2
C39	

<データ設定概要>

ファームウェアのバージョンアップを行う。

<操作例>



「キー操作とデータ」

途中経過・結果表示

6	<準備中>	送信準備中表示
	<シリアル取得中>	更新用シリアルファイルを取得中表示
	<プログラム取得中>	CCU/DSP/SUB/IPU/GWU/IPKT 各プログラムをサーバ/CFより取得中表示
	<プログラム転送中>	CCU/DSP/SUB/IPU/GWU/IPKT 各プログラムの転送中表示
	<バージョンアップ完了>	更新無し/CCU・パッケージ再起動の表示
	<バージョンアップ NG>	バージョンアップ処理 NG 箇所の表示

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注 4. 「システム閉塞後再起動」指定の場合、  
 RPC-INS 回線接続中では手でオンライン DGN(v1.4)を終了してください。(オンライン DGN(v1.4)終了後、システムが閉塞完了次第再起動されます。)  
 RPC-LAN 接続中では RPC 切断待ちは行ないません。(オンライン DGN(v1.4)接続中でもシステムが閉塞完了次第再起動されます。)

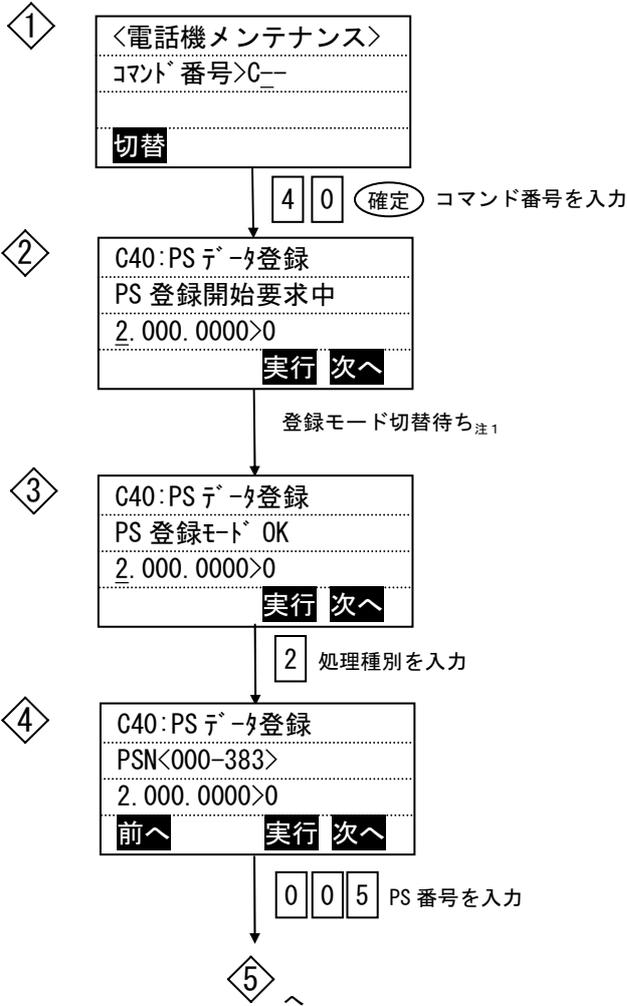
このページは白紙になります。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	システム
コマンド番号	PS データ登録 1/3
C40	

<データ設定概要>

PSデータの消去/読み込み/初期書き込み/再書き込みを行う。

<操作例>



「キー操作とデータ」

処理種別

10キー	処理種別
0	消去
1	読み出し
2	初期書き込み(初期値)
3	再書き込み

PS番号

PS番号(000~383)を10キーで入力します。

③

④

「関連機能番号」

<注意事項>

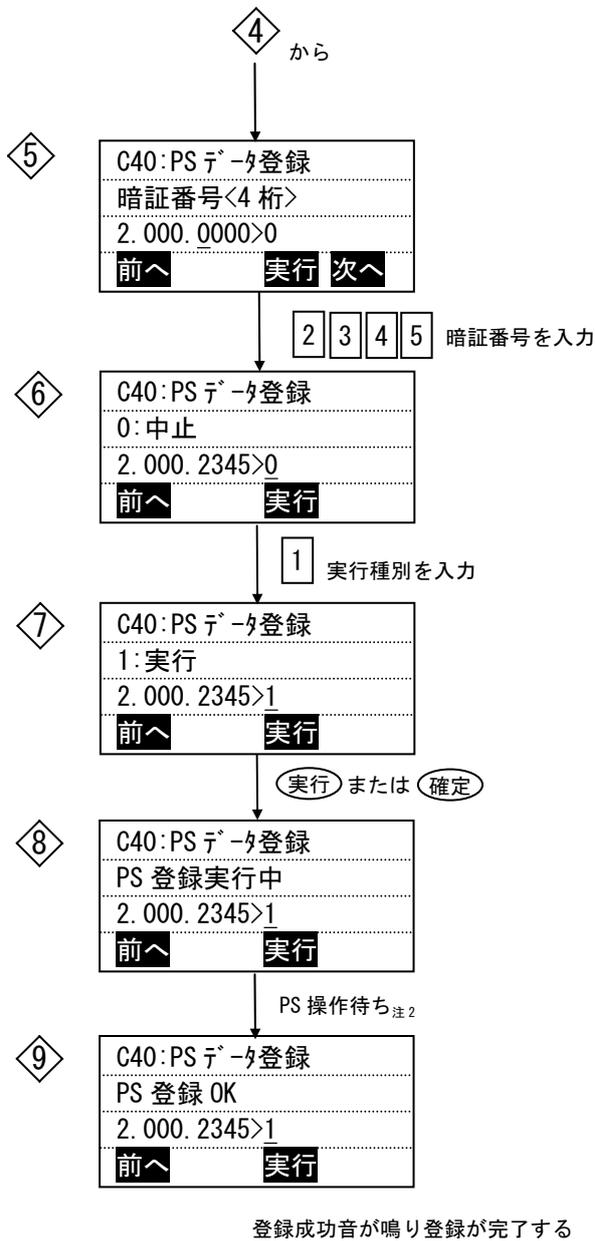
注1. ③で登録モードエラーが発生した場合、次々頁を参照してください。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	
	システム

コマンド番号	PS データ登録 2/3
C40	

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

- 5 暗証番号  
暗証番号（4桁）を10キー（0~9）で入力します。
- 6 実行種別
- 7 

10キー	データ内容
0	中止
1	実行
- 8 PS登録実行中  
5分以内にPSの登録操作をしてください。

<注意事項>

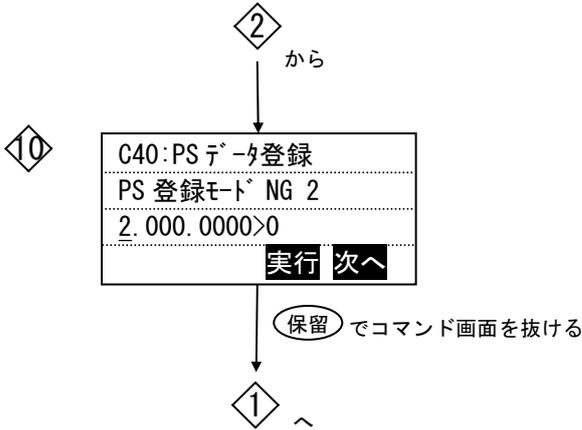
注2. 8 で登録エラーが発生した場合、次頁を参照してください。

コマンド番号	PS データ登録 3/3	バージョン	V1.0~
C40		データ更新条件	システム

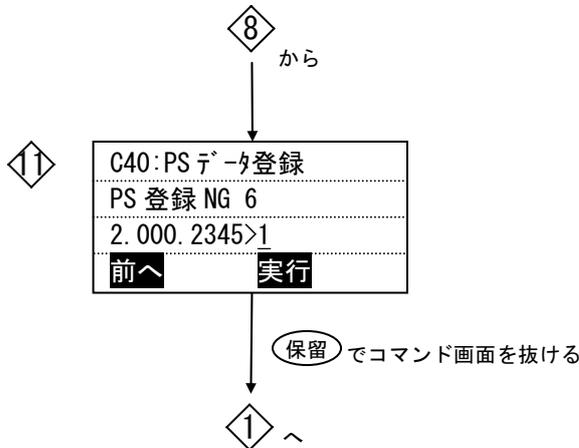
<データ設定概要>

<操作例>

登録モードエラー



登録実行エラー



「キー操作とデータ」

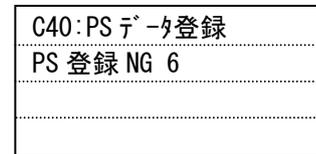
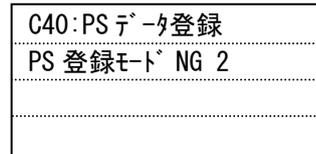
登録モードエラーコード

エラー番号	エラー内容
0	
1	CS 使用中
2	非活性またはCS 不一致
3	活性化 T.O
4	CS 状態不一致
5	登録モード解除中

登録実行エラーコード

エラー番号	エラー内容
1	PS-ID 不一致
2	暗証番号不一致
3	情報要素不足
4	チェックサムエラー
5	認証エラー
6	SO 登録状態エラー
7	SO タイムアウトエラー
8	SO データ伝送不完了
9	無線チャンネル切断完了受信
10	TX-off 検出
11	RC リセット
12	CS 状態不一致
13	登録モード解除中

⑩ ⑪ のディスプレイ表示説明



① : エラー番号

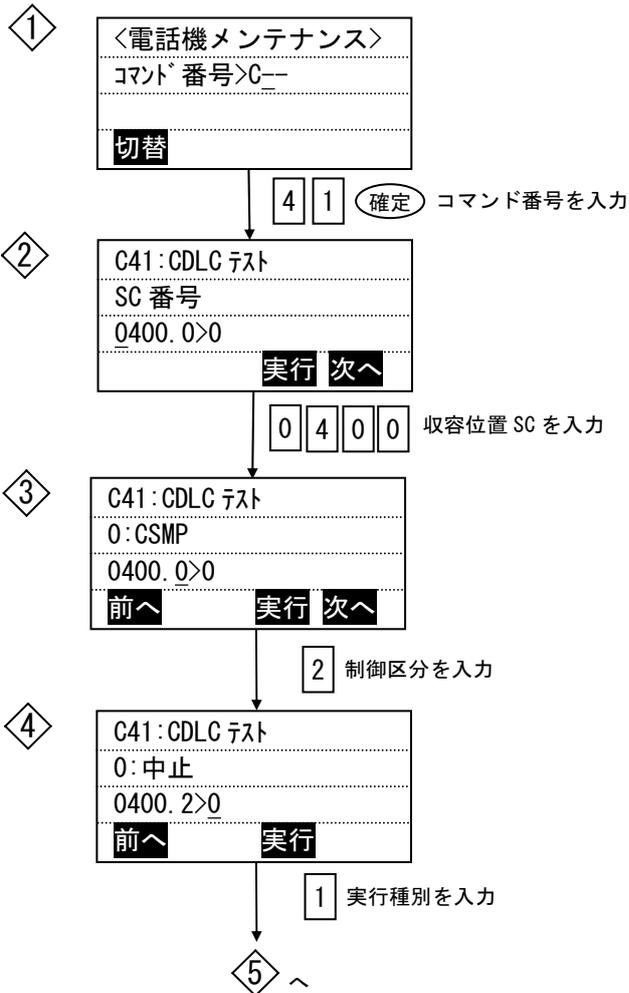
<注意事項>

		バージョン	V1.0~
コマンド番号	CDLC テスト 1/2	データ更新条件	システム
C41			

<データ設定概要>

制御区分毎のバージョン番号の読み出しを行う。

<操作例>



「入力形式選択」

本設定は SC 形式のみでの設定となります。

「キー操作とデータ」

SC 番号指定

SC 番号の指定を 10 キーで行います。

制御区分

10 キー	制御区分
0	CSMP
1	CSSP1
2	CSSP2
3	CS1
4	CS2
5	CS3
6	CS4
7	DPRAM

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

④

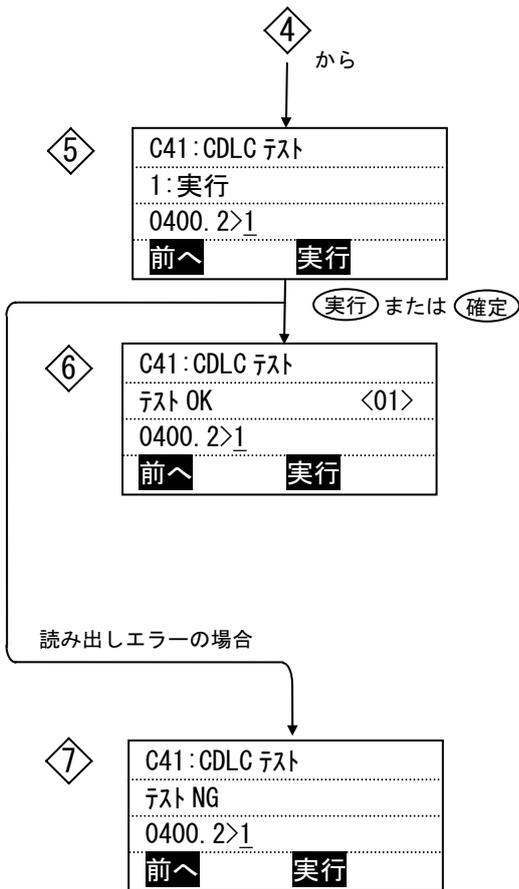
「関連機能番号」

<注意事項>

		バージョン	V1.0~
コマンド番号	CDLC テスト 2/2	データ更新条件	システム
C41			

<データ設定概要>

<操作例>



「キー操作とデータ」

⑤

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

<注意事項>

バージョン	V1.0~
データ更新条件	CS 毎

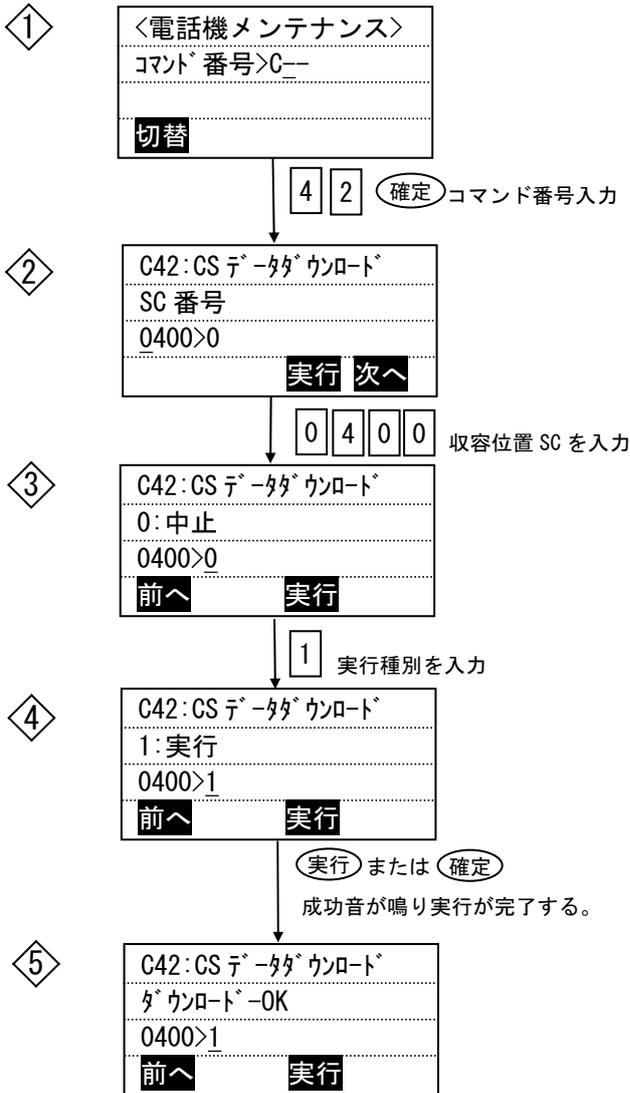
コマンド番号	C42
--------	-----

## CS データダウンロード

### <データ設定概要>

データ番号 412, 430 で作成された CS データ (FER しきい値と付加 ID) を CS ヘダダウンロードする。

### <操作例>



### 「キー操作とデータ」

② SC 番号  
SC 番号 (0100~1899) を 10 キーで指定します。

### ③ 実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

### 「関連機能番号」

1300 : システムコードレス収容

### <注意事項>

(1) 本コマンドを実行後は、CSのキヒモ抜き差しを行ってください。キヒモ抜き差しの間は5秒以上空けてください。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	
	CS 毎

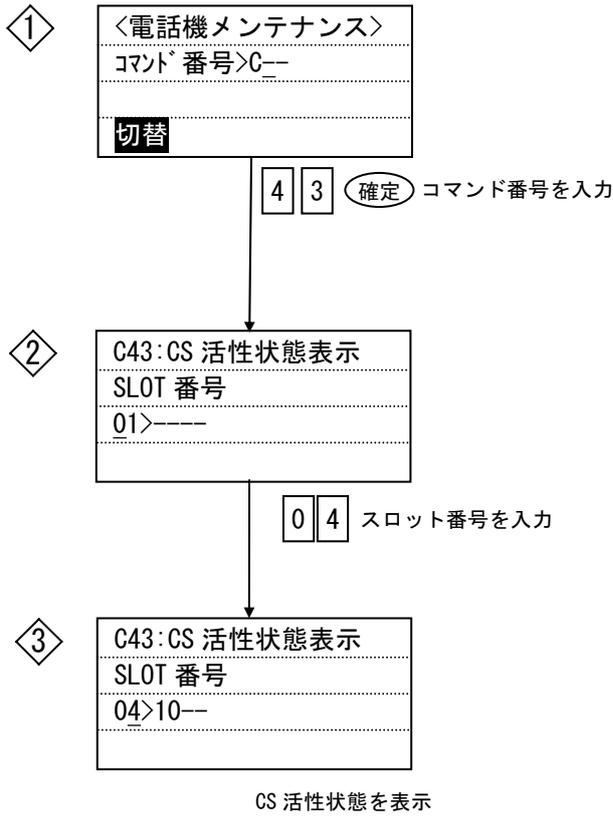
コマンド番号	CS 活性状態表示
C43	

<データ設定概要>

主装置で管理している CS 活性状態を表示する。

<操作例>

スロット番号 04 (2CDLC) の CS 活性状態の表示を行います。



②

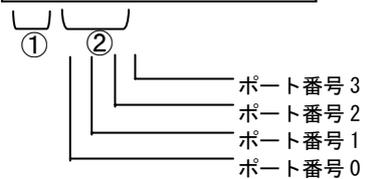
「キー操作とデータ」

スロット番号  
スロット番号を 10 キーで指定します。

③

「活性状態表示の詳細」

C43: CS 活性状態表示
SLOT 番号
04>10--



① : スロット番号  
② : CS 活性状態表示  
(0 : 非活性 / 1 : 活性 / - : 未実装)

「関連機能番号」

1300 : システムコードレス収容

<注意事項>

注1. このデータ番号の機能は表示のみであり、状態を変更するための設定操作は行えません。

バージョン	V1.0~
データ更新条件	
	システム

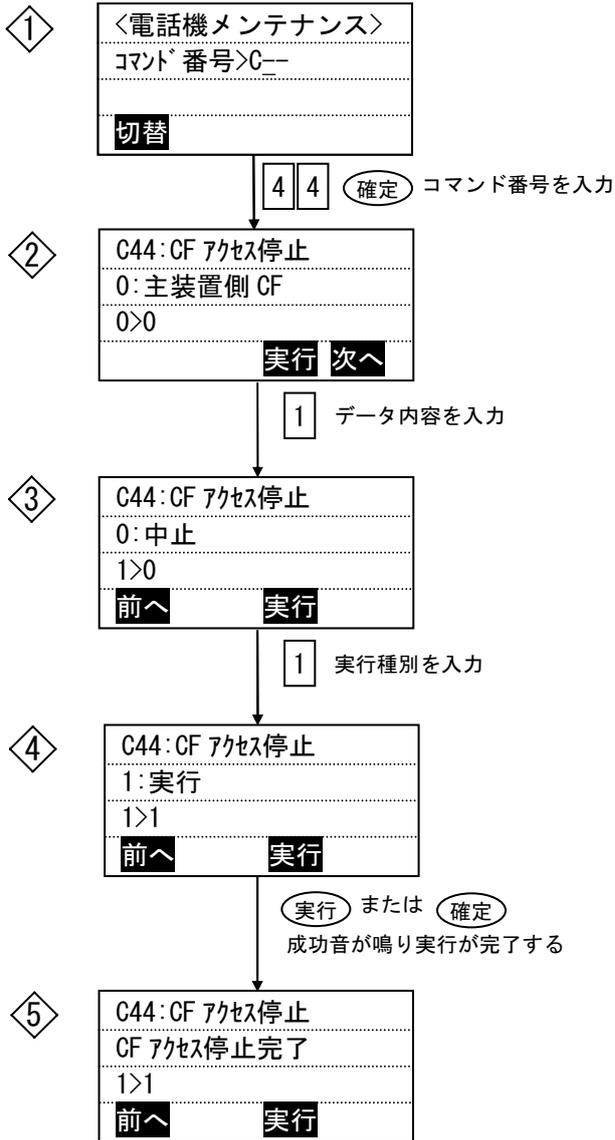
コマンド番号	CF アクセス停止
C44	

<データ設定概要>

主装置側の CF もしくは DSP 側の CF を停止させる事が出来る。

<操作例>

DSP 側 CF のアクセス停止を行います。



「キー操作とデータ」

CF 項目

10 キー	
0	主装置側 CF
1	DSP 側 CF

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

②

③

④

「関連機能番号」

<注意事項>

注1. 停止させる前にCFをはずした場合、CFに読み書きしているデータは保証できません。ご注意ください。

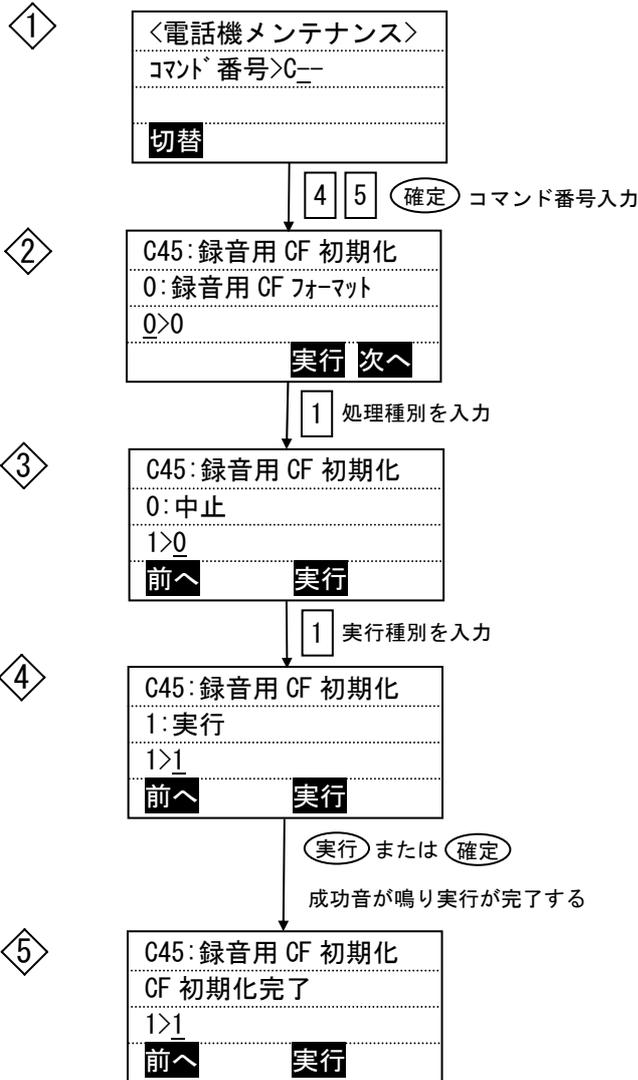
コマンド番号	録音用 CF 初期化	バージョン	V1.2~
C45		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

録音用 CF の初期化を行う。

<操作例>

録音用 CF から録音メッセージの消去を行います。



「キー操作とデータ」

処理種別

10 キー	データ内容
0	録音用 CF フォーマット
1	録音メッセージ消去
2	MBX 毎録音消去<v1.4>

MBX 番号

登録されている MBX 番号 1~4 桁を、10 キーで指定します。  
(処理種別 2:MBX 毎録音消去を選択の場合)

実行種別

10 キー	データ内容
0	中止
1	実行

「関連機能番号」

<注意事項>

- 注1. 「0: 録音用CFフォーマット」を実行した場合は録音用CFにあるデータはすべて消去されます
- 注2. 「1: 録音メッセージ消去」を実行した場合は、録音用CFにある録音メッセージのみの消去となります

バージョン	V1.0~
データ更新条件	
	システム

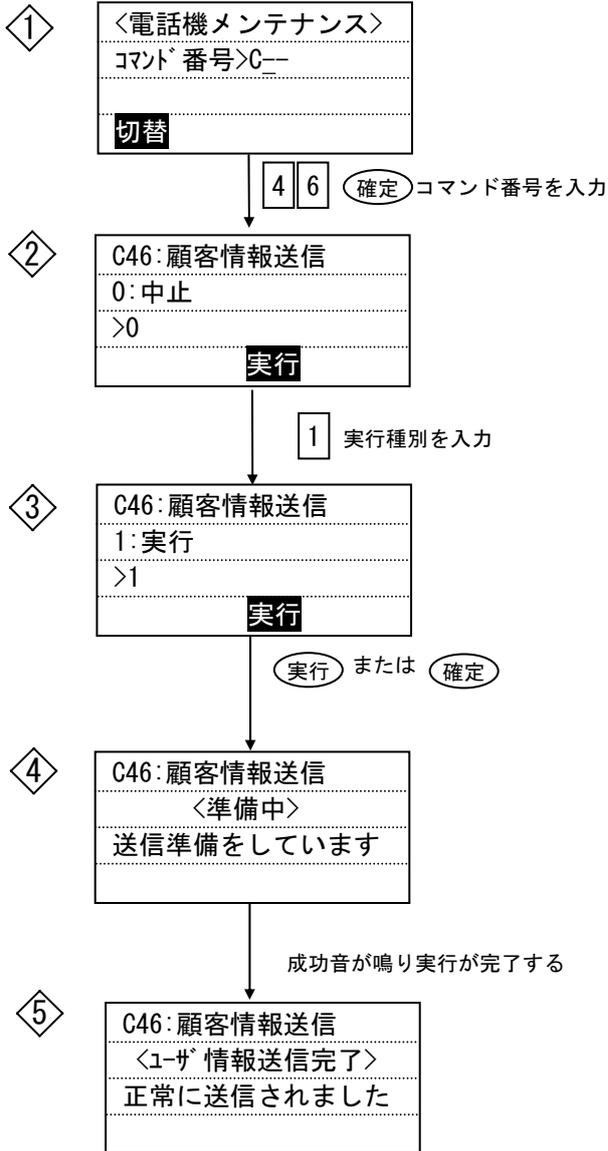
コマンド番号	顧客情報送信
C46	

<データ設定概要>

ユーザ情報をこれだねっとに送信する。

<操作例>

送信処理の実行を行います。



「キー操作とデータ」

実行種別

10キー	データ内容
0	中止
1	実行

途中経過・結果表示

<準備中>	送信準備をしています
<ユーザ情報送信送信中>	情報を送信しています
<ユーザ情報送信完了>	正常に送信されました
<ユーザ情報送信 NG>	準備 NG
	サーバ接続 NG
	送信 NG

「関連機能番号」

1117-1: ユーザ情報管理<これだねっと (KNET) 管理><V1.1>

<注意事項>

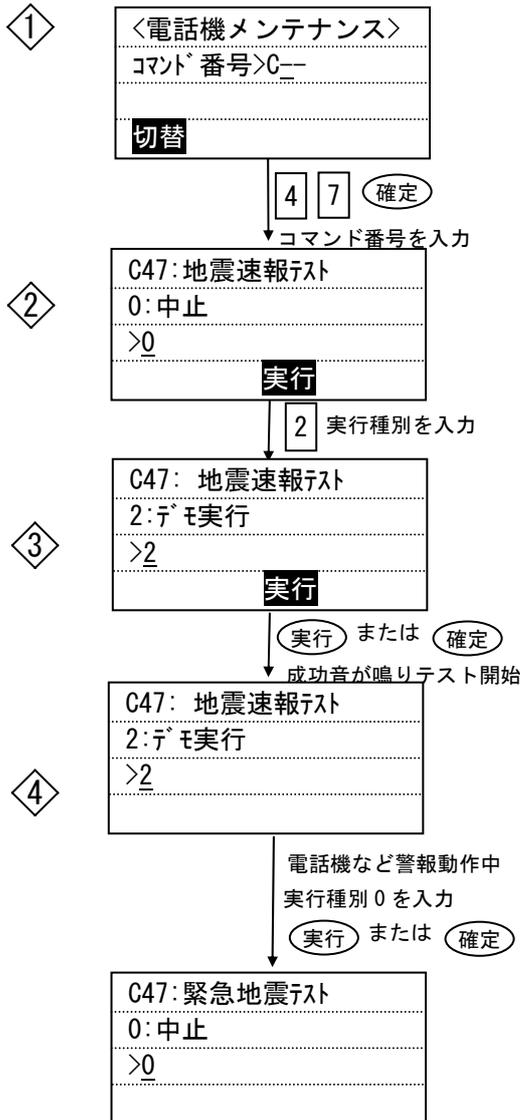
コマンド番号	地震速報テスト	バージョン	V2.0~
C47		データ更新条件	システム

<データ設定概要>

地震速報の動作をテストします。配信サーバに対してテスト電文配信を要求するモード（テスト実行）と配信サーバに接続せず地震速報表示のみ（予測震度は6強固定）を行うモード（デモ実行）があります。

<操作例>

緊急地震デモ実行を行う



「キー操作とデータ」  
実行種別

10 キー	設定
0	中止
1	テスト実行
2	デモ実行

2  
3

「関連機能番号」  
0627：緊急地震速報

<注意事項>

- 注1. テスト実行は、配信サーバとの接続が確立した状態で実行してください。
- 注2. D159：地震速報表示設定が表示有りの内線で地震速報テストを行うと、保守状態がキャンセルされ、速報表示に切り替わります。
- 注3. 既にテスト/デモ動作中の場合、中止は表示を止めるものではありません。

このページは白紙になります。

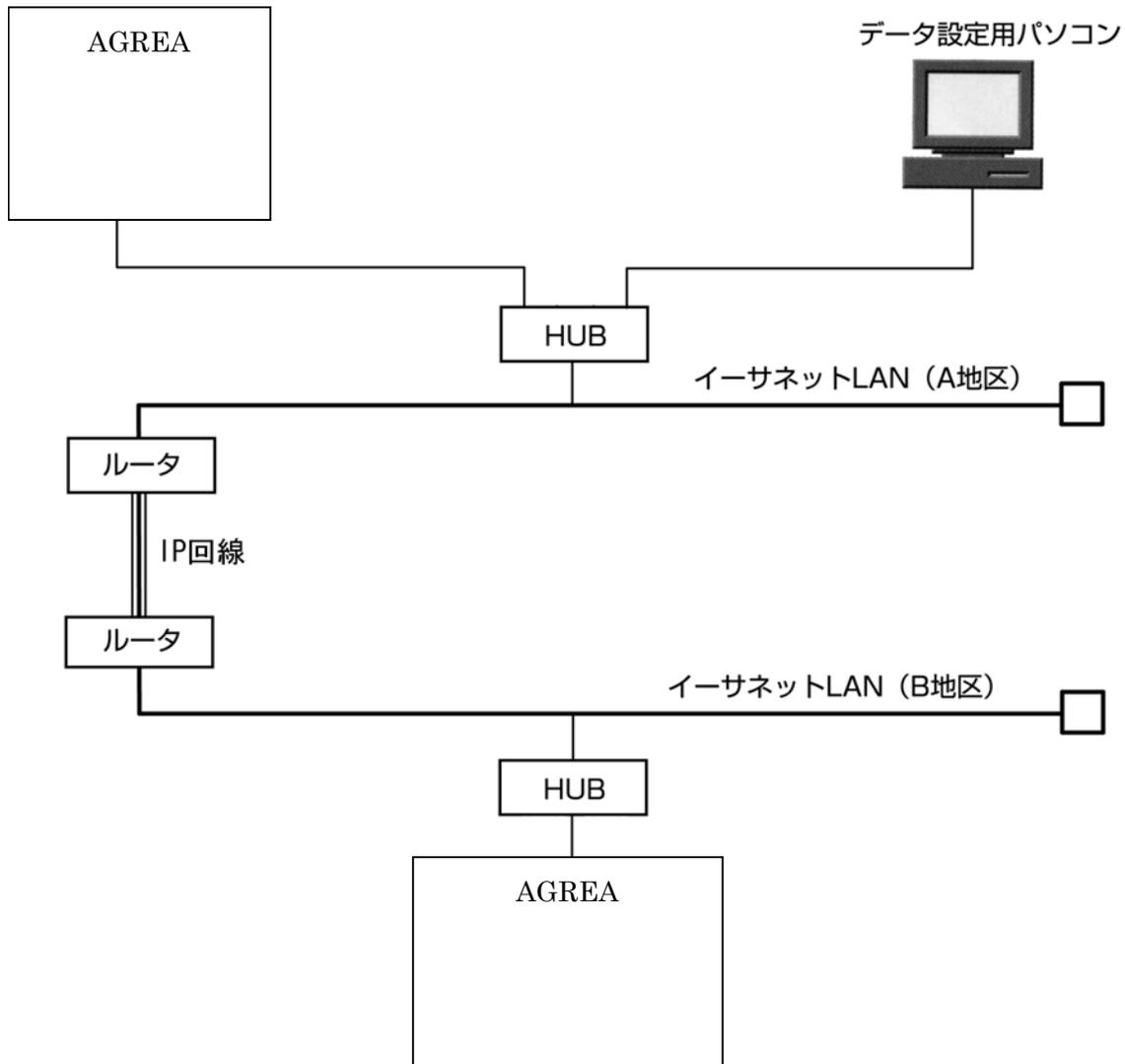
## 8. VoIPに関する設定（パソコンによる設定）

### 8-1 8IPGW900 の設定

#### 1 概要

本資料は、フュージョン・コミュニケーションズ、KDDI のいずれかの光・IP 回線（ブロードバンド回線）を本システムに収容する上で必要となる 8IPGW900 の設定データを、同一 LAN 上に接続されたパソコンからブラウザソフトを利用して、設定するための手順および設定画面について説明するものです。

ここで設定／変更できるデータは、RTP/RTCP、SIP、パスワード、LAN、USER 設定です。



## 2 データ設定にあたって

### 2-1 事前準備

データ設定にあたっては、次のものを用意してください。

◆データ設定用パソコン

- ・LAN に接続できること。

◆ブラウザソフト（推奨品）

- ・Windows 9x 系/NT/2000/XP : Internet Explorer Ver 5. x/6.0 以上、Netscape Ver 4.75/5.0

◆イーサネット LAN 接続用ケーブル（カテゴリ-5）

- ・10BASE-T/100BASE-TX ストレートケーブル

◆HUB（ハブ）

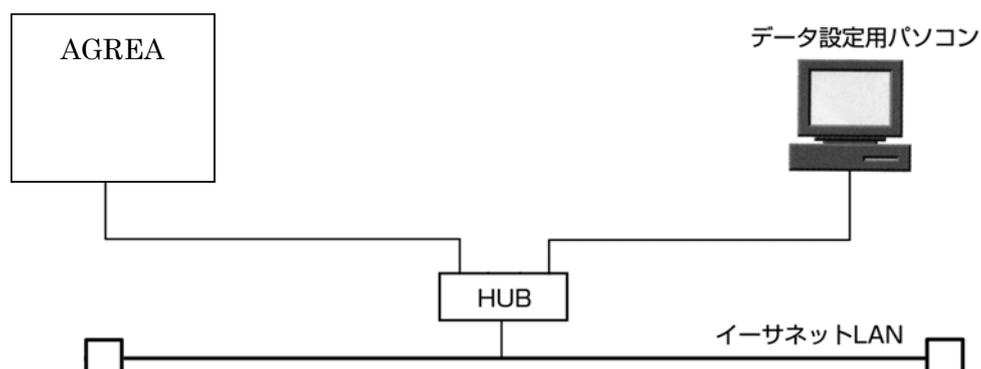
- ・必要に応じてご用意ください。

### 2-2 留意点

- (1) データ設定は、本システムのデータ番号 870 でユニット IP アドレスが割りつけられた 8IPGW900 と設定用パソコンを、LAN 上の HUB 経由で接続することにより可能となります。
- (2) デフォルト値は、基本的には変更する必要はありません。デフォルト値を変更する場合は、ネットワーク管理者と打ち合わせの上行ってください。  
(不用意に変更した場合は、通話できなくなることがあります。)
- (3) 使用するブラウザソフトが推奨品以外の場合（例えば、Windows 9x 系/NT/2000 で Netscape Ver6.0 を、Mac OS で Netscape Ver4.7 を使用）は、表示が乱れる場合があります。

## 2-3 主装置とデータ設定用パソコンとの接続

データ設定用パソコンと主装置（8IPGW900）を HUB を通して接続します。



## 2-4 データ設定用パソコン側の設定

データ設定を行う前にデータ設定用パソコンに次の設定を行ってください。

- (1) [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] を開き、実装されている LAN カードの TCP/IP の [プロパティ] を開きます。
- (2) 「IP アドレス」 タグの [IP アドレスを指定] をチェックし、本システムが所属するネットワークのアドレスを設定します。
  - ・すでに他のアドレスが設定されている場合は、変更してください。
- (3) パソコンを再起動します。
  - ・再起動後「PING」コマンド（例えば MS-DOS プロンプト）を使ってデータ設定用パソコンと主装置（8IPGW900）が LAN 上で接続されていることを確認してください。

### 【確認方法例】

MS-DOS プロンプト画面にて

「C:¥windows>ping XXX. XXX. XXX. XXX」を入力し、[Enter] キーを押すと結果が表示されます。  
(XXX. XXX. XXX. XXX は 8IPGW900 の IP アドレス)

- ・OK の場合：8IPGW900 から応答が返ってくるまでの時間表示
- ・NG の場合：タイムアウト表示

NG の場合は設定したアドレス、本システムのコマンド番号 C28 での 8IPGW900 の実装状態等を確認してください。

## 2-5 ブラウザメニューの立ち上げ方法

データ設定用パソコンのブラウザソフトを立ち上げます。ここでは、Internet Explorer で説明します。

### 操作手順

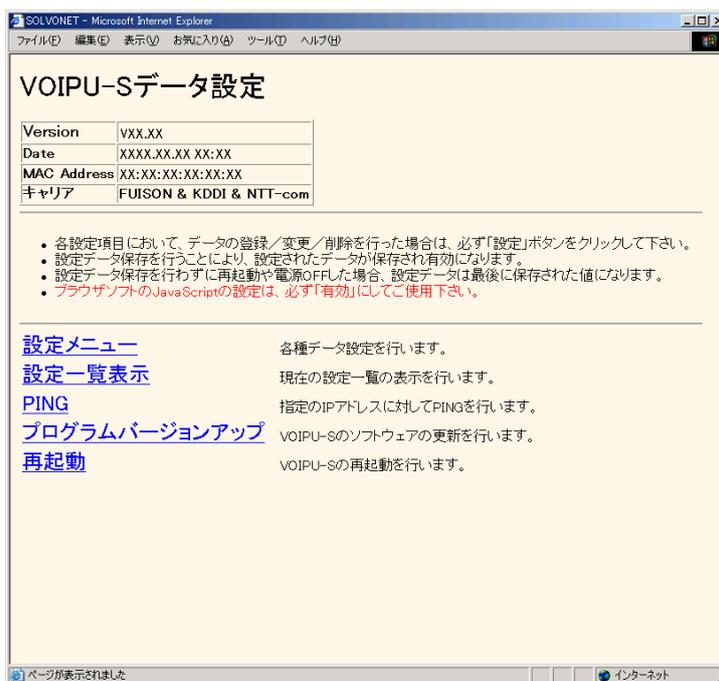
- (1) パソコンのブラウザソフトを起動します。
  - ・使用するブラウザソフトは、2-1 事前準備 (P.3-366) のブラウザソフト (推奨品) を参照してください。
- (2) ブラウザソフトの「アドレス」に本システムの『8IPGW900 の IP アドレス:50600』を入力し、[Enter] キーを押します。

(例: 8IPGW900 の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合『http://192.168.1.1:50600/』と入力してください。)

  - ・8IPGW900 の IP アドレスはデータ番号 870 で収容スロット番号にアドレスを入力します。
  - ・「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。



- (3) パスワードを入力し [OK] ボタンをクリックします。
  - ・8IPGW900 データ設定画面 (メインメニュー画面) が表示されます。
  - ・表示のメインメニュー画面は、複数キャリアに対応した場合の例です。
  - ・パスワードを変更する場合は「3-4-1-1 http パスワード設定」 (P.3-374) で設定してください。
  - ・初期パスワードはセキュリティ上記載しておりません。



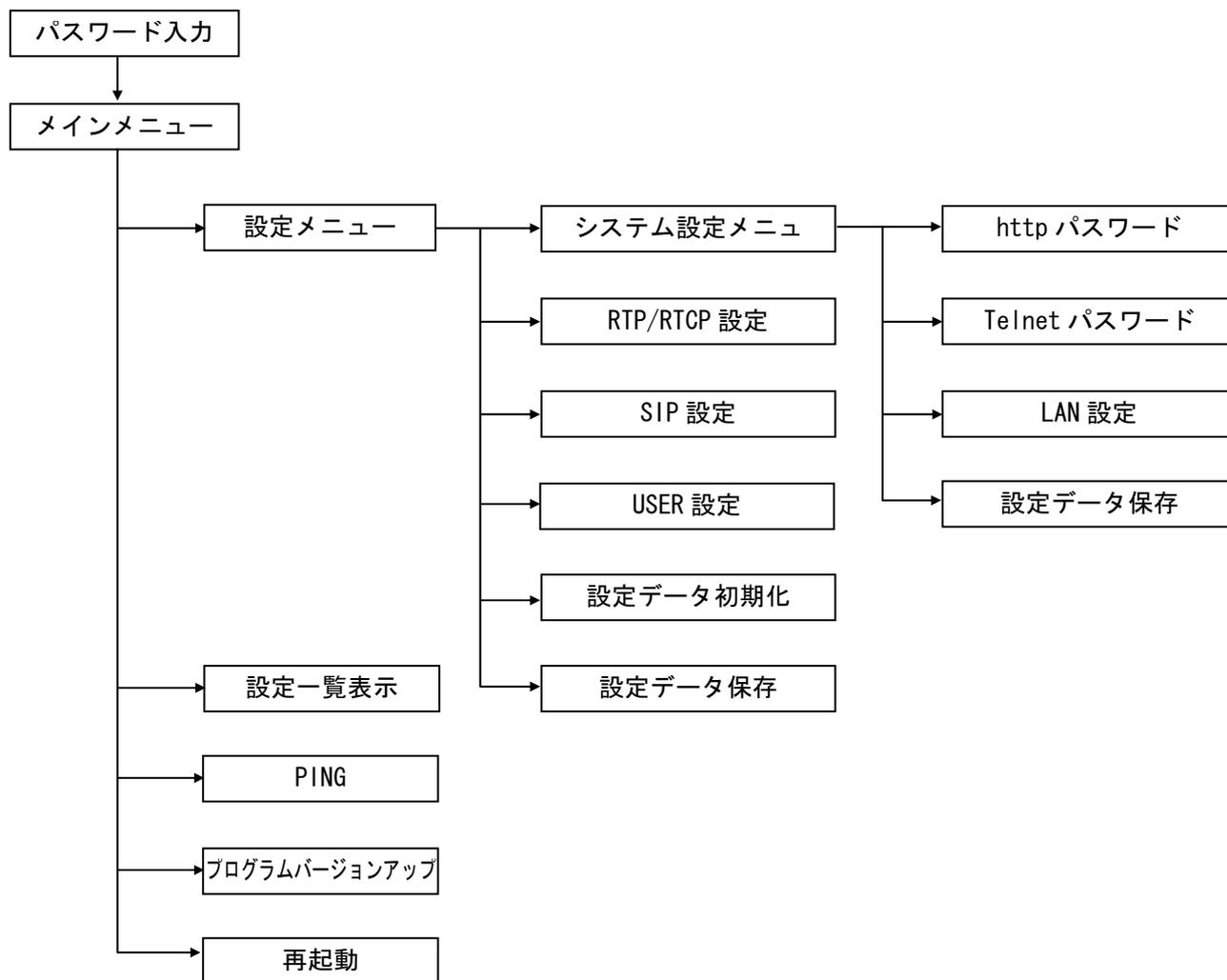
※画面上では「VOIPU-S」と表示されてますが「8IPGW900」と読み替えてください。

### 3 データ設定

LANに接続されたデータ設定用パソコンから、ブラウザソフトを使って8IPGW900の設定等を行います。ここでは、ブラウザソフトとしてInternet Explorerを使って説明します。

#### 3-1 画面の遷移と画面概要

##### 3-1-1 画面の遷移



##### 3-1-2 画面概要

###### ■メニュー画面概要

画面名称	説明
設定メニュー	各種データの設定を行う画面です。
設定一覧表示	現在の設定値を一覧で表示します。
PING	指定の IP アドレスに対して PING の送信を行います。
プログラムバージョンアップ	8IPGW900 のソフトウェアの更新を行います。 注：指定されたファイル・手順以外では操作しないでください。動かなくなる場合があります。
再起動	8IPGW900 の再起動を行います。 IP 回線使用中の場合は、IP 回線が空きになるのを待ちます。

### ■ 設定メニュー画面概要

画面名称	説明
システム設定メニュー	パスワード、ポート番号等の設定を行います。
RTP/RTCP 設定	音声に関するデータの設定を行います。
SIP 設定	SIP に関するデータの設定を行います。
USER 設定	収容するキャリア回線の設定を行います。
設定データ初期化	全てのデータを初期値に戻します。 設定されたデータは、保存することにより有効となります。
設定データ保存	設定された全てのデータを保存します。 保存されたデータは、8IPGW900 再起動後に反映されます。

### ■ システム設定メニュー画面概要

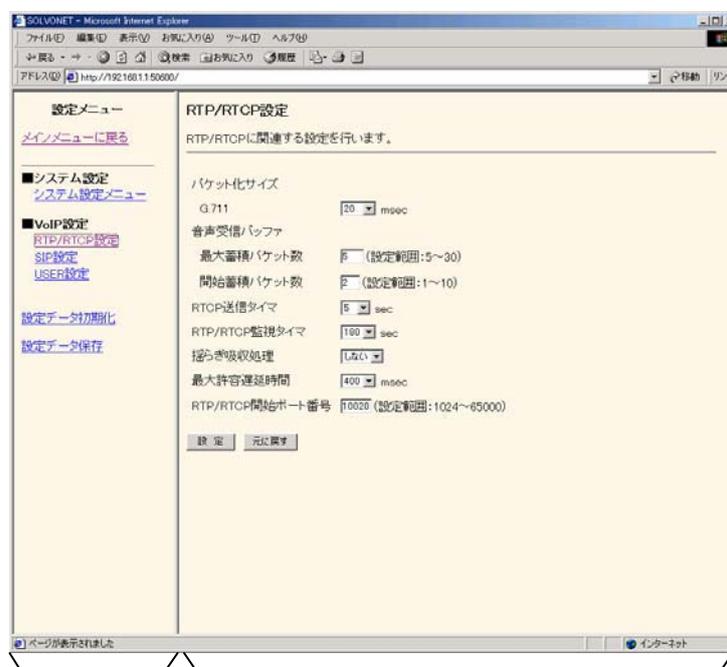
画面名称	説明
http パスワード	ブラウザにてログインするためのパスワードを設定します。
Telnet パスワード	Telnet にてログインするためのパスワードを設定します。 注：Telnet でのアクセスは、行わないでください。システムが動かなくなる可能性があります。
LAN 設定	LAN インタフェースの設定などを行います。
設定データ保存	設定された全てのデータを保存します。 保存されたデータは、8IPGW900 再起動後に反映されます。

## 3-2 設定画面の説明

データ設定を行う画面の表示領域、共通基本操作について説明します。

### 3-2-1 画面表示領域

データ設定画面の基本的なレイアウトは、次のようになっています。



データ設定項目を表示します。

設定項目および説明ならびに設定項目で指定した項目のデータ設定画面を表示します。



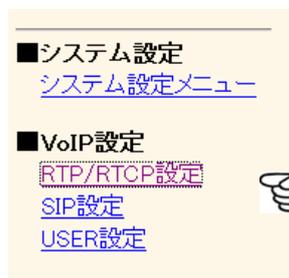
### 3-2-2 基本操作

データ設定の基本操作は、次の通りです。（画面は一例です。）

#### ■キー操作

画面を操作するキーは、各パソコンのキー操作を参照してください。

#### ■リンク



項目にカーソルをあてクリックすると、その項目の設定画面を表示します。

文字をクリックすることにより、その設定画面を表示します。

#### ■入力フィールド

文字を入力するフィールドのことです。入力できる文字、文字数は、データ設定項目を参照してください。



#### ■ボタン

##### (1) 設定ボタン



〔設定〕 ボタンを押下した場合、下記のメッセージボックスが表示されます。

##### (2) 元に戻す



〔元に戻す〕 ボタンを押下すると設定値が変更前の値に変わります。

##### (3) OK ボタン



〔OK〕 ボタンを押下するとその処理を実行します。

#### ■選択ボックス



〔▼〕 をクリック、またはフォーカスセット時にカーソルキー上下により、項目を選択します。

#### ■メッセージボックス

##### (1) エラー

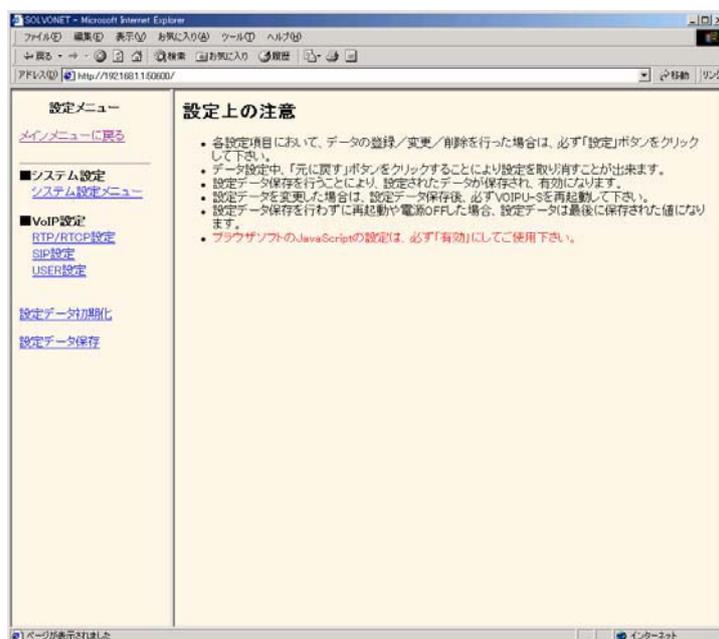


登録値が有効でない場合に表示され、再入力となります。

### 3-3 データ設定項目

「メインメニュー (8IPGW900 データ設定)」画面の「設定メニュー」をクリックすると、「設定メニュー」画面を表示します。データ設定項目は、次の通りです。

- ◆システム設定メニュー
- ◆RTP/RTCP 設定メニュー
- ◆SIP 設定
- ◆USER 設定
- ◆設定データ初期化
- ◆設定データ保存

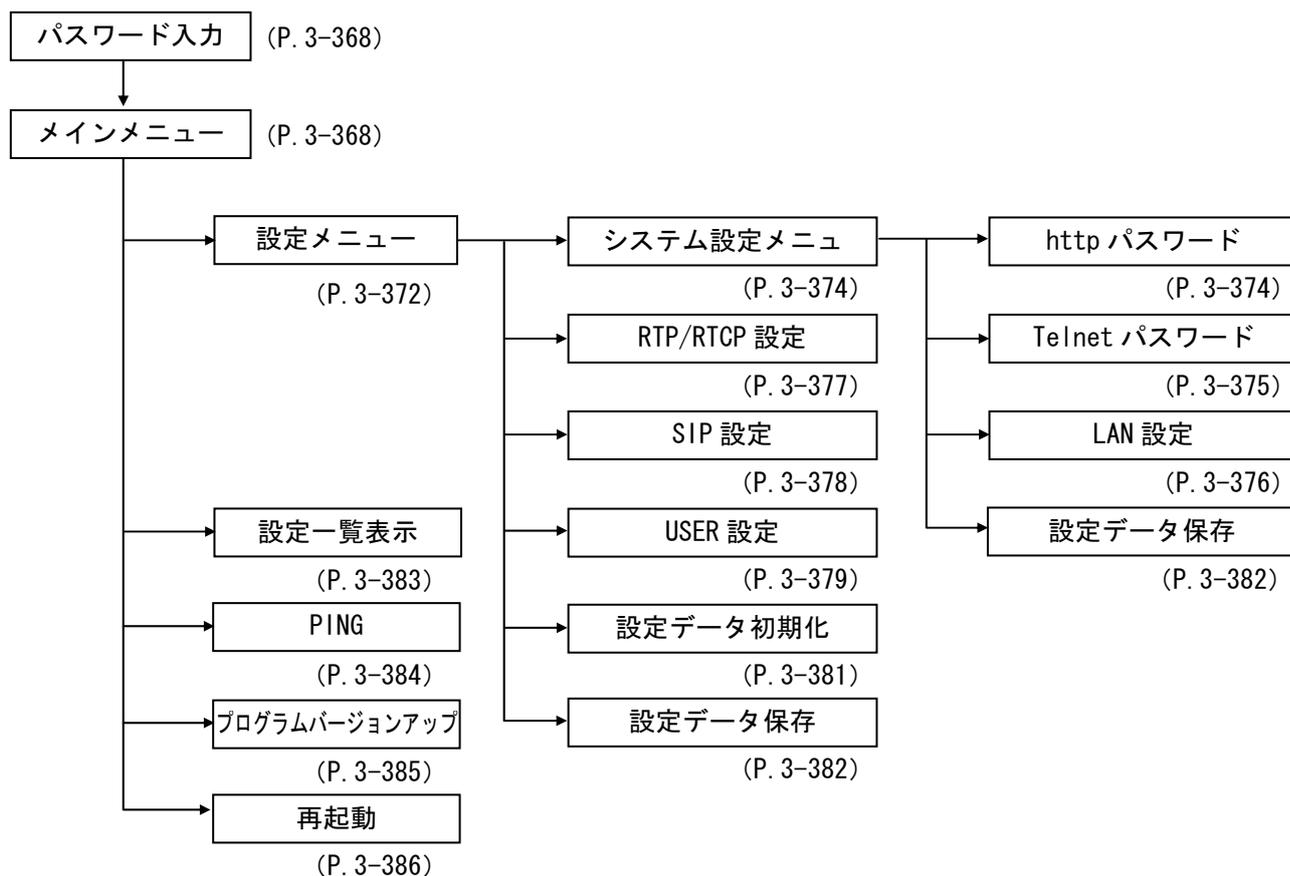


#### 3-3-1 データ設定上の注意点

データ入力を行うときは次の点に注意してください。

- (1) 初めてデータ設定する場合は、設定メニューから設定データ初期化を選択し、設定するキャリア名を指定してください。
- (2) 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
- (3) データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことができます。
- (4) 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され、有効になります。
- (5) システム設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ず 8IPGW900 を再起動して下さい。
- (6) 設定データ保存を行わずに再起動や電源 OFF した場合、設定データは最後に保存された値になります。
- (7) ブラウザソフトの JavaScript の設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

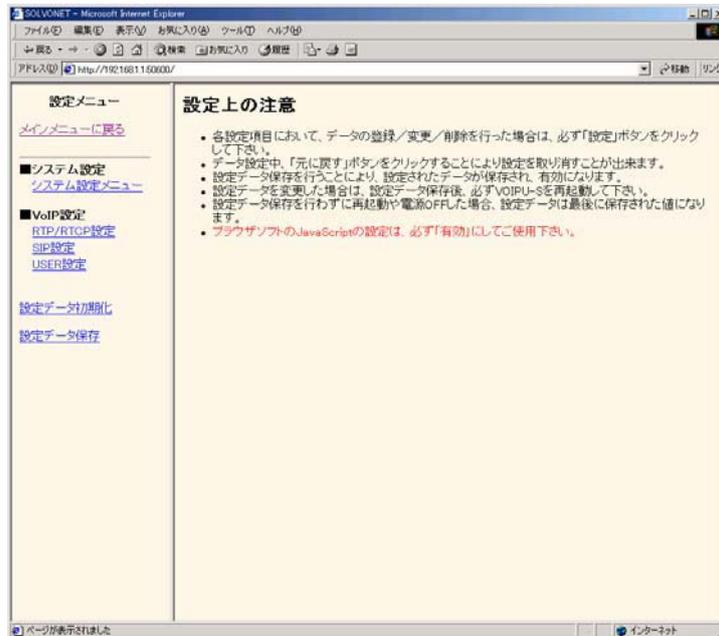
### 3-3-2 データ設定メニュー構成



### 3-4 設定メニュー

「メインメニュー」画面の「設定メニュー」をクリックすると、「設定メニュー」画面が表示されます。表示された設定メニューより以下の項目を実施します。

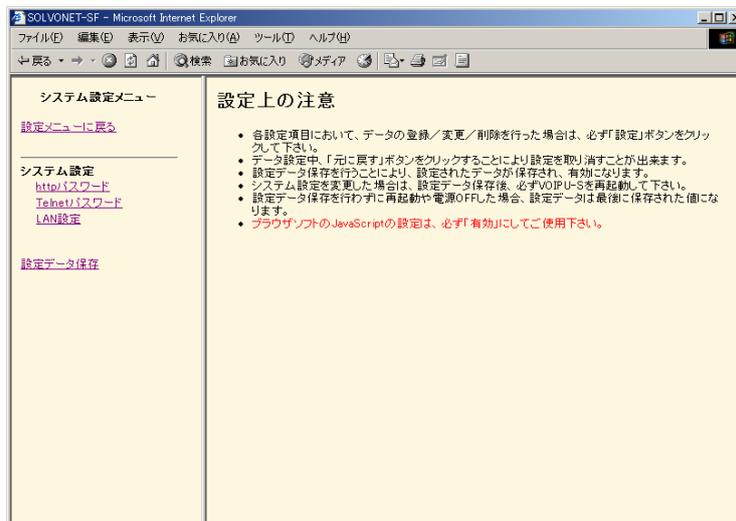
- ◆システム設定
- ◆RTP/RTCP 設定
- ◆SIP 設定
- ◆USER 設定
- ◆設定データ初期化
- ◆設定データ保存



### 3-4-1 システム設定メニュー

「設定メニュー」画面の「システム設定メニュー」をクリックすると、システム設定メニューが表示されます。表示されたシステム設定メニューより以下の項目を設定します。

- ◆http パスワード
- ◆Telnet パスワード
- ◆LAN 設定



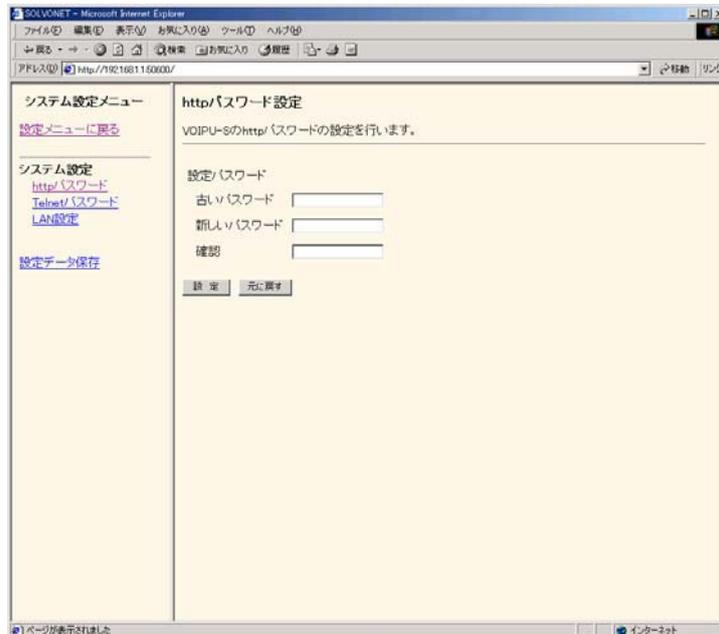
#### ■システム設定の内容、設定範囲およびデフォルト値

名称	内容	設定範囲	デフォルト値
http パスワード	ブラウザにてログインするためのパスワードを変更します。	文字列 Max 8 文字	— (注)
Telnet パスワード	Telnet にてログインするためのパスワードを変更します。	文字列 Max 8 文字	— (注)
LAN 設定	LAN 関連データの設定を行います。	3-4-1-3 参照	3-4-1-3 参照

(注) 初期パスワードは機能番号 1463 を参照してください。

#### 3-4-1-1 http パスワード設定

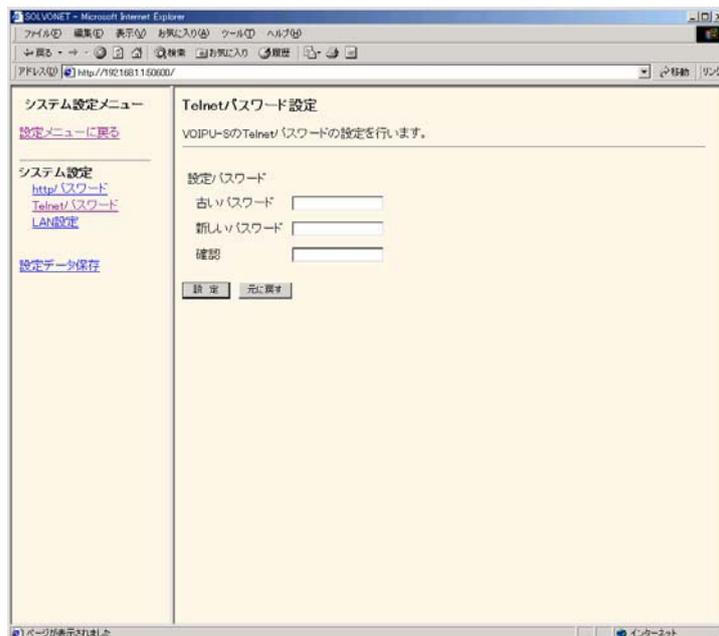
「システム設定メニュー」から「http パスワード」を選択すると http パスワード設定画面が表示されます。



- (1) パスワードを入力します。(入力内容は\*で表示されます)
  - ・古いパスワード : 現在、設定されているパスワードを入力してください。
  - ・新しいパスワード : 新しく設定するパスワードを入力してください。
  - ・確認 : 新しいパスワードで入力したパスワードを再度入力してください。
- (2) [設定] ボタンをクリックします。
  - ・入力値が有効な場合は、「設定上の注意」画面が表示されます。
  - ・入力値が有効でない場合は、エラーメッセージボックスが表示されて再入力となります。

### 3-4-1-2 Telnet パスワード設定

「システム設定メニュー」から「Telnet パスワード」を選択すると Telnet パスワード設定画面が表示されます。

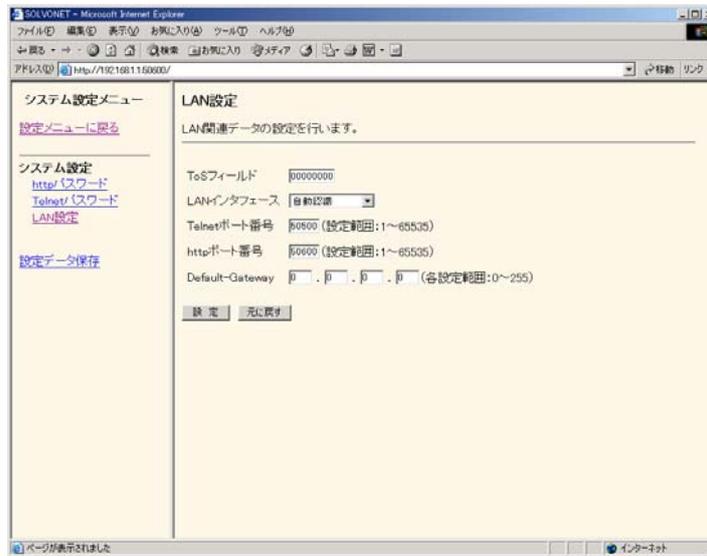


- (1) パスワードを入力します。(入力内容は\*で表示されます)
  - ・古いパスワード : 現在、設定されているパスワードを入力してください。
  - ・新しいパスワード : 新しく設定するパスワードを入力してください。

- ・確認 : 新しいパスワードで入力したパスワードを再度入力してください。
- (2) [設定] ボタンをクリックします。
- ・入力値が有効な場合は、「設定上の注意」画面が表示されます。
  - ・入力値が有効でない場合は、エラーメッセージボックスが表示されて再入力となります。

### 3-4-1-3 LAN 設定

「システム設定メニュー」から「LAN 設定」を選択すると LAN 関連データの設定画面が表示されます。



(1) LAN 関連データ設定の内容、設定範囲およびデフォルト値

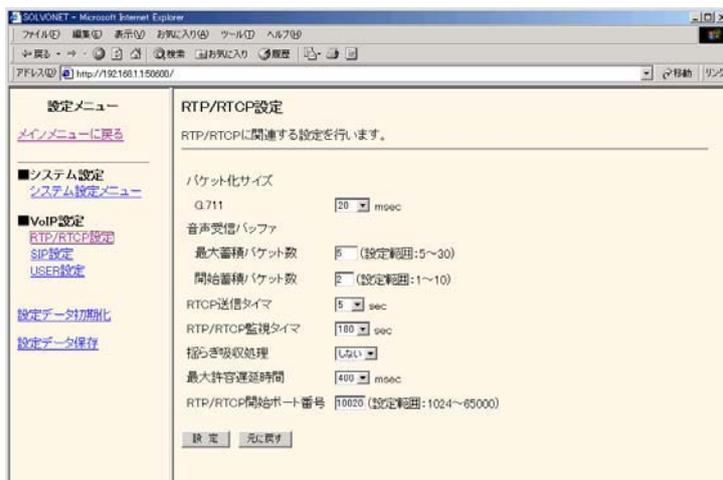
名称	内容	設定範囲	デフォルト値
ToS フィールド	IP パケットの ToS フィールドの値を任意に設定します。	00000000～11111111 (2 進数)	00000000
LAN インタフェース	LAN 速度の設定を行います。	自動認識 10Mbps 半二重／全二重 100Mbps 半二重／全二重	自動認識
Telnet ポート番号	Telnet にて接続するためのポート番号を設定します。	1～65535	50500
http ポート番号	http にて接続するためのポート番号を設定します。	1～65535	50500
Default-Gateway	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。	000～255	未登録

(2) 「設定」ボタンをクリックします。

- ・入力値が有効な場合は、「設定上の注意」画面が表示されます。
- ・入力値が有効でない場合は、エラーメッセージボックスが表示されて再入力となります。

### 3-4-2 RTP/RTCP 設定

「設定メニュー」から「RTP/RTCP 設定」を選択すると RTP/RTCP 関連データの設定画面が表示されます。



(1) RTP/RTCP 関連データ設定の内容、設定範囲およびデフォルト値

名称	内容	設定範囲	デフォルト値
パケット化サイズ	RTP パケットの LAN 上への送出間隔を設定します。	20/40/60/80/120 ms	20 ms
音声受信バッファ 最大蓄積パケット数	音声受信バッファの最大蓄積パケット数を設定します。	5~30	5
音声受信バッファ 開始蓄積パケット数	音声パケットの受信数を設定することにより音声再生を開始するタイミングを設定します。	1~10	2
RTCP 送信タイム	RTCP パケットの送信間隔を設定します。	5~15 秒	5 秒
RTP/RTCP 監視タイム	RTP/RTCP の受信監視タイムを設定します。本タイムのタイムアウトにより呼の切断を行います。0 に設定した場合は、監視を行いません。	0/30/60/120/180 秒	180 秒
揺らぎ吸収処理	RTP パケットが大きく揺らぐ場合に「する」を選択すると最適な遅延時間を動的に選びます。	しない/する	しない
最大許容遅延時間	揺らぎ吸収処理を「する」とした場合、許容する最大遅延時間を設定します。	100/200/300/400 /500/600/700 /800 ms	400 ms
RTP/RTCP 開始ポート  (※)	RTP/RTCP にて使用する最初のポート番号を設定します。設定したポートより+19 ポートを RTP/RTCP 用として使用します。	1024~65000	10020

(※) ルータ経由で 8IPGW900 ユニットの複数枚収容する場合は、2 枚目以降のユニットのポート番号を変更してください。

1 枚目：10020(初期値)、2 枚目：10340、3 枚目：10660、4 枚目：10980

また、接続先のルータに NAPT 設定を静的に設定してください。

(ルータの設定例は AGREYA 工事マニュアルの 16 IP 回線収容時のデータ設定(P. 173) を参照してください。)

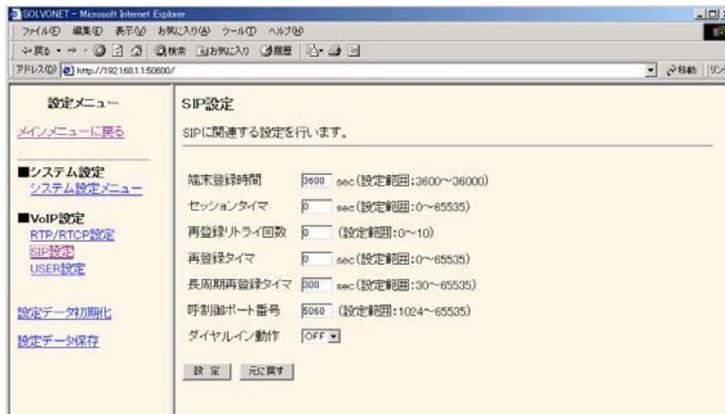
(2) [設定] ボタンをクリックします。

- ・入力値が有効な場合は、「設定上の注意」画面が表示されます。

- ・入力値が有効でない場合は、エラーメッセージボックスが表示されて再入力となります。

### 3-4-3 SIP 設定

「設定メニュー」から「SIP 設定」を選択すると SIP 関連データの設定画面が表示されます。



(1) SIP 関連データ設定の内容、設定範囲およびデフォルト値

名称	内容	設定範囲	デフォルト値	
			FUSION	KDDI
端末登録時間	SIP サーバへの登録有効時間の設定を行います。SIP サーバから値を設定された場合は、その値に従います。SIP サーバへは、設定時間の半分の時間で再登録を行います。	3600～36000 秒	3600 秒	
セッションタイム	発呼時に送信するセッションの有効時間を設定します。SIP サーバから値を設定された場合は、その値に従います。SIP サーバへは、設定時間の半分の時間でセッションの更新を行います。	0～65535 秒	0 秒	300 秒
再登録リトライ回数	SIP サーバへ登録できなかった場合のリトライ回数を設定します。	0～10 回	0 回	
再登録タイム	SIP サーバへ登録できなかった場合に次に登録に行くまでの時間を設定します。	0～65535 秒	0 秒	
長周期再登録タイム	再登録リトライ回数分リトライを行った後、次に再登録に行くまでの時間を設定します。	30～65535 秒	300 秒	
呼制御ポート番号 (※)	SIP 呼制御にて使用するポート番号を設定します。	1024～65535	5060	
ダイヤルイン動作 (注)	ダイヤルイン設定を行う場合に設定します。	ON/OFF	OFF	

(注) ダイヤルイン動作では以下のように動作します。

<その1：登録方法>

**ON 時** 3-4-4 USER 設定「一般登録ユーザ」での ON/OFF に関わらず、先頭に設定された一般登録ユーザのみの登録を行います。

**OFF 時** 3-4-4 USER 設定「一般登録ユーザ」での ON の設定のみ登録を行います。

<その2：着信方法>

**ON 時** 着信してきた電話番号情報と登録した電話番号情報のチェックを行わず、すべてを着信として通知します。

**OFF 時** 着信してきた電話番号情報と登録した電話番号情報のチェックを行い、一致したものについて着信として通知します。

(※) ルータ経由で 8IPGW900 ユニットの複数枚収容する場合は、2 枚目以降のユニットのポート番号を変更してください。

1 枚目：5060(初期値)、2 枚目：5061、3 枚目：5062、4 枚目：5063

また、接続先のルータに NAPT 設定を静的に設定してください。

(ルータの設定例は AGREA 工事マニュアルの 16 IP 回線収容時のデータ設定(P. 173) を参照してください。)

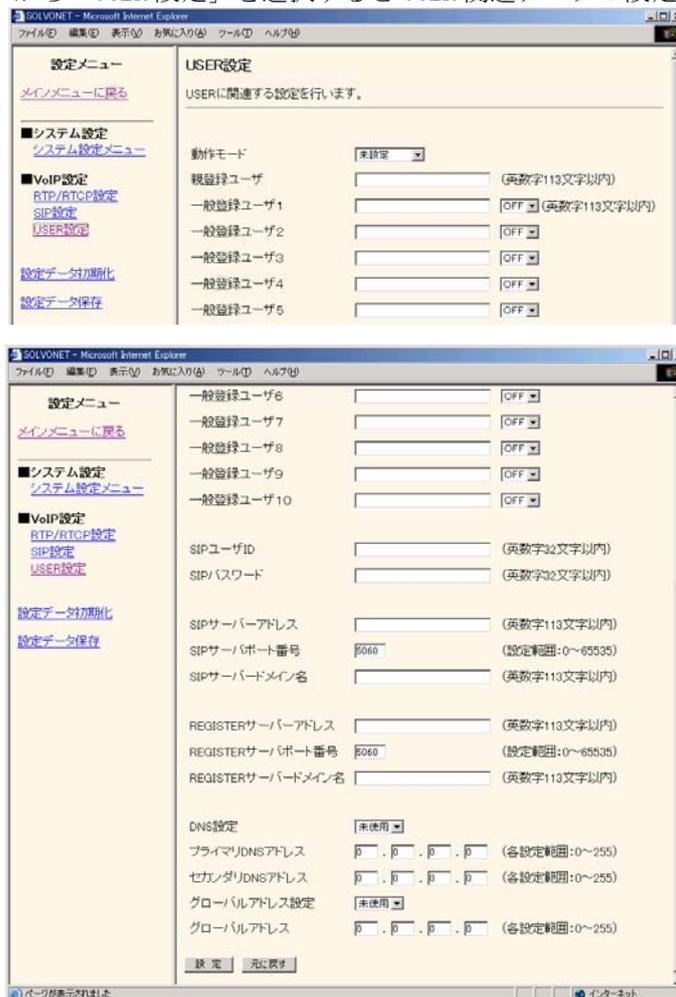
(2) [設定] ボタンをクリックします。

・入力値が有効な場合は、「設定上の注意」画面が表示されます。

- ・入力値が有効でない場合は、エラーメッセージボックスが表示されて再入力となります。

### 3-4-4 USER 設定

「設定メニュー」から「USER 設定」を選択すると USER 関連データの設定画面が表示されます。



(1-1) USER 関連データ設定の内容、設定範囲

名称	内 容	設定範囲
動作モード	動作させるキャリアを選択します。	未選択 FUSION KDDI
親登録ユーザ	代表（親）として登録する SIP-URL を設定します。 「KDDI のみ」	英数字 113 文字以内
一般登録ユーザ	一般（子）として登録する SIP-URL を設定します。 また使用／未使用を選択することも出来ます。 「KDDI／FUSION」	英数字 113 文字以内 ON or OFF
SIP ユーザ ID	SIP サーバへ登録するときに使用するユーザ ID を設定します。	英数字 32 文字以内
SIP パスワード	SIP サーバへ登録するときに使用するパスワードを設定します。	英数字 32 文字以内
SIP サーバアドレス	SIP サーバのアドレスを設定します。	英数字 113 文字以内
SIP サーバポート番号	SIP サーバ側のポート番号を設定します。	0～65535
SIP サーバドメイン名	SIP サーバのドメイン名を設定します。	英数字 113 文字以内
REGISTER サーバアドレス	REGISTER サーバのアドレスを設定します。	英数字 113 文字以内
REGISTER サーバポート番号	REGISTER サーバ側のポート番号を設定します。	0～65535
REGISTER サーバドメイン名	REGISTER サーバのドメイン名を設定します。	英数字 113 文字以内
DNS 設定	DNS の使用／未使用を設定します。	使用／未使用
プライマリ DNS アドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを設定します。	0～255
セカンダリ DNS アドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを設定します。	0～255
グローバルアドレス設定	ルータ経由で光・IP 回線を收容し、ルータ側のグローバルアドレスを利用する場合、使用にします。	使用／未使用
グローバルアドレス	ルータ側で使用しているグローバルアドレスを設定します。	0～255

## (1-2) USER 関連データ設定、各キャリア (FUSION/KDDI)

名 称	設定範囲	デフォルト値	
		FUSION	KDDI
動作モード	未選択 FUSION KDDI	FUSION ☆	KDDI ☆
親登録ユーザ	英数字 113 文字以内	未登録	未 登 録 ☆
一般登録ユーザ	英数字 113 文字以内 ON or OFF	未登録 OFF ☆	未登録 OFF ☆
SIP ユーザ ID	英数字 32 文字以内	未登録 ☆	未 登 録 ☆
SIP パスワード	英数字 32 文字以内	未登録 ☆	未 登 録 ☆
SIP サーバアドレス	英数字 113 文字以内	61.114.168.10 ☆	未 登 録 ☆
SIP サーバポート番号	0~65535	5060 ☆	5060 ☆
SIP サーバドメイン名	英数字 113 文字以内	Fusion.sip.0038.net ☆	未 登 録 ☆
REGISTER サーバアドレス	英数字 113 文字以内	61.114.168.10 ☆	未 登 録 ☆
REGISTER サーバポート番号	0~65535	5060 ☆	5060 ☆
REGISTER サーバドメイン名	英数字 113 文字以内	Fusion.sip.0038.net ☆	未 登 録 ☆
DNS 設定	使用 未使用	未使用	未使用
プライマリ DNS アドレス	各 0~255	0.0.0.0	0.0.0.0
セカンダリ DNS アドレス	各 0~255	0.0.0.0	0.0.0.0
グローバルアドレス設定 (※)	使用 未使用	未使用	未使用
グ ロ ー バ ル ア ド レ ス (※)	0~255	0.0.0.0	0.0.0.0

## ☆必須事項

(※) ルータ経由で光・IP回線を収容し、ルータ側のグローバルアドレスを利用する場合、使用するに設定し、アドレスを設定します。

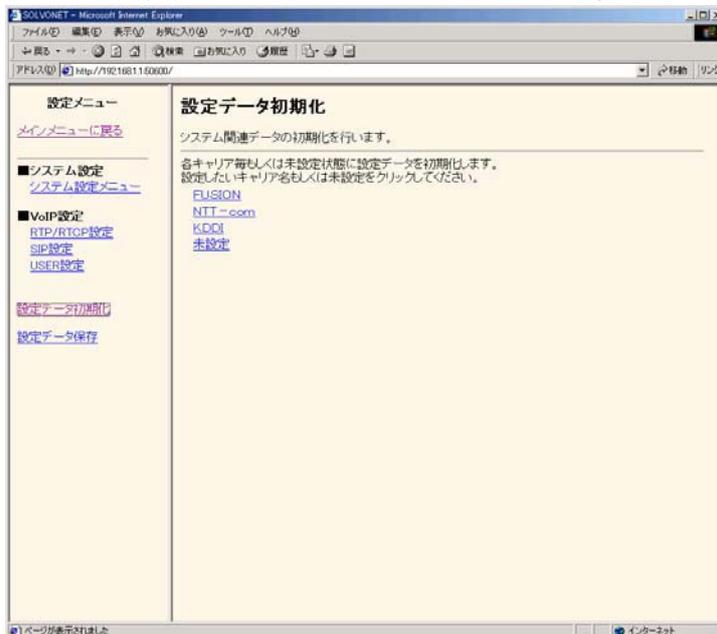
(2) 「設定」ボタンをクリックします。

- ・入力値が有効な場合は、「設定上の注意」画面が表示されます。
- ・入力値が有効でない場合は、エラーメッセージボックスが表示されて再入力となります。

### 3-4-5 設定データ初期化

「設定メニュー」から「設定データ初期化」を選択すると設定データ初期化画面が表示されます。設定するキャリア名、または未設定をクリックすることによりブラウザにて設定されたデータは全て初期化されます。

- ・表示の初期化画面は、複数キャリアに対応した場合の例です。

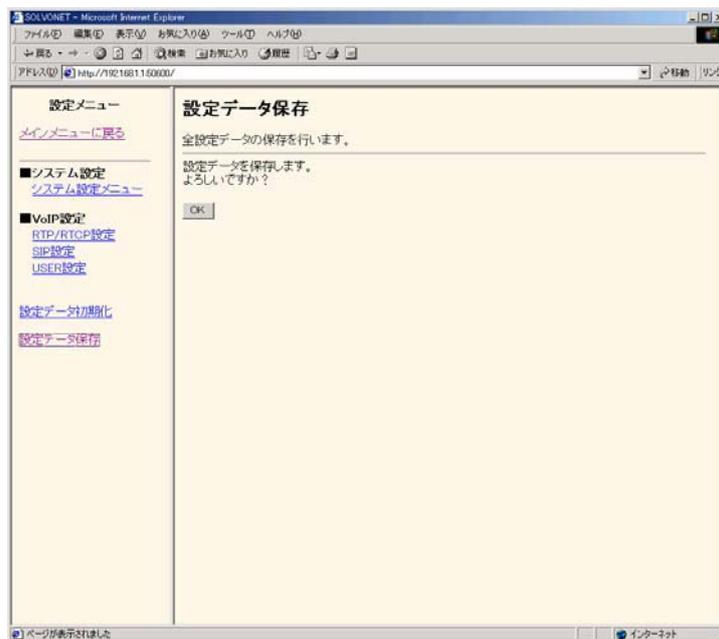


- (1) 設定するキャリア名、または未設定をクリックします。設定データ初期化結果画面が表示されます。

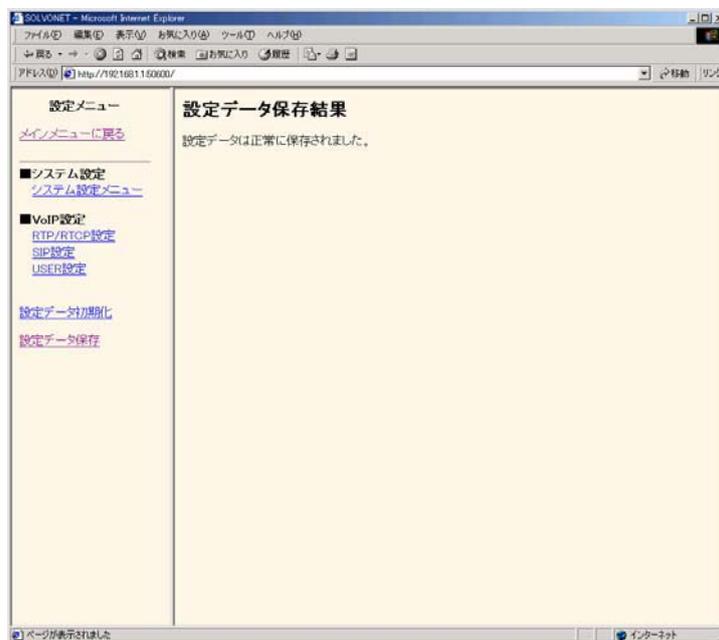


### 3-4-6 設定データ保存

「設定メニュー」から「設定データ保存」を選択すると設定データ保存画面が表示されます。  
[OK] ボタンをクリックすることによりブラウザにて設定されたデータが全て保存されます。

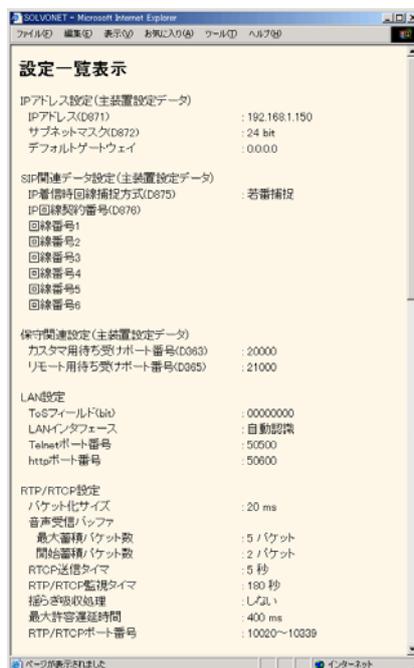


- (1) [OK] ボタンをクリックします。  
設定データ保存結果画面が表示されます。



### 3-5 設定一覧表示

「メインメニュー」から「設定一覧表示」を選択すると現在運用されている設定データが表示されます。



※ D871→D870

※ D872→D871

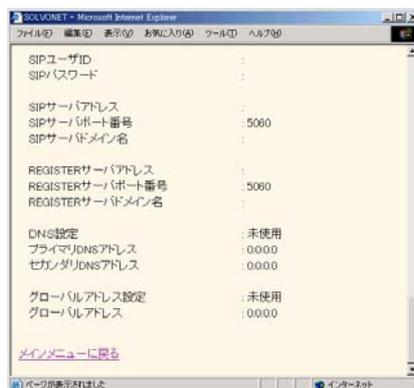
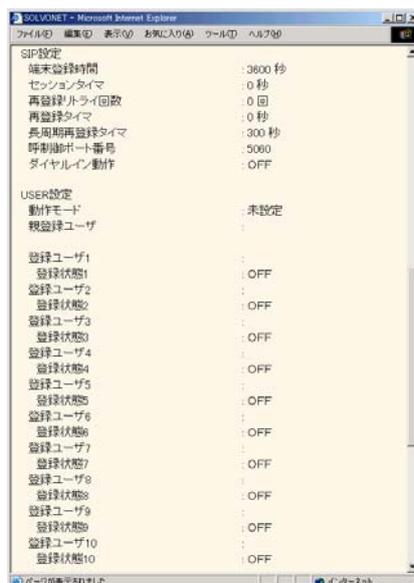
※ D875 はなしで若番捕捉固定です。

※ D876→D873

※ D363→削除

※ D365→D807

と各々読み替えてください。

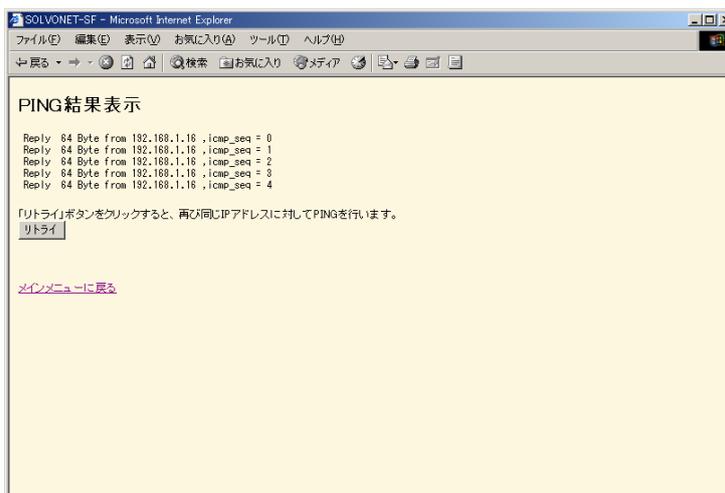


### 3-6 PING

「メインメニュー」から「PING」を選択すると、PING 送信画面が表示されます。

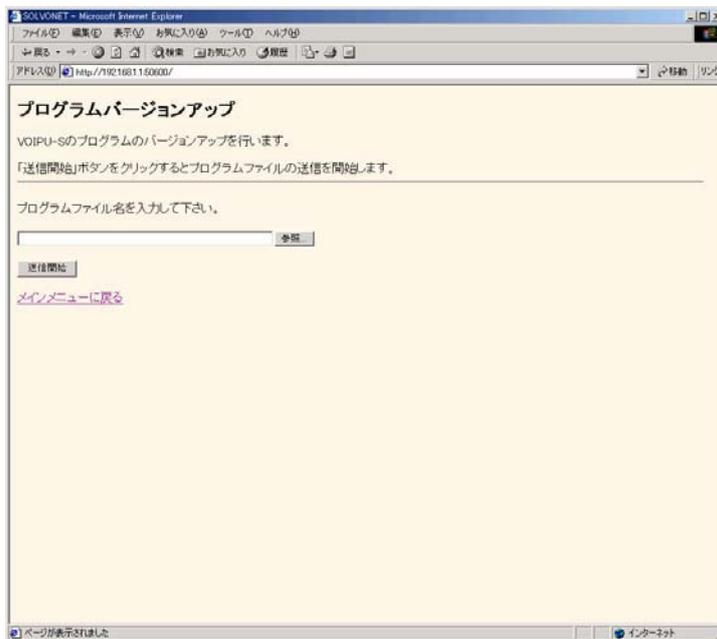


- (1) リクエスト先の IP アドレスを入力します。  
8bit ずつ 10 進数で入力してください。
- (2) [PING 開始] ボタンをクリックします。  
指定された IP アドレスに対して PING の送信を行います。

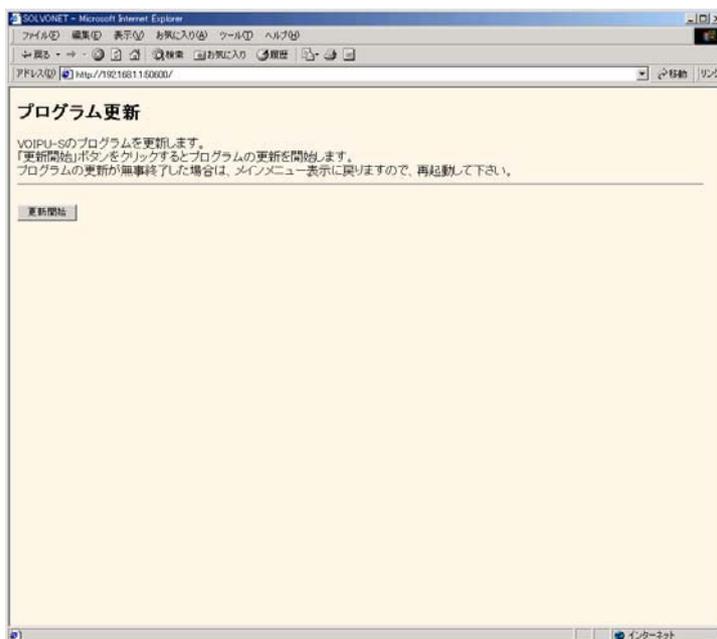


### 3-7 プログラムバージョンアップ

「メインメニュー」から「プログラムバージョンアップ」を選択すると、プログラムファイル入力画面が表示されます。



- (1) ダウンロードファイルを入力します。  
注1. 指定されたファイル以外は、選択しないでください。  
2. ダウンロードを複数同時に実行しないでください。  
3. 遠隔保守中にダウンロードを行わないでください。
- (2) 「送信開始」ボタンをクリックします。  
プログラムの転送を開始します。転送が完了するとプログラムの更新画面が表示されます。

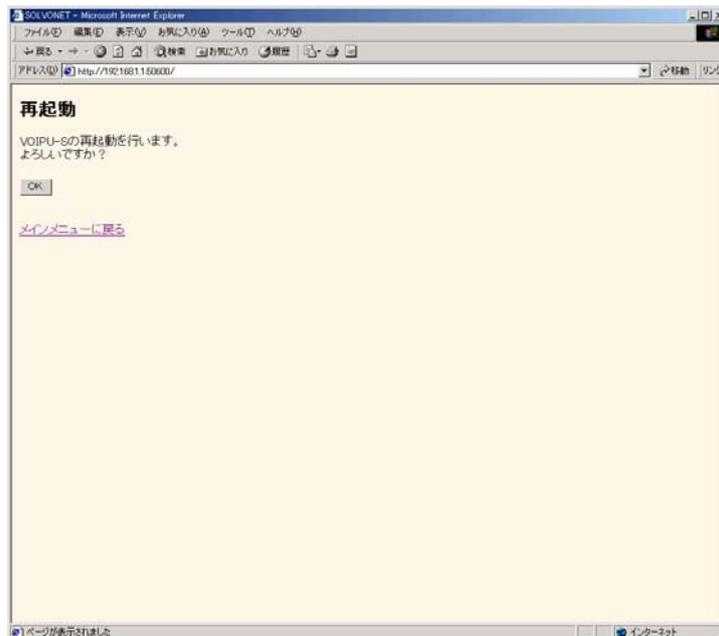


- (2) 「更新開始」ボタンをクリックします。  
転送したプログラムへの更新作業を行います。更新が完了するとメインメニューが表示されます。

※画面上では「VOIPU-S」と表示されてますが「8IPGW900」と読み替えてください。

### 3-8 再起動

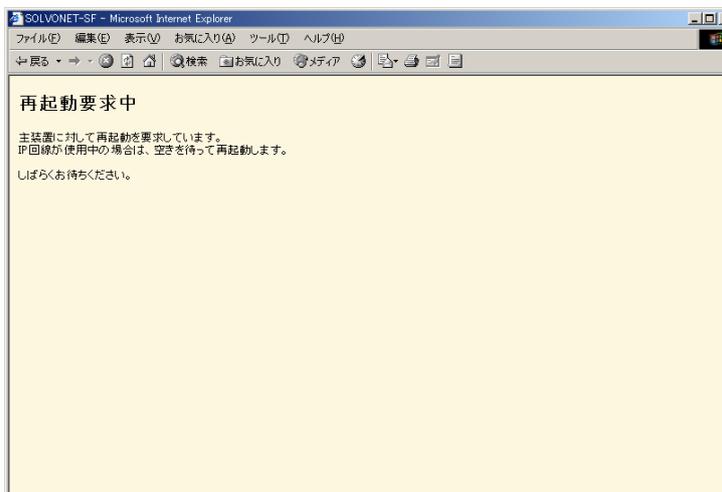
「メインメニュー」から「再起動」を選択すると、再起動確認画面が表示されます。



(1) [OK] ボタンをクリックします。

IP 回線を使用している場合は、IP 回線が空きになるのを待って再起動を行います。

再起動が完了したかは、再度ブラウザにて接続を行い確認してください。再起動が完了していない場合は、接続できません。

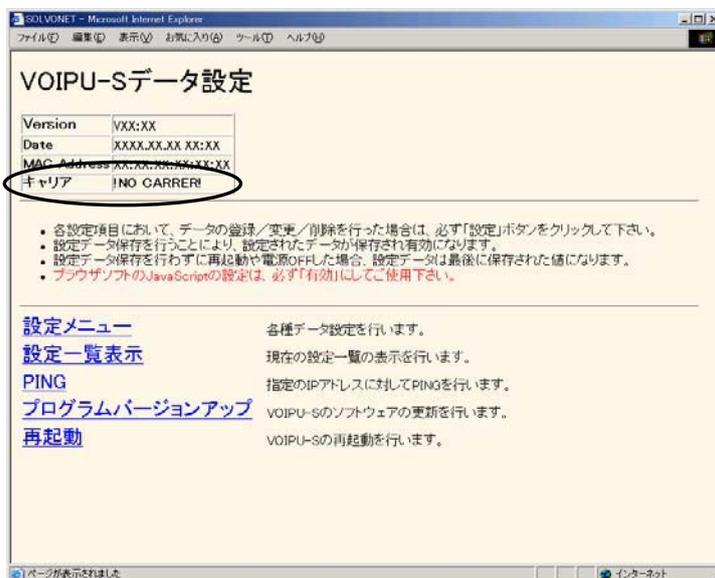


※画面上では「VOIPU-S」と表示されてますが「8IPGW900」と読み替えてください。

### 3-9 エラー表示について

初期立ち上げ時およびデータ設定時に下記表示が出た場合は、最寄りのサービスセンタに連絡してください。

#### (1) メインメニュー画面のキャリア欄に !NO CARRER! 表示



- ・ 8IPGW900 ユニットのプログラムエラー時に表示されます。
- ・ ブラウザ画面を閉じて最寄りのサービスセンタに連絡してください。

※画面上では「VOIPU-S」と表示されてますが「8IPGW900」と読み替えてください。

#### (2) VOIP 設定の USER 設定時に !!Crash Error!! 表示



- ・ 8IPGW900 ユニットのメモリーエラーが発生した場合に表示されます。
- ・ [OK] ボタンを押し、USER 設定画面が表示されたらブラウザ画面を閉じて、最寄りのサービスセンタに連絡してください。

このページは白紙になります。